

第五中学校改築事業 屋内運動場ほか建設 建築主体工事

意 匠 図						構 造 図	
A-01	建築主体工事 特記仕様書(1)	A-41	屋内運動場 展開図(1)			S-01	構造関係特記仕様書
A-02	建築主体工事 特記仕様書(2)	A-42	屋内運動場 展開図(2)			S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)
A-03	建築主体工事 特記仕様書(3)	A-43	屋内運動場 展開図(3)			S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)
A-04	建築主体工事 特記仕様書(4)	A-44	屋内運動場 展開図(4)			S-04	鉄骨構造標準図(1)
A-05	建築主体工事 特記仕様書(5)	A-45	屋内運動場 展開図(5)			S-05	鉄骨構造標準図(2)
A-06	建築主体工事 特記仕様書(6)	A-46	屋内運動場 展開図(6)			S-06	ハイペースNEO工法設計施工標準(1)
A-07	付近見取図・配置図・面積表	A-47	屋内運動場 展開図(7)			S-07	ハイペースNEO工法設計施工標準(2)
A-08	敷地求積図・求積表	A-48	屋内運動場 展開図(8)			S-08	ハイペースNEO工法設計施工標準(3)
A-09	求積図	A-49	屋内運動場 展開図(9)			S-09	Q Lデッキ合成スラブ設計・施工標準
A-10	屋内運動場 仕上表	A-50	屋内運動場 展開図(10)			S-10	J F 7 5 ・ J F 7 5 W 設計・施工標準
A-11	屋内運動場 平面図	A-51	屋内運動場 展開図(11)			S-11	N Dコア設計・施工標準仕様書(1)
A-12	屋内運動場 立面図(1)	A-52	屋内運動場 展開図(12)			S-12	N Dコア設計・施工標準仕様書(2)
A-13	屋内運動場 立面図(2)	A-53	屋内運動場 建具キープラン			S-13	屋内運動場 基礎伏図
A-14	屋内運動場 1階天井伏図	A-54	屋内運動場 建具表(1)			S-14	屋内運動場 基礎・地中梁リスト
A-15	屋内運動場 2階天井伏図	A-55	屋内運動場 建具表(2)			S-15	屋内運動場 スラブ・壁・基礎下地盤構成リスト
A-16	屋内運動場 屋根伏図	A-56	渡り廊下 A 仕上表・立面図・天井伏図・建具表			S-16	屋内運動場 2階梁伏図
A-17	屋内運動場 矩計図(1)	A-57	渡り廊下 A 平面詳細図			S-17	屋内運動場 2階天井受梁伏図
A-18	屋内運動場 矩計図(2)	A-58	渡り廊下 A 矩計図			S-18	屋内運動場 R階梁伏図
A-19	屋内運動場 階段・玄関廻り詳細図	A-59	渡り廊下 A 屋根詳細図			S-19	屋内運動場 鉄骨部材リスト(1)
A-20	屋内運動場 屋外階段・タラップ詳細図	A-60	渡り廊下 B 仕上表・天井伏図			S-20	屋内運動場 鉄骨部材リスト(2)
A-21	屋内運動場 1階平面詳細図(1)	A-61	渡り廊下 B 平面詳細図・立面図			S-21	屋内運動場 軸組図(1)
A-22	屋内運動場 1階平面詳細図(2)	A-62	渡り廊下 B 矩計図			S-22	屋内運動場 軸組図(2)
A-23	屋内運動場 2階平面詳細図(1)	A-63	渡り廊下 B 屋根詳細図			S-23	屋内運動場 軸組図(3)
A-24	屋内運動場 2階平面詳細図(2)	A-64	屋内運動場・渡り廊下 A・B 1階法規チェック			S-24	屋内運動場 軸組図(4)
A-25	屋内運動場 詳細図(1)	A-65	屋内運動場・渡り廊下 A・B 2階法規チェック			S-25	屋内運動場 構造詳細図(1)
A-26	屋内運動場 詳細図(2)	A-66	外構平面図			S-26	屋内運動場 構造詳細図(2)
A-27	屋内運動場 家具詳細図(1)	A-67	外構詳細図(1)			S-27	屋内運動場 構造詳細図(3)
A-28	屋内運動場 家具詳細図(2)	A-68	外構詳細図(2)			S-28	渡り廊下 A 基礎図・軸組図
A-29	屋内運動場 家具詳細図(3)	A-69	外構詳細図(3)			S-29	渡り廊下 A 梁伏図・鉄骨部材リスト
A-30	屋内運動場 屋根詳細図	A-70	外構詳細図(4)			S-30	渡り廊下 A 構造詳細図
A-31	屋内運動場 アリーナ・ステージ 床詳細図	A-71	既存地盤平面図			S-31	渡り廊下 B 基礎図・軸組図
A-32	屋内運動場 格技室 床詳細図	A-72	造成地盤平面図			S-32	渡り廊下 B 梁伏図・鉄骨部材リスト
A-33	屋内運動場 体育器具図(1)	A-73	縦横断面図(1)			S-33	渡り廊下 B 構造詳細図
A-34	屋内運動場 体育器具図(2)	A-74	縦横断面図(2)			S-34	ポーリング柱状図
A-35	屋内運動場 体育器具図(3)	A-75	仮設・工程 計画図				
A-36	屋内運動場 体育器具図(4)						
A-37	屋内運動場 ステージ下台車詳細図(1)						
A-38	屋内運動場 ステージ下台車詳細図(2)						
A-39	屋内運動場 舞台設備図						
A-40	屋内運動場 サイン詳細図						



防水工事（続き）

5. 脱気装置

(9.2.3)(9.3.3)(9.5.3)

種 別	種 類	設 置 数 量
D-1 D-2 Q-3 D-4 D1-1 DI-2 AS-T3 AS-T4 AS-U2 ASI-T1 ASI-J1	※ アスファルトルーフィング類 製造所の仕様による	※ アスファルトルーフィング類 製造所の仕様による ・ 図示 ・
X-1	・ 防水層の主材料の製造所の 仕様による	・ 防水層の主材料の製造所の 仕様にによる ・ 図示 ・

① ケイ酸質系塗布防水

防水層の種類 (9.6.3、4)表(9.6.1)

種 別	施 工 箇 所
○C-SUI ビット	
・ C-SUP	

防水層の下地
壁及び天井部 ○コンクリート打直し仕上げ（標仕表6.2.4[打直し仕上げ種類の]B種） ・ 図示
下地処理
○標仕9.6.4(2)(7)～(9)による ・ 図示

⑦ シーリング

下表以外は、標仕表 9.7.1fによる（仕上げを行わない部分 ※ 図示） (9.7.2、3、5)表(9.7.1)
ただし、外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは11章に、カーテンウォールの場合のシーリングは
17章による

施 工 箇 所	シーリング材の種類(記号)

シーリング材の目付寸法 ※ 標仕9.7.3(f)(7)～(9)による ・
試験の実施 ※ する（※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験） ・ しない

⑧ 保証

防水工事について、防水工事施工者及び工事受注者連名の保証書(10年)、工事受注者の保証書(15年、新築に
限る)を提出すること。ただしケイ酸質系塗布防水を除く。

10 石工事

① 施工

(10.1.3)

石材の割付け ※ 図示 ・

② 石材等

(10.2.1、3)表(10.2.1、2)

天然石	品質	石材の種類	形 状	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
上り框	○1等品 ・ 2等品	花崗岩	◎ 正方形に近い矩形 ◎ 上り框用形状	110	60	本磨き	
巾木	○1等品 ・ 2等品	花崗岩	◎ 正方形に近い矩形 ◎ 巾木用形状	100	25	本磨き	

テラゾブロック

施工箇所 種石の種類 種石の大きさ(mm) 形状 仕上げ面 寸法(mm) 表面仕上げ 備考

※ 大理石
・ 花こう岩 ※ 1.5～12 ・ 平もの ・ 片面

※ 大理石
・ 花こう岩 ※ 1.5～12 ・ 平もの ・ 両面

テラズタイトル

施工箇所 種石の種類 種石の大きさ(mm) 寸法による区分 表面仕上げ 備 考

※ 大理石
・ 花こう岩 ※ 1.5～12 ・ 300型 ・ 400型

※ 大理石
・ 花こう岩 ※ 1.5～12 ・ 300型 ・ 400型

取付用モルタル、既調合の目地モルタル、浸透性吸水防止剤、石膏裏面処理材、裏打ち処理材
※ 石材施工業者の指定する製品 ・

3. 外壁遮熱工法

(10.2.2、3)(10.3.2、3)

石膏裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない
裏打ち処理 ・ 適用する ・ 適用しない
下地ごしらえ ・ 防し加工法 ・ あと施工アンカー工法 ※ あと施工アンカー・横筋横浜し工法
受金物・材質 ※ SUS304 ・ 図示
形状及び寸法(mm) ・ L=75×75×6 L=100 ・ L=75×75×6 L=150 ・ 図示
特殊部位用の金物 ※ 標仕10.2.2(c)による ・ 図示
ドレンパイプの材質 ・ 樹脂ネット製パイブ クロスメッシュ巻き 25～35φ
・ 図示
アンカーの材質及び寸法 ※ SS400 M12 ・ 図示
あと施工アンカーの材質及び寸法 ・ 図示
目地 一般目地 目地幅 ※ 6mm以上 ・ 図示
シーリング材 ・ 適用する ・ 適用しない
伸縮調整目地 位置 ※ 標仕表11.1.fによる ・ 図示
シーリング材の目付寸法 ※ 標仕9.7.3(i)(ウ)による ・ 図示

4. 内装塗装工法

(10.2.2)(10.4.2、3)

受金物 材質 ※ SUS304 ・ 図示
形状及び寸法(mm) ・ L=75×75×6 L=100 ・ L=75×75×6 L=150 ・ 図示
特殊部位用の金物 ※ 標仕10.2.2(c)による ・ 図示
下地ごしらえ ※ あと施工アンカー・横筋横浜し工法 ・ あと施工アンカー工法
アンカーの材質 ※ SS400 ・ 図示
アンカーの寸法 ※ 図示 ・ M12 ・ M10
あと施工アンカーの材質及び寸法 ・ 図示
目地 一般目地 目地幅 ※ 6mm以上 ・ 図示
シーリング材 ・ 適用する ・ 適用しない
伸縮調整目地 位置 ※ 6mごと ・ 図示
シーリング材の目付寸法 ※ 標仕9.7.3(j)(ウ)による ・ 図示

5. 外壁乾式工法

(10.2.2)(10.5.2、3)表(10.2.4)

金物の種類 ※ 標仕表10.2.4cによる ・ 図示
取付け方式 ・ スライド方式 ・ ロッキング方式
特殊部位用の金物 ※ 標仕10.2.2(d)による ・ 図示
だば用の穴の位置 ※ 標仕10.5.2(2)(7)による ・ 図示
裏打ち処理 ・ 適用する ・ 適用しない
外壁の本底
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
※ 適用する（Ⅰ一般共通事項による） ・ 適用しない
アンカーの材質 ※ ステンレス(SUS304) ・ 図示
アンカーの寸法 ※ 図示 ・ M12 ・ M10
あと施工アンカーの材質及び寸法 ・ 図示
目地 目地幅 ※ 8mm以上 ・ 図示
シーリング材 ・ 適用する（※ 標仕9.7.3gによる ・ 図示） ・ 適用しない

6. 床及び階段の石張り

(10.6.2、3)

床石張りの浸透性吸水防止剤 ・ 適用する ・ 適用しない
床石張りの裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない
床石張りの裏打ち処理 ・ 適用する ・ 適用しない
階段段々の裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない
目地 一般目地 目地幅(mm) ※ 図示
シーリング材 ・ 適用する ・ 適用しない
伸縮調整目地 位置 ※ 床面積30㎡程度ごと、細長い通路の場合6㎡程度ごと
及び他都府との取り合い部 ・ 図示

7. 笠木・甲板等の石張り

(10.2.2)(10.7.2)

取付け工法 ・ 湿式工法 ・ 乾式工法
取付け金物 ※ 標仕10.2.2(3)による ・ 図示
引出金物、ねじ、かすがい及び受金物 ※ 標仕10.2.2(1)による ・ 図示
石膏裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない
乾式工法の場合の取付け代 ※ 標仕10.5.3(2)による ・ 図示
石膏の補強用モルタル ・ 適用する ・ 適用しない
アンカーの材質 ※ SS400 ・ ステンレス(SUS304) ・ 図示
アンカーの寸法 ※ 図示 ・ M12 ・ M10
あと施工アンカーの材質及び寸法 ・ 図示

11 タイル工事

① 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

(11.1.3)表(11.1.1)

位置 ※ 標仕表11.1.fによる ・ 図示

② 材料

(11.1.4)

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り ・ 行う ○ 行わない
見本焼き ・ 行う ○ 行わない
品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等等品質性能評価による評価名簿記載の製品 ・

③ セメントモルタルによるタイル張り

(11.2.2、6)

施工箇所	形状／寸法(mm)	吸水率による区分		うわぐすり		役物	色	再生材の有無	耐凍害性の有無	耐滑り性の有無	備考
		I類	II類	III類	施すやう						
玄関・ポーチ	300角	ニューセラフォラム(INAX)同等品									
		.	.	.	.	.	.	.	.	.	.

モルタル塗りコンクリート素地面の処理 ・ MOR工法 ・ 目荒し工法(高圧洗浄)・
壁タイル張りの工法
内外装タイル ・ 密着張り ・ 改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り

④ 既調合モルタル

モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を
予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等等品質性能評価による評価名簿記載の製品 ・

⑤ 既調合目地材

品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等等品質性能評価による評価名簿記載の製品の ・

4. 有機系接着剤によるタイル張り

(11.3.2～5)

施工箇所	形状／寸法(mm)	吸水率による区分		うわぐすり		役物	色	再生材の有無	耐凍害性の有無	耐滑り性の有無	備考
		I類	II類	III類	施すやう						
		.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
		.	.	.	.	.	.	.	.	.	.

有機系接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆
外装タイル接着剤張りにおける目地のシーリング材
打継ぎ目地 ※ ポリウレタン系シーリング材
ひび割れ誘発目地 ※ ポリウレタン系シーリング材
伸縮調整目地 ※ 変成シリコーン系シーリング材
その他の目地 ※ 変成シリコーン系シーリング材
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・ MOR工法 ・ 目荒し工法(高圧洗浄)・
目地詰め ・ 行う ・ 行わない

12 木工事

① 表面仕上げ

(12.2.1)

木材の品質
○標仕12.2.1fによる ○信州木材認証製品又は同等品 ・ 市販品
木材の含水率
下地材 ※ A種 ・ B種 造作材 ※ A種 ・ B種

② 製材

(12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)表(12.2.2)

施工箇所	樹 種	寸法(mm)	等 級	形 状	含 水 率	間伐材等の適用
下地	杉 他		※2級		※A種 ・ B種	・
			※2級		※A種 ・ B種	・
			※2級		※A種 ・ B種	・

○「製材の日本農林規格」による下用地針葉樹製材

施工箇所 樹 種 寸法(mm) 等 級 形 状 含 水 率 間伐材等の

○「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材

施工箇所 樹 種 寸法(mm) 等 級 形 状 含 水 率 間伐材等の

○「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

施工箇所 樹 種 寸法(mm) 等 級 形 状 含 水 率 間伐材等の

○「製材の日本農林規格」以外の製材

施工箇所 樹 種 寸法(mm) 造作材の材質の品質 防虫処理 難燃処理 含水率 間伐材等の

○「製材の日本農林規格」以外の製材

施工箇所 樹 種 寸法(mm) 造作材の場合(※ A種 ・ B種) 防虫処理 難燃処理 含水率 間伐材等の

③ 造作用集成材

(12.2.1)

ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ・

○「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施 工 箇 所 樹種 寸法(mm) 見付け材面の等級 間伐材等の

○「集成材の日本農林規格」による化粧板による造作用集成材

施 工 箇 所 化粧板の樹種 芯材の樹種 寸法(mm) 化粧板の厚さ(mm) 見付け材面の等級 間伐材等の

○「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施 工 箇 所 樹種 寸法(mm) 見付け材面の品質 含 水 率 間伐材等の

○「集成材の日本農林規格」以外の化粧板による造作用集成材

施 工 箇 所 化粧板の樹種 芯材の樹種 寸法(mm) 化粧板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の

④ 造作用単板積層材

(12.2.1)

ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ・

○「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

施 工 箇 所 厚さ(mm) 表面の化粧加工 防虫処理 間伐材等の

○「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

施 工 箇 所 厚さ(mm) 表 面 の 品 質 防虫処理 含水率 間伐材等の

5. 直文集成材

(12.2.1)

ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ・

○「直文集成材の日本農林規格」による直文集成材

施 工 箇 所 品名 強度等級 種別 接着性能 樹種名 寸法 間伐材等の

⑥ 合板等

(12.2.1)

ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ・

○「下地用合板」 図示

施工箇所 厚さ(mm) 表板の樹種名 接合の程度 板面の品質 防虫処理 間伐材等の

○「構造用合板」 図示

施工 箇所 厚さ(mm) 等級 表板の樹種名 接合の程度 板面の品質 有効断面係数比 防虫処理 強度等級 間伐材等の

6. 合板等のつづき

○天然木化粧合板

施工箇所 厚さ(mm) 接合の程度 化粧板に使用する単板の樹種 防虫処理 間伐材等の

○特殊加工化粧合板

施工箇所 品目 厚さ(mm) 接合の程度 単板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理 間伐材等の

○パーティクルボード

施 工 箇 所 厚さ(mm) 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分

○構造用パネル

施 工 箇 所 厚さ(mm) 等 級

○MDF

施 工 箇 所 厚さ(mm) 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分

⑦ 接合具等

造作材の化粧面の釘打ち ※隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭表し (12.2.2、3)
諸金物の形状、寸法 ※ 標仕表12.2.3～5による ・ 図示
諸金物の材質 ※ 標仕表14.2.2のF種程度 ・ 図示
接着剤 接着剤に含まれる可塑剤は、難燃発火のものとする。
ホルムアルデヒドの放散量 ※ F☆☆☆☆ ・

8. 防蟻・防蟻・防虫

(12.3.1、2)

・ 防蟻、防蟻処理が必要な樹種による製材及び集成材
適用部位()
・ 薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理
通 用 部 位 保存処理性能区分
・ K2 ・ K3 ・ K4
・ K2 ・ K3 ・ K4
・ K2 ・ K3 ・ K4
・ 薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理
JIS K 1571付属書A(規定)に基づき表面処理用木材保存材による、処理の適用、薬剤の種類及び適用部位
通 用 部 位 薬剤の種類
※ 図示
※ 図示
※ 図示
処理の方法 ※製造所の仕様にによる ・ 図示
・ 接着剤材への薬剤混入による防蟻・防蟻処理
適用部位()
・ 合板等の加圧注入処理等による防蟻・防蟻処理
適用部位()
・ 防虫処理
適用部位()

⑨ 木材

(12.4.1)

鉄筋コンクリート造等の内部間仕切軸組及び保組
間仕切軸組に用いる木材 ※ 杉 ・ 松 ・ 図示
床組に用いる木材 ※ 杉 ・ 松 ・ 図示
土間スラブの下の場合 ※ 保存処理木材 ・ ひのき ・ 図示
意、出入口その他
吊元枠、水掛りの下枠及び敷居 ※ ひのき ・ 図示
その他 ※ 杉 ・ 松 ○ 図示
線甲板及び上りがまちに用いる木材 ※ ひのき ・ 図示
壁及び天井下地 ※ 杉 ・ 松 ○ 図示

13 屋根及び土工事

① 長尺金属板葺

(13.2.2、3)表(13.2.1)

施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性の種類	厚さ(mm)	屋根葺き形式	備考
図示	※ JIS G 3322の屋根用コイル ・ 図示	○ 図示 ・	○ 図示 ・	・ 心木なし瓦葺き ・ 立平葺 ・ 横掛葺 ・ 横葺 ○ 図示	

下葺材料
○ アスファルトルーフィング 940
○ 改質アスファルトルーフィング下葺材
(・ 一般タイプ ・ 横葺材タイプ ○ 粘着層付タイプ)
工法
屋根葺き形式に応じた、葺板の寸法・厚さ、下地、留付け方法等 ※ 図示
耐風圧性能 (建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法)
※ 適用する (Ⅰ一般共通事項により製造所の指定による) ・ 適用しない
横葺のけらばの適用 ・ つかみ納め ・ けらば包み納め
雪止め ○ 設置する(図示) ・ 設置しない

② 折板葺

(13.2.2)(13.3.2、3)表(13.2.1)

施工箇所	形 式	山高、山ピッチによる区分	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能
図示	・ 重ね形 ○ はげ絡み形 ・ かん合形 ・	山高 山ピッチ	()種	※ 鋼板製 ・ アルミニウム合金板製	0.8	○ 有り ・ 無し	○ 30分 ・ 無し

材料の種類 ※ 図示 ・
断熱材 ○ 有り (○ 図示
・ [種別]
・ 無し
厚さ(mm)： 防火性能： 時間)
工法
屋根葺き形式に応じた、葺板の寸法・厚さ、下地、留付け方法等 ※ 図示
耐風圧性能 (建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法)
※ 適用する (Ⅰ一般共通事項により製造所の指定による) ・ 適用しない
耐雪性能に対応した工法の適用 ※ 製造所の指定による ・ 適用しない
けらば納め ※けらば包みとし標仕13.3.3(3)(エ) (a)、(b)による ・ 図示

(1及び2)についての保証

※ 長野県板金工業組合認定の施工図により施工したものは同組合及び工事受注者連名の保証書(10年)、
当該組合認定以外の施工図により施工したものはメーカー、屋根施工業者及び工事受注者連名の保証
書(10年)、及び工事受注者の保証書(15年、新築に限る)を提出すること。

2024. 07/28

屋根及びとい工事（続き）

3. 粘土瓦葺

(13. 4. 2, 3)

施工箇所

種類

製法による区分

形状による区分

寸法による区分

大きさ

産地

役物瓦の種類

雪止め瓦

・適用する

・適用しない

・適用する

・適用しない

JIS A 5208に基づく凍害試験等

・行う

・行わない

瓦株木 材質

※ 杉

ひのき

・図示

寸法

※ 幅21×高さ15 (mm)

・図示

棟補強用芯材 材質

※ 杉

ひのき

・図示

寸法

※ 幅40×高さ30 (mm)

・図示

瓦葺結用釘又はねじの種類、径、長さ

※ 図示

棟補強又は仕様の金物等の材質、形状、寸法、留付け方法

※ 図示

工法

耐風圧性能及び耐雪性能（建築基準法に基づき外力に対応した瓦の取付方法等の工法）

※ 適用する（1一般共通事項により製造所の指定又は図示による）

・適用しない

瓦葺結用釘又はねじの有効長さの最小値

※ 図示

瓦株木の留付け工法

※ 図示

棟の工法

・7寸丸伏せ様

・F型用冠瓦伏せ様

・のしー様

・のし積み様

・面戸、省口、葺土の露出する瓦接合部の仕上げ

・する

・しない

① とい

(13. 5. 2, 3) (表13. 5. 1～4)

・配管用鋼管及び排水管継手

・硬質ポリ塩化ビニル管及び同質継手

・表面処理鋼板（ ）

・ステンレス鋼板

○図示

・とい受け金物及びひき金物の材質、形状及び留付け間隔

※表13. 5. 2による

○図示

多雪地域の軒どいの留付け間隔の適用

○あり

・なし

防露材のホルムアルデヒド放数量

※ F☆☆☆☆

・鋼管製といの防露巻き

・適用する（施工箇所及び工法：※ 標仕表13. 5. 4による）

・図示

・適用しない

ルーフドレン

品質・性能

※ 建築材料・設備機材等品質性能評価による評価名簿記載の製品

14 金属工事

① あと施工アンカー

(14. 1. 3)

引抜き耐力の確認試験

※ 行う（試験方法：標仕14. 1. 3 (1) (a)による）

② アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

(14. 2. 1) (表 14. 2. 1)

種 別	皮膜又は複合皮膜の種類	施工箇所（成形部、笠木、建具以外）
・ AB-1種	※ AA15	
・ AB-2種	※ AA15	
・ AC-1種	※ AA6	
・ AC-2種	※ AA6	
・ BA-1種	※ A2	
・ BA-2種	※ A2	
・ BB-1種	※ B	
・ BB-2種	※ B	
・ BC-1種	※ C	
・ BC-2種	※ C	
○ C種		

着色（ ・ アンバー ・ ブロンズ ・ ブラック系 ○ステンカラー）

陽極酸化皮膜の着色方法

※ 二次電解着色

・ 三次電解着色

④ 鉄鋼の亜鉛めっき

(14. 2. 2) (表14. 2. 2)

表面処理方法	種別	施工箇所（手すり、タラップ以外）
溶融亜鉛めっき	○ A種	
	○ B種	
	○ C種	
電気亜鉛めっき	・ D種	
	・ E種	
	・ F種	

⑤ 軽量鉄骨天井下地

(14. 4. 2～4) (表14. 4. 1)

野縁等の種類

※ 屋外（※ 25 形 ・ 19 形）

※ 屋内（※ 19 形 ・ 25 形）

屋外の軒天井、ピロティ天井等

屋外での施工

野縁受、つりボルト及びインサートの間隔及び周辺部の端からの距離

※ 図示

野縁の間隔

※ 図示

・ダクト等の開口によりつりボルトの間隔が900mmを超える場合

補強方法

※ 図示

○天井のふところがい1. 5m以上3. 0m以下の場合

補強方法

※ 標仕14. 4. 4 (8) (ア)～(イ)による

・図示

○天井のふところがい3. 0mを超える場合

補強方法

※ 図示

・天井下地材における耐震性を考慮した補強

補強箇所

※ 図示

補強方法

※ 図示

・屋外の軒天井及びピロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強

補強方法

※ 図示

⑥ 軽量鉄骨壁下地

(14. 5. 3, 4) (表 14. 5. 1)

スタッド、ランナーの種類

※ 標仕表14. 5. 1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類

・図示

スタッドの高さが5. 0mを超える場合

※ 図示

出入口及びこれに準ずる開口部の補強

※ 標仕14. 5. 4 (5) (7) ～ (7)による

・図示

⑦ 金属成形板張り

(14. 6. 2, 3) (表 14. 2. 1)

種別	製法	形状	寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面処理			
					種別	皮膜等の種類		
○アルミニウム	・押出し	スパンドレル形			・BB-1種	※ B		
	・ロール							
	○プレス	パネル形					・AB-1種	※ AA15
	・							
・		○C種						

着色（ ・ アンバー ・ ブロンズ ・ ブラック系 ○ステンカラー）

取付け用下地

※ 標仕14. 6. 4による

・図示

伸縮調整継手

・設ける（ 施工箇所 ・ 図示 ）

・設けない

⑧ アルミニウム製笠木

(14. 7. 2, 3) (表 14. 2. 1) (表 14. 7. 1)

種類

・ 250形 ・ 300形 ・ 350形 ・ 100形

(14. 7. 2, 3) (表 14. 2. 1) (表 14. 7. 1)

表面処理

種類 () 種

皮膜等の種類 (※ 標仕表14. 2. 1による)

着色 (・ アンバー ・ ブロンズ ・ ブラック系 ○ステンカラー)

笠木の固定金具の工法等

耐風圧性能 (建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法)

※ 適用する (1一般共通事項により製造所の指定による)

・適用しない

耐雪性能 (建築基準法に基づき定まる積雪荷重に対応した工法)

※ 適用する (製造所の指定による)

・適用しない

15 左官工事

① 下地

(15. 2. 4～7)

ラス系下地

・ 通気工法 (・ 二層下地 ・ 単層下地 ・ 図示)
・ 直貼り工法 (・ ラスモルタル下地 ・ ラスシートモルタル下地 ・ 図示)
・ 外断熱工法 (・ 図示)

材料

ラス及び補強用プラス ※標仕15. 2. 4 (3) (7)による ・
ラスシート ※標仕15. 2. 4 (3) (7)による ・
ステープル ※標仕15. 2. 4 (3) (7)による ・

換気口部の措置

※公共建築木造工事標準仕様書11. 4. 3 (2) (7)による ・
直張り工法の建築基準法に基づく耐力壁として利用する場合のラスシート施工方法 ※図示 ・
せっこうボードその他ボード下地
せっこうボードの種類及び厚さ ※ 図示 ・
木質系セメント板の種類及び厚さ ※ 図示 ・
こまい下地
建築基準法に基づく耐力壁の指定 ・ あり (※ 図示) ・ ・

木ずり用小幅板の樹種

※ 杉 (心持ち材) ・

② モルタル塗り

(15. 3. 2, 5)

モルタル材料

・ 現場調合材料 ・ 既調合材料
既製目地材 ・ 設ける 施工箇所 () 形状 (※ 図示)

床目地

○ 設ける
工法 ※ 押し目地 ・
設置間隔 ※ 目地割り 2 m程度、最大目地間隔3m程度 ・ 図示
・ 設けない

外壁タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整材塗りの接着力試験

・ 適用する ・ 適用しない

※ 防水剤

品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等品質性能評価による評価名簿記載の製品 ・

③ 均しコンクリートの直均し仕上げ

(6. 2. 5) (表6. 2. 5) (15. 4. 1, 2)

平坦さ	適用 部 位
※ 3m につき 3mm 以下	※ 幅木廻り ・
※ 3m につき 7mm 以下	・ 合成樹脂塗床下地 ○ビニル系床材張り下地 ○フリーアクセスフロア下地 (畜敷式) ○コンクリート直均し仕上 ・ フリーアクセスフロア下地 (溝工法) ・
※ 3m につき 10mm 以下	・ カーペット張り下地 ・ 防水下地 ・ セルフレバリング材塗り下地 ・ フリーアクセスフロア下地 (パネル式) ・
※ 1m につき 10mm 以下	○タイル張り下地 ・ モルタル塗り下地 ・
※ 目視で支障のない範囲	※ 上で指定のないもの

④ 仕上塗材仕上材

(15. 6. 2)

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放数量

※ F☆☆☆☆

仕上塗材の種類

種類	呼び名	防火材料	仕上りの形状等
・ 薄付け 仕上塗材	・ 外装薄塗材Si	・	・ 砂壁状 ・ さざ波状 ・ 平たん状
	・ 可とう形外装薄塗材Si	・	・ ゆず肌状 (・ 吹付け ・ ローラー塗り)
	・ 外装薄塗材E	・	・ 凹凸状 (・ 吹付け ・ こて塗り)
	・ 可とう形外装薄塗材E	・	・ 着色色材砂壁状 (・ 吹付け ・ こて塗り)
・ 厚付け 仕上塗材	・ 内装薄塗材C	・	・ 凹凸状 (・ 吹付け ・ こて塗り)
	・ 内装薄塗材L	・	・ ゆず肌状 (・ 吹付け ・ ローラー塗り)
	・ 内装薄塗材Si	・	・ 平たん状 ・ さざ波状
	・ 内装薄塗材E	・	・ 砂壁状じゅらく ・ 京壁状じゅらく
・ 複層 仕上塗材	・ 内装薄塗材H	・	・ 吸放湿性 ・ 適用する ・ 適用しない
	・ 外装厚塗材C	・	・ 吹出し ・ 凸部処理 ・ かき落とし
	・ 外装厚塗材Si	・	・ 平たん状 (・ こて塗り ・ ローラー塗り)
	・ 外装厚塗材E	・	・ 凹凸状 (・ こて塗り ・ ローラー塗り)
・ 複層 仕上塗材	・ 上塗材	・	・ ひき起こし (・ こて塗り ・ ローラー塗り)
	・ 内装厚塗材C	・	・ 吹出し ・ 凸部処理 ・ かき落とし
	・ 内装厚塗材L	・	・ 平たん状 (・ こて塗り ・ ローラー塗り)
	・ 内装厚塗材G	・	・ 凹凸状 (・ こて塗り ・ ローラー塗り)
・ 複層 仕上塗材	・ 内装厚塗材Si	・	・ ひき起こし (・ こて塗り ・ ローラー塗り)
	・ 内装厚塗材E	・	・ 吸放湿性 ・ 適用する ・ 適用しない
	・ 複層塗材CE	・	・ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸状
	・ 可とう形複層塗材CE	・	・ 耐候性 ※ 耐候形3種 ・ 上塗材
・ 複層 仕上塗材	・ 複層塗材Si	・	・ 溶媒 ※ 水系 ・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系
	・ 複層塗材RE	・	・ 樹脂 ※ アクリル系 ・
	・ 防水形複層塗材CE	・	・ 外観 ※ つやあり ・ つやなし
	・ 防水形複層塗材E	・	・ メタリック
・ 軽量骨材 仕上塗材	・ 防水形複層塗材RE	・	
	・ 防水形複層塗材RS	・	

○3フック2液フッ素樹脂塗装

5. マスチック塗材塗り

(15. 7. 2)

種別

・ A種 ・ B種

6. しつくい塗り

(15. 10. 1～4)

下地

※標仕15. 10. 1による ・ 図示

材料

・ 低弾性しつくい (色しつくい)の適用 ・ あり ・ なし
・ 現場調合

調査及び塗厚

既調合しつくい材料 ※標仕15. 10. 3 (1) (7) ～ (7)による ・ 図示
現場調合 ※標仕表15. 10. 3, 4による ・ 図示

工法

既調合しつくいの上塗り仕上げ工法 ・ なで切り仕上げ ・ パターン仕上げ

7. こまい壁塗り

(15. 11. 2～8)

※ 標仕15. 11. 2～8によるものとし必要に応じて図示

8. ロックウール吹付け

(15. 12. 2, 3)

ロックウールのホルムアルデヒド放数量

※ F☆☆☆☆

接着剤のホルムアルデヒド放数量

※ F☆☆☆☆

吹付け厚さ (mm)

・ 図示 ・ 25 ・

16 建具工事

① 防火戸

(16. 1. 3)

※ 建具表による ・

2. 見本の製作等

(16. 1. 4)

建具見本の製作 ・ 行う (建具符号:) ・ 行わない
特殊な建具の仮組 ・ 行う (建具符号:) ・ 行わない

3. 防犯建物部品

(16. 1. 6)

・ 適用する (※ 建具表による)
・ 適用しない

④ アルミニウム製建具

(16. 2. 2～5) (表16. 2. 1, 2)

性能等級

耐風圧性、気密性及び水密性の等級
外部に面する建具 ・ A種 (建具符号: ※ 建具表による)
・ B種 (建具符号: ※ 建具表による)
・ C種 (建具符号: ※ 建具表による)
・ D種 (建具符号: ※ 建具表による)
・ E種 (建具符号: ※ 建具表による)

防音ドアセット、防音サッシ

・ 適用する 遮音性の等級 ()
(建具符号: ※ 建具表による)
・ 適用しない

断熱ドアセット、断熱サッシ

・ 適用する 断熱性の等級 ()
(建具符号: ※ 建具表による)
・ 適用しない

枠の見込み寸法

※ 建具表による ・ 70 ・ 100

ステンレス鋼板

※ SUS304, SUS430J1又はSUS443J1

ステンレス製のくつずりの仕上げ

※ HL

表面処理

外部に面する建具 ・ BB-1種 ○BB-2種 ・
皮膜等の種類 (※ 標仕表14. 2. 1による)
着色 (○標準色 ・ 特注色)
・ BC-1種 ○BC-2種
皮膜等の種類 (※ 標仕表14. 2. 1による)
着色 (○標準色 ・ 特注色)

屋内の建具

皮膜等の種類 (※ 標仕表14. 2. 1による)
着色 (○標準色 ・ 特注色)

結露水の処理方法

※ 排水式 ・ 水貯め式 ・

水切り板、ぜん板

※ 図示

木下地の場合の目付け建具

・ 適用する ・ 適用しない

品質・性能

※ 建築材料・設備機材等品質性能評価による評価名簿記載の製品 ・

⑤ 網戸等

(16. 2. 3)

種類	材 種	線 径	網 目
○防虫網	※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ○ステンレス (SUS316) 製	※ 0. 25mm以上	※ 16～18メッシュ

6. 樹脂製建具

(16. 2. 5) (16. 3. 2～5) (表16. 3. 1～3)

性能等級

耐風圧性、気密性及び水密性の等級
外部に面する建具 ・ A種 (建具符号: ※ 建具表による)
・ B種 (建具符号: ※ 建具表による)
・ C種 (建具符号: ※ 建具表による)
・ D種 (建具符号: ※ 建具表による)
・ E種 (建具符号: ※ 建具表による)

防音ドアセット、防音サッシ

・ 適用する 遮音性の等級 (・ T-1 ・ T-2)
(建具符号: ※ 建具表による)
・ 適用しない

断熱ドアセット、断熱サッシ

・ 適用する 断熱性の等級 (・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 ・ H-7 ・ H-8)
(建具符号: ※ 建具表による)
・ 適用しない

外部に面する建具の日射取得率の等級 (・) (建具符号: ※ 建具表による)

ガラス

※ 複層ガラス ・ 単層ガラス ・ 三層ガラス

ステンレス製のくつずりの仕上げ

※ HL

枠の見込み寸法

※ 建具表による

表面色

※ 標準色 ・ 特注色

水切り板、ぜん板

※ 図示

品質・性能

※ 建築材料・設備機材等品質性能評価による評価名簿記載の製品 ・

⑦ 鋼製建具

(16. 2. 2) (16. 4. 2～4) (16. 4. 6) (表16. 4. 2)

性能等級

簡易気密型 (ドアセット) ・ 適用する (建具符号: ※ 建具表による)
・ 適用しない

外部に面する建具の耐風圧性

○S-4 (建具符号: ※ 建具表による)
・ S-5 (建具符号: ※ 建具表による)
・ S-6 (建具符号: ※ 建具表による)

防音ドアセット、防音サッシ

・ 適用する 遮音性の等級 ()
(建具符号: ※ 建具表による)
・ 適用しない

断熱ドアセット、断熱サッシ

・ 適用する 断熱性の等級 ()
(建具符号: ※ 建具表による)
・ 適用しない

耐震ドアセット

・ 適用する 面内変形追随性の等級 ()
(建具符号: ※ 建具表による)
・ 適用しない

ステンレス鋼板

※ SUS304, SUS430J1又はSUS443J1

ステンレス製のくつずりの仕上げ

※ HL

鋼板類の厚さ

※標仕表16. 4. 2による

片開き、親子開き及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さがい2. 400mmを超える場合

鋼板厚み

※ 図示

標準型鋼製建具の形式及び寸法

※ 建具表による

品質・性能

※ 建築材料・設備機材等品質性能評価による評価名簿記載の製品 ・

⑧ 鋼製軽量建具

(16. 2. 2) (16. 5. 2～4) (16. 5. 6) (表16. 5. 1)

性能等級

簡易気密型 (ドアセット) ・ 適用する (建具符号: ※ 建具表による)
・ 適用しない

防音ドアセット、防音サッシ

・ 適用する 遮音性の等級 ()
(建具符号: ※ 建具表による)
・ 適用しない

断熱ドアセット、断熱サッシ

・ 適用する 断熱性の等級 ()
(建具符号: ※ 建具表による)
・ 適用しない

耐震ドアセット

・ 適用する 面内変形追随性の等級 ()
(建具符号: ※ 建具表による)
・ 適用しない

材料

ステンレス鋼板 ※ SUS304, SUS430J1又はSUS443J1
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL
鋼板 ※ 亜鉛めっき鋼板 ○ビニル被膜鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板
召合せ、縦小口包み板の材質 ※ 鋼板
鋼板の厚さ ※ 標仕表16. 5. 1による ・ 建具表による
片開き、親子開き及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さがい2. 400mmを超える場合
鋼板厚み ※ 図示

標準型鋼製建具の形式及び寸法

※ 建具表による

品質・性能

※ 建築材料・設備機材等品質性能評価による評価名簿記載の製品 ・

9. ステンレス製建具

(16. 2. 2) (16. 4. 2) (16. 6. 2～5)

性能等級

耐風圧性、気密性及び水密性の等級
耐風圧性の等級 () (建具符号: ※ 建具表による)
気密性の等級 () (建具符号: ※ 建具表による)
水密性の等級 () (建具符号: ※ 建具表による)
防音ドアセット、防音サッシ ・ 適用する 遮音性の等級 ()
(建具符号: ※ 建具表による)
・ 適用しない
断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 適用する 断熱性の等級 ()
(建具符号: ※ 建具表による)
・ 適用しない
耐震ドアセット ・ 適用する 面内変形追随性の等級 ()
(建具符号: ※ 建具表による)
・ 適用しない
鋼板 ※ SUS430J1L, SUS443J1, SUS304 ・
表面仕上げ ※ HL仕上げ ・ 鏡面仕上げ ・
ステンレス鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ
品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等品質性能評価による評価名簿記載の製品 ・

⑩ 木製建具

(16. 7. 2～4)

建具材の加工、組立時の含水率

※ A種 ・ B種

建物内部の木製建具に使用する材料、接着剤、塗料のホルムアルデヒド放数量

※ F☆☆☆☆又は規制対象外

○フラッシュ戸

接着の程度

水増かり箇所 (※ 1類) その他 (※ 2類)

表面材の合板の種類

合板の種類	規 格 等	表面板の厚さ (mm)	備 考
・ 普通合板	板面の品質 広葉樹 ※1等 ・ 針葉樹 ・ 樹種名 ()	※ 2. 5以上	
・ 天然木 化粧合板	樹種名 ()	※ 3. 2以上	
○特殊加工 化粧合板	化粧加工の方法 (○オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装) 表面性能 (・ F ○FW ・ W ・ SW) タイプ	※ 2. 4以上	
・ MDF	表裏面の状態による区分 () 曲げ強さによる区分 () 接着剤による区分 () 難燃性による区分 ()		

召し合わせかまのいんう付け

・ なし ・ あり

○かまち戸

かまち樹種 (図示) 鏡板樹種 (図示)

・ ふすま

見込み寸法

※ 36mm

○建具表による

張りの種類 (・ I型 ・ II型)

上張り ・ 鳥の子 ・ 新鳥の子又はビニル紙程度

押入等の裏側は雲花紙程度

縁土子 ・ 塗り縁

生地縁 (素地) ・ 生地縁 (クレタックリヤー塗装)

見込み寸法

※ 19. 5mm

・ 建具表による

・ 戸ぶすま

見込み寸法

※ 30mm

・ 建具表による

・ 紙張り障子

見込み寸法

※ 30mm

・ 建具表による

枠、くつずりの材料

※ 建具表による

⑪ 建具用金物

(16. 8. 2, 3) (表16. 8. 1～5)

金物の種類・見え掛り部の材質等

※ 標仕表16. 8. 1及び適用は建具表による

建具に使用する丁番の枚数及び大きさ

※ 標仕表16. 8. 2～4による

・ 建具表による

木製建具に使用する戸車とレール

※ 標仕表16. 8. 5による

・ 建具表による

縦引き玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置

※ 建具表による

○錠前類

シリンドラサイド ※ 外側シリンドラー、内側サムターン ・ 建具表による ・
実用性能項目 (JIS A 1541-1及びJIS A 1541-2による)
耐じん性能 ・ グレード1 ○グレード2
デッドボルトの寸法 ○グレード3 (17mm) 以上 ・
その他の性能項目はグレード3とする。また錠による施錠が可能なものはマスターキー、グラウンドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーステムが構築できるものとする。
品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等品質性能評価による評価名簿記載の製品 ・
○クローザー類
ディードアクション (遅延閉)機能 ※ 建具表による ○あり ・ なし
品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等品質性能評価による評価名簿記載の製品 ・

⑫ 鍵

(16. 8. 4)

キーステムの種類、構成

○錠製作時に監督員より指示する

マスターキー

○錠製作する ・ 製作しない

鍵の引き渡し

※ 錠1に対し対応する鍵3本を1組とし、室名札を付け、一括して鍵箱に収納して引き渡す。鍵箱は、鍵の個数に相応した鋼製の既製品とする

13. 自動ドア開閉機構

(16. 9. 2, 3)

自動ドア	性 能	防 錆	検出装置の性能と種類	凍結防止
・ SSLO-1	※ 標仕表	・ 適用する	性能 ※表16. 9. 3iによる	・ 行う (適用箇所は建具表による) ・ 行わない
・ SSLO-2	16. 9. 1iによる		・ 光線 (反射) センサー	
・ SSLO-1			・ 音波センサー	
・ SSLO-2			・ 光電センサー	
・ 車椅子使用者用便所出入口	※ 標仕表16. 9. 2iによる	・ 適用しない	・ 電波センサー	
・ 図示			・ タッチスイッチ (・ 無線式 ・ 光線式) ・ 押しボタンスイッチ ・ 車椅子使用後使用後スイッチ (・ 押しボタン ・ 非接触)	

品質・性能

※ 建築材料・設備機材等品質性能評価による評価名簿記載の製品 ・

⑬ 自閉式吊り引装置

(16. 10. 3) (表16. 10. 1)

性能

※ 標仕表 16. 10. 1 による

品質・性能

※ 建築材料・設備機材等品質性能評価による評価名簿記載の製品 ・

Architectural specification form for building construction. It includes sections for:
1. General Information (Project Name, Address, etc.)
2. Structural Materials (Concrete, Steel, etc.)
3. Thermal Insulation (Walls, Roofs, Floors)
4. Acoustic Insulation (Walls, Roofs, Floors)
5. Fire Protection (Fireproofing, Fire Alarms, etc.)
6. Electrical and Mechanical Systems (Lighting, HVAC, etc.)
7. Finishes (Paints, Tiles, etc.)
8. Safety and Security (Fences, Gates, etc.)
9. Environmental Protection (Waterproofing, etc.)
10. Miscellaneous (Other requirements, etc.)

ユニット及びその他の工事（続き）

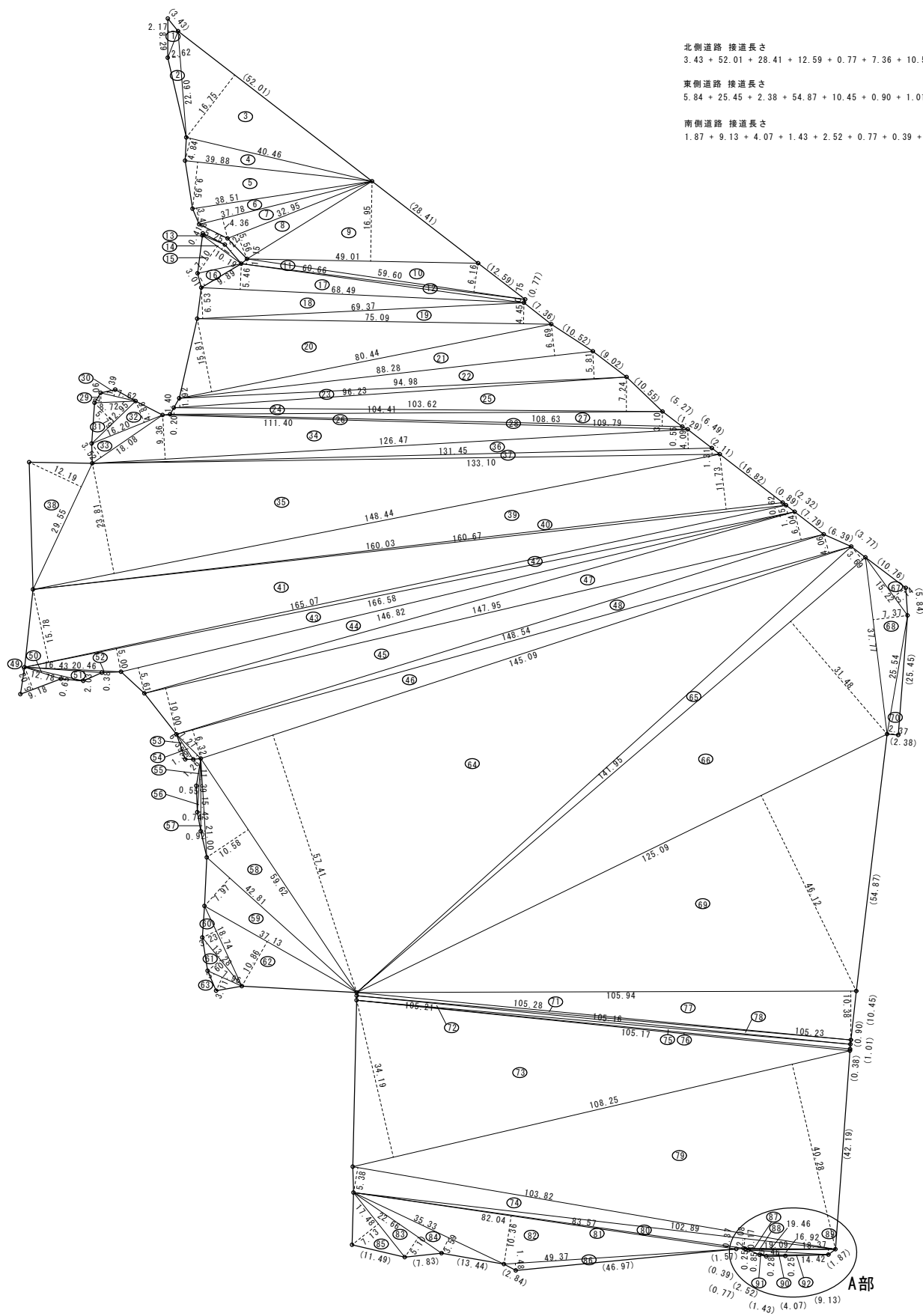
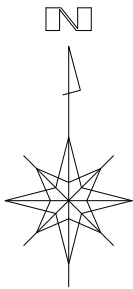
29	車止めの支柱	<table><tr><th>形 式</th><th>材 種</th><th>柱径・肉厚 (mm)</th><th>高 さ (mm)</th></tr><tr><td>・ 上下式顔内式</td><td>・ 標準品</td><td>・ ステンレス製</td><td>・</td></tr><tr><td>・ スプリング式</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>○ 図示</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	形 式	材 種	柱径・肉厚 (mm)	高 さ (mm)	・ 上下式顔内式	・ 標準品	・ ステンレス製	・	・ スプリング式	・	・	・	○ 図示																																							
		形 式	材 種	柱径・肉厚 (mm)	高 さ (mm)																																																	
・ 上下式顔内式	・ 標準品	・ ステンレス製	・																																																			
・ スプリング式	・	・	・																																																			
○ 図示																																																						
⑩	フェンス	フェンスの種類 ・ ビニル被覆エキスパンドフェンス ・ 樹脂塗装メッシュフェンス ・ 鋼管フェンス ○ アルミ目隠しフェンス 高 さ ○ 図示 ・	○ スチール目隠しフェンス ○ 歩道用ガードフェンス																																																			
31.	鋼製書架及び物品棚	<table><tr><th>種 類</th><th>規 格 等</th><th>JIS による種類</th></tr><tr><td>・ 鋼製書架</td><td>JIS S 1039 の規格による</td><td>・ 1種</td></tr><tr><td>・ 鋼製物品棚</td><td></td><td>・ 2種</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・ 3種</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・ 4種</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・ 5種</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・ 6種</td></tr></table>	種 類	規 格 等	JIS による種類	・ 鋼製書架	JIS S 1039 の規格による	・ 1種	・ 鋼製物品棚		・ 2種			・ 3種			・ 4種			・ 5種			・ 6種																															
種 類	規 格 等	JIS による種類																																																				
・ 鋼製書架	JIS S 1039 の規格による	・ 1種																																																				
・ 鋼製物品棚		・ 2種																																																				
		・ 3種																																																				
		・ 4種																																																				
		・ 5種																																																				
		・ 6種																																																				
32.	屋外掲示板	枠の材質 ※ アルミニウム製 表面の材質 ※ 塩化ビニルシート張り 照明器具 ※ 有り ・ 無し 施 錠 ※ 有り ・ 無し 製 造 所 ・																																																				
33.	洗面カウンター	材 種 メラミン樹脂化粧板張り (心材:集成材) ・ 人工大理石 奥行き (mm) ・ 約 450 ・ 約 600																																																				
34.	防蟻遮れ壁	・ 固定式 <table><tr><th>材 質</th><th>厚 さ (mm)</th><th>高 さ (mm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>※ 納入り磨板ガラス</td><td>※ 6.8</td><td>※ 500</td><td>アルミ製枠付き</td></tr><tr><td>・ 納入り磨板ガラス</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> ・ 可動式 <table><tr><th>種 類</th><th>材 質</th><th>高 さ (mm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ 垂直降下式 (巻取り型)</td><td>※ 不燃布 (不燃認定品)</td><td>※ 500</td><td>ガイドレール</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・ 900</td><td>※ 固定式 (壁埋込型)</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・</td><td>・ 可動式 (天井収納型)</td></tr><tr><td>・ 回転降下式</td><td>鋼板製又はアルミ製</td><td>※ 500</td><td>表面仕上げ</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・ 800</td><td>※ 天井材張り</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td></tr></table> 降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込型)	材 質	厚 さ (mm)	高 さ (mm)	備 考	※ 納入り磨板ガラス	※ 6.8	※ 500	アルミ製枠付き	・ 納入り磨板ガラス	・	・	・	種 類	材 質	高 さ (mm)	備 考	・ 垂直降下式 (巻取り型)	※ 不燃布 (不燃認定品)	※ 500	ガイドレール			・ 900	※ 固定式 (壁埋込型)			・	・ 可動式 (天井収納型)	・ 回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※ 500	表面仕上げ			・ 800	※ 天井材張り			・	・												
材 質	厚 さ (mm)	高 さ (mm)	備 考																																																			
※ 納入り磨板ガラス	※ 6.8	※ 500	アルミ製枠付き																																																			
・ 納入り磨板ガラス	・	・	・																																																			
種 類	材 質	高 さ (mm)	備 考																																																			
・ 垂直降下式 (巻取り型)	※ 不燃布 (不燃認定品)	※ 500	ガイドレール																																																			
		・ 900	※ 固定式 (壁埋込型)																																																			
		・	・ 可動式 (天井収納型)																																																			
・ 回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※ 500	表面仕上げ																																																			
		・ 800	※ 天井材張り																																																			
		・	・																																																			
⑤	収納家具	材質・形状・寸法 ※ 図示 合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量 ※ 規制対象外																																																				
21	排水工事	① 共通事項 基礎の厚さ ※ 100mm ○ 図示 砂地業 材料 ※ 山砂 ・ 川砂 品質 シルト、有機物等の混入しない綿密に選した砂とする 砂利地業 材料 ※ 再生クラッシュラン ・ 切込砂利又は切込砕石 基礎等に用いるコンクリートの割合 ※ 設計基準強度を 18N/mm ² 、スランプ15cm又は18cmとする。 但しコンクリートが軽易な場合、割合を容積比で セメント1： 砂2： 砂利4程度とすることができる。 ・ 図示 鉄筋 ※S295 凍上抑制層に用いる材料 ・ 砂 (標仕表21.2.2)による) ・ 再生クラッシュラン ・ 切込砂利又は切込砕石 埋め戻しの土質 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 砂の粒度試験の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	(21.2.1)																																																			
	② 屋外雨水排水	排水管 <table><tr><th>材 種</th><th>管の種類</th><th>形状</th><th>呼び径</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ 連心力鉄筋コンクリート管</td><td>・ 外圧管 (1種)</td><td>・ B形管</td><td>※ 図示</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td>※ VP</td><td>※ 図示</td><td>・</td></tr><tr><td>○ 硬質ポリ塩化ビニル管</td><td>・ VU</td><td>※ 図示</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td>・ RS-VU</td><td>※ 図示</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (継手)</td><td>・ DV</td><td>※ 図示</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> 硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※ 接着剤 ・ ゴム輪 側溝 (JIS A 5372 推奨仕様 D1) <table><tr><th>種 類</th><th>呼 び</th></tr><tr><td>・ 斜壁</td><td>・ 600A ・ 600B ・ 600C ・ 600D ・ 900 ・ 1200</td></tr><tr><td>・ 直壁</td><td>・ 900A ・ 900B ・ 1200A ・ 1200B ・ 1500A ・ 1500B</td></tr></table> 排水溝、ふたの種類等 形状及び寸法 ※ 図示	材 種	管の種類	形状	呼び径	備 考	・ 連心力鉄筋コンクリート管	・ 外圧管 (1種)	・ B形管	※ 図示	・			※ VP	※ 図示	・	○ 硬質ポリ塩化ビニル管	・ VU	※ 図示	・	・		・ RS-VU	※ 図示	・	・	・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (継手)	・ DV	※ 図示	・	・	種 類	呼 び	・ 斜壁	・ 600A ・ 600B ・ 600C ・ 600D ・ 900 ・ 1200	・ 直壁	・ 900A ・ 900B ・ 1200A ・ 1200B ・ 1500A ・ 1500B	(21.2.1、2) (表 21.2.1)															
材 種	管の種類	形状	呼び径	備 考																																																		
・ 連心力鉄筋コンクリート管	・ 外圧管 (1種)	・ B形管	※ 図示	・																																																		
		※ VP	※ 図示	・																																																		
○ 硬質ポリ塩化ビニル管	・ VU	※ 図示	・	・																																																		
	・ RS-VU	※ 図示	・	・																																																		
・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (継手)	・ DV	※ 図示	・	・																																																		
種 類	呼 び																																																					
・ 斜壁	・ 600A ・ 600B ・ 600C ・ 600D ・ 900 ・ 1200																																																					
・ 直壁	・ 900A ・ 900B ・ 1200A ・ 1200B ・ 1500A ・ 1500B																																																					
③	鉄筋製ふた	<table><tr><th>名 称</th><th>種 類</th><th>適用荷重</th><th>壁</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ 鉄筋製マンホールふた</td><td>・ 水封形 ・ 簡易密閉形 (パッキン式)</td><td>・ T-2用 ・ T-6用</td><td>・ 有り</td><td>左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会 SHASE-S209 による</td></tr><tr><td>・ 化粧マンホールふた</td><td>・ 密閉形 (テーパ・ パッキン式)</td><td>・ T-20用</td><td>・ 無し</td><td></td></tr><tr><td>・ 化粧マンホールふた</td><td>・ 中ふた付き密閉形 (テーパ・ パッキン式)</td><td>・ 図示</td><td>・ 図示</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・ RS-VU</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等々品質性能評価による評価名簿記載の製品	名 称	種 類	適用荷重	壁	備 考	・ 鉄筋製マンホールふた	・ 水封形 ・ 簡易密閉形 (パッキン式)	・ T-2用 ・ T-6用	・ 有り	左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会 SHASE-S209 による	・ 化粧マンホールふた	・ 密閉形 (テーパ・ パッキン式)	・ T-20用	・ 無し		・ 化粧マンホールふた	・ 中ふた付き密閉形 (テーパ・ パッキン式)	・ 図示	・ 図示			・ RS-VU				(21.2.1)																										
名 称	種 類	適用荷重	壁	備 考																																																		
・ 鉄筋製マンホールふた	・ 水封形 ・ 簡易密閉形 (パッキン式)	・ T-2用 ・ T-6用	・ 有り	左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会 SHASE-S209 による																																																		
・ 化粧マンホールふた	・ 密閉形 (テーパ・ パッキン式)	・ T-20用	・ 無し																																																			
・ 化粧マンホールふた	・ 中ふた付き密閉形 (テーパ・ パッキン式)	・ 図示	・ 図示																																																			
	・ RS-VU																																																					
④	グレーチング	<table><tr><th>材 質</th><th>形 式</th><th>用 途</th><th>適用荷重</th><th>メインバーピッチ</th><th>垂裕めつき (付着量)</th><th>上面形状</th></tr><tr><td rowspan="4">○ 鋼製</td><td rowspan="4">○ 受枠付き、ボルト固定</td><td>○ 溝ふた (横断用)</td><td>・ 歩行用</td><td>・ 細目</td><td>・ ()</td><td>・ 凹凸形</td></tr><tr><td>○ 溝ふた (側溝用)</td><td>・ T-2用 ・ T-6用</td><td>・ 普通目</td><td>・ ()</td><td>・ 平形</td></tr><tr><td>○ 樹ふた用 U字溝用</td><td>・ T-14用 ・ T-20用</td><td>○ 細目</td><td></td><td>・</td></tr><tr><td>・ 図示</td><td>○ 図示</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">・ ステンレス製</td><td rowspan="4">・ 受枠付き、ボルト固定</td><td>・ 溝ふた (横断用)</td><td>・ 歩行用</td><td>-</td><td>-</td><td>・ 凹凸形</td></tr><tr><td>・ 溝ふた (側溝用)</td><td>・ T-2用 ・ T-6用</td><td>-</td><td>-</td><td>・ 平形</td></tr><tr><td>・ 樹ふた用 U字溝用</td><td>・ T-14用 ・ T-20用</td><td>-</td><td>-</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 図示</td><td>・ 図示</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等々品質性能評価による評価名簿記載の製品	材 質	形 式	用 途	適用荷重	メインバーピッチ	垂裕めつき (付着量)	上面形状	○ 鋼製	○ 受枠付き、ボルト固定	○ 溝ふた (横断用)	・ 歩行用	・ 細目	・ ()	・ 凹凸形	○ 溝ふた (側溝用)	・ T-2用 ・ T-6用	・ 普通目	・ ()	・ 平形	○ 樹ふた用 U字溝用	・ T-14用 ・ T-20用	○ 細目		・	・ 図示	○ 図示				・ ステンレス製	・ 受枠付き、ボルト固定	・ 溝ふた (横断用)	・ 歩行用	-	-	・ 凹凸形	・ 溝ふた (側溝用)	・ T-2用 ・ T-6用	-	-	・ 平形	・ 樹ふた用 U字溝用	・ T-14用 ・ T-20用	-	-	・	・ 図示	・ 図示				(21.2.1)
材 質	形 式	用 途	適用荷重	メインバーピッチ	垂裕めつき (付着量)	上面形状																																																
○ 鋼製	○ 受枠付き、ボルト固定	○ 溝ふた (横断用)	・ 歩行用	・ 細目	・ ()	・ 凹凸形																																																
		○ 溝ふた (側溝用)	・ T-2用 ・ T-6用	・ 普通目	・ ()	・ 平形																																																
		○ 樹ふた用 U字溝用	・ T-14用 ・ T-20用	○ 細目		・																																																
		・ 図示	○ 図示																																																			
・ ステンレス製	・ 受枠付き、ボルト固定	・ 溝ふた (横断用)	・ 歩行用	-	-	・ 凹凸形																																																
		・ 溝ふた (側溝用)	・ T-2用 ・ T-6用	-	-	・ 平形																																																
		・ 樹ふた用 U字溝用	・ T-14用 ・ T-20用	-	-	・																																																
		・ 図示	・ 図示																																																			

	街きよ、緑石、側溝	<table><tr><th>種 類</th><th>形状、寸法</th></tr><tr><td>○ 緑石</td><td>○ 片側歩道境界ブロック ・ A ・ B ・ C ○ 図示 ・ 両側歩道境界ブロック ・ A ・ B ・ C ・ 図示 ○ 地先境界ブロック ・ A ・ B ・ C ○ 図示 ・ プレキャスト無筋 ・ 250A ・ 250B ・ 図示 ・ プレキャスト鉄筋 1種 ・ 250A ・ 250B ・ 300 ・ 350 ・ 図示 2種 ・ 500A ・ 500B ・ 500C ・ 500D ・ 図示</td></tr><tr><td>・ L形側溝</td><td>1種 ・ 150 ・ 180 ・ 240 ・ 300A ・ 360A ・ 360B ・ 450 ・ 600 ・ 図示 2種 ・ 150 ・ 180 ・ 240 ・ 300A ・ 360A ・ 360B ・ 450 ・ 600 ・ 図示</td></tr><tr><td>・ U形側溝</td><td></td></tr><tr><td>・ U形側溝ふた</td><td></td></tr><tr><td>○ 自由勾配側溝</td><td>※ 図示</td></tr><tr><td>砂利地業の厚さ</td><td>※ 100 (mm) ○ 図示</td></tr></table>	種 類	形状、寸法	○ 緑石	○ 片側歩道境界ブロック ・ A ・ B ・ C ○ 図示 ・ 両側歩道境界ブロック ・ A ・ B ・ C ・ 図示 ○ 地先境界ブロック ・ A ・ B ・ C ○ 図示 ・ プレキャスト無筋 ・ 250A ・ 250B ・ 図示 ・ プレキャスト鉄筋 1種 ・ 250A ・ 250B ・ 300 ・ 350 ・ 図示 2種 ・ 500A ・ 500B ・ 500C ・ 500D ・ 図示	・ L形側溝	1種 ・ 150 ・ 180 ・ 240 ・ 300A ・ 360A ・ 360B ・ 450 ・ 600 ・ 図示 2種 ・ 150 ・ 180 ・ 240 ・ 300A ・ 360A ・ 360B ・ 450 ・ 600 ・ 図示	・ U形側溝		・ U形側溝ふた		○ 自由勾配側溝	※ 図示	砂利地業の厚さ	※ 100 (mm) ○ 図示																																						
種 類	形状、寸法																																																					
○ 緑石	○ 片側歩道境界ブロック ・ A ・ B ・ C ○ 図示 ・ 両側歩道境界ブロック ・ A ・ B ・ C ・ 図示 ○ 地先境界ブロック ・ A ・ B ・ C ○ 図示 ・ プレキャスト無筋 ・ 250A ・ 250B ・ 図示 ・ プレキャスト鉄筋 1種 ・ 250A ・ 250B ・ 300 ・ 350 ・ 図示 2種 ・ 500A ・ 500B ・ 500C ・ 500D ・ 図示																																																					
・ L形側溝	1種 ・ 150 ・ 180 ・ 240 ・ 300A ・ 360A ・ 360B ・ 450 ・ 600 ・ 図示 2種 ・ 150 ・ 180 ・ 240 ・ 300A ・ 360A ・ 360B ・ 450 ・ 600 ・ 図示																																																					
・ U形側溝																																																						
・ U形側溝ふた																																																						
○ 自由勾配側溝	※ 図示																																																					
砂利地業の厚さ	※ 100 (mm) ○ 図示																																																					
22 舗装工事	① 路床	<table><tr><th>層の適用、材料、厚層</th><th>材 料</th><th>厚 さ (mm)</th></tr><tr><td>種 別</td><td>材 料</td><td>厚 さ (mm)</td></tr><tr><td>・ 盛土</td><td>・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種</td><td>・ 図示</td></tr><tr><td>○ 凍上抑制層</td><td>※ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 砂 (・ 川砂 ・ 海砂 ・ 山砂)</td><td>○ 図示</td></tr><tr><td>・ フィルター層</td><td>・ 砂 (・ 川砂 ・ 海砂 ・ 山砂)</td><td>※ 100</td></tr></table> 使用する砂は、粒度は標仕表21.2.2により、シルト・有機物等の混入しない綿密めに選したものである。 路床安定処理 ・ 添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 (・ 特号・1号) ・ 消石灰 (・ 特号・1号) 添加量 () kg (目標CBR・5以上) 試験の適用 砂の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない 路床土の支持力比(CBR)試験 ・ 行う ・ 行わない 砂置換法による土の密度試験 ・ 行う ・ 行わない 現場CBR試験 ・ 行う ・ 行わない	層の適用、材料、厚層	材 料	厚 さ (mm)	種 別	材 料	厚 さ (mm)	・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	・ 図示	○ 凍上抑制層	※ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 砂 (・ 川砂 ・ 海砂 ・ 山砂)	○ 図示	・ フィルター層	・ 砂 (・ 川砂 ・ 海砂 ・ 山砂)	※ 100																																					
層の適用、材料、厚層	材 料	厚 さ (mm)																																																				
種 別	材 料	厚 さ (mm)																																																				
・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	・ 図示																																																				
○ 凍上抑制層	※ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 砂 (・ 川砂 ・ 海砂 ・ 山砂)	○ 図示																																																				
・ フィルター層	・ 砂 (・ 川砂 ・ 海砂 ・ 山砂)	※ 100																																																				
	② 路盤	<table><tr><td>路盤の厚さ</td><td>○ 図示</td><td>(22.3.2~3)(表22.3.1)</td></tr><tr><td>路盤材料</td><td>・ クラッシュラン ・ 粒度調整砕石 ・ 再生クラッシュラン ・ 再生粒度調整砕石 ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ ・ 粒度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ ・ 図示</td><td></td></tr><tr><td>品質</td><td>※ 標仕表22.3.1による</td><td>・ 図示</td></tr><tr><td>試験の適用</td><td></td><td></td></tr><tr><td>突固めによる土の綿密な試験</td><td>※ 行う</td><td></td></tr><tr><td>路盤の厚さ</td><td>※ 500mm毎1箇所</td><td></td></tr><tr><td>砂置換法による土の密度試験</td><td>※ 行う (1000mm以下3か所、1000mmを超える場合1000mmごと1か所追加する)</td><td></td></tr></table>	路盤の厚さ	○ 図示	(22.3.2~3)(表22.3.1)	路盤材料	・ クラッシュラン ・ 粒度調整砕石 ・ 再生クラッシュラン ・ 再生粒度調整砕石 ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ ・ 粒度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ ・ 図示		品質	※ 標仕表22.3.1による	・ 図示	試験の適用			突固めによる土の綿密な試験	※ 行う		路盤の厚さ	※ 500mm毎1箇所		砂置換法による土の密度試験	※ 行う (1000mm以下3か所、1000mmを超える場合1000mmごと1か所追加する)																																
路盤の厚さ	○ 図示	(22.3.2~3)(表22.3.1)																																																				
路盤材料	・ クラッシュラン ・ 粒度調整砕石 ・ 再生クラッシュラン ・ 再生粒度調整砕石 ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ ・ 粒度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ ・ 図示																																																					
品質	※ 標仕表22.3.1による	・ 図示																																																				
試験の適用																																																						
突固めによる土の綿密な試験	※ 行う																																																					
路盤の厚さ	※ 500mm毎1箇所																																																					
砂置換法による土の密度試験	※ 行う (1000mm以下3か所、1000mmを超える場合1000mmごと1か所追加する)																																																					
	③ アスファルト舗装	<table><tr><td>アスファルト舗装の構成及び厚さ</td><td>※ 図示</td><td>(22.4.2~6)(表22.4.1、4)</td></tr><tr><td>材料</td><td>・ 再生アスファルト (標仕表22.4.1による種類 ・ 60~80 ・ 80~100) ・ ストレートアスファルト</td><td></td></tr><tr><td>骨材</td><td>・ 道路用砕石 ・ アスファルトコンクリート再生骨材</td><td></td></tr><tr><td>加熱アスファルト混合物等の種類</td><td></td><td></td></tr><tr><td>区 分</td><td>地 域</td><td>種 類</td></tr><tr><td rowspan="2">表層</td><td>・ 一般地域</td><td>・ 密粒度アスファルト混合物(13) ・ 細粒度アスファルト混合物(13)</td></tr><tr><td>※ 寒冷地域</td><td>※ 密粒度アスファルト混合物(13F)</td></tr></table> シールコートの施工 ・ 行う ・ 行わない 試験 切り取り試験 ※ 行う (2000mm以下3個、2000mmを超える場合は2000mmごとに1か所追加する) アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない 舗装の平坦性 ※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度	アスファルト舗装の構成及び厚さ	※ 図示	(22.4.2~6)(表22.4.1、4)	材料	・ 再生アスファルト (標仕表22.4.1による種類 ・ 60~80 ・ 80~100) ・ ストレートアスファルト		骨材	・ 道路用砕石 ・ アスファルトコンクリート再生骨材		加熱アスファルト混合物等の種類			区 分	地 域	種 類	表層	・ 一般地域	・ 密粒度アスファルト混合物(13) ・ 細粒度アスファルト混合物(13)	※ 寒冷地域	※ 密粒度アスファルト混合物(13F)																																
アスファルト舗装の構成及び厚さ	※ 図示	(22.4.2~6)(表22.4.1、4)																																																				
材料	・ 再生アスファルト (標仕表22.4.1による種類 ・ 60~80 ・ 80~100) ・ ストレートアスファルト																																																					
骨材	・ 道路用砕石 ・ アスファルトコンクリート再生骨材																																																					
加熱アスファルト混合物等の種類																																																						
区 分	地 域	種 類																																																				
表層	・ 一般地域	・ 密粒度アスファルト混合物(13) ・ 細粒度アスファルト混合物(13)																																																				
	※ 寒冷地域	※ 密粒度アスファルト混合物(13F)																																																				
	4. コンクリート舗装	<table><tr><th>コンクリート舗装の厚さ</th><th>部 位</th><th>厚 さ (mm)</th><th>構 成</th></tr><tr><td rowspan="2">舗装の種類</td><td>車道部</td><td>・ 図示</td><td>・ 150</td></tr><tr><td>歩道部</td><td>※ 70</td><td>・ 図示</td></tr></table> 縁部立下り寸法等 ・ 図示 材料 コンクリート ※ 標仕表22.5.1による 早強セメント ・ 使用する ・ 使用しない 注入目地材料 ※ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ 目地 種類・間隔・構造 ※ 標仕表22.5.3及び図22.5.1による ・ 図示 試験 舗装の平坦性 ※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度	コンクリート舗装の厚さ	部 位	厚 さ (mm)	構 成	舗装の種類	車道部	・ 図示	・ 150	歩道部	※ 70	・ 図示																																									
コンクリート舗装の厚さ	部 位	厚 さ (mm)	構 成																																																			
舗装の種類	車道部	・ 図示	・ 150																																																			
	歩道部	※ 70	・ 図示																																																			
	⑤ カラー舗装	<table><tr><td>① 加熱系</td><td>表層に用いる加熱系混合物の割合</td><td>○ アスファルト混合物</td><td>・ 石油樹脂系混合物</td></tr><tr><td>構成及び厚さ(mm)</td><td>※ 図示</td><td></td><td></td></tr><tr><td>添加する顔料</td><td>○ 着色骨材 ()</td><td>・ 自然石 ()</td><td></td></tr><tr><td>結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量</td><td>※ 図示</td><td></td><td></td></tr><tr><td>試験</td><td>切り取り試験</td><td>※ 行う (2000mm以下3個、2000mmを超える場合は2000mmごとに1か所追加する)</td><td></td></tr><tr><td></td><td>アスファルト混合物等の抽出試験</td><td>・ 行う</td><td>・ 行わない</td></tr><tr><td></td><td>舗装の平坦性</td><td>※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度</td><td></td></tr><tr><td>・ 常温系</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>工法</td><td>・ ニート工法 ・ 塗布工法</td><td></td><td></td></tr><tr><td>着色部の厚さ(mm)</td><td>※ ニート工法の場合3~5、塗布工法の場合1程度以下</td><td></td><td></td></tr><tr><td>着色部の下部</td><td>・ アスファルト舗装 ・ コンクリート舗装</td><td></td><td></td></tr><tr><td>ニート工法及び塗布工法の配合等</td><td>※ 図示</td><td></td><td></td></tr><tr><td>舗装の平坦性</td><td>※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度</td><td></td><td></td></tr></table>	① 加熱系	表層に用いる加熱系混合物の割合	○ アスファルト混合物	・ 石油樹脂系混合物	構成及び厚さ(mm)	※ 図示			添加する顔料	○ 着色骨材 ()	・ 自然石 ()		結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量	※ 図示			試験	切り取り試験	※ 行う (2000mm以下3個、2000mmを超える場合は2000mmごとに1か所追加する)			アスファルト混合物等の抽出試験	・ 行う	・ 行わない		舗装の平坦性	※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度		・ 常温系				工法	・ ニート工法 ・ 塗布工法			着色部の厚さ(mm)	※ ニート工法の場合3~5、塗布工法の場合1程度以下			着色部の下部	・ アスファルト舗装 ・ コンクリート舗装			ニート工法及び塗布工法の配合等	※ 図示			舗装の平坦性	※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度		
① 加熱系	表層に用いる加熱系混合物の割合	○ アスファルト混合物	・ 石油樹脂系混合物																																																			
構成及び厚さ(mm)	※ 図示																																																					
添加する顔料	○ 着色骨材 ()	・ 自然石 ()																																																				
結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量	※ 図示																																																					
試験	切り取り試験	※ 行う (2000mm以下3個、2000mmを超える場合は2000mmごとに1か所追加する)																																																				
	アスファルト混合物等の抽出試験	・ 行う	・ 行わない																																																			
	舗装の平坦性	※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度																																																				
・ 常温系																																																						
工法	・ ニート工法 ・ 塗布工法																																																					
着色部の厚さ(mm)	※ ニート工法の場合3~5、塗布工法の場合1程度以下																																																					
着色部の下部	・ アスファルト舗装 ・ コンクリート舗装																																																					
ニート工法及び塗布工法の配合等	※ 図示																																																					
舗装の平坦性	※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度																																																					
	6. 透水性アスファルト舗装	<table><tr><td>舗装の構成</td><td>・ 図示</td><td>(22.7.2、3、6)</td></tr><tr><td>試験</td><td>切り取り試験</td><td>※ 行う (2000mm以下3個、2000mmを超える場合は2000mmごとに1か所追加する)</td></tr><tr><td></td><td>透水性アスファルト混合物等の抽出試験</td><td>・ 行う ・ 行わない</td></tr><tr><td></td><td>舗装の平坦性</td><td>※ 著しい隆起がないもの</td></tr></table>	舗装の構成	・ 図示	(22.7.2、3、6)	試験	切り取り試験	※ 行う (2000mm以下3個、2000mmを超える場合は2000mmごとに1か所追加する)		透水性アスファルト混合物等の抽出試験	・ 行う ・ 行わない		舗装の平坦性	※ 著しい隆起がないもの																																								
舗装の構成	・ 図示	(22.7.2、3、6)																																																				
試験	切り取り試験	※ 行う (2000mm以下3個、2000mmを超える場合は2000mmごとに1か所追加する)																																																				
	透水性アスファルト混合物等の抽出試験	・ 行う ・ 行わない																																																				
	舗装の平坦性	※ 著しい隆起がないもの																																																				

①	ブロック系舗装	コンクリート平板舗装	種 類	寸法 (mm)	厚 さ (mm)	クッション材	目地材	備 考
			※ 普通平板 (N)	※ 300角	・ 30	・ 砂	※ 砂	表面加工
			・ 透水平板 (P)	・ 400角	・ 60	・ 空練り	・ モルタル	・ 研ぎ出し
			・ 保水性平板 (M)	・ 450角	・ 80	・ 空練り	・ モルタル	・ 洗い出し
			・	・ 500角				・ たたき出し
			○ インターロッキングブロック舗装					
			種 類	厚 さ (mm)		曲げ強度 (N/mm ²)		備 考
			※ 普通ブロック (N)					色彩、表面加工
			・ 透水ブロック (P)	車道部	※ 80	※ 5.0		・ 標準品
			・ 保水性ブロック (M)	歩道部	※ 60	※ 3.0		
			・ 舗石舗装					
			種 類	寸法 (mm)	厚 さ (mm)	施工方法	基 層	
							材 質	厚 さ (mm)
			・ 小舗石 (花こう岩)			・ うろこ張り	・ アスファルト混合物	50
			・			・	・ コンクリート版	70
			・					
			クッション材 ○ 砂 ・ 空練りモルタル					
			仕上り面の平坦性					
			※ 歩行に支障となる段差がないもの					
			コンクリート平板間の段差、インターロッキングブロック間の段差及び舗石間の段差は3mm以内					
			・					
④	砂利敷き	種別	(22.10.2.3)					
		○ A種 (施工範囲: ※ 通路	・ 図示				・	
		・ B種 (施工範囲: ※ 建物周囲	・ 図示				・	
⑤	路面表示用塗料	JIS K 5665 (路面標示用塗料) による						
		種 類	施 工	適 用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)	
		・ 1種	常温	液状	○ 白 ・ 橙	・ 150	・ 1.0	
		・ 2種	加熱					
		○ 3種 1号	溶融	粉体状	・	○ 100	・	
		・ 低揮発性有機溶剤系の路面標示用水性塗料						
23	植栽及び屋上緑化工事	1. 植栽地の確認等	土壌の水素イオン濃度 (pH) 試験 ・ 行う ・ 行わない (23.1.3)					
			水溶性塩類による電気伝導率 (EC) の試験 ・ 行う ・ 行わない					
		2. 植栽基盤の整備	植栽基盤の整備 ・ 適用する ・ 適用しない (23.2.2) (表23.2.2)					
			植 栽	工 法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲	土壌改良材	
			・ 樹木	※ A種	樹高12m以上 (※ 100 ・ 120 ・ 150)	・ 表層部分	・ 適用する	
				B種	樹高7m以上～12m未満 (※ 80 ・ 100)	・ 植栽部分		
				C種	樹高3m以上～7m未満 (※ 60 ・ 80)	・ 図示		
				D種	樹高3m未満 (※ 50 ・ 60)	・		
			※ 芝、地被類	※ B種	※ 20	・ 植栽部分	・ 適用する	
						・ 図示	・ 適用しない	
			植栽基盤の排水設備 ・ 設ける (※ 図示 ・) ・ 設けない					
		③ 植込み用土	○ 客土	・ 現場発生土の良質土 (23.2.3)				
		4. 土壌改良材	使用材料	・ バーク堆肥 ・ 汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) (23.2.3)				
			施工箇所	※ 図示	・ 植栽範囲			
			使用量	植栽基盤面積1㎡あたり (・ 10L ・ 50L ・)				
			品質	地方自治法に定める土壌改良材は、法令に基づき届出されたものを使用する。 各種堆肥及び下水汚泥コンポストは発酵したものを使用する。 下水汚泥コンポストは、肥料取締法に基づき普通肥料として登録されており、かつ、「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので、植替試験の結果、害が認められないものとする。				
		5. 樹木	樹種、寸法、株立数等	※ 図示 (23.3.2)				
		6. 支柱	支柱材	※ 丸太 (間伐材) ・ 真竹 (23.3.2.3)				
			防腐処理方法	※ 加圧式防腐処理丸太材				
			形式	・ 添え柱形 ・ 二脚鳥居形 ・ 三脚鳥居形 ・ 十字鳥居形				
				・ 二脚鳥居組合せ形 ・ ハッ掛け形				
		7. 幹巻き用材料	材料	※ 幹巻き用テープ ・ わら及びこも (23.3.2)				
		8. 芝	種類	※ コウライシバ ・ ノシバ (23.4.2)				
			芝張りの工法	平地 ※ 目地張り ・ べた張り				
			法面	・ 目地張り ※ べた張り				
		9. 吹付けは種	(23.4.2)					
			種 子 の 種 類	発 芽 率	種子の重 (g/m ²)	備 考		
			※ 洋芝類 (採取後2年以内)	※ 発芽率80%以上				
		10. 地被類	(23.4.2)					
			樹 種	コンテナ数	単位面積当たりのコンテナ数	芽 立 数		
		11. 新植、移植樹木、芝等の枯死証明	新植樹木 (芝張り、吹付けは種及び地被類を含む) の枯死証明の期間 (23.3.4) (23.3.6) (23.4.7)					
			※ 引渡しの日から1年					
			移植樹木の枯死証明を行う期間					
			※ 引渡しの日から1年					

12. 屋上緑化	植栽基盤及び材料 ・ 屋上緑化システム 土壌層の厚さ ・ 図示 排水層 ・ 軽量骨材 (層の厚さ:) ・ 板状成型品 遮根用土 ※ 改良土 ・ 人工軽量土 樹木の樹種並びに種類、寸法、株立数、寸法等 ※ 図示 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※ 図示 ・ 屋上緑化軽量システム 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※ 図示 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※ 図示 工法 「屋根ふき材及び屋外に面する構造物の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」 (平成12 年 5月31 日 建設省告示第1428号) 応じた工法 ・ 適用する (1ー般共通事項による) ・ 適用しない 支柱 ・ 設置する (形式 ・ 図示 ・) かん水装置 ・ 設置する (種類 ・)	(23.5.2.)
④ その他	① 工事現場の環境改善について 工事現場のイメージアップ ○ 仮囲い周辺の美化 ・ 地域住民への情報提供 ○ 完成予想図の設置 ・ 情報掲示板の設置 ・ パンフレットの作成 地域住民とのコミュニケーション ・ 現場見学会の開催 住民に対する災害防止関係 ○ 現場出入口周辺への誘導員の配備 ・ ② 不具合の確認 工事しゅん工後10ヶ月、20ヶ月 (新築に限る) に不具合の確認を行い、その結果を書面で上田市長あてに報告する。 (施設管理者からの聞き取り調査を含め、調査には必ず監督員の立会いを要する。) ③ 産業廃棄物等の取扱い (1) 産業廃棄物の処理に当たっては、請負者が自ら処理 (分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為) するときは、「産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律」 (以下「産業廃棄物処理法」という) に基づき、適正に行うこと。 (2) 産業廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、産業廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覽並びに処分地の案内図等をまとめた「産業廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。 (3) しゅん工した時は、産業廃棄物ごとに処理数量を集計し、積込み状況の写真、処分状況の写真等を添付した「産業廃棄物処理報告書」を監督員に提出すること。 ④ 環境対策関係 (1) 現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排ガス対策型建設機械とすること。 (2) 夜間、早朝等の稼働を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートの選定に当たっては影響の少ない最短ルートを選定すること。 (3) 汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等、環境の回復に努めること。 (4) 熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。 ⑤ 安全対策関係 (1) 工事現場においては、労働災害、公衆災害防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に安全教育、研修及び訓練を行うこと。 (2) 安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に月一回程度実施し、工事日誌へ記録するほか、実施結果、実施状況の写真、安全教育に使用した資料等も整理すること。 (3) 原則として代理人 (主任) 以外の第三者により、月1回以上店社による安全パトロールを行い、工事日誌へ記載するほか、点検内容等を別書面に記録し、実施状況の写真を撮影すること。 (4) 下請業者にKY (危険予知) 、TBM (作業内容の打合せ) 活動等を実施させ、その記録を整備するとともに、随時、実施状況の写真を撮影すること。 (5) 下請業者を含め、作業員に対し現場内容に即した新規入場者教育、安全教育、訓練等を実施し、関連書類及び使用した資料等を整理するとともに、随時、実施状況の写真を撮影すること。 (6) 上記の(2)～(5)の活動については、記録・書類及び写真を整備したものを現場に備え、監督員及び工事検査の際に提示できるようにすること。 ⑥ 工事検査 施工途中において工事検査担当職員または、発注機関の長の指定する職員による抜打ち検査を実施することがあるので、検査に協力すること。 ⑦ 被害層等 暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害層を速やかに警察に提出すること。 ⑧ 施工図等の取扱い 施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲する。 ⑨ 完成図等 完成図など維持管理に関する書類は、しゅん工後30日以内に提出し、必要に応じて取扱説明を行うこと。 ⑩ 提出物 上記による他、監督員の指示による。	

2024.07改訂

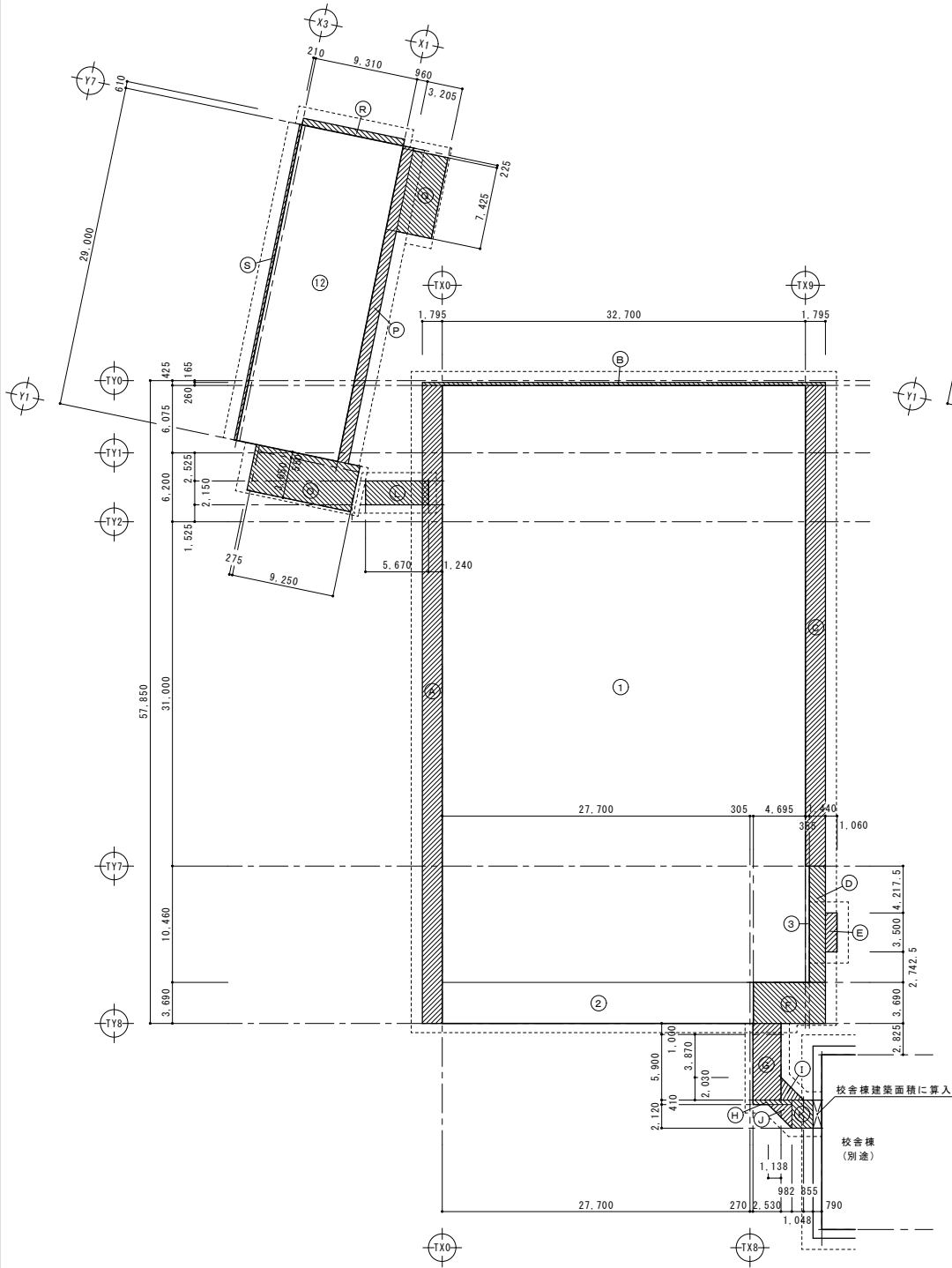


敷地面積 求積表

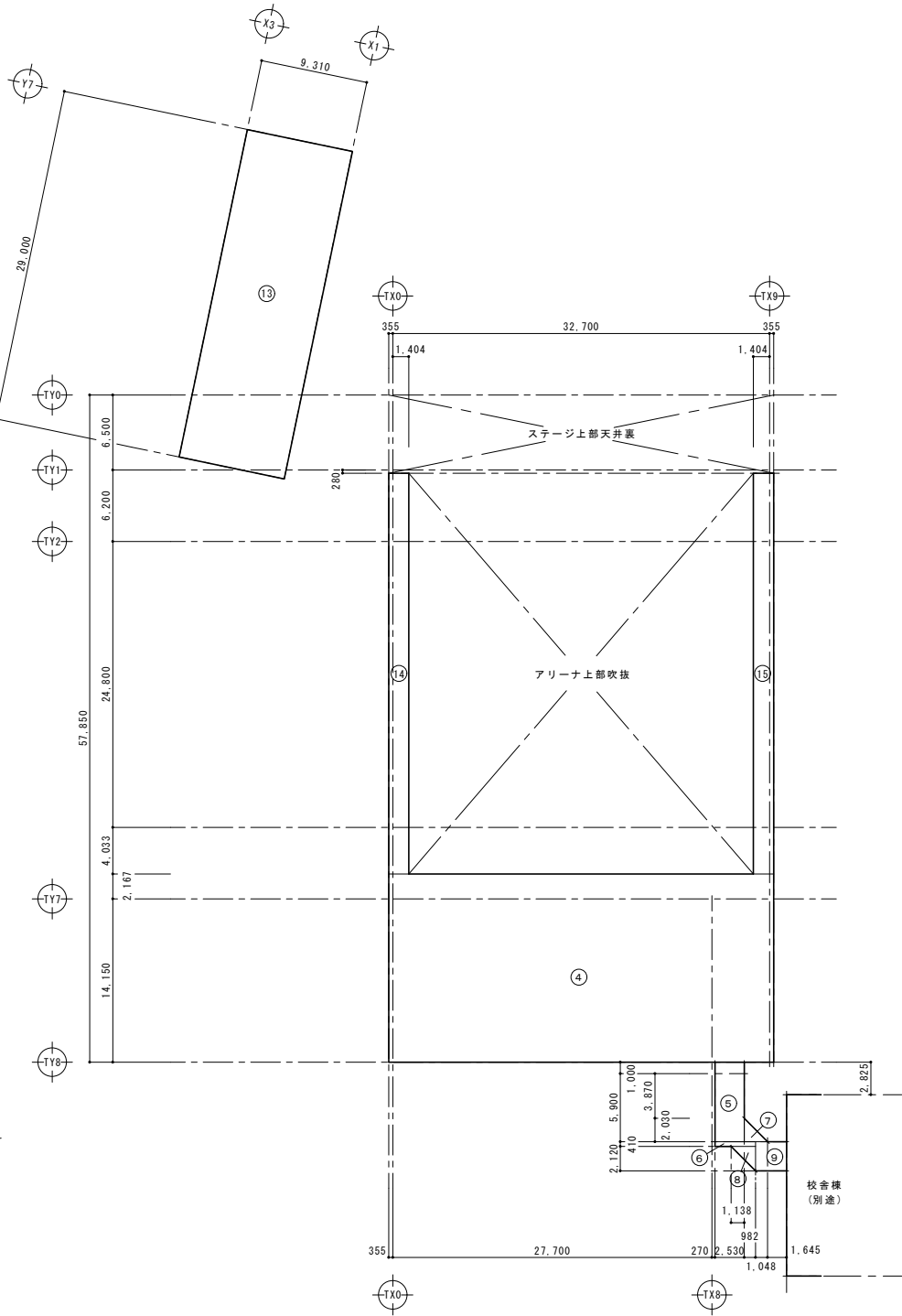
番号	底	辺	高	さ	倍	面	積	面	積
1	8.29	2.17			17.9893			8.99465	
2	22.60	2.62			59.2120			29.60600	
3	52.01	16.75			871.1675			435.58375	
4	40.46	4.84			195.8264			97.91320	
5	39.88	9.95			396.8060			198.40300	
6	38.51	3.48			134.0148			67.00740	
7	37.78	4.36			164.7208			82.36040	
8	32.95	5.56			183.2020			91.60100	
9	49.01	16.95			830.7195			415.35975	
10	59.60	6.16			367.1360			183.56800	
11	60.66	1.15			69.7590			34.87950	
12	60.66	0.75			45.4950			22.74750	
13	5.25	0.41			2.1525			1.07625	
14	10.19	1.22			12.4318			6.21590	
15	10.19	7.10			72.3490			36.17450	
16	9.89	3.01			29.7689			14.88445	
17	68.49	5.46			373.9554			186.97770	
18	69.37	6.53			452.9861			226.49305	
19	75.09	4.45			334.1505			167.07525	
20	80.44	15.81			1,271.7564			635.87820	
21	88.28	6.69			590.5932			295.29660	
22	94.98	5.81			551.8338			275.91690	
23	96.23	1.92			184.7616			92.38080	
24	104.41	1.40			146.1740			73.08700	
25	103.62	7.24			750.2088			375.10440	
26	111.40	0.20			22.2800			11.14000	
27	108.63	3.10			336.7530			168.37650	
28	109.79	0.55			60.3845			30.19225	
29	8.72	2.06			17.9632			8.98160	
30	7.62	1.39			10.5918			5.29590	
31	12.95	5.79			74.9805			37.49025	
32	16.20	4.86			78.7320			39.36600	
33	18.08	3.52			63.6416			31.82080	
34	126.47	9.36			1,183.7592			591.87960	
35	148.44	23.81			3,534.3564			1,767.17820	
36	131.45	4.09			537.6305			268.81525	
37	133.10	1.31			174.3610			87.18050	
38	29.55	12.19			360.2145			180.10725	
39	160.03	11.73			1,877.1519			938.57595	
40	160.67	0.62			99.6154			49.80770	
41	165.07	15.78			2,604.8046			1,302.40230	
42	166.58	1.75			291.5150			145.75750	
43	166.58	5.00			832.9000			416.45000	
44	146.82	5.61			823.6602			411.83010	
45	147.95	10.00			1,479.5000			739.75000	
46	148.54	6.32			938.7728			469.38640	
47	147.95	6.04			893.8080			446.80900	
48	148.54	4.06			603.0724			301.53620	
49	9.18	5.03			46.1754			23.07770	
50	12.78	0.65			8.3070			4.15350	
51	16.43	2.03			33.3529			16.67645	
52	20.46	0.38			7.7748			3.88740	
53	6.39	1.39			8.8821			4.44105	
54	7.27	1.26			9.1602			4.58010	
55	11.39	0.55			6.2645			3.13225	
56	15.42	0.74			11.4108			5.70540	
57	21.00	0.92			19.3200			9.66000	
58	59.62	10.58			630.7796			315.38980	
59	42.81	7.97			341.1957			170.59785	
60	18.74	3.23			60.5302			30.26510	
61	13.28	3.60			47.8080			23.90400	
62	37.13	10.86			403.2318			201.61590	
63	7.96	3.11			24.7556			12.37780	
64	145.09	57.41			8,329.6169			4,164.80845	
65	141.95	3.69			523.7955			261.89775	
66	141.95	31.48			4,468.5860			2,234.29300	
67	15.22	3.14			47.7908			23.89540	
68	37.77	7.37			278.3649			139.18245	
69	125.09	46.12			5,769.1508			2,884.57540	
70	25.54	2.37			60.5298			30.26490	
71	105.28	0.70			73.6960			36.84800	
72	105.21	0.95			99.9495			49.97475	
73	108.25	34.19			3,701.0675			1,850.53375	
74	103.82	5.38			558.5516			279.27580	
75	105.16	1.01			106.2116			53.10580	
76	105.17	0.37			38.9129			19.45645	
77	105.94	10.38			1,099.6572			549.82860	
78	105.23	0.90			94.7070			47.35350	
79	108.25	40.28			4,360.3100			2,180.15500	
80	102.89	2.08			214.0112			107.00560	
81	83.57	0.37			30.9209			15.46045	
82	82.04	10.36			849.9344			424.96720	
83	22.66	5.10			115.5660			57.78300	
84	35.33	3.59			126.8347			63.41735	
85	17.48	7.13			124.6324			62.31620	
86	49.37	1.48			73.0676			36.53380	
87	19.46	0.17			3.3082			1.65410	
88	19.09	0.25			4.7725			2.38625	
89	18.37	1.14			20.9418			10.47090	
90	16.92	0.85			14.3820			7.19100	
91	5.46	0.28			1.5288			0.76440	
92	14.42	0.25			3.605			1.8025	
合 計								28,931.39	
敷 地 面 積								28,931.39 m ²	

敷地求積図 S:1/600

A部拡大



屋内運動場・渡り廊下A・渡り廊下B・西棟 1階求積図 S:1/300



屋内運動場・渡り廊下A・渡り廊下B・西棟 2階求積図 S:1/300

屋内運動場 建築面積

No.	計算式 (m × m)	面積 (㎡)
A	1.795 × 57.425	103.0779
B	36.29 × 0.26	9.4354
C	1.795 × 43.275	77.6786
D	1.44 × 10.46	15.0624
E	1.06 × 3.50	3.7100
F	6.49 × 3.69	23.9481
屋内運動場 1階床面積		1864.1863
屋内運動場 建築面積 計		2097.0987
		→ 2097.10

屋内運動場 1階床面積

No.	計算式 (m × m)	面積 (㎡)
1	32.70 × 53.735	1757.1345
2	28.005 × 3.69	103.3385
3	0.355 × 10.46	3.7133
屋内運動場 1階床面積 計		1864.1863
		→ 1864.19

屋内運動場 2階床面積

No.	計算式 (m × m)	面積 (㎡)
4	33.41 × 16.317	545.1510
14	1.759 × 34.753	61.1305
15	1.759 × 34.753	61.1305
屋内運動場 2階床面積 計		667.4120
		→ 667.41

渡り廊下A 建築面積

No.	計算式 (m × m)	面積 (㎡)
G	2.53 × 6.90	17.4570
H	3.512 × 0.41	1.4399
I	2.03 × 2.03 × 1/2	2.0605
J	2.12 × 2.12 × 1/2	2.2472
K	1.903 × 2.53	4.8146
渡り廊下A 建築面積 計		28.0192
		→ 28.02

渡り廊下A 2階床面積

No.	計算式 (m × m)	面積 (㎡)
5	2.53 × 6.90	17.4570
6	3.512 × 0.41	1.4399
7	2.03 × 2.03 × 1/2	2.0605
8	2.12 × 2.12 × 1/2	2.2472
9	2.693 × 2.53	6.8133
渡り廊下A 2階床面積 計		30.0179
		→ 30.02

渡り廊下B 建築面積

No.	計算式 (m × m)	面積 (㎡)
L	5.67 × 2.15	12.1905
渡り廊下B 建築面積 計		12.1905
		→ 12.19

西棟 建築面積

No.	計算式 (m × m)	面積 (㎡)
O	9.525 × 4.20	40.0050
P	0.96 × 29.00	27.8400
Q	3.205 × 7.425	23.7971
R	9.31 × 0.61	5.6791
S	0.21 × 29.00	6.0900
西棟 1階床面積		269.9900
西棟 建築面積 計		373.4012
		→ 373.40

西棟 1階床面積

No.	計算式 (m × m)	面積 (㎡)
12	9.31 × 29.00	269.9900
西棟 1階床面積 計		269.9900
		→ 269.99

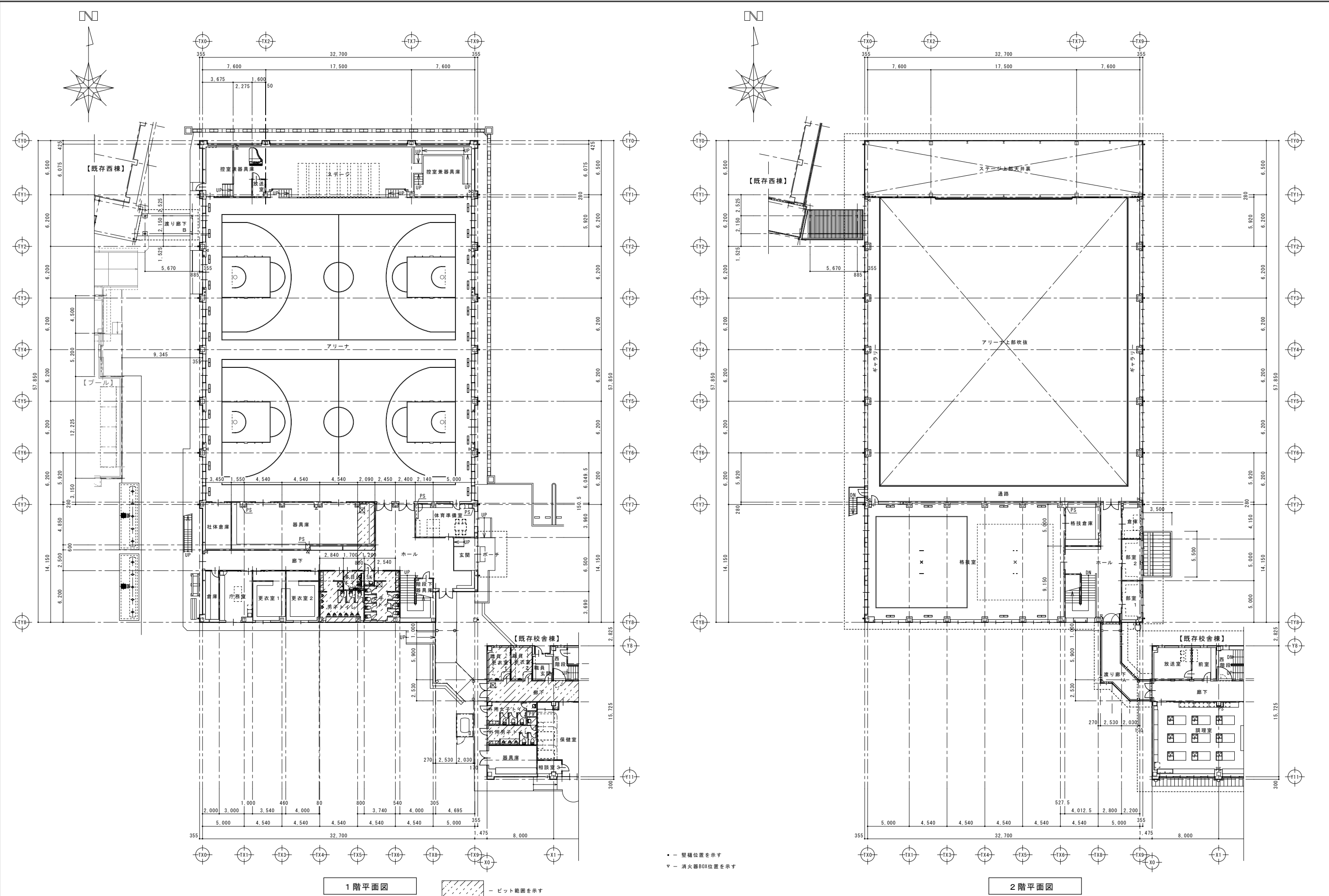
西棟 2階床面積

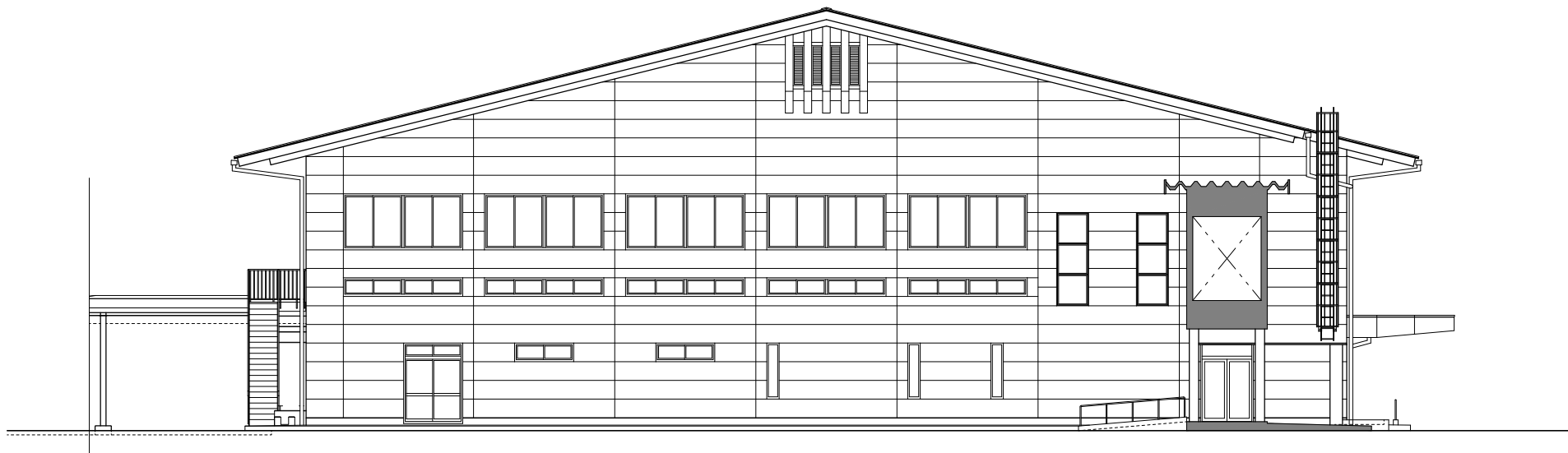
No.	計算式 (m × m)	面積 (㎡)
13	9.31 × 29.00	269.9900
西棟 2階床面積 計		269.9900
		→ 269.99

外部仕上表					
主体構造	鉄骨造 2階建て 耐火建築物			ボ ー チ 1F渡り廊下 A 接続部分	庇屋根 縦リプ付完全防水縦ハゼ葺 t-0.4mmカラーGL鋼板 ゴムアス防水シート t-25mm高圧木毛セメント板 (ヨドルーフエスタ400 同等) 雪止 L-50×50×4 溶融亜鉛メッキ品 取付金具 @455 溶融亜鉛メッキ品
屋 根	嵌合式瓦棒葺 t-0.4mmカラーGL鋼板 t-4.0mmポリエチレンフォーム t-1.0mm改質ゴムアスファルトルーフィング t-85mm耐火野地板複合板(t-20mm高圧木毛セメント板+t-40mmフェノールフォーム+t-25mmグラスウールボード 80kg/m3) W=40mmカラーGL鋼板 T型ジョイナー				庇内樋 2液型ウレタン塗膜防水 t-0.5mmカラーGL鋼板 t-12mmコンパネ t-25mm高圧木毛セメント板 庇堅樋 アルミ既製品 φ114 バンドレス 庇 笠木・破風・軒天 t-2.0mmアルミ フッ素樹脂焼付塗装
雪止・破風	雪止 L-50×50×4 溶融亜鉛メッキ品 取付金具 @455 溶融亜鉛メッキ品 (片側 2段ずつ) 破風 (2段) t-30mm木下地 屋根同材巻込み				床 300角磁器質タイル張 一部 コンクリート金ゴテ仕上 一部 t-60mmインターロッキングブロック敷(300角 スリット入) 1,800×600 アルミ枠塩ビサンドラインマット 1ヶ所 防水モルタル塗
樋	軒樋 アルミ既製品 W=185×H=120 自在ドレン SUS 縦樋 アルミ既製品 φ140 バンドレス				スロープ 床 コンクリート ホーキ目仕上 φ32×1.5 SUS手摺 HL 鉄骨柱(露出) 発泡性耐火塗料 パテ処理仕上 1時間耐火(FP060CN-9472)
軒 天	大屋根 (2段) LGS下地 t-6.0mmケイカル板 目透かし張 EP 1F渡り廊下 A 接続部分 LGS下地 t-6.0mmケイカル板 目透かし張 EP アルミ水切			ピ ッ ト	床 t-100mm土間コンクリート 金ゴテ仕上 ワイヤーマッシュ φ6×100×100 床-地中梁打継面 水膨張性止水材 地中梁立上り面・スラブ面 t-25mm発泡ポリスチレンボード打込み 外周 ケイ酸質系塗布防水 床下点検口×3ヶ所 (各所アルミ脚立設置)
	1F柱型部分 LGS下地 t-6.0mmケイカル板 目透かし張 EP 裏面 t-30mmロックウール吹付 1時間耐火(FP060NE-9305) アルミ水切			断熱・防湿・防音	土間コンクリート下 t-0.15mmポリエチレンフィルム敷 t-25mm発泡ポリスチレンボード敷 外壁裏(ECP・RC共) t-30mm現場発泡ウレタン(難燃)吹付 屋根面 t-85mm耐火野地板複合板(t-20mm高圧木毛セメント板+t-40mmフェノールフォーム+t-25mmグラスウールボード 80kg/m3)
外 壁	一般部分 t-60mm押出成形セメント板横張(1F柱型部分のみ縦張) エポキシ樹脂シーラー下地 3フッ化2液フッ素樹脂塗装 1F TY0通り-425mm部分 本工事 コンクリート打放補修 マデ以降仕上 別途工事 RC壁廻り三方 アルミEXP-J金物(C=50mm) 外壁-外壁 耐火仕様				渡り廊下 A 1F接続部上部デッキ表面 t-30mm現場発泡ウレタン(難燃)吹付 EXP-J金物裏断熱 t-50mm耐熱ロックウール敷設(マキベイ同等) アリーナ南北面上部壁・ステージ前一部天井・格技室区画壁を除く上部壁LGS内・トイレ廻り間仕切LGS内 t-50mmグラスウール充填(24kg/m3)
棟飾り (南・北 2カ所)	t-1.5mmアルミ フッ素樹脂焼付塗装 W=250×H=1,830~2,100 ×5ヶ所 アルミガラリ W=270×H=1,200 ×4ヶ所			耐火被覆	鉄骨柱 t-25mm繊維混入ケイ酸カルシウム板(第2号)張 1時間耐火(FP060CN-9446) 鉄骨梁・柱-梁接合部 t-25mm吹付ロックウール耐火被覆 1時間耐火 (FP060BM-9408) ※2FLより上部4.0m以上の梁 耐火被覆なし
屋外階段・タラップ	屋外階段 ササラ板・踏板・手摺(支柱・手摺子共)等 全て 鉄骨 溶融亜鉛メッキ品 タラップ ステンレス 点検用昇降ステップ ガード付 (KUステップ ACE同等)			防火区画	床 QLデッキ合成スラブ QL99-50 t-100mmコンクリート打設 1時間耐火(FP060FL-9095) 内部区画壁 LGS下地 両面 t-21mm強化PB 2重張 1時間耐火(H12建告 第1399号 第1-2-へ-(2))
タタキ	建物廻りタタキ t-150~180mm土間コンクリート 金ゴテ仕上 (西側の一部出入口 階段状) 押目地 @3,100~@4,540			防火上主要な間仕切	LGS下地 両面 t-12.5mm+9.5mmPB 2重張 準耐火(H12建告 第1358号 第1-1-ハ-(1)-(iii))

内部仕上表		※共通 t-12.5mmPB【NM-8612】 t-21mm強化PB【NM-8615】		※共通 壁・天井のt-5.5mm有孔シナ合板は 全て寒冷紗(黒)裏張		
室 名	床	巾 木	壁	天 井	天井高	備 考
1階 玄関	300角磁器質タイル張 (スロープ共通)	H=100 花崗岩本磨き	t-9.5+12.5mmPB t-3.0mmメラミン不燃化粧板(木目)張【NM-2183】 出隅 同材出隅化粧材 目地 シール処理	LGS下地 t-9.5mmPB t-9.0mm岩綿吸音板(フラット)張【NM-8599】 竿縁・廻り縁 45×15 桧 @1,500 OS-ST	2,800	上り框 110×60 花崗岩本磨き 総合案内板 アルミカーテンBOX カーテンレール カーテン
ホール・廊下	t-2.0mm複層ビニル床シート張	H=100 木製 OS-ST 一部 H=100 塩ビ巾木	同上(区画部 t-21mm強化PB2重張 流し廻り化粧板 単色)【NM-2183】 一部腰壁 PBの上に t-0.5mm不燃腰壁用塩ビシート張【NM-5177】 一部上部壁 PB面 EP【NM-8585】	同上 一部 LGS下地 t-9.5mm不燃化粧PB張【NM-1864】	2,700	ステンレス流し 下足入 セフティコーナー 天井見切 桧 OS-ST 消火器BOX アルミカーテンBOX カーテンレール カーテン ビクチャーレール
体育準備室	同上	H=100 塩ビ巾木	t-9.5+12.5mmPB張(区画部分 t-21mm強化PB 2重張) EP【NM-8585】 流し廻り(二方) t-3.0mmキッチンボード張【NM-2183】	LGS下地 t-9.5mm不燃化粧PB張【NM-1864】	2,700	室名札×2 棚 掃除用具入 ホワイトボード 流し(機械設備) アルミカーテンBOX カーテンレール カーテン 遮光カーテン
男子トイレ 女子トイレ	同上	同上	t-9.5+12.5mmPB 一部t-12.5mmPB t-6.0mm化粧ケイカル板張 出隅 アルミ見切(イカ型) 目地 シール処理	LGS下地 t-9.5mmPB t-9.0mm岩綿吸音板(フラット)張	2,505	ビクトサイン 壁小口 SUS HL ライニング天板 人工大理石 床下点検口 汚垂石 姿見 450×1,800 カウンター・化粧鏡(機械設備)
多目的トイレ	同上	同上	同上	同上	2,400	ビクトサイン
S K	同上	同上	同上	LGS下地 t-6.0mmケイカル板 目透かし張 EP	2,400	ライニング天板 人工大理石 W=300 棚板 ハンガーパイプ Sカン×5個
更衣室1・2	同上	同上	t-9.5+12.5mmPB張 EP	LGS下地 t-9.5mm化粧PB張	2,700	室名札 壁小口 SUS HL 更衣棚 姿見 450×1,800
庁務室	同上	同上	t-9.5+12.5mmPB張 EP【NM-8585】 流し廻り(二方) t-3.0mmキッチンボード張【NM-2183】	LGS下地 t-9.5mm不燃化粧PB張【NM-1864】	2,700	室名札 セフティコーナー 掃除用具入 棚 流し(機械設備) アルミカーテンBOX カーテンレール カーテン
倉庫	同上	同上	t-9.5+12.5mmPB張 EP	LGS下地 t-9.5mm化粧PB張	2,700	棚
器具庫	同上	同上	木下地 一部LGS下地 一部t-21mm強化PB 2重張 t-12mm合板張	同上	2,900	室名札×2 床下点検口 棚A 棚B 消火器BOX
社体倉庫	同上	同上	同上	同上	2,900	室名札
階段下器具庫	同上	同上	t-9.5+12.5mmPB張 EP	鉄骨アラワシ 見え掛り SOP	－	
アリーナ	t-18mm高耐久大型積層フローリング張(表面材6mm 寸法安定処理) ウレタン塗装 3回塗 t-12mm針葉樹構造用合板 t-20mmベースパネル 鋼製床下地(仕上H=250mm)	H=120 木製 OS-ST	下部 木下地 t-15mmラワン合板 t-15mm脱脂唐松単板 目透かし張 OS-ST 100×15 @110 面取(R5程度) SUSスクリュー釘止 ギャラリー下部 コンクリート打放仕上(塗装型枠使用) 縦目地 シール処理 ステージ側妻面上部 木胴縁 t-5.5mm有孔シナ合板 目透かし張 OS-ST ステージ上部 W=90 LGS下地 t-12mm合板 45×75 @90 脱脂唐松張 OS-ST	耐火野地板複合板(グラスウールボード面)アラワシ 鉄骨アラワシ 見え掛り 結露防止塗料塗 ケツロナイン(キクスイ)同等 ギャラリー下部 LGS下地 t-12mm合板 t-12mm脱脂唐松板本実張 OS-ST	(大梁下) 8,300~ 11,990 2,900	室名札 スピーカーBOX 消火器BOX 幕掛用フック 木製縦格子 スチール防球格子 木製カーテンBOX カーテンレール 遮光カーテン 18×25 EXPゴム 床フロア換気口 ライン引 床コート金物 体育器具 防球ネット 壁見切(出隅・横)
ステージ	同上(ベースパネルなし) 鋼製床下地(ステージユニット 仕上H=800mm)	H=100 木製 OS-ST	t-9.5+12.5mmPB張 EP	LGS下地 t-9.5mmPB 2重張 EP 一部 LGS下地 木胴縁 t-5.5mm有孔シナ合板 目透かし張 OS-ST	4,750~ 5,250	舞台機構用木製BOX SOP プロセニアム 框 階段 18×25 EXPゴム 舞台吊物装置 纏壇台車×6 椅子収納台車×2 床フロア換気口
控室兼器具庫	同上(ベースパネルなし) 鋼製床下地(ステージユニット 仕上H=800mm)	同上 一部 H=100 塩ビ巾木	同上	LGS下地 t-9.5mm化粧PB張 (梁型あり)	4,600~ 5,400	框 階段 消火器BOX スロープ(木組床下地 t-12mm合板 2枚張 t-2.0mm複層ビニル床シート張) 木下地腰壁(木下地 t-9.5+12.5mmPB張 EP 天板見切 タモ集成材 OS-ST)
放送室	同上(ベースパネルなし) 鋼製床下地(ステージユニット 仕上H=800mm)	H=100 塩ビ巾木	同上	LGS下地 t-9.5mm化粧PB張	2,200	木製カーテンBOX カーテンレール 遮光カーテン
階段	t-2.0mm複層ビニル床シート張 (踏面・蹴上・踊り場)	階段用 塩ビ巾木 一部 H=100 塩ビ巾木	t-9.5+12.5mmPB張 EP【NM-8585】	LGS下地 t-9.5mm不燃化粧PB張【NM-1864】	－	SUSノンスリップ(タイヤ入) 手摺 φ40アルミ骨樹脂手摺 見切 タモ集成材 OS-ST 点字タイル
2階 ホール	t-2.0mm複層ビニル床シート張	H=100 塩ビ巾木	t-9.5+12.5mmPB張 一部t-21mm強化PB 2重張 EP【NM-8585】 腰壁 PBの上に t-0.5mm不燃腰壁用塩ビシート張【NM-5177】	LGS下地 t-9.5mm不燃化粧PB張【NM-1864】	2,700	下足入 セフティコーナー 見切 タモ集成材 OS-ST ビクチャーレール 消火器BOX
部室1・2	同上	同上	t-9.5+12.5mmPB張 EP	LGS下地 t-9.5mm化粧PB張	2,400	室名札 セフティコーナー ロッカーA(別途工事) ロッカーB(別途工事)
倉庫	同上	同上	同上	同上	2,400	棚 セフティコーナー
格技室	t-18mm高耐久大型積層フローリング張(表面材6mm 寸法安定処理) ウレタン塗装 3回塗 t-12mm針葉樹構造用合板 t-6.0mm特殊制振材(アスファルト系) t-12mm針葉樹構造用合板 t-20mmベースパネル 鋼製床下地 置床仕様 高遮音床(仕上H=165mm)	H=135 木製 OS-ST	下部 LGS下地(区画部分 PBの上に) t-12mm合板 t-15mm唐松LVL張 ウレタン塗装 上部 LGS下地 木胴縁 t-5.5mm有孔シナ合板 目透かし張 OS-ST 区画部分 PBの上に t-5.5mmシナ合板 目透かし張 OS-ST	中央部 LGS下地 t-9.5mmPB t-9.0mm岩綿吸音板(フラット)張 竿縁 30×60 タモ集成材 OS-ST @2,400×2,400 格天井 周囲 LGS下地 t-9.5mmPB t-9.0mm岩綿吸音板(フラット)張	4,015~ 4,135	室名札 木製壁見切(出隅・横) 格天井四周木製見切 消火器BOX 木製カーテンBOX カーテンレール 遮光カーテン ホワイトボード 18×25 EXPゴム 床フロア換気口 ライン引 ゴム製畳寄せ枠 畳(9.1m×9.1m)
格技倉庫	t-2.0mm複層ビニル床シート張	H=100 塩ビ巾木	t-9.5+12.5mmPB張(区画部t-21mm強化PB 2重張) t-12mm合板張	LGS下地 t-9.5mm化粧PB張	2,700	室名札 防具棚 棚
ギャラリー 通路	同上	同上	t-9.5+12.5mmPB張 一部t-21mm強化PB 2重張 EP 通路側上部 木下地 t-5.5mm有孔シナ合板 目透かし張 OS-ST	LGS下地 t-5.5mmシナ合板 目透かし張 OS-ST	4,025	手摺 タモ集成材 OS-ST(柱・手摺子等 スチール SOP) 消火器BOX アルミカーテンBOX カーテンレール 遮光カーテン セフティコーナー

 上田市都市建設部建築課	事業年度 R6 / (R7) / R8	久高設計・河田一級建築士事務所 設計共同企業体	代 表 長野県知事登録 第1上田N-78311号 名 称 株式会社 久高設計 住 所 長野県上田市住吉5-5番地2 代表者 品田和久	設計者 1級建築士 国土交通大臣登録 第292990号 小福田洋	工事名	第五中学校改築事業 屋内運動場ほか建設 建築主体工事	図 名	屋内運動場 仕上表	縮尺 A1	A3	No. A-10
--	------------------------	----------------------------	---	---	-----	-------------------------------	-----	-----------	----------	----	-------------





南立面図



東立面図



上田市都市建設部建築課

事業年度

R6 / (R7) / R8

久高設計・河田一級建築士事務所
設計共同企業体

代表 長野県知事登録 第上田N-78311号
名称 株式会社 久高設計
住所 長野県上田市住吉5-5番地2
代表者 品田和久

設計者 1級建築士
国土交通大臣登録
第292990号
小福田洋

工事名

第五中学校改築事業 屋内運動場ほか建設
建築主体工事

図名

屋内運動場 立面図(1)

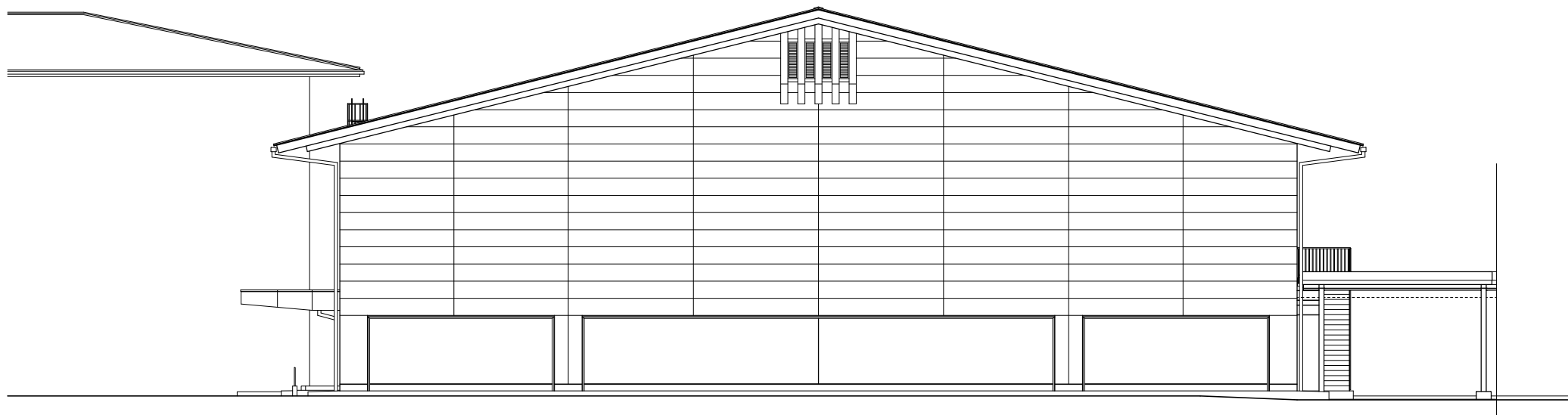
縮尺

A1 1/100

A3 1/200

No.

A-12

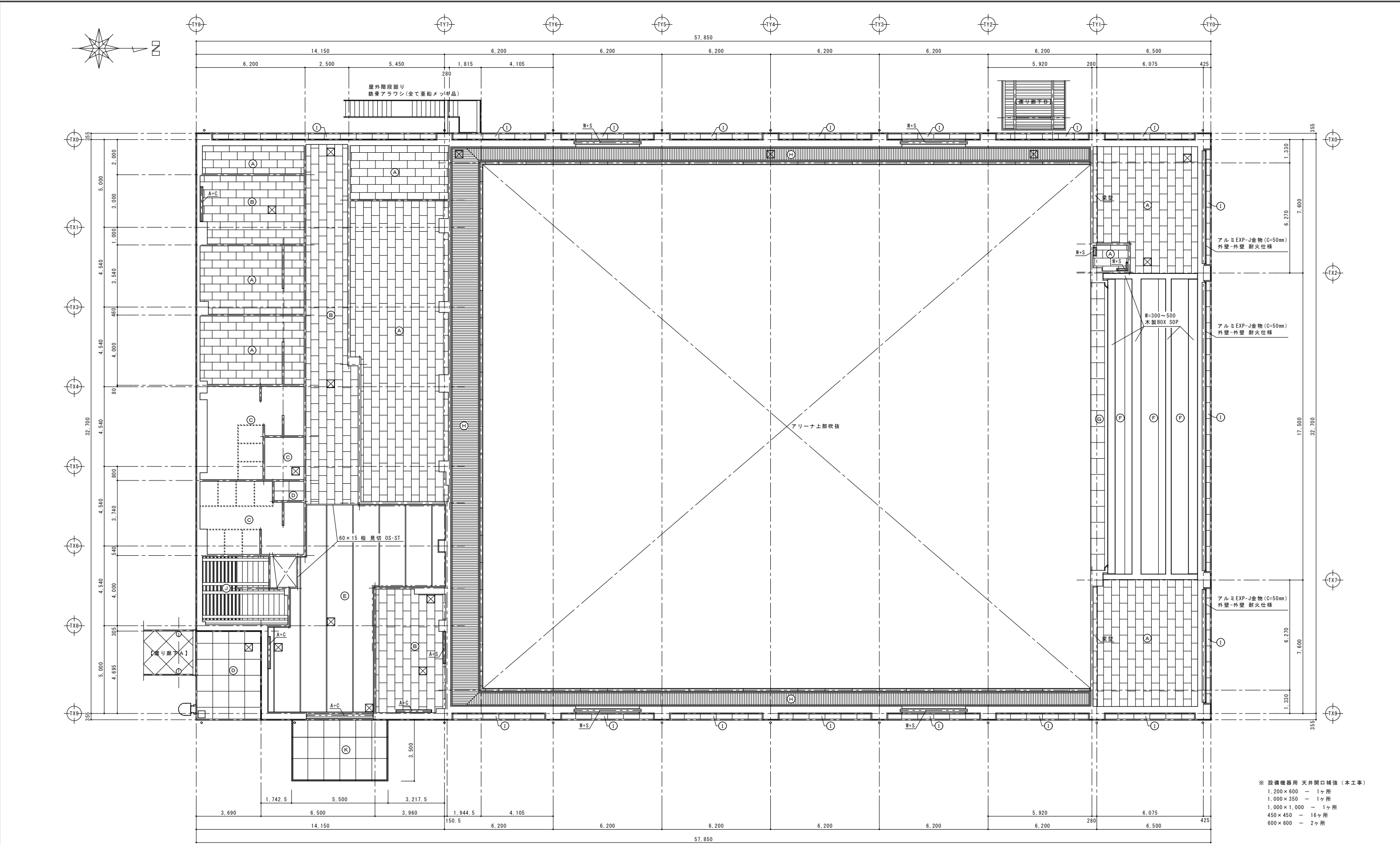


北立面図



西立面図

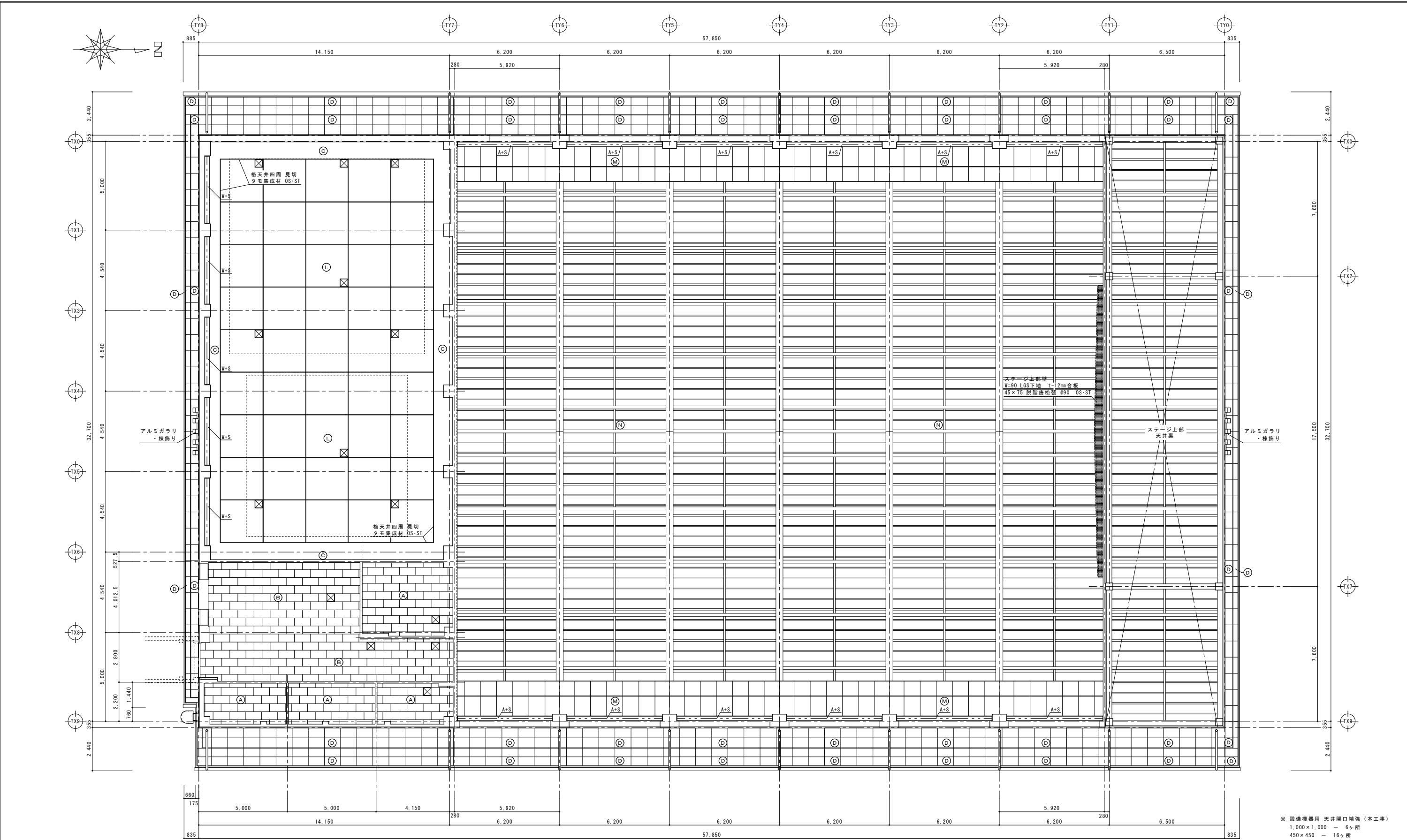




(A)	LGS下地 t-9.5mm化粧PB張	(F)	LGS下地 t-9.5mmPB 2重張 EP	(K)	t-2.0mmアルミ フッ素樹脂焼付塗装		カーテンBOX + カーテンレール + カーテン	A+C: アルミBOX + カーテン W+S: 本製BOX + 透光カーテン
(B)	LGS下地 t-9.5mm不燃化粧PB張 (NM-1864)	(G)	LGS下地 木脚縁 t-5.5mm有孔シナ合板 目透かし張 OS-ST 裏面 t-50mmグラスウール充填 (24kg/m3)	(L)	LGS下地 t-9.5mmPB t-9.0mm岩綿吸音板(フラット)張 (NM-8599) 竿縁 30×60 タモ集成材 OS-ST #2.400×2.400 格天井		450角アルミ天井点検口	
(C)	LGS下地 t-9.5mmPB t-9.0mm岩綿吸音板(フラット)張 (NM-8599)	(H)	LGS下地 t-12mm合板 t-12mm脱脂唐松板本実張 OS-ST	(M)	LGS下地 t-5.5mmシナ合板 目透かし張 OS-ST		ピクチャーレール (フック、ハンガー #450共)	
(D)	LGS下地 t-6.0mmケイカル板 目透かし張 EP	(I)	LGS下地 t-6.0mmケイカル板 目透かし張 EP 裏面 t-30mmロックウール吹付 1時間耐火 (FP060NE-9305)	(N)	耐火野地板複合板 (グラスウールボード面) アラワシ 鉄骨アラワシ 見え掛り SOP			
(E)	LGS下地 t-9.5mmPB t-9.0mm岩綿吸音板(フラット)張 (NM-8599) 竿縁・廻り縁 45×15 検 #1.500 OS-ST	(J)	鉄骨アラワシ 見え掛り SOP					

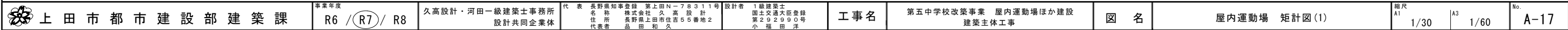
※ 設備機器用 天井開口補強 (本工事)

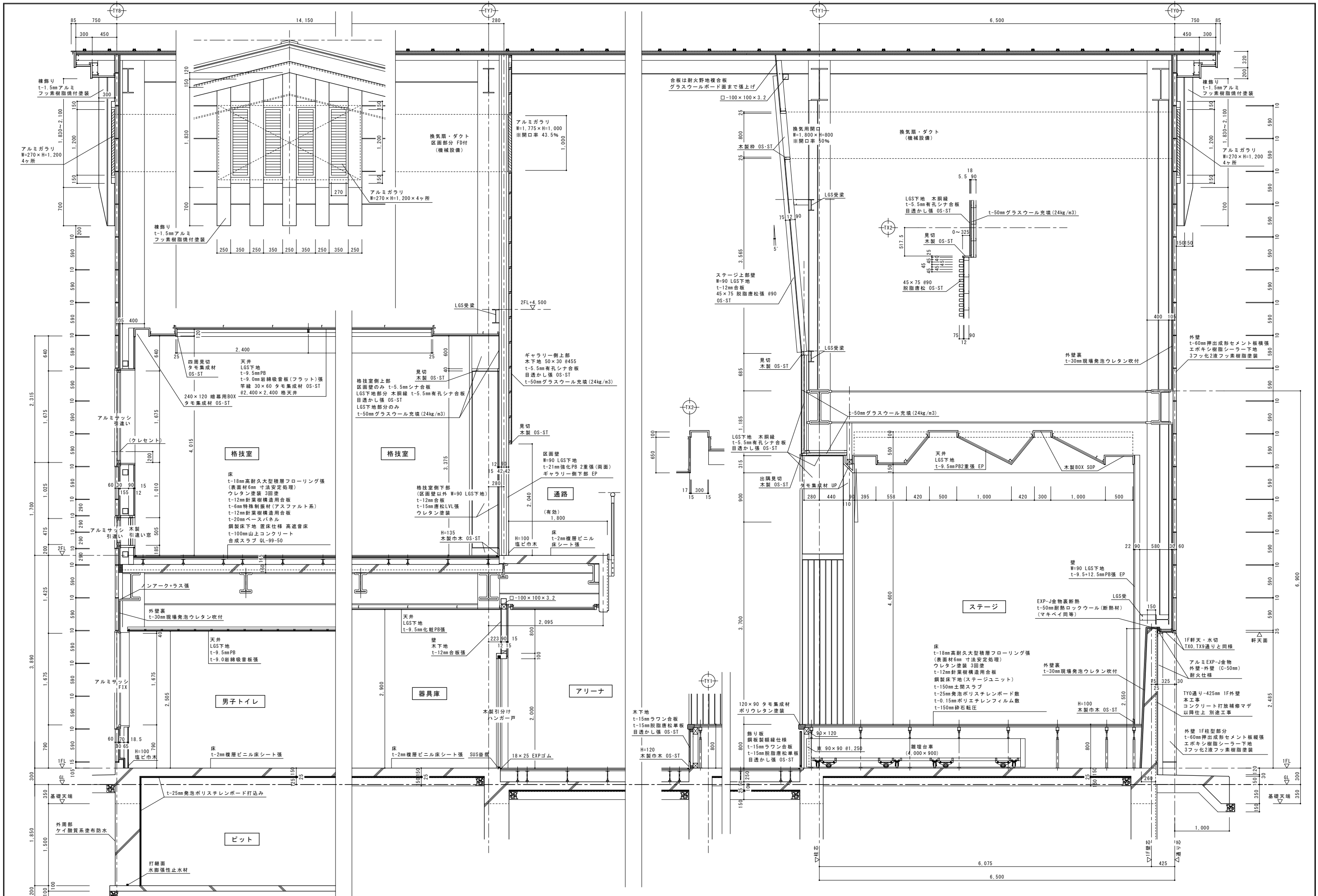
1,200×600	1ヶ所
1,000×350	1ヶ所
1,000×1,000	1ヶ所
450×450	16ヶ所
600×600	2ヶ所

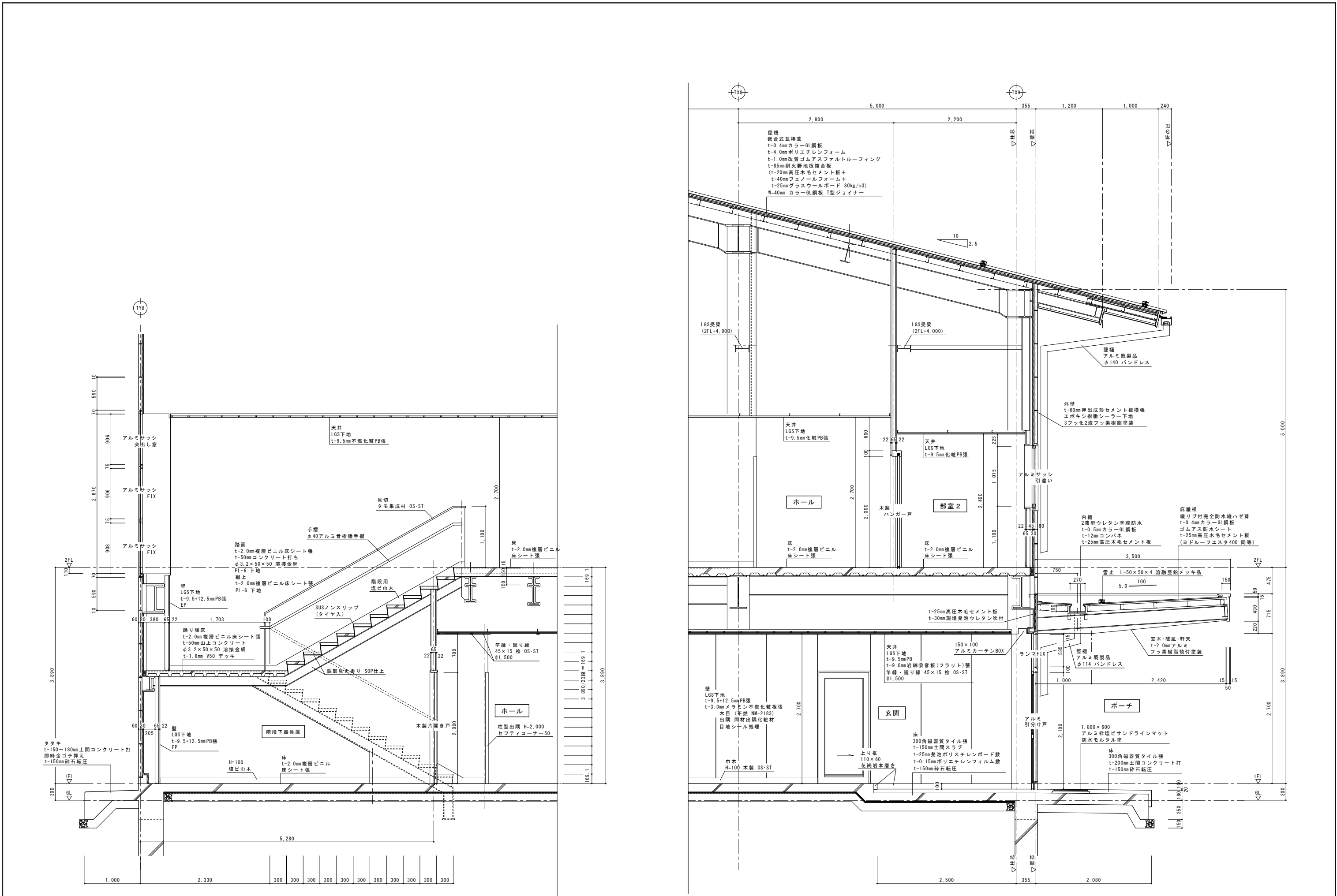


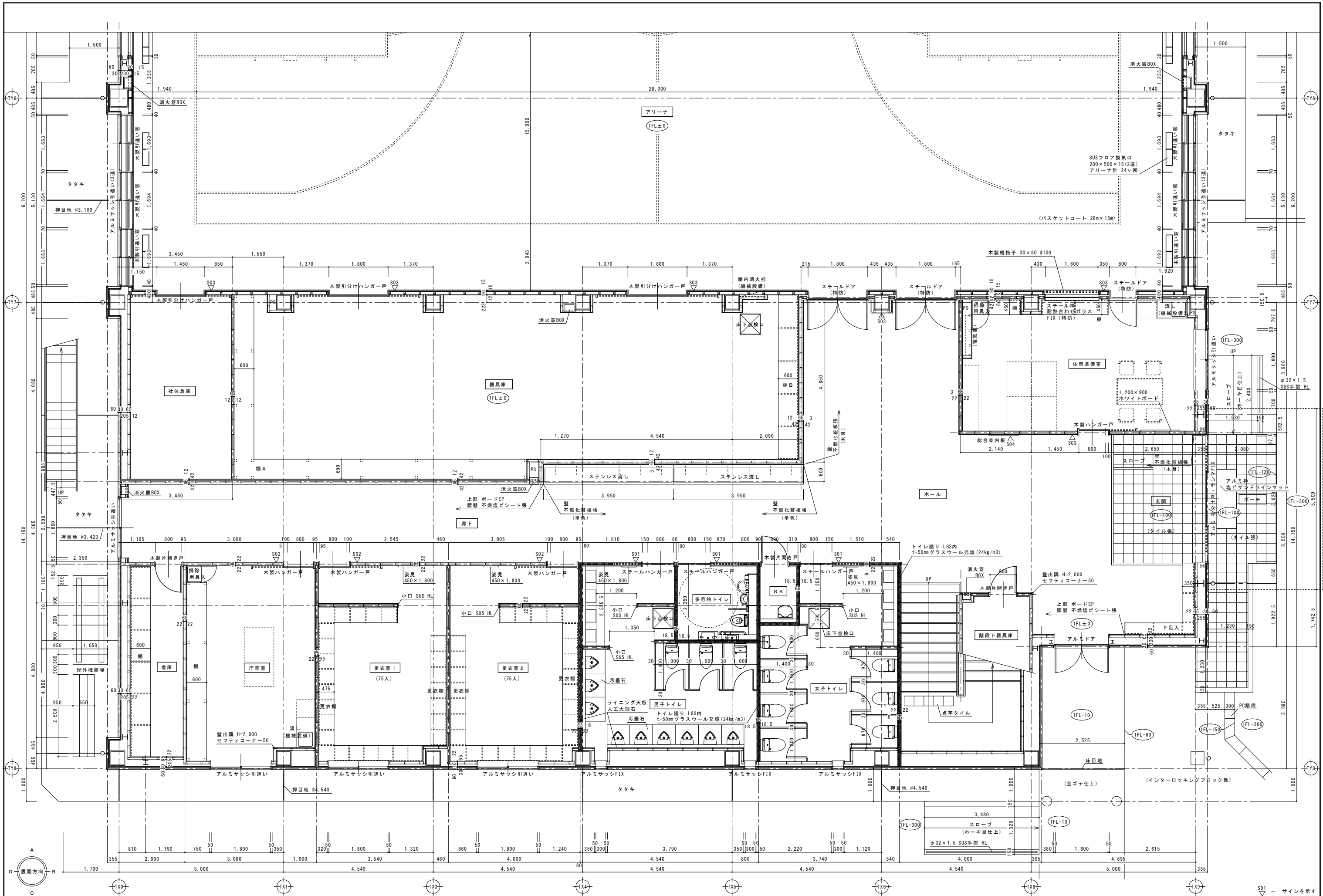
※ 設備機器用 天井開口補強 (本工事)
1,000×1,000 6ヶ所
450×450 16ヶ所

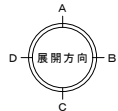
(A)	LGS下地 t-9.5mm化粧PB張	(F)	LGS下地 t-9.5mmPB 2重張 EP	(K)	t-2.0mmアルミ フッ素樹脂焼付塗装		カーテンBOX + カーテンレール + カーテン	A+C: アルミBOX + カーテン W+S: 木製BOX + 透光カーテン
(B)	LGS下地 t-9.5mm不燃化粧PB張 (NM-1864)	(G)	LGS下地 木屑縁 t-5.5mm有孔シナ合板 目透かし張 OS-ST 裏面 t-50mmグラスウール充填 (24kg/m3)	(L)	LGS下地 t-9.5mmPB t-9.0mm岩綿吸音板(フラット)張 (NM-8599) 羊縁 30×60 タモ集成材 OS-ST #2,400×2,400 格天井		450角アルミ天井点検口	
(C)	LGS下地 t-9.5mmPB t-9.0mm岩綿吸音板(フラット)張 (NM-8599)	(H)	LGS下地 t-12mm合板 t-12mm脱脂唐松板実張 OS-ST	(M)	LGS下地 t-5.5mmシナ合板 目透かし張 OS-ST		ピクチャーレール (フック、ハンガー @450共)	
(D)	LGS下地 t-6.0mmケイカル板 目透かし張 EP	(I)	LGS下地 t-6.0mmケイカル板 目透かし張 EP 裏面 t-30mmロックウール吹付 1時間耐火 (FP060NE-9305)	(N)	耐火野地板複合板 (グラスウールボード面) アラワシ 鉄骨アラワシ 見え掛り 結露防止塗料塗 ケツロニン(キクスイ)同等			
(E)	LGS下地 t-9.5mmPB t-9.0mm岩綿吸音板(フラット)張 (NM-8599) 羊縁・廻り縁 45×15 桧 @1,500 OS-ST	(J)	鉄骨アラワシ 見え掛り SOP					

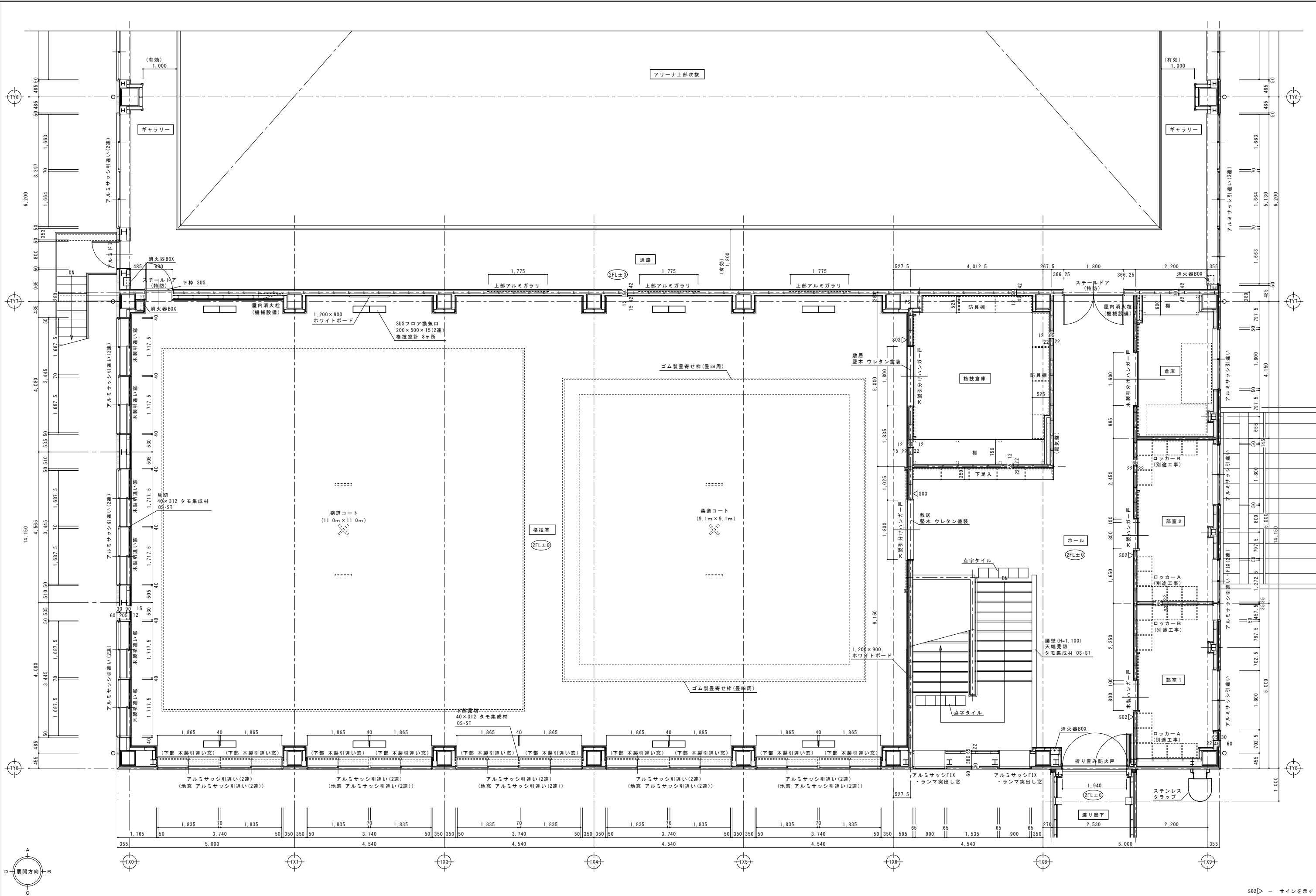




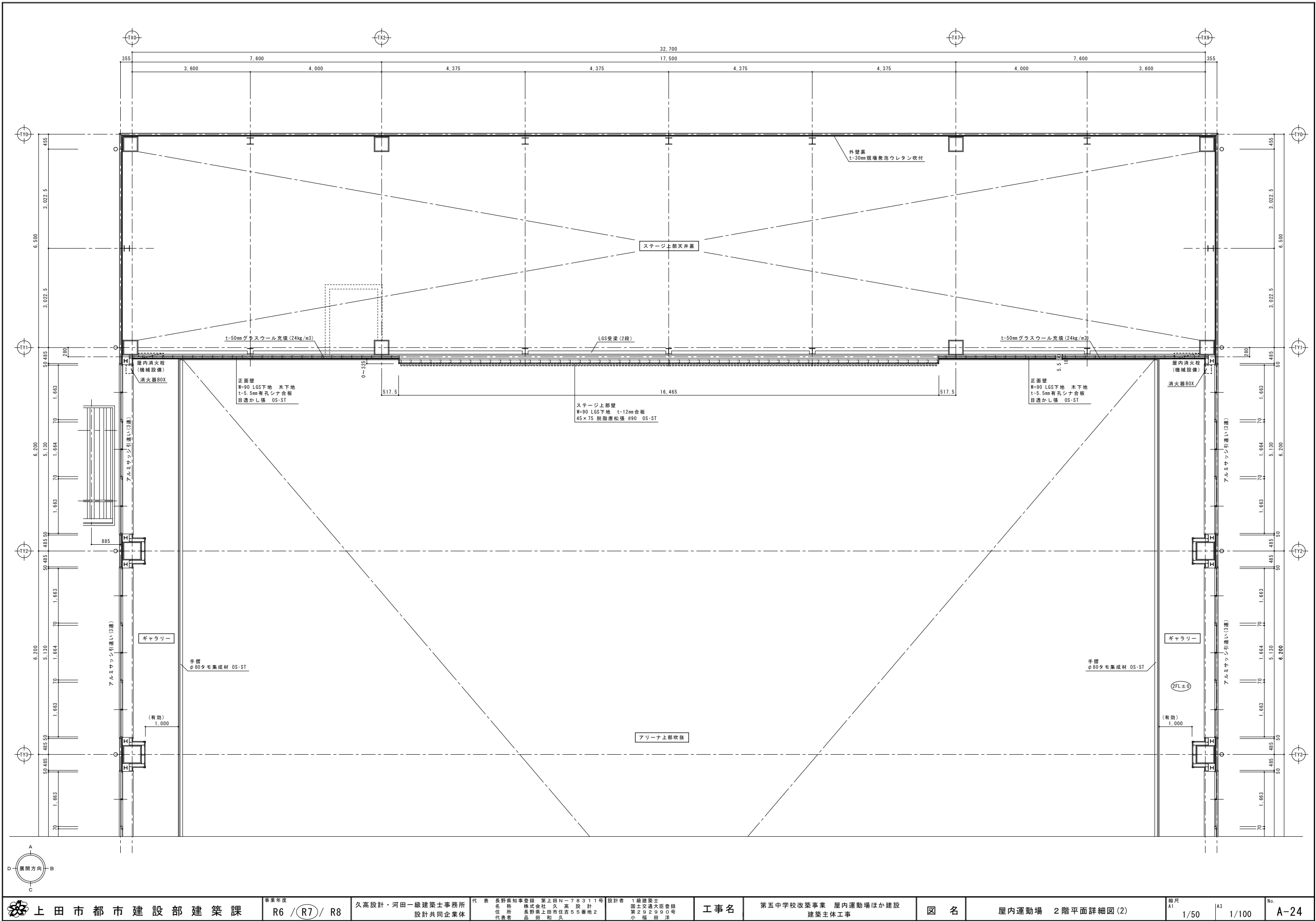


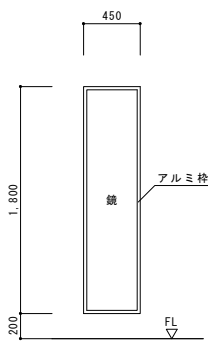
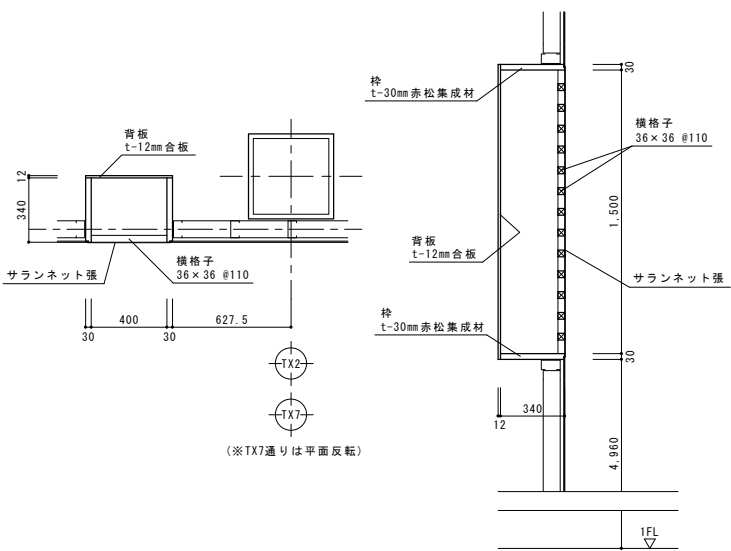
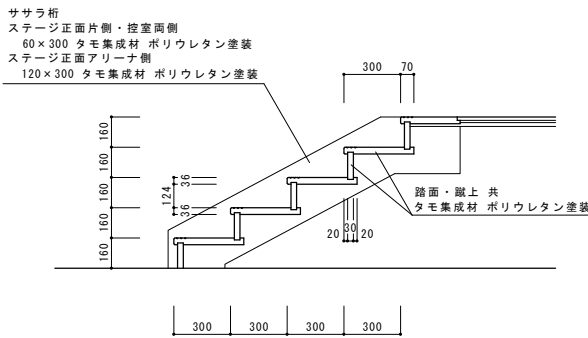
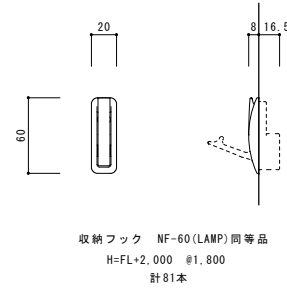
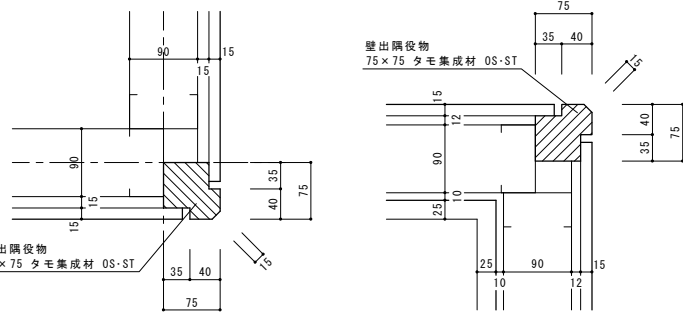
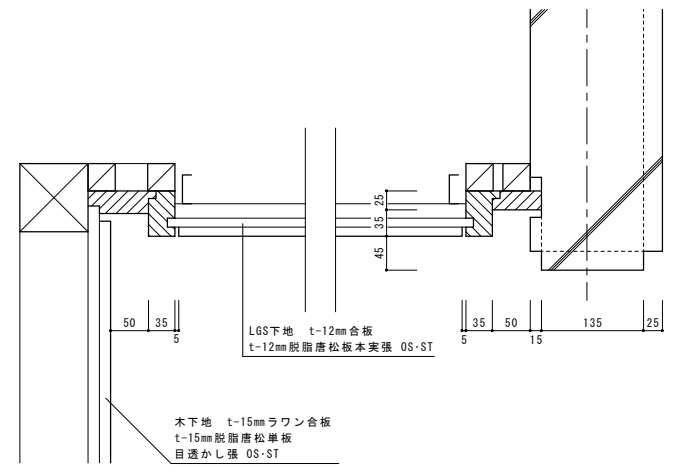
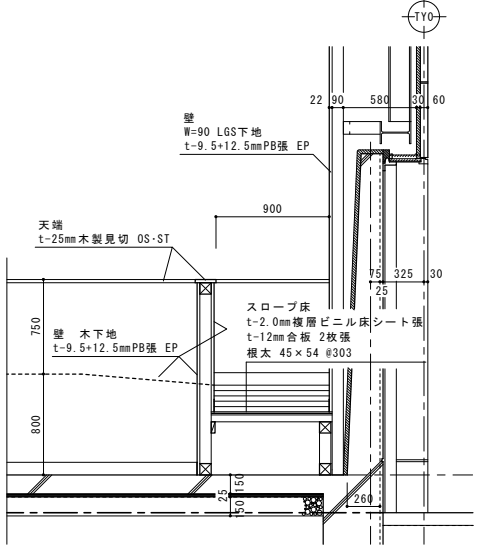
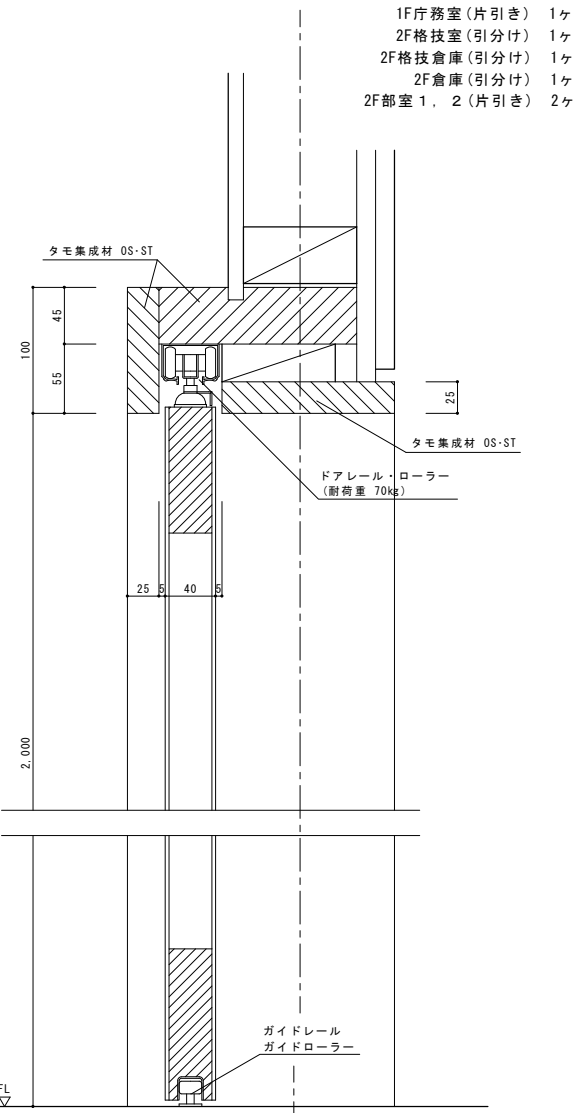
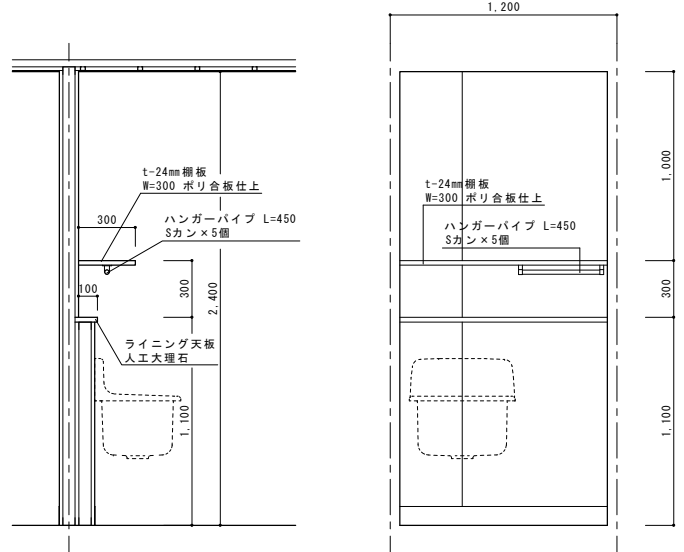






S02> - サインを示す

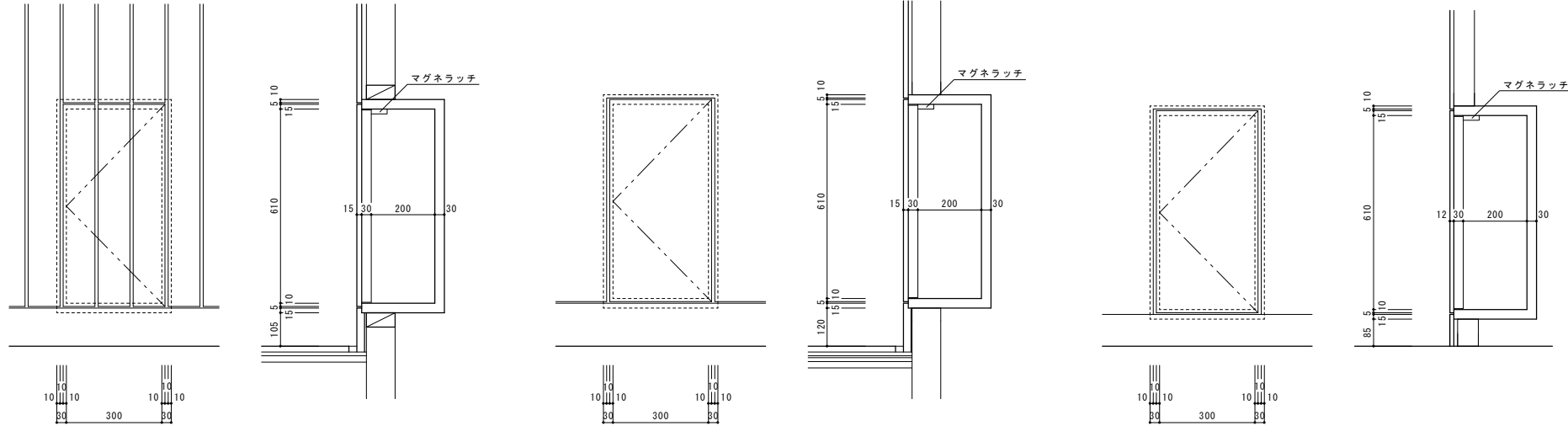


姿見 S:1/30 男子トイレ 1ヶ所 女子トイレ 1ヶ所 更衣室 1 1ヶ所 更衣室 2 1ヶ所 	アリーナ スピーカーBOX S:1/20 2ヶ所	ステージ・控室 階段 S:1/20 ステージ正面 2ヶ所 控室 2ヶ所 	アリーナ 幕掛用フック S:1/3 
アリーナ・格技室 壁出隅役物 S:1/5 アリーナ 格技室 	アリーナ ギャラリー下天井廻り S:1/5 	控室兼器具庫 スロープ S:1/30 	木製ハンガー戸 S:1/3 1F器具庫(引分け) 2ヶ所 1F社体倉庫(引分け) 1ヶ所 1F控室兼器具庫(片引き) 2ヶ所 1F体育準備室(片引き) 1ヶ所 1F更衣室 1, 2 (片引き) 2ヶ所 1F庁務室(片引き) 1ヶ所 2F格技室(引分け) 1ヶ所 2F格技倉庫(引分け) 1ヶ所 2F倉庫(引分け) 1ヶ所 2F部室 1, 2 (片引き) 2ヶ所 
S K S:1/20 	事業年度 R6 / (R7) / R8 久高設計・河田一級建築士事務所 設計共同企業体 代表 長野県知事登録 第上田N-78311号 名称 株式会社 久高設計 住所 長野県上田市住吉5-5番地2 代表者 品田和久 設計者 1級建築士 国土交通大臣登録 第29290号 小福田洋	工事名 第五中学校改築事業 屋内運動場ほか建設 建築主体工事 図名 屋内運動場 詳細図(1)	縮尺 A1 1/30 他 A3 1/60 他 No. A-25

消火器BOX	S:1/10	
--------	--------	--

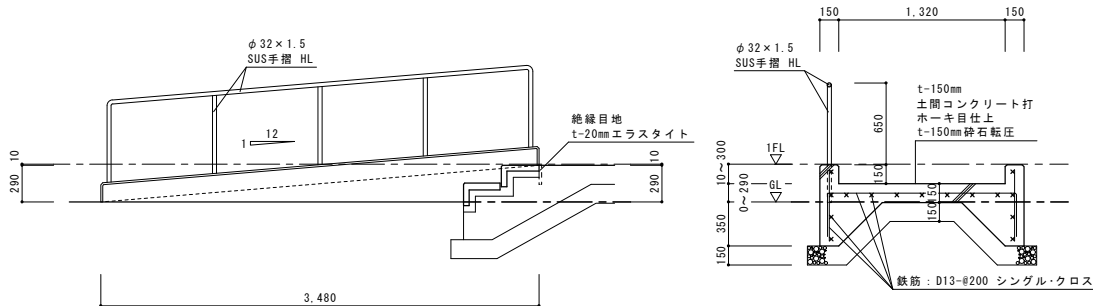
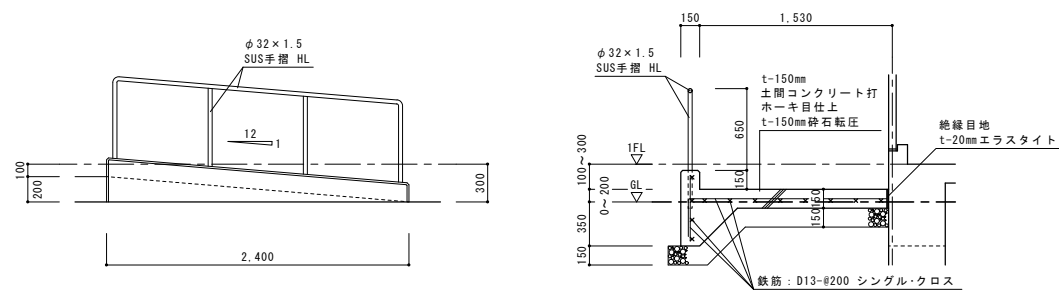
アリーナ 4ヶ所 扉 t-30mm合板の上に t-15mm脱脂唐松単板 目透かし張 OS-ST 隠し丁番・マグネラッチ 内部 t-30mm合板 フラッシュ仕上	格技室 1ヶ所 扉 t-30mm合板の上に t-15mm唐松LVL張 ウレタン塗装 隠し丁番・マグネラッチ 内部 t-30mm合板 フラッシュ仕上	器具庫 1ヶ所 扉 t-30mm合板の上に t-12mm合板張 隠し丁番・マグネラッチ 内部 t-30mm合板 フラッシュ仕上	左記以外 9ヶ所 スチール既製品 UFB-1F-211N (UNION 同等) ※特 扉と同色焼付塗装品
--	--	--	--

スチール既製品
UFB-1F-211N (UNION 同等)
※枠 扉と同色焼付塗装品

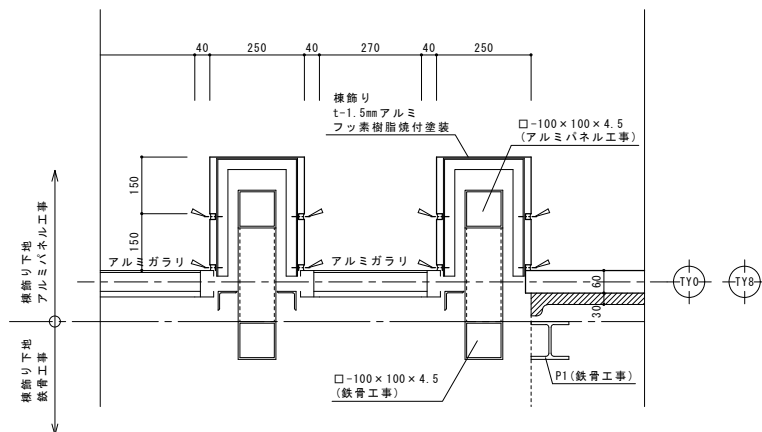


玄関ポーチ スロープ S:1/30

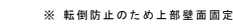
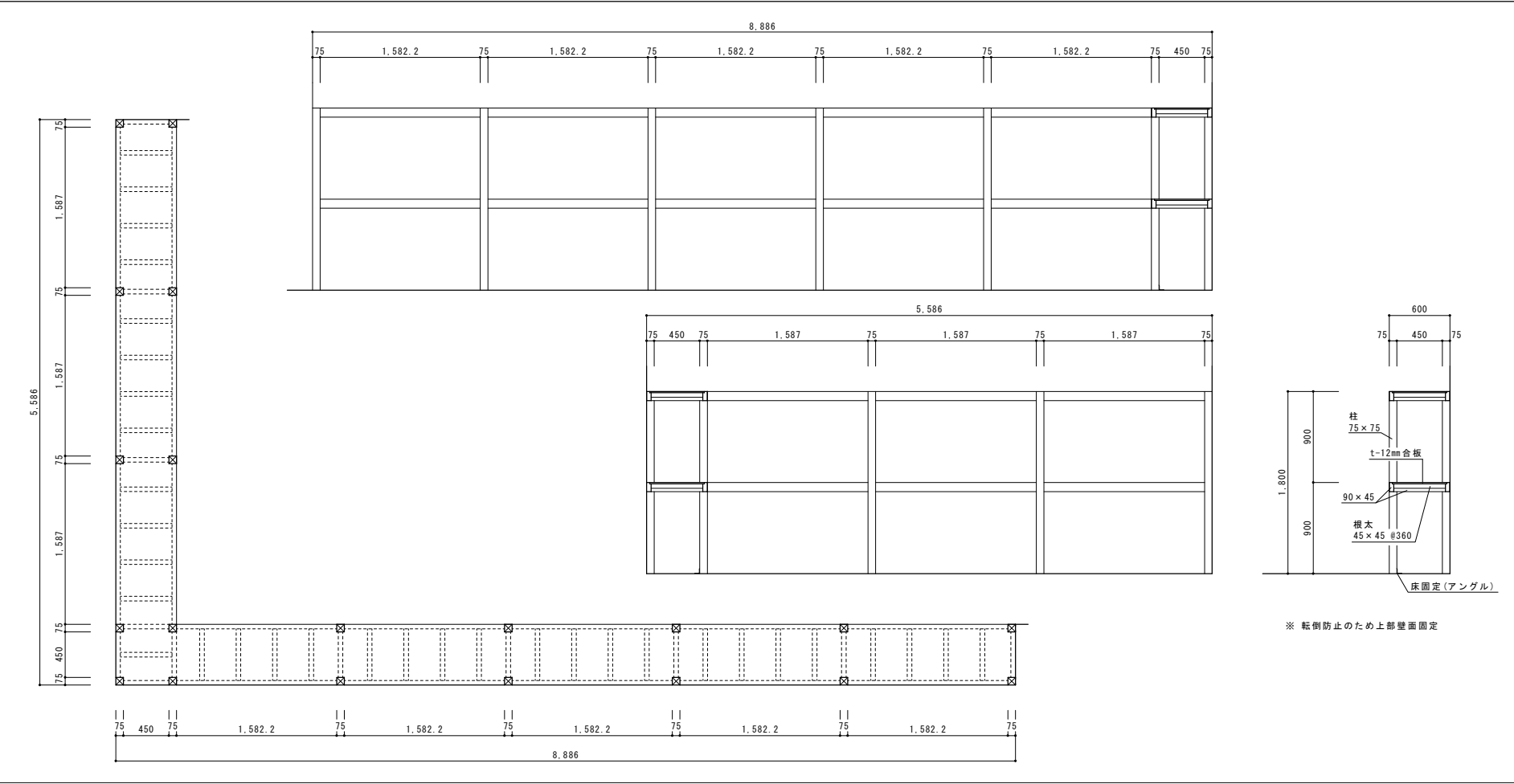
南側 スロープ S:1/30	
----------------	--



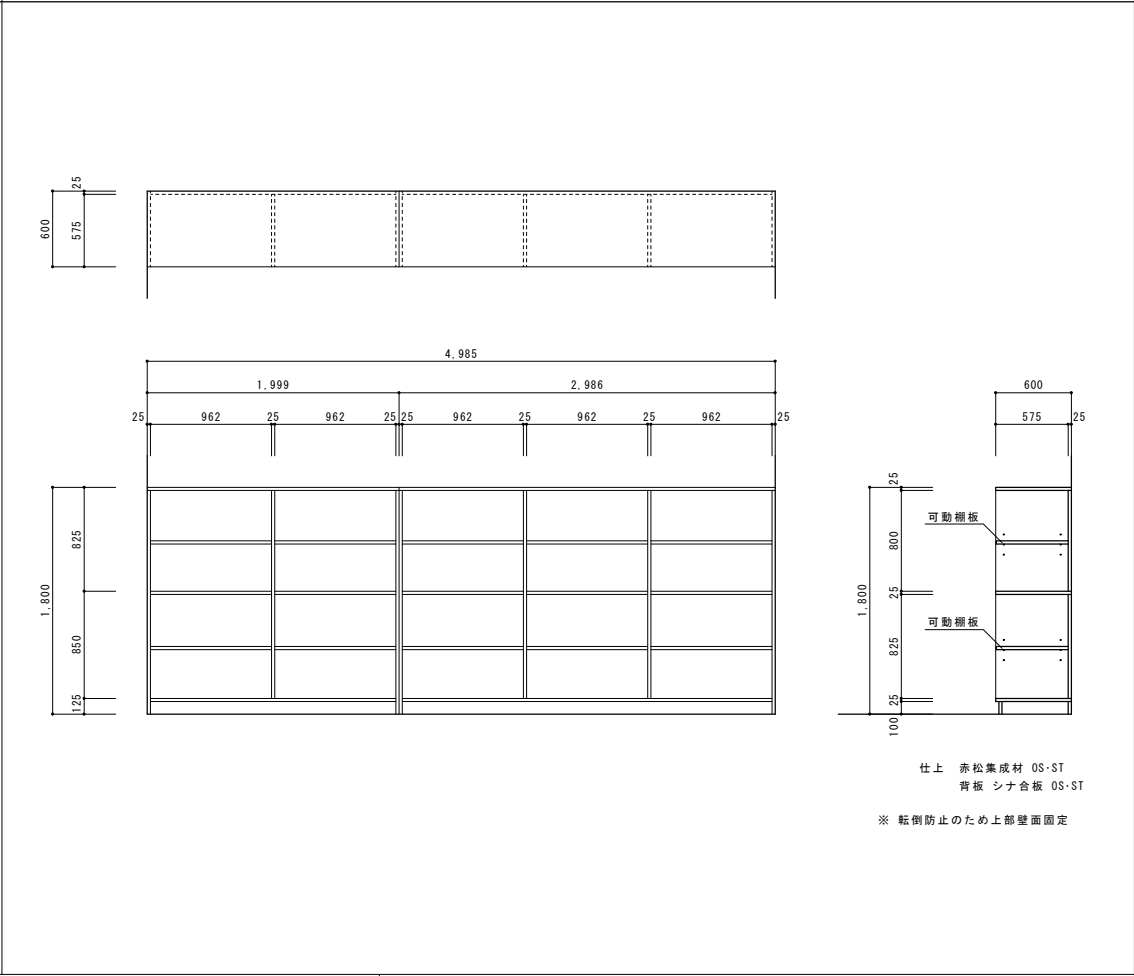
棟 飾り S:1/10



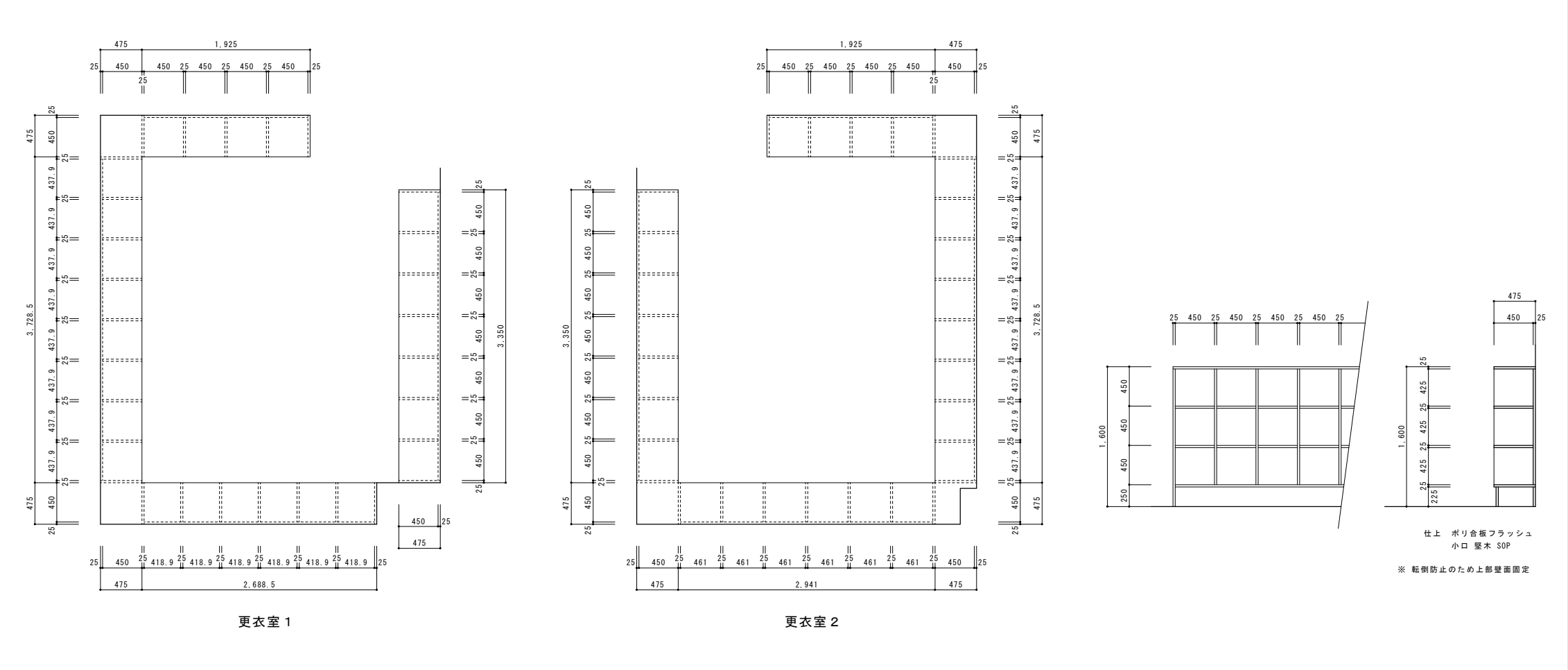
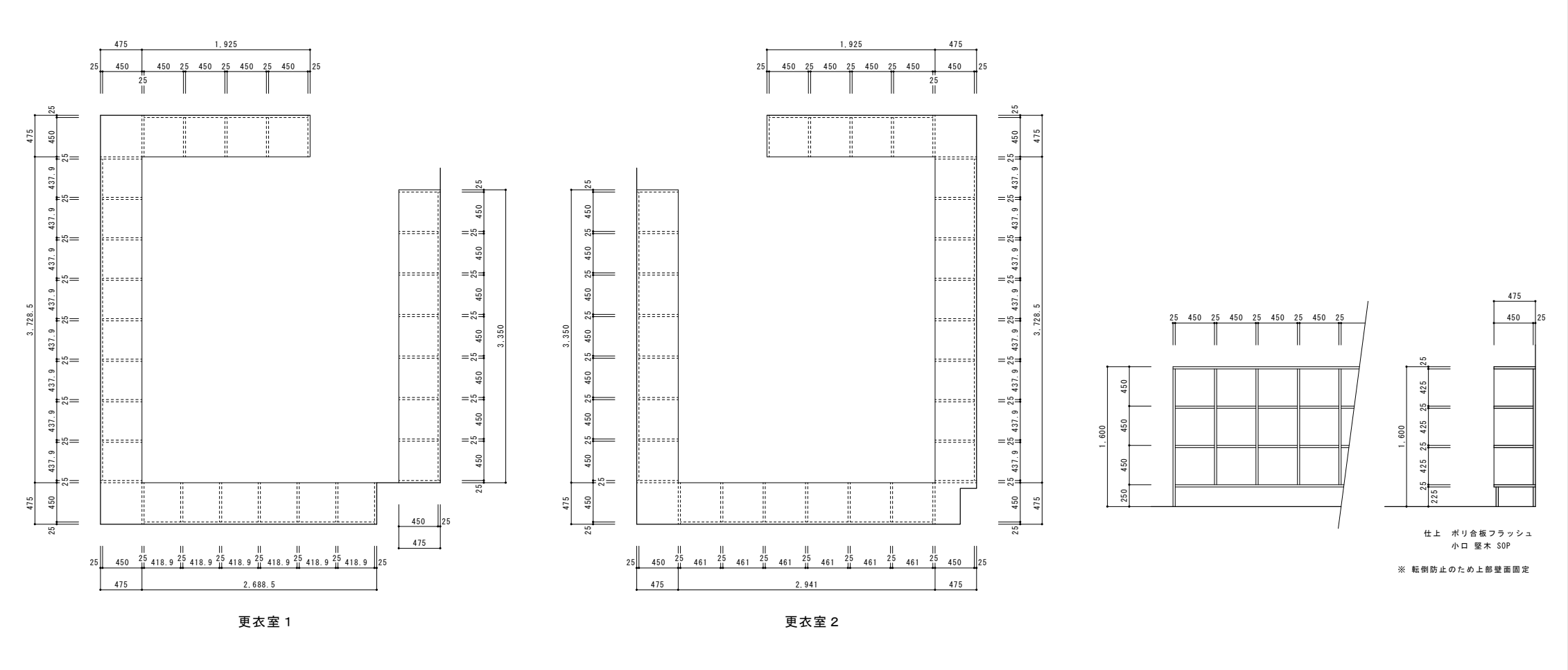
器具庫 棚 A S:1/30



器具庫 棚B S:1/30



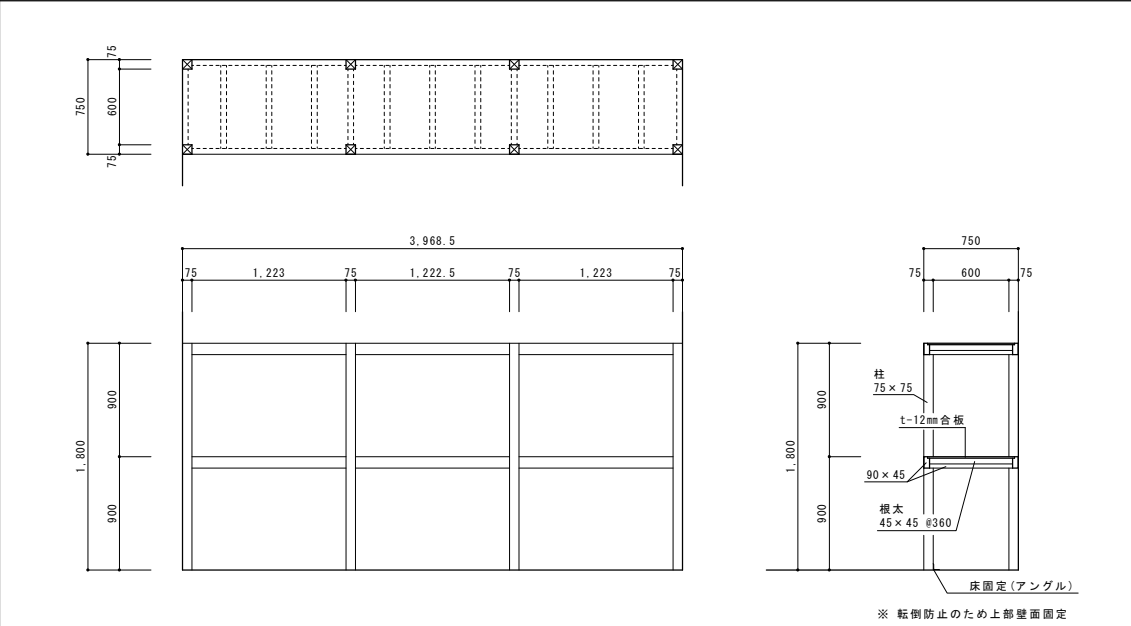
更衣室 1 · 更衣室 2 更衣棚 S:1/30



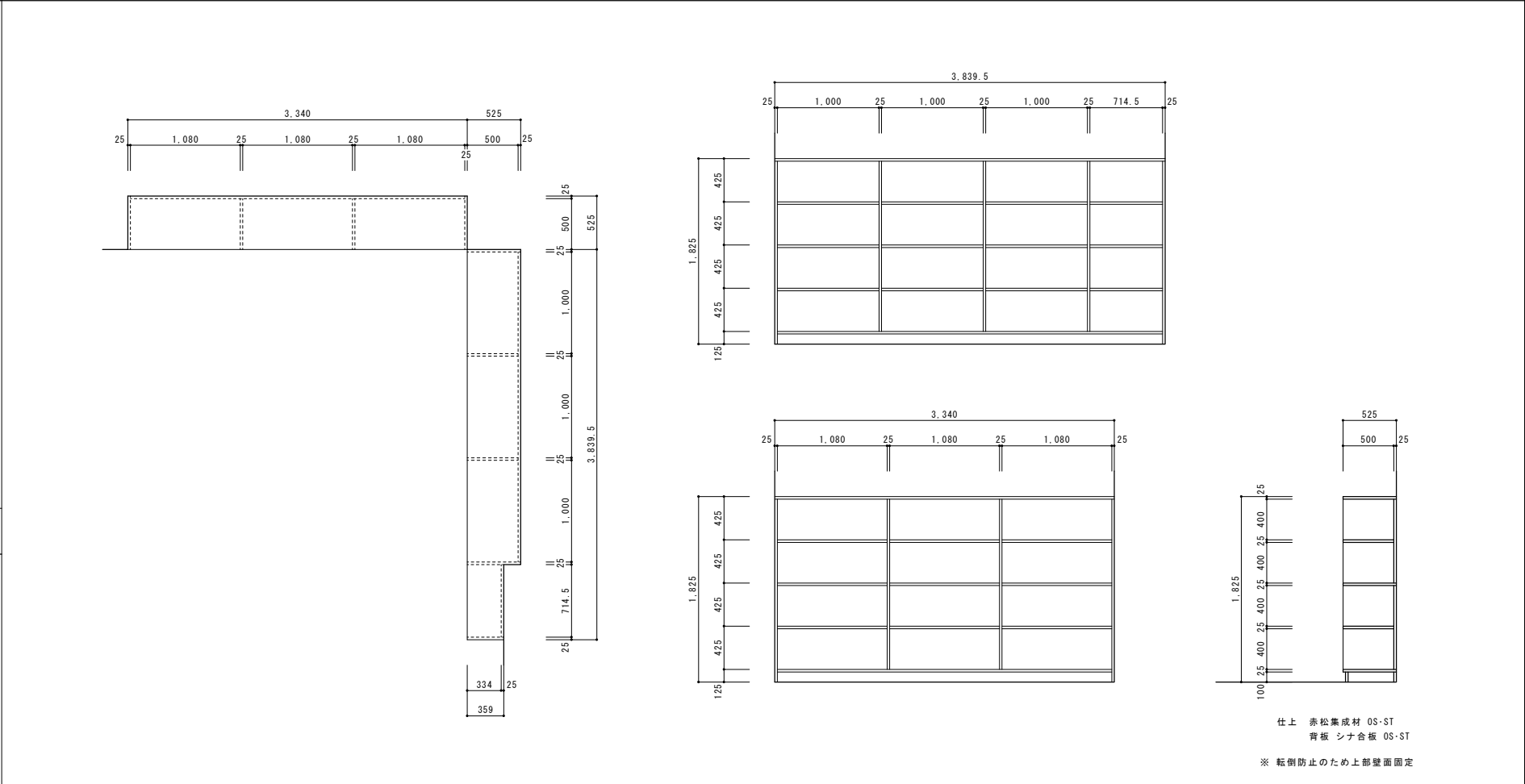
1F倉庫 棚 S:1/30		庁務室 棚 S:1/30		掃除用具入 S:1/30	
※ 転倒防止のため上部壁面固定 仕上 赤松集成材 OS-ST 背板 シナ合板 OS-ST		※ 転倒防止のため上部壁面固定		庁務室 1ヶ所 体育準備室 1ヶ所 仕上 扉 シナ合板フラッシュ OS-ST 取手 マグネットキャッチ 隠し丁番 スリット入 内部 ラワン合板仕上 ※ 転倒防止のため上部壁面固定	
体育準備室 棚 S:1/30		1Fホール 下足入 S:1/30			
※ 転倒防止のため上部壁面固定		※ 転倒防止のため上部壁面固定			
1F廊下 ステンレス流し S:1/30		2Fホール 下足入 S:1/30		2F倉庫 棚 S:1/30	
※ 転倒防止のため上部壁面固定		※ 転倒防止のため上部壁面固定		※ 転倒防止のため上部壁面固定	

	上田市都市建設部建築課	事業年度	R6 / (R7) / R8	久高設計・河田一級建築士事務所 設計共同企業体	代 表	長野県知事登録 第上田N-78311号 株主会社 久高設計 住 所 長野県上田市住吉55番地2 代 表 者 田 和 久	設計者	1級建築士 国土交通大臣登録 第292990号 小 福 田 洋	工 事 名	第五中学校改築事業 屋内運動場ほか建設 建築主体工事	図 名	屋内運動場 家具詳細図(2)	縮尺	A1	A3	No.
		1/30	1/60	A-28												

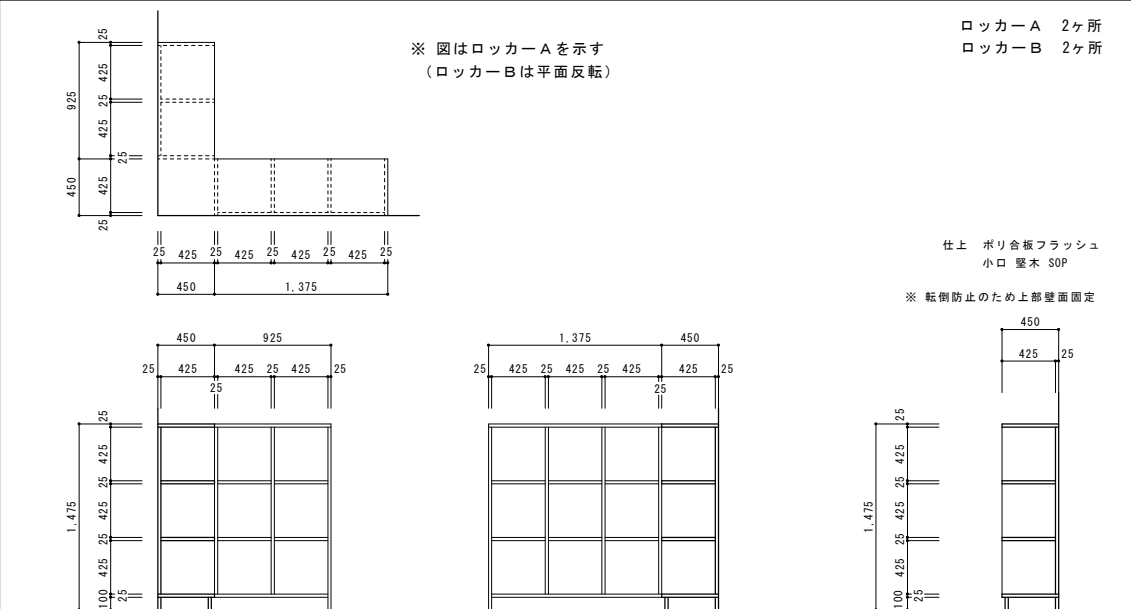
格技倉庫 棚 S:1/30

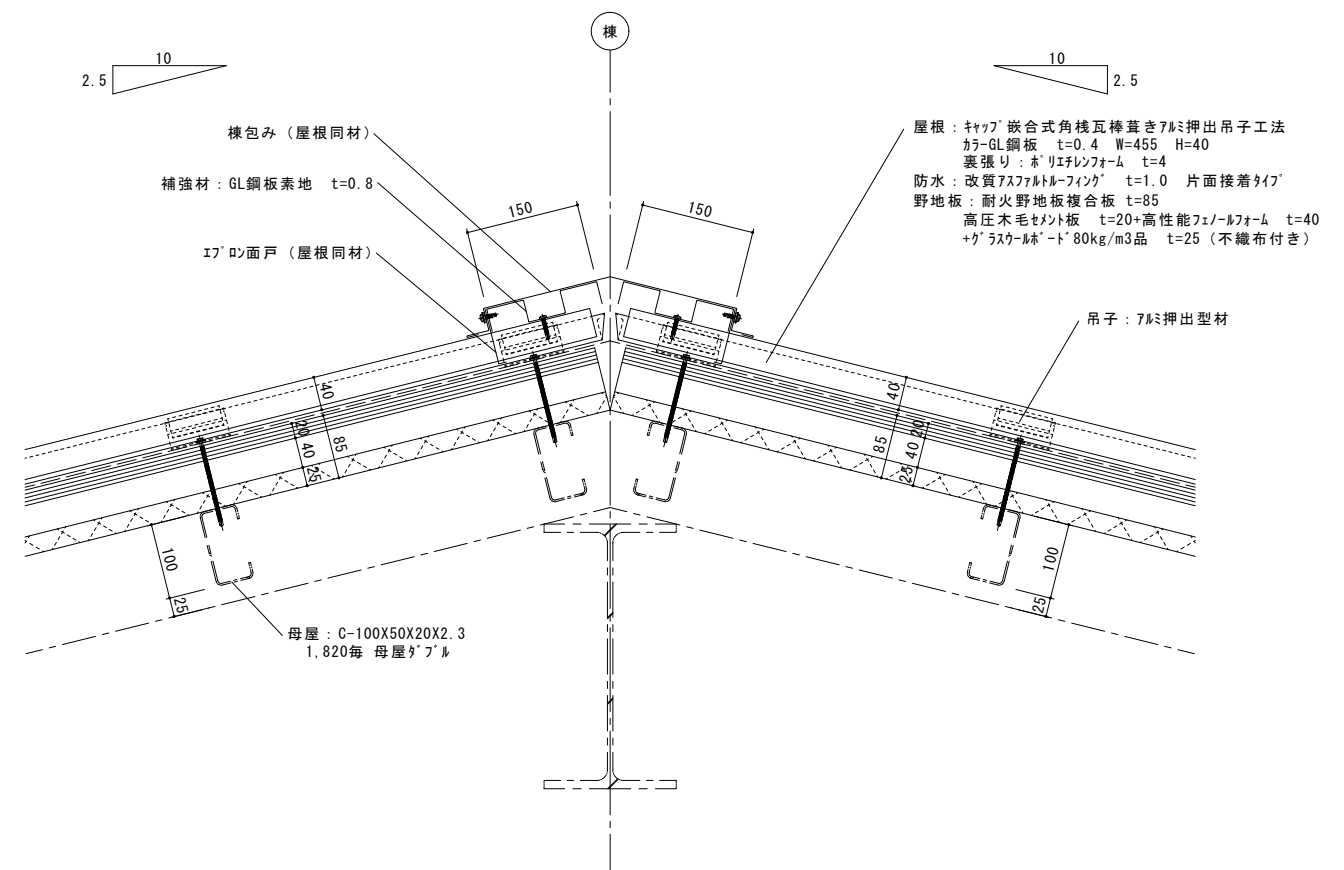
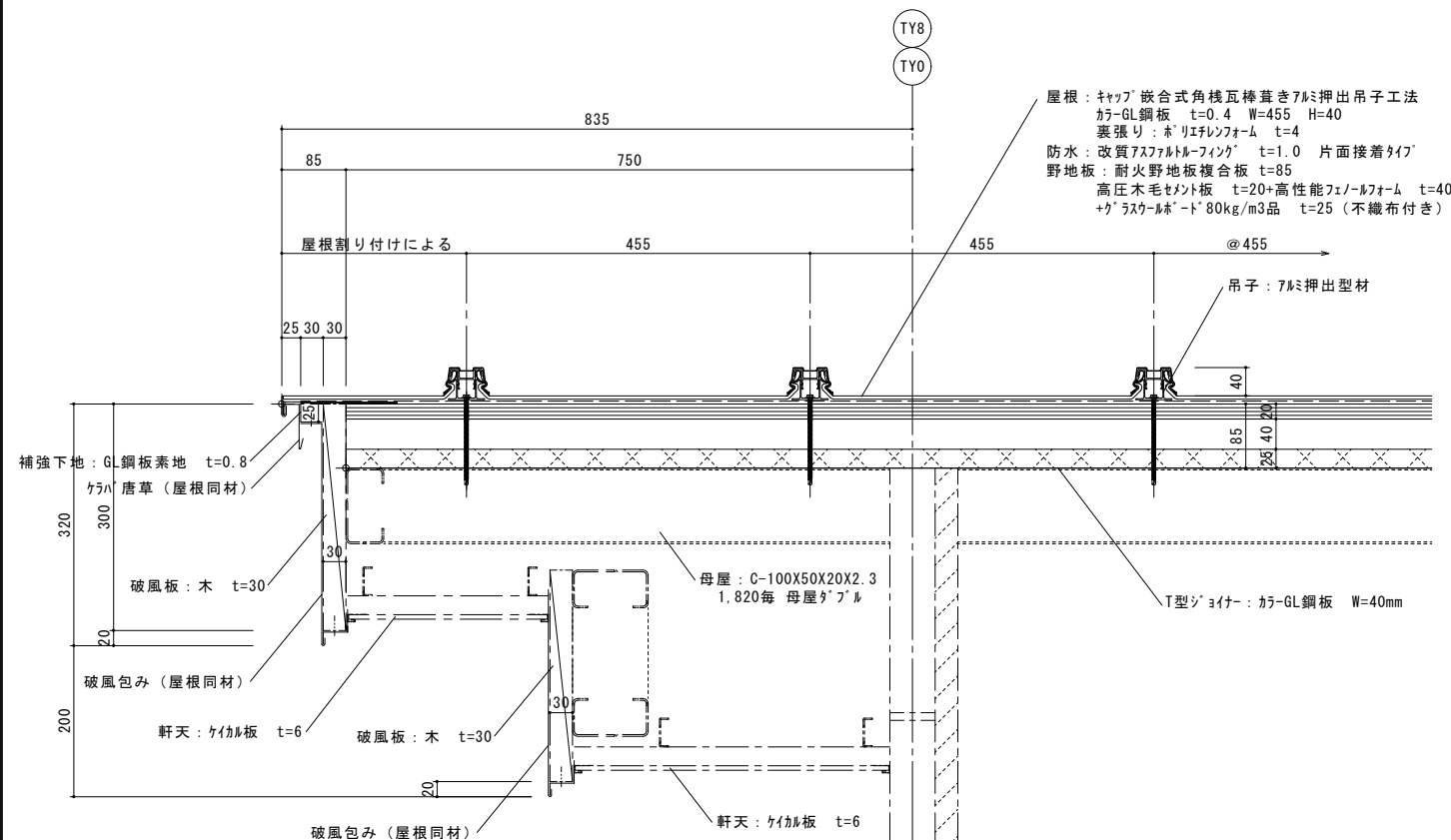
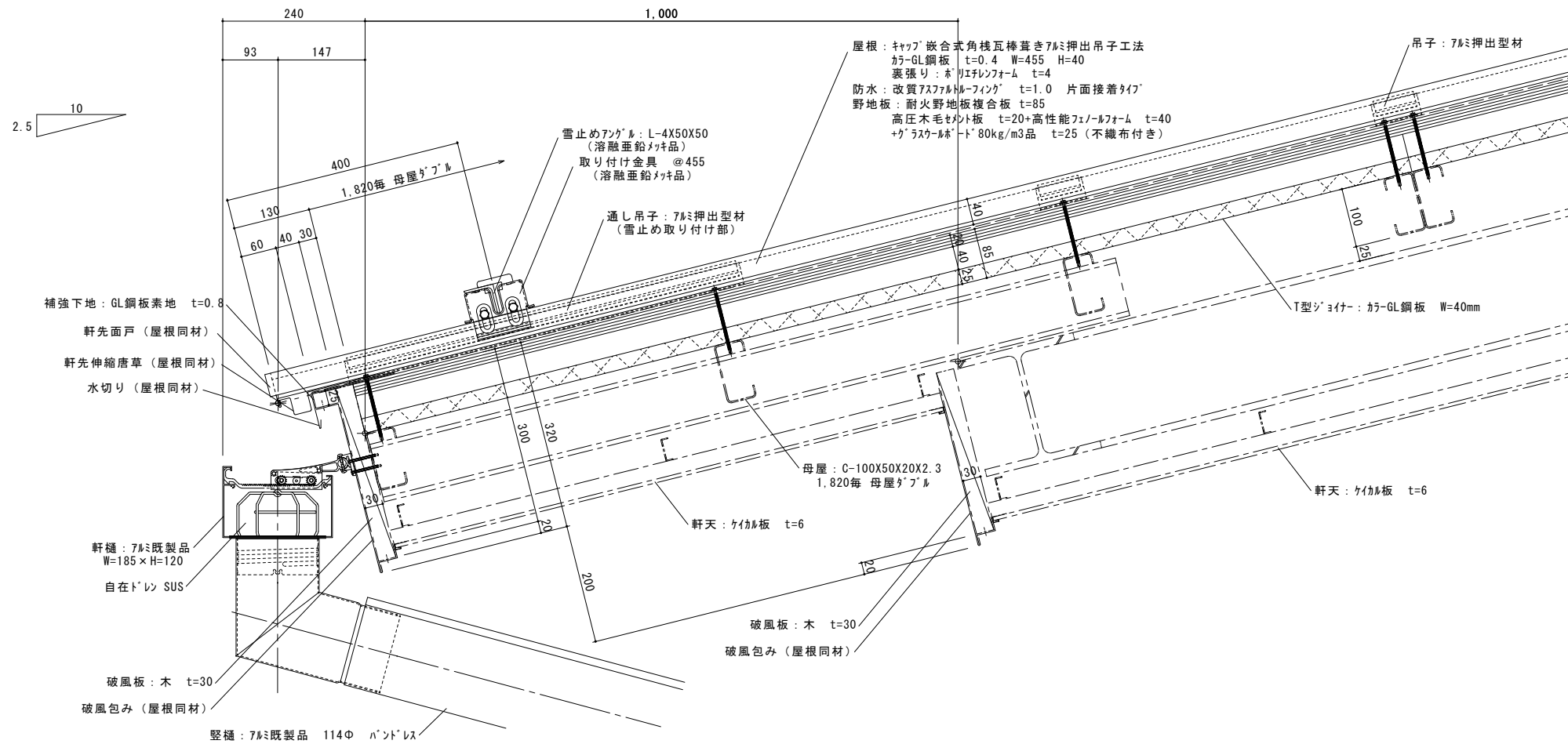


格技倉庫 防具棚 S:1/30



部室 ロッカー A・B S:1/30 ※別途工事(参考図)





Architectural floor plan of a large hall, likely a sports arena or event space, showing a grid system and various functional areas.

Grid System:

- Vertical Grid (Left): TY0, TY1, TY2, TY3, TY4, TY5, TY6, TY7
- Horizontal Grid (Bottom): TX0, TX1, TX3, TX4, TX5, TX6, TX8, TX9

Key Areas and Features:

- アリーナ (Arena):** The central large open space.
- ステージ (Stage):** Located at the top center.
- 控室兼器具庫 (Control room and equipment storage):** Two areas, one on the top left and one on the top right.
- 放送室 (Broadcasting room):** Located near the top left control room.
- フロア換気口 (Floor ventilation grilles):** 200x500x15, 開口率48% 二連結 計24カ所 (Opening rate 48%, double connection, total 24 locations).
- 大引鋼 (Main steel beam):** 30x40x1.6@900
- 根太鋼 (Joist steel beam):** 30x45x1.2@303
- サポートスタンド (Support stand):** 900x1250
- 針葉樹構造用合板 (Softwood structural plywood):** t12
- ベースパネル (Base panel):** t20
- 両面特殊耐湿シート (Double-sided special moisture-resistant sheet):** 貼り (Applied)
- ウレタン塗装 (Urethane coating):** 3回 (3 times)
- 高耐久大型積層フローリング (High durability large laminated flooring):** t18
- 寸法安定高強度処理 (Dimensional stability high strength treatment):** (表層6mm) (Surface 6mm)

Dimensions:

- Overall Width: 32,700
- Overall Height: 6,500
- Grid Spacing (Horizontal): 5,000, 4,540, 4,540, 4,540, 4,540, 4,540, 5,000
- Grid Spacing (Vertical): 6,200, 6,200, 6,200, 6,200, 6,200, 6,200, 6,200

Other Labels:

- UP (Up)
- DOWN
- 52, 59 (Room numbers)
- 300mm (Dimension)
- 38x12x1.2 (Dimension)

【アリーナ標準床断面S=1/10】

ウレタン塗装3級
高耐久大梁構造フローリングt18
寸法定高強度処理（表層6mm）
針葉樹構造用合板t12
ベースパネルt20
両面特殊耐湿シート貼り

バネL型金具
M12×1.25（右ねじ）
支持ボルト
M12×1.25（上下逆ねじ）
ゴム束留
M12×1.25（左ねじ）
クッションゴム

220 250

ウレタン塗装3回

高耐久大型積層フローリングt18

寸法安定高強度処理 (表層6mm)

針葉樹構造用合板t12

根太鋼30 x 45 x 1.2 @ 303

大引鋼50 x 60 x 1.6 @ 900

サポースタンド@900 x 1250

800

ウレタン塗装3回

高耐久大型積層フローリングt18

寸法安定高強度処理 (表層6mm)

針葉樹構造用合板t12

根太鋼30 x 45 x 1.2 @ 303

大引鋼50 x 60 x 1.6 @ 900

サポースタンド@900 x 1250

800

【アリーナ出入口廻り納まりS=1/10】

EXPゴム18×25

ウレタン塗装3回
高耐久大型積層フローリングt18
寸法安定高強度処理（表層6mm）
針葉樹構造用合板t12
ベースパネルt20
両面特殊耐湿シート貼り

安全具
支持ボルト

緩衝用クッションゴム
補強用クッションゴム

220
250

フロア換気口200×500×15
開口率48%

ウレタン塗装3回
高耐久大型積層フローリングt18
寸法安定高強度処理（表層6mm）
針葉樹構造用合板t12
ベースパネルt20
両面特殊耐湿シート貼り

安全具
支持ボルト

緩衝用クッションゴム
クッションゴム

220
250

【アリーナへステージ廻り納まりS=1/10】

ウレタン塗装3回
高耐久大型積層フローリングt18
寸法安定高強度処理 (表層6mm)
針葉樹構造用合板t12
ベースパネルt20
両面特殊耐湿シート貼り

EXPゴム18×25

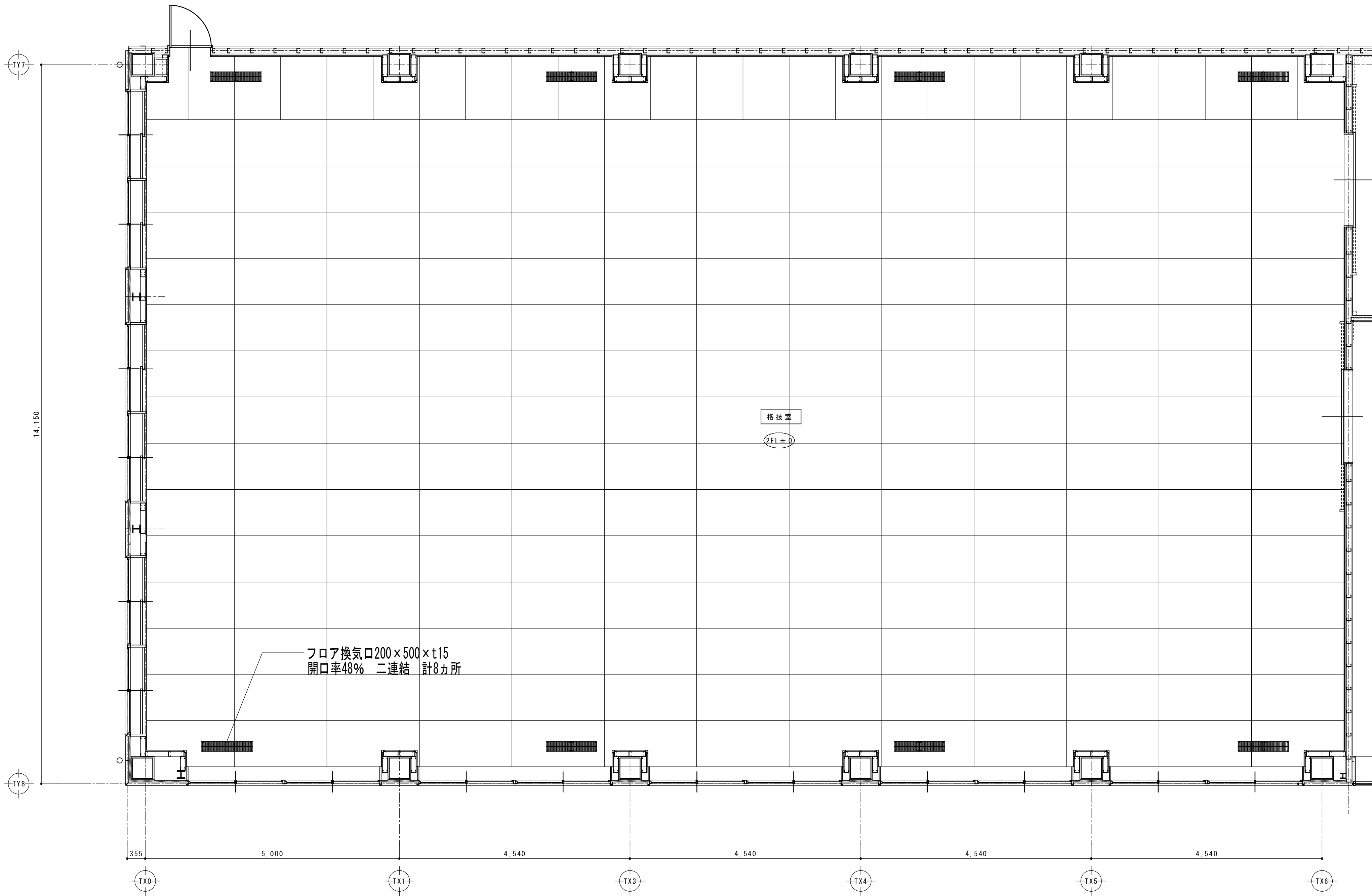
大引鋼50×60×1.6@900
サポートスタンド@900・1250
連結バー38×12×1.2

受金具
支持ボルト
補部用クッションゴム
補強用クッションゴム

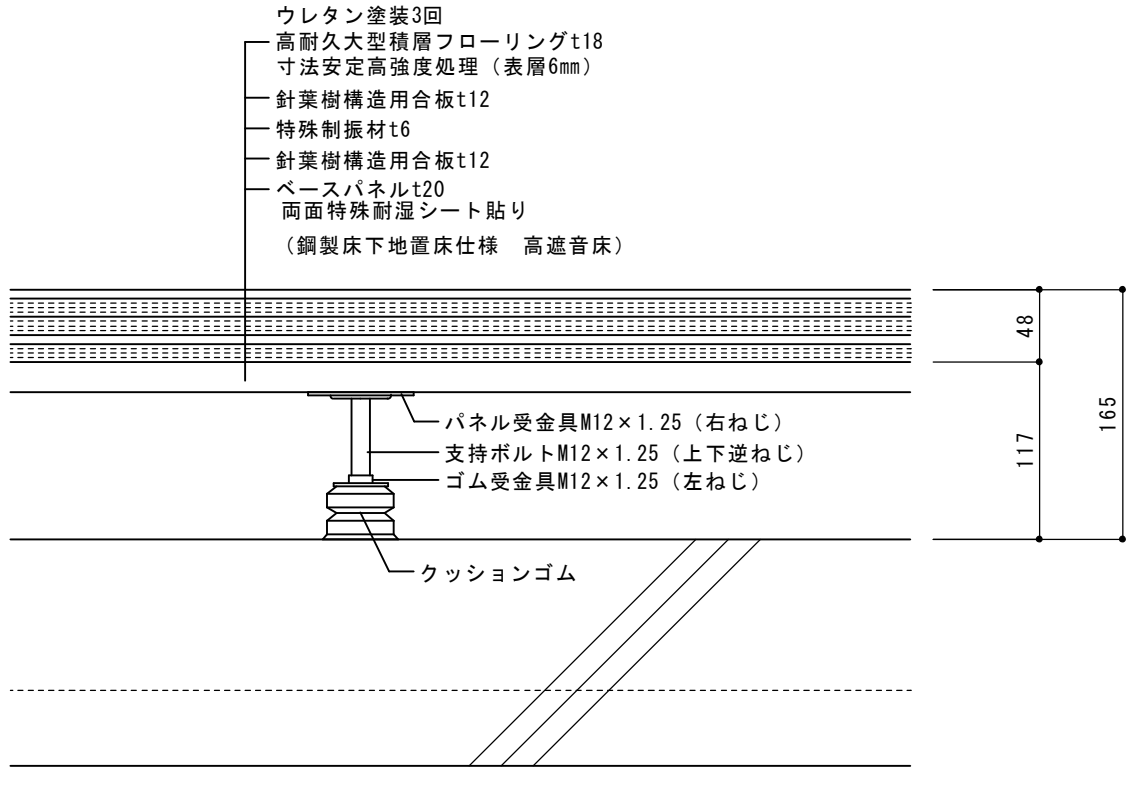
250
30
220
160
900
539
200

○ は支持脚を示す

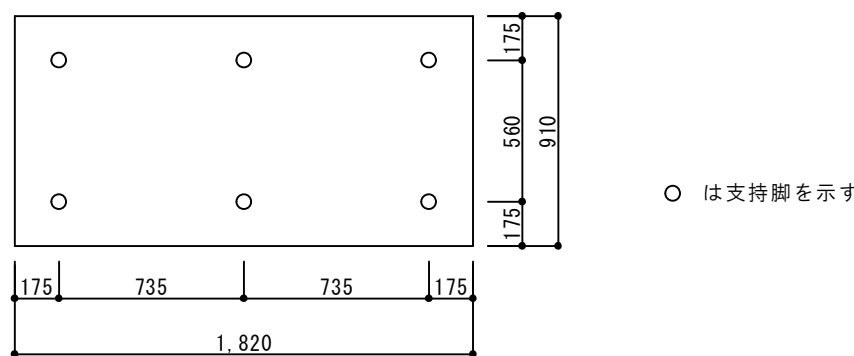
【格技室床伏図S=1/50】



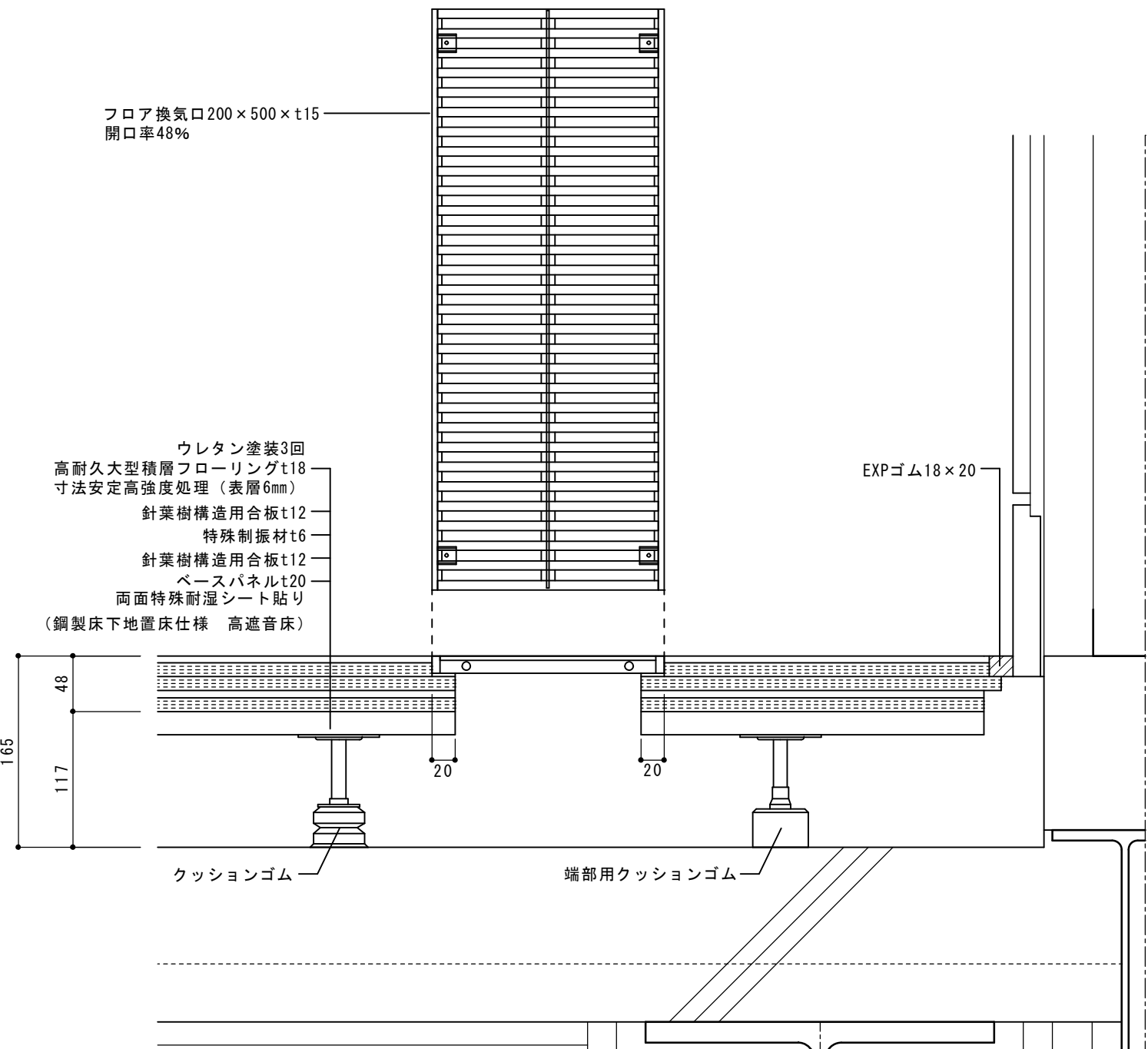
【格技室基本床断面S=1/5】



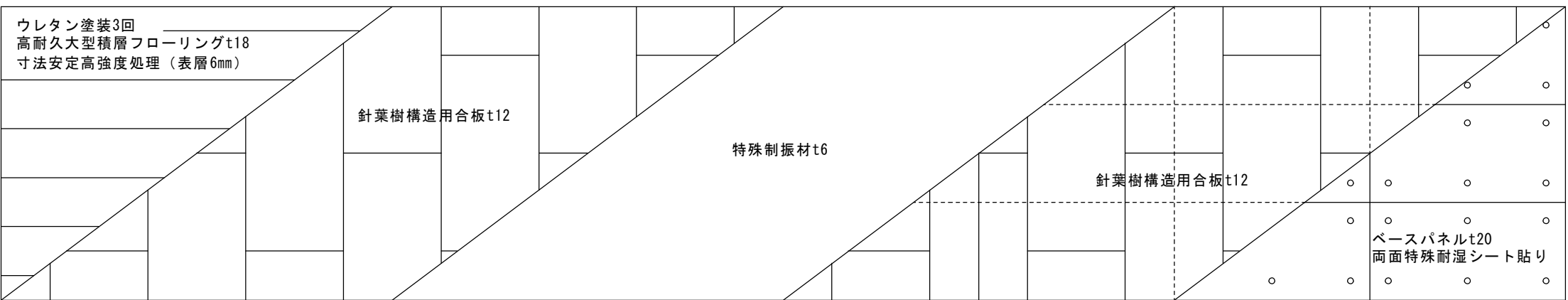
【格技場使用パネルS=1/30】



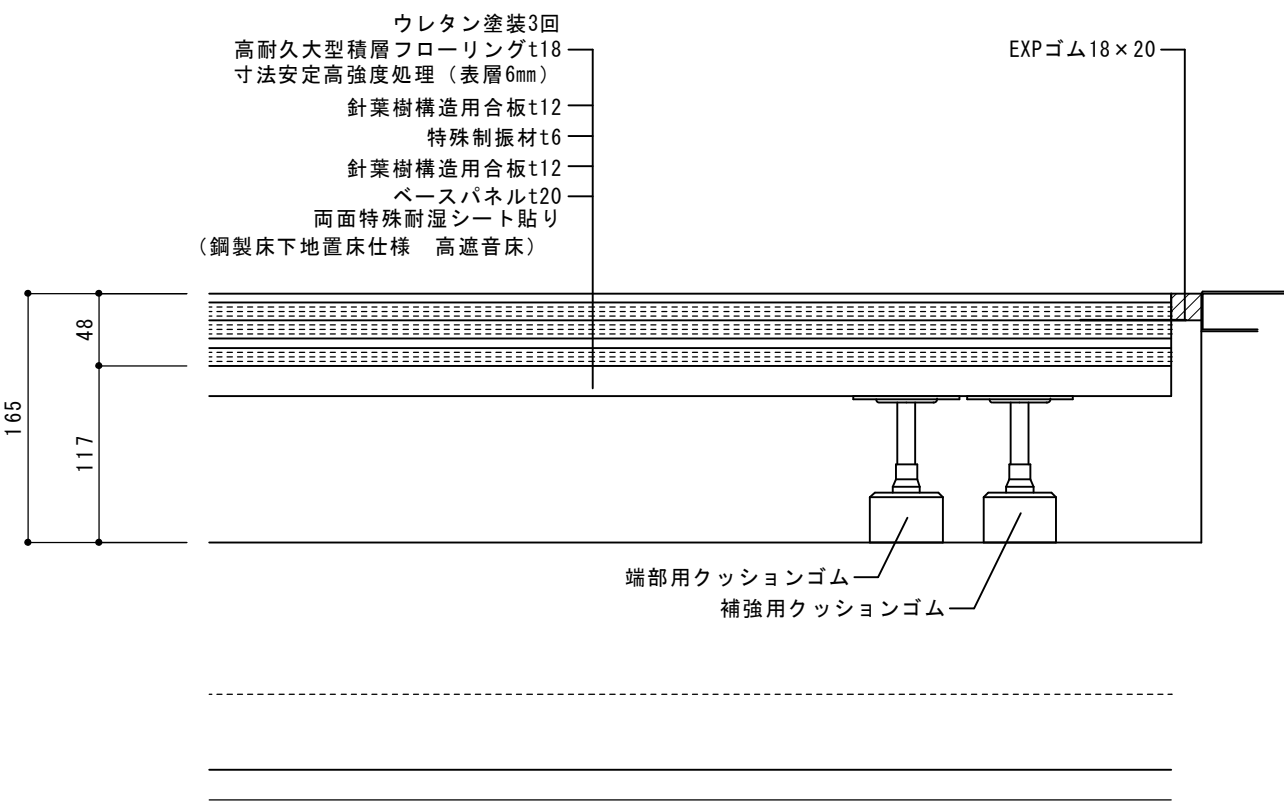
【格技室壁・換気口廻り納まりS=1/5】



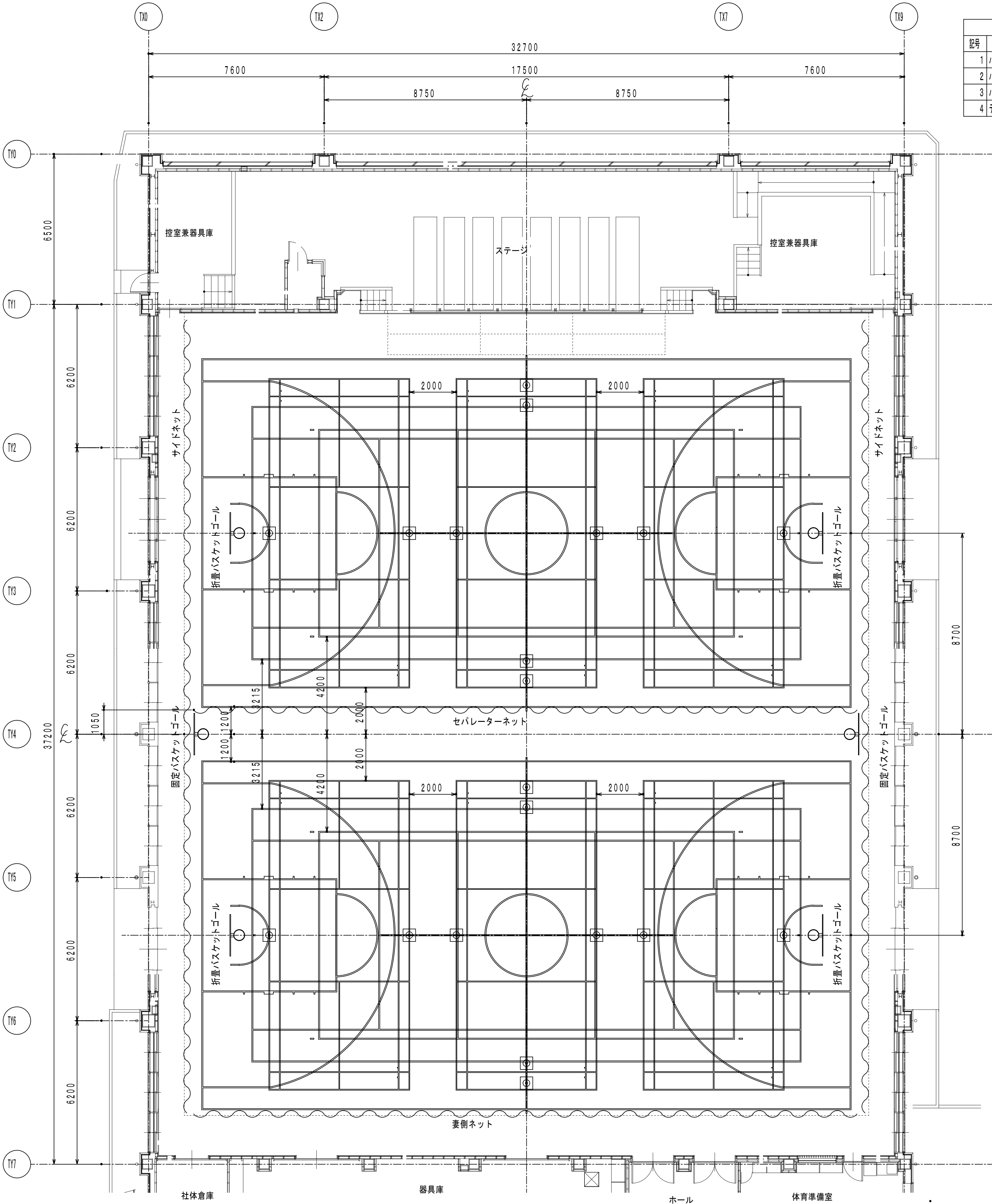
【格技室床詳細S=1/50】



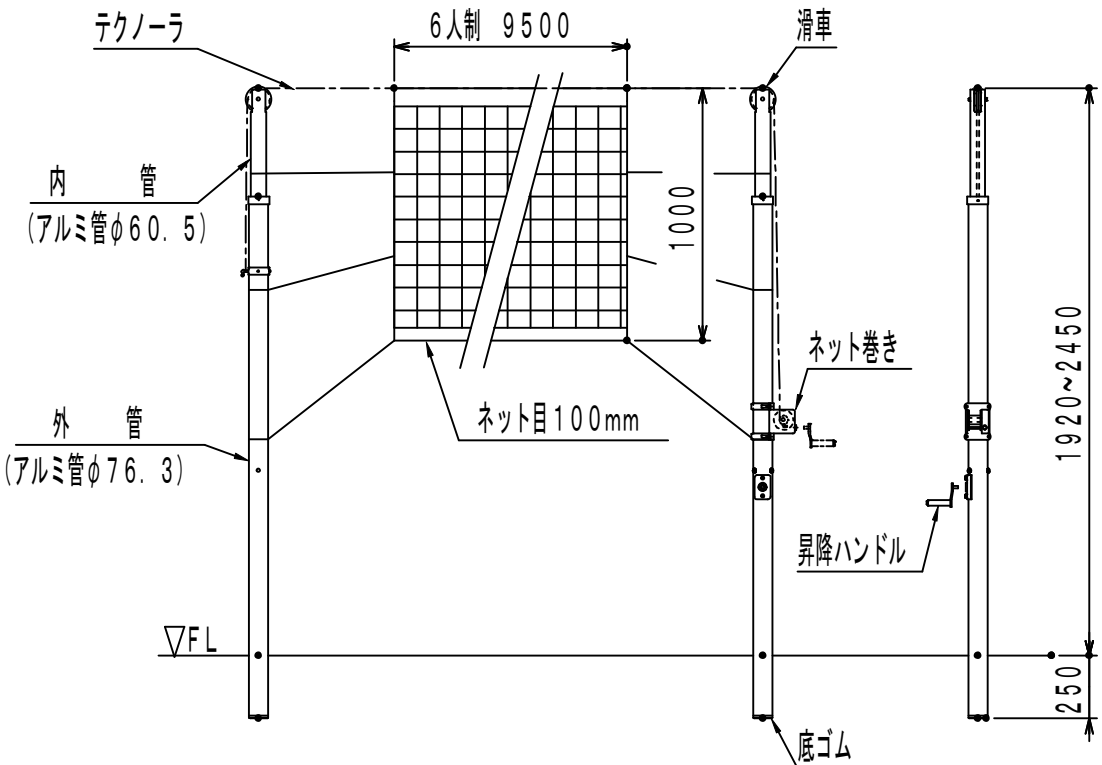
【格技室出入口廻り納まりS=1/5】



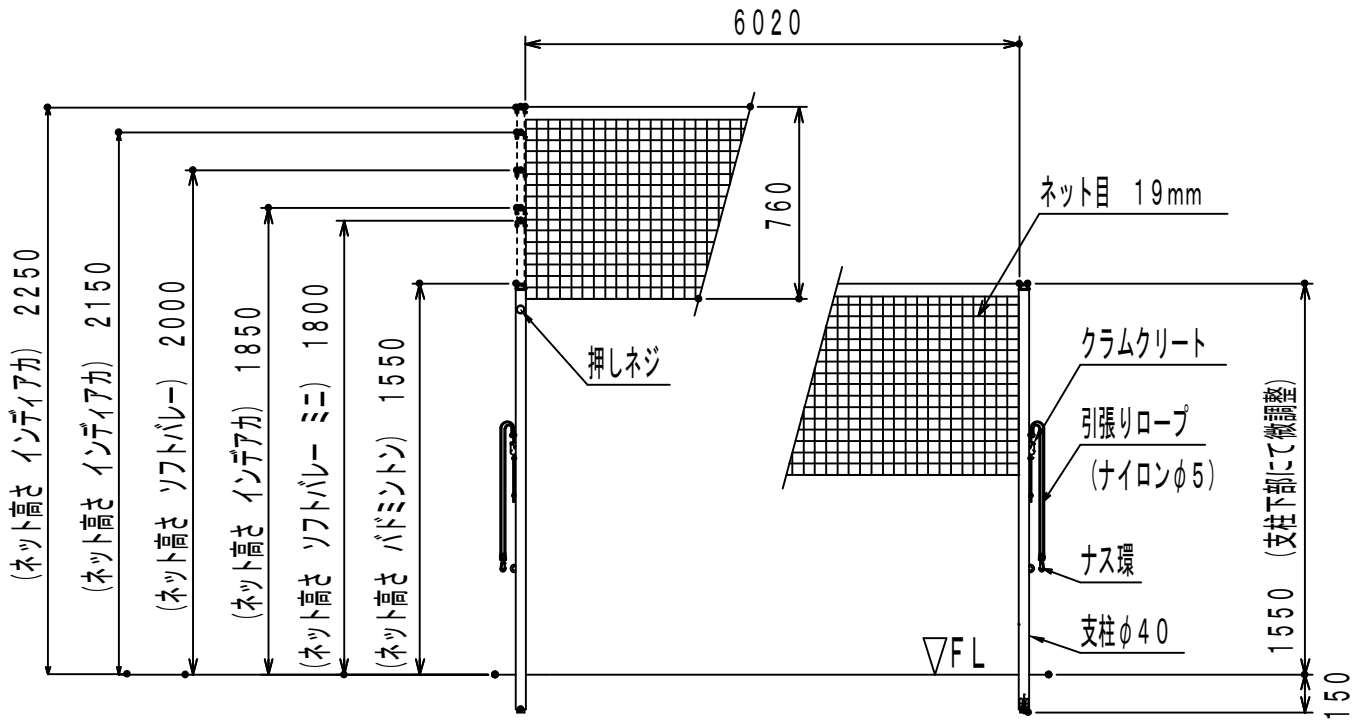
コートライン内訳表					
記号	種 別	寸 法	面数	備 考	
1	バスケットボールコート	28000×15000	2面	実線	ライン幅50mm
2	バレーボールコート (6人制)	18000× 9000	2面	実線	ライン幅50mm
3	バドミントンコート	13400× 6100	6面	実線	ライン幅40mm
4	テニスコート	23770×10970	2面	実線	ライン幅50mm



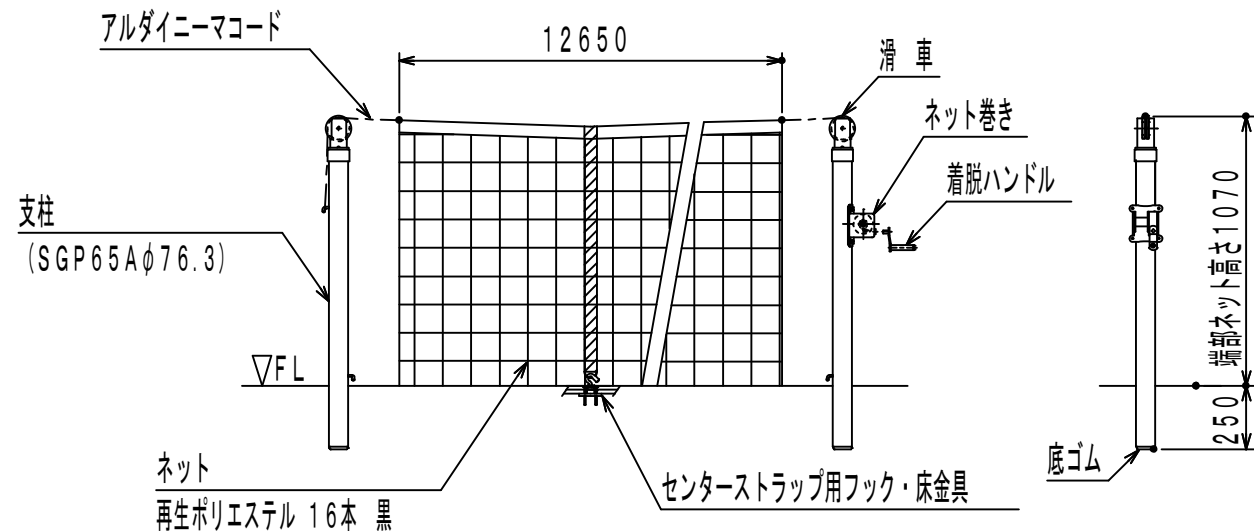
DE133000 バレーボール用支柱 アルミ製 ベベルギヤー式
DE820200 6人制バレーボール用ネット 検定AA級 S=1/30



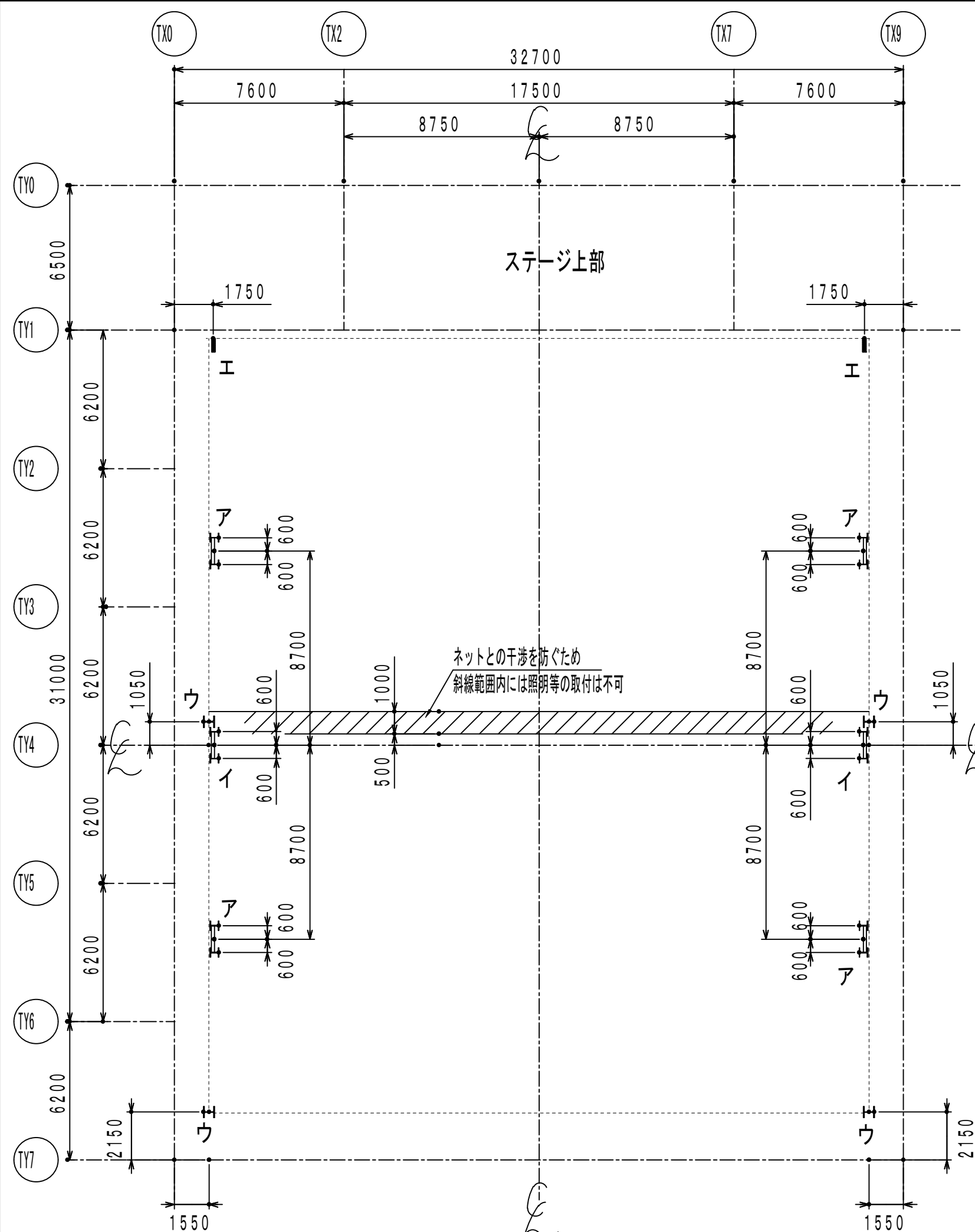
DE453100 兼用支柱 (差込式) S=1/30
日本バドミントン協会検定品
DG811000 バドミントン用ネット
検定 ナイロン 235T/15本 ワインカラー



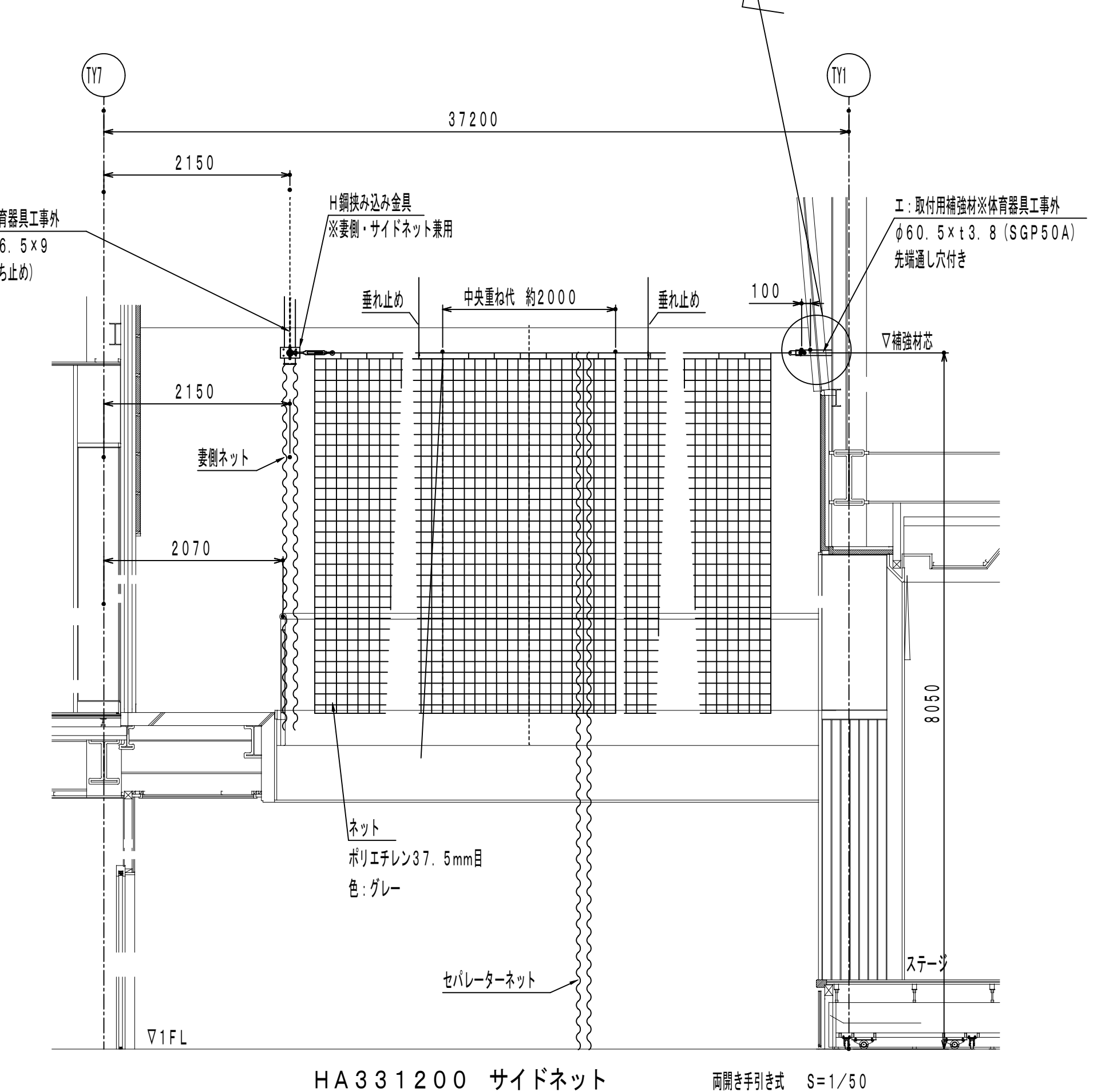
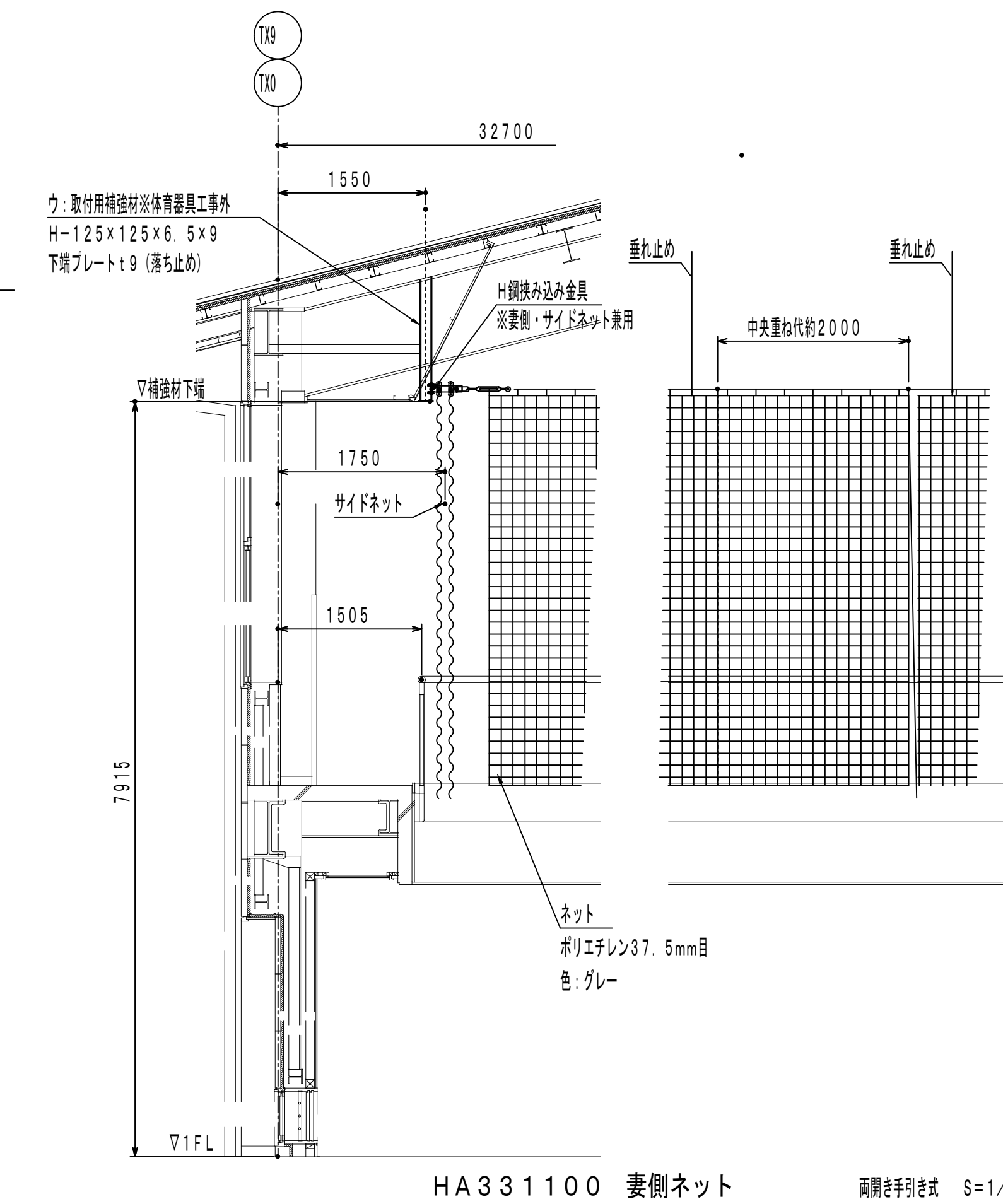
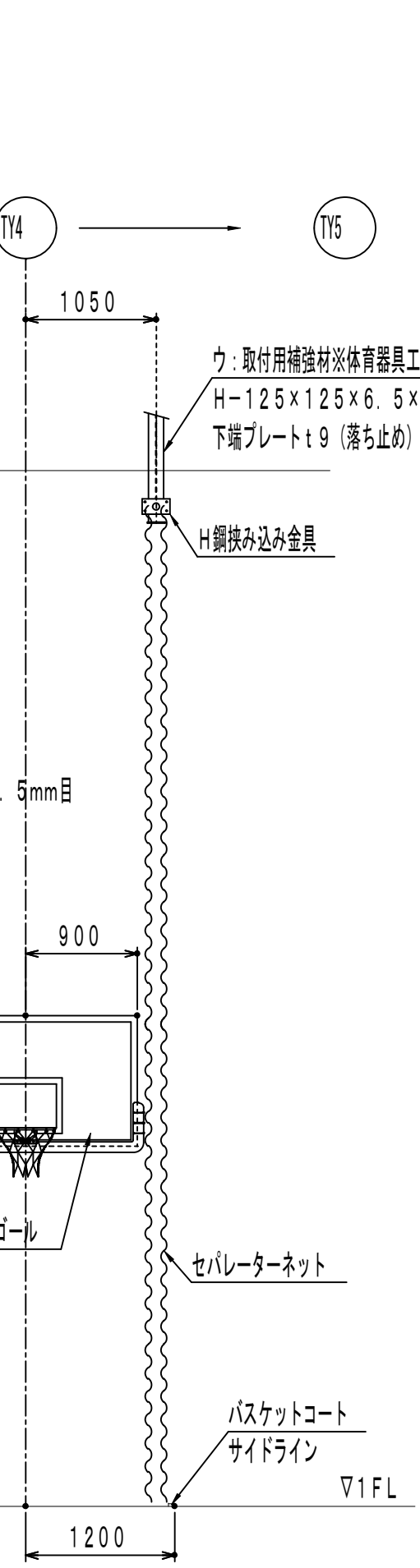
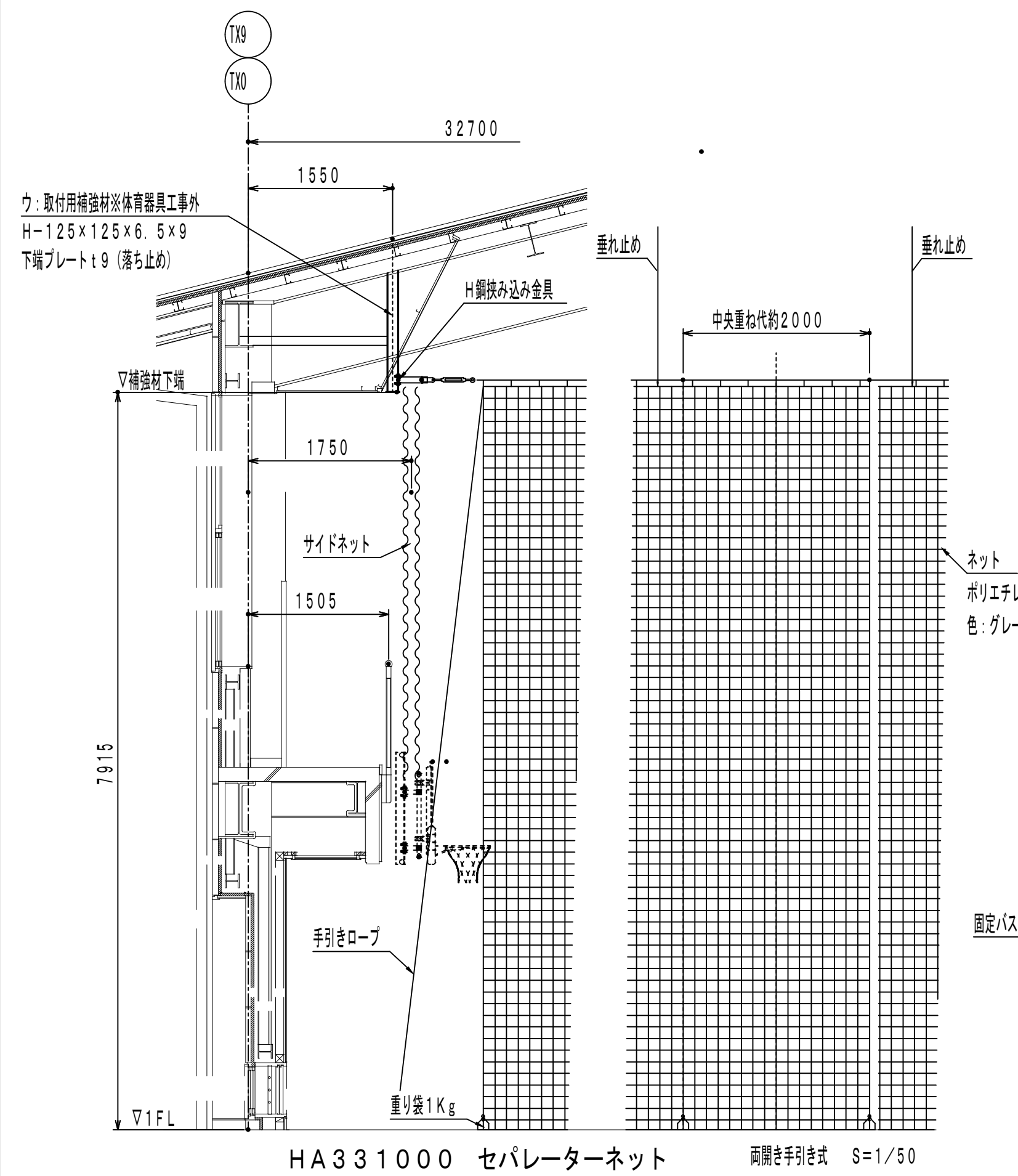
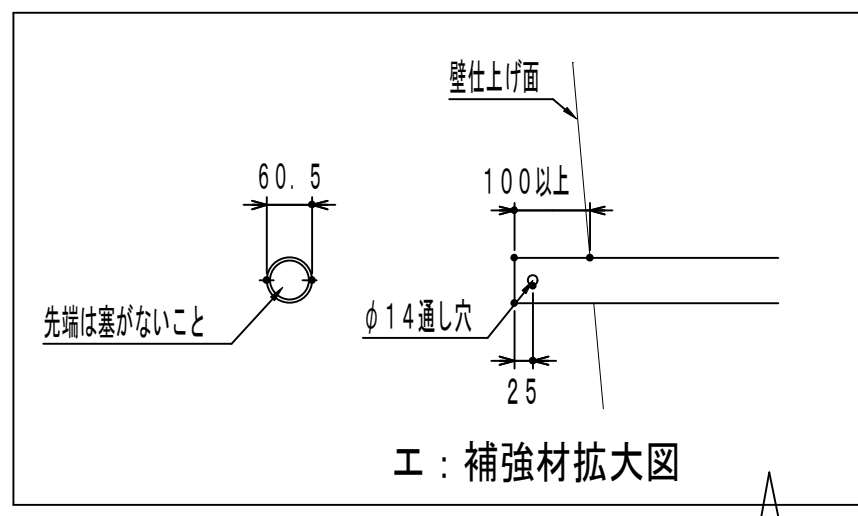
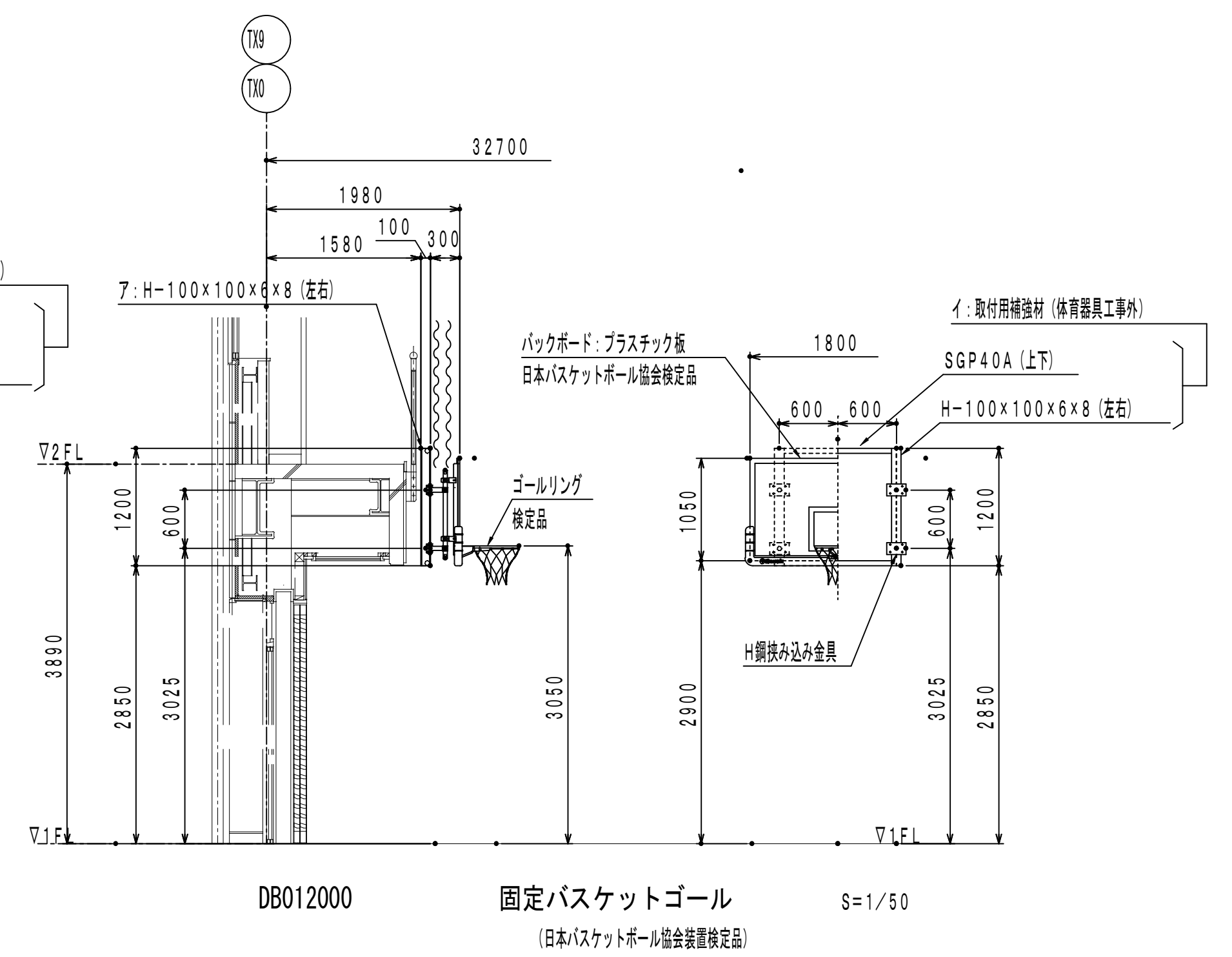
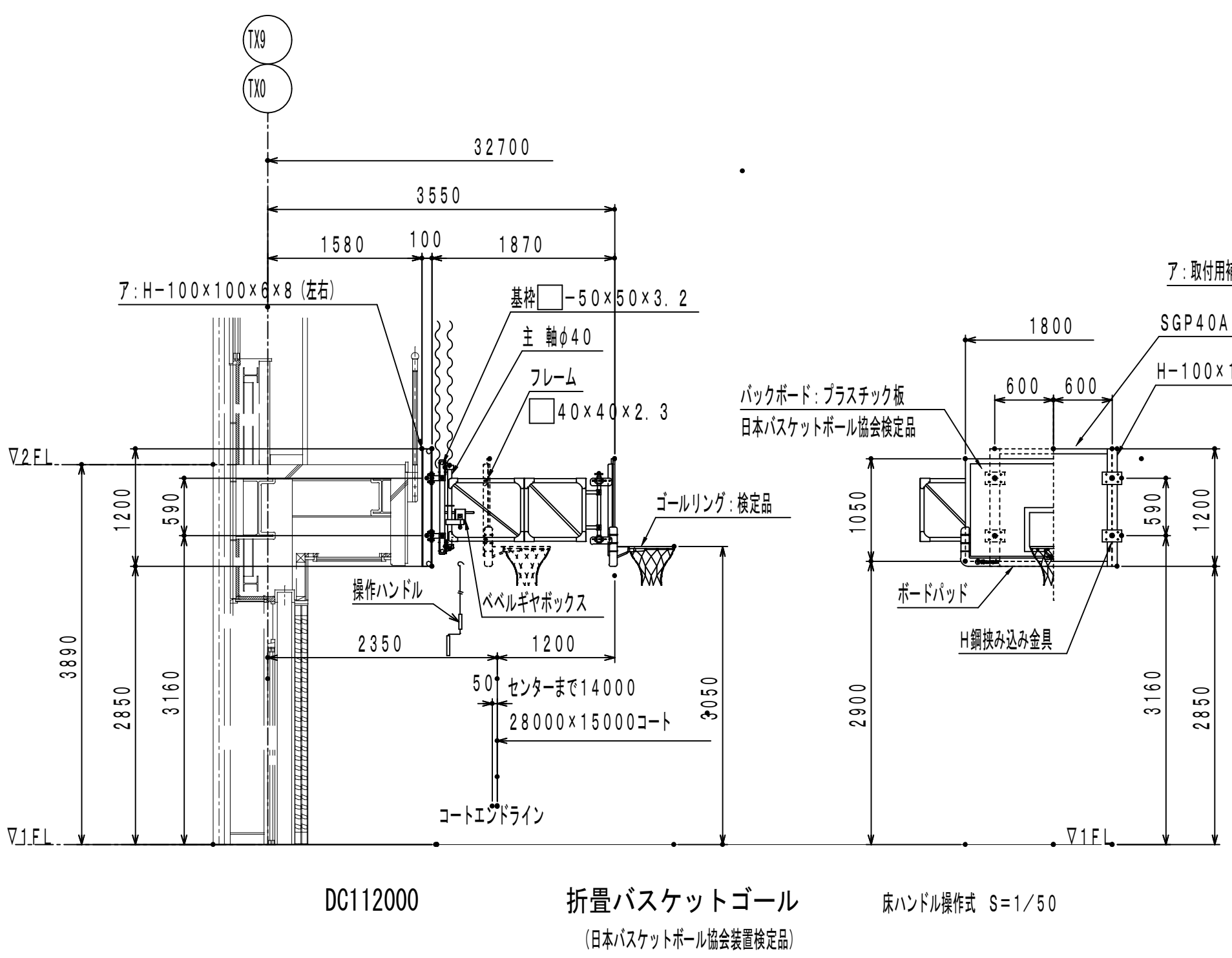
DF014500 テニス用支柱 S=1/30
DF951600 ソフトテニス用ネット 正式 ポリエチレン 18本

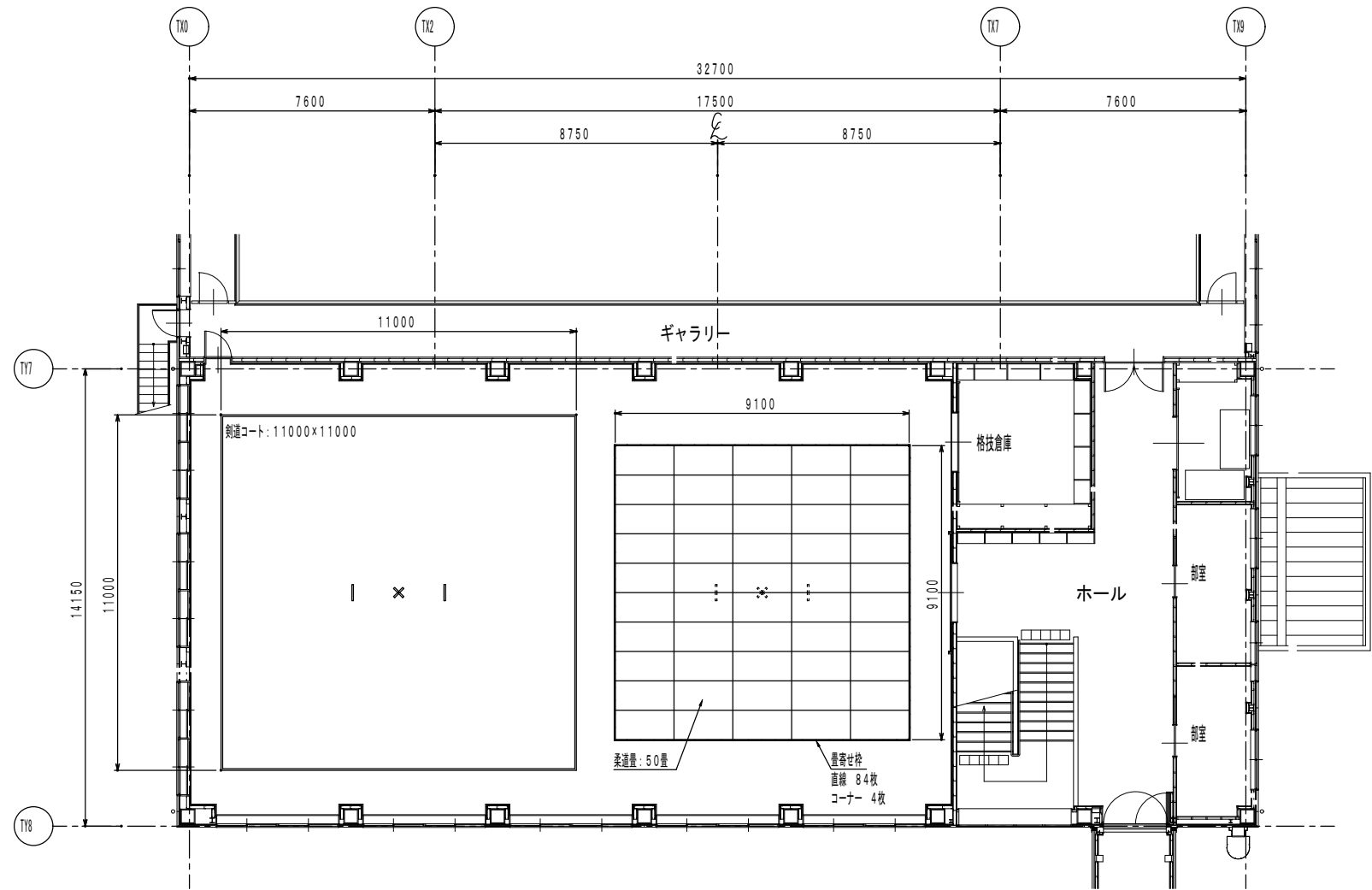


コート・器具配置図 S=1/100



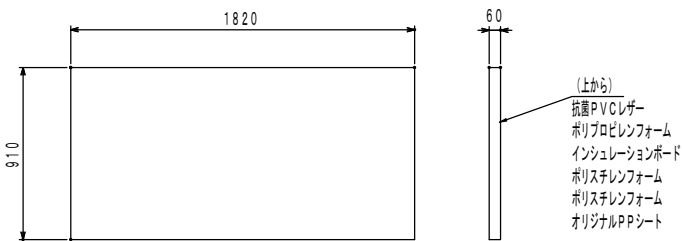
補強材伏図 S=1/200
ア〜ウは体育器具工事外（設営工事に含む） ※位置、高さは打ち合わせの上決定すること
ア：折畳バスケットゴール用 H-100×100×5.5×8（左右）・・・4か所
イ：固定バスケットゴール用 H-100×100×5.5×8（左右）・・・2か所
ウ：防球ネット用 H-125×125×6.5×9（左右）・・・4か所
エ：防球ネット用 φ60.5×t3.8（SGP50A）・・・2か所



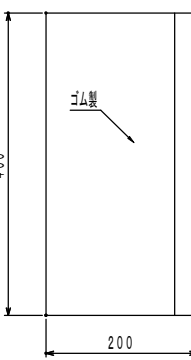
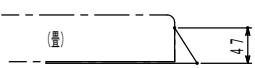


2 F 格技室配置図 S=1/100

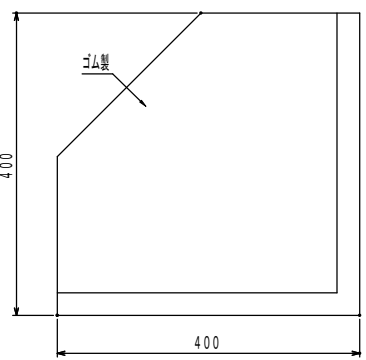
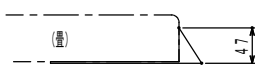
EA933073 柔道畳SJT-10カバー式 (ワサビ)
(ノンスリップ付) S=1/20

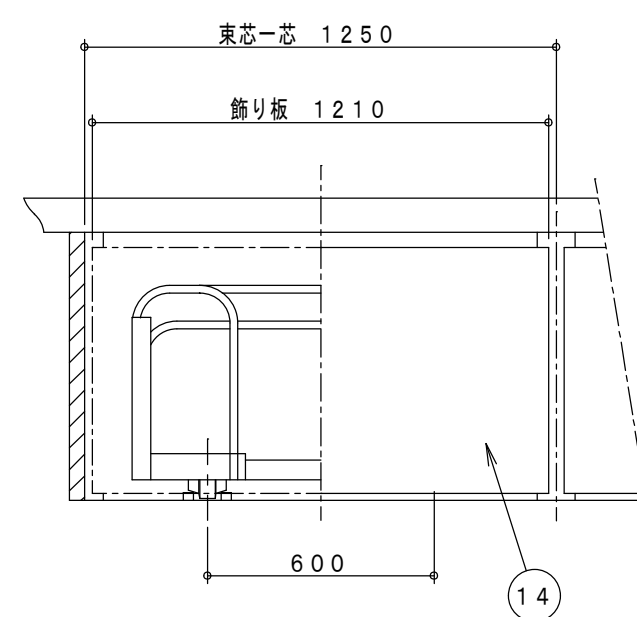
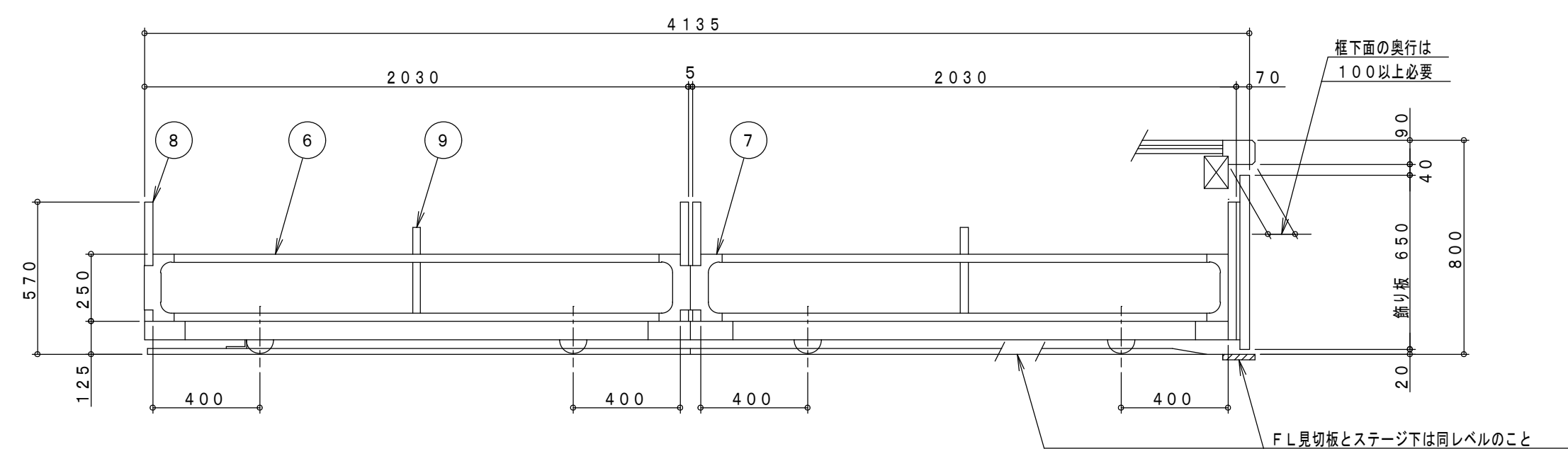
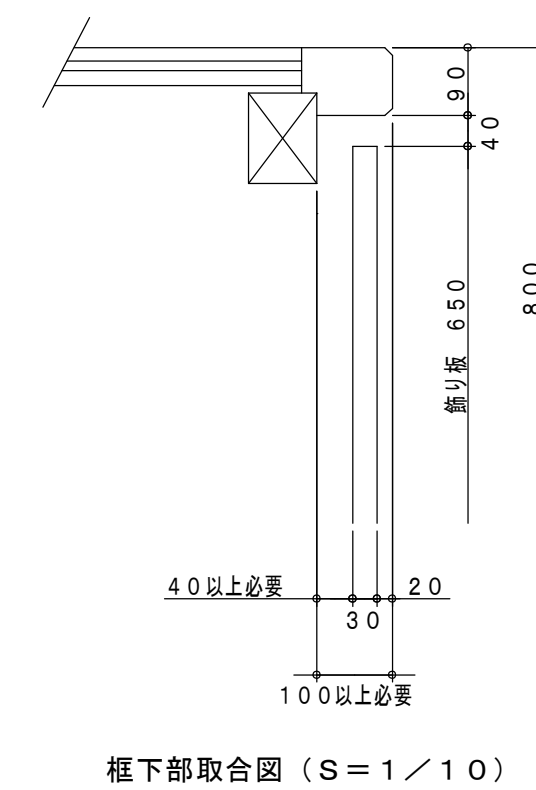
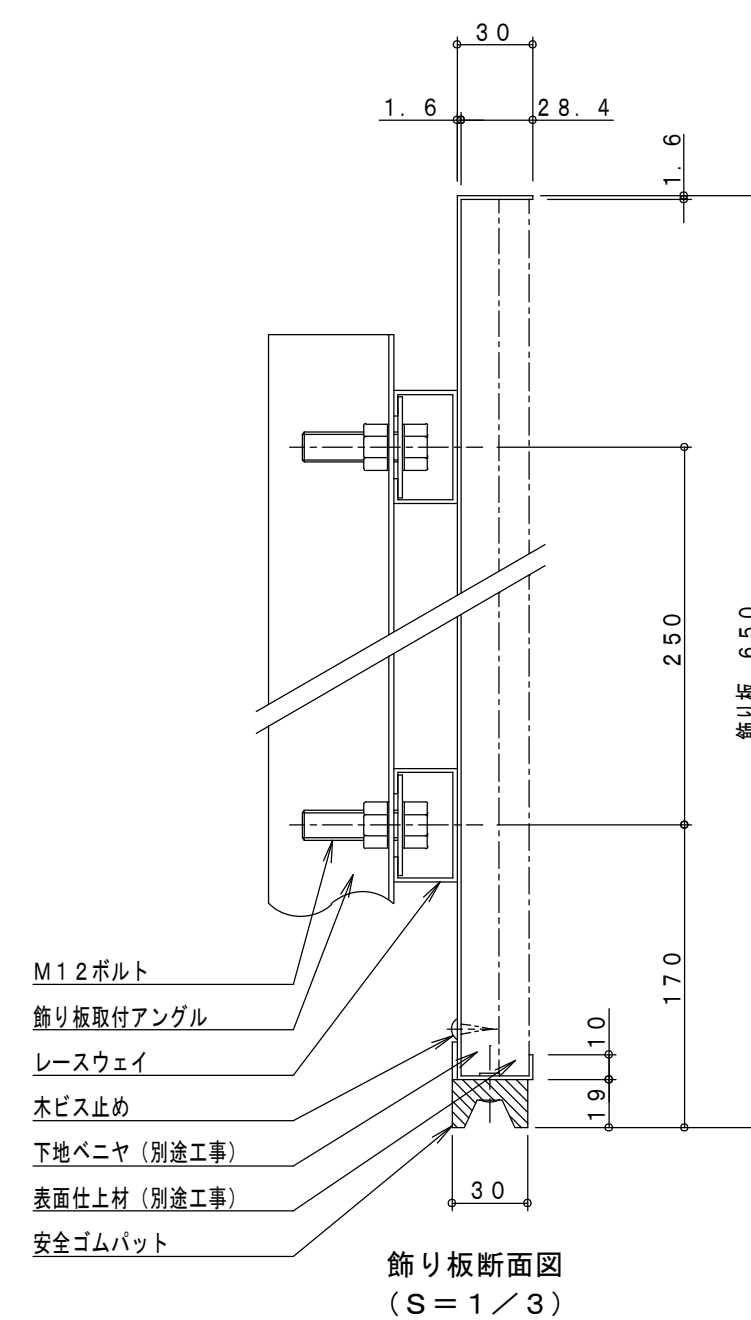
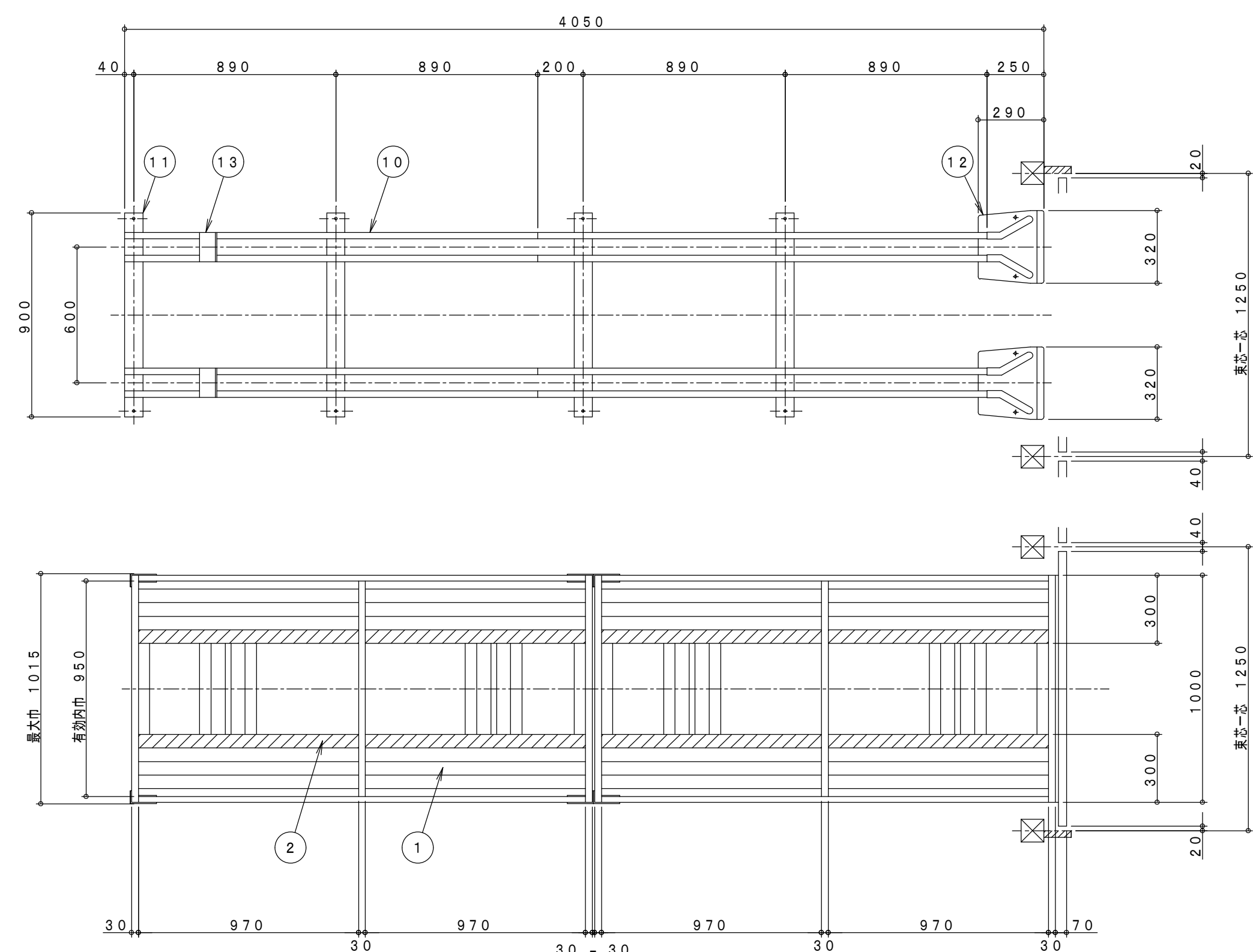
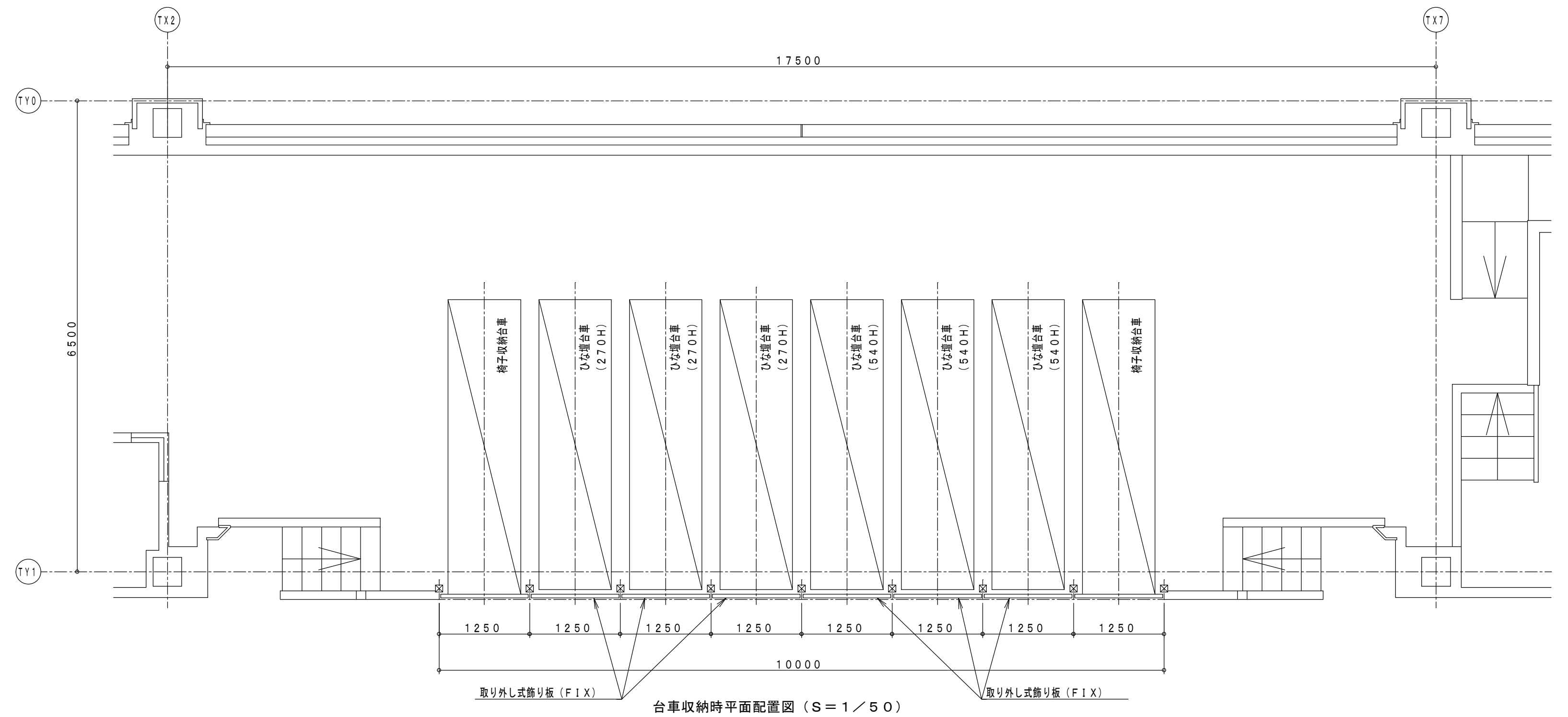
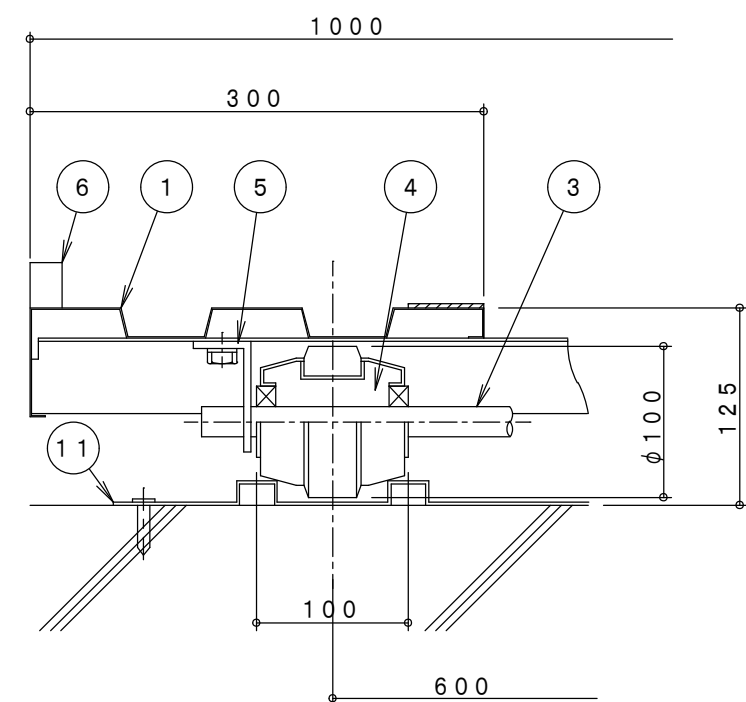


EA904200 畳寄せ枠 S=1/5
IKグリップS直線型



EA9042400 畳寄せ枠 S=1/5
IKグリップSコーナー型





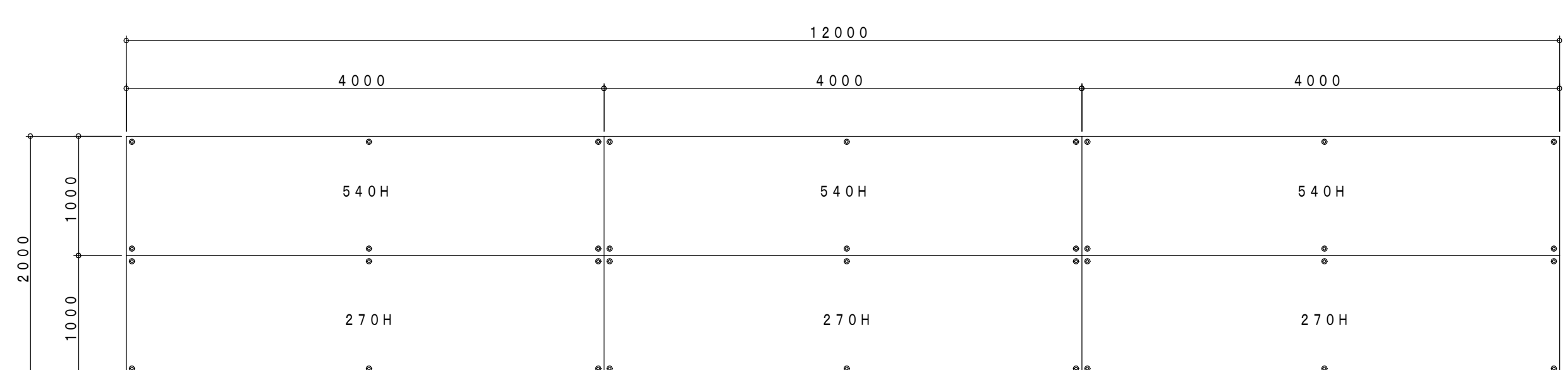
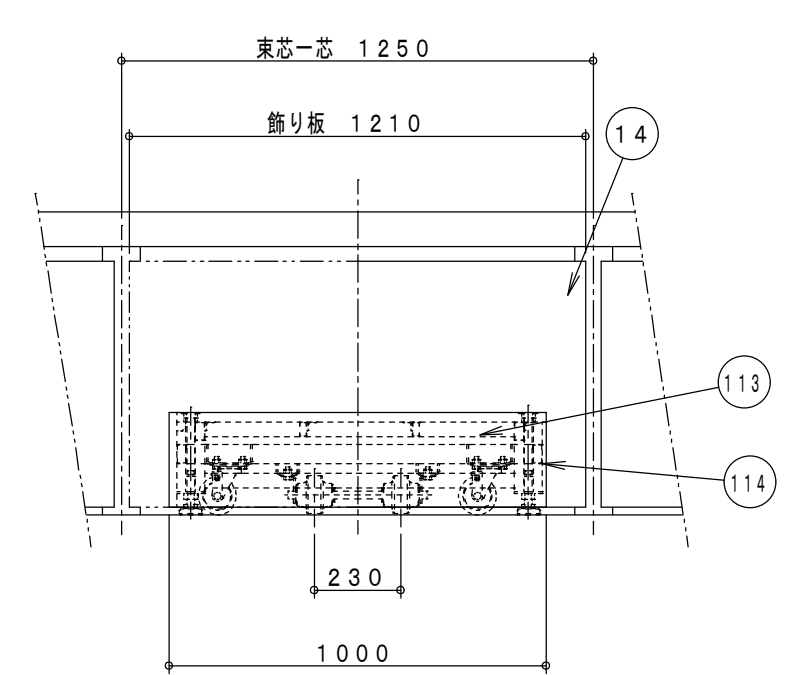
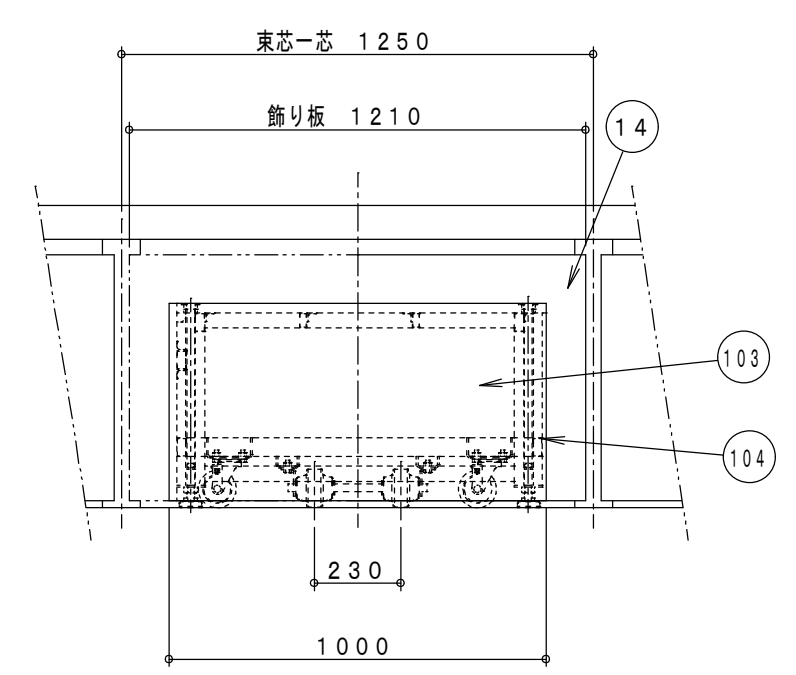
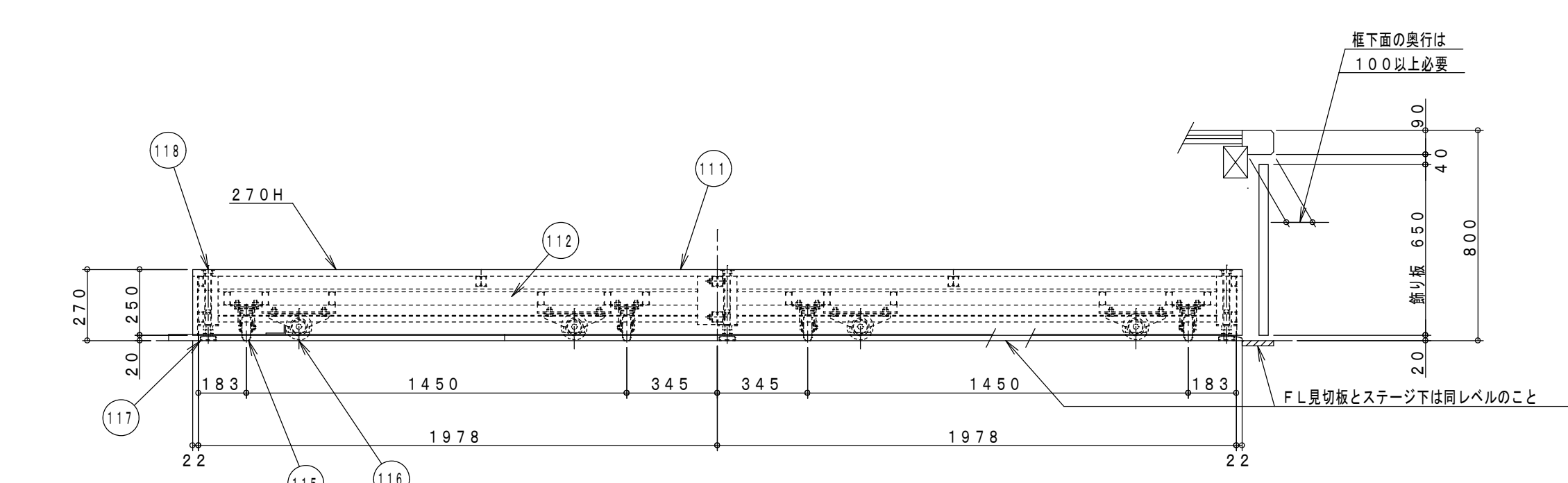
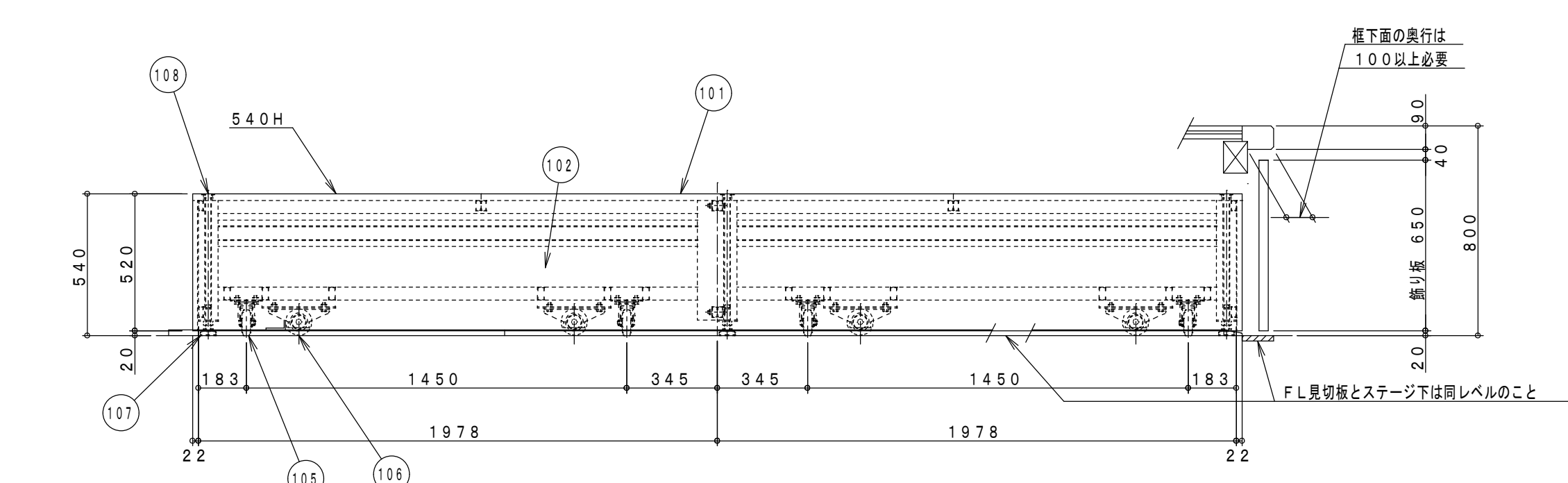
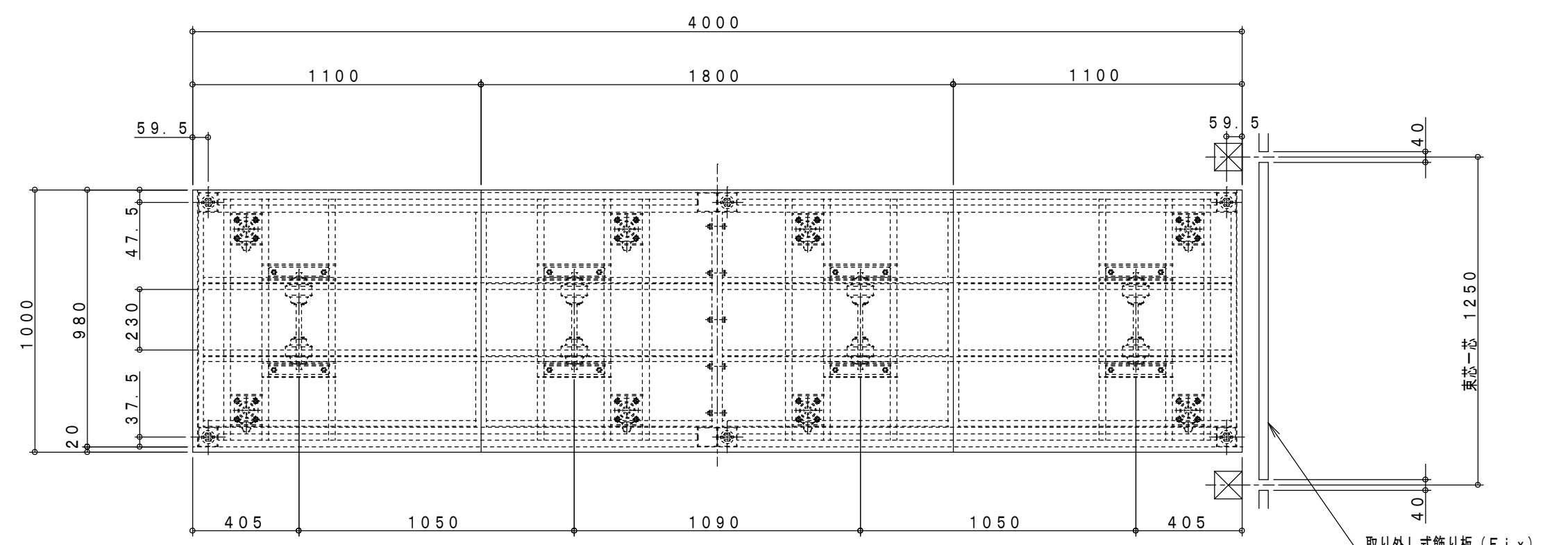
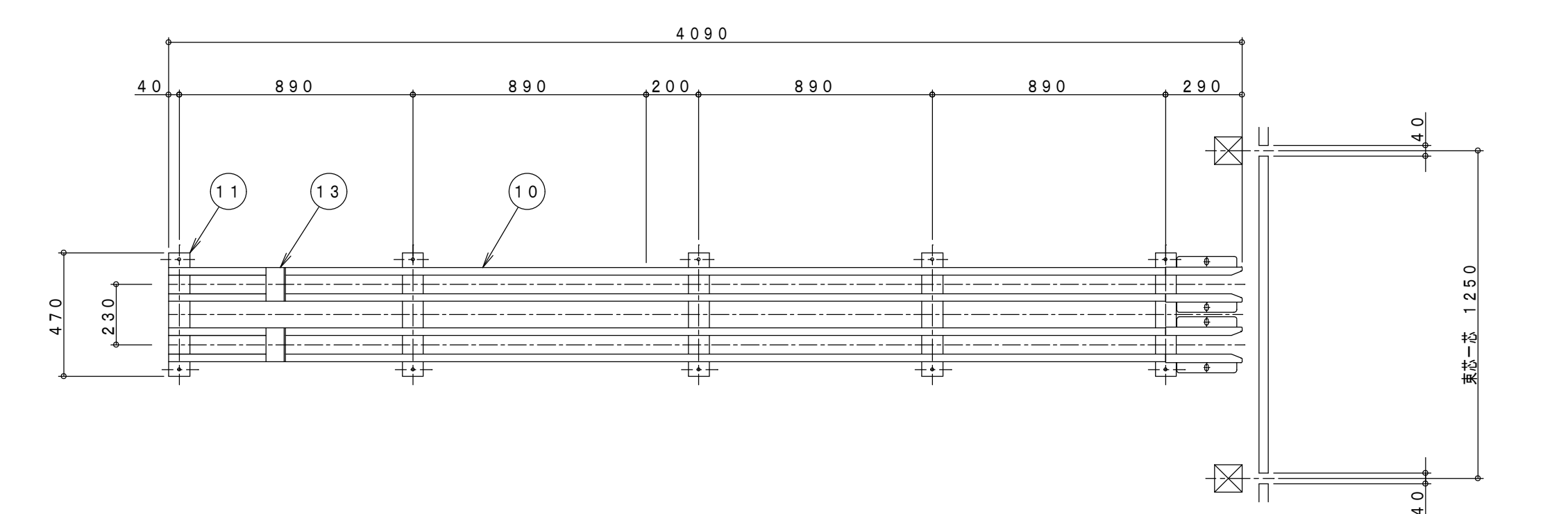
主 構 成 部 品			
NO	品 名	材 料 ・ 加 工	表面処理
1	床 板	亜鉛メッキ鋼板 t 0.9 を曲げ加工	亜鉛メッキ
2	椅子滑り止 め	ポリエチレン樹脂発泡材	
3	車 輪	機械構造用炭素鋼鋼管 φ 20 × t 2.5	亜鉛メッキ
4	車 輪	冷延鋼板 t 2.0 をプレス加工した後、その外周に合成ゴムを焼付けた一体型車輪 (軸受部はベアリング嵌合)	
5	軸 受	熱延鋼板 t 4.5 を曲げ加工	焼付塗装
6	サイド枠	亜鉛メッキ鋼板をフォーミング加工 30 × 20 × t 0.8	亜鉛メッキ
7	ジョイント コネクタ	熱延鋼板 t 2.0 を曲げ加工	亜鉛メッキ
8	ハンドル	亜鉛メッキ鋼板をフォーミング加工 30 × 20 × t 0.8	亜鉛メッキ
9	椅子倒れ 止 め	亜鉛メッキ鋼板をフォーミング加工 30 × 20 × t 0.8	亜鉛メッキ
10	レール	亜鉛メッキ鋼板 t 1.6 をフォーミング加工	亜鉛メッキ
11	枕 板	亜鉛メッキ鋼板 t 1.6 をプレス加工	亜鉛メッキ
12	車輪ガイド	亜鉛メッキ鋼板 t 1.6 をプレス加工	焼付塗装
13	ストッパー	一般構造用圧延鋼板 t 6.0 を曲げ加工	焼付塗装
14	飾り板	熱延鋼板製顔縁の中に木製パネルをはめこんだもの 但し木製パネルの材料及び取付は別途工事	黒色焼付塗装

備考

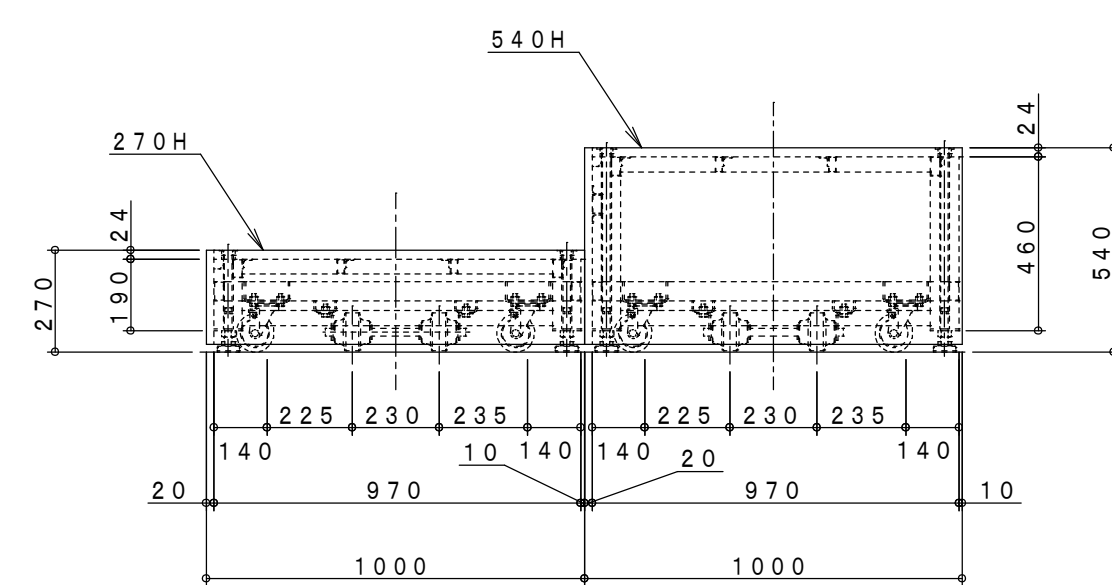
- | | | | | | |
|---------------------|----------------------------|-------|-------|--------------------------|--------|
| 1 | 製作数 | 2列 | 2輛 | (フジトラックF-T-1T-4000L) | 椅子収納台車 |
| 2 | 製作数 | 3列 | 3輛 | (フジトラックF-T-K-4000L 540H) | ひも型台車 |
| 3 | 製作数 | 3列 | 3輛 | (フジトラックF-T-K-4000L 270H) | ひも型台車 |
| 4 | レールの製作及び取付工事はこの設備に含みます | | | | |
| 5 | 飾り板の製作及び取付調整はこの設備に含みます | | | | |
| 但し木製パネルの材料及び取付は別途工事 | | | | | |
| 6 | レール下地(コンクリート)はこの設備より除外とします | | | | |
| 7 | 椅子収納脚数 | 80脚/列 | (2列分) | 160脚 | |
| 但し椅子の厚みは約50mmとして計算 | | | | | |
| 8 | 取り外し式飾り板(FIX) | 製作枚数 | 6枚 | (1210W×650H) | |

別途工事

- ・レール設置部床仕上工事
- ・飾り板表面材及び下地ベニヤ貼付工事



ひな壇平面配置図 (S=1/40)

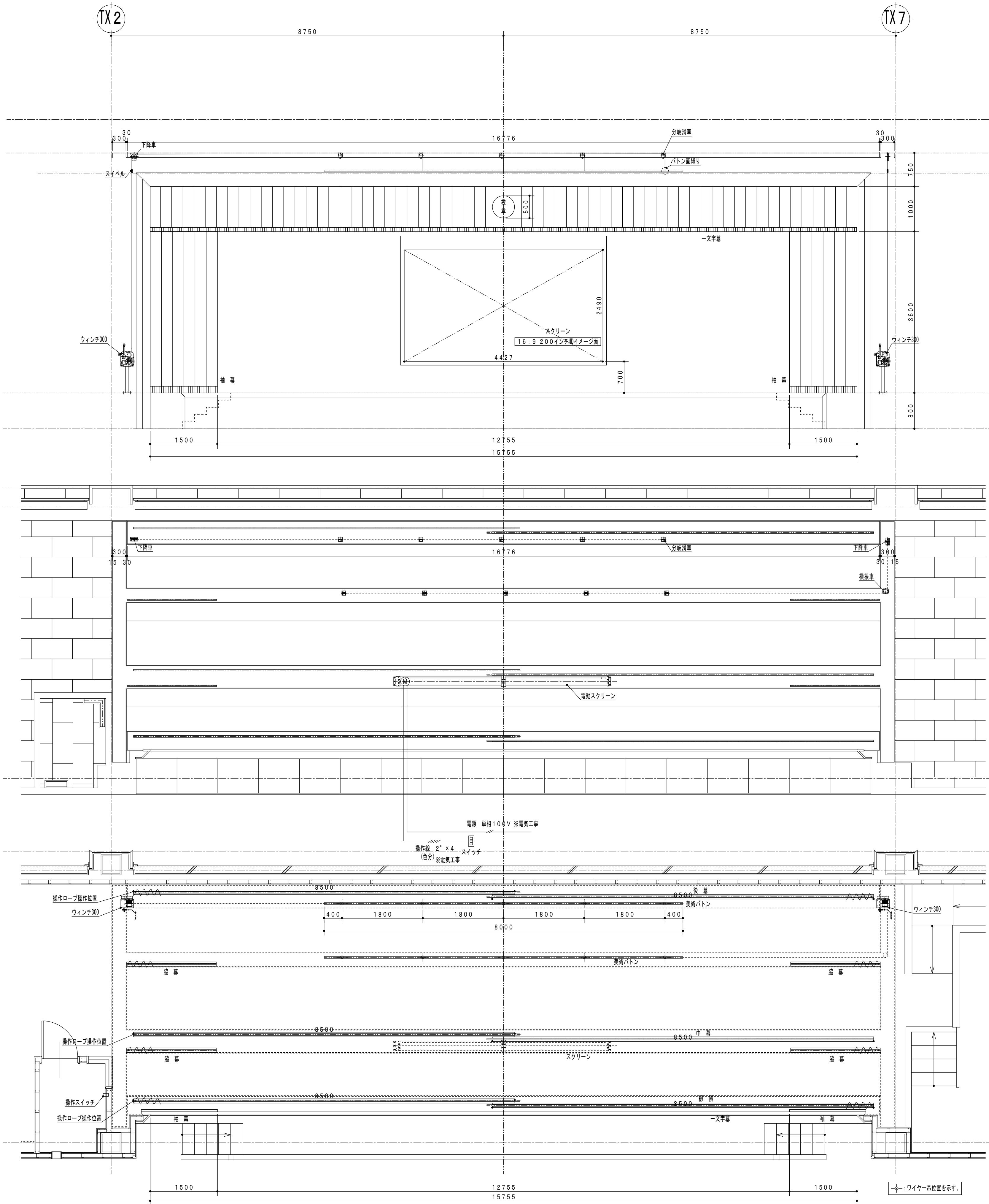


番号	名 称	寸 法	数量	材 質	備 考
101	天板	t24×W1800×D980	1	ナラ市松貼り積層合板	UVクリアー塗装
		t24×W1100×D980	2	ナラ市松貼り積層合板	UVクリアー塗装
102	前板	t20×W2000×H520	2	ナラ突き板フラッシュ	UVクリアー塗装
103	側板	t20×W980×H496	2	ナラ突き板フラッシュ	UVクリアー塗装
104	フレーム	t2.3×75×75	4	一般構造用角形鋼管	焼き付け塗装
		t1.6×50×26		一般構造用角形鋼管	焼き付け塗装
		t1.6×40×20		一般構造用角形鋼管	焼き付け塗装
		PLt4.5曲げ加工		SPCC	焼き付け塗装
		t3.0×25×25		SS400	焼き付け塗装
105	キャスター	φ100自在車輪	8	ゴム	
106	キャスター	φ100固定車輪	8	ゴム	
107	アジャスター	φ60 M20×80L	6	ハードゴム	
108	操作孔	φ50	6	鋼材旋盤加工	ミガキクロームメッキ

製作数=3台 (540H)

番号	名 称	寸 法	数量	材 質	備 考
111	天板	t24×W1800×D1050	1	ナラ市松貼り積層合板	UVクリアー塗装
		t24×W1350×D1050	2	ナラ市松貼り積層合板	UVクリアー塗装
112	前板	t20×W2250×H280	2	ナラ突き板フラッシュ	UVクリアー塗装
113	側板	t20×W980×H496	2	ナラ突き板フラッシュ	UVクリアー塗装
114	フレーム	t2.3×75×75	4	一般構造用角形鋼管	焼き付け塗装
		t1.6×50×26		一般構造用角形鋼管	焼き付け塗装
		t1.6×40×20		一般構造用角形鋼管	焼き付け塗装
		PLt4.5曲げ加工		SPCC	焼き付け塗装
		t3.0×25×25		SS400	焼き付け塗装
115	キャスター	φ100自在車輪	8	ゴム	
116	キャスター	φ100固定車輪	8	ゴム	
117	アジャスター	φ60 M20×80L	6	ハードゴム	
118	操作孔	φ50	6	鋼材旋盤加工	ミガキクロームメッキ

製作数=3台 (270H)

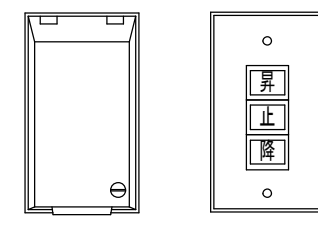


TY0

TY1

TY0

TY1



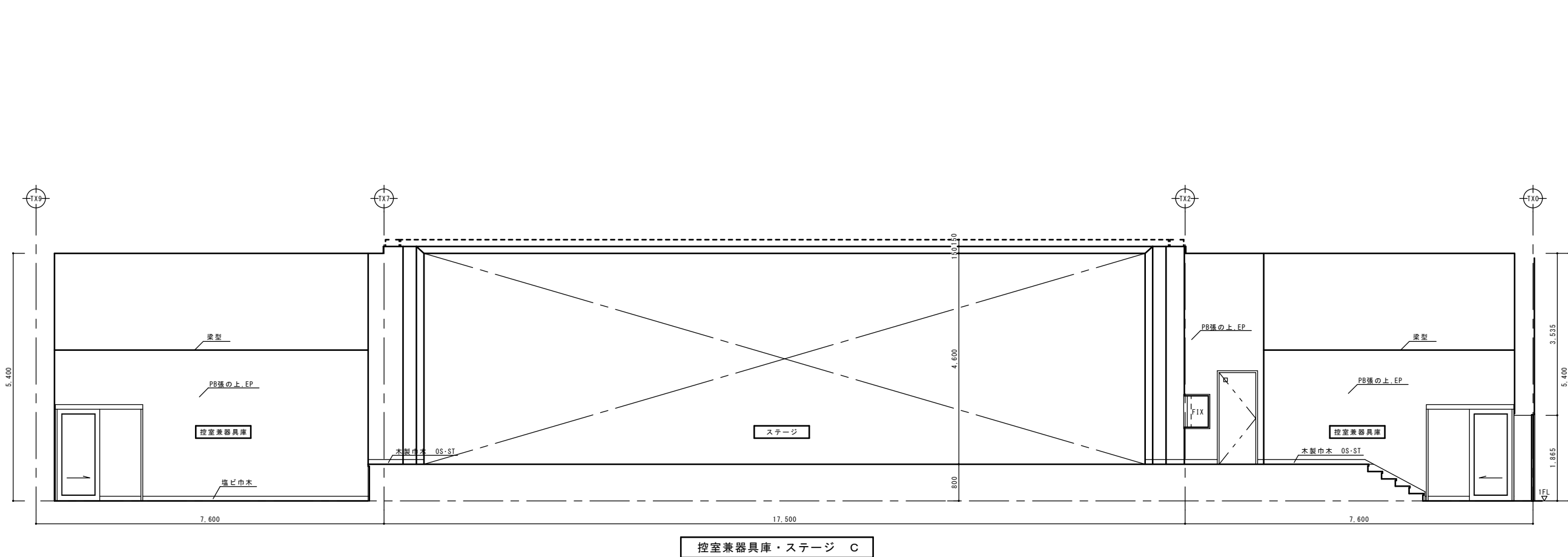
電動スクリーン用スイッチ
スイッチ詳細図 1 / 5



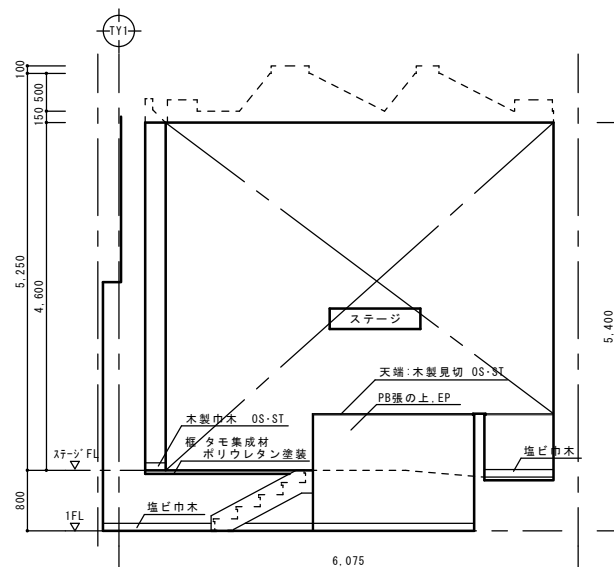
仕 様 表					
一文字幕	1ヶ所	W16150×H1050	舞台用難燃性起毛幕地	2倍仕 ^g 907レ ^ン ジ ^g 難燃性裏地	鉄打ち固定吊 校草H500
袖幕	2ヶ所	W1700×H4650	舞台用難燃性起毛幕地	2倍仕 ^g 1507レ ^ン ジ ^g 難燃性裏地	鉄打ち固定吊
綴 帳	1ヶ所	W18000×H4650 (両開き)	舞台用難燃性起毛幕地	2倍仕 ^g 1507レ ^ン ジ ^g 綴帳用手動ロープ開閉式	40型レール 天板直付 テンションブリー
中 幕	1ヶ所	W18000×H5300 (両開き)	舞台用難燃性起毛幕地	2倍仕 ^g 中幕用手動ロープ開閉式	40型レール 天板直付 テンションブリー
後 幕	1ヶ所	W18000×H4650 (両開き)	舞台用難燃性起毛幕地	2倍仕 ^g 後幕用手動ロープ開閉式	40型レール 天板直付 テンションブリー
脇 幕	4ヶ所	W2000×H5300	舞台用難燃性起毛幕地	2倍仕 ^g 脇幕用手引き開閉式	40型レール 天板直付
美術バトン	2ヶ所	L=8000 φ38ミ ^リ SUSバ ^イ ン ^グ 手動ウィンチ昇降方式 (親ワイヤー方式) 3φワイヤー吊 (親ワイヤーは6φ) ウィンチ300 (上下設定装置付)			
電動スクリーン	1ヶ所	電動昇降式スクリーン ハイビジョンサイズ16:9 20.0インチ (ホワイト:イメージサイズW4427×H2490) ケース入 上黒H2000 特別仕様 スクリーン用電動ドラム巻上げ式 単相100V200W電動機			
特記事項	ブドウ棚、タラップ等は、建築工事とする。電気配線工事(電源及び操作線:スイッチ部埋込ボックス含む)及び 舞台照明装置等は、電気工事とする。 美術・照明バトンは、最大吊下荷重 50kg以下 (均等荷重)とする。				

S01	トイレピクトサイン（平付け）	S=1/5	数量 各1	S02	室名サイン（突出し）	S=1/2.5	数量 5	S03	室名サイン（平付け）	S=1/2.5	数量 8
1F×各1				1F×3 2F×2				1F×6 2F×2			
				小口単板貼 112.4 110 110 112 45 300 345 R10 110 ブラケット：アルミ型材 アルマイト仕上 スプリングスイング160°可動式 表示基板：タモ材 練付板 t18 クリア塗装仕上 表示方法：塩ビフィルム切り文字				18.3 250 250 小口単板貼 250 R20 表示基板：タモ材 練付板t18 クリア塗装仕上 ベース：スライドロック機構（脱着式） 表示方法：塩ビフィルム切り文字			
S04	総合案内板	S=1/5	数量 1	—	既存 総合案内板 改修	S=1/5	数量 1				
900 30 30 1,100 3 階 2 階 1 階 タモ木枠 クリア塗装 アルミ複合板下地 インクジェット出力シート（カラー）				※ 既存校舎棟 昇降口 に設置してある 既存総合案内板の インクジェット出力シート（カラー）の張替えを行う 900 30 30 1,100 3 階 2 階 1 階 タモ木枠 クリア塗装 （既存のまま） インクジェット出力シート（カラー）既存撤去の上 新設 アルミ複合板下地（既存のまま）							
●本体 D15mmスチールボックス加工 ダイノックフィルム貼り											
●ピクトサイン 塩ビフィルム切り文字											

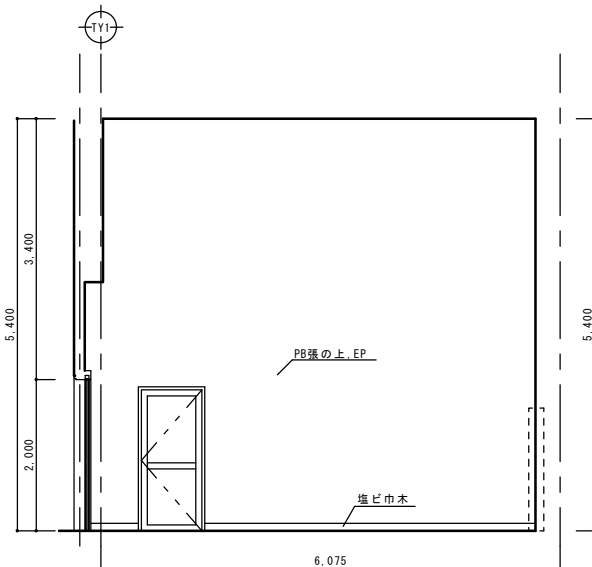
	上田市都市建設部建築課	事業年度 R6 / (R7) / R8	久高設計・河田一級建築士事務所 設計共同企業体	代表 長野県知事登録 第上田N-78311号 設計者 1級建築士 株式会社 久高設計 国土交通大臣登録 住所 長野県上田市住吉55番地2 第292990号 代表者 品田和久 小堀田洋	工事名	第五中学校改築事業 屋内運動場ほか建設 建築主体工事	図名	屋内運動場 サイン詳細図	縮尺 A1 1/2.5, 1/5 A3 1/5, 1/10	No. A-40
--	-------------	------------------------	----------------------------	---	-----	-------------------------------	----	--------------	----------------------------------	-------------



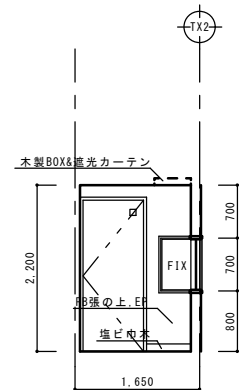
控室兼器具庫・ステージ C



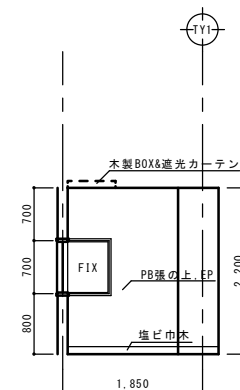
(東側)控室兼器具庫 D



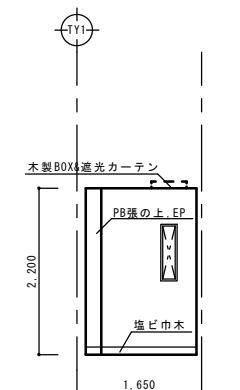
(西側)控室兼器具庫 B



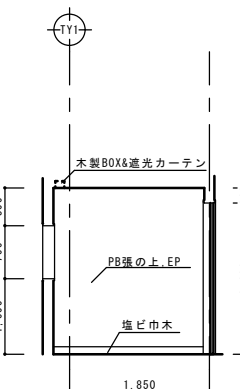
放送室 A



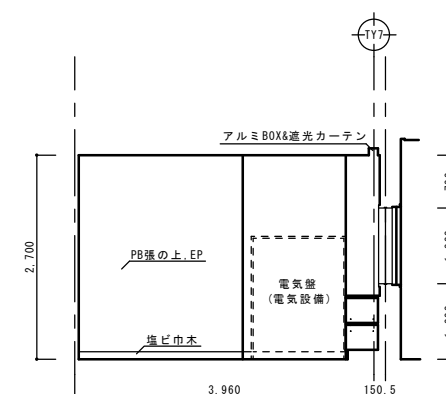
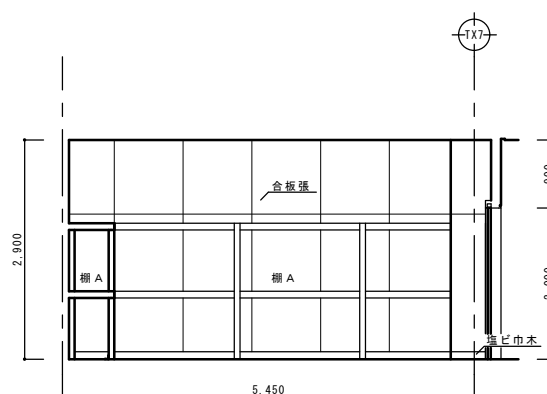
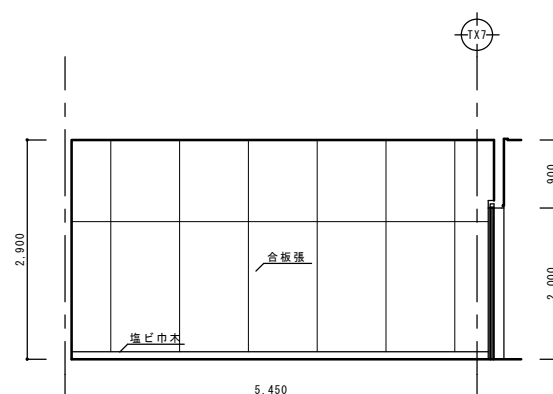
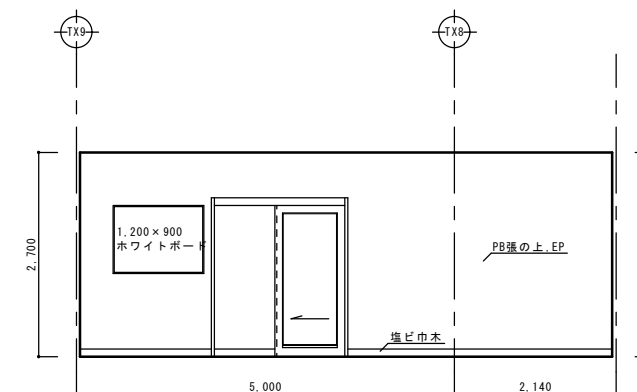
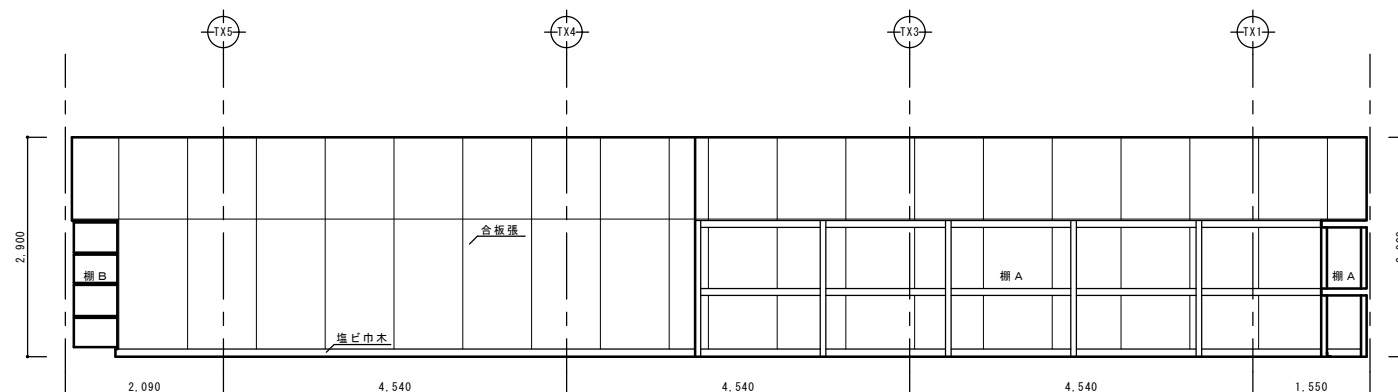
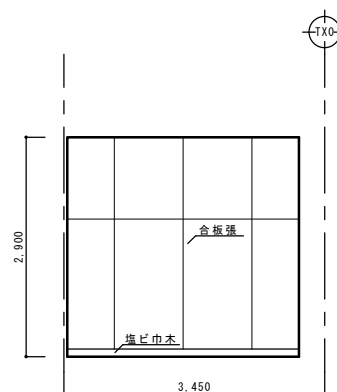
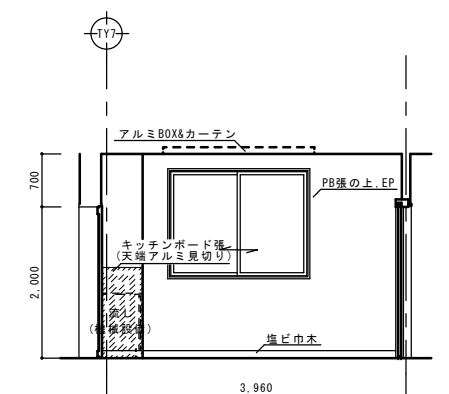
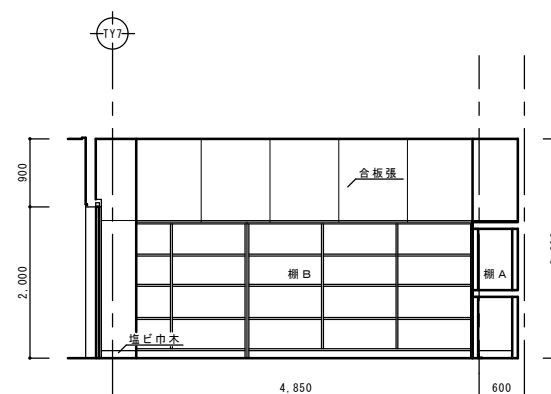
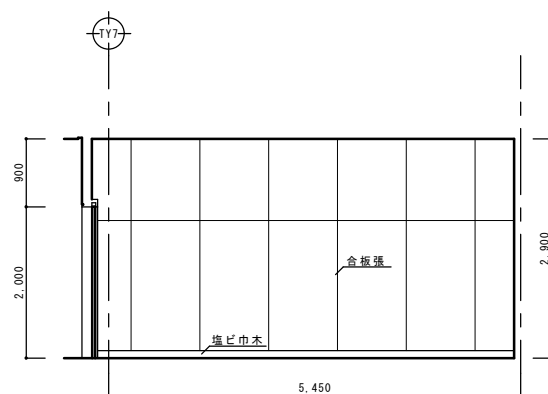
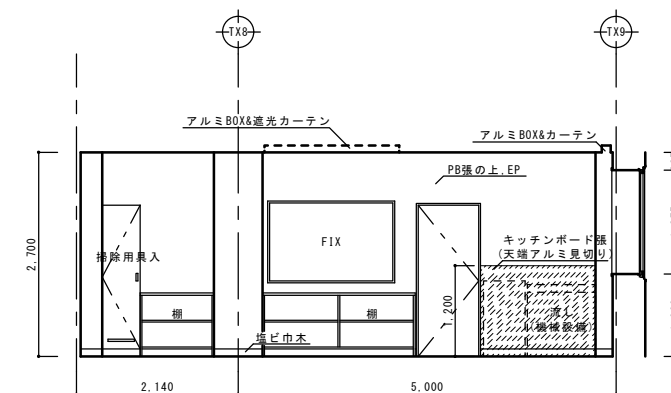
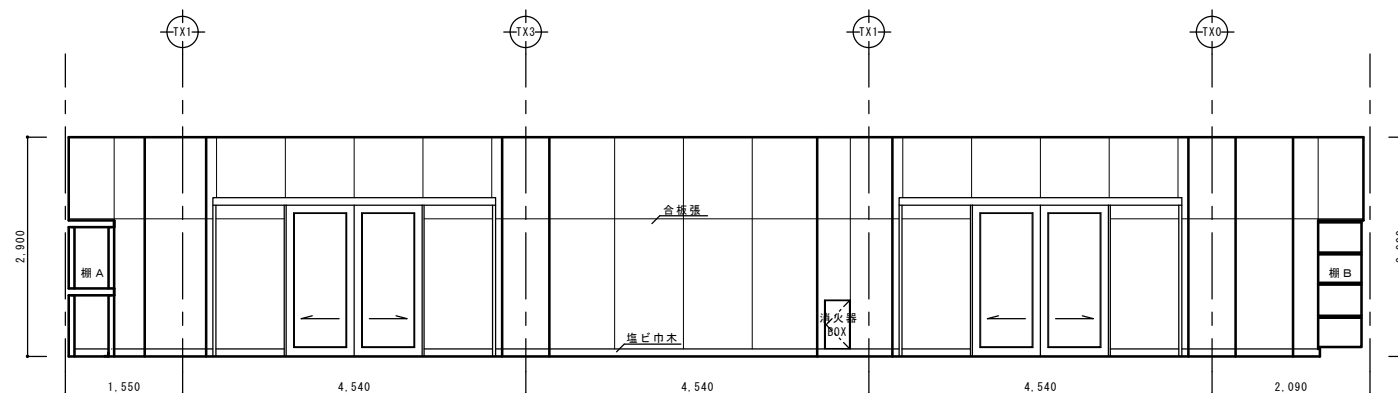
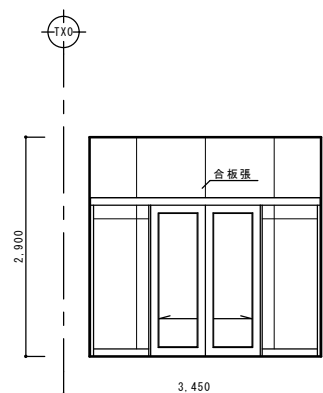
放送室 B

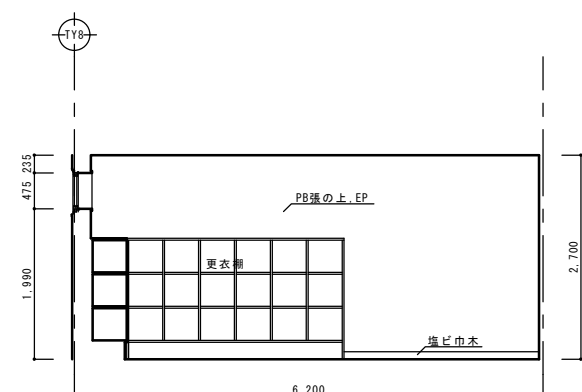
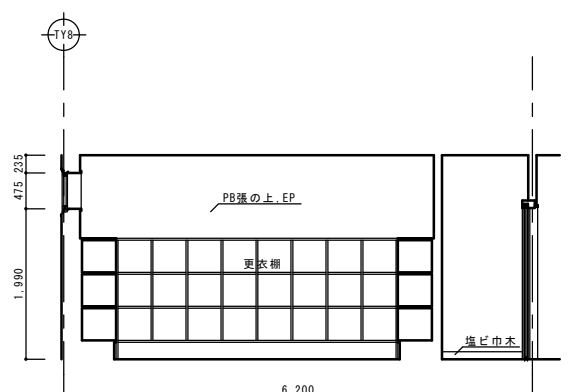
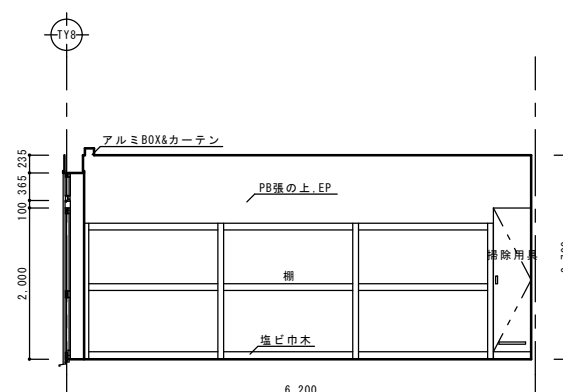
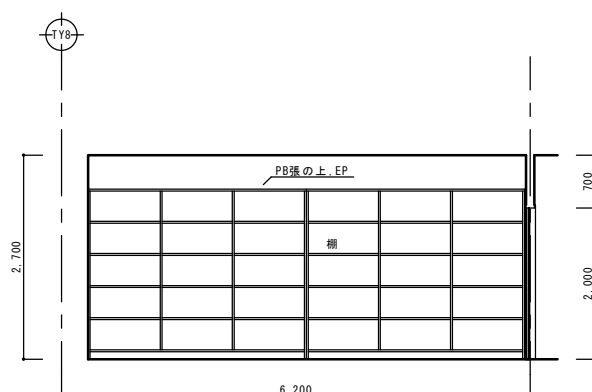
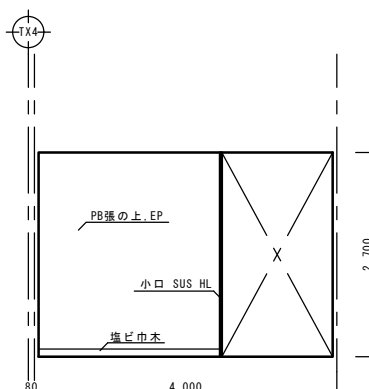
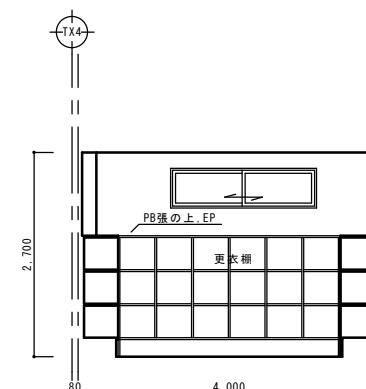
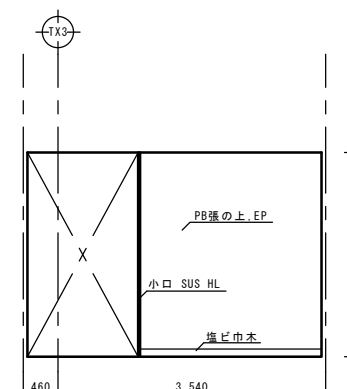
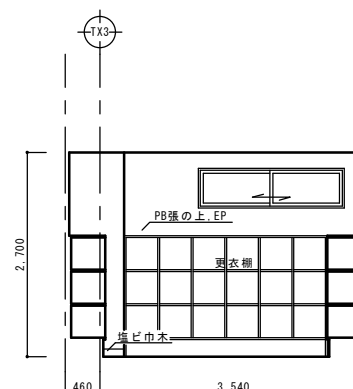
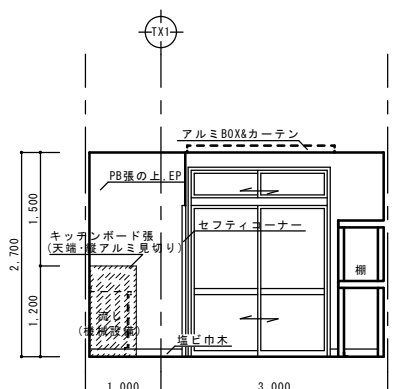
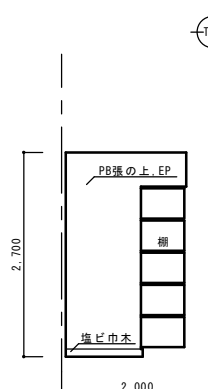
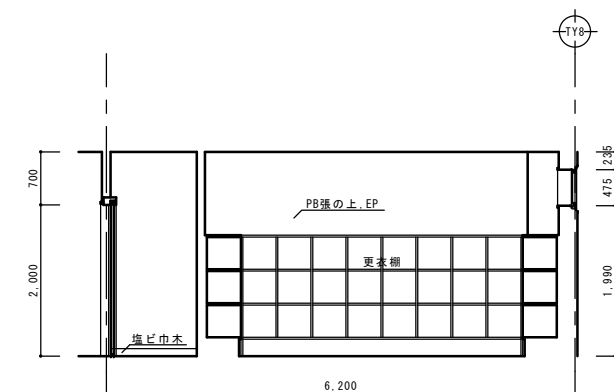
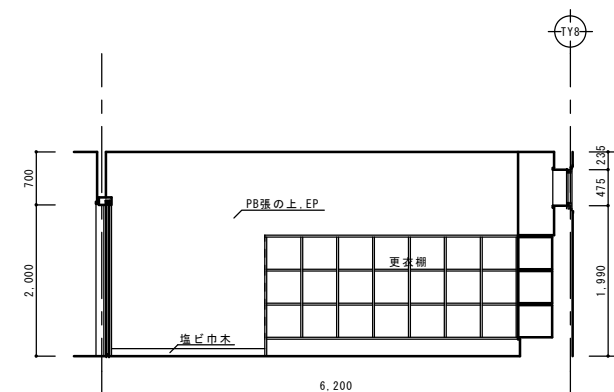
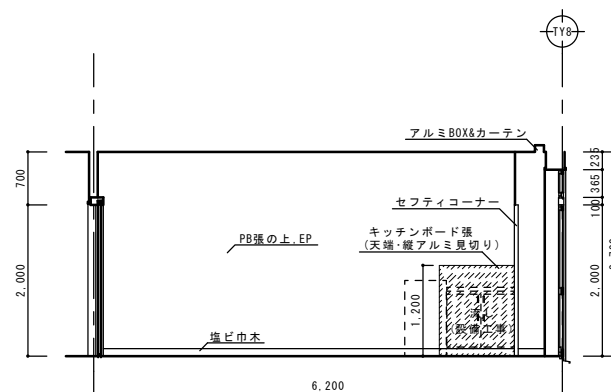
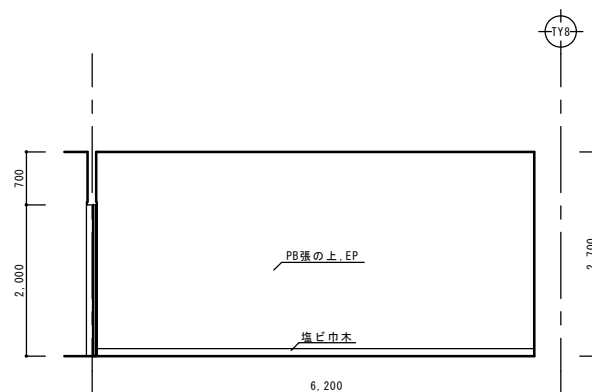
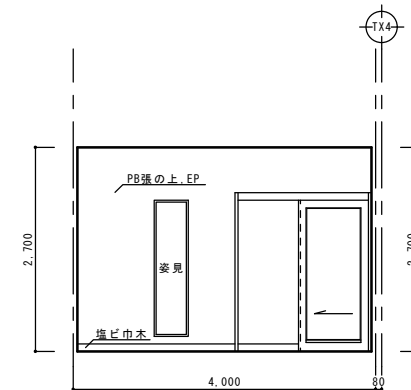
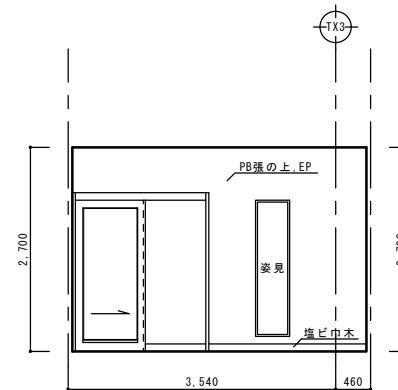
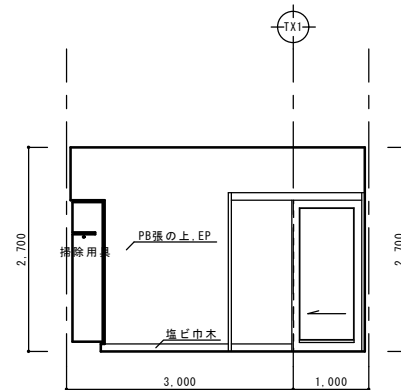
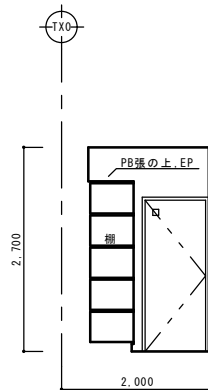


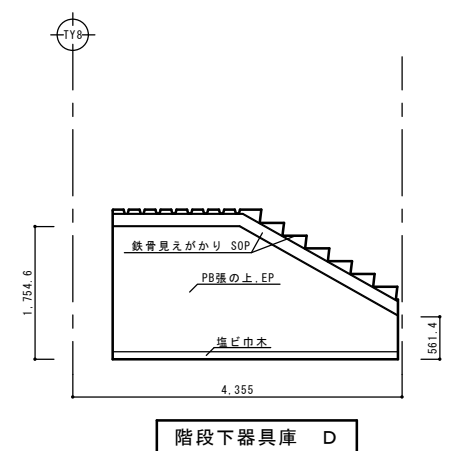
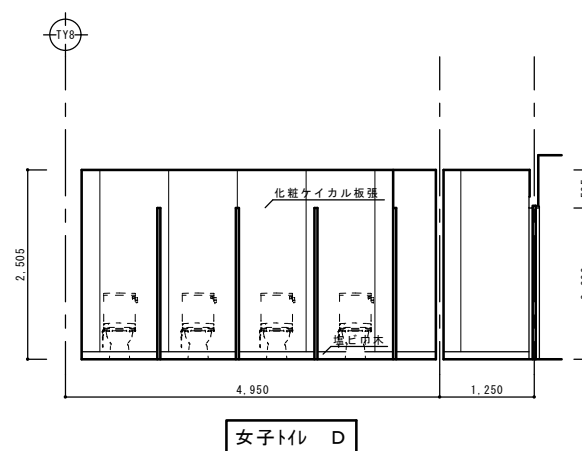
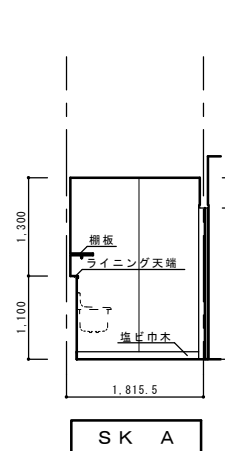
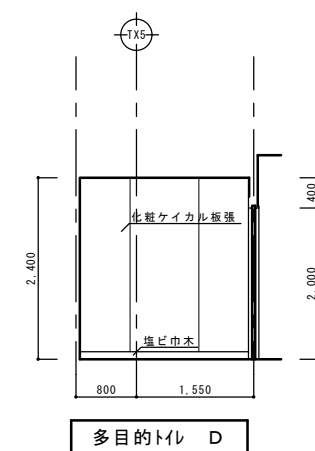
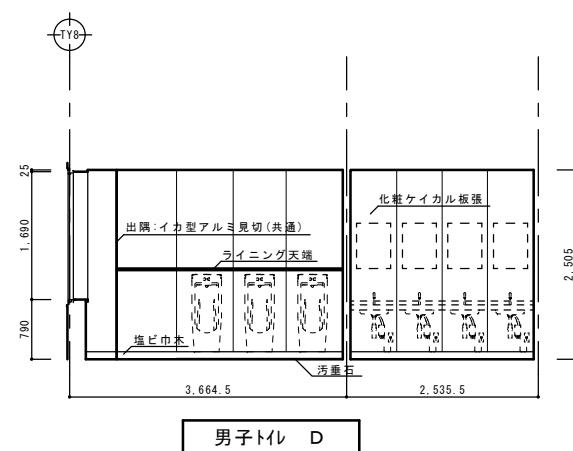
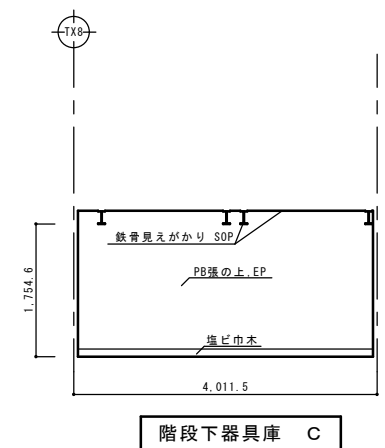
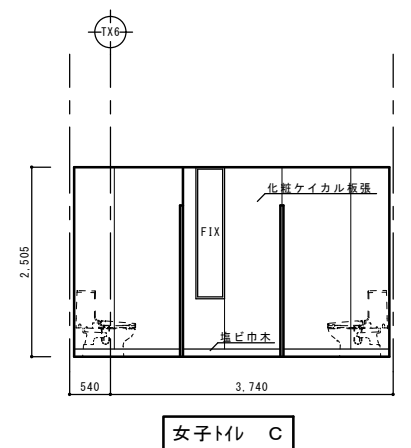
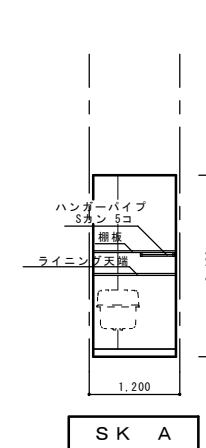
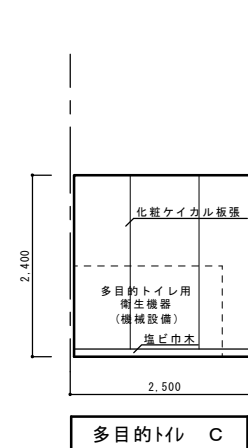
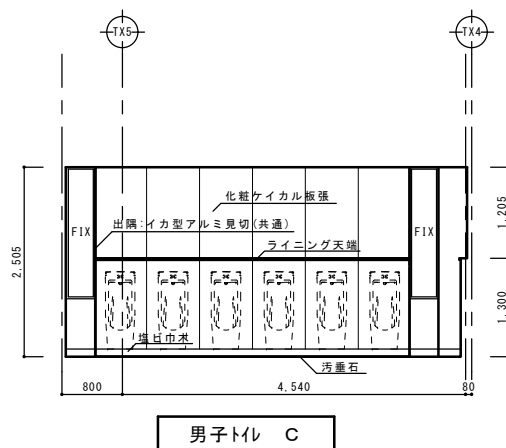
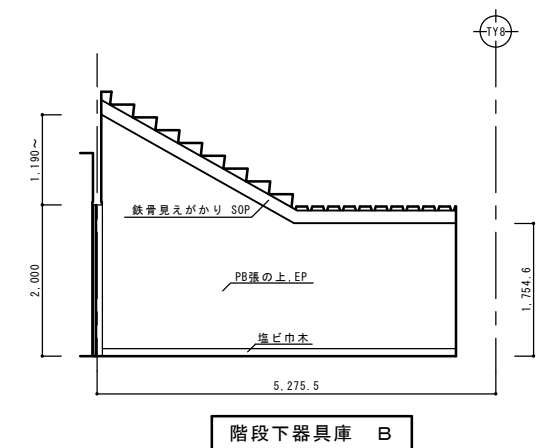
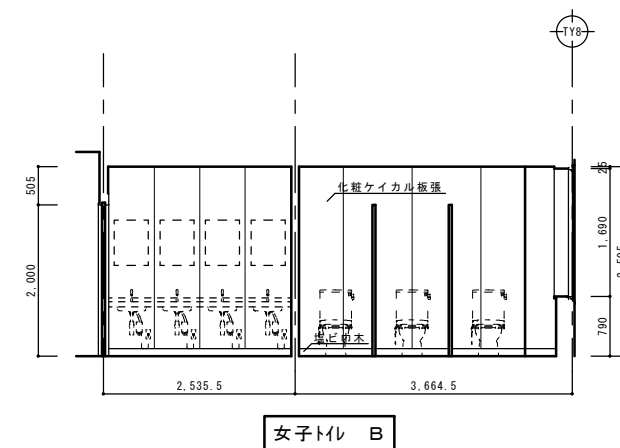
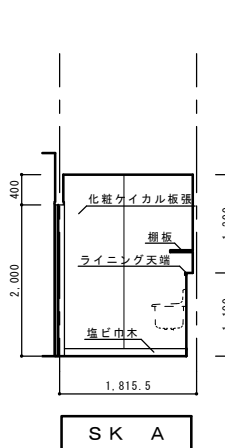
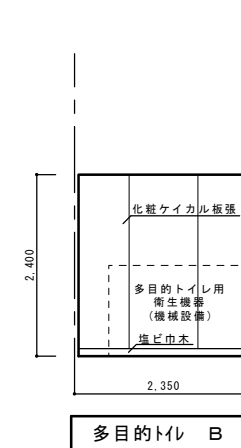
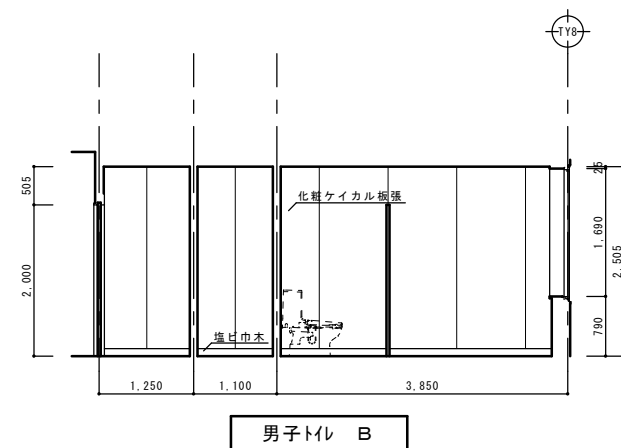
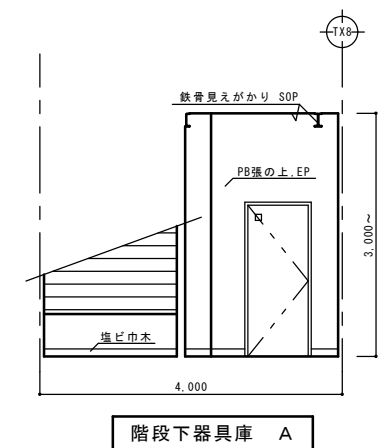
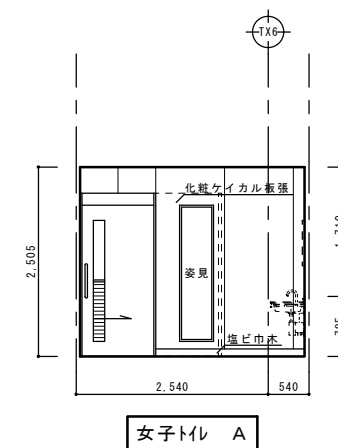
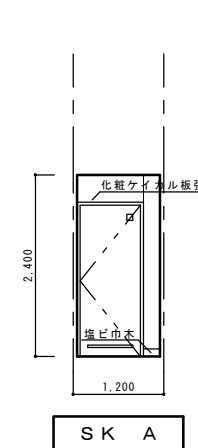
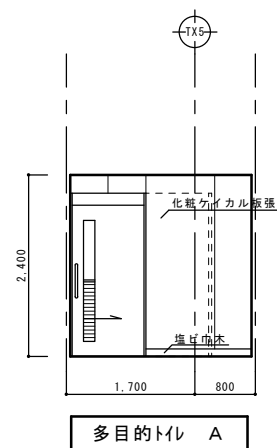
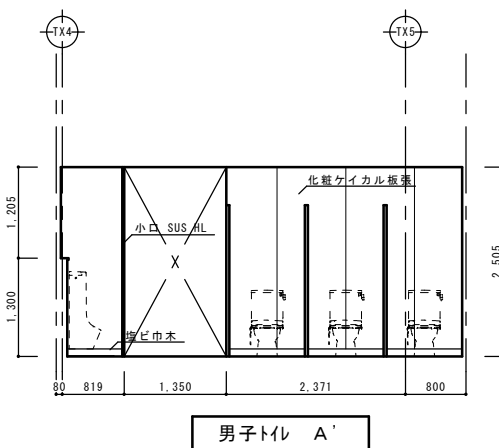
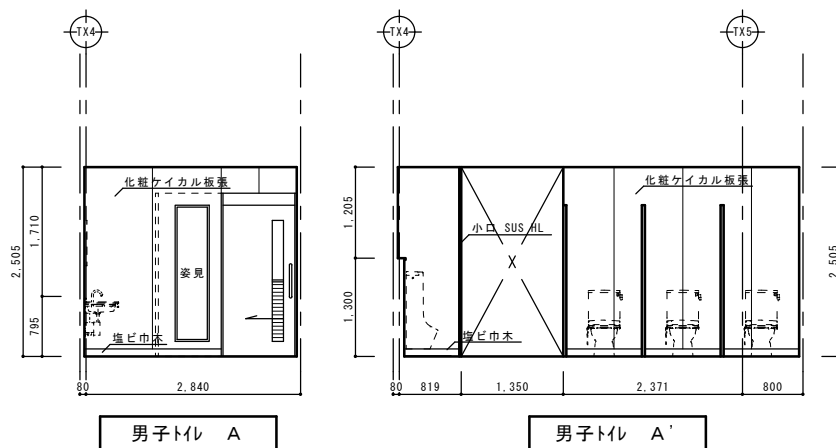
放送室 C

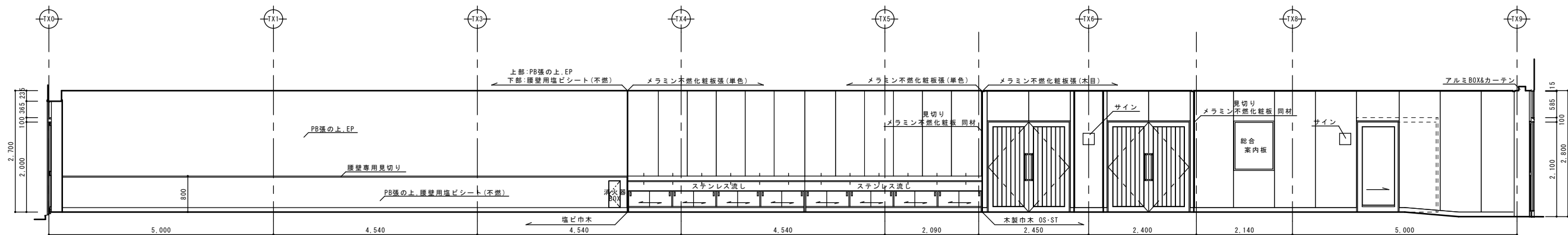


放送室 D

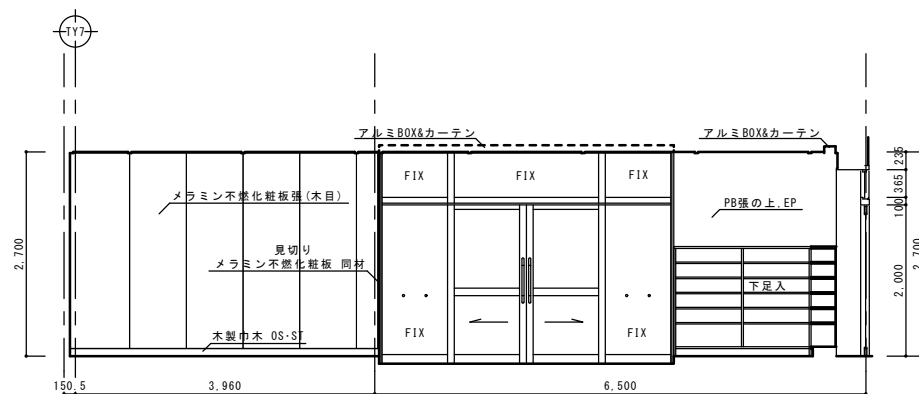




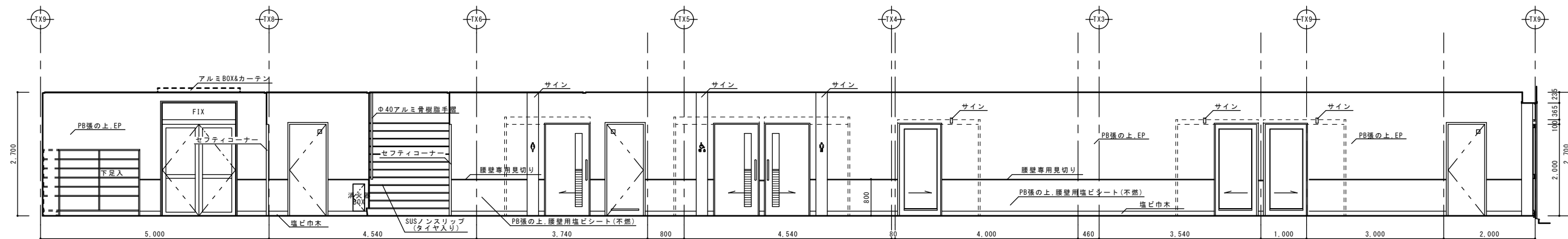




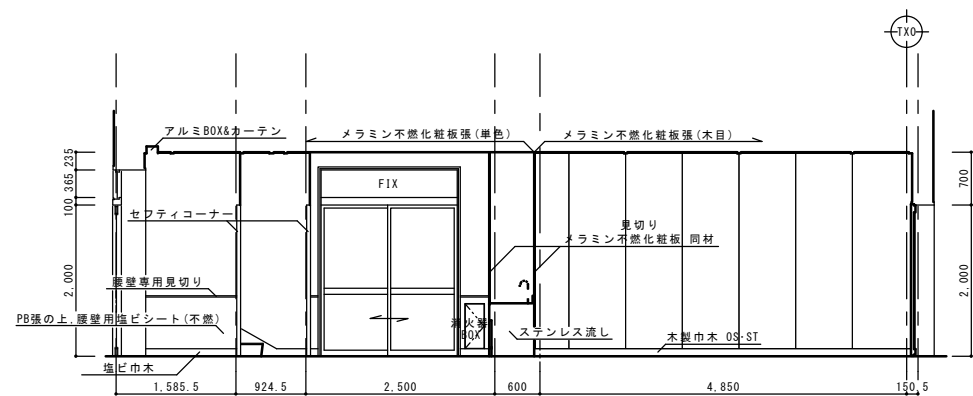
1階ホール A



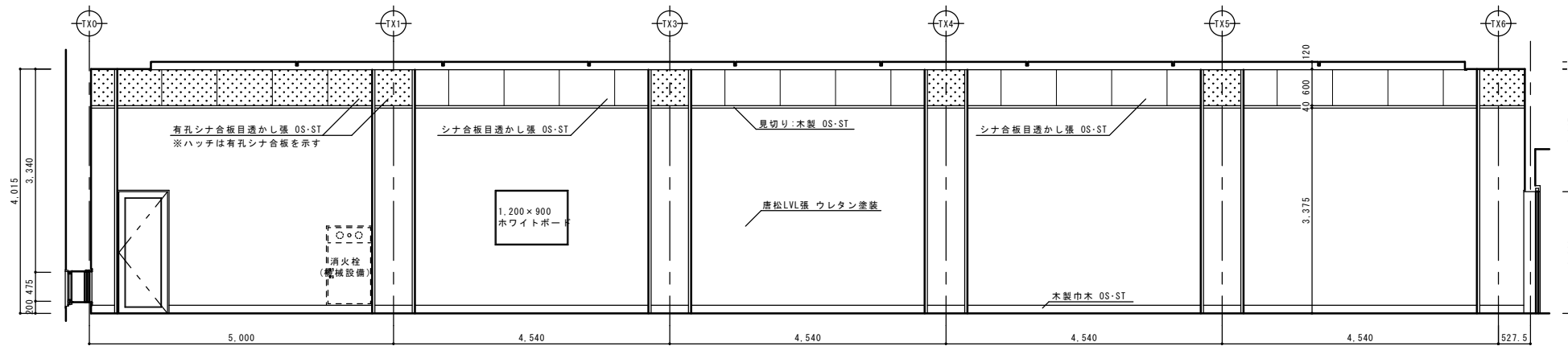
1階ホール B



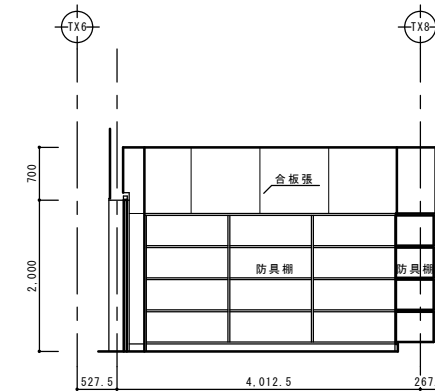
1階ホール C



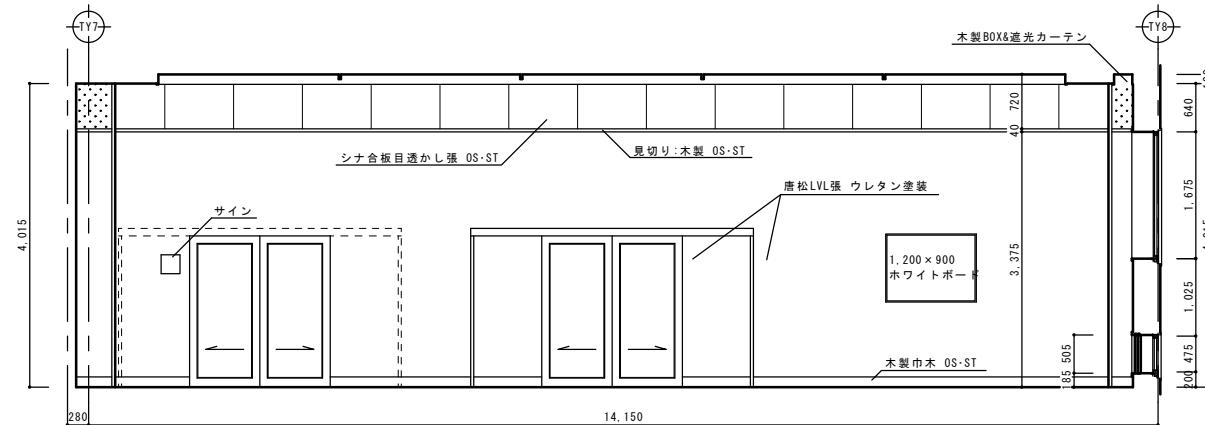
1階ホール D



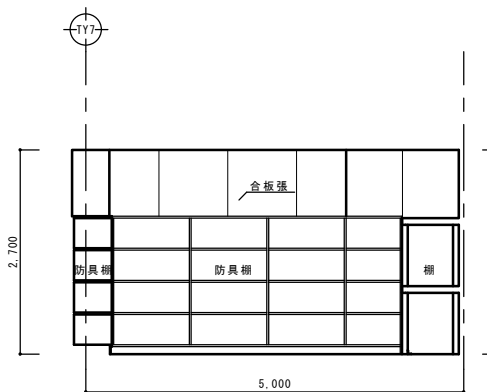
格技室 A



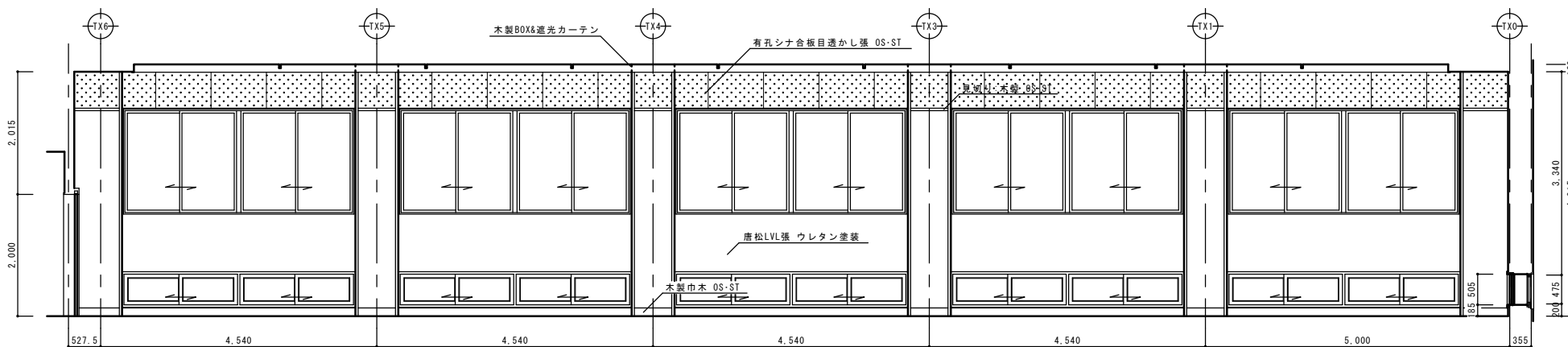
格技倉庫 A



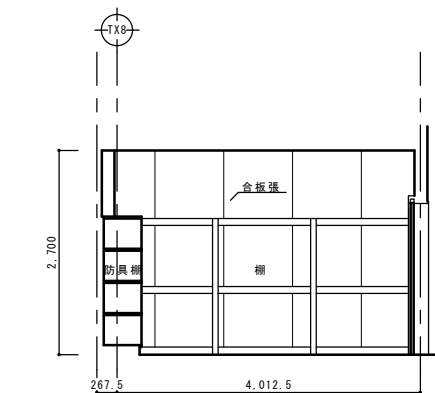
格技室 B



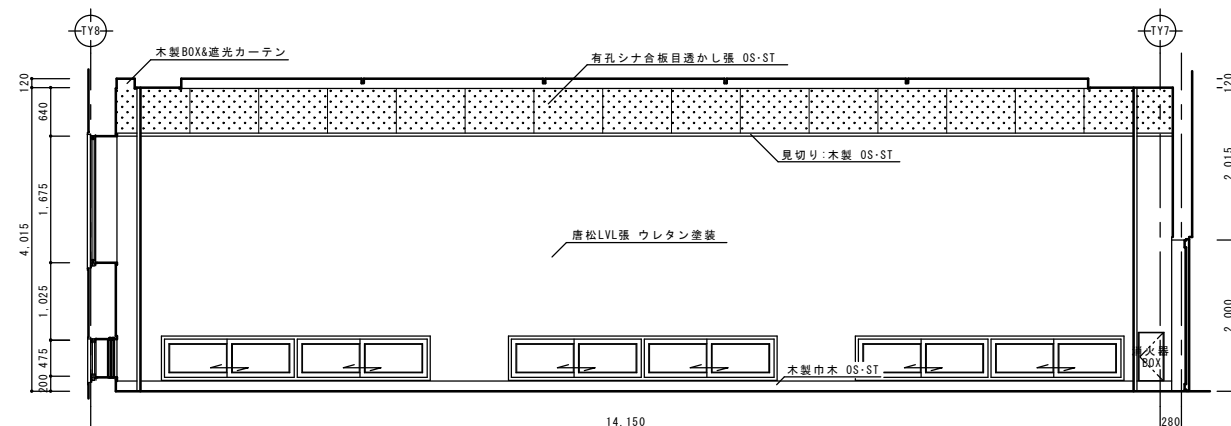
格技倉庫 B



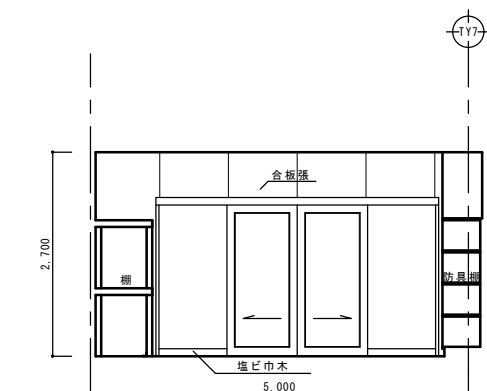
格技室 C



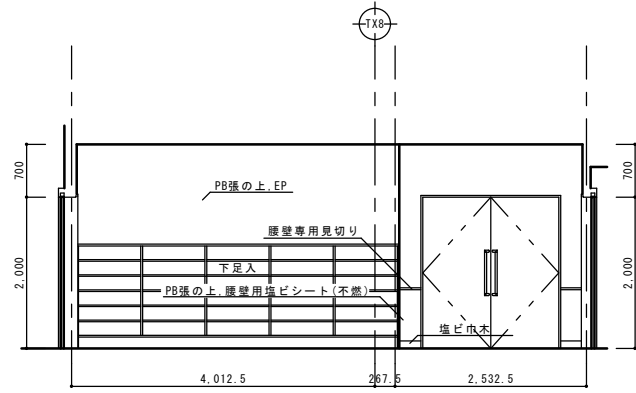
格技倉庫 C



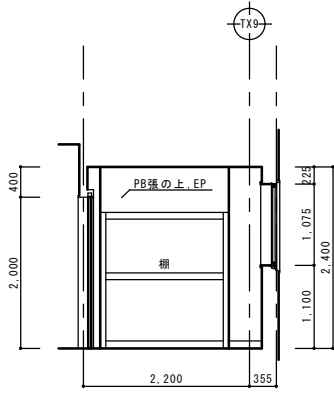
格技室 D



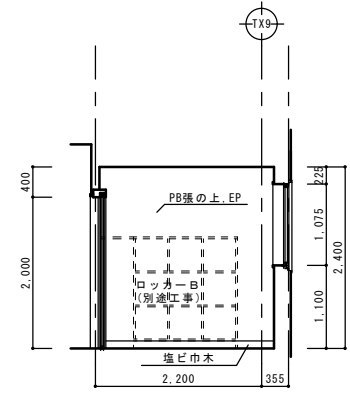
格技倉庫 D



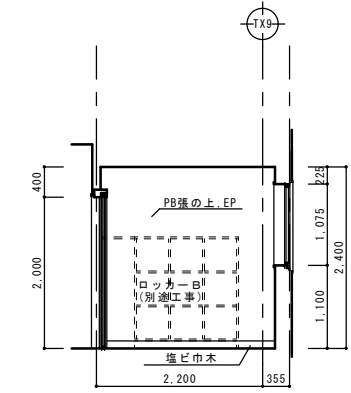
2階ホール A



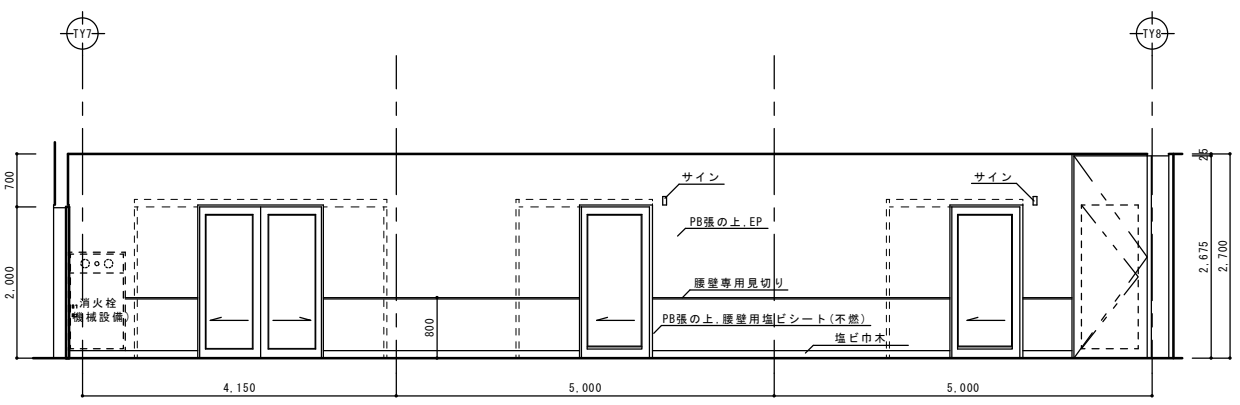
2階倉庫 A



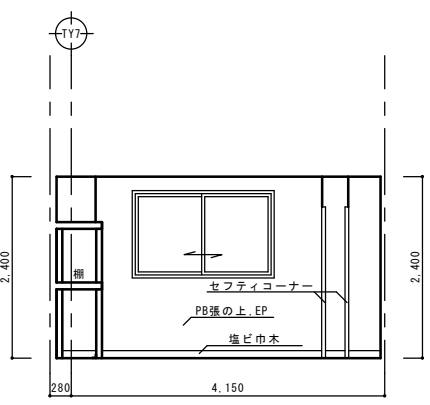
部室 2 A



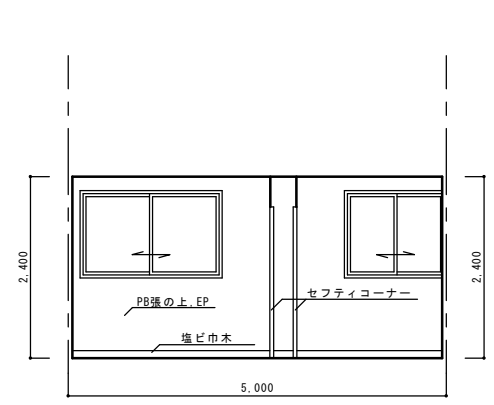
部室 1 A



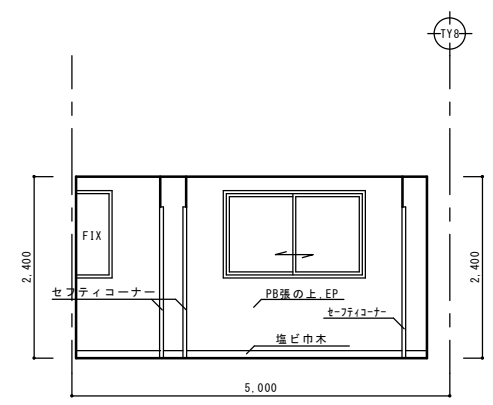
2階ホール B



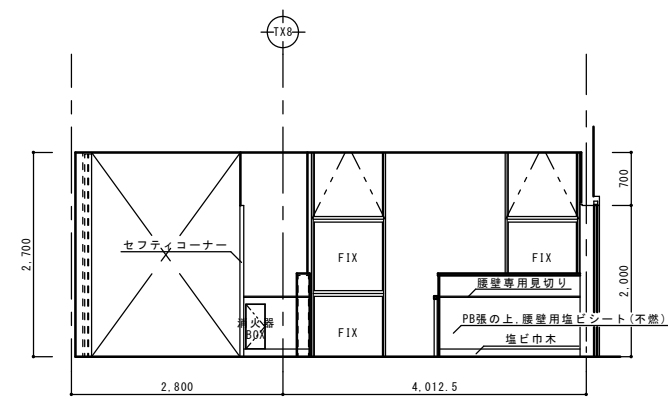
2階倉庫 B



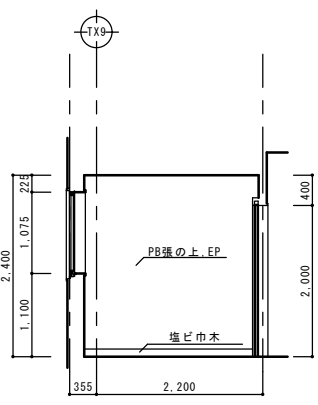
部室 2 B



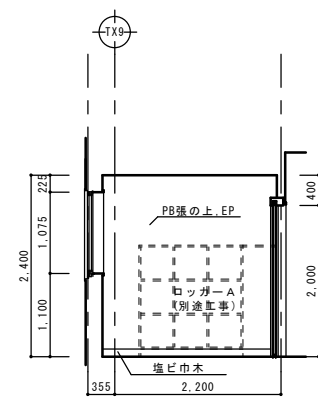
部室 1 B



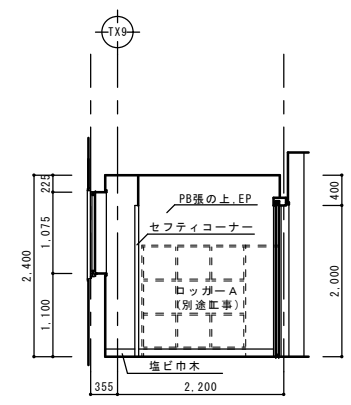
2階ホール C



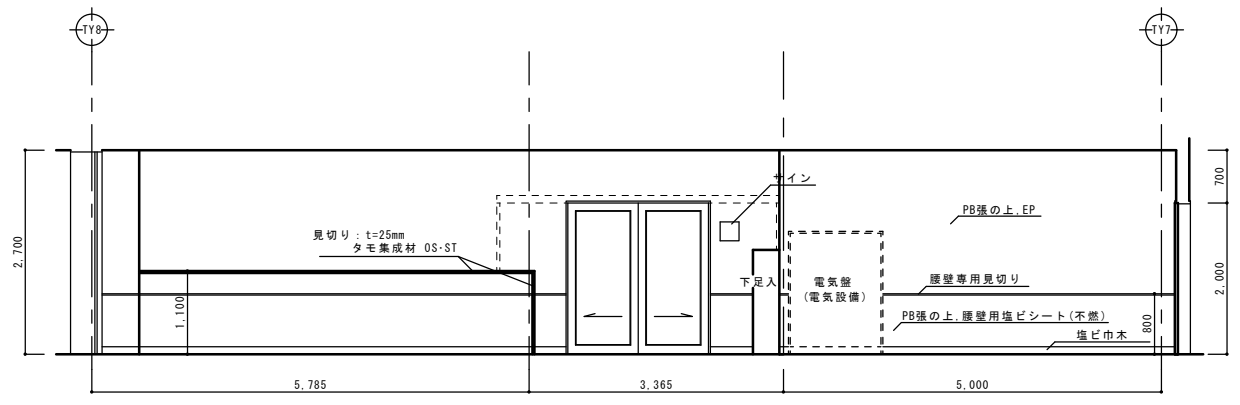
2階倉庫 C



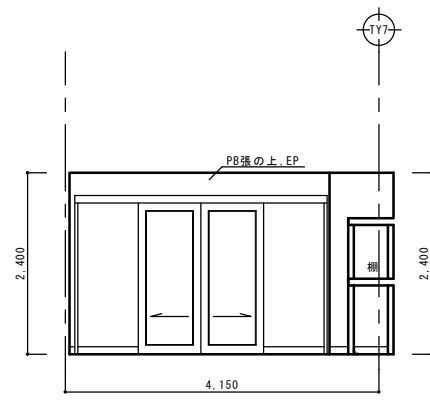
部室 2 C



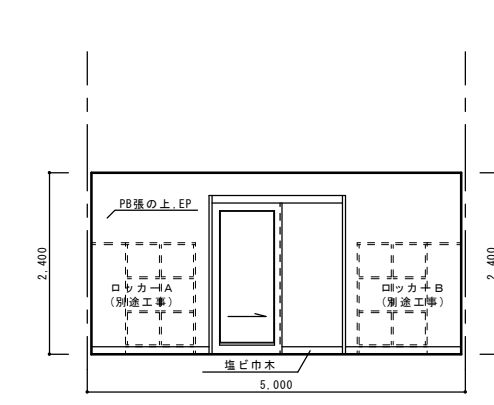
部室 1 C



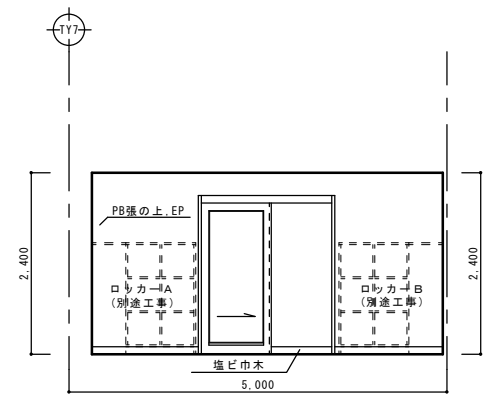
2階ホール D



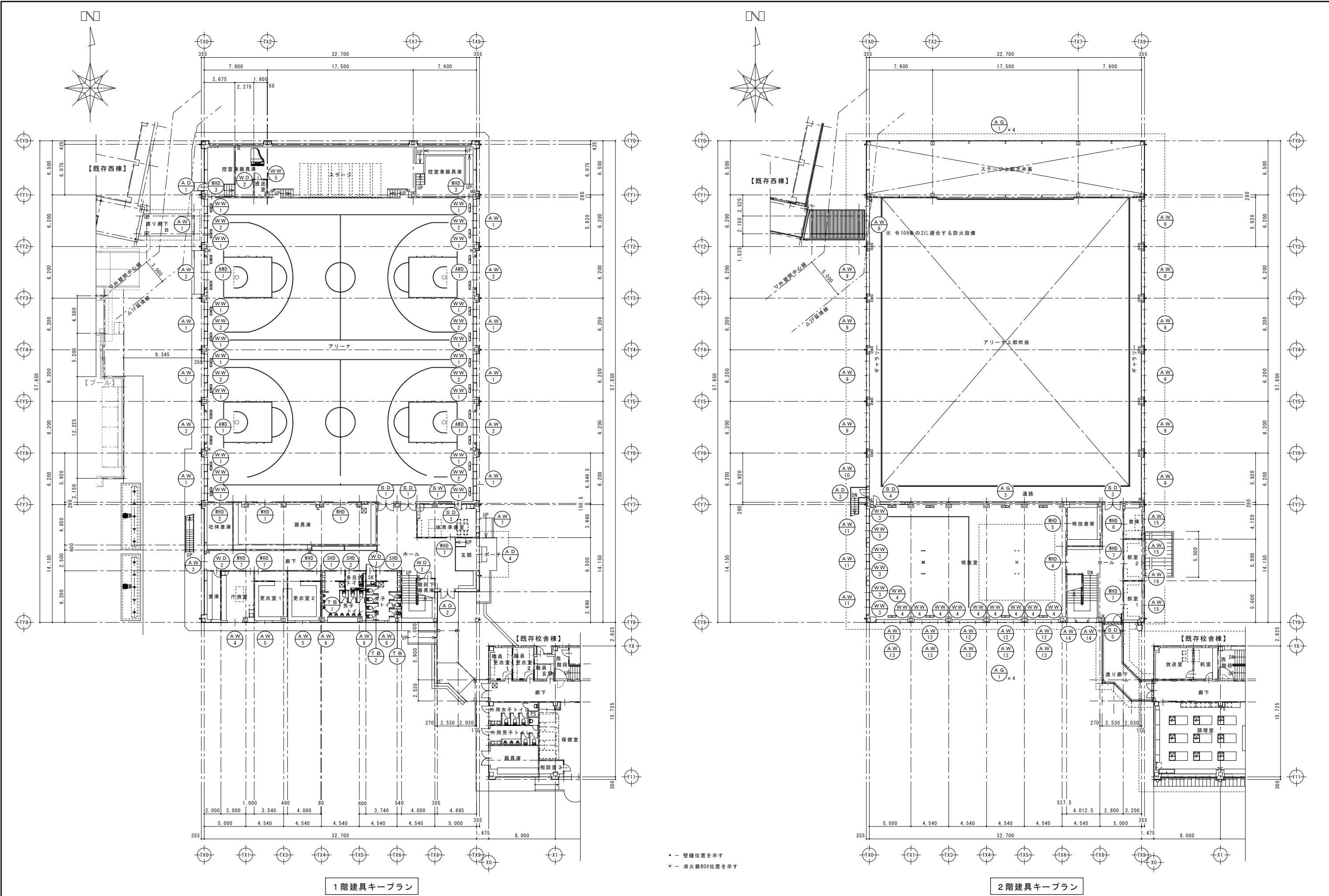
2階倉庫 D



部室 2 D



部室 1 D



装 置	※ Low-Eガラスは全て「日射取得型」とする（共通）																			
	名称・箇所	アルミサッシ引違い（3連）	8ヶ所	アルミサッシ4本引き ランマFIX	4ヶ所	アルミサッシ引違い ランマFIX	1ヶ所	アルミサッシ引違い ランマ引違い	1ヶ所	アルミサッシ引違い	2ヶ所	アルミサッシFIX	3ヶ所							
	仕上・見込	ステンカラー	70	ステンカラー	70	ステンカラー	70	ステンカラー	70	ステンカラー	70	ステンカラー	70							
	硝子	Low-E 5mm強化トーメイ+A12+4mm型		Low-E 5mm強化トーメイ+A12+5mmトーメイ		Low-E 5mm強化トーメイ+A12+5mmトーメイ		Low-E 5mm強化トーメイ+A12+5mmトーメイ		Low-E 5mm強化トーメイ+A12+4mm型		Low-E 5mm強化トーメイ+A12+4mm型								
	金物	クレセント、ステンレス網戸、Lピース、 外部アルミ顔縁、アルミ水切、標準附属金物一式		クレセント、ステンレス網戸、Lピース、 外部アルミ顔縁、アルミ水切、標準附属金物一式		クレセント、ステンレス網戸、アルミ顔縁、 外部アルミ顔縁、アルミ水切、標準附属金物一式		クレセント、ステンレス網戸、アルミ顔縁、 外部アルミ顔縁、アルミ水切、標準附属金物一式		クレセント、ステンレス網戸、アルミ顔縁、 外部アルミ顔縁、アルミ水切、標準附属金物一式		アルミ顔縁、 外部アルミ顔縁、アルミ水切、標準附属金物一式								
備考	1F アリーナ		1F アリーナ		1F 廊下		1F 庁務室		1F 更衣室1、更衣室2		1F 男子トイレ、女子トイレ									
装 置																				
	名称・箇所	アルミサッシ引違い	1ヶ所	アルミサッシ引違い（3連）	1ヶ所	アルミサッシ引違い（3連）	10ヶ所	アルミサッシ引違い（2連）	1ヶ所	アルミサッシ引違い（2連）	3ヶ所	アルミサッシ引違い（2連）	5ヶ所							
	仕上・見込	ステンカラー	70	ステンカラー	70	ステンカラー	70	ステンカラー	70	ステンカラー	70	ステンカラー	70							
	硝子	Low-E 5mm強化トーメイ+A12+5mmトーメイ		Low-E 5mm強化トーメイ+A12+6.8mm網入トーメイ		Low-E 5mm強化トーメイ+A12+5mmトーメイ		Low-E 5mm強化トーメイ+A12+5mmトーメイ		Low-E 5mm強化トーメイ+A12+4mm型		Low-E 5mm強化トーメイ+A12+4mm型								
	金物	クレセント、ステンレス網戸、アルミ顔縁、 外部アルミ顔縁、アルミ水切、標準附属金物一式		クレセント、ステンレス網戸、アルミ顔縁、 外部アルミ顔縁、アルミ水切、標準附属金物一式		クレセント、ステンレス網戸、アルミ顔縁、 外部アルミ顔縁、アルミ水切、標準附属金物一式		クレセント、ステンレス網戸、アルミ顔縁、 外部アルミ顔縁、アルミ水切、標準附属金物一式		クレセント、ステンレス網戸、アルミ顔縁、 外部アルミ顔縁、アルミ水切、標準附属金物一式		クレセント、ステンレス網戸、Lピース、 外部アルミ顔縁、アルミ水切、標準附属金物一式								
備考	1F 体育準備室		2F ギャラリー		2F ギャラリー		2F ギャラリー		2F 格技室		2F 格技室									
装 置																				
	名称・箇所	アルミサッシ引違い（2連）	5ヶ所	アルミサッシFIX ランマ突出し（3段）	2ヶ所	アルミサッシ引違い	3ヶ所	アルミサッシ引違い・FIX（2連）	1ヶ所		アルミドア片開き	1ヶ所								
	仕上・見込	ステンカラー	70	ステンカラー	70	ステンカラー	70	ステンカラー	70		ステンカラー	70								
	硝子	Low-E 5mm強化トーメイ+A12+5mmトーメイ		Low-E 5mm強化トーメイ+A12+5mmトーメイ		Low-E 5mm強化トーメイ+A12+4mm型		Low-E 5mm強化トーメイ+A12+4mm型				アルミサンドイッチパネル								
	金物	クレセント、ステンレス網戸、キャブレックスオペレーター Lピース、外部アルミ顔縁、アルミ水切、標準附属金物一式		ステンレス網戸、隠蔽オペレーター、アルミ顔縁、 標準附属金物一式		クレセント、ステンレス網戸、アルミ顔縁、 外部アルミ顔縁、アルミ水切、標準附属金物一式		クレセント、ステンレス網戸、アルミ顔縁、 外部アルミ顔縁、アルミ水切、標準附属金物一式				レバーハンドル、シリンドー錠、丁番、DC、アルミ顔縁、 外部アルミ顔縁、アルミ水切、標準附属金物一式								
備考	2F 格技室		2F 階段		2F 部室1、部室2、倉庫		2F 部室1、部室2				1F 控室兼器具庫									
装 置																				
	名称・箇所	アルミドア開閉 ランマFIX	1ヶ所	アルミドア片開き	1ヶ所	アルミ引分け戸 袖・ランマFIX	1ヶ所		アルミガラリ	8ヶ所	アルミガラリ	1ヶ所								
	仕上・見込	ステンカラー	70	ステンカラー	70	ステンカラー	70		ステンカラー	70	ステンカラー	70								
	硝子	Low-E 5mm強化トーメイ+A12+5mmトーメイ		アルミサンドイッチパネル		Low-E 5mm強化トーメイ+A12+5mmトーメイ			—		—									
	金物	レバーハンドル、シリンドー錠、丁番、DC、フランス落し、 アルミ顔縁、外部アルミ顔縁、アルミ水切、標準附属金物一式		レバーハンドル、シリンドー錠（内側サムターン）、丁番、DC、 アルミ顔縁、外部アルミ顔縁、アルミ水切、標準附属金物一式		ドアハンドル（G3269 UNION同等品）、シリンドー錠（内側サムターン）、戸車、ストッパー、 下部：SUSフラットレール、アルミ顔縁、衝突防止表示（SUS）、標準附属金物一式			標準附属金物一式		標準附属金物一式									
備考	1F ホール		2F 通路		1F 玄関			外壁 横飾り（4ヶ所×2面）		2F 通路上部										
上田市都市建設部建築課		事業年度	R6 / (R7) / R8	久高設計・河田一級建築士事務所 設計共同企業体		代表	長野県知事登録 第上田N-78311号 名称 株式会社 久高設計 住所 長野県上田市住吉5番地2 代表者 品田和久	設計者	1級建築士 国土交通大臣登録 第292990号 小福田洋	工事名	第五中学校改築事業 屋内運動場ほか建設 建築主体工事		図 名	屋内運動場 建具表(1)		縮尺	A1 1/50	A3 1/100	No.	A-54

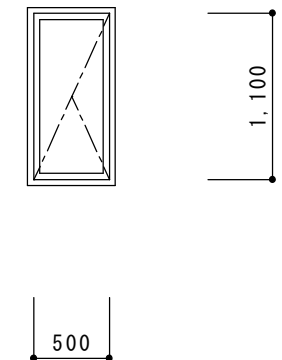
姿 図	常時閉鎖式特定防火設備 平成12年建設省告示 第1369号		常時閉鎖式特定防火設備 平成12年建設省告示 第1369号		常時閉鎖式特定防火設備 平成12年建設省告示 第1369号		常時閉鎖式特定防火設備 平成12年建設省告示 第1369号		常時開放式 煙・熱感運動自動閉鎖 特定防火設備 平成12年建設省告示 第1369号		常時閉鎖式特定防火設備 認定 EA-0410		
	名称・個所 スチールドア両開き 2ヶ所		スチールドア片開き 1ヶ所		スチールドア両開き 1ヶ所		スチールドア片開き 1ヶ所		スチール折り畳み防火戸 (潜り戸付) 1ヶ所		スチール枠耐熱合わせガラスFIX 1ヶ所		
	仕上・見込 両面 t-12mm脱脂唐松単板 目透かし張 OS-ST (框 スチール SOP)		片面 t-12mm脱脂唐松単板 目透かし張 OS-ST (框 スチール SOP)		スチール SOP ドア見込 55		片面 t-12mm唐松LVL 目透かし張 ウレタン塗装 (框 スチール SOP)		スチール SOP ドア見込 60		スチール SOP 179		
	硝子 - ドア見込 55		片面 スチール SOP ドア見込 55		-		片面 スチール SOP ドア見込 55		-		8.6mm耐熱合わせガラストーマイ		
金 物	ドアハンドル、シリンドー錠、ピボットヒンジ、フランス落し、DC、三方枠 スチール SOP、下枠 ステンレス、標準附属金物一式		レバーハンドル、シリンドー錠、ピボットヒンジ、DC、三方枠 スチール SOP、下枠 ステンレス、標準附属金物一式		ドアハンドル、シリンドー錠、ピボットヒンジ、フランス落し、DC、三方枠 スチール SOP、下枠 ステンレス、標準附属金物一式		レバーハンドル、シリンドー錠、ピボットヒンジ、DC、三方枠 スチール SOP、下枠 ステンレス、標準附属金物一式		ケースハンドル、折戸ヒンジ、オートヒンジ、ドアキャッチ、潜り戸、感知器、枠:スチール SOP、下枠:ステンレス、自動閉鎖装置、二次側配線、標準附属金物一式		標準附属金物一式		
	備考 1F アリーナ		1F アリーナ		2F 通路		2F 格技室		2F ホール		1F 体育準備室		
姿 図													
	名称・個所 スチールハンガー戸 2ヶ所		スチールハンガー戸 1ヶ所		トイレブース 1ヶ所		トイレブース 1ヶ所		トイレブース 1ヶ所		木・アルミ複合防球格子4本引き 4ヶ所		
	仕上・見込 化粧鋼板 135 (扉:40)		化粧鋼板 135 (扉:40)		高圧メラミン化粧板 (芯材: MDF) 30		高圧メラミン化粧板 (芯材: MDF) 30		高圧メラミン化粧板 (芯材: MDF) 30		アルミ・集成材 UP 枠:136・扉:56		
	硝子 4mm型		4mm型		-		-		-		-		
	金物 SUS引棒、シリンドー錠、戸当りゴム、ガラリ、ハンガー装置、自動閉鎖装置、ステンレス窓指、標準附属金物一式		SUS引棒、表示錠 (大型サムターン)、戸当りゴム、ハンガー装置、ガラリ、自動閉鎖装置、ステンレス窓指、標準附属金物一式		スライドラッチ (内)、ストライク、中心吊グレビティヒンジ、笠木戸当り、帽子掛戸当り、SUS巾木、標準附属金物一式		スライドラッチ (内)、ストライク、中心吊グレビティヒンジ、笠木戸当り、帽子掛戸当り、SUS巾木、標準附属金物一式		スライドラッチ (内)、ストライク、中心吊グレビティヒンジ、笠木戸当り、帽子掛戸当り、SUS巾木、標準附属金物一式		引手、レール、重量用調整式戸車、戸当り、フランス落し、手詰め防止ゴム、標準附属金物一式		
備考 1F トイレ		1F 多目的トイレ		1F 男子トイレ		1F 女子トイレ		1F 女子トイレ		1F アリーナ			
姿 図													
	名称・個所 木製片開き戸 1ヶ所		木製片開き戸 3ヶ所		木製引違い窓 24ヶ所		木製引違い窓 16ヶ所		木枠ガラスFIX 1ヶ所		木製引分けハンガー戸 3ヶ所		
	仕上・見込 ポリ合板 (小口 堅木 SOP) 40		ポリ合板 (小口 堅木 SOP) 40		t-12mm脱脂唐松単板 目透かし張 OS-ST (框 米松ビラー OS-ST)		t-12mm唐松LVL 目透かし張 ウレタン塗装 (框 米松ビラー OS-ST)		米松ビラー OS-CL 枠見込 139		片面 t-12mm脱脂唐松単板 目透かし張 OS-ST (框 米松ビラー OS-ST)		
	硝子 4mm型		4mm型		- 扉見込 40		- 扉見込 40		4mm強化トーマイ		- 片面 シナ合板 目透かし張 OS-ST 扉見込 40		
	金物 レバーハンドル、シリンドー錠、丁番、DC、ステンレス窓指、下部 H=30mmスリット		レバーハンドル、シリンドー錠、丁番、DC、ステンレス窓指		堀込引手、数層スベリ		堀込引手、数層スベリ				大型堀込引手、シリンドーカマ錠、ドアレール、ローラー、ガイドレール、ガイドローラー、戸当りゴム、ステンレス窓指		
	備考 1F S K		1F 階段下器具庫、放送室、倉庫		1F アリーナ		2F 格技室		1F 放送室		1F 器具庫、社体倉庫		
姿 図													
	名称・個所 木製片引きハンガー戸 2ヶ所		木製引分けハンガー戸 1ヶ所		木製引分けハンガー戸 1ヶ所		木製引分けハンガー戸 1ヶ所		木製片引きハンガー戸 6ヶ所		木製片引きハンガー戸 6ヶ所		
	仕上・見込 片面 t-12mm脱脂唐松単板 目透かし張 OS-ST (框 米松ビラー OS-ST)		両面 t-12mm唐松LVL 目透かし張 ウレタン塗装 (框 米松ビラー OS-ST) 扉見込 40		片面 t-12mm唐松LVL 目透かし張 ウレタン塗装 (框 米松ビラー OS-ST)		両面 ポリ合板 (框 木製 SOP) 扉見込 40		両面 ポリ合板 (框 木製 SOP) 扉見込 40		両面 ポリ合板 (框 木製 SOP) 扉見込 40		
	硝子 - 片面 シナ合板 目透かし張 OS-ST 扉見込 40		-		- 片面 シナ合板 目透かし張 OS-ST 扉見込 40		-		-		-		
	金物 大型堀込引手、シリンドーカマ錠、ドアレール、ローラー、ガイドレール、ガイドローラー、戸当りゴム、ステンレス窓指		大型堀込引手、シリンドーカマ錠、ドアレール、ローラー、ガイドレール、ガイドローラー、戸当りゴム、数層 堅木 ウレタン塗装		大型堀込引手、シリンドーカマ錠、ドアレール、ローラー、ガイドレール、ガイドローラー、戸当りゴム、数層 堅木 ウレタン塗装		大型堀込引手、シリンドーカマ錠、ドアレール、ローラー、ガイドレール、ガイドローラー、戸当りゴム、ステンレス窓指		大型堀込引手、シリンドーカマ錠、ドアレール、ローラー、ガイドレール、ガイドローラー、戸当りゴム、ステンレス窓指		大型堀込引手、シリンドーカマ錠、ドアレール、ローラー、ガイドレール、ガイドローラー、戸当りゴム、ステンレス窓指、下部 H=30mmスリット		
	備考 1F 控室兼器具庫		2F 格技室		2F 格技室		2F 倉庫		2F 倉庫		1F 庁務室、更衣室1、更衣室2、体育準備室、2F 部室1、部室2		
上田市都市建設部建築課		事業年度 R6 / (R7) / R8		久高設計・河田一級建築士事務所 設計共同企業体		代表 長野県知事登録 第10471号 設計者 1級建築士 国土交通大臣登録 第292990号 小幡 田 洋		工事名 第五中学校改築事業 屋内運動場ほか建設 建築主体工事		図 名 屋内運動場 建具表(2)		縮尺 A1 1/50 A3 1/100 No. A-55	

外部仕上表

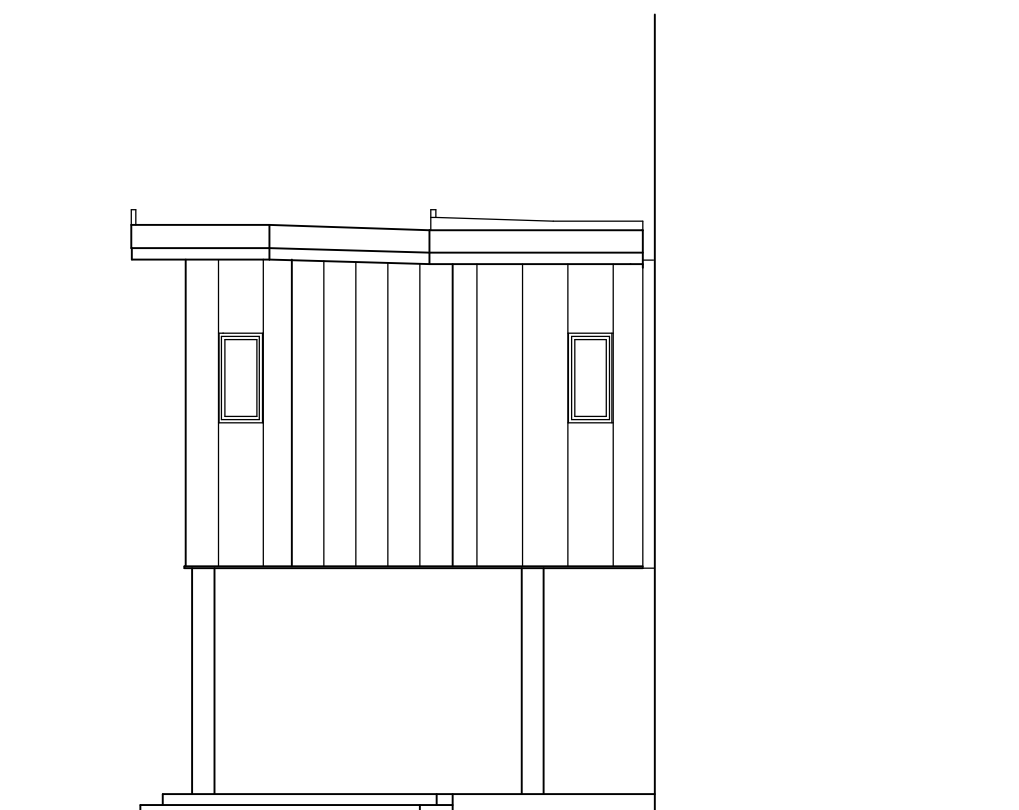
構 造	鉄骨造 2 階建 耐火構造
屋 根	ルーフデッキ166mm山ボルトレス t-0.8mmインシュレーション工法 ガルバリウム鋼板屋根30分耐火 雪止めL-50×50×4 亜鉛メッキ品
外 壁	押出成形セメント板W-600縦張 エポキシ樹脂 シーラー下地 3フッ化2液フッ素樹脂塗装
破 風	t-2.0mmアルミジュラクロン塗装 下地金物L-50×50×4 亜鉛メッキ品
軒 樋	アルミ既製品 W122.5×80程度
立 樋	アルミバンドレスタイプ 89φ 2本
軒 天	ルーフデッキ軒先部分 結露防止塗料塗 ケツロナインまたは同等品 1 階部分 LGS下地 t-6mmケイカル板目透かし張 EP
1 階渡り廊下床	t-150mm土間コンクリート打 即時金鍍仕上 床目地切りあり 段差部分PC階段あり
耐火被覆	1.2階柱(梁下端まで) SK耐火コートまたは同等品 パテ処理仕上 梁 t-25mm岩綿吹付 (1 時間耐火)
EXP金物	内外クリア100用 アルミEXP用金物 EXP部分断熱に配慮し t-50mmロックウール (マキベイまたは同等品) で 断熱を行う

内部仕上表

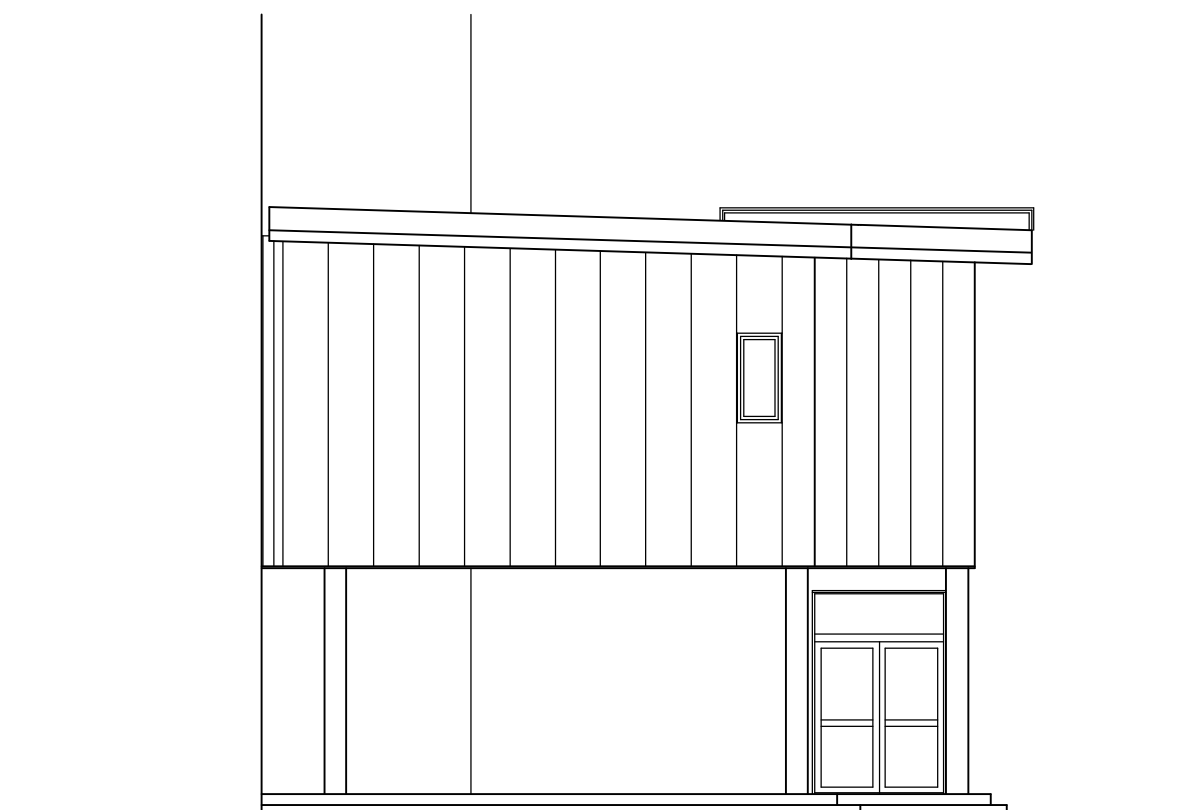
室 名	床	巾 木	壁	天井	天井高	備 考
2 階渡り廊下	t-2.5mm長尺塩ビシート張	H-100 塩ビ巾木	LGS t-9.5+12.5mmPB張 EP 腰壁 PBの上に t-0.5mm不燃腰壁用塩ビシート張 上端 腰壁専用見切	LGS下地 t-9.5mm化粧B張	2.700	

姿 図	
名称・箇所	アルミたて滑り出し窓 7カ所
仕上・見込	70 ステンカラー
硝子	南、西面3カ所 LOW-E 5mm強化トーメイ+A12+5mmトーメイ その他 4カ所 LOW-E 5mm強化トーメイ+A12+4mm型
金物	アルミ額縁 水切り グレモンハンドル ストッパー
	標準附属金物一式

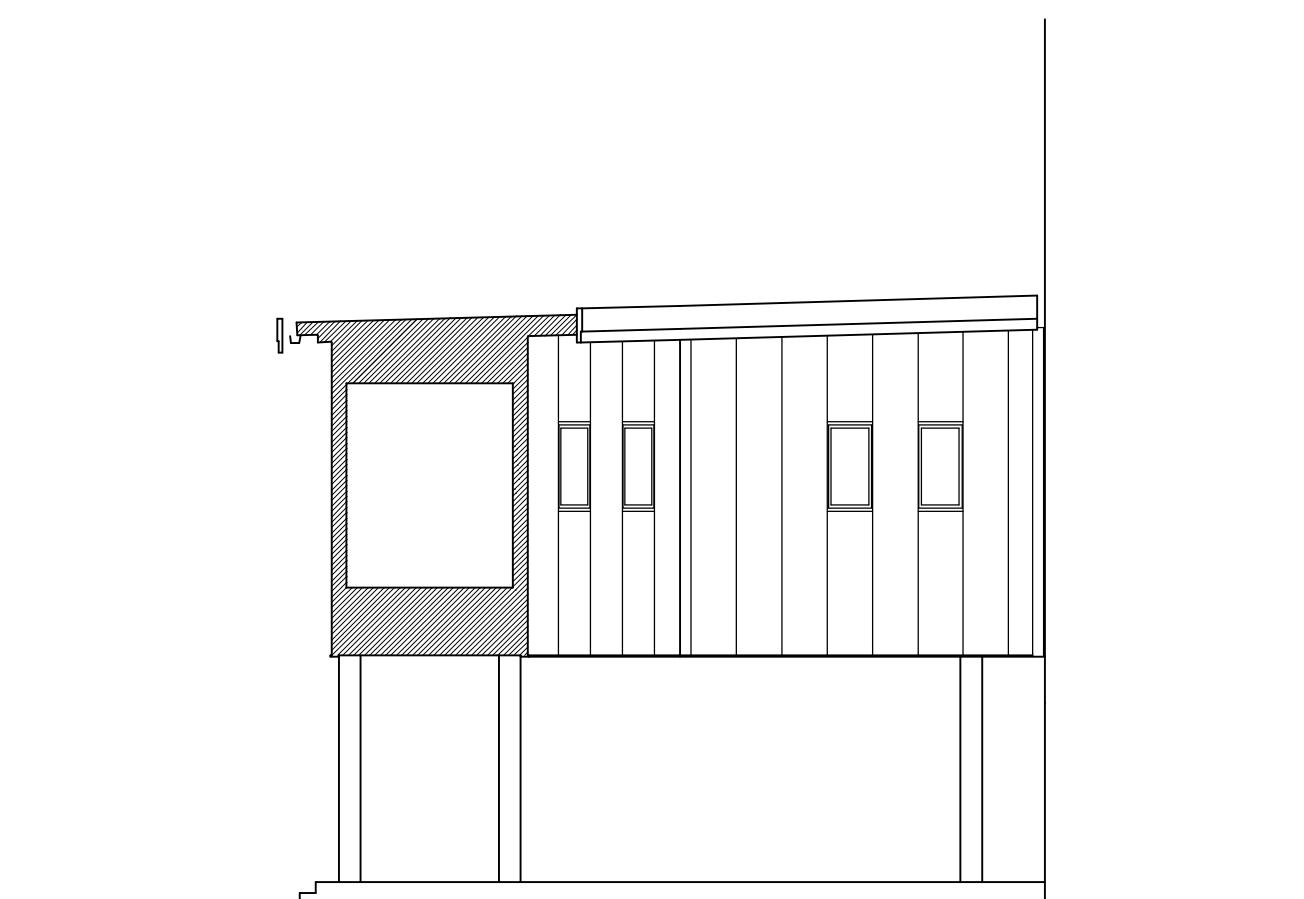
建具表 1/50



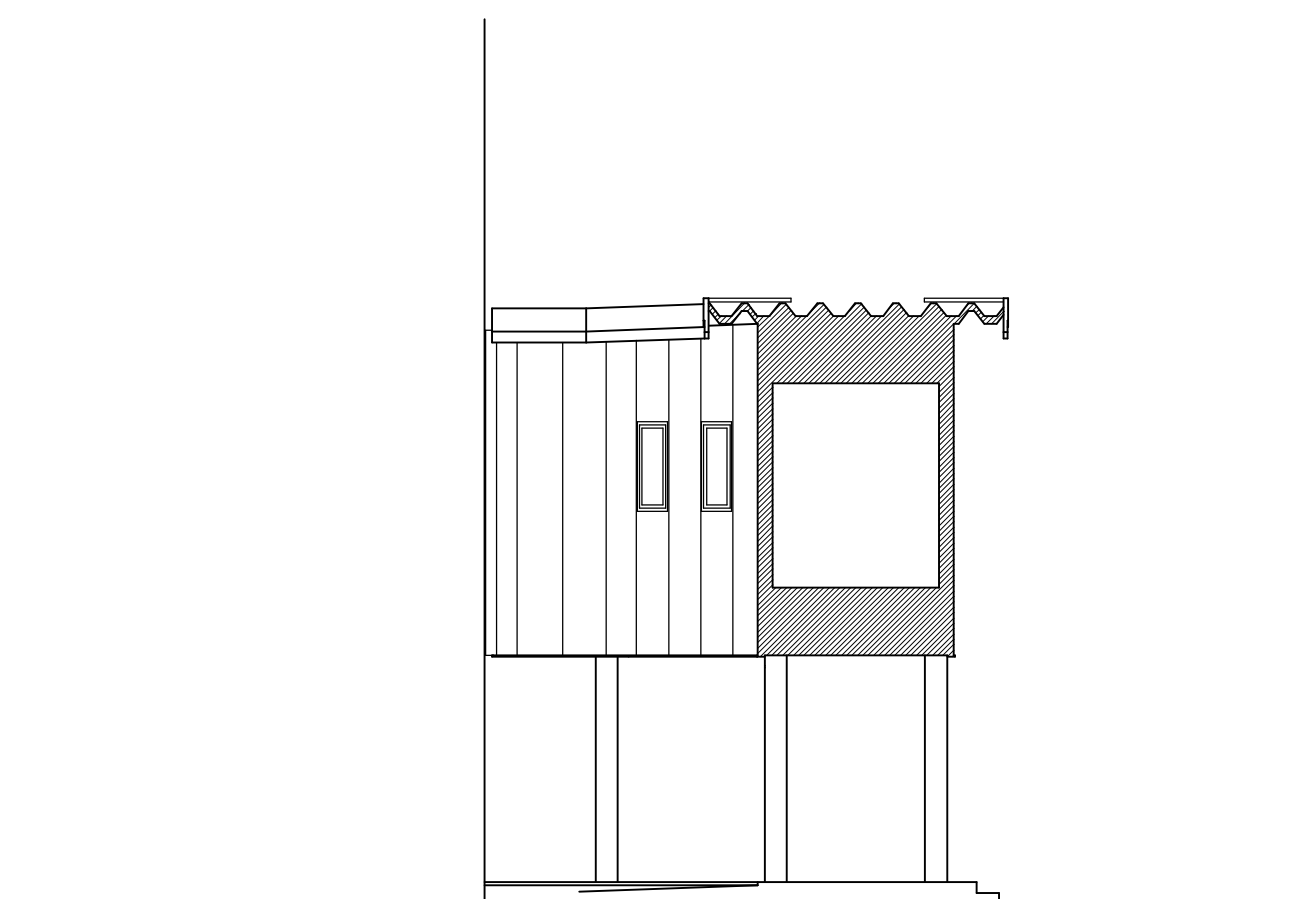
南立面図 1/100



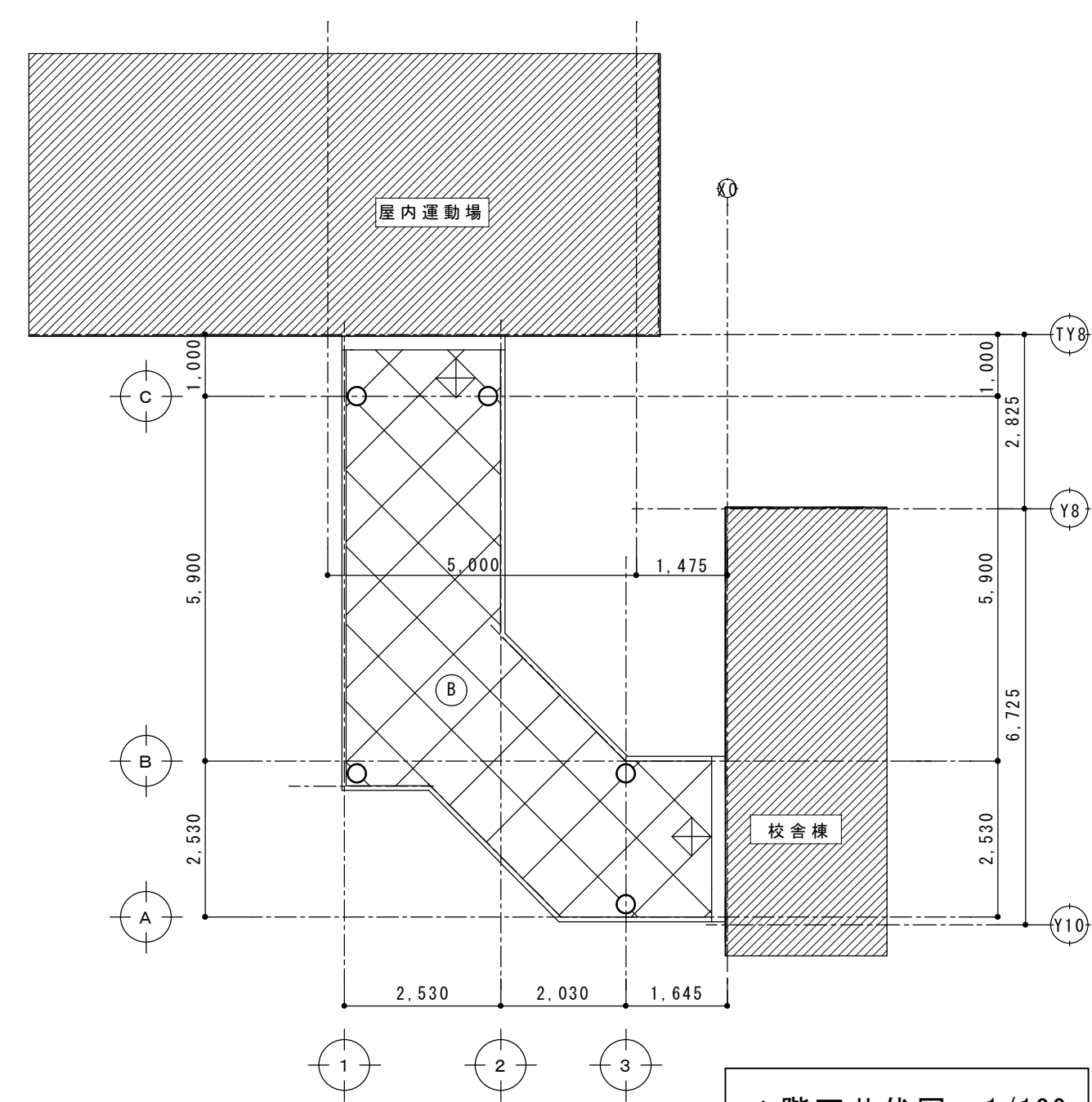
西立面図 1/100



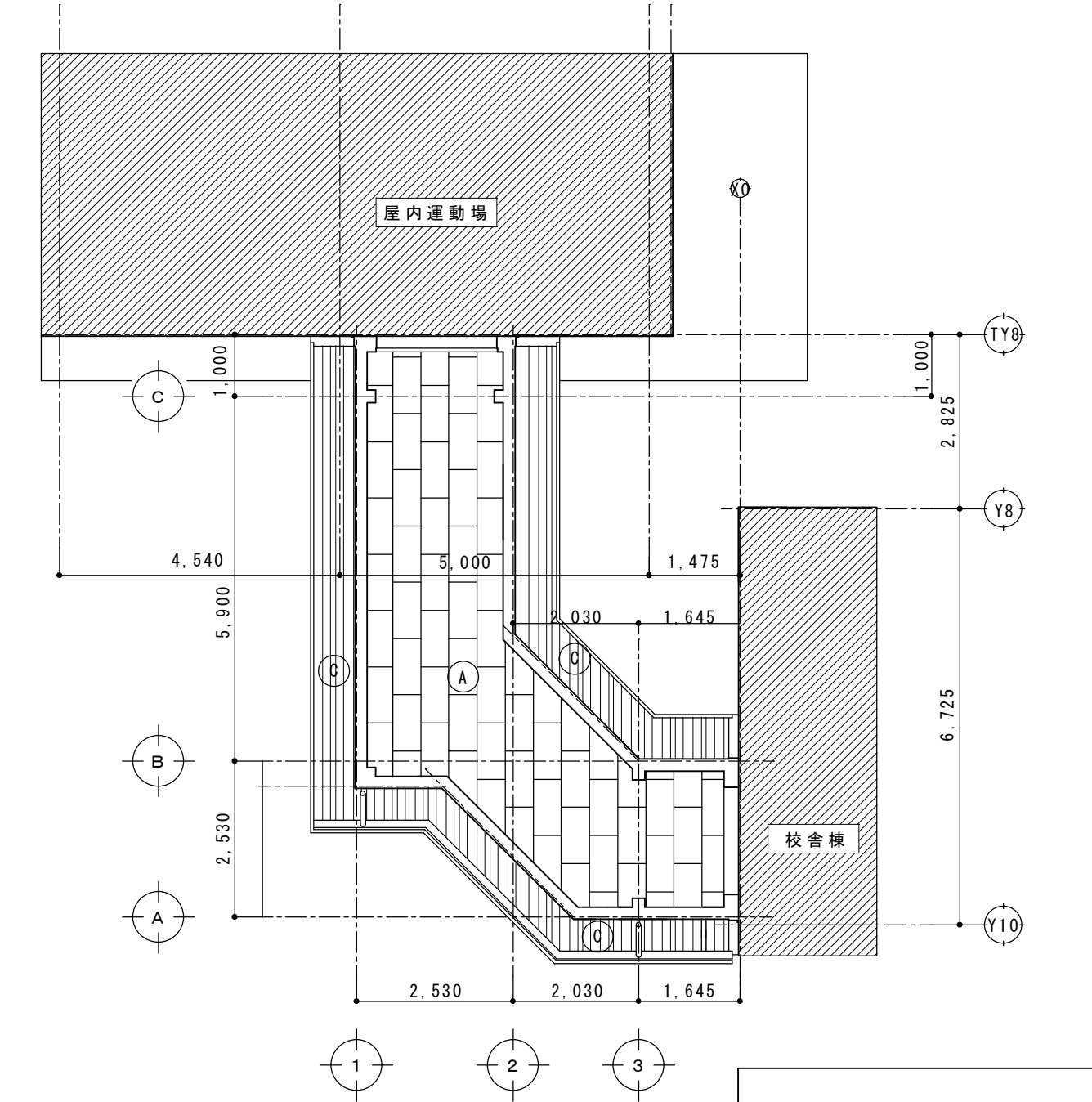
東立面図 1/100



北立面図 1/100

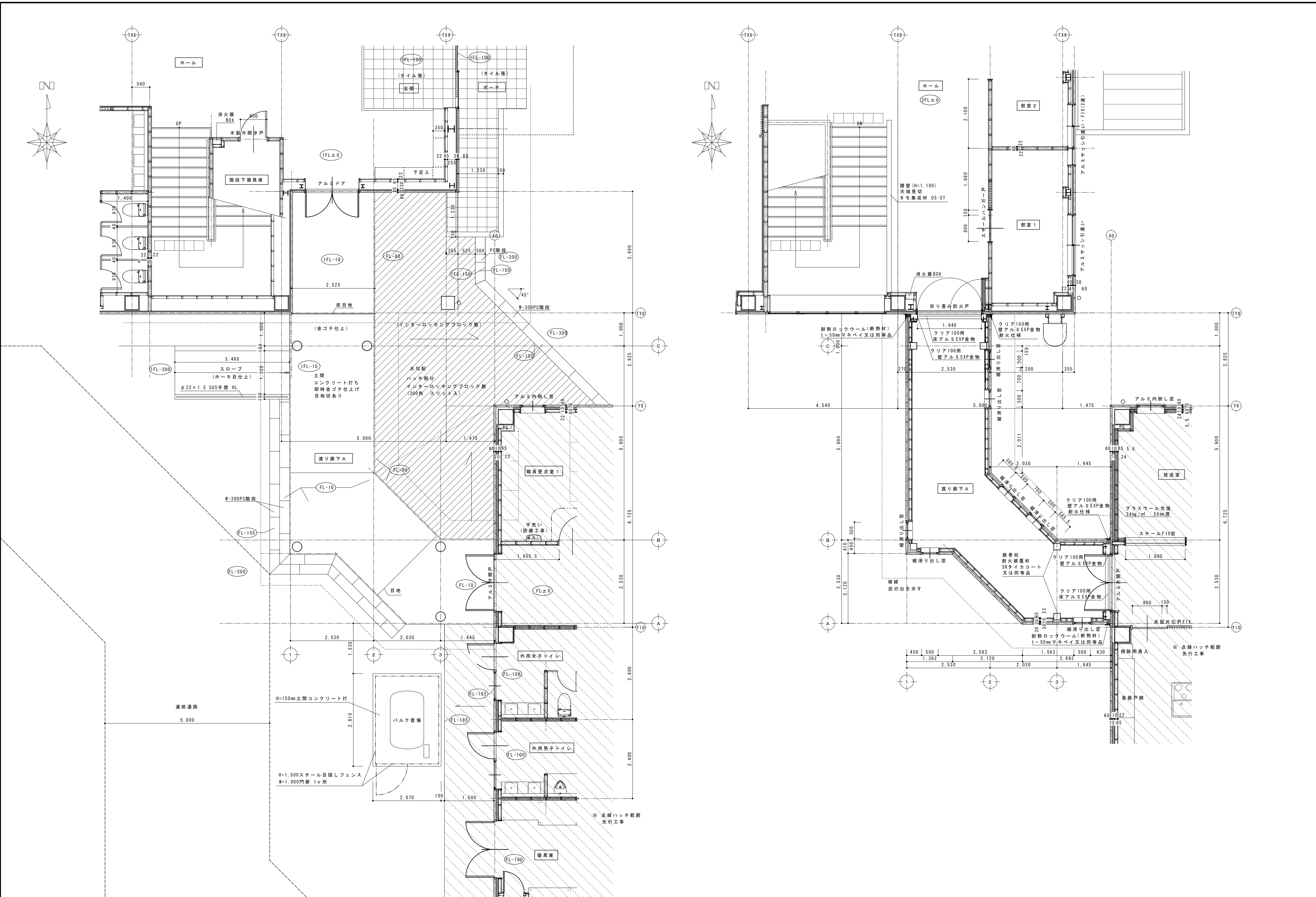


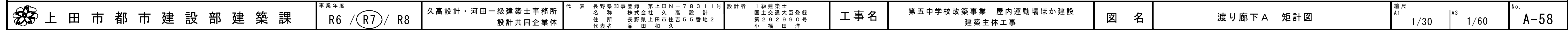
1 階天井伏図 1/100

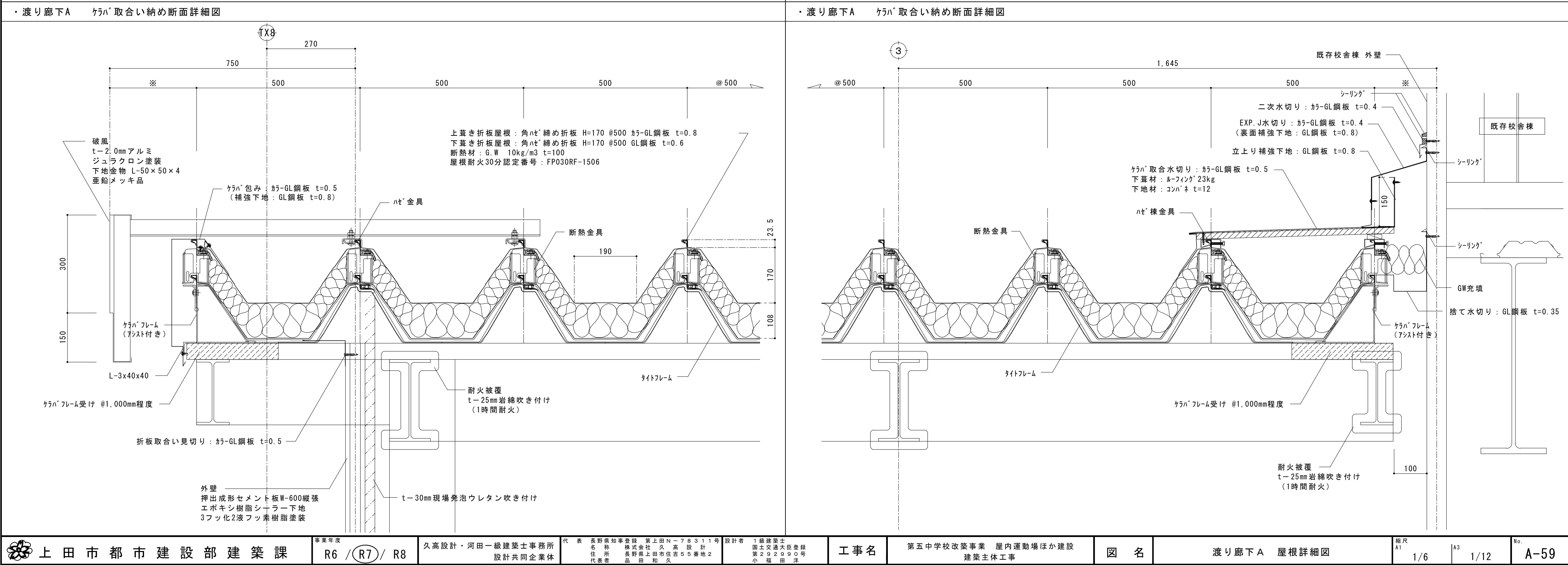
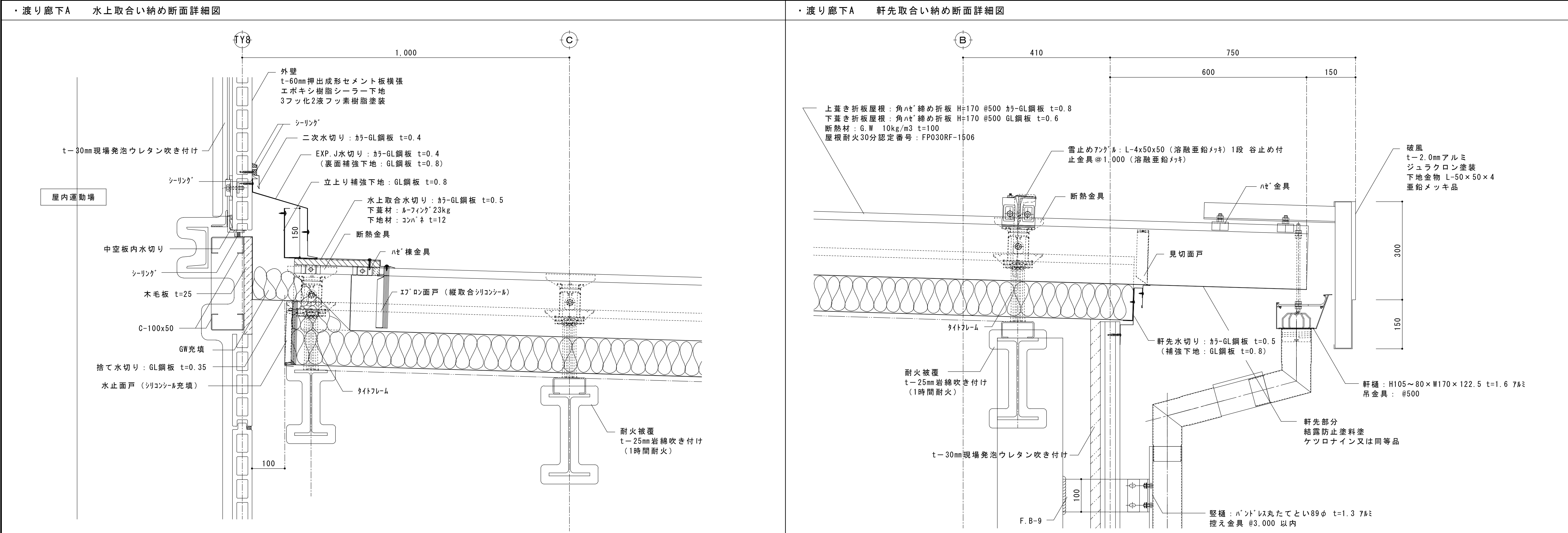


2 階天井伏図 1/100

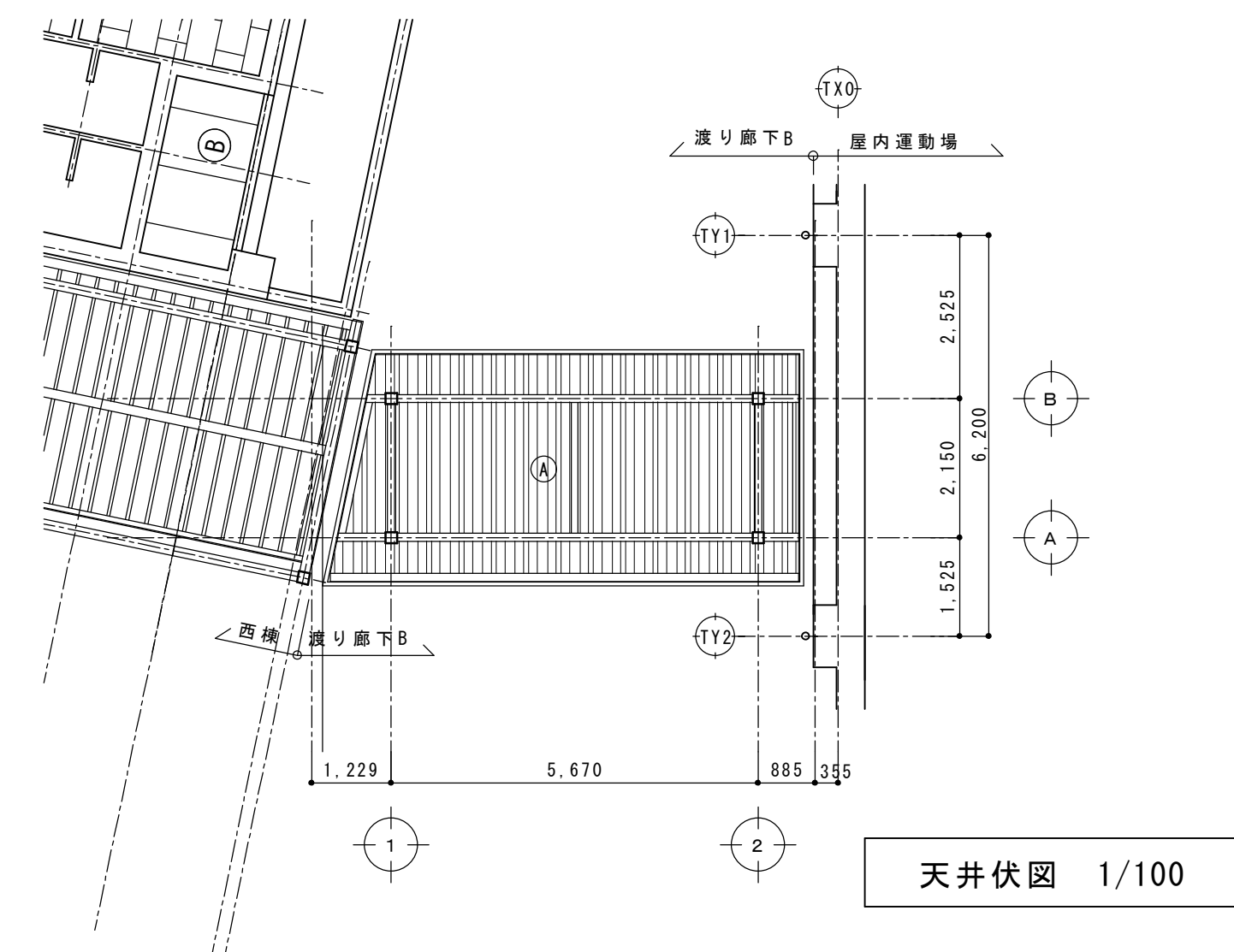
Ⓐ	t-9.5mm化粧石膏ボード張
Ⓑ	t-6mmケイカル板目透かし張EP
Ⓒ	結露防止塗料塗
ⓧ	450角アルミ天井点検口



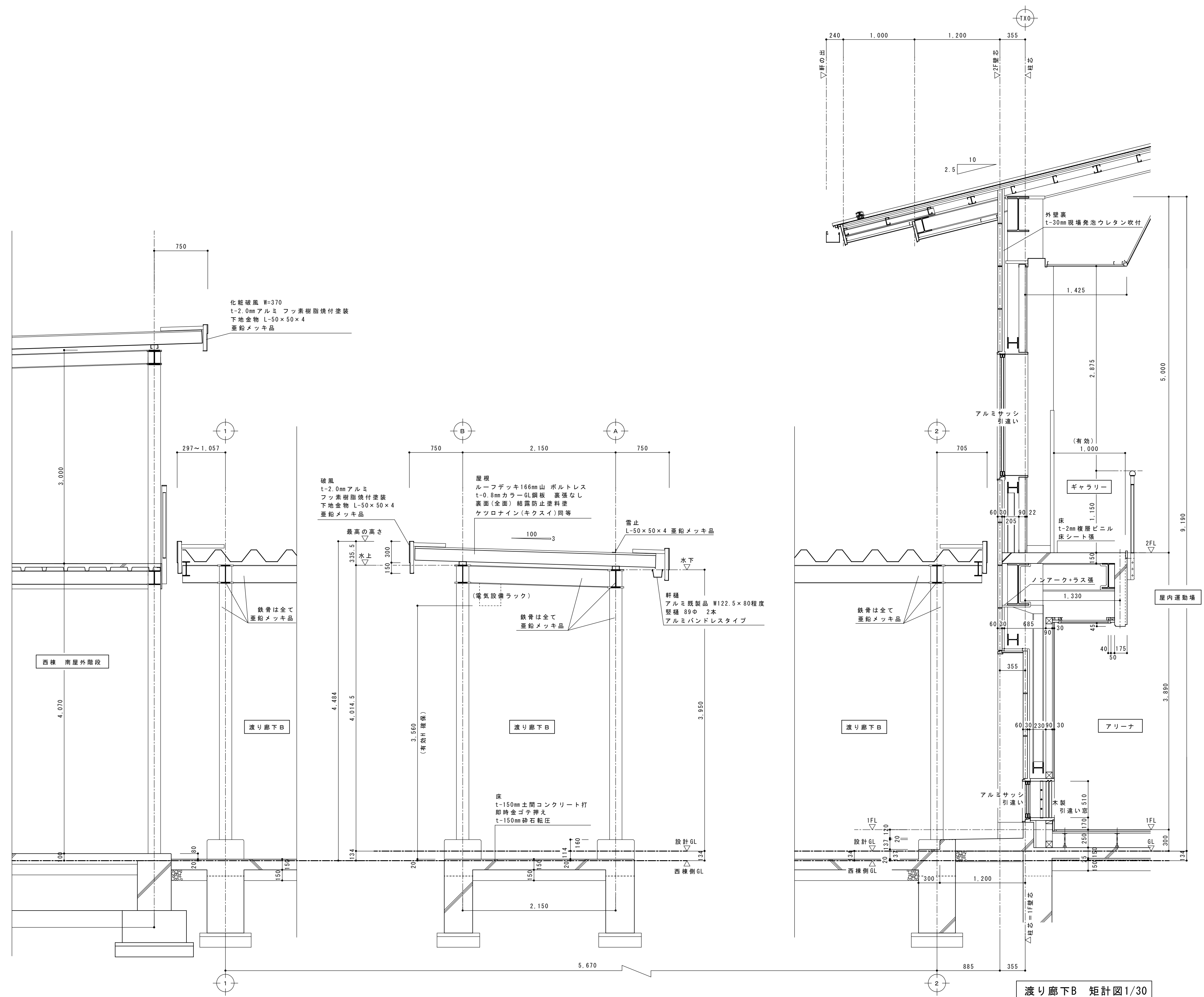


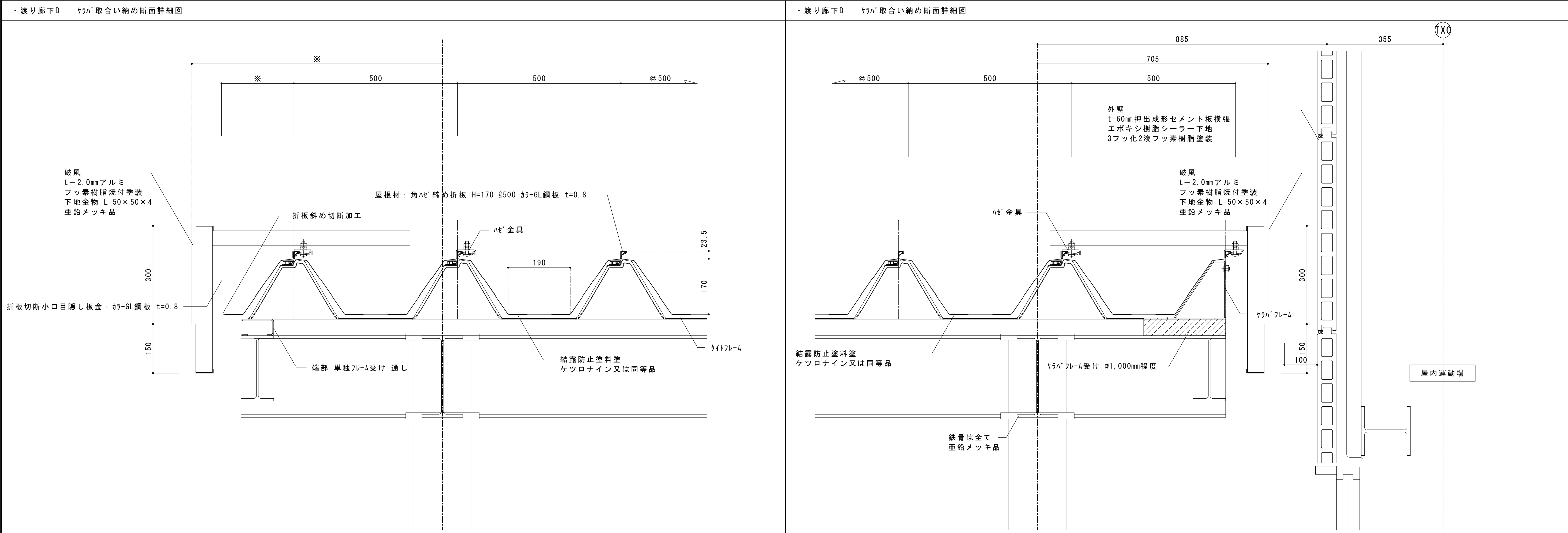
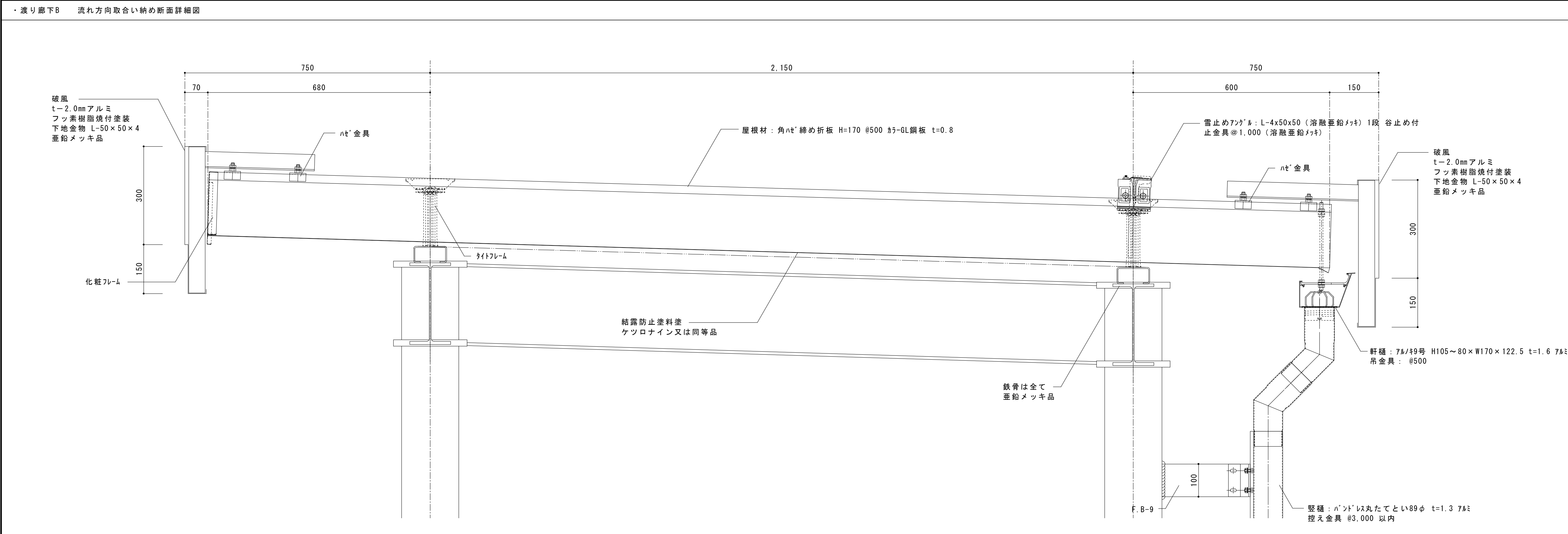


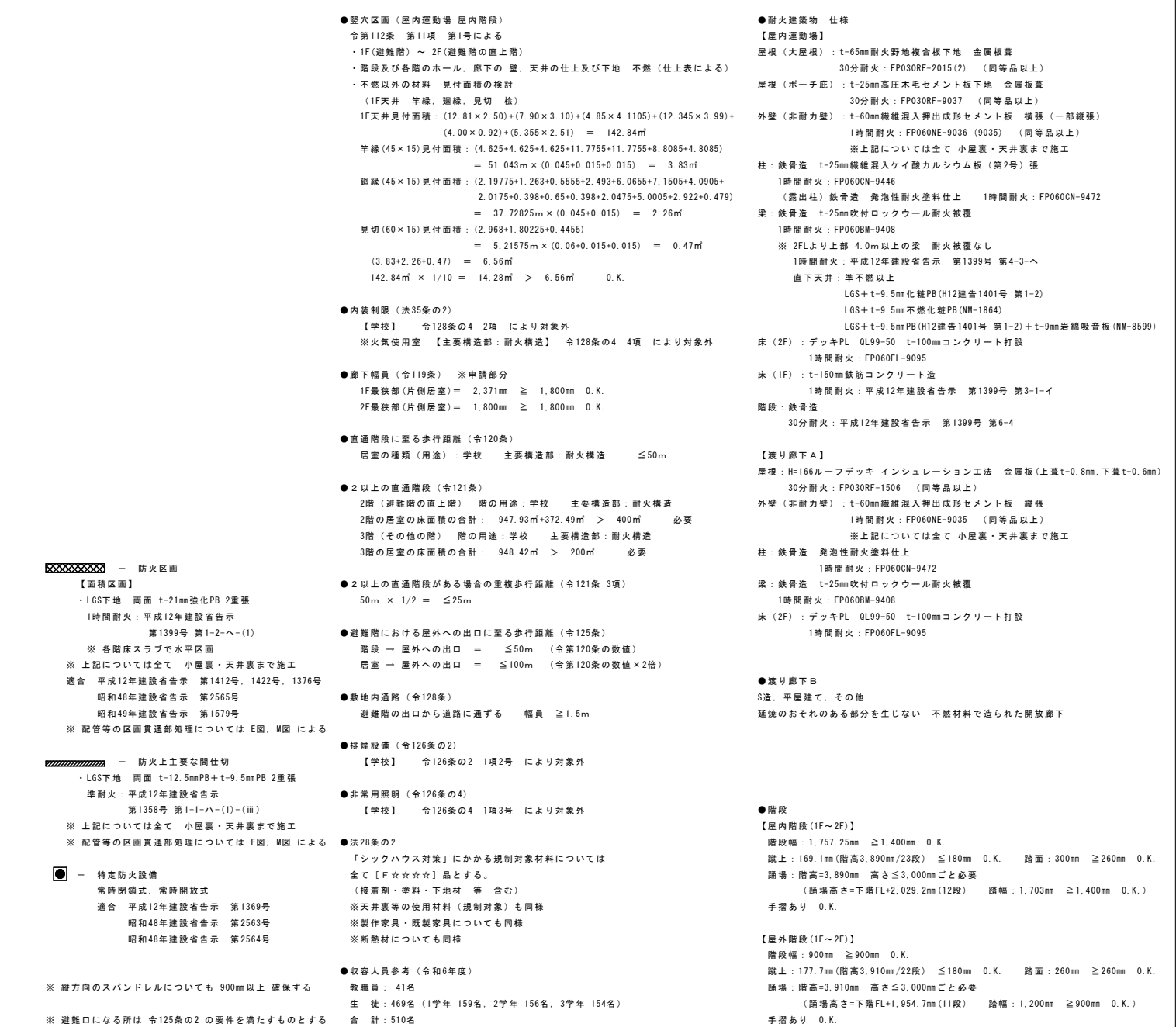
仕 上 表

[illegible]

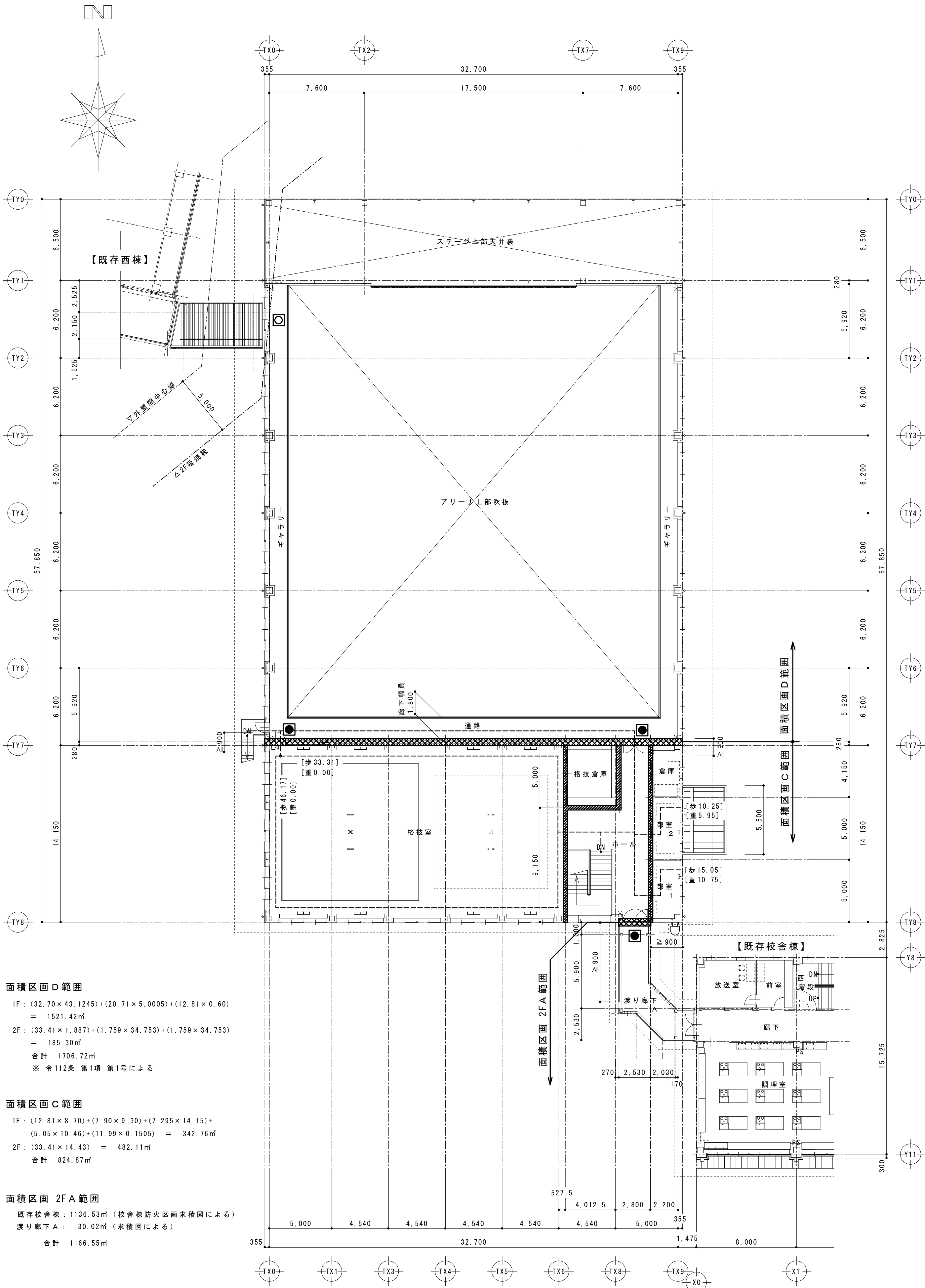
(A)	ルーフデッキアラワシ(裏張なし) 結露防止塗料塗 ケツロナイン(キクスイ)同等 鉄骨梁アラワシ(溶融亜鉛メッキ品)







室 名	床面積	必要開口面積	計 算 式	有効開口面積	室 名	床面積	必要開口面積	計 算 式	有効開口面積
アリーナ			※空間的に一体となるため同一で検討		序務室	S= 24.80		(4.00×6.20)	
ステージ	S= 1592.79		(32.70×42.995)÷(11.99×0.1295)+(33.41×1.887)+ (1.759×34.753)+(1.759×34.753)			1/50S = 0.50		(0.365×1.80×1/2)÷((0.80-0.70)×1.80×1/2) AW/4	0.42 N.G.
控室兼器具庫								H12建告第1436号 4ーニ4による	
放送室			平均天井高さ定(床面重複部分 不利側(1FL)で算定)					(壁・天井：不燃下地 不燃仕上)	0.K.
通路			(1.425×36.64×H7.915×2)÷(29.85×36.64×H9.438)+ (29.85×36.64×H3.732×1/2)÷(11.99×0.1295×H2.90)+ (7.60×6.355×H5.40×2)÷(17.50×6.355×H6.15)			1/20SB = 1.24		(2.00×1.80×1/2) AW/4	1.80 0.K.
ギャラリー									
			=14399.83m ³ (算定対象床面積:1407.48m ²) 14399.83m ³ ÷1407.48m ² = 10.23093m		1 階			※既存校舎様、既存西様は 各法規チェックによる (求積図による)	
			→ 1FL+5.115mm上方が有効(AW/8.9.10のH=1.550部分)		渡り廊下 A	S= 1864.19			
	1/50S = 31.86		(1.55×1.663×1/2×3×10) ⁴ AW/9×10 ⁴	38.66 0.K.		1/30S = 62.14		(2.00×3.60×1/2×4) ⁴ ÷(2.00×1.80×1/2)+ (2.00×1.80×1/2)÷(1.375×1.80×1/2)÷(2.00×1.60)+ (2.20×3.82×1/2) = 26.64m ²	
	1/20SB = 79.64		(0.48×1.663×1/2×3×8) ⁴ ÷(2.00×3.60×1/2×4) ⁴ + (1.675×1.663×1/2×3×11) ⁴ + (1.675×1.663×1/2×2)+(1.865×0.80)÷(2.175×0.80)					AW/2×4 ⁴ , AW/3, AW/4, AW/7, AD/2, AD/1	
			AW/1×8 ⁴ , AW/2×4 ⁴ , AW/8, AW/9×10 ⁴ , AW/10, AD/1, AD/3	75.96 N.G.				(2.00×1.72×4)+(1.94×0.80)+ (1.70×1.715×1/2×2×2)+(1.20×0.75×4)+ (0.80×0.80)÷(0.80×0.70×2) ⁴ ÷(1.20×0.75)+ (2.00×0.80)÷(2.00×1.70)÷(2.00×0.80×2) ⁴ + (2.00×0.80) = 37.20m ²	
	1/20SA = 79.64		機械換気 M図による (1.675×1.663×3×10) ⁴	0.K.				CW/101, AW/116×2 ⁴ , AW/122×4 ⁴ , AW/123, AW/124×2 ⁴ , AW/138, AD/101, AD/102, AD/103×2 ⁴ , AD/106	63.84 0.K.
			AW/9×10 ⁴	81.57 0.K.					
体育準備室 (CH=2,700)	S= 30.75		(7.495×3.96)÷(7.14×0.1505)						
		1/50S = 0.62	((0.80-0.235)×1.80×1/2) AW/7	0.51 N.G.	一凡例一	1/50S	令116条の2 1項2号 無窓居室の検討 ・ 令126条の2.3 排煙設備自然排煙口の検討		
			H12建告第1436号 4ーニ4による (壁・天井：不燃下地 不燃仕上)	0.K.	(各階共通)	1/20SA	令116条の2 1項1号 令111条 1項1号 無窓居室の検討 ※ 1/20SB(自然換気検討)が0.K.の場合は検討を省略する		
		1/20SB = 1.54	(1.375×1.80×1/2) AW/7	1.24 N.G.		1/20SB	法28条 2項 居室の換気の検討		
			機械換気 M図による (1.375×1.80)	0.K.		1/30S	消防法上の無窓階の検討		
	1/20SA = 1.54		AW/7	2.48 0.K.					



面積区画D範囲
1F: (32.70×43.1245)+(20.71×5.0005)+(12.81×0.60)
= 1521.42㎡
2F: (33.41×1.887)+(1.759×34.753)+(1.759×34.753)
= 185.30㎡
合計 1706.72㎡
※ 令112条 第1項 第1号による

面積区画C範囲
1F: (12.81×8.70)+(7.90×9.30)+(7.295×14.15)+
(5.05×10.46)+(11.99×0.1505) = 342.76㎡
2F: (33.41×14.43) = 482.11㎡
合計 824.87㎡

面積区画2FA範囲
既存校舎棟: 1136.53㎡ (校舎棟防火区画面積による)
渡り廊下A: 30.02㎡ (面積図による)
合計 1166.55㎡

* 一 整礎位置を示す
▽ 一 消火器BOX位置を示す

[歩00.00] 一 直通階段に至る歩行距離を示す
[重00.00] 一 2直階段の重複歩行距離を示す

防火区画
【面積区画】
・LGS下地 両面 t-21mm強化PB 2重張
1時間耐火: 平成12年建設省告示
第1399号 第1-2-へ-(1)
※ 各階床スラブで水平区画
※ 上記については全て 小屋裏・天井裏まで施工
適合 平成12年建設省告示 第1412号, 1422号, 1376号
昭和48年建設省告示 第2565号
昭和49年建設省告示 第1579号
※ 配管等の区画貫通部処理については E図, M図 による

防火上主要な間仕切
・LGS下地 両面 t-12.5mmPB+t-9.5mmPB 2重張
準耐火: 平成12年建設省告示
第1358号 第1-1-ハ-(1)-(iii)
※ 上記については全て 小屋裏・天井裏まで施工
※ 配管等の区画貫通部処理については E図, M図 による

特定防火設備
常時閉鎖式, 常時開放式
適合 平成12年建設省告示 第1369号
昭和48年建設省告示 第2563号
昭和48年建設省告示 第2564号

令109条の2に適合する防火設備
常時閉鎖式
適合 平成12年建設省告示 第1360号

※ 縦方向のスパンドレルについても 900mm以上 確保する

※ 避難口になる所は 令125条の2 の要件を満たすものとする

室名	床面積	必要開口面積	計 算 式	有効開口面積	室名	床面積	必要開口面積	計 算 式	有効開口面積
格技室 (CH=4.135)	S= 346.93		(24.0425×14.43) → 2FL+2.067.5mm上方が有効(AW/13のH=1.307.5部分) 1/50S = 6.94 1/20SB = 17.35		2階 屋内運動場 渡り廊下A	S= 568.49	1/30S = 18.95	※既存校舎棟, 既存西棟は 各法規チェックによる (面積図による) AW/15×3, AW/16 [校舎棟建具] (1.075×1.80×1/2×3)+(1.075×1.275×1/2) = 3.59㎡ AW/15×3, AW/16 (1.20×0.75×4)+(1.66×1.70×1/2)+ (1.66×1.9975×1/2×2)+(1.66×1.4475×1/2×2)+ (1.66×1.7225×1/2×4) = 16.45㎡ AW/122×4, AW/211, AW/216, AW/217	
部室1 (CH=2.400)	S= 12.78	1/50S = 0.26 1/20SB = 0.64	(2.555×5.00) (0.80-0.225)×1.80×1/2 (1.075×1.80×1/2)	0.52 0.K. 0.97 0.K.	一 凡例一 (各階共通)	1/50S 1/20SA	令116条の2 1項2号 無窓居室の検討 令116条の2 1項1号 令111条 1項1号 無窓居室の検討	令126条の2.3 排煙設備自然排煙口の検討 ※ 1/20SB (自然換気検討) が 0.K. の場合は検討を省略する 法28条 2項 居室の換気の検討 消防法上の無窓階の検討	20.04 0.K.
部室2 (CH=2.400)	S= 12.78	1/50S = 0.26 1/20SB = 0.64	(2.555×5.00) (0.80-0.225)×1.80×1/2 (1.075×1.80×1/2)	0.52 0.K. 0.97 0.K.		1/50S 1/30S			

【バリアフリー法】
建築物用途: 中学校 一 特別特定建築物
床面積: 6576.71㎡ ≥ 2000㎡ 新築 一 建築物移動等円滑化基準への適合義務

【出入口】
・昇降口出入口(1ヶ所): 有効W=800mm ≥ 800mm 片引戸 段差なし 0.K.
・不特定利用出入口: 開口W=800mm ≥ 800mm 0.K.

【廊下】
・仕上: 磁器質タイル, t-2mmビニル床シート 粗面 0.K.
・敷地内通路から案内設備(インターホン)までの誘導用床材及び注意喚起用床材敷設
職員による案内, 誘導を行うため, 階段を除く建物内の床材敷設なし 0.K.
・不特定利用最狭部幅員: 有効W=2,029mm ≥ 1,200mm 0.K.
・車椅子転回場所: 不特定利用面下最狭部の幅員 有効W=2,029mm
≥ 有効W=1,800mm → すれ違いが可能な有効W=1,800mm 0.K.
・校舎棟3F X8通り廊下の戸: 3本引込戸(有効W=1,900mm) 段差なし 0.K.

【傾斜路】
・仕上: 磁器質タイル 粗面 0.K.
・H=100mm, L=1,200mm (勾配1/12) 縁端部立上り対象外 0.K.

【階段】
・手摺設置 0.K. 形状: 回り階段なし 0.K.
・仕上: 集成材, フローリング, t-2mmビニル床シート 粗面 0.K.
・蹴込板設置(段鼻の突き出しなし) 0.K.
・上端部(踊り場共)注意喚起用床材敷設 0.K.

【昇降機】
※詳細な寸法及び仕様に関しては E.V詳細図 参照 基準に適合 0.K.
・地上3階建て(地下なし) 1階(地上階)及び2,3階に停止 0.K.
・乗降ロビー最狭部(2F幅): 有効W=2,440mm ≥ 1,500mm 高低差なし 0.K.

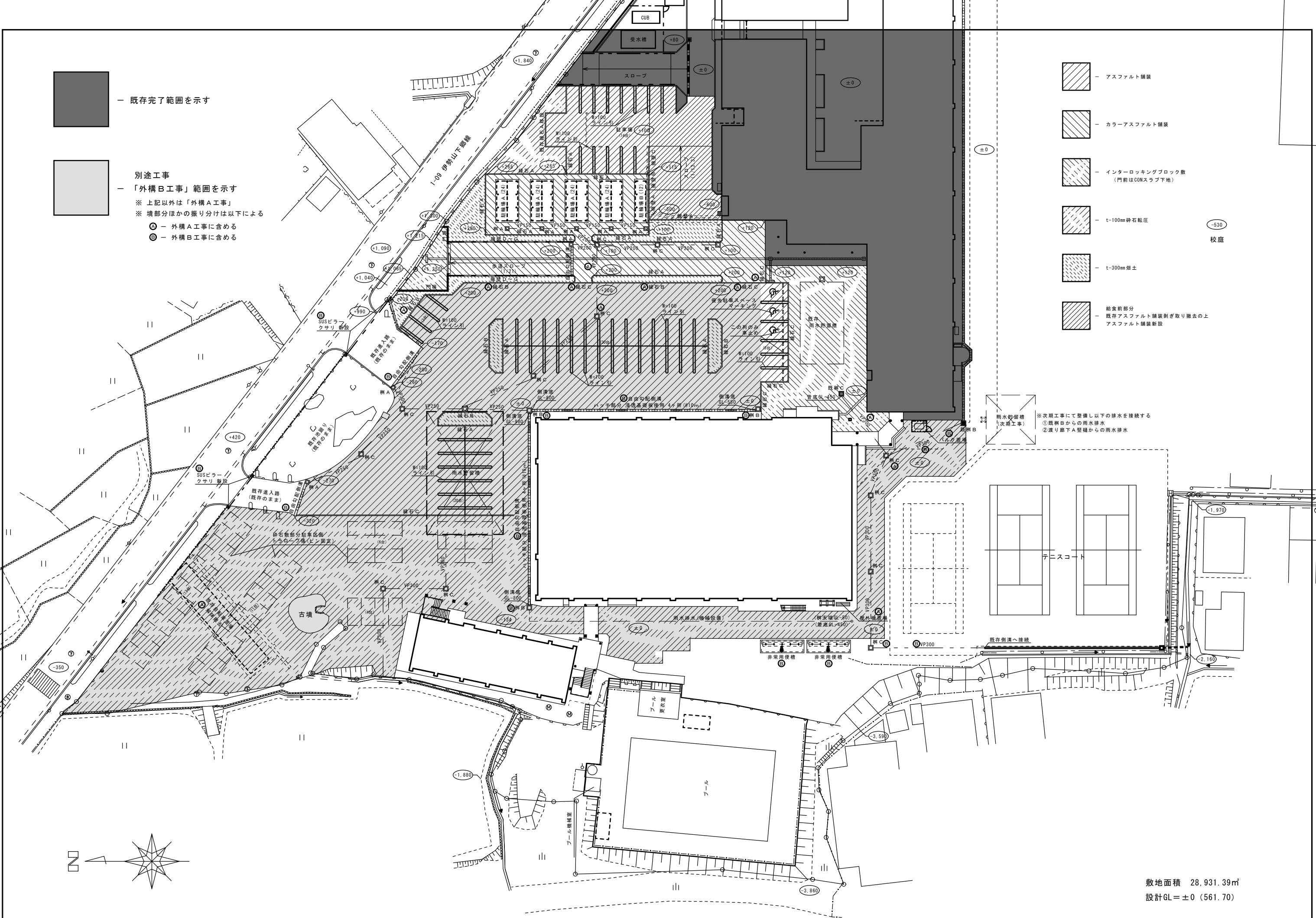
【便所】
・1F多目的トイレ
・車椅子使用者が円滑に利用できる十分な空間 0.K.
・床板便座, 手摺の適切配置, オストメイト対応 0.K.
・ベビーチェア, フィットングボード設置 0.K.
・便器水洗: 押しボタン式 手洗い器: 自動水栓 0.K.
・男子トイレ
・壁掛式男性用小便器 設置 0.K.

【駐車場】
・昇降口に近い位置に設置 3台 ≥ 1台 0.K.
・車椅子使用者用区画: W=3,500mm ≥ 3,500mm 0.K.

【敷地内通路】
・仕上: カラーアスファルト舗装, インターロッキングブロック敷 粗面 0.K.
・段なし 0.K.
・車椅子転回場所: 通路最狭部の幅員 1.885mm
≥ 有効W=1,800mm → すれ違いが可能な有効W=1,800mm 0.K.
・傾斜路: 高低差 1,050mm 傾斜路長さ 22,050mm 勾配 1/21 ≥ 1/15 0.K.
幅員 6,000mm ≥ 1,500mm 0.K.
手摺・踊り場設置 勾配 1/21 ≥ 1/20 不要 0.K.
縁端部 H=50mm以上の立上り 0.K.

【識別】
・令第12条第3号, 令第16条第2号-ロの識別を行う

【標識】
・昇降機, 便所, 駐車場は 令第19条による標識(日本工業規格JIS2810)設置とする



— 既存完了範囲を示す

別途工事

— 「外構B工事」範囲を示す

※ 上記以外は「外構A工事」

※ 境部分ほかの振り分けは以下による

Ⓐ — 外構A工事に含める

Ⓑ — 外構B工事に含める

— アスファルト舗装

— カラーアスファルト舗装

— インターロッキングブロック敷
(門前はCONスラブ下地)

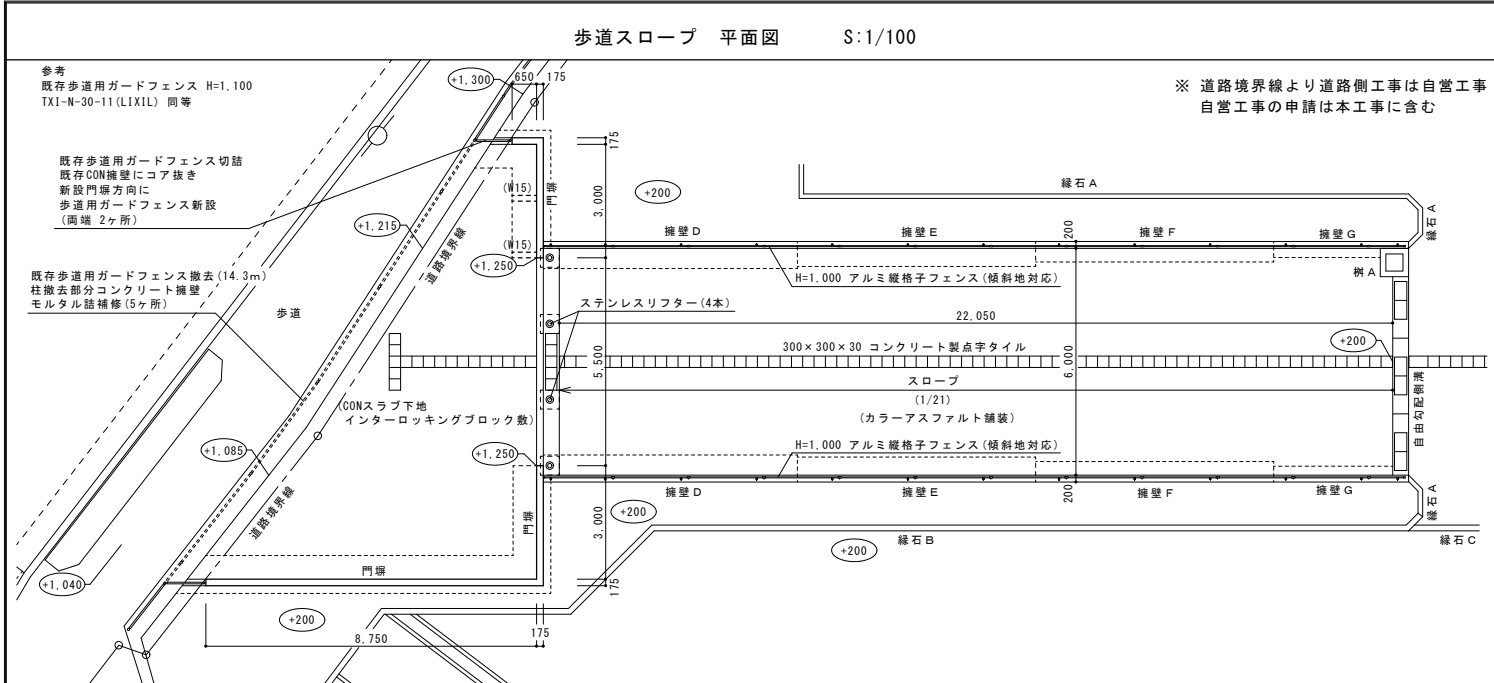
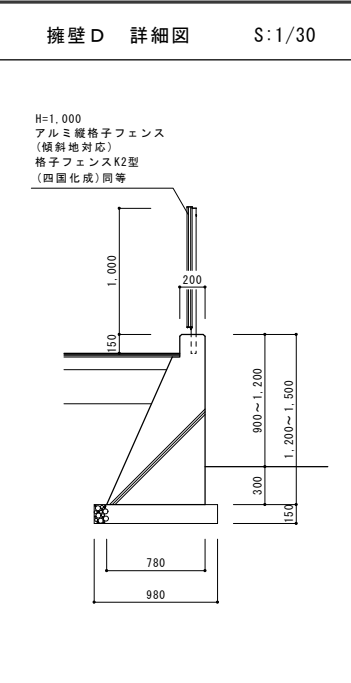
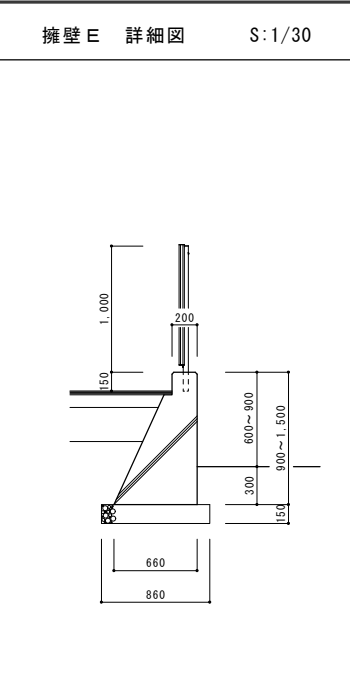
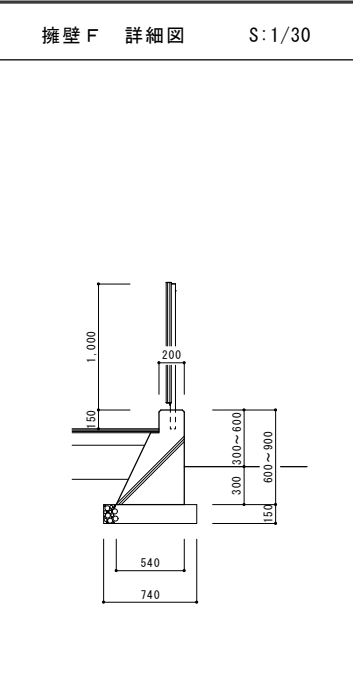
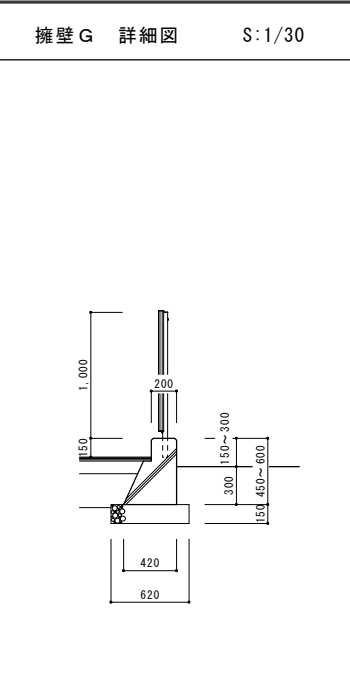
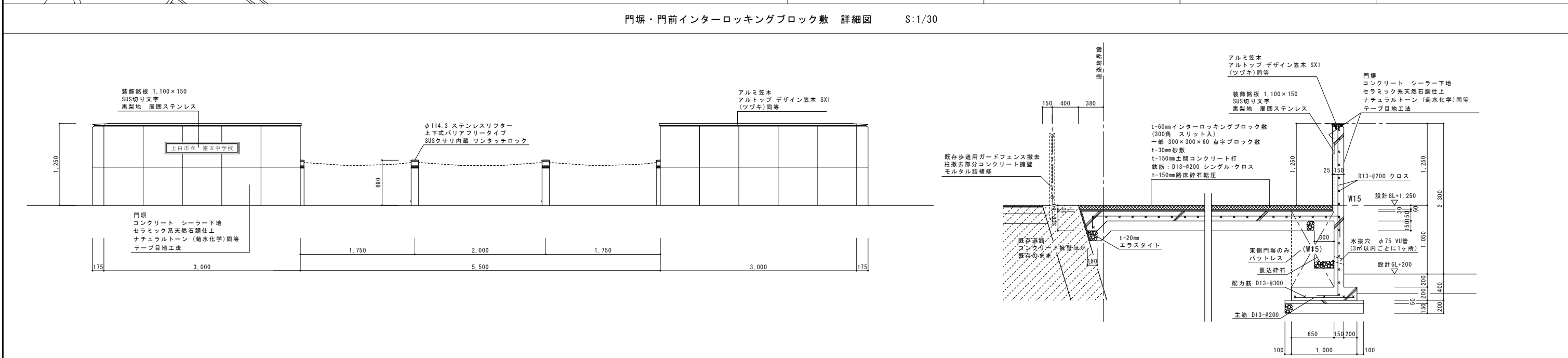
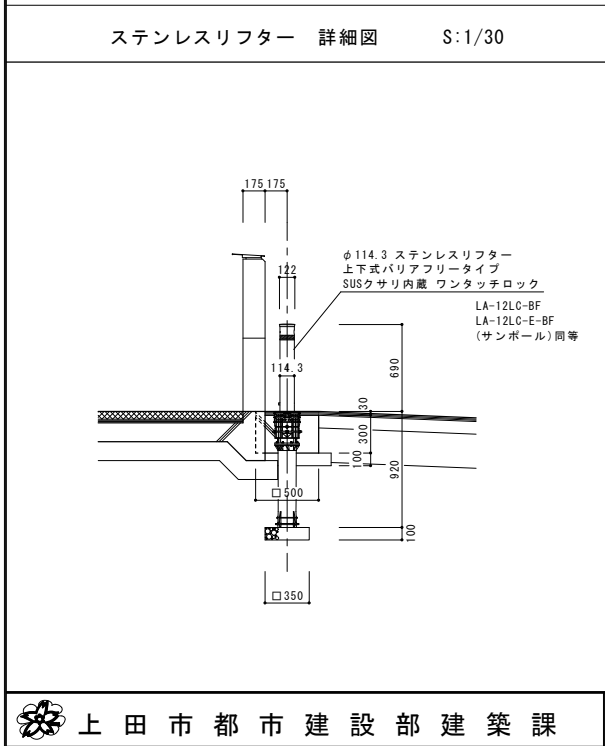
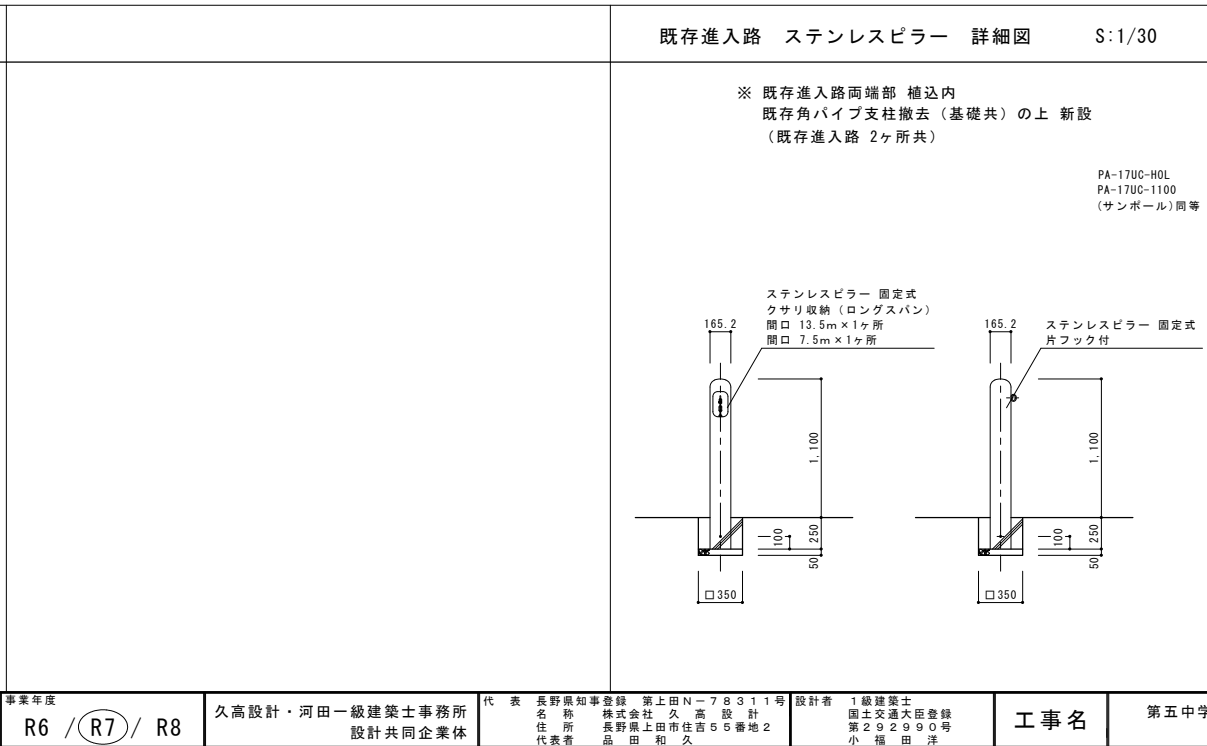
— t-100mm 砕石転圧

— t-300mm 畑土

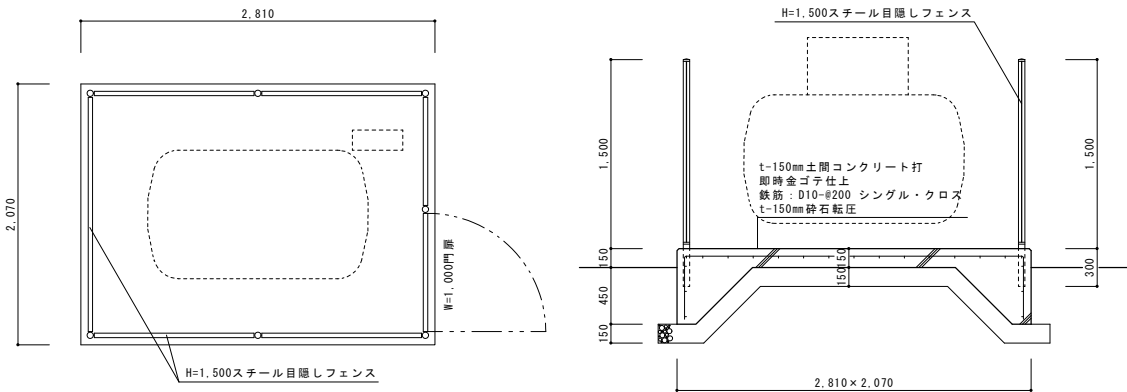
給食前部分
— 既存アスファルト舗装剥ぎ取り撤去の上
アスファルト舗装新設

※次期工事にて整備し以下の排水を接続する
① 既樹Bからの雨水排水
② 渡り廊下A壁根からの雨水排水

敷地面積 28,931.39㎡
設計GL=±0 (561.70)

歩道スロープ 平面図 S:1/100 ※ 道路境界線より道路側工事は自営工事 自営工事の申請は本工事に含む 		擁壁 D 詳細図 S:1/30 		擁壁 E 詳細図 S:1/30 		擁壁 F 詳細図 S:1/30 		擁壁 G 詳細図 S:1/30 					
門塀・門前インターロッキングブロック敷 詳細図 S:1/30 													
ステンレスリフター 詳細図 S:1/30 		既存進入路 ステンレスピラー 詳細図 S:1/30 											
上田市都市建設部建築課		事業年度 R6 / (R7) / R8	久高設計・河田一級建築士事務所 設計共同企業体	代 表 名 称 住 所 代 表 者	長野県知事登録 第 上 田 N - 7 8 3 1 1 号 株式会社 久 高 設 計 長野県上田市住吉 5 5 番地 2 品 田 和 久	設 計 者 1 級 建 築 士 国 土 交 通 大 臣 登 録 第 2 9 2 9 9 0 号 小 堀 田 洋	工 事 名	第五中学校改築事業 屋内運動場ほか建設 建築主体工事	図 名	外構詳細図(2)	縮尺 A1 1/100 他	A3 1/200 他	No. A-68

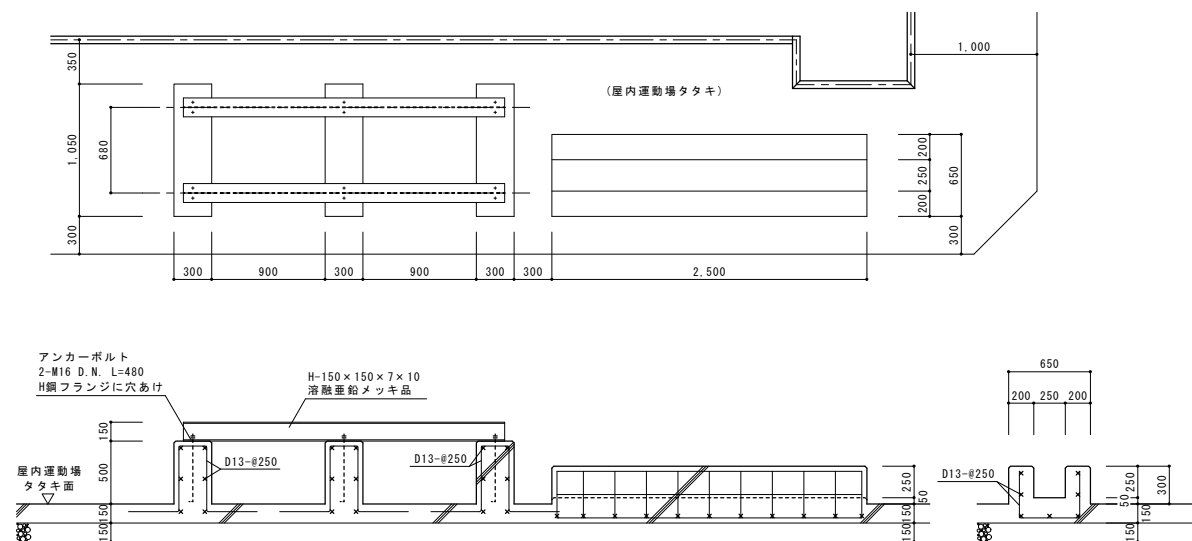
バルク置場 詳細図 S:1/30



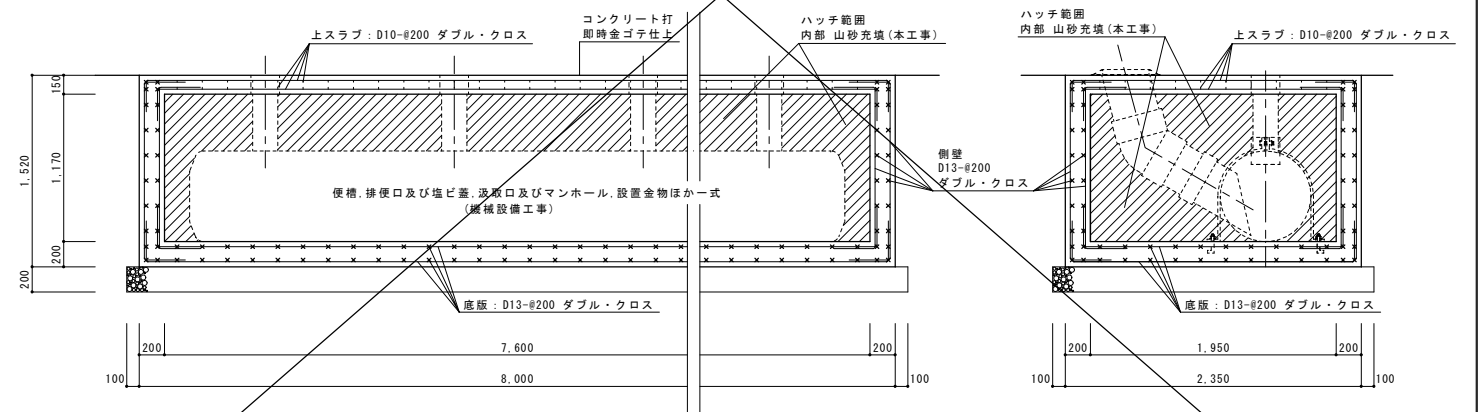
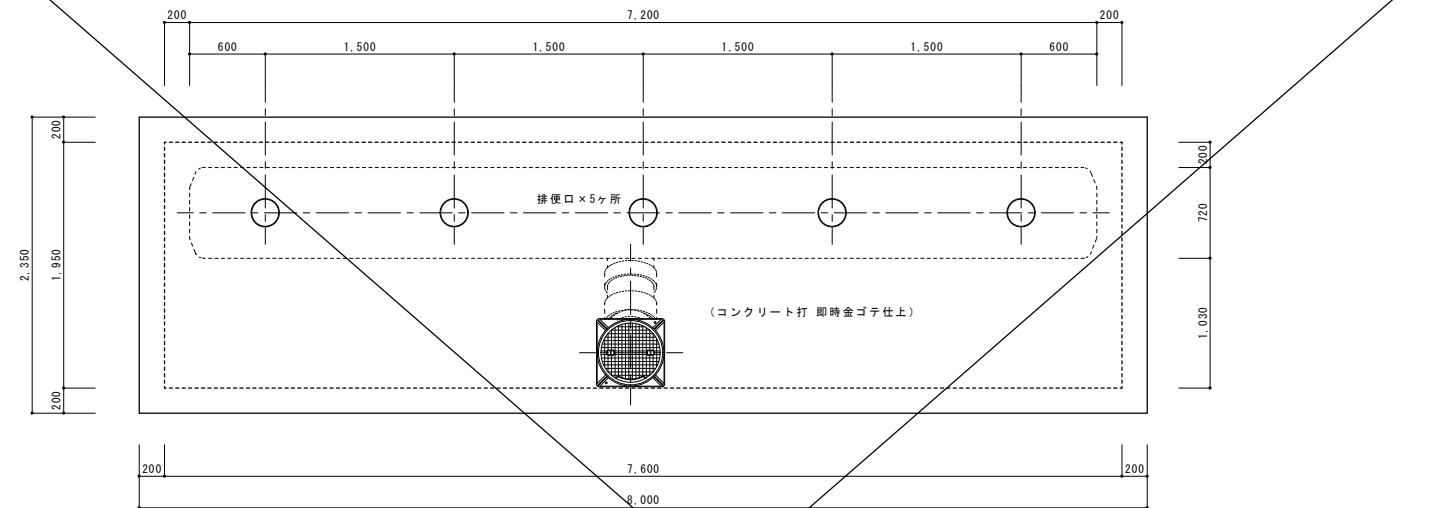
[平面图]

[断面図]

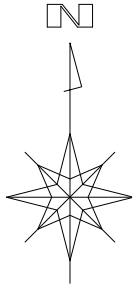
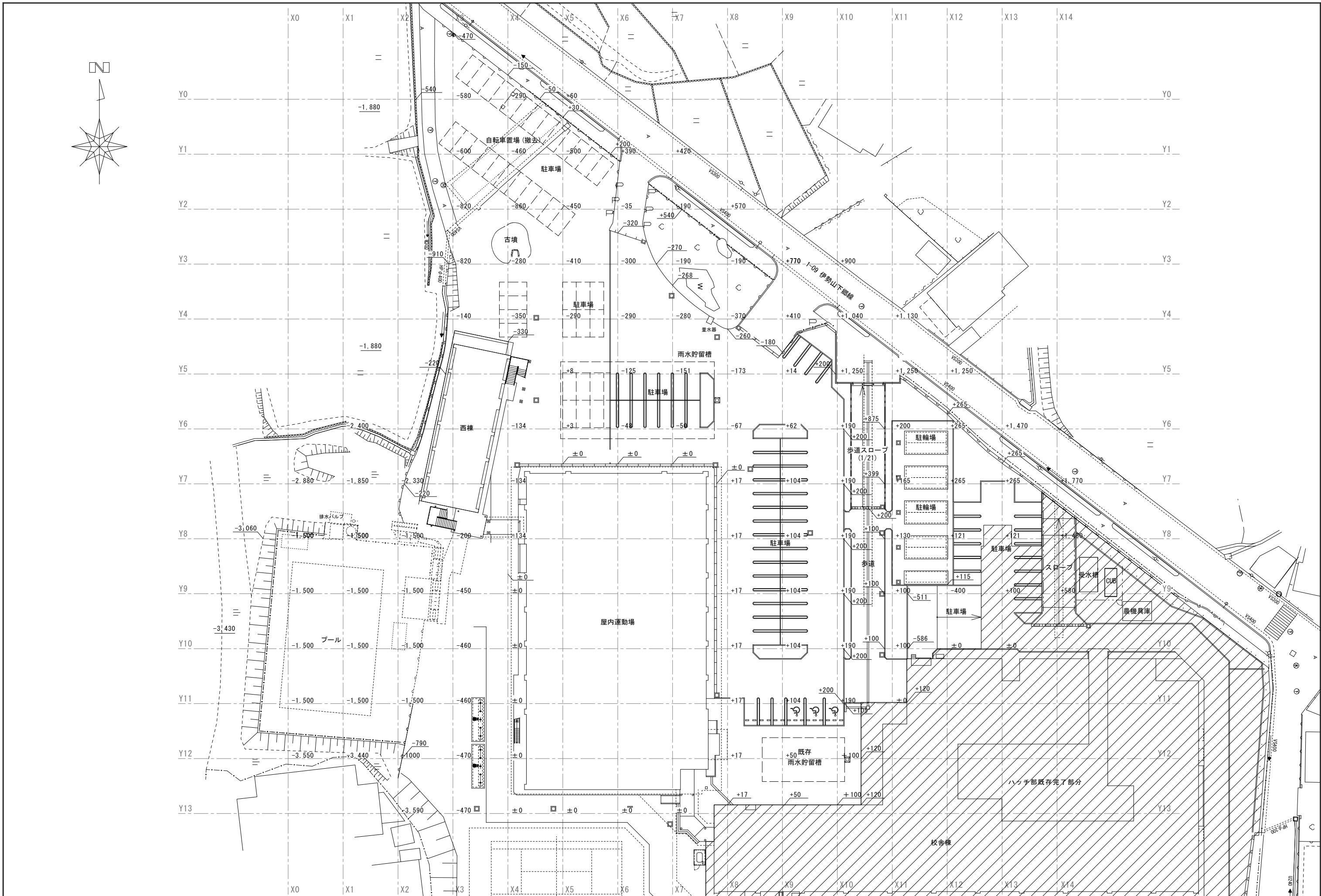
屋外機基礎 詳細図 S:1/30

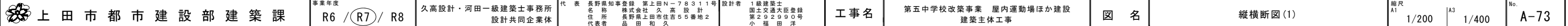


非常用便槽 詳細図 S:1/30 別途工事



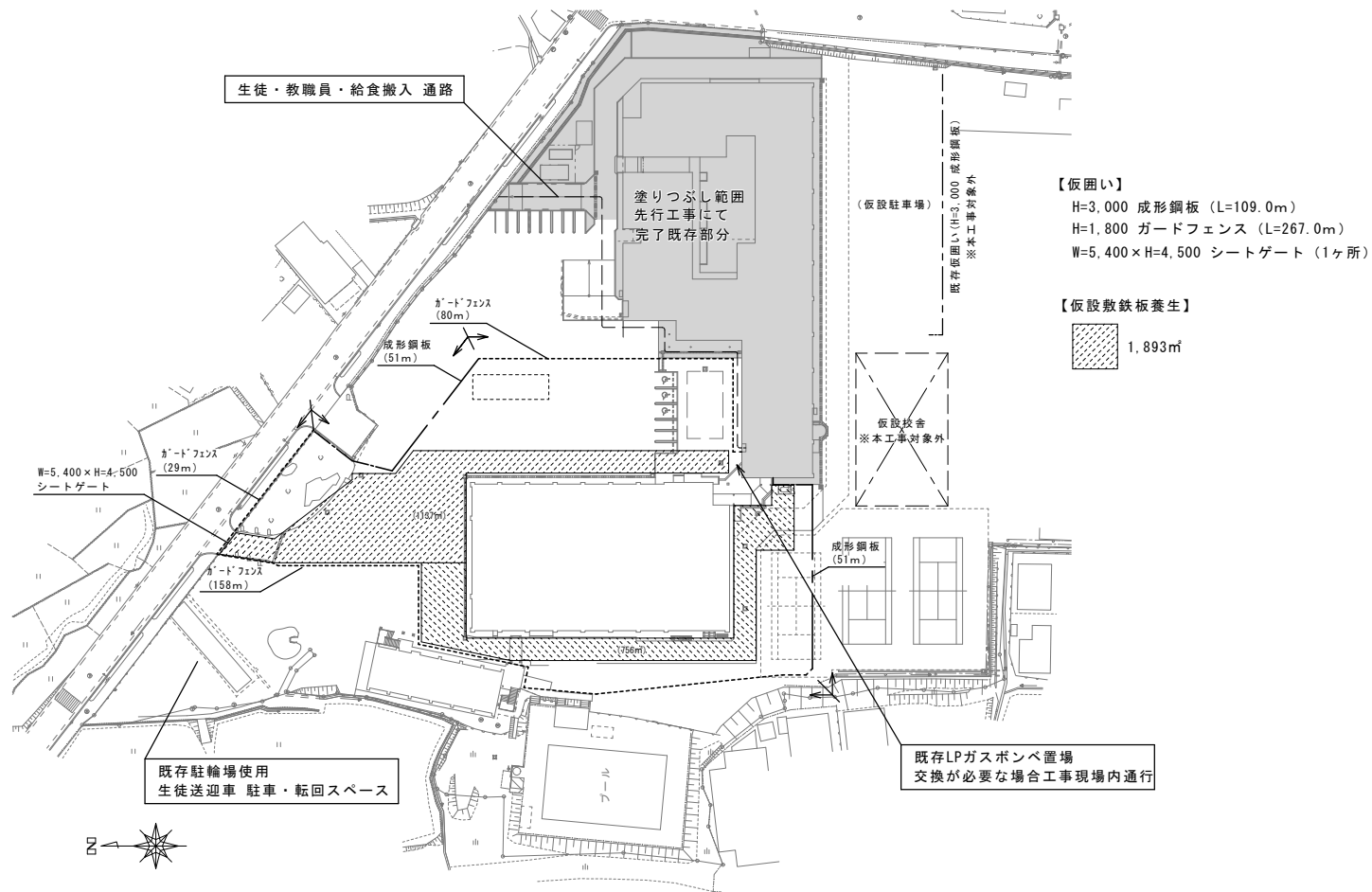




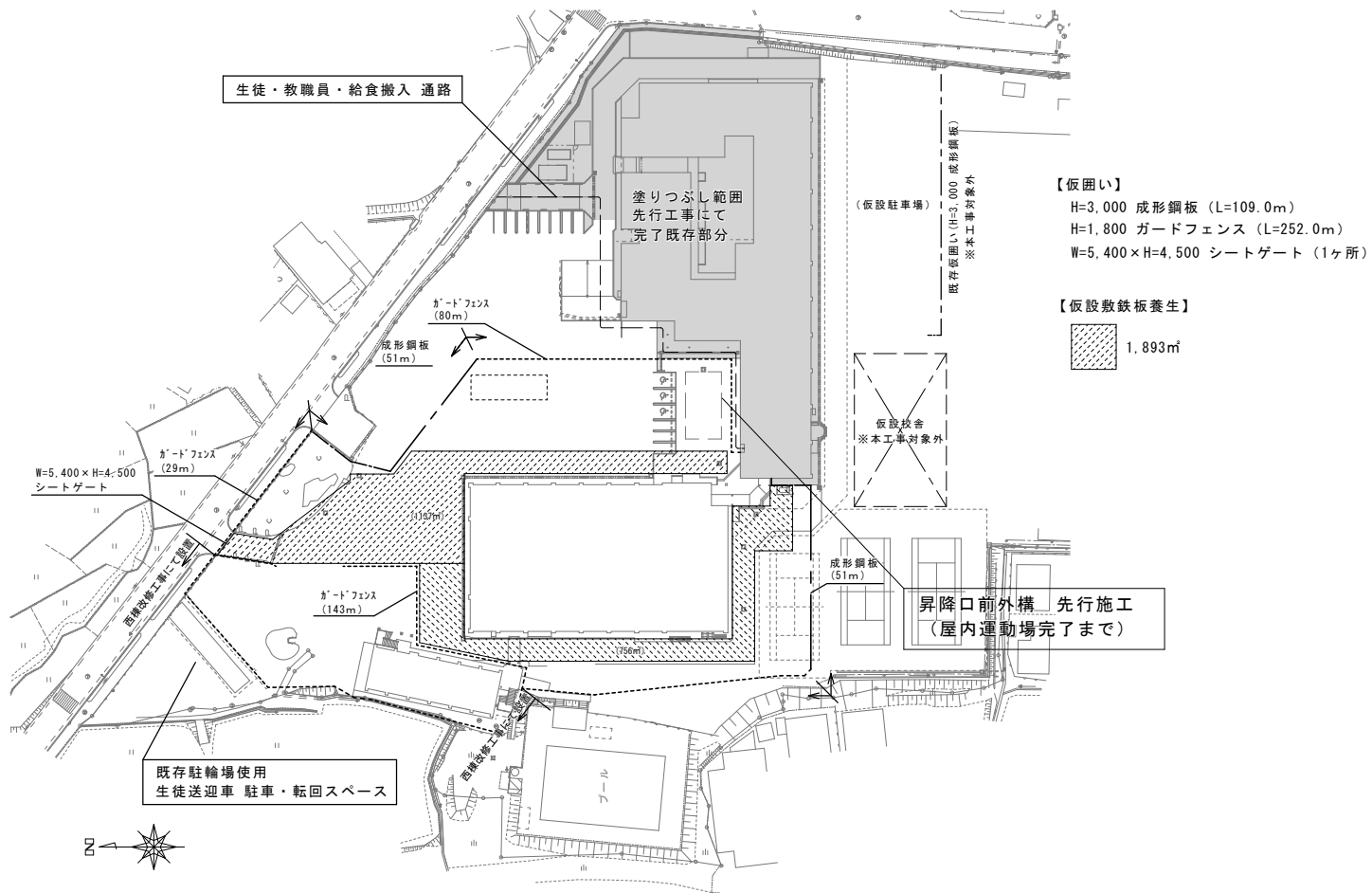




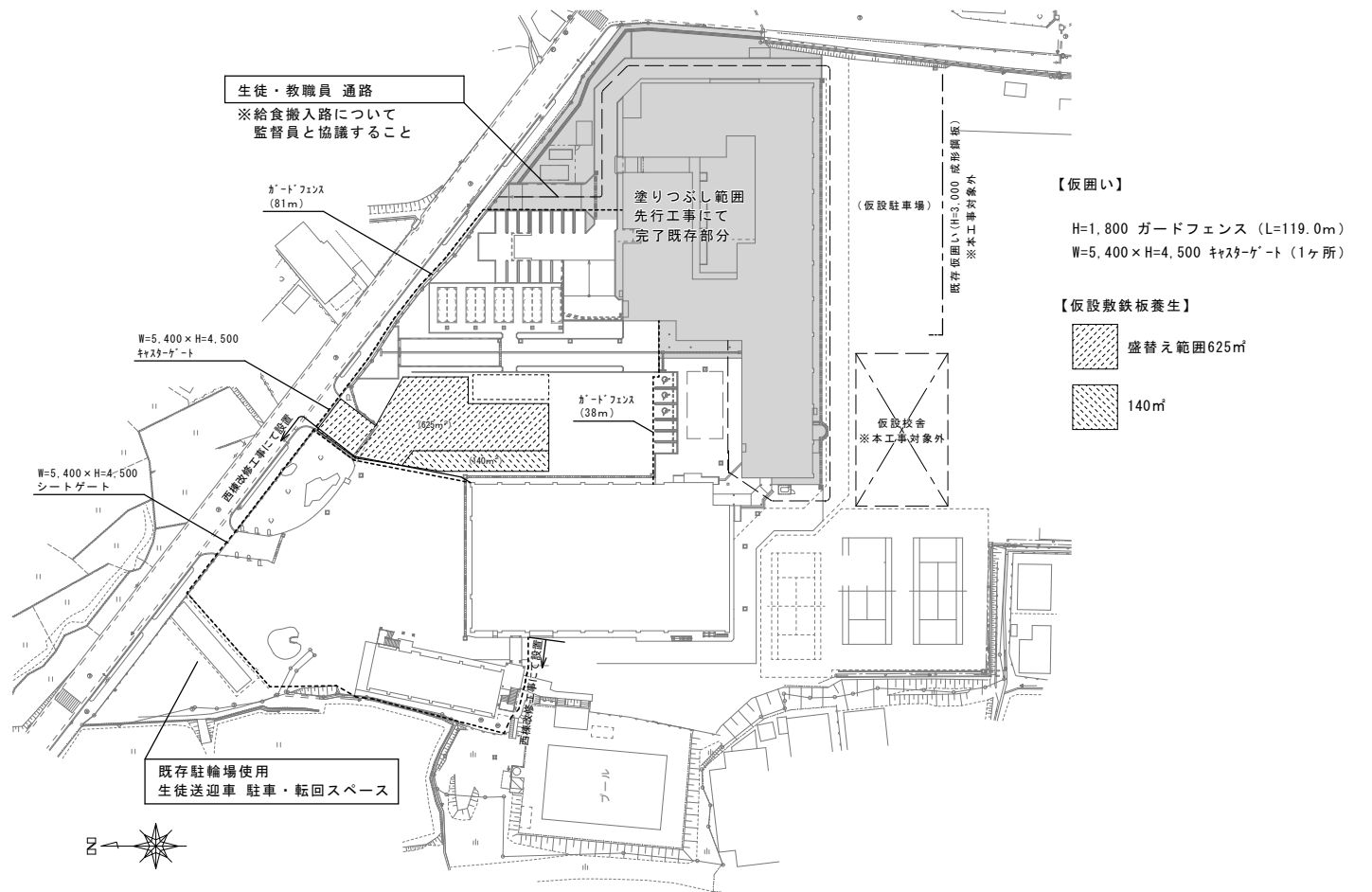
Step【1】屋内運動場建設



Step【2】西棟改修工事開始



Step【3】屋内運動場建設工事の外構施工開始



鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)

1. 一般事項

- (1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
- (2) 記号
- d・・・異形棒鋼の呼び名に用いた数値、丸鋼では径 D・・・部材の成 R・・・直径
- ℓ・・・間隔 r・・・半径 ℄・・・中心線 L・・・部材間の内法距離 h₀・・・部材間の内法高さ
- ST・・・あばら筋 HOOP・・・帯筋 S.HOOP・・・補強帯筋 φ・・・直径又は丸鋼

2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°	折まげ角度90°はスラブ筋、壁筋の末端部またはスラブと同時に打ち込む形および形状のキヤップタイにのみ用いる。
図				
鉄筋の余長	4d以上	6d以上(※4d以上)	8d以上(※4d以上)	
折曲げ内法寸法Rは、SR235は3d以上、SD295A、SD295B、SD345のD16以下は、3d以上、D19以上は4d以上				
※片持スラブ端筋の先端				

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋の折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内径の寸法(R)
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SR235、SD295A SD295B、SD345	16φ以下 D16	3d以上
			19φ以上 D19	4d以上
	上記以外の鉄筋	SR235、SD295A SD295B、SD345	16φ以下 D16	4d以上
			19φ～25φ D19～D25	6d以上
			28φ～32φ D29～D38	8d以上

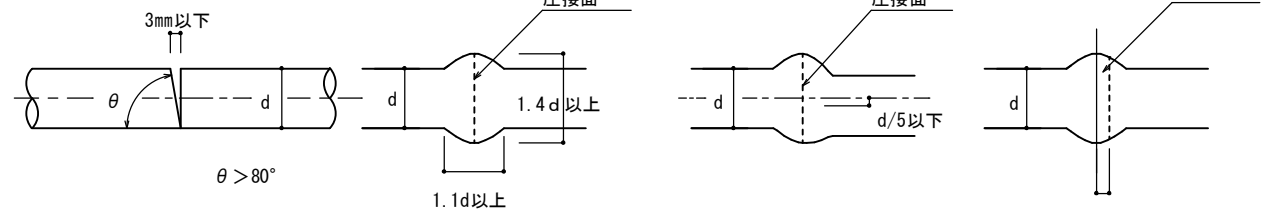
(3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲(N/mm ²)	定着の長さ		特別の定着及び重ね継手の長さ(L1)
		一般(L2)	下ば筋(L3) 小梁 スラブ	
SR235	21～36	35d フックつき	25d フックつき 15cmフックつき	35d フックつき
	18以下	45d フックつき		45d フックつき
SD295A SD295B SD345	21～36	35d または 25d フックつき	25d または 10d かつ 150mm以上	40d または 30d フックつき
	18以下	40d または 30d フックつき		45d または 35d フックつき

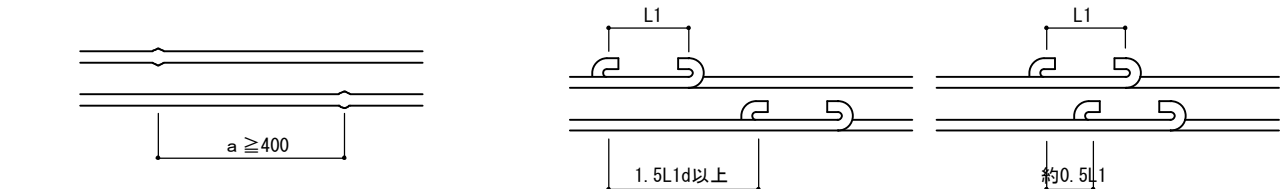
継手

1. 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
4. D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
5. 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない

ガス圧接形状



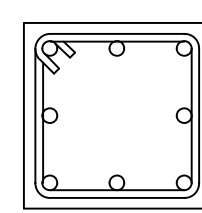
圧接継手



(4) かぶり厚さ

(単位: mm)

ひびわれ誘発目地部など鉄筋のかぶり厚さが部分的に減少する箇所に付いても最小かぶり厚さを確保する。

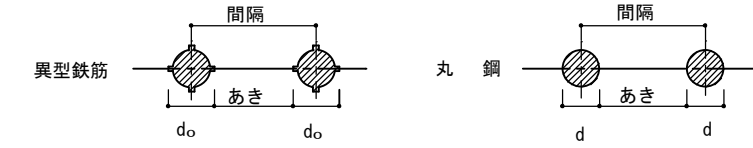


部 位	設計かぶり厚さ(mm)	最小かぶり厚さ(mm)
土に接しない部分	屋根スラブ	30
	床スラブ	20
	非耐力壁	40 ⁽¹⁾
	はり	30
土に接する部分	柱	40
	耐力壁	50 ⁽²⁾
	換気壁	50 ⁽³⁾
	柱・はり・スラブ・耐力壁	50
基礎・擁壁		70
		60 ⁽⁴⁾

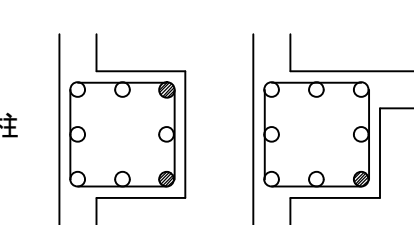
- (注) (1) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事管理者の承認を受けて30mmとすることができる。
- (2) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事管理者の承認を受けて40mmとすることができる。
- (3) コンクリートの品質及び施工法に応じ、工事管理者の承認を受けて40mmとすることができる。
- (4) 軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。

(5) 鉄筋のあき

丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上
粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上



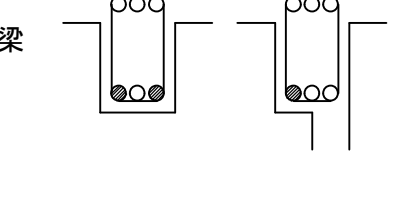
図の●印の鉄筋の重ね継手の末端にはフックが必要



(6) 鉄筋のフック

(a～fに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。)

- a. 丸鋼 b. あばら筋、帯筋 c. 煙突の鉄筋
- d. 柱、梁(基礎梁は除く)の出すみ部分の鉄筋(右図参照)
- e. 単純梁の下端筋
- f. その他、本配筋標準に記載する箇所



3. 杭

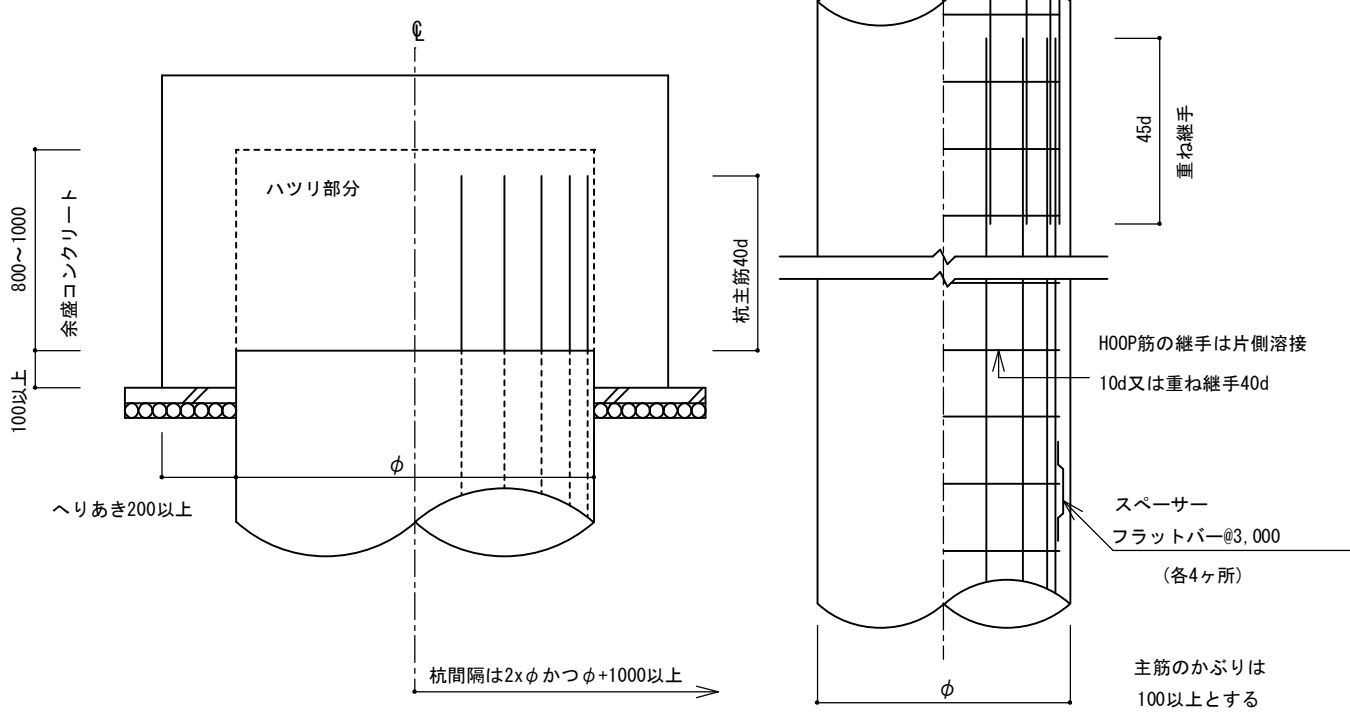
(地震力等の水平力を考慮する必要がある場合は、別途検討すること。)

(1) PRC杭、又はPHC杭の全てに補強を行う

所定の場所止まった場合		所定より低く止まった場合	
杭 径	300φ、350φ	400φ	450φ 500φ 600φ
補 強 筋	6-D13	8-D13	10-D13 8-D16 10-D16
HOOP			D10-ℓ150

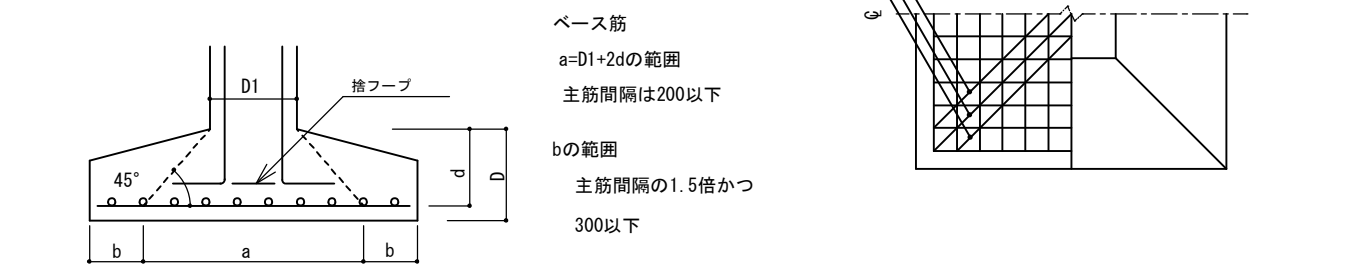
(2) 現場打ちコンクリート杭

杭頭処理

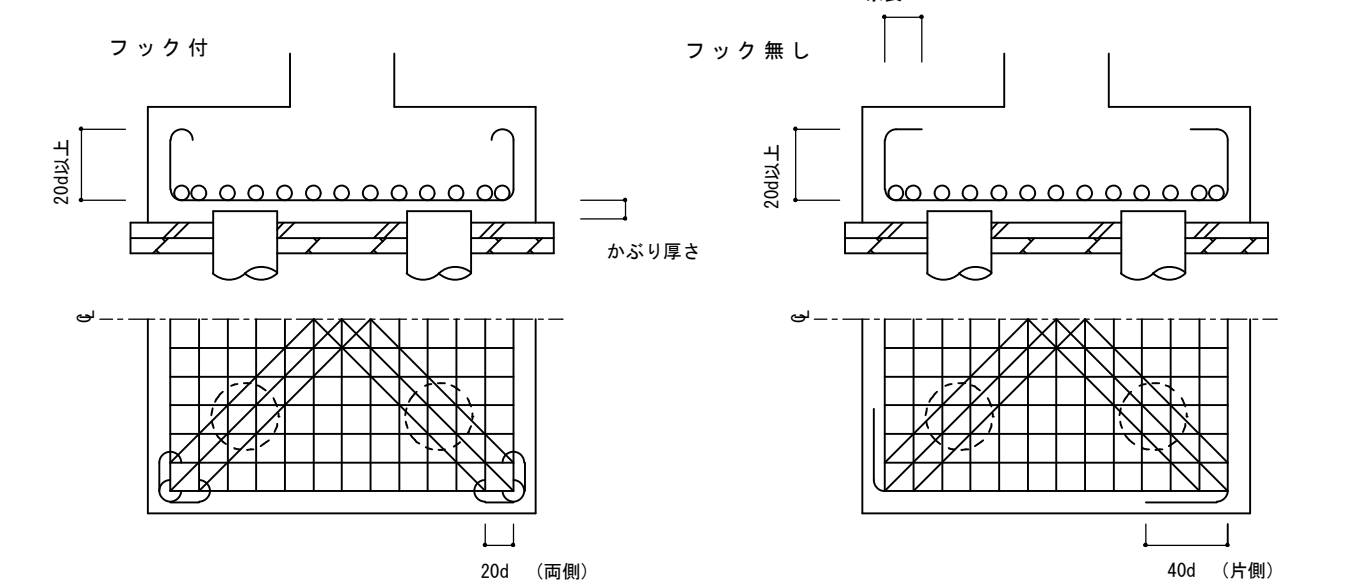


4. 基礎

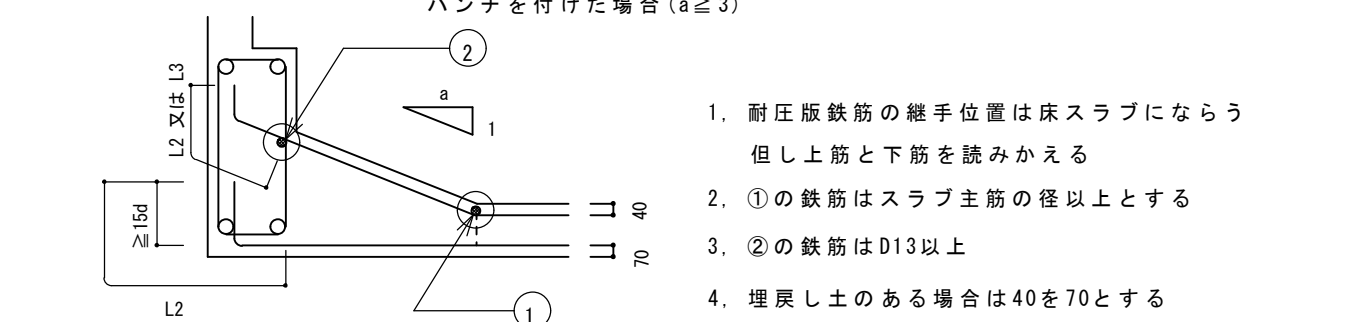
(1) 直接基礎



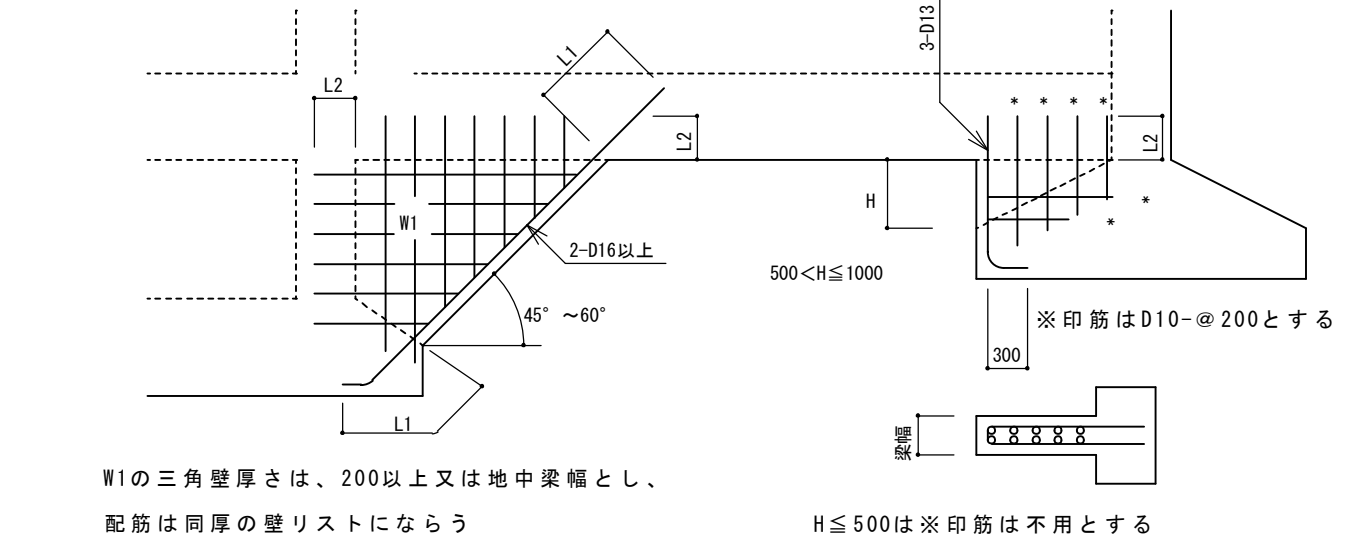
(2) 杭基礎



(3) ペタ基礎

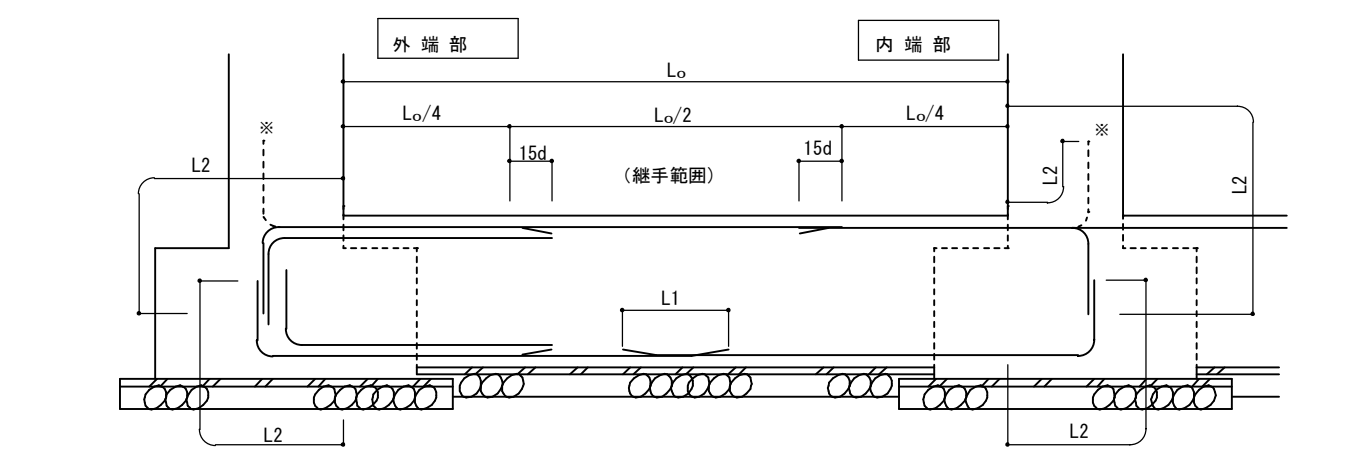


(4) 基礎接合部の補強

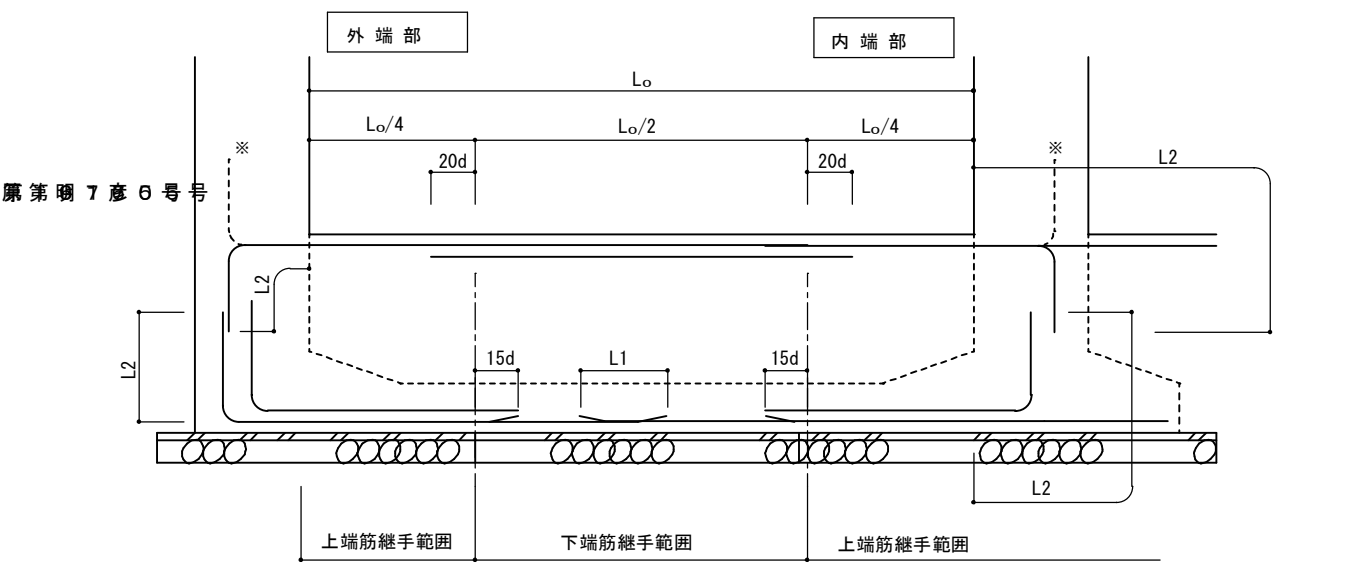


5. 地中梁

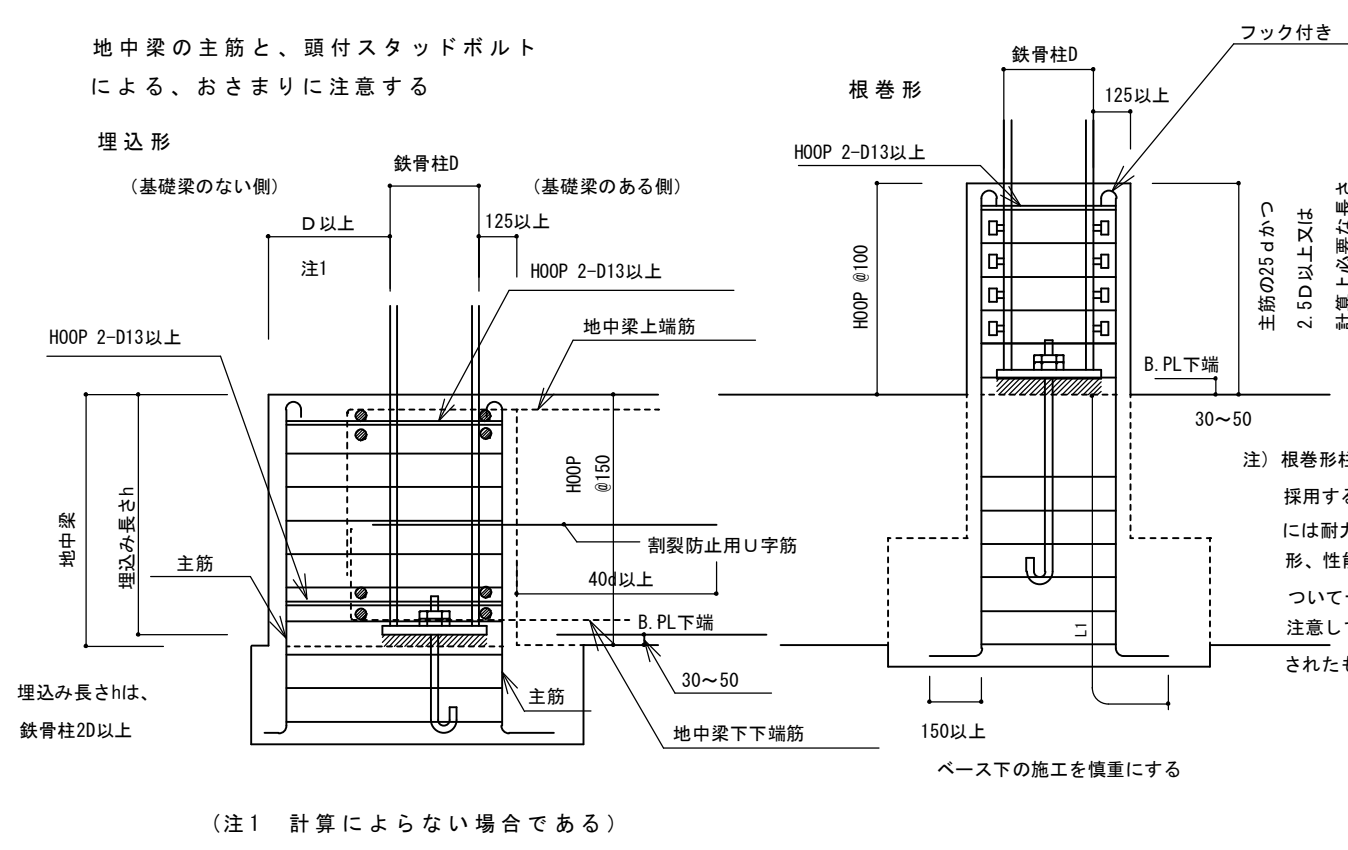
(1) 独立基礎、杭基礎の場合



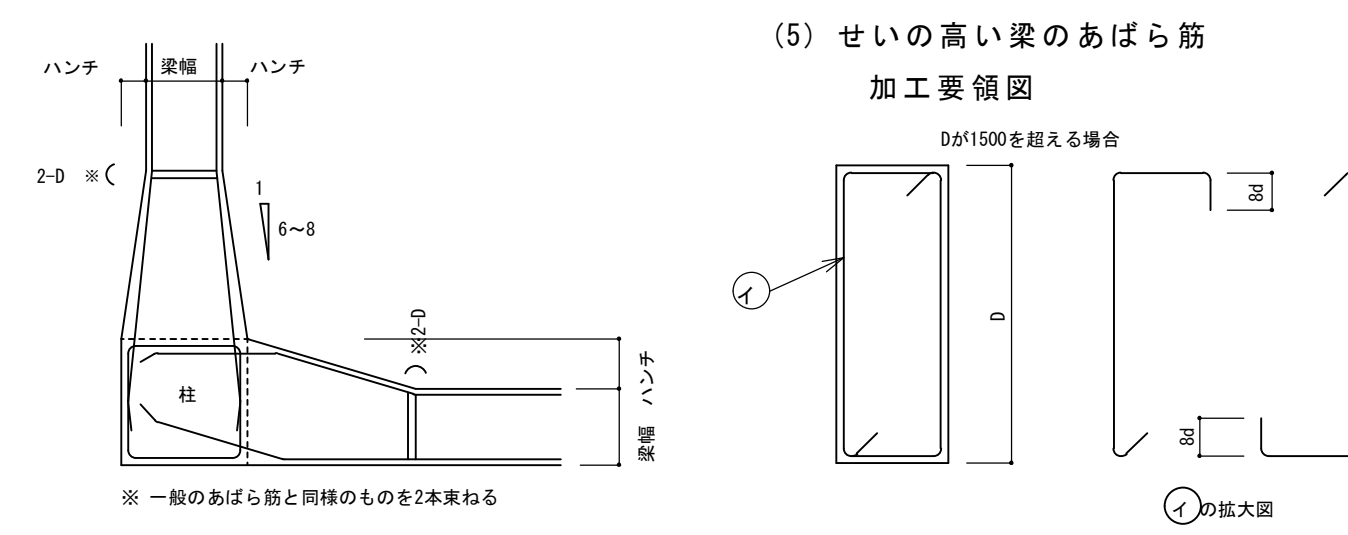
(2) 布基礎、ぺた基礎の場合



(3) 小規模鉄骨構造の柱脚固定の配筋

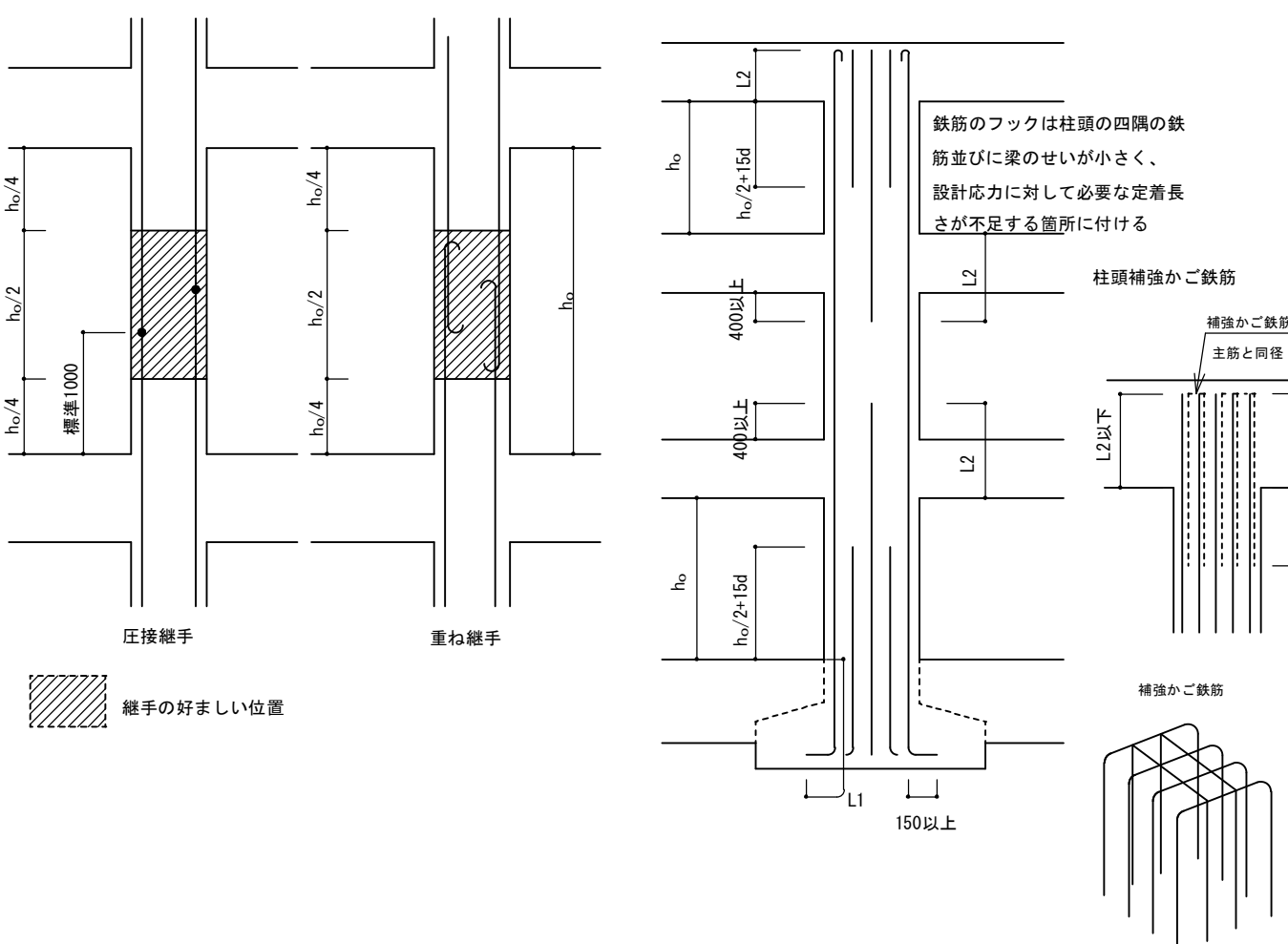


(4) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領

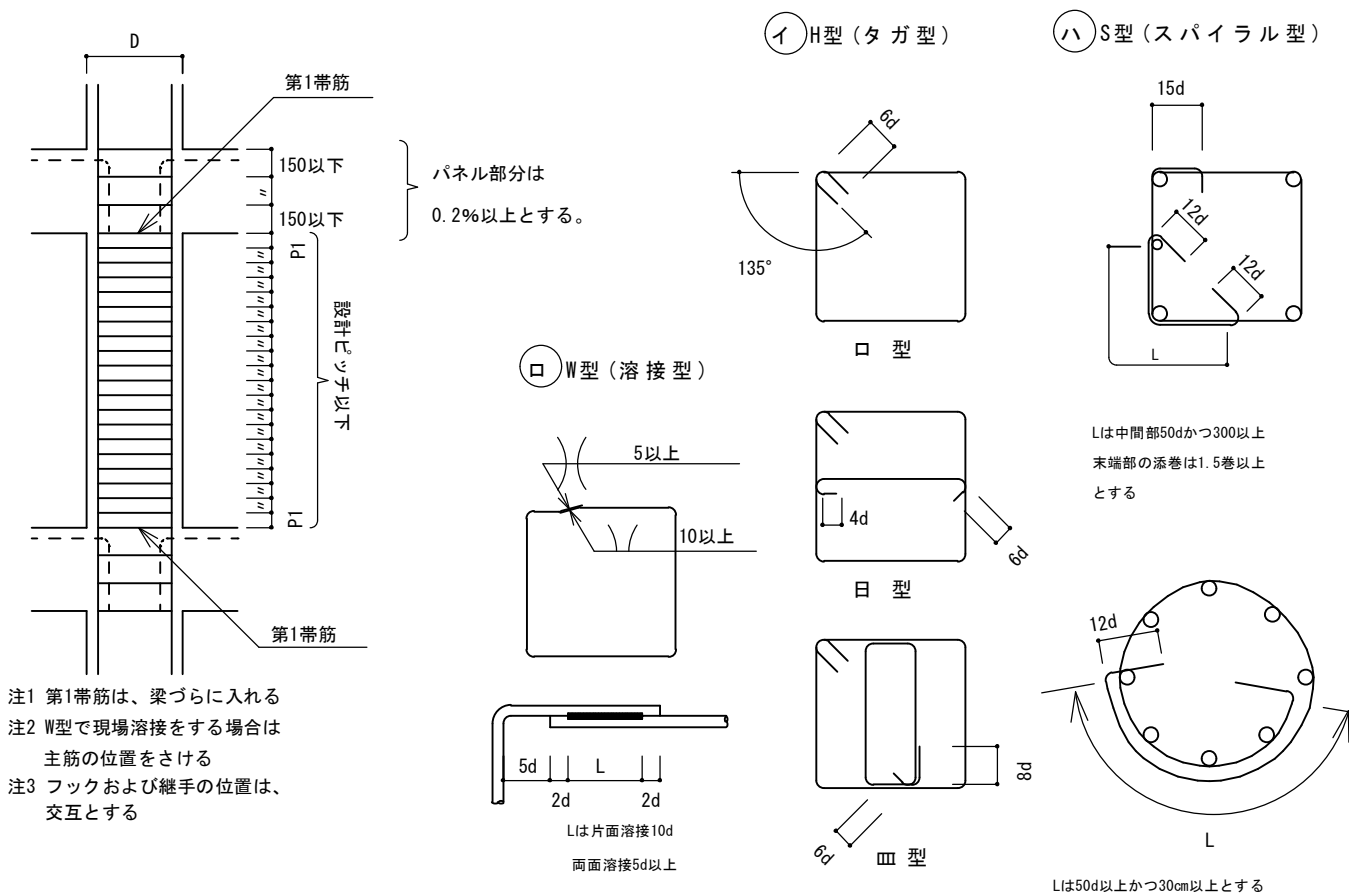


6. 柱

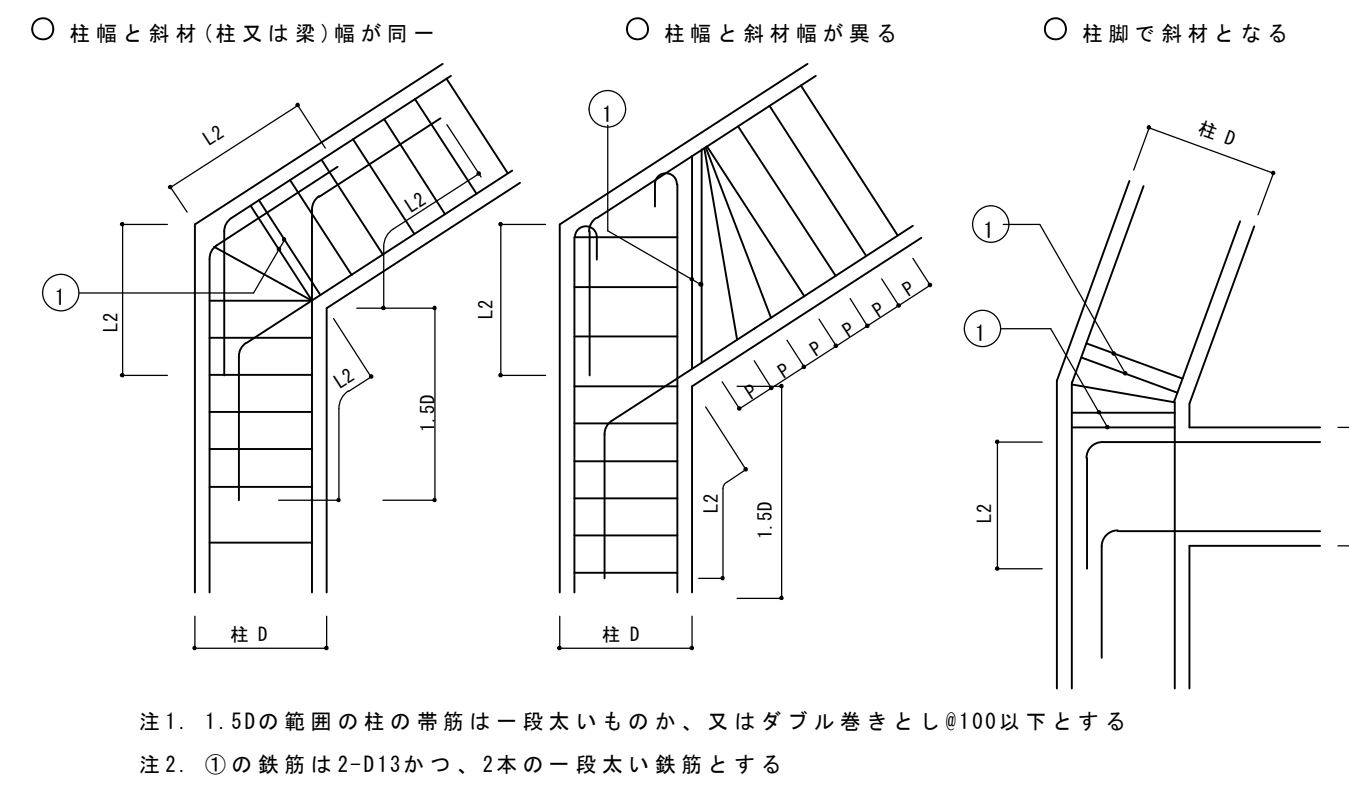
(1) 柱主筋の継手



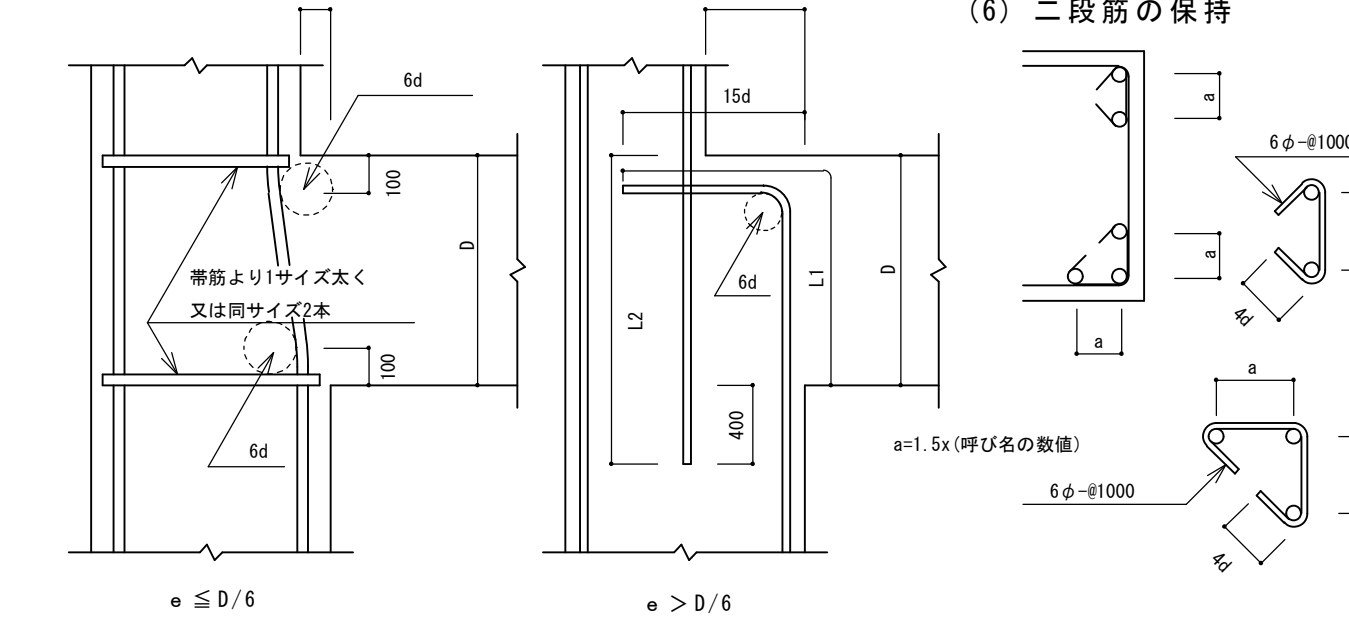
(3) 帯筋



(4) 斜め柱・斜め梁



(5) 絞り

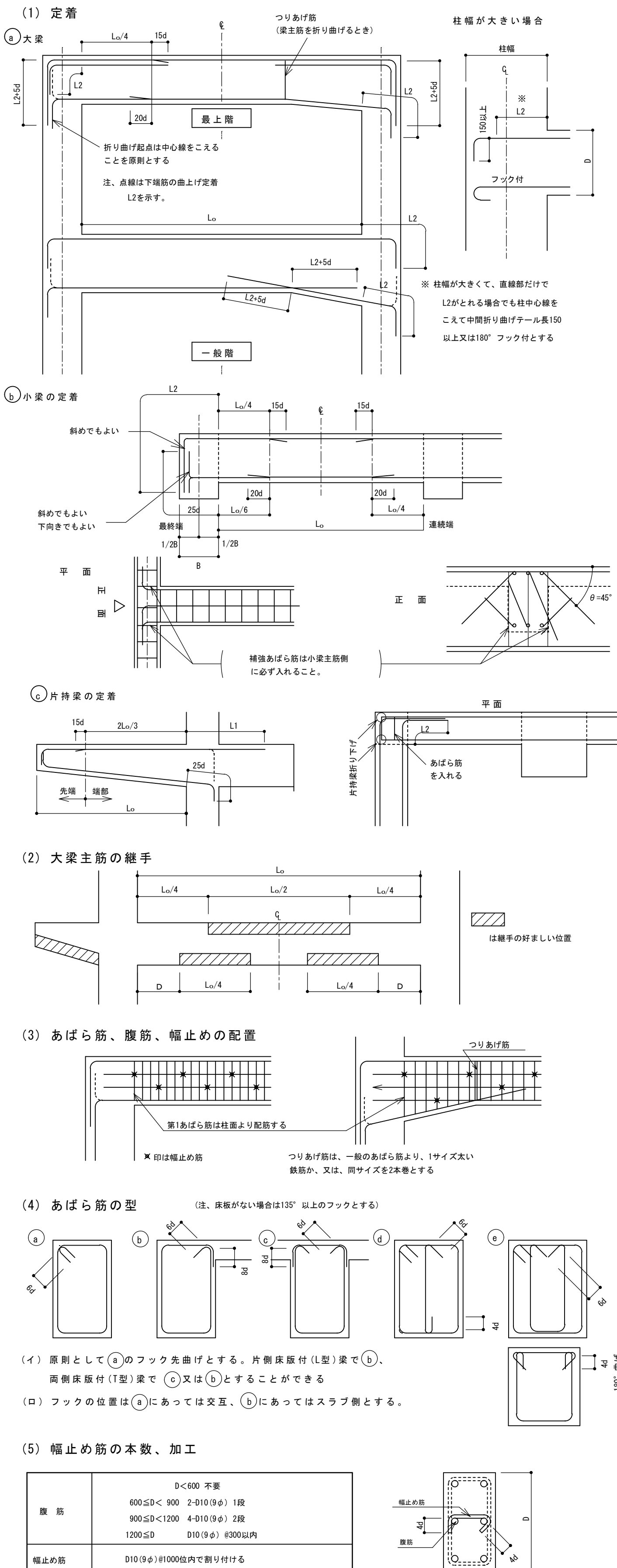


1級建築士大臣登録 第197755号
構造設計1級建築士 第6160号
上 原 康

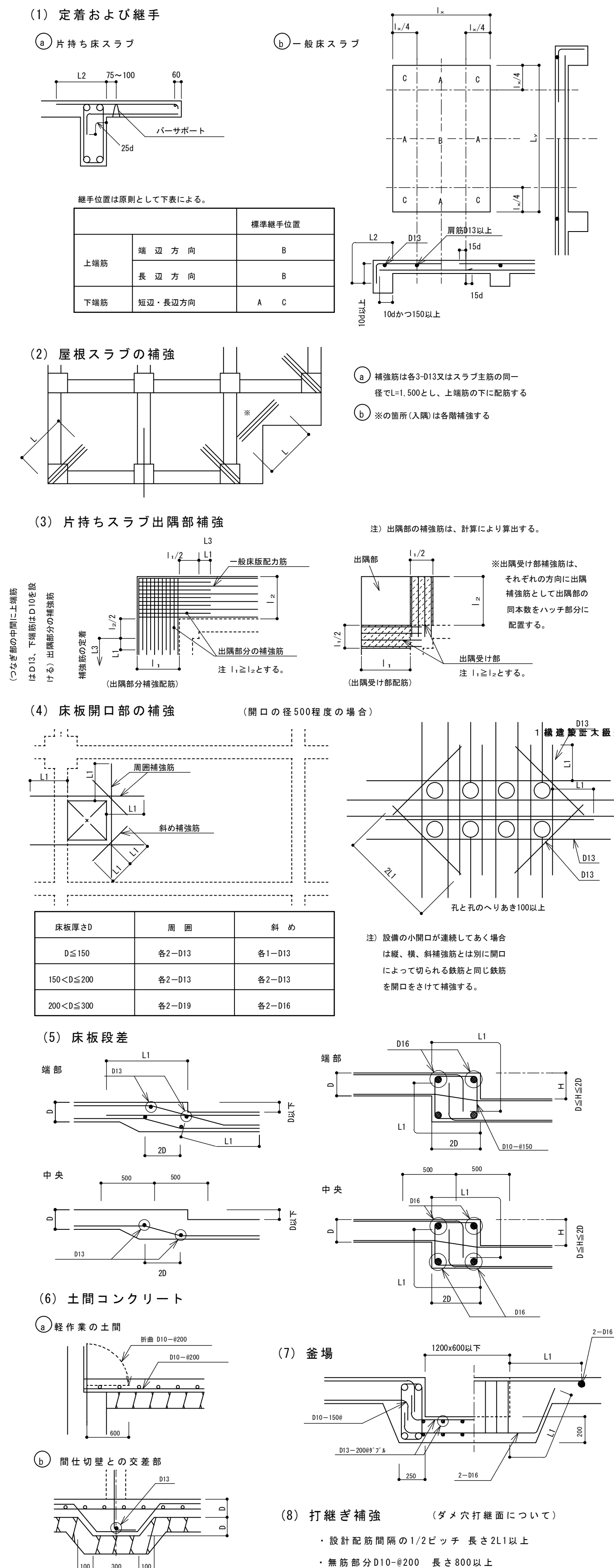
鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

L1, L2, L3＝鉄筋コンクリート構造配筋
標準図 (1)の2～(3)による。

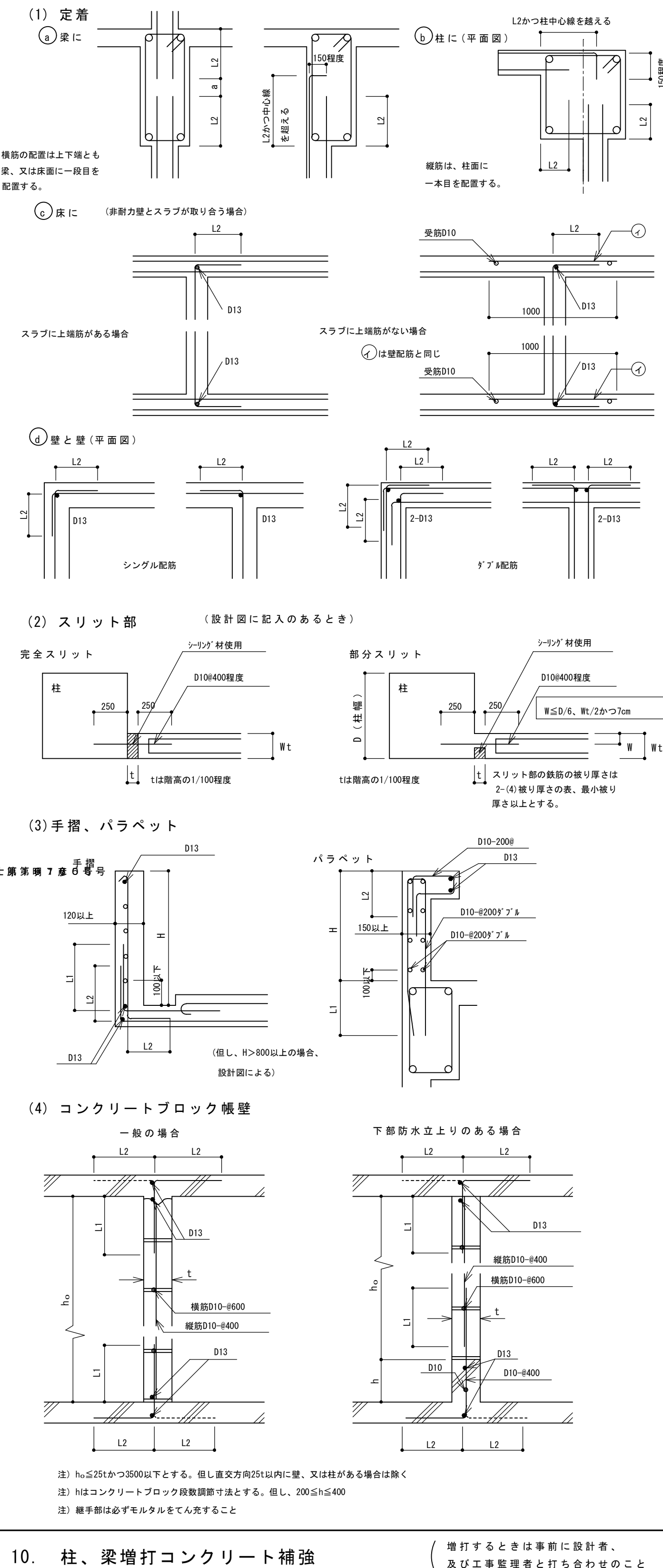
7. 大梁、小梁、片持梁



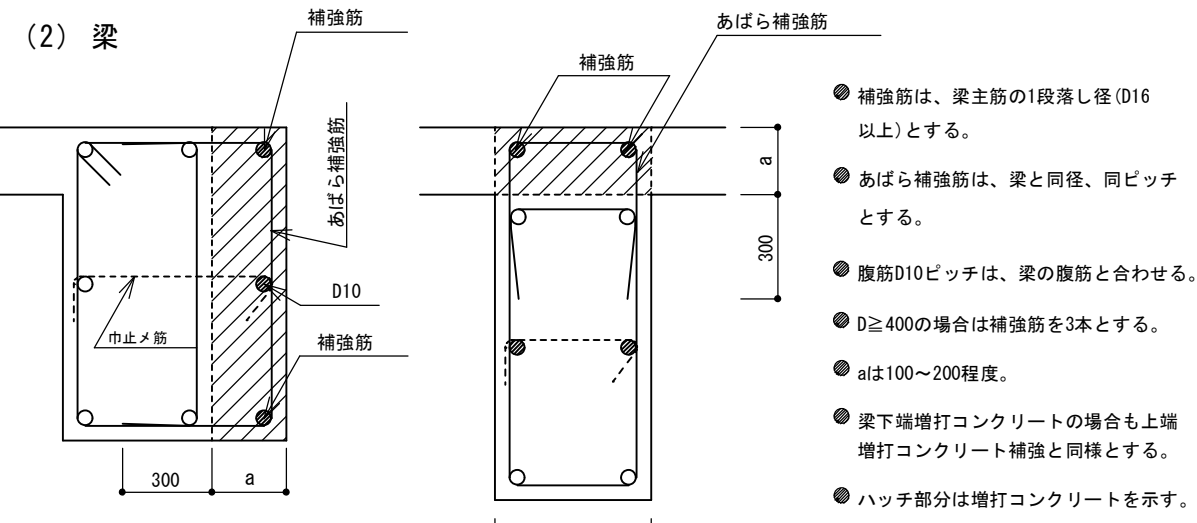
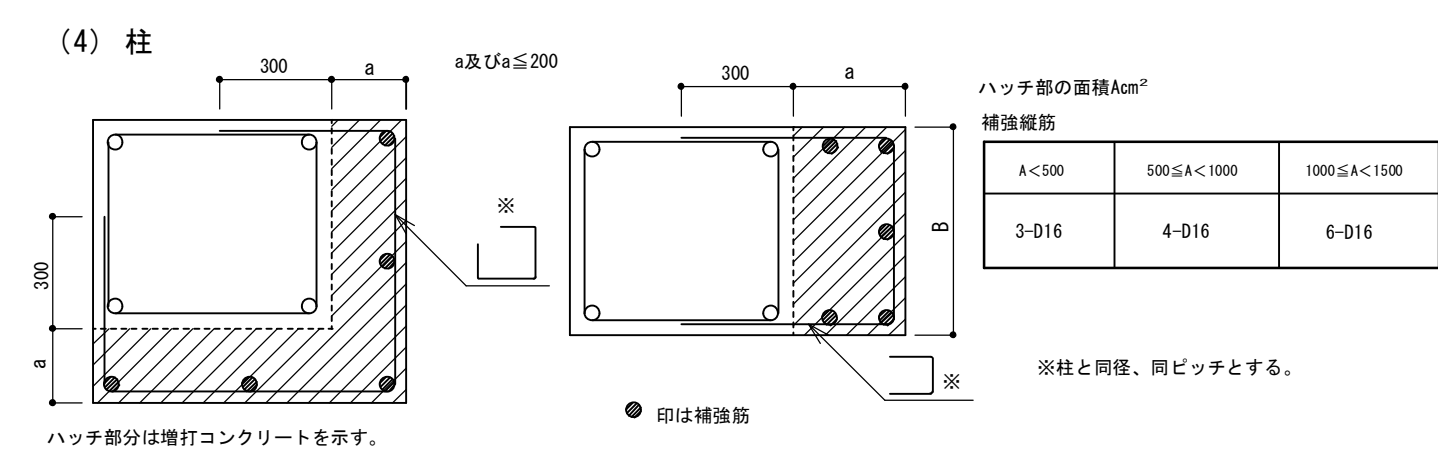
8. 床板



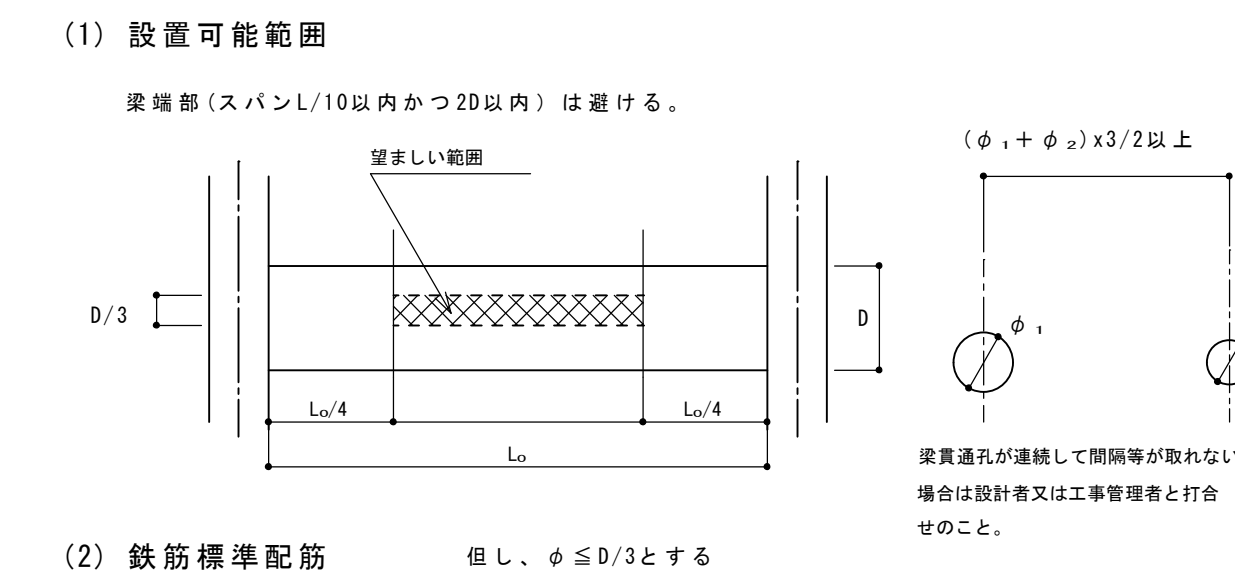
9. 壁



10. 柱、梁増打コンクリート補強



11. 梁貫通孔補強

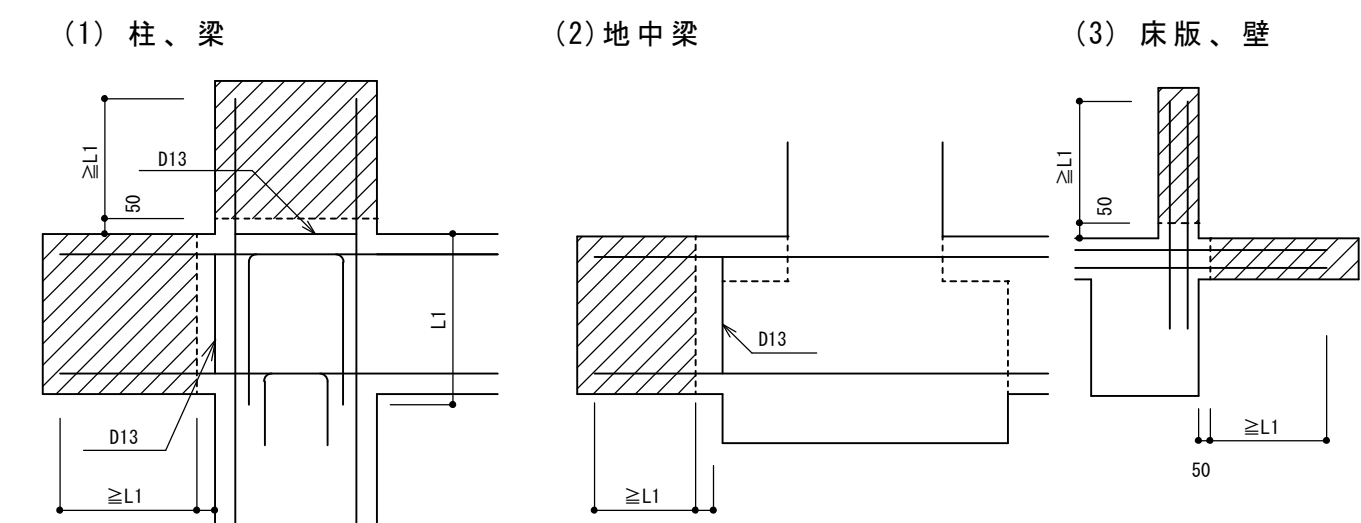


80 ≤ φ ≤ 100 折 筋 2-(2-D13) 縦 筋 ST 2-D13	100 < φ ≤ 150 折 筋 2-(2-D13) 縦 筋 ST 2-D13-100φ 横 筋 2-(2-D13)	150 < φ ≤ 250 斜 筋 4-(2-D13) 縦 筋 ST 2-D13-100φ 横 筋 2-(2-D13) 上下 縦 筋 ST 2-D13
φ ≤ 250 孔補強の有効範囲と 定着長さのとり方 ※ 部分については計算で 確認された場合は右 図の位置、寸法によ らなくて良い。		● 梁幅が400を超える場合は 補強筋でD13はD16又は、 2-D13は3-D13と、各々 読みかえる

(3) 既製品 (使用するとき、設計者又は工事管理者と打合せのこと)

☐ リング型 ☐ バイプ型 ☐ 金網型 ☐ プレート型

12. 増築予定

(将来増築予定のコンクリート増し打ち部分は、
増築時の鉄筋継手工法を考慮して措置する)1級建築士大臣登録 第197755号
構造設計1級建築士 第6160号
上 原 明彦

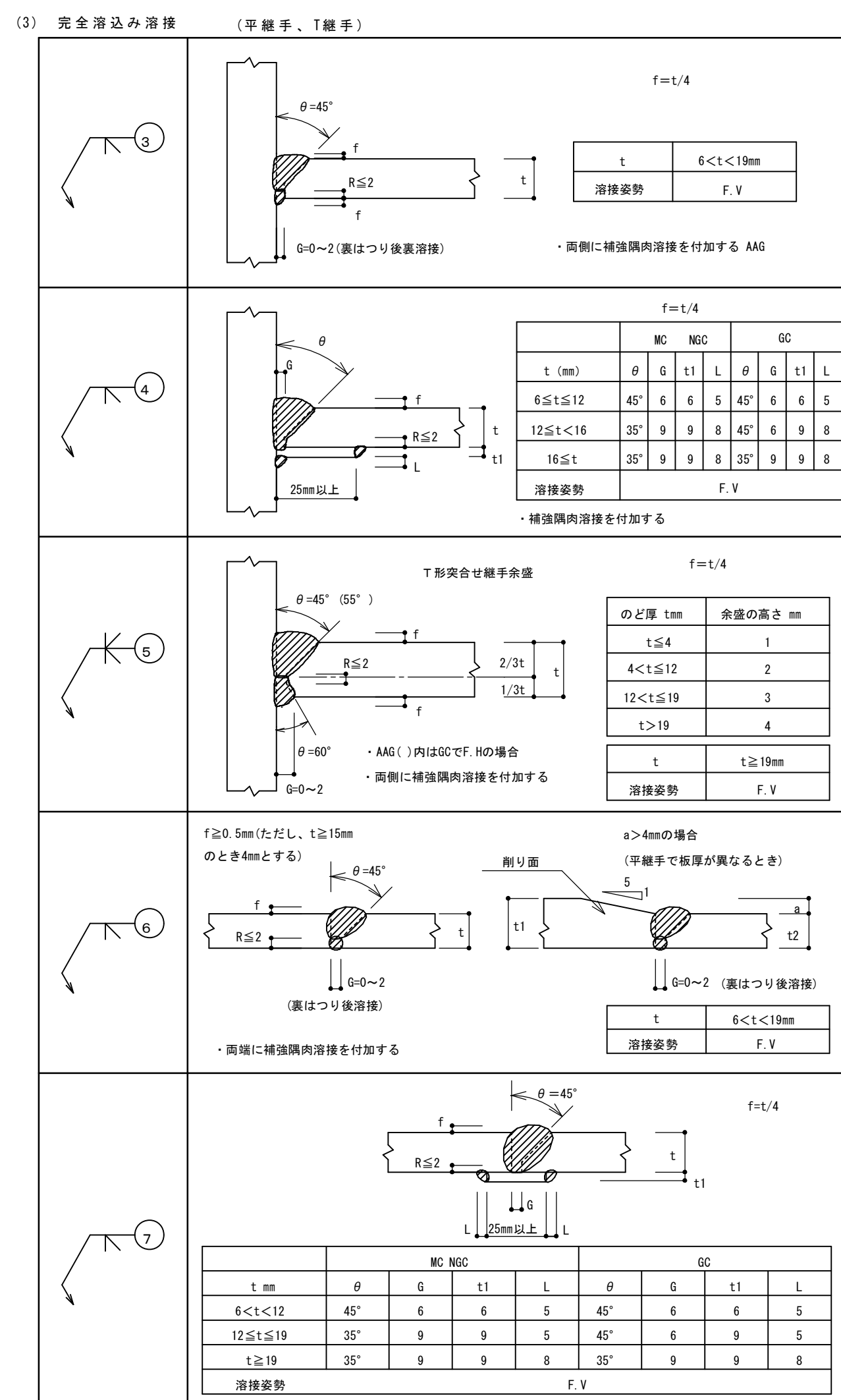
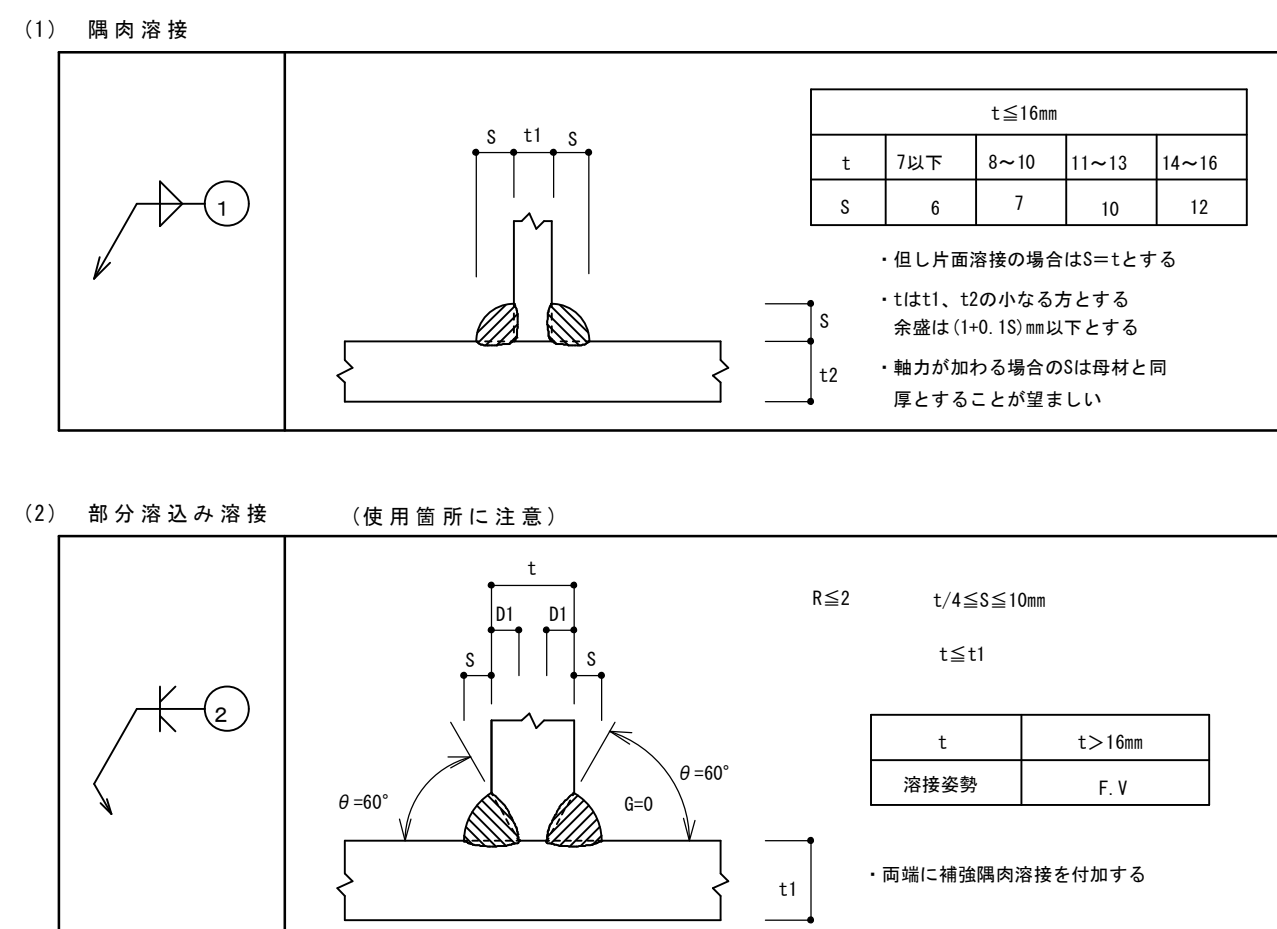
鉄骨構造標準図(1)

1. 一般事項

- (1) 材料及び検査
- (a) 構造設計仕様による
- (b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
- (c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する
- (2) 工作一般
- (a) 鉄骨製作及び施行に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事管理者の承認を得る
- (b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
- (c) 高張力鋼の歪み矯正は、冷間矯正とする
- (3) 高力ボルト接合
- (a) 本籍に使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない。
建方時には仮締めボルトを使用し、高力ボルトを使用してはならない。
- (4) 溶接接合
- (a) 溶接技能者
- 溶接技能者は施工する溶接に適用するJIS Z 3301(手溶接)又はJIS Z 3341(半自動溶接)の溶接技術検定試験に合格し引き続き、半年以上溶接に従事している者とする
- (b) 溶接機器
- (4) 交流アーク溶接機 300A～500A (2) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
- (5) アークエアガウジング機(直流) (6) 溶接電流を測定する電流計
- (7) サブマージアーク溶接機一式 (8) 溶接棒乾機
- (c) 溶接方法
- アーク手溶接(MC) ガスシールドアーク半自動溶接(GC)
- セルフ(/)g's)シールドアーク半自動溶接(NGC) アークエアガウジング(AAG)
- (d) 溶接姿勢
- (e) 組立て溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う
- (f) 仮付位置
- 組立て溶接は溶接の始端、終端、隅部部など強度上、工作上、問題となり見箇所は避ける
- (g) 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する
- (h) 溶接施工
- (1) エンドタブ
- I 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける。
- II エンドタブの材質は、母材と同質とする。
- III エンドタブの長さは、MC:35mm以上
NGC、GC:40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする。
- IV プレス鋼板タブ、圓形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監理者の承認を得る。
- (2) 裏あて金
- 材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上とする。
- (3) スカラップ 半径は30～35mmと、10mmのダブルールとする。
- (4) ノンスカラップ工法
- (5) 裏はつり
- 基準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を履行し、部材に確認マークを付ける。
- (6) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部をいためない様に、養生を行う。
- (7) 塗装
- コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

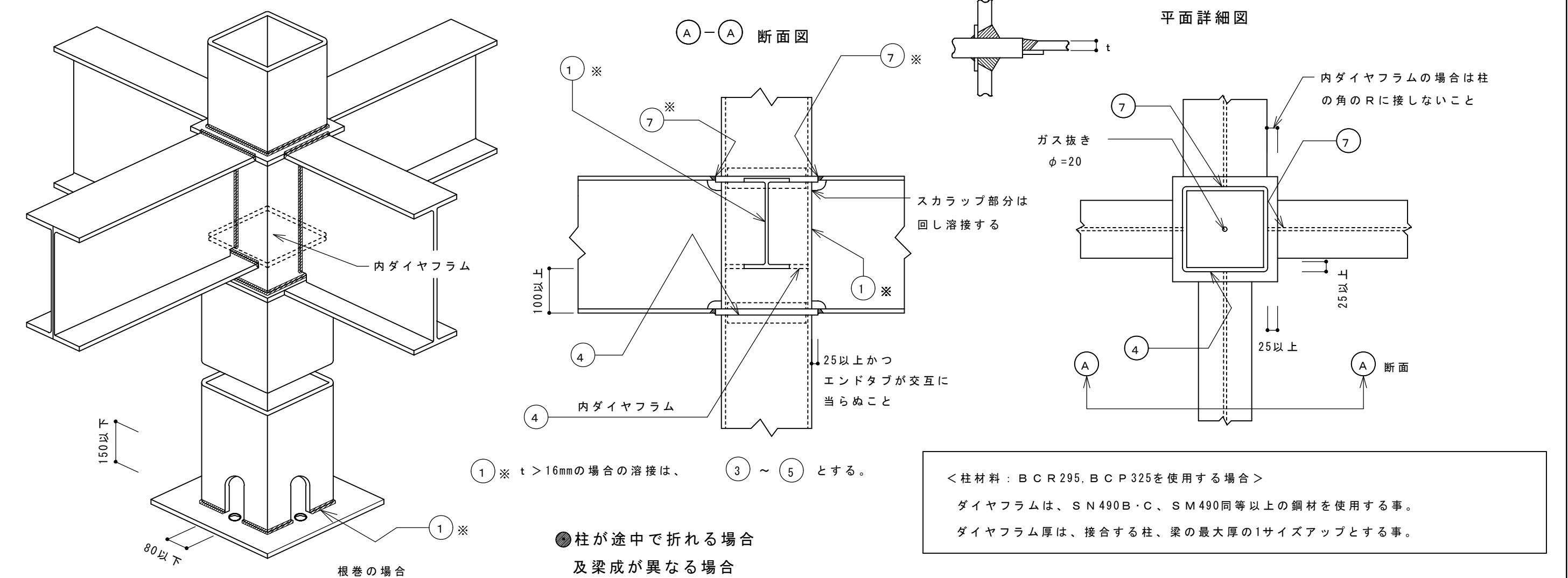
2. 溶接標準図

(注) f:余盛 G:ルート間隔 R:フェース S:脚長 (単位 mm)



・溶接記号番号を○中に記入のこと

●BOX型 (通しダイヤフラムの場合)



ハイベースNEO工法設計施工標準

(ハイベースNEO工法は、S造及びCFT造に適用)

2023/12

大臣認定
BCJ評定

MSTL-0566, 0404, 0180 (Gタイプ用ベースプレート)
MBLT-0042~0046 (アンカー用ボルトセット)
BCJ評定-ST0058 (Gタイプ)
BCJ評定-ST0059 (エコタイプ、高強度柱適用タイプ)

本工法の設計・施工は、鋼構造設計規準、鉄骨工事技術指針、建築工事標準仕様書 J A S S 6 鉄骨工事、建築工事標準仕様書
同解説 J A S S 5 鉄筋コンクリート工事、およびハイベースNEO工法設計ハンドブックに準拠する。

設計

1. 材質

(1) ベースプレート・アンカーボルト・ナット・座金・定着板

エコタイプ (EB型式、EM型式、EH型式)、高強度柱適用タイプ (KB型式)

	ベースプレート	アンカーボルト	エコナット	ナット	座金	定着板
規格	JIS G3136 又は TMCP鋼	HAB (大臣認定取得材)	JIS B1181 (六角ナット)	JIS G3106	JIS G3101 (一般構造用 圧延鋼材)	
ねじの種類	—	メートル並目	メートル並目	メートル並目	—	—
備考	板厚40mm以下の場合 SN490B 板厚40mm超の場合 TMCP325B, C	TMCP385B, C	降伏比 70%以下	—	強度区分5	SM490A SS400

エコタイプ、高強度柱適用タイプのベースプレート上ナットはエコナットを使用する。

Gタイプ (GB型式、GM型式、GH型式)

	ベースプレート	アンカーボルト	ナット	座金	定着板
規格	HCW490Bb HCW490st (大臣認定取得材)	HAB (大臣認定取得材)	JIS B1181 (六角ナット)	JIS G3106	JIS G3101 (一般構造用 圧延鋼材)
ねじの種類	—	メートル並目	メートル並目	—	—
備考	SN490B同等	降伏比 70%以下	強度区分5 (二重ナット時) 強度区分5 (一重ナット時)	SM490A	SS400

※1 国土交通大臣認定 (MSTL-0566, 0404, 0180) ※2 国土交通大臣認定 (MBLT-0042~0046)

※3 M72は細目ねじ ※4 建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定を取得した材料を使用

(2) ベースプレート下面のモルタル

ハイベース工法無収縮モルタルNX-2000、又はクイック3およびこれと同等以上の無収縮性モルタル※
※ センクシアが供給するものに限る

中心塗部分モルタル
○無収縮モルタルパッド用又は普通モルタル
(NX-2000及びクイック3は使用不可。)
○強度はこれに接するコンクリートの強度以上

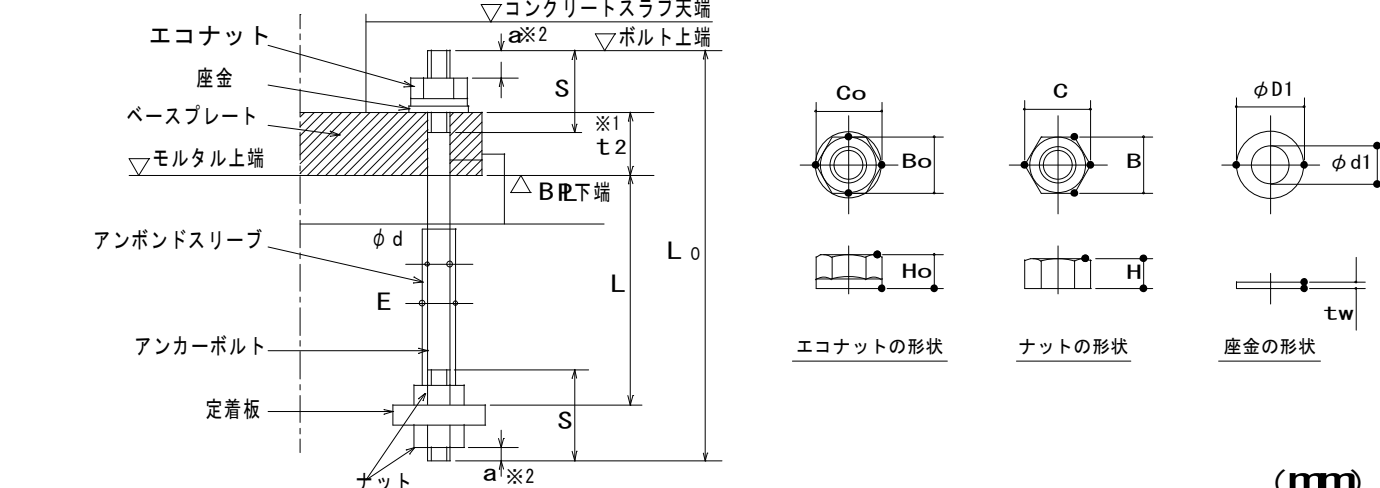
(3) 基礎・基礎ばり

コンクリート ○日本建築学会「JASS 5 鉄筋コンクリート工事」に適合する普通コンクリート
○設計基準強度は、 $F_{c}=18\sim36\text{N/mm}^2$

鉄筋 JIS G 3112「鉄筋コンクリート用棒鋼」に定められる、熱間圧延異形棒鋼
柱形 へりあき量は、ベースプレート外形寸法の0.1倍以上確保しなければならない。

2. アンカーボルトのセット寸法

エコタイプ、高強度柱適用タイプ用アンカーボルト部品



	アンカーボルト	アンボンドスリーブ	エコナット	ナット	座金
ねじの呼び	軸径 ねじ長さ ピッチ	軸径 長さ ※2	軸径 長さ ※2	軸径 長さ ※2	軸径 長さ ※2
規格	φd P S a L LO E	φd P S a L LO E	φd P S a L LO E	φd P S a L LO E	φd P S a L LO E
エコタイプ	M24 24 3 95 10 400 550 29	M30 30 3.5 105 10 480 645 35	M36 36 4 130 13 600 800 41	M42 42 4.5 155 18 840 1090 48	M48 48 5 175 22 960 1235 54
高強度柱適用タイプ	M24 24 3 95 10 400 550 29	M30 30 3.5 105 10 480 645 35	M36 36 4 130 13 600 800 41	M42 42 4.5 155 18 840 1090 48	M48 48 5 175 22 960 1235 54

※1 t₂ はベースプレート台座厚さを示し、ハイベースNEO型式によって変わります。

※2 a寸法は設置誤差を考慮した設計時の最小寸法です。

※3 表中のエコタイプ上段はEB、EM型式のアンカーボルト4本タイプ、

エコタイプ下段はEB、EM型式のアンカーボルト8本、12本タイプ及びEHタイプの寸法です。

・エコタイプ、高強度柱適用タイプのアンカーボルトはシングルナットとしておりますので、ゆるみ止め処置としてコンクリートスラブで被覆してください。
・コンクリートによる被覆を行わない場合は、二重ナット等のゆるみ止め処置が必要です。
・その場合、せん断耐力が変わる可能性がありますのでセンクシアにご相談ください。
・アンカーボルト上部には必ずエコナットを使用してください。通常のナットでは所定の性能が発揮できません。

センクシア株式会社

本社 TEL 03-4214-1932
札幌 TEL 011-708-1177
東北 TEL 022-213-5595

関東 TEL 027-322-9411
中部 TEL 052-582-3356
北陸 TEL 076-233-5260

URL <https://www.senqcia.co.jp/>

関西 TEL 06-6395-2133
中四国 TEL 082-240-1630
九州 TEL 092-452-0341

工場加工

1. 溶接材料

被覆アーク溶接 JIS Z 3211 (旧JIS Z 3212) に従い選定する (低水素系)

ガスシールドアーク溶接 JIS Z 3312 又は JIS Z 3313 に従い選定する

※ベースプレートと柱のF値が異なる場合は、JASS6や各材質毎に定められた指針に従い溶接材料を選定する。

2. ベースプレートの鉄骨柱への取付け (柱端部に開先を設ける)

※ 柱とベースプレートの溶接は完全溶込み溶接

開先はMC-TL-1B、GC-TL-1Bによる

※開先形状は参考

ベースプレート形状	開先形状
角形鋼管柱用 (EB型式) アンカーボルト 4本タイプ アンカーボルト 8本タイプ アンカーボルト 12本タイプ	円形鋼管柱用 (EM型式) アンカーボルト 4本タイプ アンカーボルト 8本タイプ アンカーボルト 12本タイプ
高強度角形鋼管柱用 (KB型式) アンカーボルト 4本タイプ アンカーボルト 8本タイプ アンカーボルト 12本タイプ	H形柱用 (EH型式)

ベースプレート形状	開先形状
角形鋼管柱用 (GB型式) アンカーボルト 4本タイプ アンカーボルト 8本タイプ アンカーボルト 12本タイプ	円形鋼管柱用 (GM型式) アンカーボルト 4本タイプ アンカーボルト 8本タイプ アンカーボルト 12本タイプ
高強度角形鋼管柱用 (KB型式) アンカーボルト 4本タイプ アンカーボルト 8本タイプ アンカーボルト 12本タイプ	H形柱用 (GH型式)

3. 組立溶接

角形鋼管	円形鋼管	H形
組立溶接 柱フランジ	組立溶接	組立溶接
角形鋼管	円形鋼管	H形
対辺ごとに溶接を行う。 (自動ロボット溶接の場合はこれによらない)	1バースごとに全周溶接を行う。	(1) ウェブの両面すみ肉溶接 (溶け残りの場合は、完全溶込み溶接とする) (2) 開先部の溶接

5. 溶接施工一般

予熱 鋼材の種類、板厚により必要に応じて適切な予熱を行う。

余盛	溶接余盛はベースプレート側A点から柱側B点へ向かってなめらかに施工する。 余盛高さは、柱接合突出部形状に対応し突き合わせ継手またはT継手余盛り高さに準拠する (Gタイプ)。
H形柱の溶接	エンドタブの取付とH形柱ウェブのすみ肉溶接

注意 柱の溶接時にベースプレートとの組合せによってはベースプレートが溶接熱歪によって曲がる場合があります。

6. 検査

方法	溶接部の検査を行う場合は、超音波探傷検査による。 探傷は柱フランジ側から行う。
不良溶接部の補正	(1) 有害な欠陥のある溶接部は削除して再溶接する。 (2) 溶接部に割れの入った場合には、割れの入った両端から50mm以上、はつり取り再溶接する。



1. アンカーボルトの設置、無収縮モルタルの充填、これらの施工は、センクシアが定めた認定業者が行うこと。(日本建築センターの評定で義務付けられています。)
2. アンカーボルト及びナットは加熱、溶接、加工は絶対に行わないでください。
3. 設置後のアンカーボルトのねじ部は打ちきずりコンクリートが付着しないようにねじ部の保護養生をしてください。
4. 建て入れ直し用のワイヤをアンカーボルトにとらないでください。
5. 本資料以外の施工方法で行った場合、ハイベースNEOの性能が発揮できなくなります。

現場施工

(#): センクシアの担当範囲

- 捨てコンクリート打設
柱脚部の捨てコンクリートの厚さは90mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。
- 墨出し
- アンカーボルト搬入 (#)
- アンカーボルト据付 (#)

アンカーボルト設置	アンカーボルトの設置は自立できる形式とし、捨てコンクリートに固定する。 アンカーボルト設置例 (架台の形状は異なる場合あり)
-----------	---

平面	レベル
アンカーボルト設置精度の目標値 e ≤ 3mm (形板芯にて検査)	基準高さよりの誤差eh -3mm ≤ eh ≤ 10mm

5. 鉄筋配筋・型枠の立込み

6. 基礎コンクリート打設

基礎柱形上面の目荒らし・水洗いを行ってください。

7. 中心塗り部分モルタル施工

ベースプレート	中心塗部分モルタル NX-2000、クイック3は使用不可。 後詰めモルタル ハイベース工法無収縮モルタルNX-2000、又はクイック3およびこれと同等以上の無収縮性モルタル※ 注入方法はヘッド圧工法による。 ※ センクシアが供給するものに限る (イ) □250以下、φ267.4以下、H250以下の場合 100mm ≤ a ≤ 200mm かつ柱寸法 D 以下 (ロ) □300以上□700以下、φ300以上φ711.2以下、および H250以上の場合 150mm ≤ a ≤ 300mm かつ柱寸法 D 以下 (ハ) □750~□1200、φ750~φ1016の場合 300mm ≤ a ≤ 500mm
中心塗部分モルタル及び後詰めモルタルの養生	基礎、基礎ばりコンクリートの強度以上となるよう養生期間を確保すること。

EB, GB, EM, GM, EH, KB型式	GH型式
8. 鉄骨建方 アンカーボルト締付 アンカーボルトは隙間がないよう確実に締め付けを行う。	8. 鉄骨建方 9. モルタル注入枠設置 (#) 後詰めモルタル充填 (#)
9~10. モルタル注入枠設置 (#) 後詰めモルタル充填 (#) アンカーボルト締付確認 (#) ベースプレートと座金とナットが密着していることを確認。	10. アンカーボルト締付 (#) 予備締め マーキング ナット回転法による本締め (30° 回転、許容差 +10°)

11. モルタル注入枠取り外し

施工完了後、ハイベースNEO工法のチェックシートに工事記録を記載する。



上田市都市建設部建築課

事業年度
R6 / (R7) / R8

久高設計・河田一級建築士事務所
設計共同企業体

代表 長野県知事登録 第上田N-78311号
事務所 株式会社 久高設計
長野県上田市住吉5-5-5 第2号
代表者 品田 和久

設計者 1級建築士
国土交通大臣登録
第292990号
小福 田 洋

工事名

第五中学校改築事業 屋内運動場ほか建設
建築主体工事

図名

ハイベースNEO工法設計施工標準 (1)

縮尺

A1

A3

No.

S-06

ハイベースNEO工法 各種寸法及び基礎柱形設計例（Fc24の場合）
〈円形鋼管柱用 φ190.7～φ1016〉

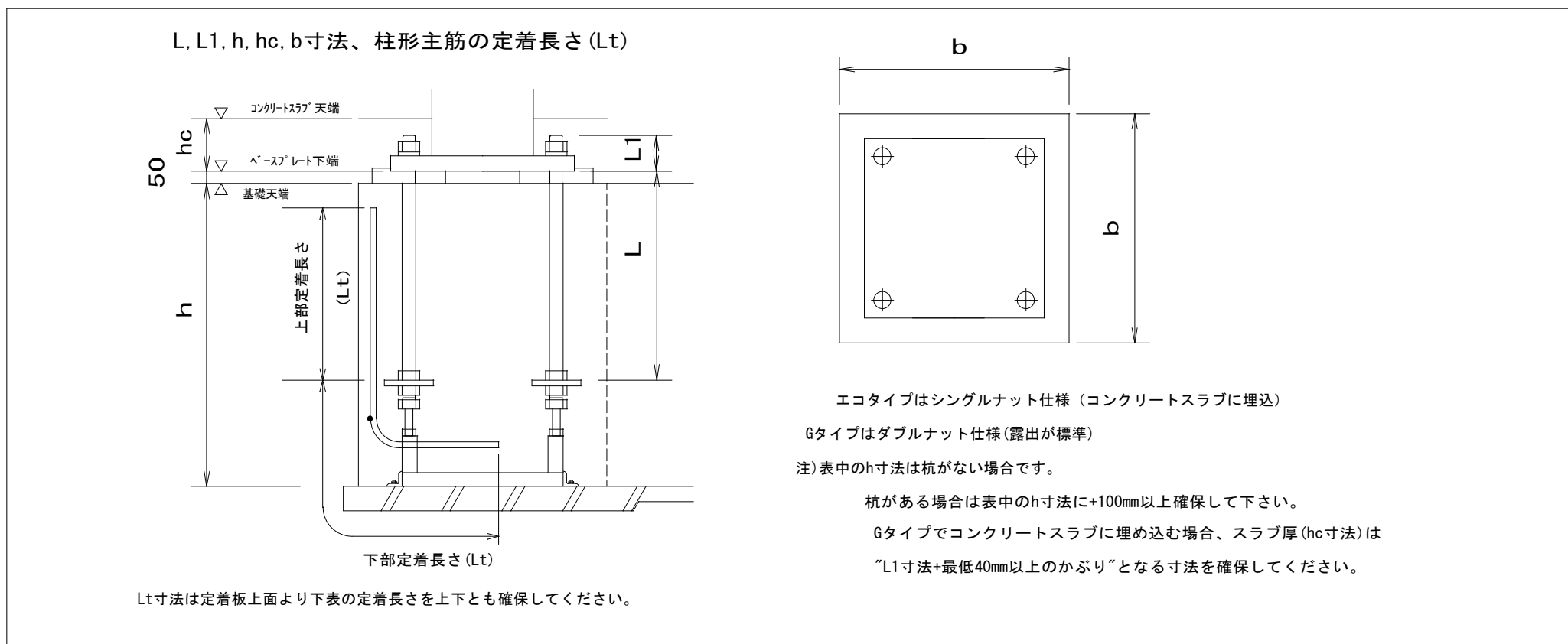
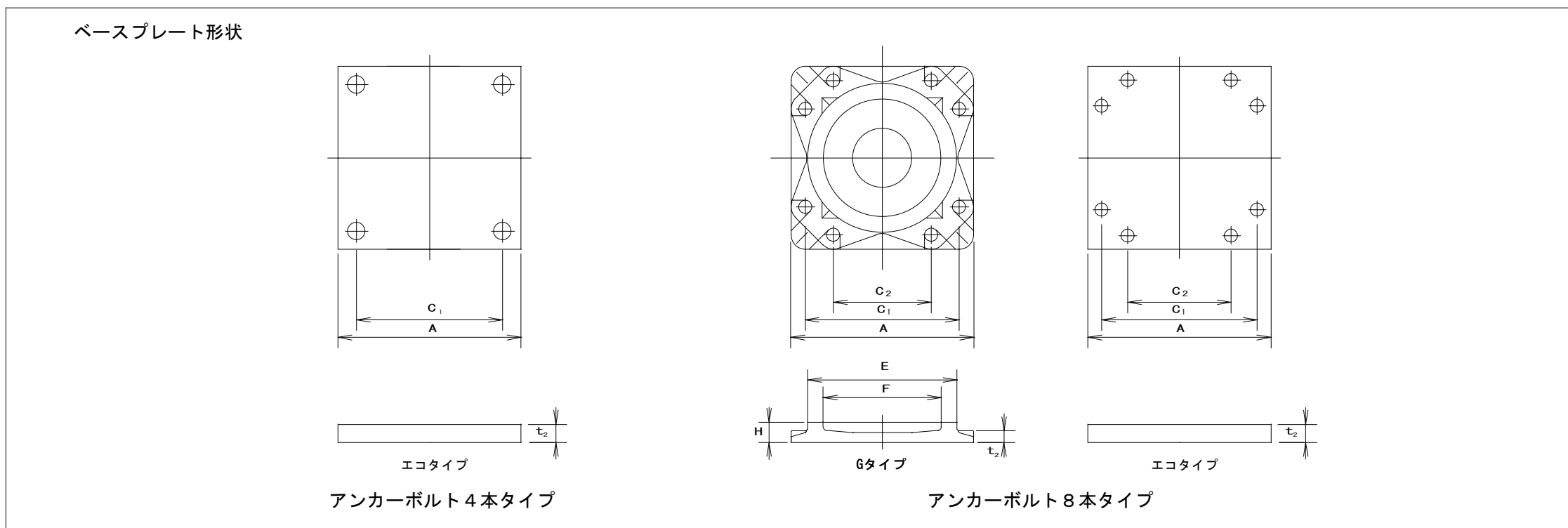
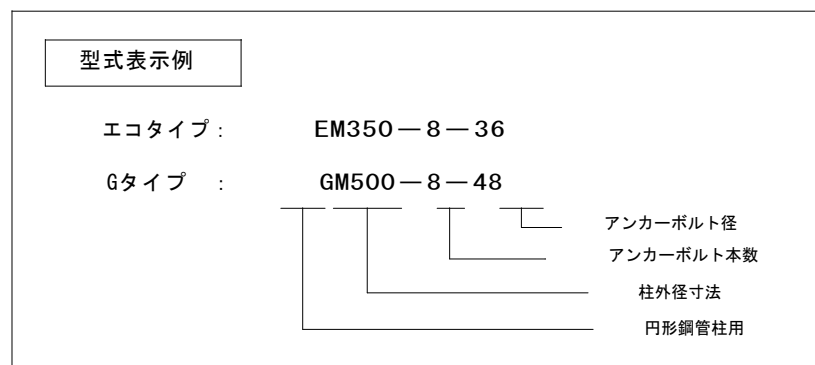
（ハイベースNEO工法Gタイプは、S造及びCFT造に適用）
（ハイベースNEO工法エコタイプは、S造及びCFT造に適用）

大臣認定
BCJ評定

MSTL-0404、0180（Gタイプ用ベースプレート）
MBLT-0042～0046（アンカーボルト）
BCJ評定-ST00058（Gタイプ）
BCJ評定-ST00059（エコタイプ）

本工法の設計・施工は、鋼構造設計規準、鉄骨工事技術指針、建築工事標準仕様書JASS5鉄骨工事、建築工事標準仕様書
同解説JASS5鉄筋コンクリート工事、およびハイベースNEO工法設計ハンドブックに準拠する。

2022/10



・ハイベースNEO工法（円形鋼管柱用φ190.7～φ1016）

採用	通 用 柱		ハイベースNEO型式				7ホド #ド	回転ハネ 定数 X10 ¹⁸ [N・rad]	寸法 (mm)								質量 (kg)				L (mm)		L1 (mm)	基礎埋深 H (mm)	基礎埋深 hc (mm)	基礎柱形の設計例 (Fc24) < 例・隅柱用 >						基礎柱形の設計例 (Fc24) < 中柱用 (4方向から基礎梁が取り付く場合のみを示す。) >							
																										Ⅰ ゾーン			Ⅱ ゾーン			鉄筋の定着長さ Lt (mm)	Ⅰ ゾーン			Ⅱ ゾーン			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
																										柱形 b (mm)	主筋量	帯筋	柱形 b (mm)	主筋量	帯筋		柱形 b (mm)	主筋量	帯筋				
渡り廊下 A	C1/C2	5	φ190.7	8.2	EM190-4-24	4-M24	13.8	290	210	-	-	-	-	32	22	14	36	400	87	600以上	130	500	8-D16	D13#150	500	16-D16	D13#150	210	500	8-D16	D13#150	500	16-D16	D13#150	210				
			φ216.3	12.7	EM216-4-24	4-M24	19.9	310	230	-	-	-	-	32	25	14	39	400	87	600以上	130	520	8-D16	D13#150	520	16-D16	D13#150	200	520	8-D16	D13#150	520	16-D16	D13#150	200				
			φ267.4	16	EM250-4-24	4-M24	28.4	370	290	-	-	-	-	32	35	14	49	400	87	600以上	130	570	8-D16	D13#150	570	16-D16	D13#150	190	570	8-D16	D13#150	570	16-D16	D13#150	190				
			φ300 φ318.5	16	EM300-4-24	4-M24 4-M30	38.3 61.0	420 430	340	-	-	-	-	32 40	45 59	15 23	60 82	400 400	87 110	600以上 600以上	130 150	620 620	8-D19 12-D19	D13#150 D13#150	620 620	12-D19 16-D19	D13#150 D13#150	190 280	620 620	8-D19 12-D19	D13#150 D13#150	620 620	12-D19 16-D19	D13#150 D13#150	190 280				
			φ350 φ355.6	19	EM350-4-30	4-M30 8-M30	65.1 86.3	420 500	330	-	-	-	-	32 40	45 79	23 50	68 129	400 600	102 110	600以上 800以上	150 150	620 700	12-D19 16-D22	D13#150 D13#150	620 700	16-D19 20-D22	D13#150 D13#150	280 490	620 700	12-D19 16-D22	D13#150 D13#150	280 490							
			φ400 φ406.4	22	EM400-8	8-M30 8-M36 8-M42	119 148 194	540 560 610	450 470 500	280 270 280	-	-	-	-	40 48 60	92 119 176	51 81 127	143 200 303	600 720 840	110 125 150	800以上 900以上 1100以上	150 170 190	740 770 810	16-D22 16-D25 20-D25	D13#150 D13#150 D13#100	740 800 850	20-D22 24-D25 32-D25	D13#150 D13#100 D13#100	470 550 700	740 770 810	12-D22 12-D25 20-D25	D13#150 D13#150 D13#100	740 800 850	20-D22 24-D25 32-D25	D13#150 D13#100 D13#100	470 550 700			
			φ450 φ457.2	22	EM450-8	8-M30 8-M36 8-M42	146 182 249	580 600 650	490 510 540	320 310	-	-	-	-	40 48 60	106 136 199	51 81 127	157 217 326	600 720 840	110 125 150	800以上 900以上 1100以上	150 170 190	780 810 850	16-D22 16-D25 20-D25	D13#150 D13#100 D13#100	780 810 850	20-D22 24-D25 32-D25	D13#150 D13#100 D13#100	450 550 700	780 810 850	12-D22 12-D25 16-D25	D13#150 D13#100 D13#100	780 810 850	20-D22 24-D25 32-D25	D13#150 D13#100 D13#100	450 550 700			
			φ500 φ508	25	EM500-8	8-M36 8-M42	231 301	640 700	550 590	350 370	-	-	-	-	48 60	155 231	82 128	237 359	720 840	125 150	900以上 1100以上	170 190	850 900	16-D25 20-D25	D13#100 D13#100	850 900	24-D25 32-D25	D13#100 D13#100	530 670	850 900	12-D25 20-D25	D13#100 D13#100	530 670						
			φ550 φ558.8	40	GM500-8	8-M48 8-M56	405 470	710 740	580 600	330 320	518	390	90	100	57 69	229 282	207 308	436 590	960 1120	164 192	1200以上 1350以上	-	950	24-D25 32-D25	D16#100 D16#100	950 1100	40-D25 52-D25	D16#100 D16#100	730 940	950 950	20-D25 28-D25	D16#100 D16#100	950 1100	40-D25 52-D25	D16#100 D16#100	730 940			
			φ550 φ558.8	25	EM550-8	8-M36 8-M42	269 350	680 740	590 630	390 410	-	-	-	-	48 60	175 258	82 128	257 386	720 840	125 150	900以上 1100以上	170 190	900 950	20-D25 20-D25	D13#100 D13#100	900 950	24-D25 32-D25	D13#100 D13#100	520 660	900 950	16-D25 20-D25	D13#100 D13#100	520 660						
			φ600 φ609.6	40	GM550-8	8-M48 8-M56	468 543	740 770	610 630	360 350	568	430	85 100	54 65	244 301	208 310	452 611	960 1120	161 188	1200以上 1350以上	-	950 1000	28-D25 32-D25	D16#100 D16#100	950 1100	40-D25 52-D25	D16#100 D16#100	730 940	950 1000	24-D25 28-D25	D16#100 D16#100	950 1100	40-D25 52-D25	D16#100 D16#100	730 940				
			φ650 φ660.4	40	GM600-8	8-M36 8-M48	421 563	700 780	610 650	410 400	620	480	70 85	36 52	192 273	85 210	277 483	720 960	116 159	900以上 1200以上	-	950 1000	20-D25 28-D25	D16#100 D16#100	950 1000	24-D25 40-D25	D16#100 D16#100	450 720	950 1000	16-D25 24-D25	D16#100 D16#100	450 720							
			φ650 φ660.4	40	GM650-8	8-M48 8-M64	661 747	820 850	690 690	440 390	670	530	110 110	75 71	408 432	449 451	857 883	1280 1280	217 213	1600以上 1600以上	-	1100	32-D29	D16#100	1150	48-D29	D16#80	1120	1100	28-D29	D16#100	1150	48-D29	D16#80	1120				
			φ700 φ711.2	40	GM700-8	8-M48 8-M64	750 958	850 920	720 760	470 460	720	570	105 105	48 70	330 471	212 453	542 924	960 1280	155 212	1200以上 1600以上	-	1050 1150	32-D25 32-D29	D16#100 D16#100	1050 1150	40-D25 48-D29	D16#100 D16#80	720 1120	1050 1150	28-D25 28-D29	D16#100 D16#100	1050 1100	40-D25 48-D29	D16#100 D16#80	720 1120				
			φ750 φ762	40	GM750-8	8-M48 8-M64	865 1100	890 960	760 800	510 500	770	620	85 120	48 69	381 527	214 455	985 1280	960 211	155 160	1300以上 1600以上	-	1100 1200	24-D29 32-D29	D16#100 D16#100	1100 1200	28-D29 48-D29	D16#100 D16#80	730 1110	1100 1200	20-D29 28-D29	D16#100 D16#100	1100 1200	28-D29 48-D29	D16#100 D16#80	730 1110				
			φ800 φ812.8	40	GM800-8	8-M48 8-M64	961 1240	920 990	790 830	540 530	820	660	90 100	45 66	426 550	215 456	641 1006	960 1280	152 208	1300以上 1600以上	-	1150 1200	24-D29 32-D29	D16#100 D16#100	1150 1200	28-D29 48-D29	D16#100 D16#80	720 1110	1150 1200	20-D29 28-D29	D16#100 D16#100	1150 1200	28-D29 48-D29	D16#100 D16#80	720 1110				
			φ850	40	GM850-8-64	8-M64	1410	1030	870	570	870	710	105	65	616	459	1075	1280	207	1600以上	-	1250	32-D29	D16#100	1300	48-D29	D16#80	1090	1250	28-D29	D16#100	1300	48-D29	D16#80	1090				
			φ900 φ914.4	40	GM900-8-64	8-M64	1660	1100	940	640	920	760	105	70	734	462	1196	1280	212	1600以上	-	1350	36-D29	D16#100	1400	48-D29	D16#80	1070	1350	32-D29	D16#100	1400	48-D29	D16#80	1070				
			φ950	40	GM950-8-64	8-M64	1750	1100	940	640	970	810	105	61	735	462	1197	1280	203	1600以上	-	1350	36-D29	D16#100	1400	48-D29	D16#80	1070	1350	32-D29	D16#100	1400	48-D29	D16#80	1070				
			φ1000 φ1016	40	GM1000-8-64	8-M64	1970	1140	980	680	1030	870	110	59	827	465	1292	1280	201	1600以上	-	1400	36-D29	D16#100	1400	48-D29	D16#100	1120	1400	32-D29	D16#100	1400	48-D29	D16#100	1120				

QL デッキ合成スラブ設計・施工標準 耐火仕様① JFE 建材 株式会社 合成スラブ工業会仕様

QL デッキ合成スラブの設計・施工は、(社)日本建築学会「各種合成構造設計指針・解説」 「鉄骨工事技術指針」 「建築工事標準仕様書・解説 Ⅱ」JASS5鉄筋コンクリート工事及びJASS6鉄骨工事、 (一社)日本鋼構協会「デッキプレート床構造設計・施工標準 2018」、合成スラブ工業会「合成スラブの設計・施工マニュアル」、QL デッキ設計マニュアル・同施工マニュアルによる。

設 計

材料／デッキプレート [ISO 9001認証取得]

デッキプレート種類	板厚 (mm)	表 面 処 理
■ QL99-50 □ QL99-75	端部加工 □ 加工あり □ 無し	■ 表面防錆処理 (一次塗装) QLプライマー (P)*1 ■ 1.2 □ 亜鉛めっき [□Z12 □Z27] □ 1.6 □ JFEエポキシ (高耐食溶融めっき鋼板) [□Y18 □Y27] □ その他 () □ 無し
材 質	JIS G 3352 に定める SDP1T、SDP2、SDP2G	

材料／コンクリート

種 類	■ 普通コンクリート	□ 軽量コンクリート [□ 1種 □ 2種]
設計基準強度	□ 18 □ 21	■ 24 () N/mm ²
厚さ (QLデッキ山)	□ 60 □ 70 □ 80 □ 85 □ 90 □ 95	■ 100 () mm

材料／溶接金網・異形鉄筋

■ 溶 接 金 網	JIS G 3551	□ φ6-75×75 □ φ6-100×100 () *2
□ 異 形 鉄 筋	JIS G 3112、3117	□ D10-150×150 □ D10-200×200 ()
耐火補強筋	JIS G 3112、3117	D13-φ300

接 合

■ 頭付きスタッド (各長さ・ピッチは特記による*)	JIS B 1198 □ φ13 ■ φ16 ■ φ19 □ φ22
■ 焼抜き栓溶接 □ 打込み紙 □ その他	下記焼抜き栓溶接の項による 接合箇所は特記による

*3 最小長さはデッキ高さ+30mm以上とする

耐 火

デッキプレート	耐火区分	支持条件	コンクリート種別	耐火補強筋	認定番号
QL99-50 QL99-75	床1時間 床2時間	単純 連続	普通/軽量	要 不要	■ FP060FL-9101 ■ FP060FL-9095 □ FP120FL-9113 □ FP120FL-9107

注) 床2時間は床1時間耐火を含む

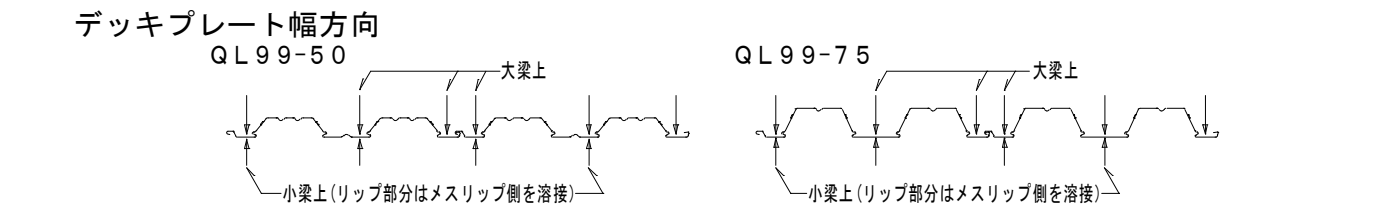
その他	□ 指定なし	□ ()	□ ()
-----	--------	-------	-------

特 記

支保工有無	■ 無 □ 有	その他：ひび割れ拡大防止の為、柱周囲ならびにG梁上には合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」に準じた補強筋を設けること
-------	---------	--

上欄内の採用項目に□を記して下さい。

焼抜き栓溶接



デッキプレートスパン方向

「QLデッキ設計マニュアル」に基づいて決定する。

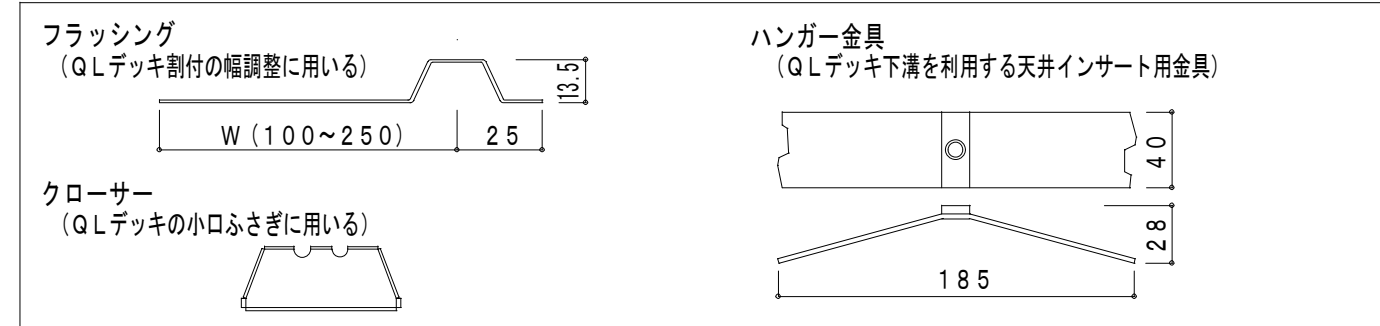
$$A_w = \frac{1.5 Q_a}{Q_0} \times 1000 \text{ mm かつ } 600 \text{ mm 以下}$$

Q_a: 焼抜き栓溶接1個当たりの長期許容せん断力 (N)
Q₀: 設計最大せん断力 (N/mm)
A_w: 焼抜き栓溶接ピッチ

$$A_w = (500) \text{ mm}$$

(注) 接合に頭付きスタッドを用いる場合、焼抜き栓溶接は不要

アクセサリ



施工時許容スパン表 (デッキプレートの検討)

QL99-50	コンクリート厚 (mm)	60	70	80	90	100
支持条件	単純 (内法)	1.2 1.6	1.2 1.6	1.2 1.6	1.2 1.6	1.2 1.6
2 連続	2.52 2.75	2.47 2.69	2.42 2.64	2.37 2.59	2.33 2.54	
3 連続	3.38 3.67	3.31 3.61	3.24 3.54	3.18 3.47	3.13 3.41	

注1: 普通コンクリート (単位体積重量 24.0kN/m³)、表面処理が亜鉛めっきの場合

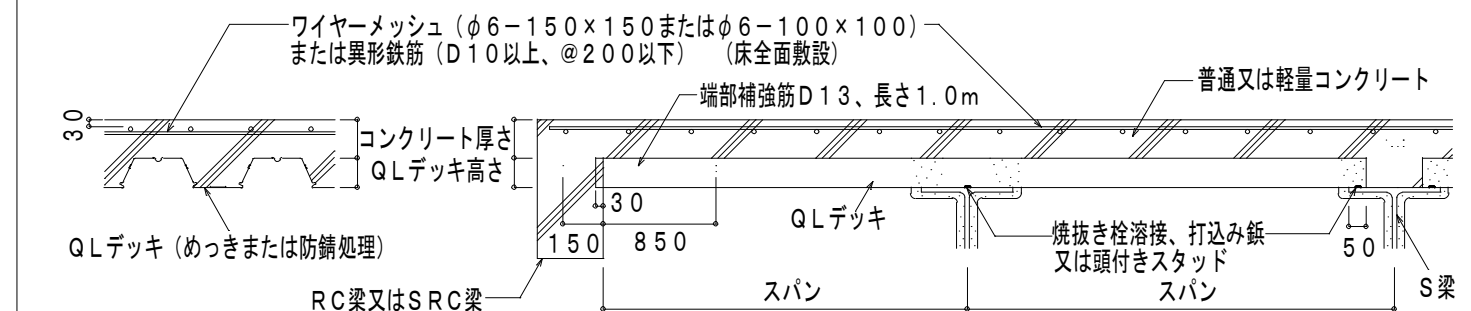
注2: () 数値は表面処理がめっきまたは塗装品の許容スパンを示す。

注3: 表を超える場合は、別途支保工が必要。

耐火仕様

【連続支持合成スラブ】

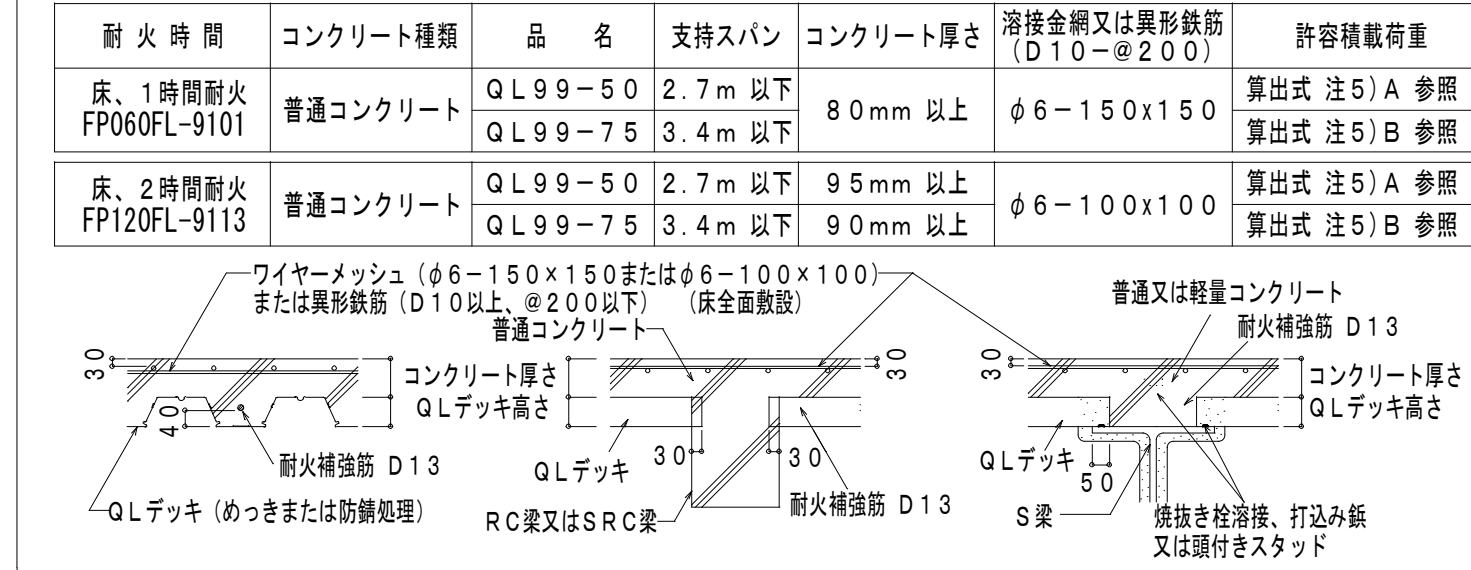
耐火時間	コンクリート種類	品名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋 (D10-φ200)	許容積載荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9095	普通コンクリート	QL99-50	3.0m 以下	80mm 以上	φ6-150x150	算出式 注5) A 参照
		QL99-75	3.4m 以下	90mm 以上	φ6-100x100	算出式 注5) B 参照
	軽量コンクリート	QL99-50	3.0m 以下	80mm 以上	φ6-150x150	算出式 注5) A 参照
		QL99-75	3.4m 以下			算出式 注5) B 参照
床、2時間耐火 FP120FL-9107	普通コンクリート	QL99-50	2.7m 以下	95mm 以上	φ6-100x100	算出式 注5) A 参照
		QL99-75	3.4m 以下	90mm 以上	φ6-100x100	算出式 注5) B 参照
			3.6m 以下	95mm 以上	D10-φ200	算出式 注5) C 参照
	軽量コンクリート	QL99-50	2.7m 以下	85mm 以上	φ6-100x100	算出式 注5) A 参照
		QL99-75	3.4m 以下	90mm 以上	D10-φ200	算出式 注5) B 参照
			3.6m 以下			算出式 注5) C 参照



【単純支持合成スラブ】

支 持 梁 (梁) (S梁) 設計基準強度 18 N/mm ² 以上の普通コンクリート、及び、軽量コンクリート (1種・2種) 耐火補強筋 : D13 (デッキープレート各品 300)						
耐 火 時 間	コンクリート種類	品 名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋 (D10-φ200)	許容積載荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9101	普通コンクリート	QL99-50	2.7 m 以下	80 mm 以上	φ6-150×150	算出式 注5) A 参照
		QL99-75	3.4 m 以下			算出式 注5) B 参照
	軽量コンクリート	QL99-50	2.7 m 以下			算出式 注5) A 参照
		QL99-75	3.4 m 以下			算出式 注5) B 参照
床、2時間耐火 FP120FL-9113	普通コンクリート	QL99-50	2.7 m 以下	95 mm 以上	φ6-100×100	算出式 注5) A 参照
		QL99-75	3.4 m 以下	90 mm 以上		算出式 注5) B 参照
	軽量コンクリート	QL99-50	2.7 m 以下	85 mm 以上		算出式 注5) A 参照
		QL99-75	3.4 m 以下			算出式 注5) B 参照

支持梁: 鉄骨(S)梁 又は 大梁: 鉄筋コンクリート(RC)梁又は鉄骨鉄筋コンクリート(SRC)梁の場合
耐火補強筋: D13 (デッキプレート各端φ300)



注1) スパンとは鉄骨梁の場合デッキプレートを支持する梁の中心間距離、鉄筋コンクリート梁の場合梁内法寸法をいう。
注2) スパンが3.4mを超える場合は、合成スラブと梁とは頭付きスタッド (軸径16mm以上、ピッチ300mm以下) で結合する。
注3) 鉄骨梁の場合、梁との接合は焼抜き栓溶接、打込み紙、または頭付きスタッドを用いる。
注4) 梁の耐火被覆: 梁に1、2または3時間の耐火性能が要求される場合は、それに応じ耐火被覆を施す。
注5) 許容積載荷重 W: 算出式

$$W = 5.400 \times \left(\frac{2.7}{L} \right)^2 \text{ かつ } 9.800 \text{ N/m}^2 \text{ 以下}$$
$$W = 5.400 \times \left(\frac{3.4}{L} \right)^2 \text{ かつ } 9.800 \text{ N/m}^2 \text{ 以下}$$

※許容積載荷重は、床にかかる全荷重 (仕上荷重も含む) から床荷重 (デッキプレートとコンクリートの自重) を差し引いた値を示す。

付帯条件

連続支持合成スラブの場合、デッキプレートは2スパン以上わたって連続的に小ばり等によって、ほぼ等間隔 (スパン比3:2を超えない程度) に支持されるものとする。

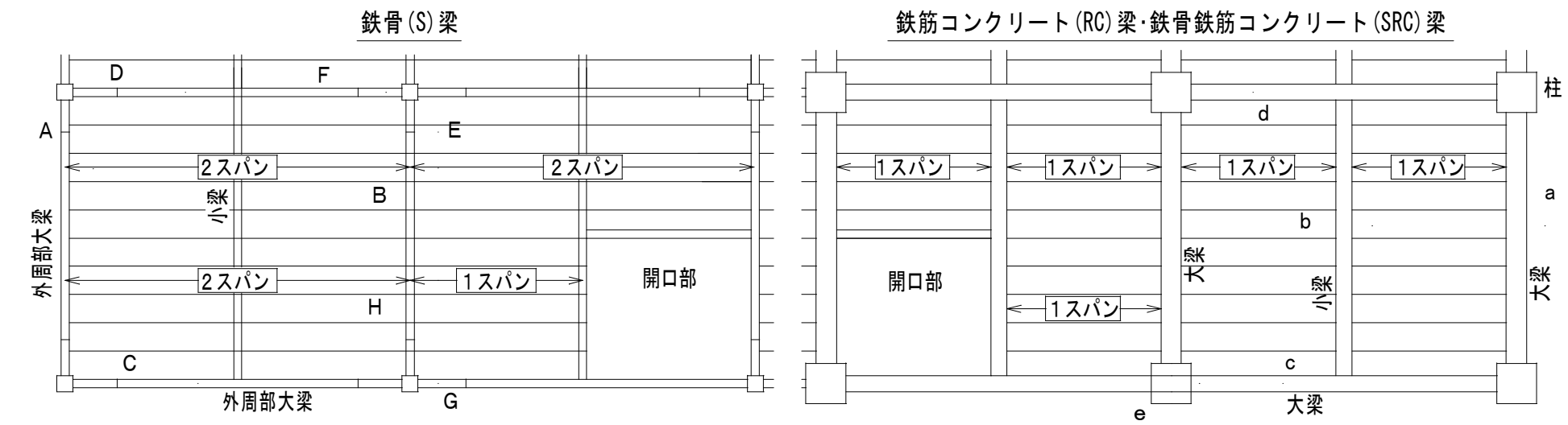
施工順序	敷 込 み
1) 頭付きスタッド 施工は、JASS6「鉄骨工事」による。 デッキプレートと梁とはアークスポット溶接等で接合する。 日本ヒルティ (株)	1) 焼抜き栓溶接 2) 打込み紙 3) 焼抜き栓溶接
QLデッキと梁との接合	1) 頭付きスタッド 2) 打込み紙 3) 焼抜き栓溶接
溶接金網敷込み	1) 頭付きスタッド 2) 打込み紙 3) 焼抜き栓溶接
コンクリート打設	

QL99-75	コンクリート厚 (mm)	60	70	80	90	100
支持条件	単純 (内法)	1.2 1.6	1.2 1.6	1.2 1.6	1.2 1.6	1.2 1.6
2 連続	3.31 3.61	3.24 3.55	3.18 3.48	3.13 3.42	3.07 3.37	
3 連続	4.02 4.30	3.96 4.24	3.91 4.18	3.83 4.04	3.73 3.94	

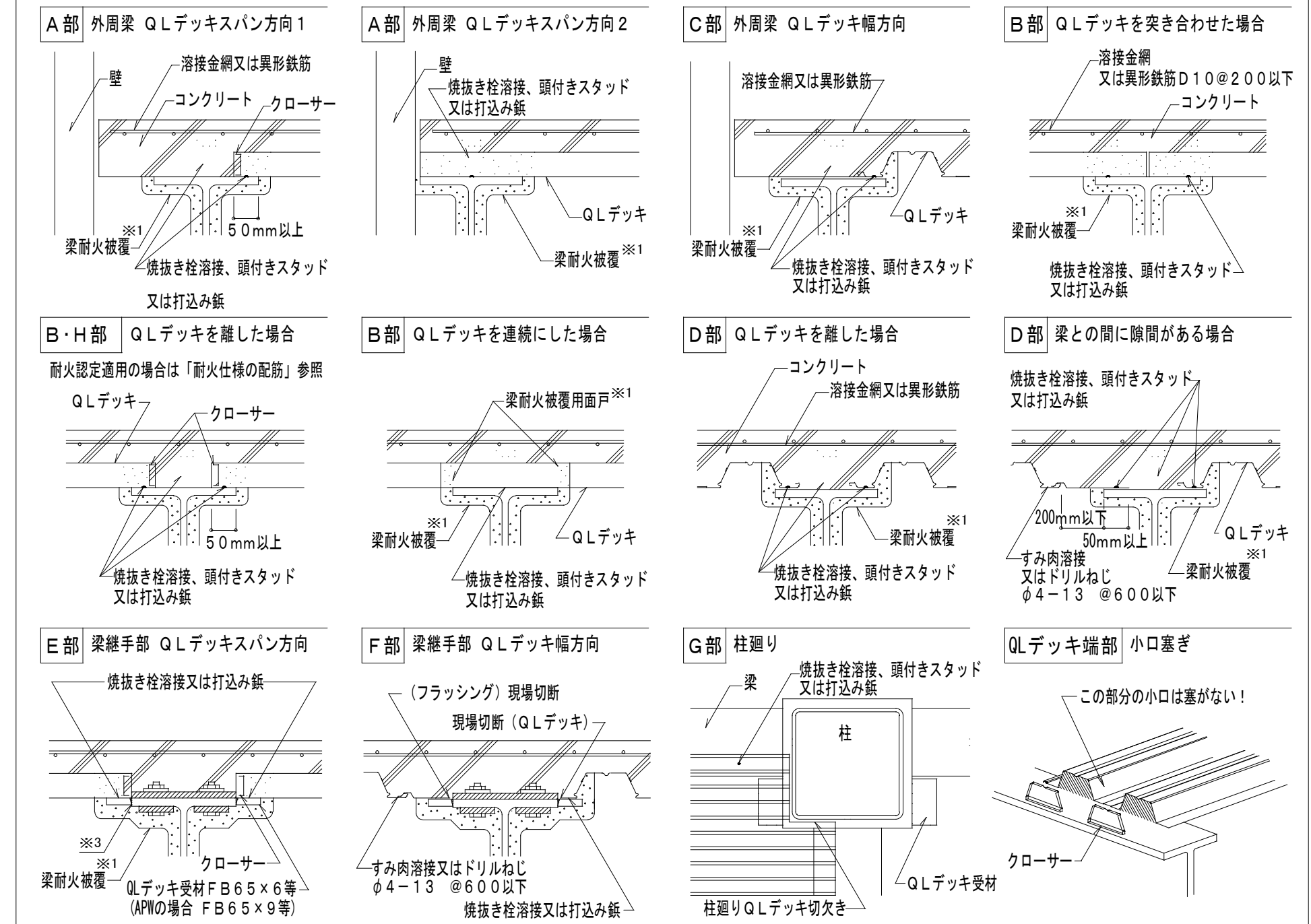
注1) 溶接機: 交流アーク溶接機 AW250A以上 エンジン溶接機 230A以上
注2) 溶接機: JIS Z 3211のE4316、E4916に定める低水素系被覆アーク溶接機で棒径4mmのもの
注3) 標準溶接条件: 溶接機: 板厚: 6mm以上 溶接電流: 190~230A (標準210A)
注4) 溶接機: JIS Z 3801、JIS Z 3841における基本級の資格者
注5) 手順: 要領 右の1~4の順に行う。

標 準 納 ま り

図中※1は、梁に1、2または3時間の耐火性能が要求される場合のみ適用。 ※2はQLデッキ耐火認定を適用する場合に必要。 ※3 溶接方法等は別途検討が必要。(合成スラブ工業会Q&A参照)

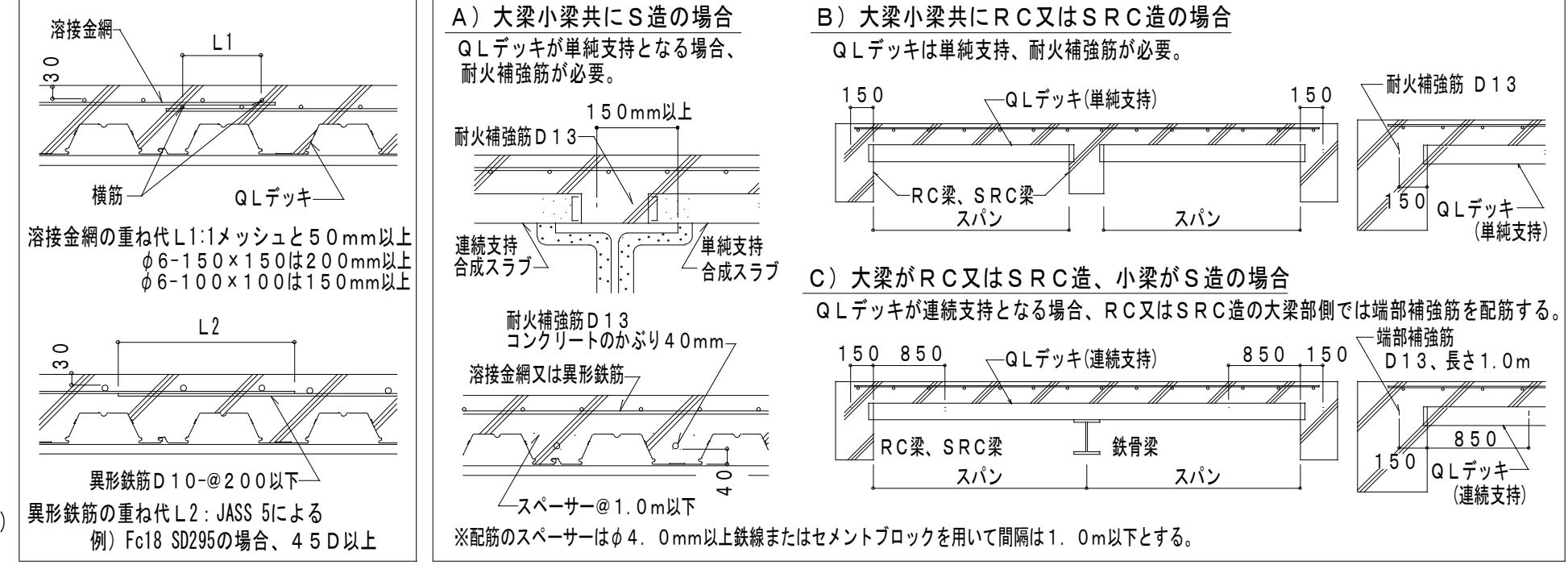


デッキプレートと梁の納まり [S梁]

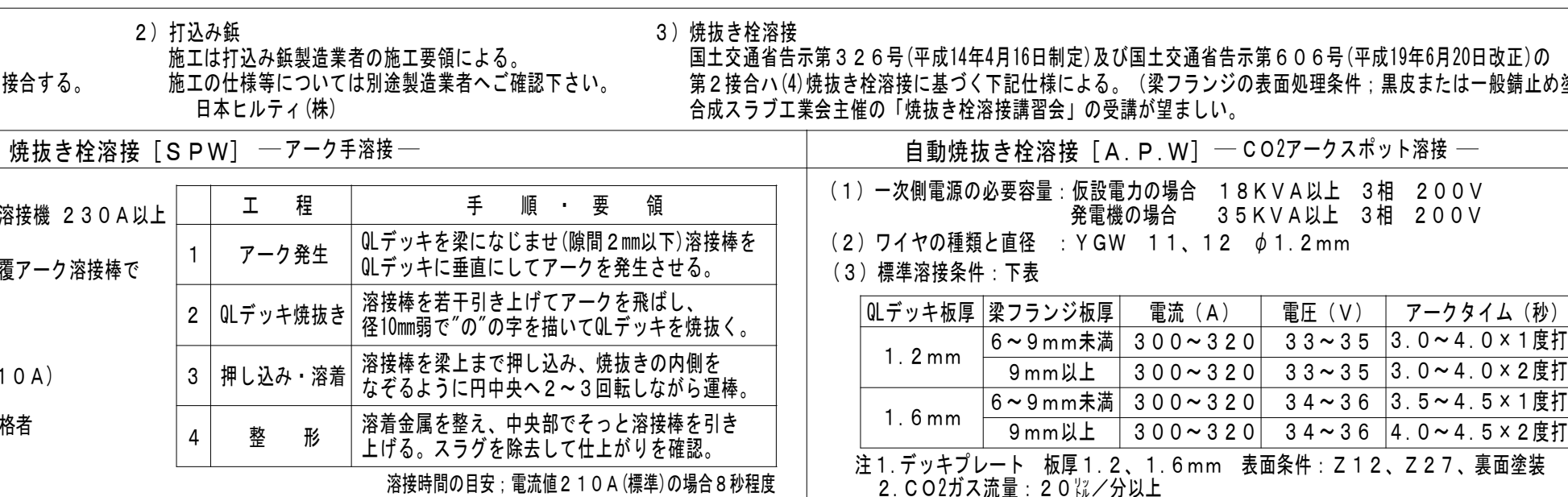


スラブの配筋

コンクリート表面のよりかぶり厚さが30mmになるようレベル保持し、全面に配筋する。



デッキプレートと梁との接合

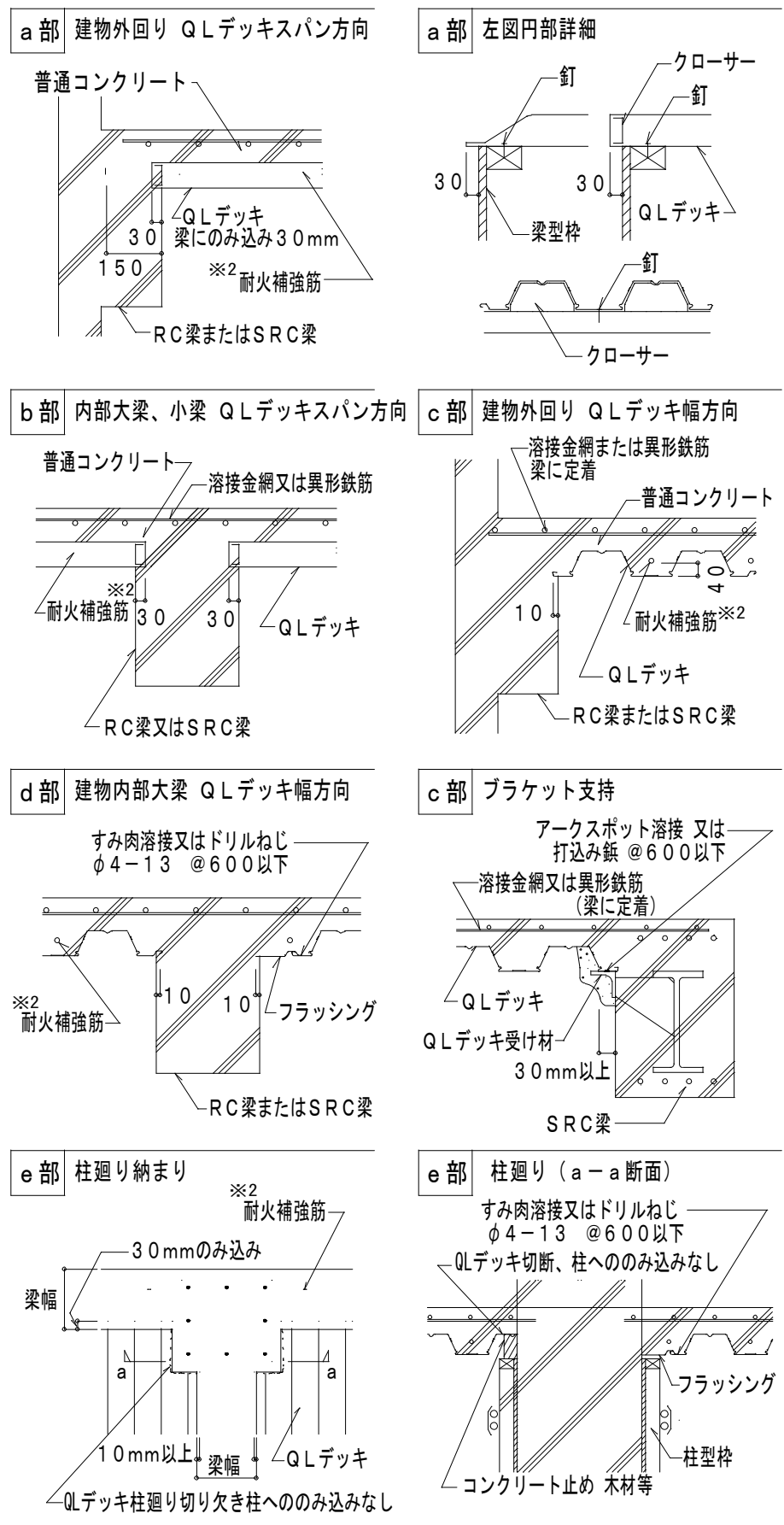


S造・施工時のスパンの取り方

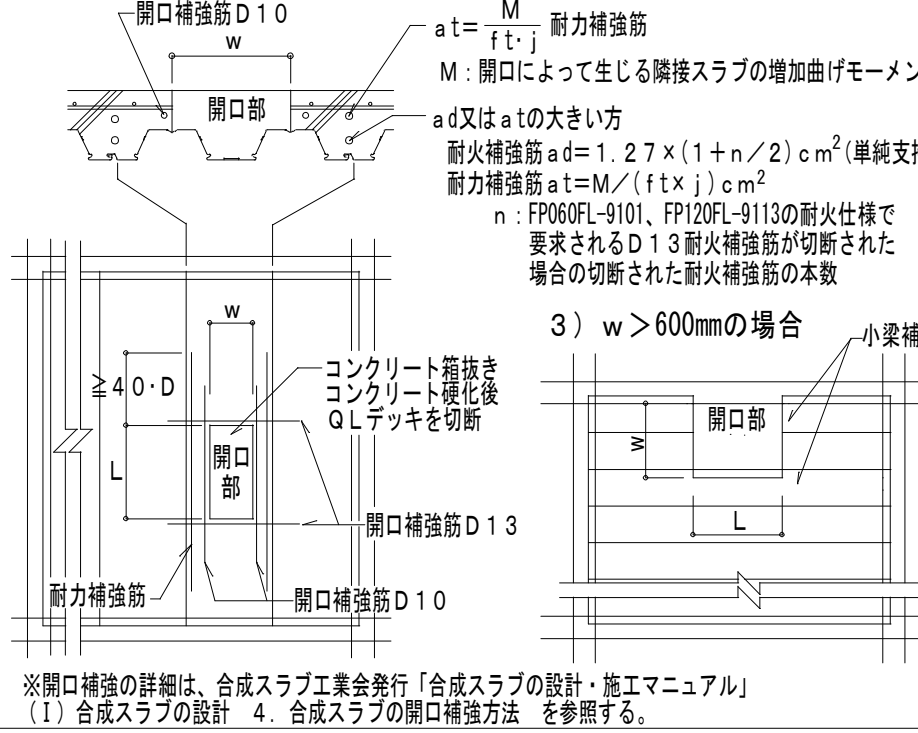
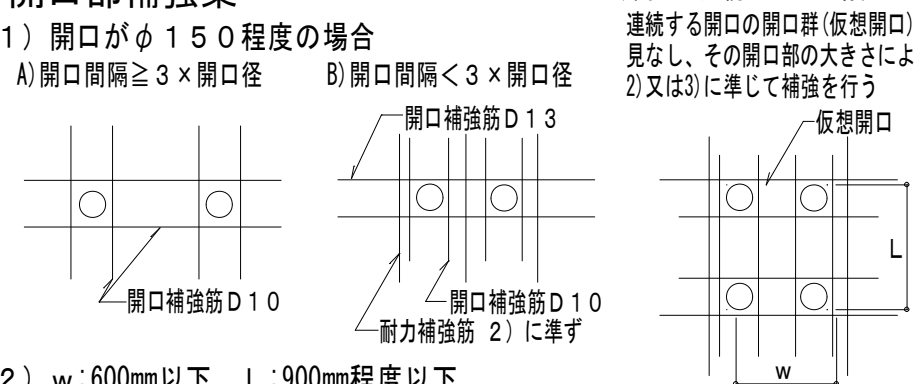
【単純支持】

【連続支持】

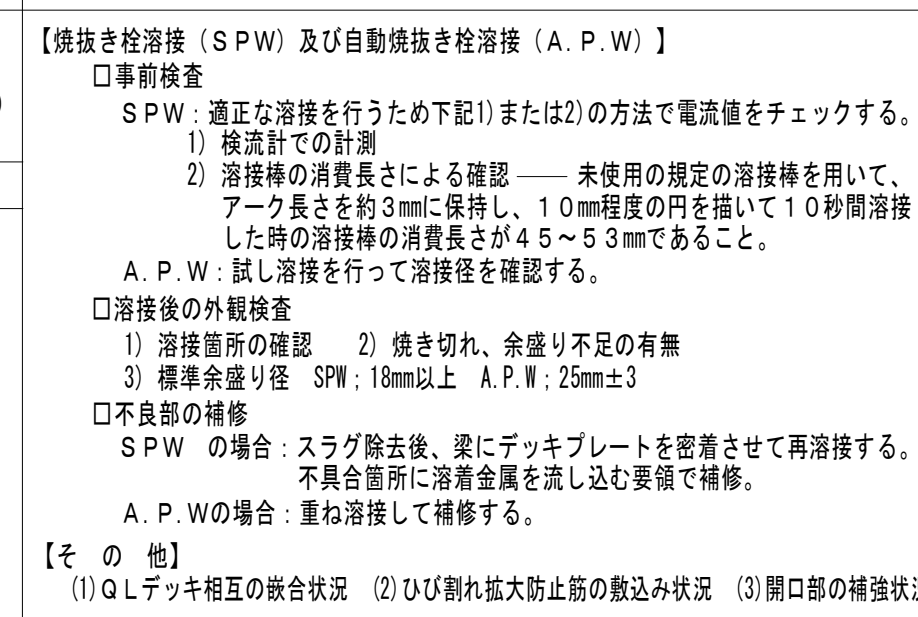
デッキプレートと梁の納まり [RC・SRC梁]



開口部補強案



検 査



【その他】

(1) QLデッキ相互の嵌合状況 (2) ひび割れ拡大防止筋の敷込み状況 (3) 開口部の補強状況

2021/7/01

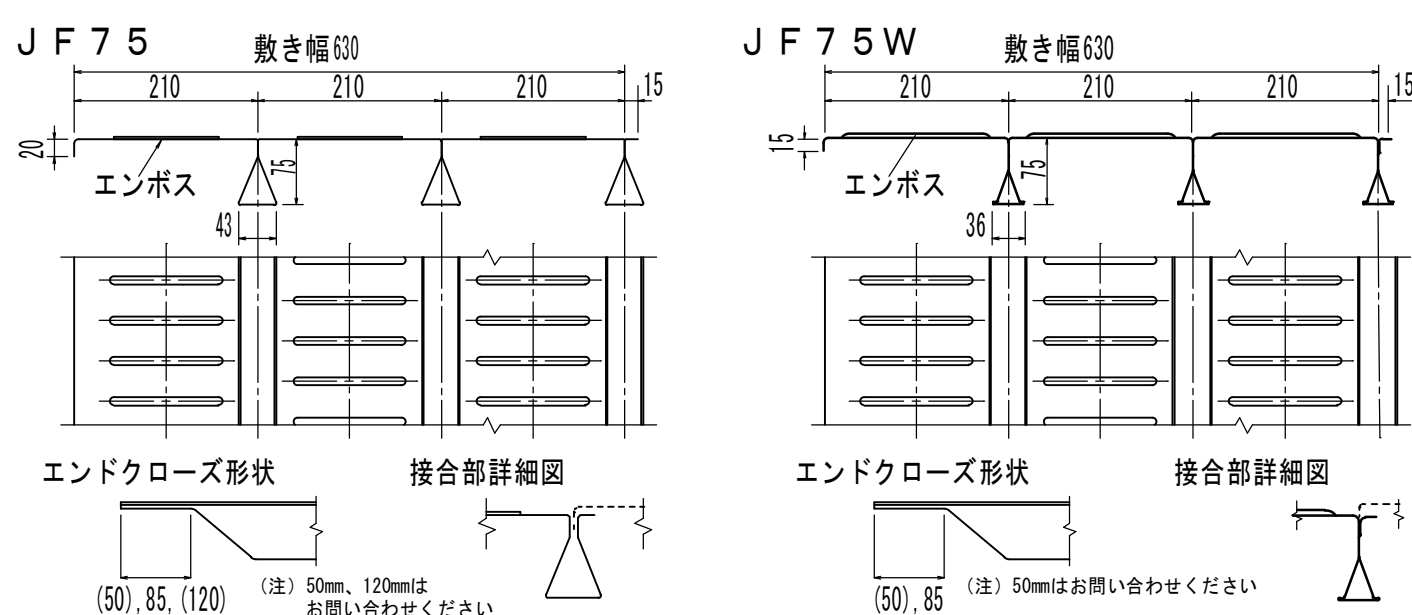
J F 7 5 ・ J F 7 5 W 設計・施工標準 JFE 建材 株式会社

1 型式・質量および断面性能

	型 式	板厚 [mm]	製 品 質 量		断 面 性 能	
			垂絡めつき(Z12)		I	Z
			[kg/枚/m]	[kg/m ²]		
□	J F 7 5 - 0 8	0.8	7.95	12.6	120	18.7
	J F 7 5 W - 0 8		7.97	12.6		
■	J F 7 5 - 1 0	1.0	9.88	15.7	150	24.4
	J F 7 5 W - 1 0		9.88	15.7		
□	J F 7 5 - 1 2	1.2	11.8	18.7	180	29.4
	J F 7 5 W - 1 2		11.8	18.7		
□	J F 7 5 - 1 4	1.4	13.7	21.8	206	34.4
	J F 7 5 W - 1 4		13.6	21.6		
□	J F 7 5 - 1 6	1.6	15.7	24.9	232	39.3
	J F 7 5 W - 1 6		15.5	24.6		

(注) JF75 (熊谷工場) と JF75W (神戸工場) の使い分けについて: 製品は原則、指定搬入先に近い工場にて製造し出荷致します

2 製品仕様



3 断面応力・たわみの計算

断面応力・たわみの計算は、一般に単純支持梁モデルを用いて計算する算定式および許容値は、下表とする

項 目	算 定 式	記 号 説 明
曲げ応力 (N/mm ²)	$\sigma = \frac{M}{Z} = \frac{W_L}{8Z} \times 10^3 \leq f_b$	σ: 曲げ応力 (N/mm ²) f _b : 許容曲げ応力 (N/mm ²) M: 最大曲げモーメント (N・mm/m) Z: 断面係数 (有効幅50mm考慮) (mm ³ /m) W _L : 設計(上載)荷重 (N/m)
たわみ (mm)	$\delta = \frac{C5WL^4}{384EI} \times 10^{-3} \leq \frac{L}{180}$	δ: たわみ (mm) C: 最大たわみ係数 (C=1.6) W _L : 設計(上載)荷重 (N/m) E: 鋼材のヤング係数 E=2.05×10 ⁵ N/mm ² (N/mm ²) I: 断面2次モーメント (全断面有効) (mm ⁴ /m) α: 施工割増係数 [別表参照] P: JFデッキリブ支圧荷重 (N/m) Pa: 許容支圧荷重 [別表参照] (N/m)
支圧耐力 (N/m)	P = W _L ≤ Pa	

許容支圧荷重 Pa (幅1m当たり)			
板厚 (mm)	0.8	1.0	1.2
許容支圧荷重 (N/m)	9,800	14,700	19,600

スパンLの取り方



スラブ厚と別許容スパン見下表 [施工時作業荷重1,470N/m²、施工割増係数考慮]

建物の構造	RC・SRC造 施工状況の種類	S造、RC・SRC造					RC・SRC造		
		I 類 [施工割増係数: α=1.0]					II 類 [α=1.25]		
		板厚 t	0.8mm	1.0mm	1.2mm	1.4mm	1.6mm	1.0mm	1.2mm
普通コンクリート	24	120	2,610	2,870	3,040	3,160	3,270	2,660	2,910
		125	2,580	2,850	3,010	3,130	3,250	2,630	2,870
		130	2,540	2,830	2,990	3,110	3,220	2,590	2,840
		135	2,510	2,810	2,960	3,090	3,200	2,560	2,800
		140	2,480	2,790	2,940	3,060	3,170	2,530	2,770
		145	2,450	2,770	2,920	3,040	3,150	2,500	2,740
		150	2,420	2,750	2,900	3,020	3,130	2,470	2,700
		155	2,400	2,730	2,880	3,000	3,110	2,440	2,670
		160	2,370	2,700	2,860	2,980	3,080	2,410	2,640
		170	2,320	2,640	2,820	2,940	3,040	2,360	2,590
軽量コンクリート	20	120	2,760	2,980	3,140	3,270	3,390	2,810	3,080
		125	2,730	2,950	3,120	3,250	3,360	2,780	3,040
		130	2,700	2,930	3,100	3,220	3,340	2,750	3,010
		135	2,670	2,910	3,070	3,200	3,310	2,710	2,970
		140	2,640	2,890	3,050	3,180	3,290	2,680	2,940
		145	2,610	2,870	3,030	3,150	3,270	2,650	2,900
		150	2,580	2,850	3,010	3,130	3,250	2,630	2,870
		155	2,550	2,830	2,990	3,110	3,220	2,600	2,840
		160	2,520	2,810	2,970	3,090	3,200	2,570	2,810
		170	2,470	2,780	2,940	3,060	3,160	2,520	2,760
20	20	120	2,420	2,750	2,900	3,020	3,130	2,470	2,700
		125	2,390	2,720	2,870	2,990	3,100	2,440	2,670
		130	2,360	2,690	2,840	2,960	3,070	2,410	2,640
		135	2,330	2,660	2,810	2,930	3,040	2,380	2,610
		140	2,300	2,630	2,780	2,900	3,010	2,350	2,580
		145	2,270	2,600	2,750	2,870	2,980	2,320	2,550
		150	2,240	2,570	2,720	2,840	2,950	2,290	2,520
		155	2,210	2,540	2,690	2,810	2,920	2,260	2,490
		160	2,180	2,510	2,660	2,780	2,890	2,230	2,460
		170	2,130	2,460	2,610	2,730	2,840	2,180	2,410

1) 部は、たわみで決定する範囲を示す。(単位: mm)

J F 7 5 ・ J F 7 5 W の設計・施工は、(一社)公共建築協会「平成18年版 床型枠用鋼製デッキプレート(フラットデッキ)設計施工指針・同解説」による。
J F 7 5 評価番号 [評価 第911-0100A003号]

種類の記号および材料

種類記号	付着量記号	最小付着量 (両面) [g/m ²]	使 用 材 料
SGCC	■ Z12	120	JIS G 3302「溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」 降伏点205N/mm ² 、引張強さ295N/mm ² 以上
SGHC	□ Z27	275	
SZACC	□ Y18	180	JIS G 3317「溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯」 降伏点205N/mm ² 、引張強さ295N/mm ² 以上
SZAHC	□ その他 ()		

(注) 断面性能の I は、断面2次モーメント(全断面有効)、Z は断面係数(有効幅50mm)を示します
Y18及びその他製品については、事前にご相談下さい

キーストンプレート

板厚	全断面有効 断面2次モーメント I [10 ⁴ mm ⁴ /m]	有効幅考慮 断面係数 Z [10 ³ mm ³ /m]	製品質量 垂絡めつき(Z12) kg/m	垂絡めつき(Z27) kg/m
0.8	1.2	2.2	9.80	5.89
1.0	1.6	3.0	13.70	8.40
1.2	2.1	4.0	18.70	11.20
1.4	2.7	5.2	24.90	14.80
1.6	3.4	6.6	32.60	19.40

原則として、デッキ長さが1,000mm未満の場合に使用。
(L=350~1,200mm) ※板厚: 0.8mm

種類	エンドクローズサイズ	製品長さ
J F 7 5	85, (50, 120) mm	1000~4900 mm
J F 7 5 W	85, (50) mm	1000~4900 mm

(注) 50mm、120mmはお問い合わせください

調整プレート W	調整プレート L
t x w x l	t x w x l
1.2 x 200	1.2 x 200
1.2 x 300	1.2 x 300
1.6 x 400	1.6 x 400

(注) RC梁型枠用調整プレートには、釘孔加工 (@600mm) 有り

設計荷重 W	設計荷重 W
W = W ₁ + W ₂ + W ₃	W ₁ : スラブ自重 = (スラブ厚) × (鉄筋コンクリート単重) W ₂ : フラットデッキ自重 W ₃ : 作業荷重(下記)

施工時作業荷重	■ 1,470N/m ² [ポンプ工法]	□ 2,450N/m ² [ホッパー・バケット工法]
コンクリート	普通コンクリート [24kN/m ²] [鉄筋コンクリート単重]	軽量コンクリート [20kN/m ²] []

施工割増係数 (支持梁がRC造またはSRC造の場合)	施工割増係数 (α)	施工条件など
□ I 類	1.0	RC造またはSRC造の場合で、荷重条件、施工条件等の適切な設定、管理により施工上の安全性が確実に確保される場合
□ II 類	1.25	I類以外のRC造またはSRC造の場合で、板厚1.0mmまたは板厚1.2mmのフラットデッキを使用する場合
□ III 類	1.5	I類以外のRC造またはSRC造の場合で、板厚0.8mmのフラットデッキを使用する場合

中間支保工を設ける場合の許容スパン見下表 [施工時作業荷重1,470N/m²]

・SRC造		施工状況の種類			I 類		II 類		III 類	
11[25]	II類[α=1.5]	施工割増係数	α=1.0			α=1.25		α=1.5		
1.2mm	0.8mm	スラブ厚S[mm]	板厚 t	0.8mm	1.0mm	1.2mm	1.0mm	1.2mm	0.8mm	
2.910	2.130	普通 コン クリ ート	24	120	4.370	4.900	4.900	4.900	4.270	
2.870	2.100			130	4.150	4.900	4.900	4.900	4.150	
2.840	2.080			140	3.950	4.900	4.900	4.900	3.950	
2.800	2.050			150	3.770	4.900	4.900	4.900	3.770	
2.770	2.030			160	3.600	4.900	4.900	4.830	3.600	
2.740	2.000			170	3.450	4.900	4.900	4.730	3.450	
2.700	1.980			180	3.310	4.900	4.900	4.640	3.310	
2.670	1.960			190	3.180	4.750	4.900	4.540	3.180	
2.640	1.930			200	3.060	4.570	4.900	4.460	3.060	
2.590	1.890			軽量 コン クリ ート	20	250	2.570	3.850	4.900	3.850
2.540	1.850	300	2.220			3.330	4.420	3.330	2.220	
2.490	1.820	120	4.900			4.900	4.900	4.900	4.520	
2.440	1.780	130	4.670			4.900	4.900	4.900	4.410	
2.240	1.640	140	4.450			4.900	4.900	4.900	4.310	
2.080	1.520	150	4.260			4.900	4.900	4.900	4.210	
3.080	2.260	160	4.080			4.900	4.900	4.900	4.080	
3.040	2.230	170	3.920			4.900	4.900	4.900	3.920	
3.010	2.200	180	3.770			4.900	4.900	4.900	3.770	
2.970	2.180	190	3.630			4.900	4.900	4.850	3.630	
2.940	2.150	20	20	200	3.500	4.900	4.900	4.770	3.500	
2.900	2.130			250	2.970	4.430	4.900	4.390	2.970	
2.870	2.100			300	2.570	3.850	4.900	3.850	2.570	

(単位: mm)

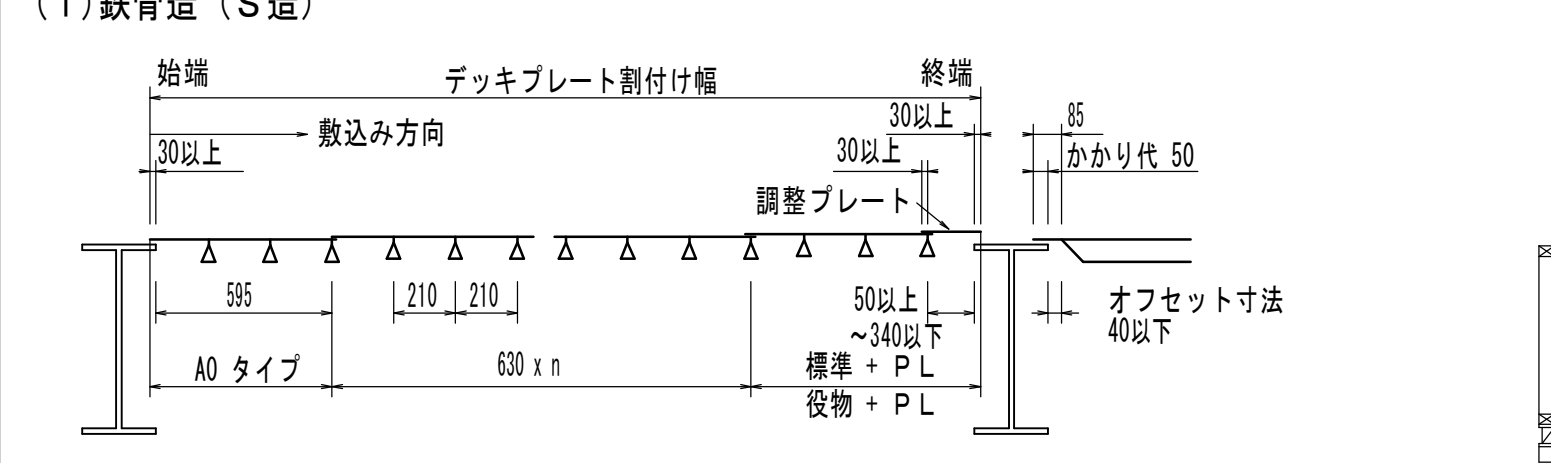
- 上表の数値は、中間支保工を設ける場合の J F 7 5 ・ J F 7 5 W リブの許容支圧荷重によって決まる許容スパンを示す
- RC造またはSRC造において梁型枠用 J F 7 5 ・ J F 7 5 W を支持する場合、スパンが3.0mを超えるときは中間支保工を設けることを原則とする
- J F 7 5 ・ J F 7 5 W 製品仕様書の最大長さは4.9m



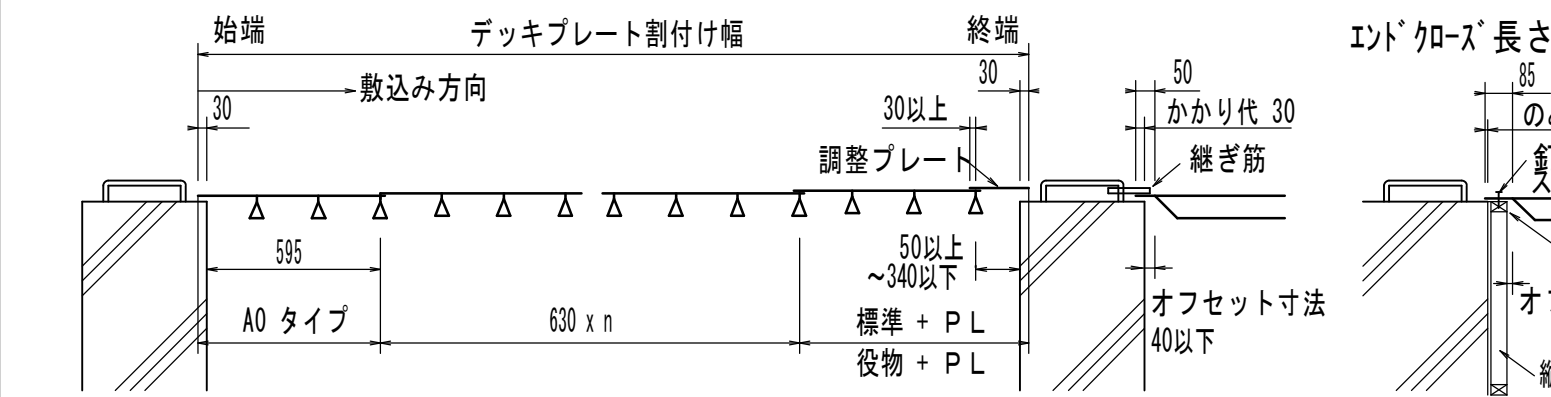
4 納まり例

4-1 割付け

幅方向の割付けは、標準品 (630幅) をベースに割付ける
始端・終端調整には役物、調整プレートを使用する

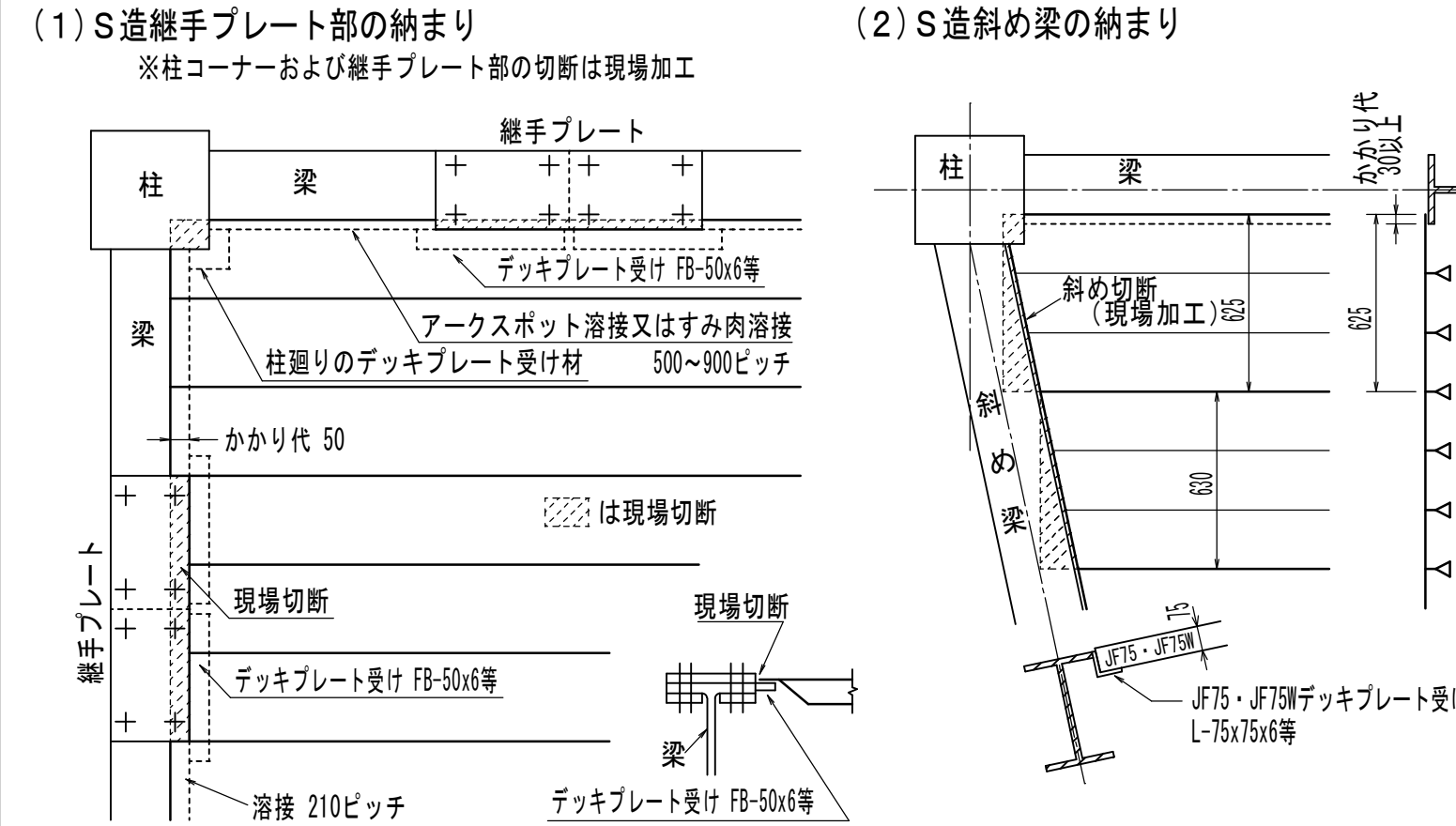


(3) RC置きスラブ (地中梁)

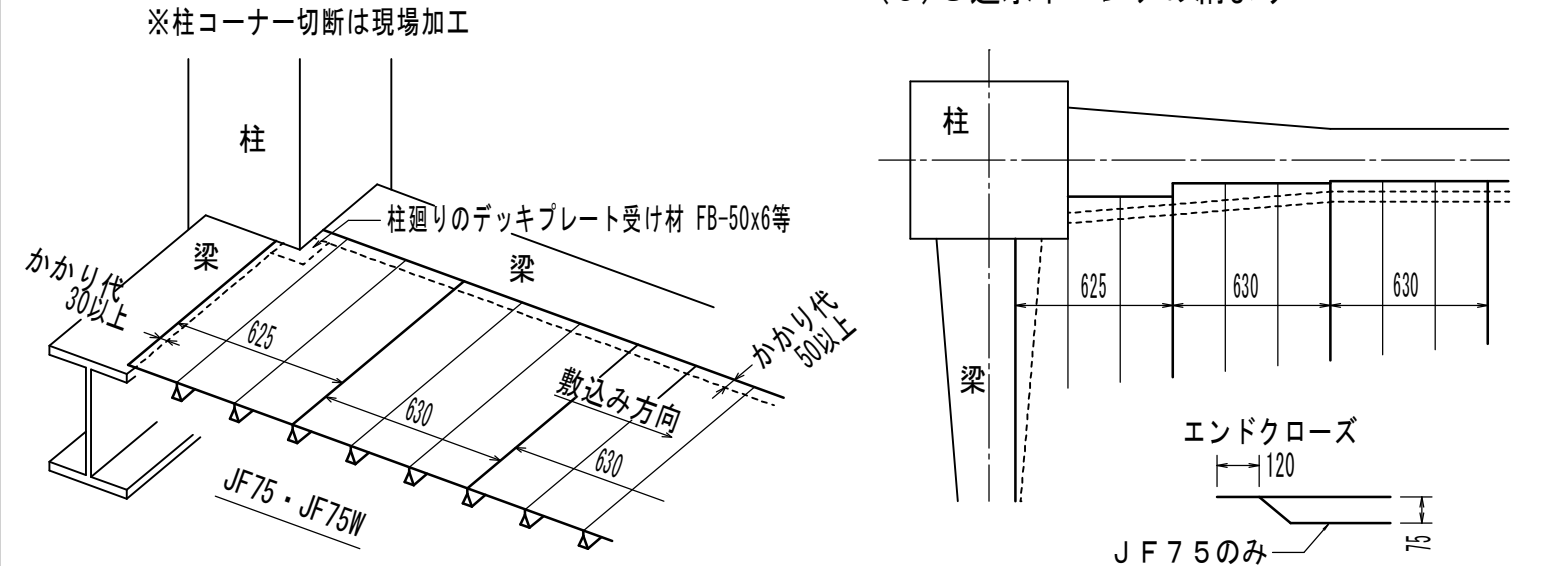


4-2 各所の納まり

デッキプレート受けは、設計荷重を十分支持可能な部材及び取付方法とする
デッキプレート受けのサイズは監理者の承認を得て決定すること

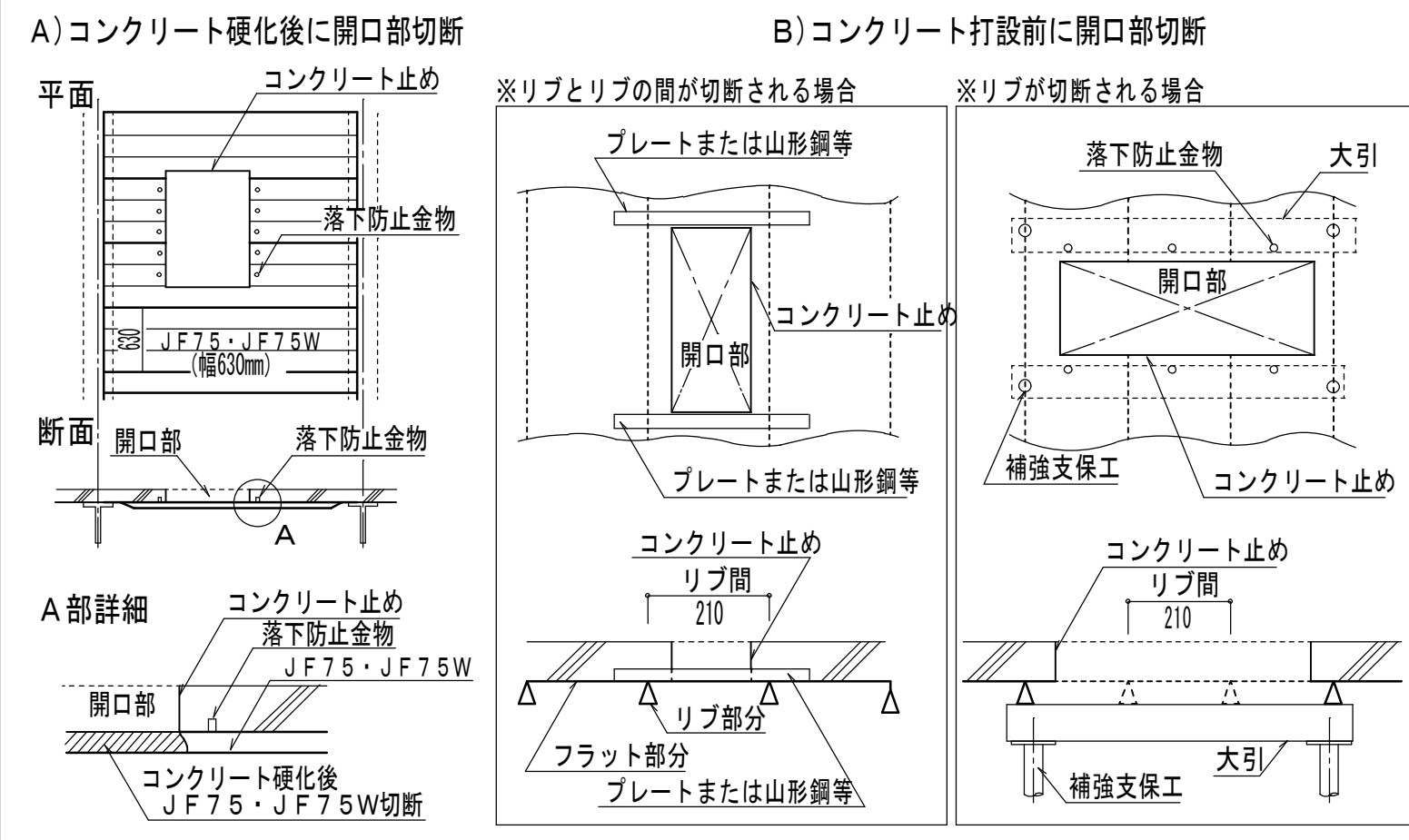


(4) S造柱廻りの納まり

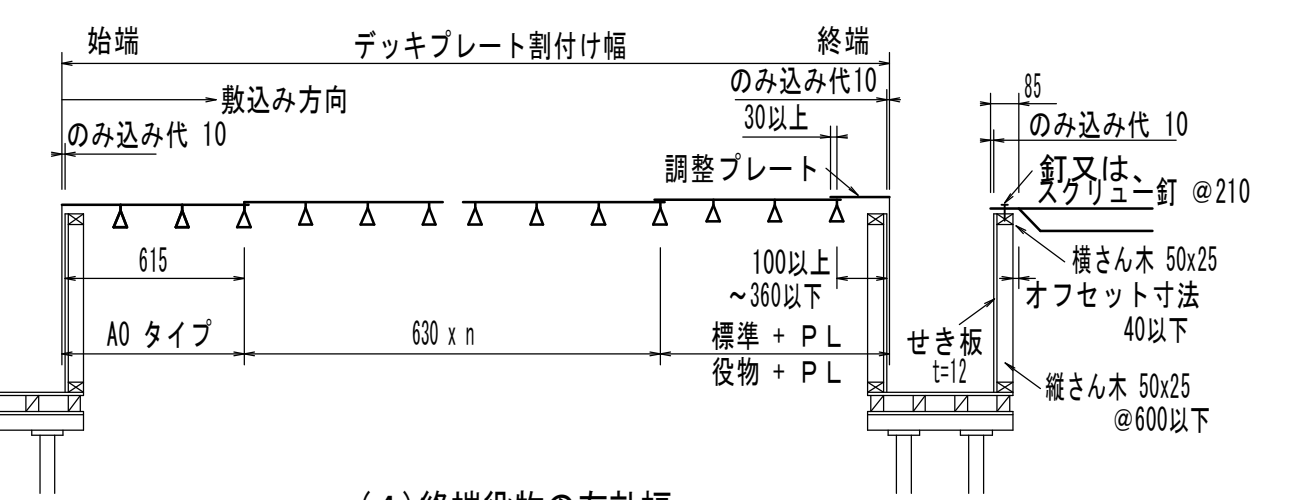


4-4 開口部納まり例

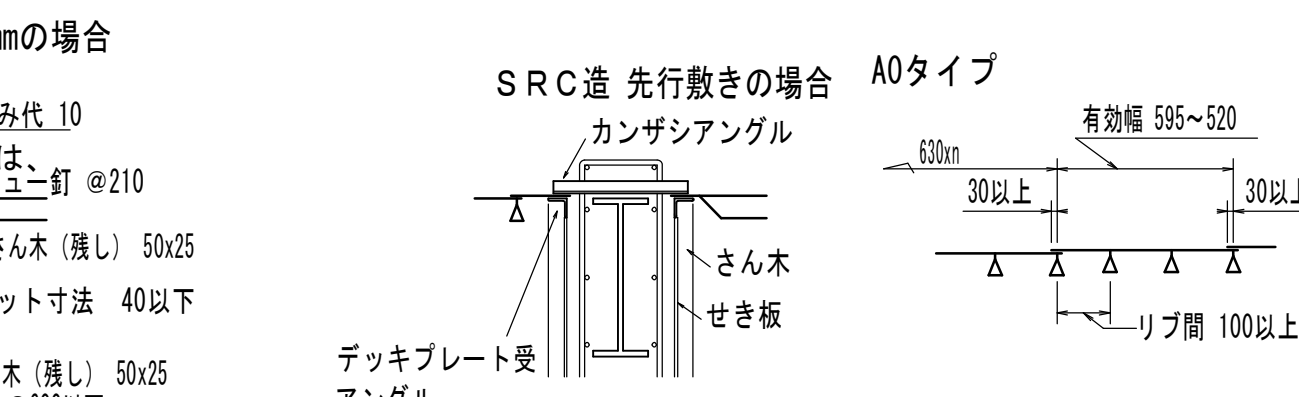
配線・配管・空調ダクト等の開口部の施工は、原則としてA図のようにあらかじめ型枠で囲い、コンクリート打設硬化後にデッキプレートを切断する。開口部の大きさにより、デッキプレートとコンクリートが剥離する恐れがある場合、切断部周辺に「落下防止金物」を取り付ける



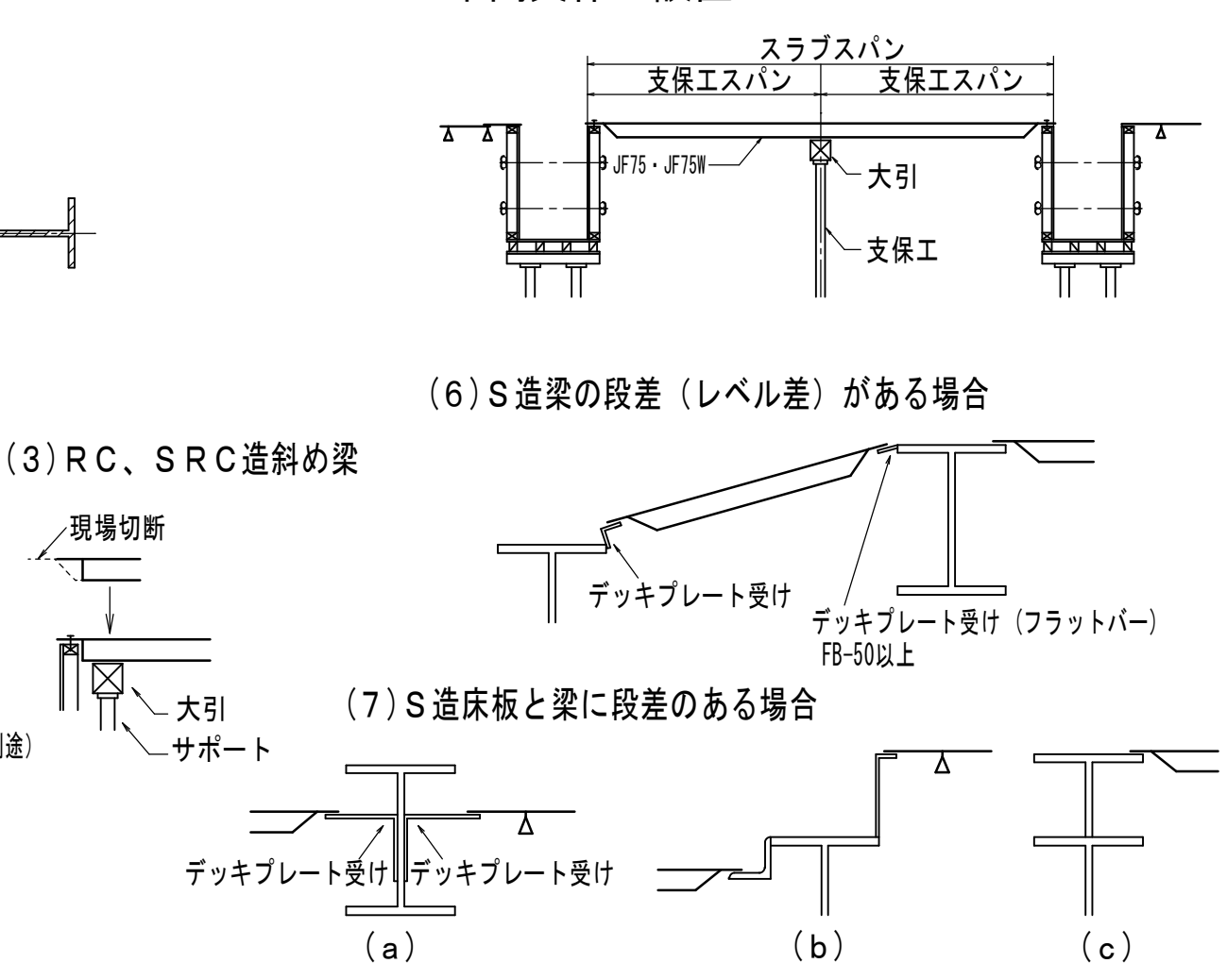
(2) 鉄筋コンクリート造 (RC造) 鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC造)



(4) 終端役物の有効幅



4-3 中間支保工設置



5 施工の要点

施工の要点は、下表のとおりとする
特殊なケースの場合は、その都度施工法を十分に検討し施工すること

項 目	内 容
1 保 管	(1) 敷込みとの関連を考慮して保管場所を決める (2) 薄板製品であることを十分に認識し変形に注意する
2 吊り込み	(1) 骨組の組立順序との関連を十分に検討する (2) 壁、パネル等の取り付け作業との関連を十分に検討する (3) クレーンの揚重能力の検討、パレットを用いる等安全対策を検討する (4) 揚重枚数と敷込み順序の関係等検討する
3 敷込み	(1) 始端かかり位置、中間位置(デッキ5枚位の位置)終端位置をマーキングする (2) 割付方向は図面に従い、間違いの無いようにする (3) 2枚目以降は最初のデッキプレートに倣うので最初の位置決めを正確に行い、確実に梁に固定する(落下防止等安全対策) (4) かかり寸法は厳守する (5) 敷込み後は速やかに溶接等で固定する
4 作業床	(1) 一時的な作業床で使用することも考えられるが、板厚が0.8~1.0mmのデッキプレートの場合は、接合部分の変形、破損しやすいので避ける (2) 受圧面積が極端に小さい集中荷重は避ける。集中荷重がかかる場合は、厚板等を敷く等の措置により受圧面積を大きくする (3) 油等コンクリートに有害なものは、コンクリート打設前までに取り除く (4) 資材等の仮置は避ける。止むを得ず仮置する場合は、デッキプレートに負担がかからないよう十分配慮する。特に0.8~1.0mmは注意する
5 コンクリート打設	(1) 打設は打設荷重等の施工荷重を極力低減するようにし、過荷重には十分注意する (2) 打設は、コンクリートの山(集中荷重)をつくらないようにする

特 記

(施工)	2022/07/21
1 級建築士大臣登録 第197755号 構造設計 1 級建築士 第6160号 上 原 明 彦	No. S-10

・本仕様書は別紙「NDコア設計・施工標準仕様書【柱・はり組合せ編】」と合わせて使用する。
・本仕様書に記載の無い事項は、「NDコアカタログ」の他、日本建築学会「建築工事標準書・同解説 JASS6鉄骨工事」(一財)日本建築センター「2018年版冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル」および関連規準に従うこと。

1. NDコア仕様

部材記号	長さ(mm)	設計記号※1	数量(個)	斜め切断(勾配)
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 □ND300 □ND350 ■ND400	728	ND400-728	12	□斜め切断 ()度、寸
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 □ND300 □ND350 ■ND400	810	ND400-810	4	□斜め切断 ()度、寸
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 □ND300 □ND350 □ND400				□斜め切断 ()度、寸
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 □ND300 □ND350 □ND400				□斜め切断 ()度、寸
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 □ND300 □ND350 □ND400				□斜め切断 ()度、寸
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 □ND300 □ND350 □ND400				□斜め切断 ()度、寸
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 □ND300 □ND350 □ND400				□斜め切断 ()度、寸
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 □ND300 □ND350 □ND400				□斜め切断 ()度、寸
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 □ND300 □ND350 □ND400				□斜め切断 ()度、寸

※1 設計記号は、部材記号-長さ(mm)で記入する。(例)ND300-600、ND200-550

(1) NDコアの形状寸法および重量

部材記号	外径B※2 (mm)	公差	板厚t (mm)	単位質量 (kg/m)	長さ範囲※3 (mm)	材質	断面形状※4※5
ND150	152	+2.0 -2.0	16.5	69.8	150~	SN490B-ND※6	
ND175	177		17.0	85.1			
ND200	202		22.0	124			
ND250	252		24.0	184			
ND300	302		29.0	265			
ND350	352		33.8	360			
ND400	402		38.6	470			

※2 コラムとの食い違い防止のため、NDコアの外径Bを基準寸法としている。

※3 NDコアの長さは1.0mmピッチで対応。

※4 NDコア側面には溶接ビードの盛り上がりがあるため、はり取付時はグラインダで仕上げをするかしくははりウェブを切り欠くなど適切に処置すること

※5 NDコアの角部に突起が生じてはりと干渉する場合、はり取付時にグラインダで仕上げをするなど適切に処置すること。

※6 SN490B-ND 日本産業規格JIS G 3136(建築構造用圧延鋼材)2012の9形状、寸法、質量およびその許容差には適合していないが、当該JISに示されるSN490Bの4化学成分、6炭素当量及び溶接割れ感受性組成、7機械的性質 10外観、11試験、12検査、13再検査の各規定に適合している。

※7 NDコアの表面に錆が発生していることがあります。はりとの溶接時に支障となる錆は除去して下さい。

(2) 適用する柱およびはり材

a) 適用する柱材の材質および規格

- ・建築構造用冷間成形角形鋼管 BCR295
- ・一般構造用角形鋼管(JIS G 3466) STKR400

b) 適用するはり材の材質および規格:下記規格のH形鋼

- ・建築構造用圧延鋼材(JIS G 3136) SN400B、C
- ・一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101) SS400
- ・溶接構造用圧延鋼材(JIS G 3106) SM400A、B

2. NDコア仕様の決め方

(1) NDコア長さLの設定方法と注意点

a) NDコアの長さLは、取付く各はり(最大で4方向)全てに対して、最小余長eを確保し、かつ最小長さl以上となるようにする。

最小余長e、最小長さlは柱はりの組合せで決まっている寸法であり「設計・施工標準仕様書【柱はり組合せ編】」を参照する。

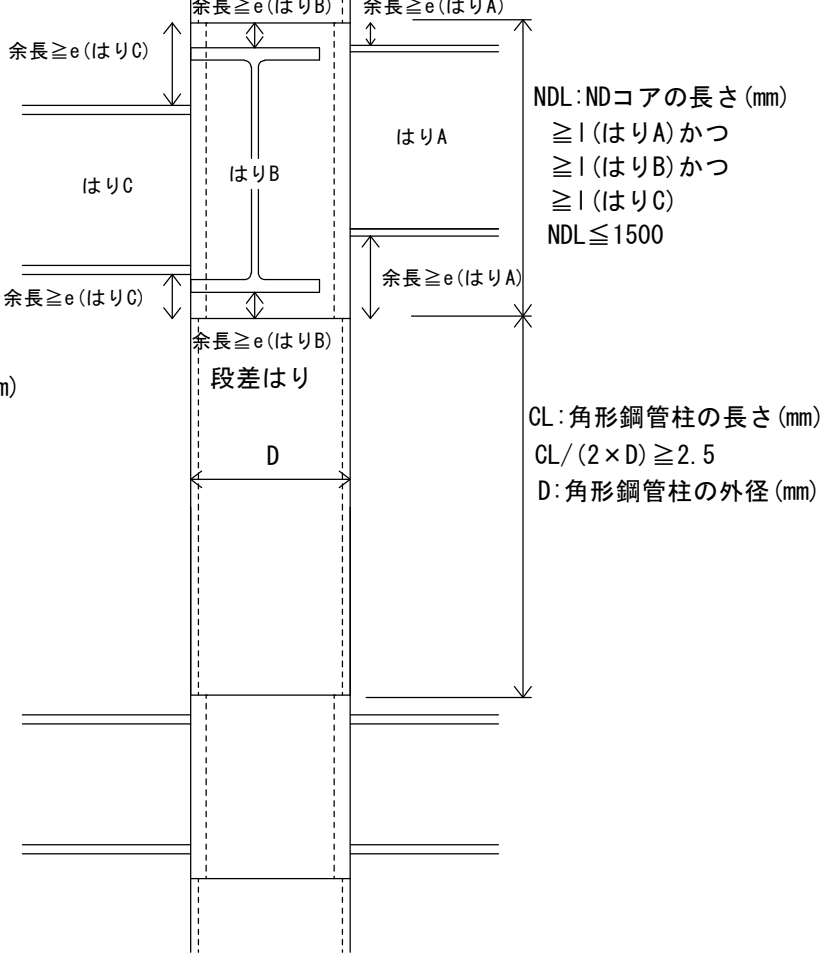
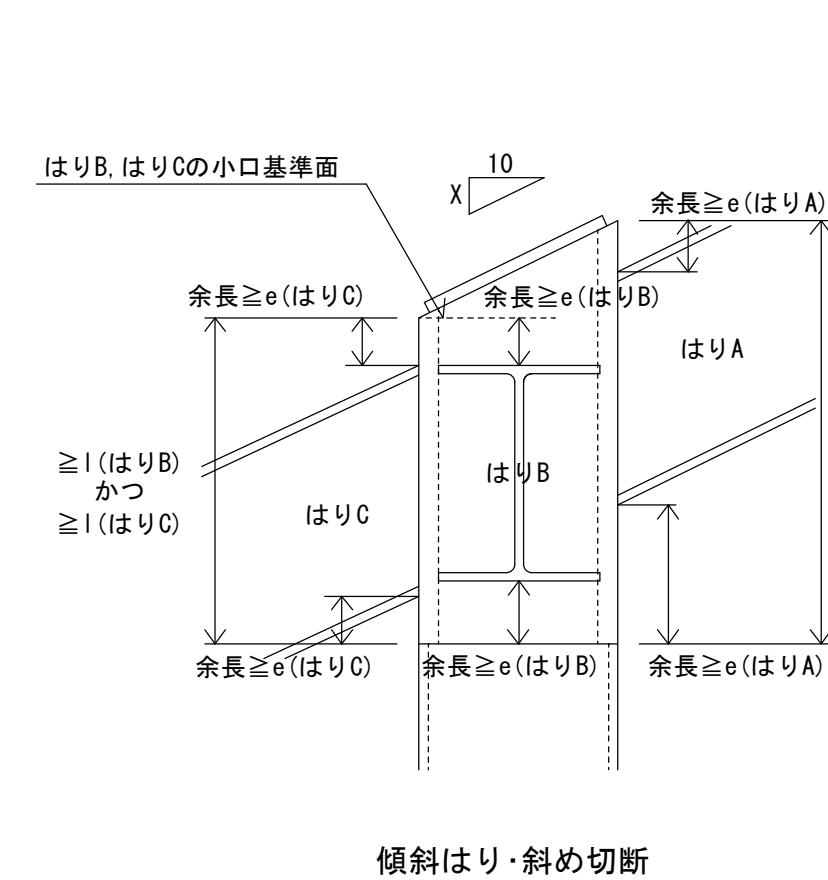
b) はりに傾斜がある場合には、はり取り付け部の長さの増加を加えてNDコア長さを設定すること。

c) 柱頭部上部を斜め切断仕様とする場合は、それぞれの接合面に対応する小口において、最小余長e、最小長さlを確保する。

小口が傾斜している面では、低い位置を基準として最小余長e、最小長さlを確保する。

d) 柱頭部の斜め切断の勾配は45°(10寸勾配)以下とする。(斜め切断は一方のみとし、部分切断は不可)

e) NDコアは厚肉鋼管のため角形鋼管柱より剛性があります。層に占めるNDコア全長の割合が大きい場合、曲げとせん断力の比率に応じ、柱の変形性能が変わります。そのため評定CBLSS08-19の適用範囲において柱せん断スパン比は2.5以上、NDコアの長さは1500mm以下となっております。



(2) 柱頭部仕様

a) 柱頭部では、NDコア小口面に下表に示す補強プレートを取り付けること。

b) 柱頭部を斜め切断する場合は、片流れの切断とし、切断角度は45°以下とする。

(斜め切断は一方のみとし、部分切断は不可)

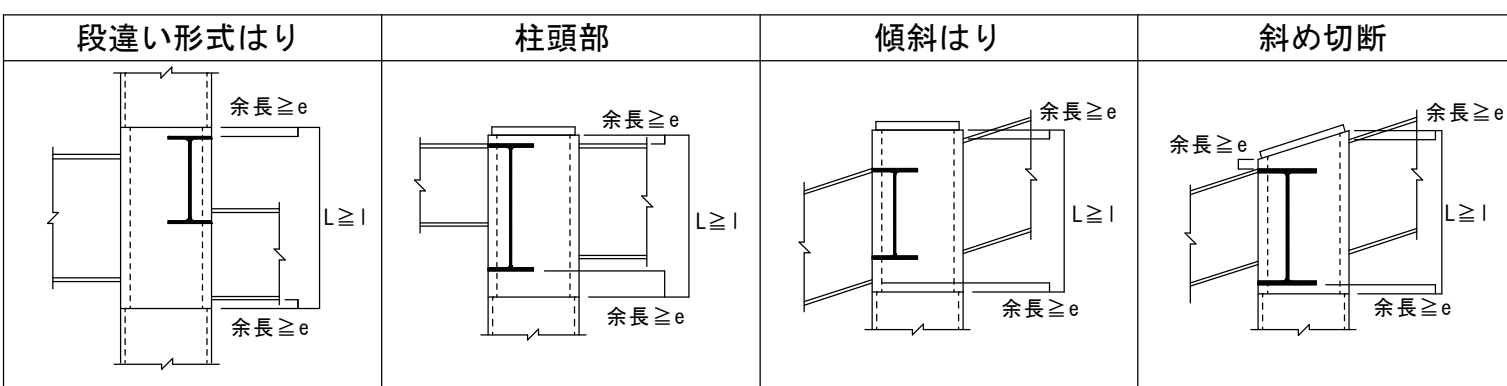
c) どぶ付けめっきのため補強プレートに開口を設ける場合は、断面欠損を考慮し、板厚を増すことが望ましい。

補強プレート仕様

NDコア部材記号	斜め切断無し 寸法(mm)	板厚(mm)	斜め切断有り 寸法(mm)	板厚(mm)
ND150	130×130	≥6	130×PL	≥6
ND175	155×155	≥6	155×PL	≥6
ND200	170×170	≥9	170×PL	≥9
ND250	220×220	≥9	220×PL	≥9
ND300	270×270	≥12	270×PL	≥12
ND350	310×310	≥12	310×PL	≥12
ND400	360×360	≥16	360×PL	≥16

材質: SN400A、B、C、SS400、SM400A、B、C

【NDコア長さLの採り方例】



3. 鉄骨躯体の設計方法

- a) NDコアは柱・はり組合せ表の範囲において柱、はりに対して、許容応力度設計、保有耐力接合条件を満足しており、あらためて接合部の検討は不要である(【柱はり組合せ編】参照)。
- b) NDコアを用いた柱はり接合部では、通しダイアフラム形式の架構と同様に節点を剛とし、柱およびはりを線材置換して、鉄骨フレームの設計を行うことができる。
- c) NDコアを用いた柱およびはり等の鉄骨フレームの設計については、下記の規基準等によるものとし、通常の設計フローに従って、部材の設計、架構解析、耐力の確認等を行う。ただし、ルート3を用いて設計をする場合、NDコアは適用範囲においてパネル崩壊とならないため、柱はり耐力比から崩壊形を判定して保有耐力の検討を行う。

- ・平成20年5月23日施行改正建築基準法
- ・平成19年国土交通省告示第593号、第594号、第595号、第596号
- ・(一財)日本建築センター「2020年版建築物の構造関係技術基準解説書」
- ・同「2018年版冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル」

4. NDコア鉄骨製作要領

(1) 鉄骨製作方法

- a) NDコアと柱およびはりの接合は鉄骨製作業者が行い、施工管理は鉄骨製作業者に属する鉄骨製作管理技術者が行う。鉄骨製作に関し特に確認すべき事項については「NDコア鉄骨加工要領書」に示す。
- b) 記載なき事項については、(一社)日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説 JASS6鉄骨工事」、同「鉄骨工事技術指針」、および(一財)日本建築センター「2018年版冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル」による。

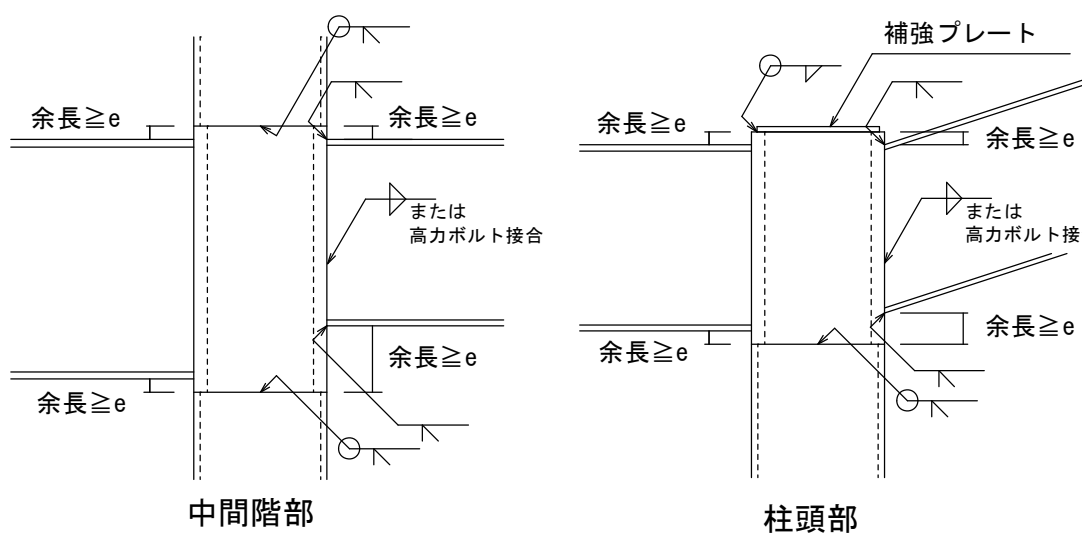
(2) 接合方法

- a) NDコアと柱およびはりフランジとの接合は完全溶け込み溶接とし、NDコアとはりウェブとの接合は隅肉溶接または高力ボルト接合とする。
- b) NDコアとはりの接合はNDコア小口面から余長e以上を確保して接合する。余長eは別紙「柱はり対応表」にて特記の無い限りは25mmとする。
- c) NDコアは、NDコア小口面から余長eを除いた全ての部分ではりの取り付けが可能だが、はり外面合せの場合、NDコアの角部分と裏当て金に隙間が生じたときは、隙間を溶接で埋めて本溶接を行う等適切に処置する。
- d) NDコアとはりとの接合の際、NDコア製作時の溶接余盛とはりが接触する場合は、グラインダで平滑に仕上げる等適切に処置する。

(3) 柱頭部補強プレート取り付け方法

- a) 柱頭部は、NDコア小口面に右表に示す仕様の補強プレートを全周隅肉溶接により取り付ける。
- b) 全周隅肉溶接は右表に示す溶接サイズで、490N級の溶接ワイヤを用いて行う。
- c) 柱頭部を斜め切断すると、NDコア小口面の長さが増加するため、右図を参考に、実状に合わせて補強プレートを準備する。

ルート1-1	通しダイアフラム形式のBCR295と同様にフレーム設計が可能。
ルート1-2	
ルート2	
ルート3	通しダイアフラム形式のBCR295と同様にフレーム設計が可能。 ただし、NDコア使用部においてパネル崩壊が生じないため、柱・はり耐力から崩壊形を判定して、フレーム設計を行う。 崩壊形の判定に影響しない、柱頭部については、特別な検討は不要である。



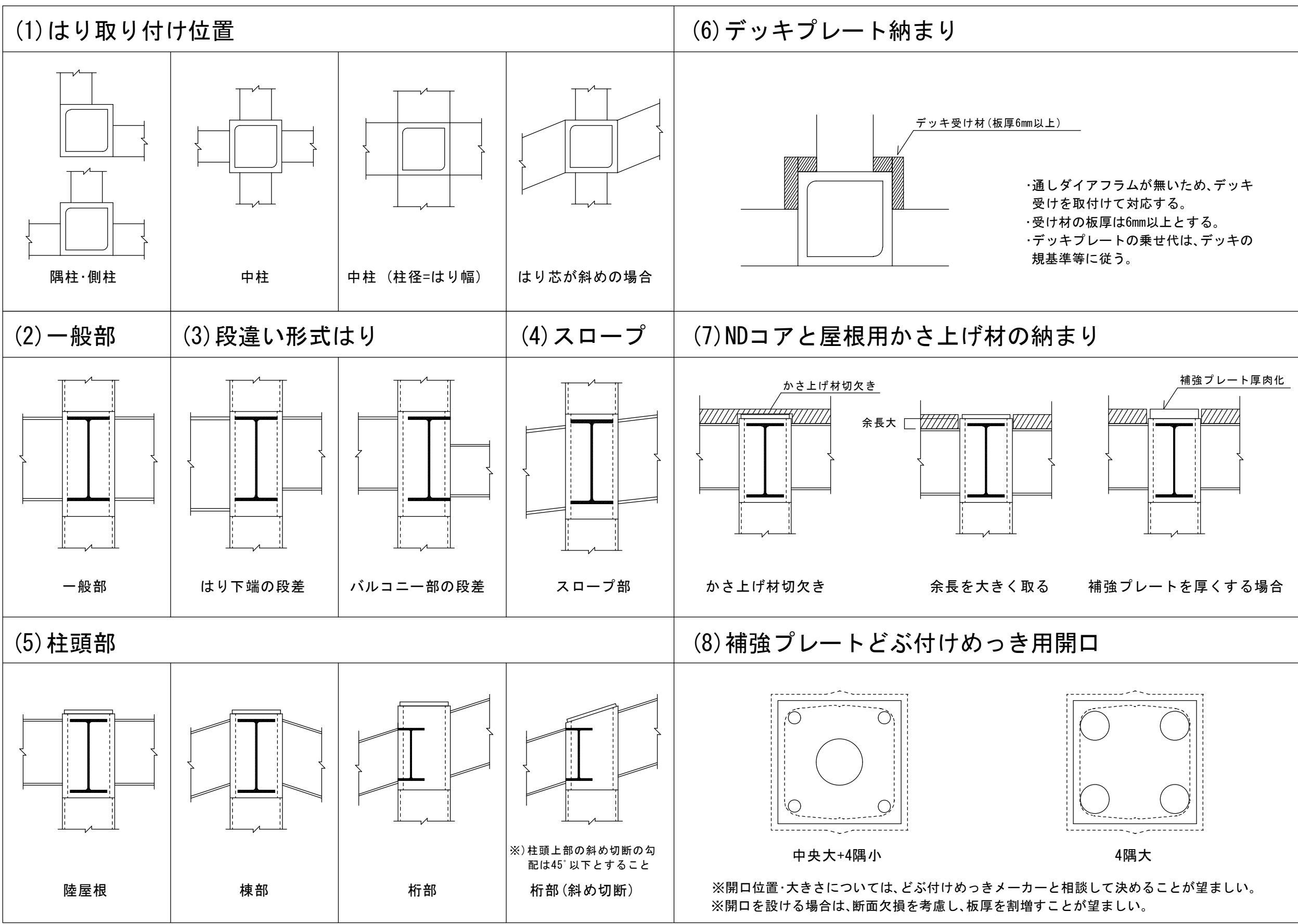
補強プレート取り付け仕様

NDコア部材記号	斜め切断無し 寸法(mm)	板厚※ (mm)	斜め切断有り 寸法(mm)	板厚※ (mm)	隅肉溶接仕様 溶接サイズ (mm)
ND150	130×130	≥6	130×PL	≥6	≥6
ND175	155×155	≥6	155×PL	≥6	≥6
ND200	170×170	≥9	170×PL	≥9	≥9
ND250	220×220	≥9	220×PL	≥9	≥9
ND300	270×270	≥12	270×PL	≥12	≥12
ND350	310×310	≥12	310×PL	≥12	≥12
ND400	360×360	≥16	360×PL	≥16	≥16

材質: SN400A、B、C、SS400、SM400A、B、C

※ 角落ち防止のため、板厚は1サイズアップを推奨する。

5. NDコア納まり例

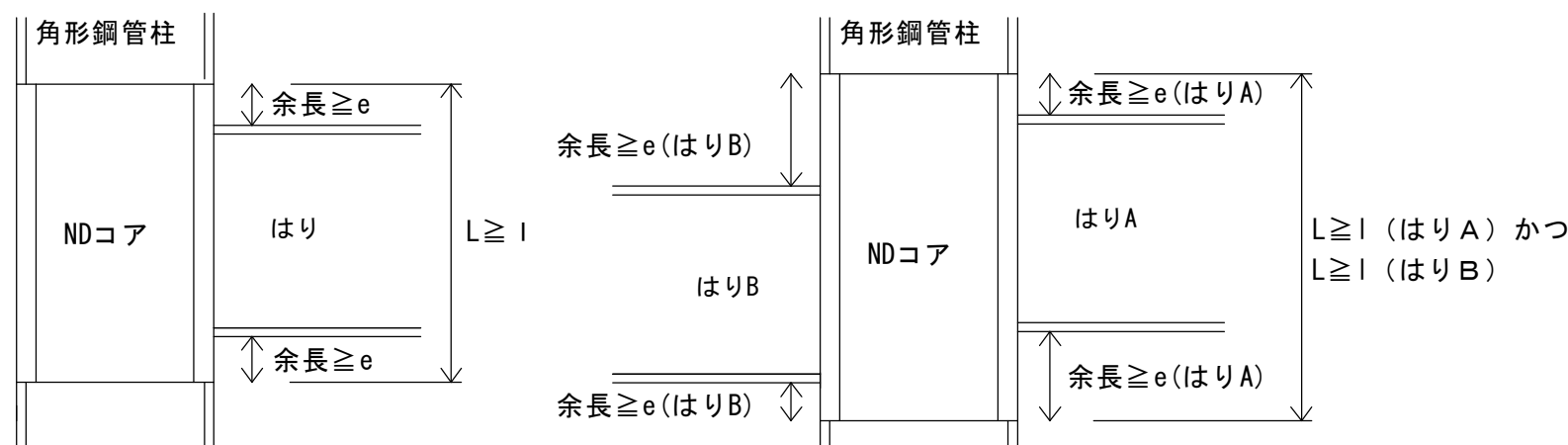


1. 表の見方

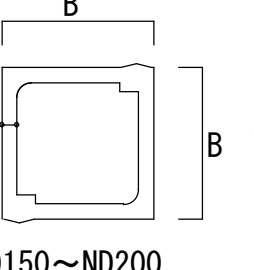
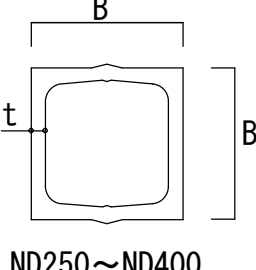
使用する柱（横軸）、はり（縦軸）を選択し、NDコアの必要最小長さ l と余長の必要最小寸法 e を確認する。

※1 記載の無い場合は25mmとする。記載がある場合、数値以上の余長を確保する。

- ・柱材：BCR295およびSTKR400の冷間ロール成形角形鋼管
- ・はり材：400N級（SS400、SM400、SN400B-C等）のJIS G 3192記載のH形鋼
- ・NDコア長さL：NDコアの長さ
- ・最小長さl：柱はり組合せで決まるNDコアの最小長さ
- ・余長e：NDコア小口面から はりフランジ端面までの距離
- ・最小余長e：確保する余長の最小値



2. NDコアの形状および寸法

部材記号	外径 ^{※2}		板厚t	単位質量	長さ範囲 ^{※3}		材質	断面形状 ^{※4※5}
	(mm)	公差			(mm)	公差		
ND150	152	+2.0 -2.0	16.5	69.8	150～	+3.0 -0	SN490B-ND ^{※6}	
ND175	177		17.0	85.1				
ND200	202		22.0	124				
ND250	252		24.0	184				
ND300	302		29.0	265				
ND350	352		33.8	360				
ND400	402		38.6	470				

※2 コラムとの食い違い防止のため、NDコアの外径Bを基準寸法としている。

※3 NDコアの長さは1.0mmピッチで対応。

※4 NDコア側面には溶接ビードの盛り上がりがあるため、はり取付時はグラインダで仕上げをするか、もしくははりウェブを切り欠くなど適切に処置すること。

※5 NDコアの角部に突起が生じてはりと干渉する場合、はり取付時にグラインダで仕上げをするなど適切に処置すること。

※6 SN490B-ND 日本産業規格JIS G 3136(建築構造用圧延鋼材)2012の9形状、寸法、質量およびその許容差には

適合していないが、当該JISに示されるSN490Bの4化学成分、6炭素当量及び溶接割れ感受性組成、7機械的性質

10外観、11試験、12検査、13再検査の各規定に適合している。

3. 注意点

- ・組合せ表の最小長さ l、最小余長 e は、はりの短期降伏耐力をはり全断面を有効として設定している。
- ・NDコアの標準的な納まり等は、「NDコア設計・施工標準仕様書【基本仕様編】」に記載している。
- ・NDコアの表面に錆が発生していることがあります。はりとの溶接時に支障となる錆は除去して下さい。

4. NDコア最小長さ l と余長 e

※最小余長eに記載の無い場合は25mmとする。記載がある場合は、数値以上の余長を確保する。

※表中のNG範囲は適用不可。斜線部分は個別に検討が必要なので問い合わせ下さい。

4-1. はり細幅系列

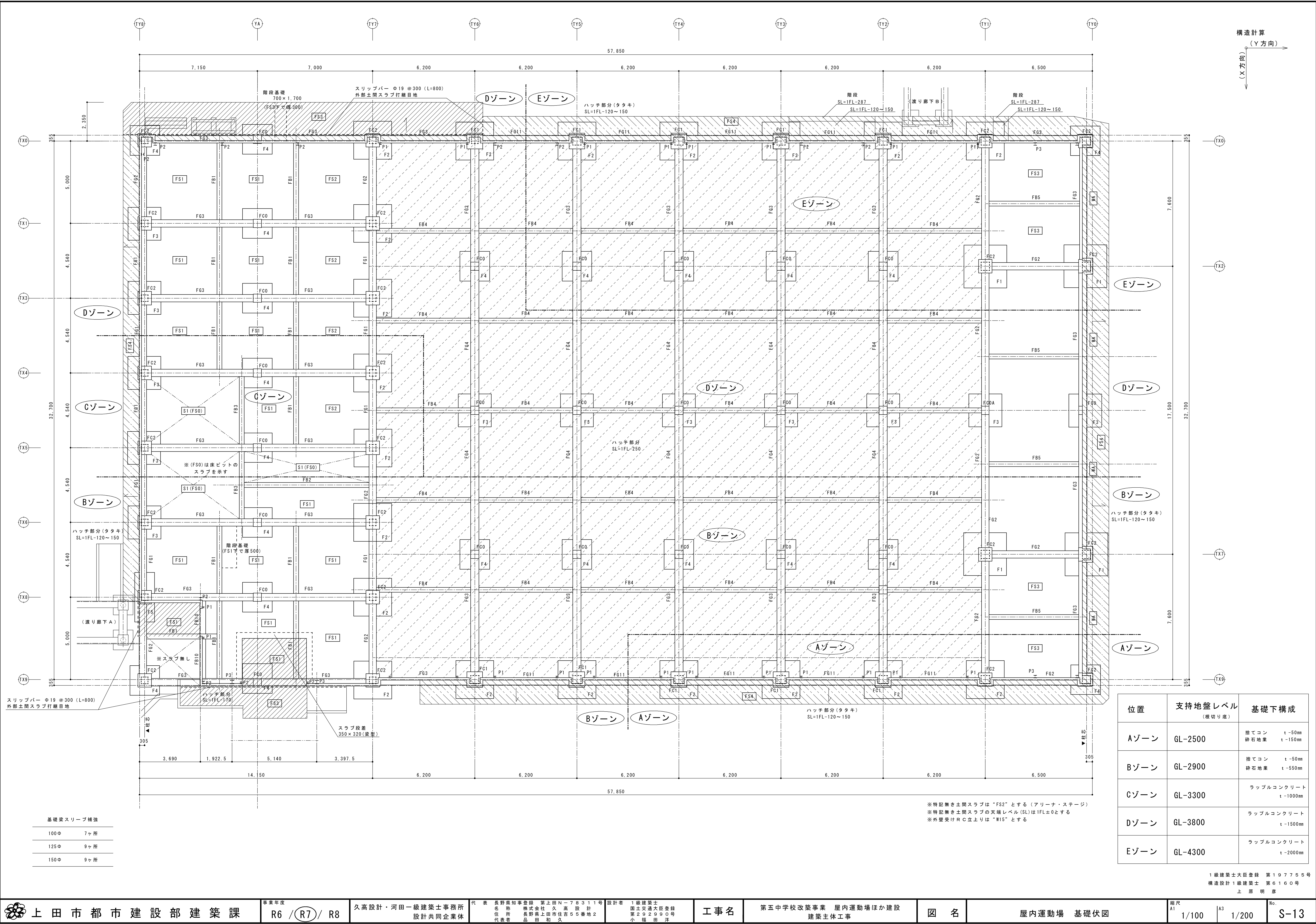
NDコア		ND400																								
柱	径(材質)	□400 (BCR295)														□400 (STKR400)										
	板厚	9		12		16		(19) (C2)		22		25		9		12		16		19		22				
最小長さ l 最小余長 e		l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e			
はり 細幅 系列	H-100×50×5×7	150		150		150		150		150		150		150		150		150		150		150		H-100×50		
	H-125×60×6×8	175		175		175		175		175		175		175		175		175		175		175		H-125×60		
	H-150×75×5×7	200		200		200		200		200		200		200		200		200		200		200		H-150×75		
	H-175×90×5×8	225		225		225		225		225		225		225		225		225		225		225		H-175×90		
	H-198×99×4.5×7	248		248		248		248		248		248		248		248		248		248		248		H-198×99		
	H-200×100×5.5×8	250		250		250		250		250		250		250		250		250		250		250		H-200×100		
	H-248×124×5×8	298		298		298		298		298		298		298		298		298		298		298		H-248×124		
	H-250×125×6×9	300		300		300		300		300		300		300		300		300		300		300		H-250×125		
	H-298×149×5.5×8	348		348		348		348		348		348		348		348		348		348		348		H-298×149		
	H-300×150×6.5×9	350		350		350		350		350		350		350		350		350		350		350		H-300×150		
	H-346×174×6×9	396		396		396		396		396		396		396		396		396		396		396		H-346×174		
	H-350×175×7×11	400		400		400		400		400		400		400		400		400		400		400		H-350×175		
	H-396×199×7×11	446		446		446		446		446		446		446		446		446		446		446		H-396×199		
	H-400×200×8×13	450		450		450		450		450		450		450		450		450		450		450		H-400×200		
	H-446×199×8×12	496		496		496		496		496		496		496		496		496		496		496		H-446×199		
	H-450×200×9×14 (G3)	500		500		500		500		500		500		500		500		500		500		500		H-450×200		
	H-496×199×9×14	546		546		546		546		546		546		546		546		546		546		546		H-496×199		
	H-500×200×10×16	550		550		550		550		550		550		550		550		550		550		550		H-500×200		
	H-596×199×10×15	646		646		646		646		646		646		646		646		646		646		646		H-596×199		
	H-600×200×11×17	650		650		650		650		650		650		650		650		650		650		650		H-600×200		
	H-606×201×12×10	656		691		691		656		656		656		656		656		706		676		656		H-606×201		

4-2. はり中幅系列

柱	NDコア		ND400																							
	径(材質)	□400 (BCR295)												□400 (STKR400)												
		板厚		9		12		16		(19)(C2)		22		25		9		12		16		19		22		
最小長さ l 最小余長 e			l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e		
はり 中幅 系列	H-148×100×6×9	198		198		198		198		198		198		198		198		198		198		198		198		H-148×100
	H-194×150×6×9	244		244		244		244		244		244		244		244		244		244		244		244		H-194×150
	H-244×175×7×11	294		294		294		294		294		294		294		294		294		294		294		294		H-244×175
	H-294×200×8×12	344		344		344		344		344		344		344		344		344		344		344		344		H-294×200
	H-340×250×9×14	425		405		390		390		390		390		390		430		410		390		390		390		H-340×250
	H-390×300×10×16	550		550		530		490		450		440		530		550		545		515		480		480		H-390×300
	H-440×300×11×18	555		635	60	615	40	600		570		520		490		600		625	50	610	35	600		600		H-440×300
	H-482×300×11×15	532		612		572		537		532		532		532		597		587		557		532		532		H-482×300
	H-488×300×11×18	538		658	35	658		643		603		553		538		538		653	30	648		628		628		H-488×300
	H-582×300×12×17	632		632		722		687		647		632		632		632		632		707		672		672		H-582×300
	H-588×300×12×20 (G2・G12)	638		638		728		773	50	748		708		638		638		638		683		763	40	763		H-588×300
	H-594×302×14×23	644		644		649		799	70					644		644		644		644		739		739		H-594×302
	H-692×300×13×20	742		742		742		742		797		802		742		742		742		742		742		742		H-692×300
	H-700×300×13×24	750		750		750		750		750		815		750		750		750		750		750		750		H-700×300
	H-792×300×14×22	842		842		842		842		842		842		842		842		842		842		842		842		H-792×300
	H-800×300×14×26	850		850		850		850		850		850		850		850		850		850		850		850		H-800×300
	H-890×299×15×23	940		940		940		940		940		940		940		940		940		940		940		940		H-890×299
	H-900×300×16×28	950		950		950		950		950		950		950		950		950		950		950		950		H-900×300
	H-912×302×18×34	962		962		962		962		962		962		962		962		962		962		962		962		H-912×302

4-3. はり広幅系列

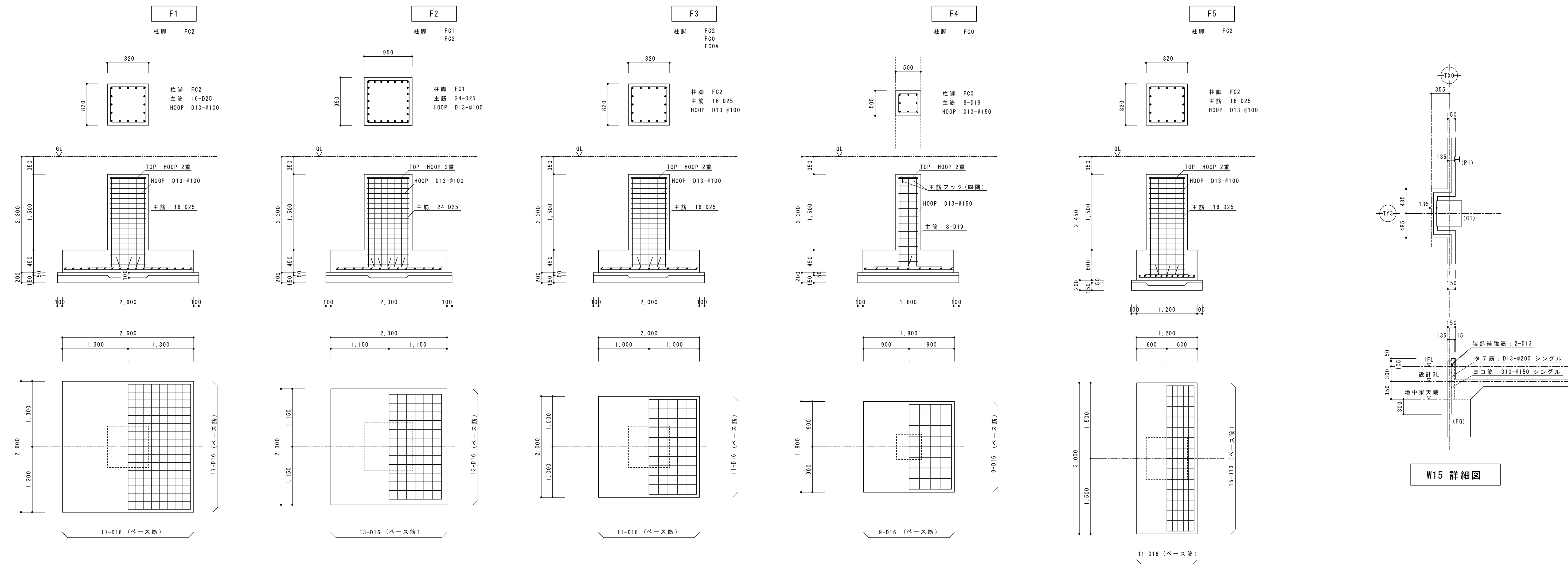
柱		NDコア		ND400																											
		径(材質)		□400 (BCR295)										□400 (STKR400)																	
				板厚		9		12		16		19		22		25		9		12			16		19		22				
最小長さ l 最小余長 e				l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e						
はり 広幅 系列	H-100×100×6×8	150		150		150		150		150		150		150		150		150		150		150		150		H-100×100					
	H-125×125×6.5×9	175		175		175		175		175		175		175		175		175		175		175		175		H-125×125					
	H-150×150×7×10	200		200		200		200		200		200		200		200		200		200		200		200		H-150×150					
	H-175×175×7.5×11	225		225		225		225		225		225		225		225		225		225		225		225		H-175×175					
	H-200×200×8×12	250		250		250		250		250		250		250		250		250		250		250		250		H-200×200					
	H-250×250×9×14	330		305		300		300		300		300		335		315		300		300		300		300		H-250×250					
	H-300×300×10×15	460		455		415		380		350		350		460		460		430		400		365		365		H-300×300					
	H-350×350×12×19	620	135											450												H-350×350					
H-400×400×13×21	450		640	120	NG										450		450		670	135	NG										H-400×400



位置	支持地盤レベル (根切り底)	基礎下構成
Aゾーン	GL-2500	捨てコン t-50mm 砕石地盤 t-150mm
Bゾーン	GL-2900	捨てコン t-50mm 砕石地盤 t-550mm
Cゾーン	GL-3300	ラップルコンクリート t-1000mm
Dゾーン	GL-3800	ラップルコンクリート t-1500mm
Eゾーン	GL-4300	ラップルコンクリート t-2000mm

基礎リスト

※ハイベース柱脚直下の捨てコンは厚100とする
※基礎下ラップコンクリート置換（一部砕石置換）の深さは基礎伏図参照



地中梁リスト

※フカン1FL～地中梁天端フカン部分
※F6梁共通：フカン筋 3-D19 STP.D13@200（腹筋 2-D10）
※FB梁共通：フカン筋 2-D16 STP.D10@200（腹筋 2-D10）とする。

符号	F01	F02	F03	F04	F011
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断面					
b×d	450×1500	450×1500	500×1500	500×1500	450×1500
上端筋	4-D25	6-D25	8-D25	7-D25	5-D25
下端筋	4-D25	6-D25	8-D25	5-D25	5-D25
スターラップ	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200
腹筋	4段 8-D10	4段 8-D10	4段 8-D10	4段 8-D10	4段 8-D10
幅止め	D10-1000#	D10-1000#	D10-1000#	D10-1000#	D10-1000#

符号	F01	F02	F03	F04	F011
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断面					
b×d	450×1500	450×1500	500×1500	500×1500	450×1500
上端筋	4-D25	6-D25	8-D25	7-D25	5-D25
下端筋	4-D25	6-D25	8-D25	5-D25	5-D25
スターラップ	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200
腹筋	4段 8-D10	4段 8-D10	4段 8-D10	4段 8-D10	4段 8-D10
幅止め	D10-1000#	D10-1000#	D10-1000#	D10-1000#	D10-1000#

基礎柱リスト

符号	FC1	FC2	FC0	FC0A
位置	全断面	全断面	全断面	全断面
断面				
b×d	950×950	820×820	500×500	450×500
主筋	24-D25	16-D25	8-D19	8-D19
H00P	D13-@100	D13-@100	D13-@150	D13-@150
保護根巻部	主筋 16-D13 H00P. D13@150	主筋 16-D13 H00P. D13@150	—	—

- 鉄筋記号 凡例 -

径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
記号	1	-	×	∅	●	○	●	●

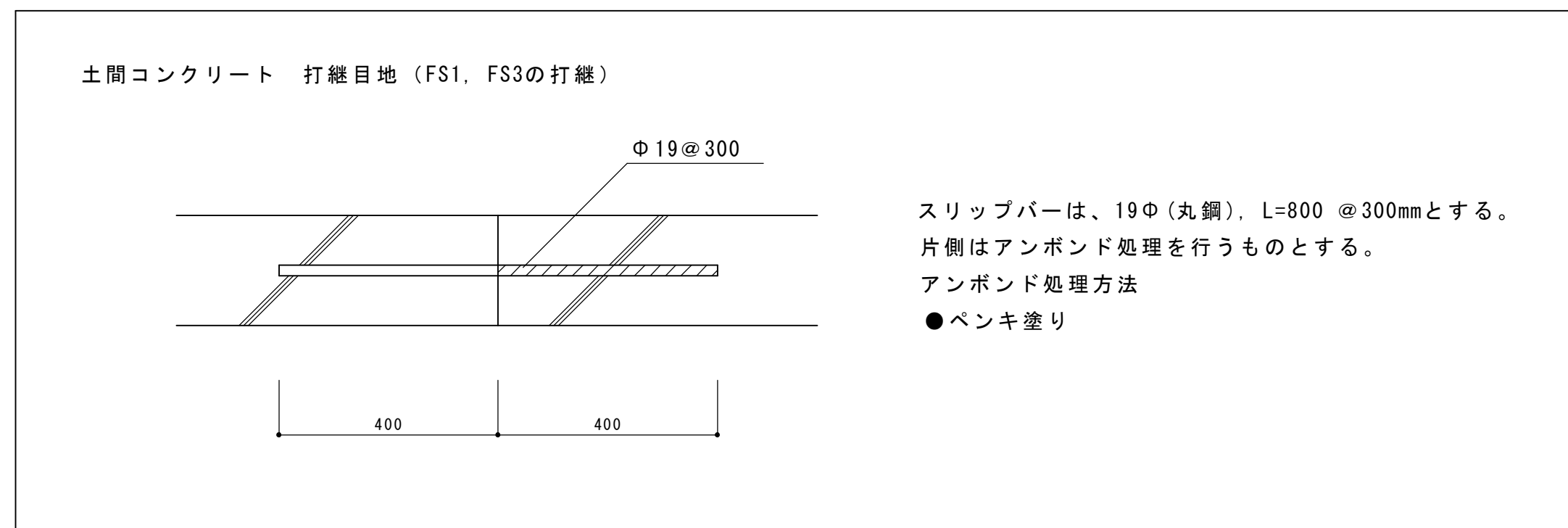
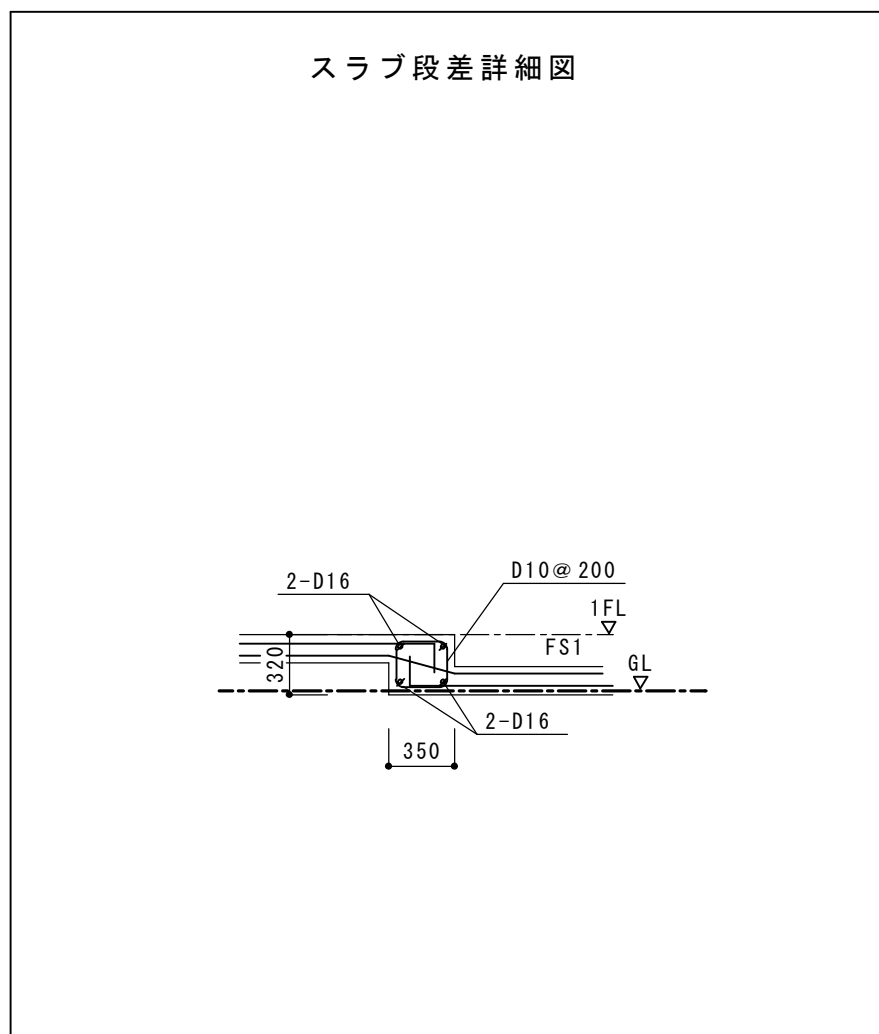
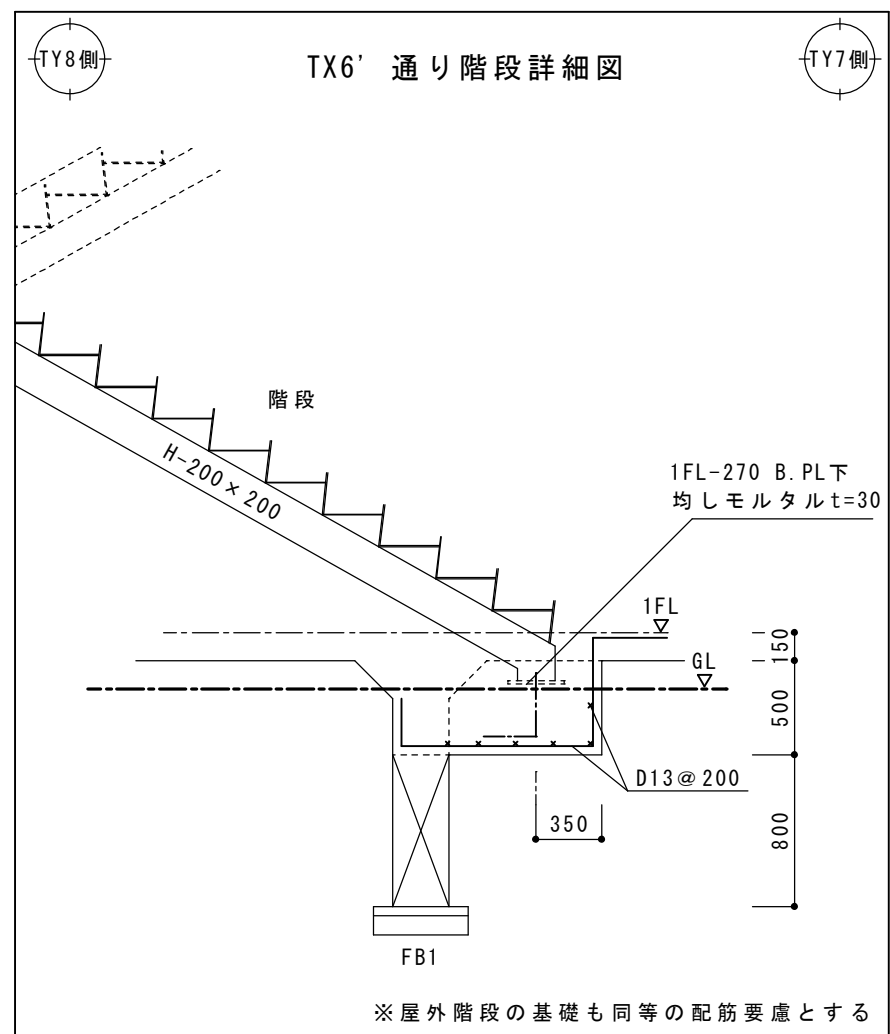
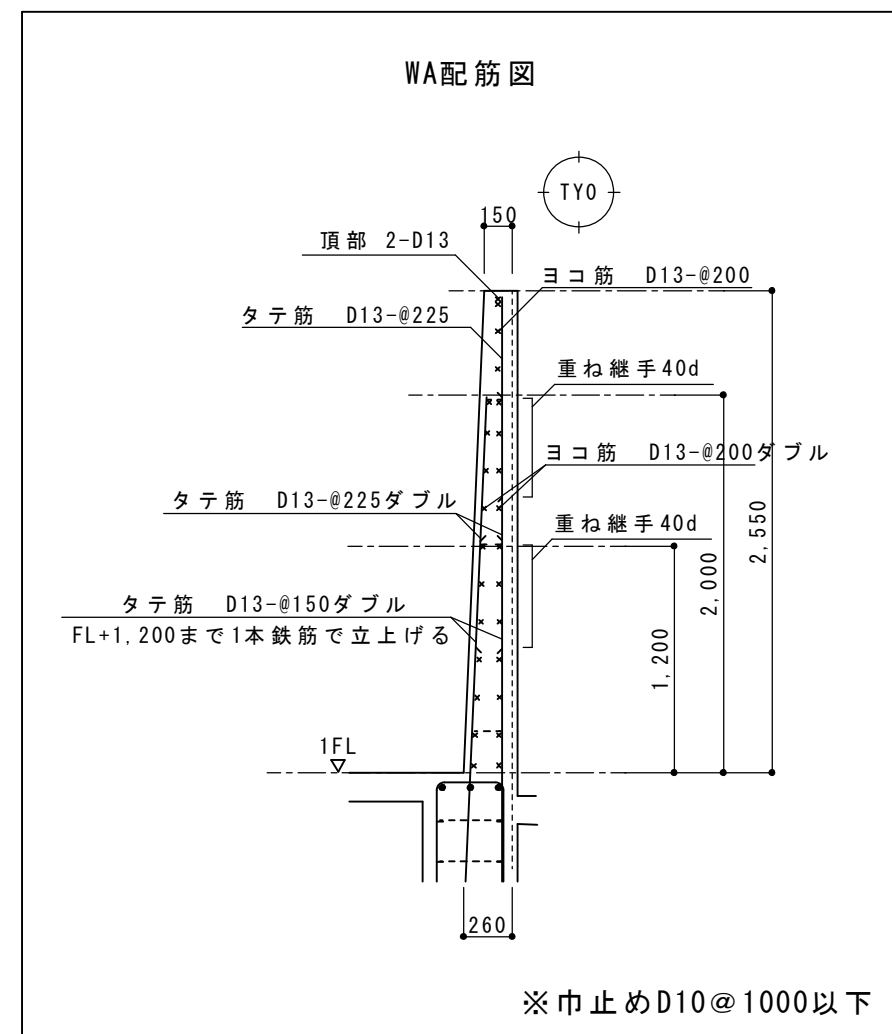
1級建築士大臣登録 第197755号
構造設計1級建築士 第6160号
上原明彦

スラブリスト

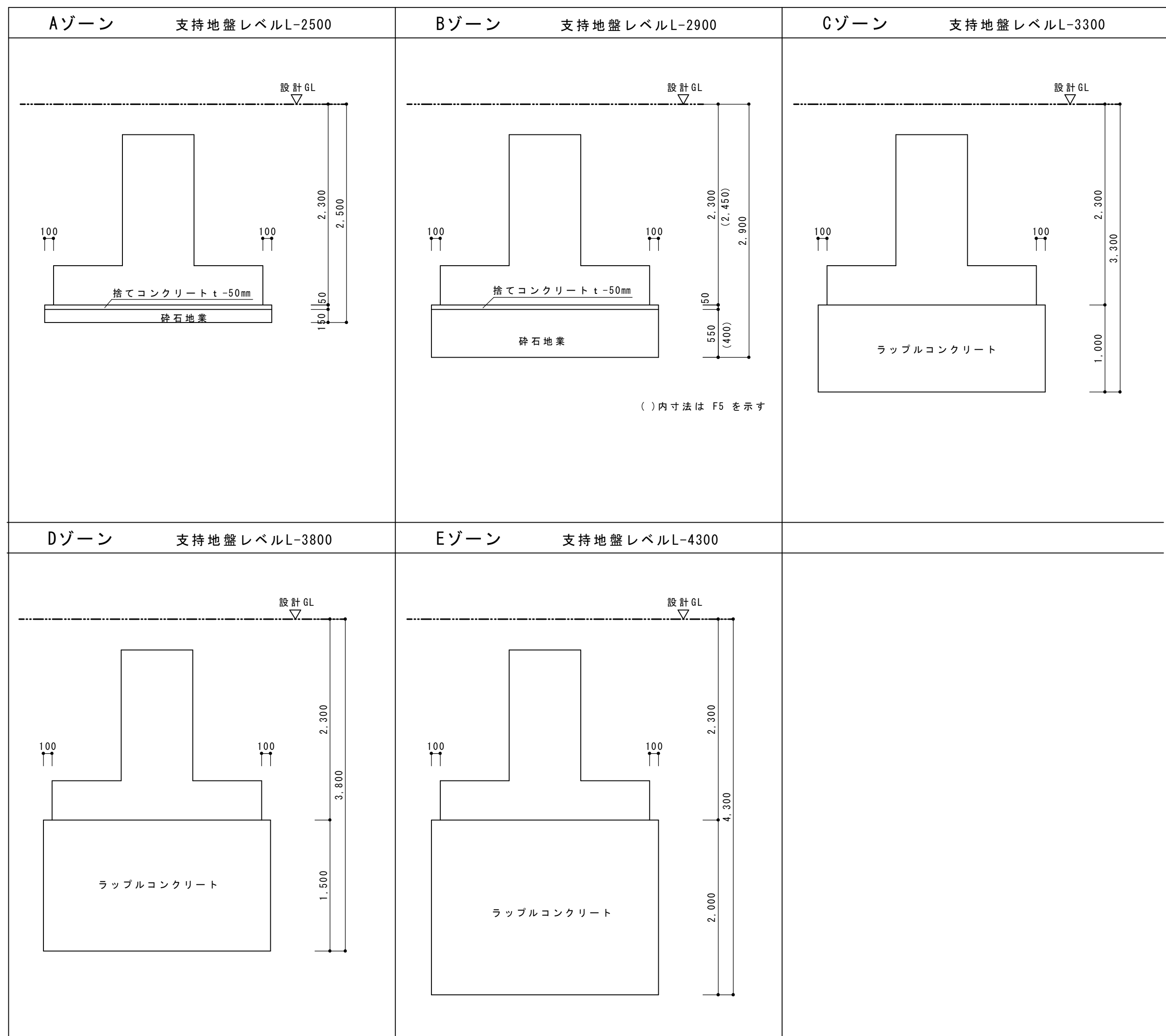
符号	スラブ厚	位置	主筋（短辺方向）	配力筋（長辺方向）	場所	備考
FS1	150	上端筋	D13-@200	同左	ホール	土間スラブ
		下端筋	D10.13交互-@200	同左		
FS2	200	上端筋	D13-@200ダブル	同左	アリーナ、器具庫	土間スラブ
		下端筋				
FS3	200	上端筋	D13-@200	同左	控室兼器具庫	土間スラブ
		下端筋	D10-@200	同左		
FS4	150～180	上端筋	D13-@200	同左	犬走り	土間スラブ
		下端筋	D10-@200	同左		
FS0	100	—	メッシュ 6Φ-100x100	—	地下ビット	土間コンクリート
		—				
S1	150	上端筋	D13-@200	同左	トイレ	—
		下端筋	D10.13交互-@200	同左		
S2	150	上端筋	D13-@200	同左	ギャラリー／ キャットウォーク	S2スラブの支持梁（G梁K梁B梁）上フランジに頭付スタッド 16Φ（L=100）打設。 フランジ幅B=300は@250ダブル（ゲージ150）、B≦200は@200シングル打設。 ※フラットデッキ型枠使用
		下端筋	D10-@200	同左		
DS1	150	上端筋	メッシュ 6Φ-100x100	—	2 F スラブ	QL99-50-12 焼き抜き栓溶接 デッキ長さ方向@500、幅方向@300 山上CON.（7）100
		下端筋				

壁リスト

符号	壁厚	位置	配筋	端部補強	備考
W15	150	タテ筋	D13-@200シングル	タテヨコ 各2-D13	—
		ヨコ筋	D10-@150シングル		
WA	頂部150 ～脚部260	タテ脚部筋	D13-@150ダブル（1FL +0～1,200）	タテヨコ 各2-D13	—
		タテ上部筋	D13-@225ダブル（1FL +1,200～2,000）		
		タテ頂部筋	D13-@225（1FL +2,000～2,550）		
		ヨコ筋	D13-@200ダブル（1FL +2,000～2,550間はシングル）		

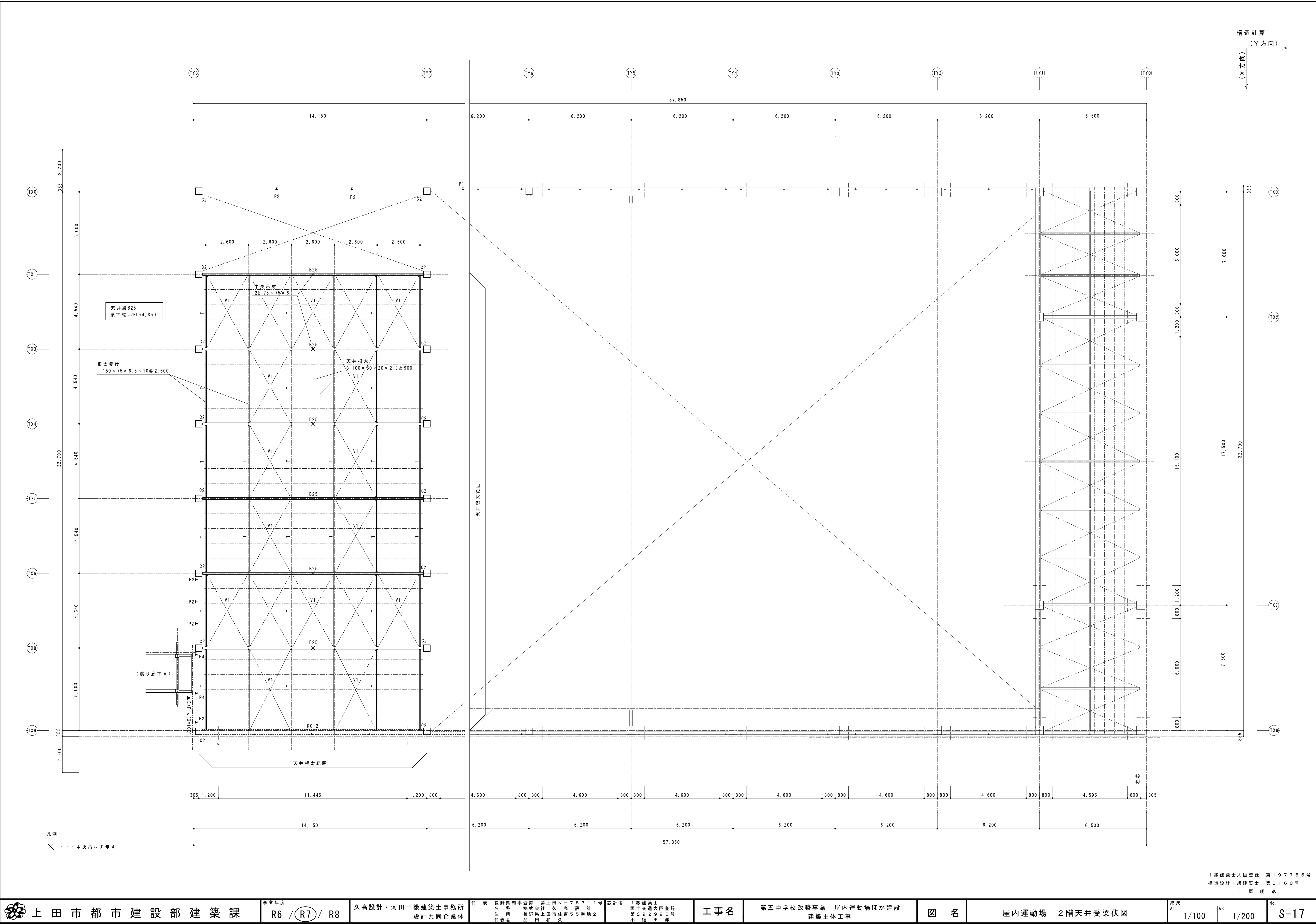


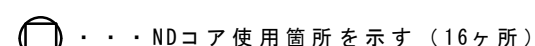
基礎下地盤構成



- 鉄筋記号 凡例 -

径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
記号	1 -	×	ø	●	○	●	⊙	●



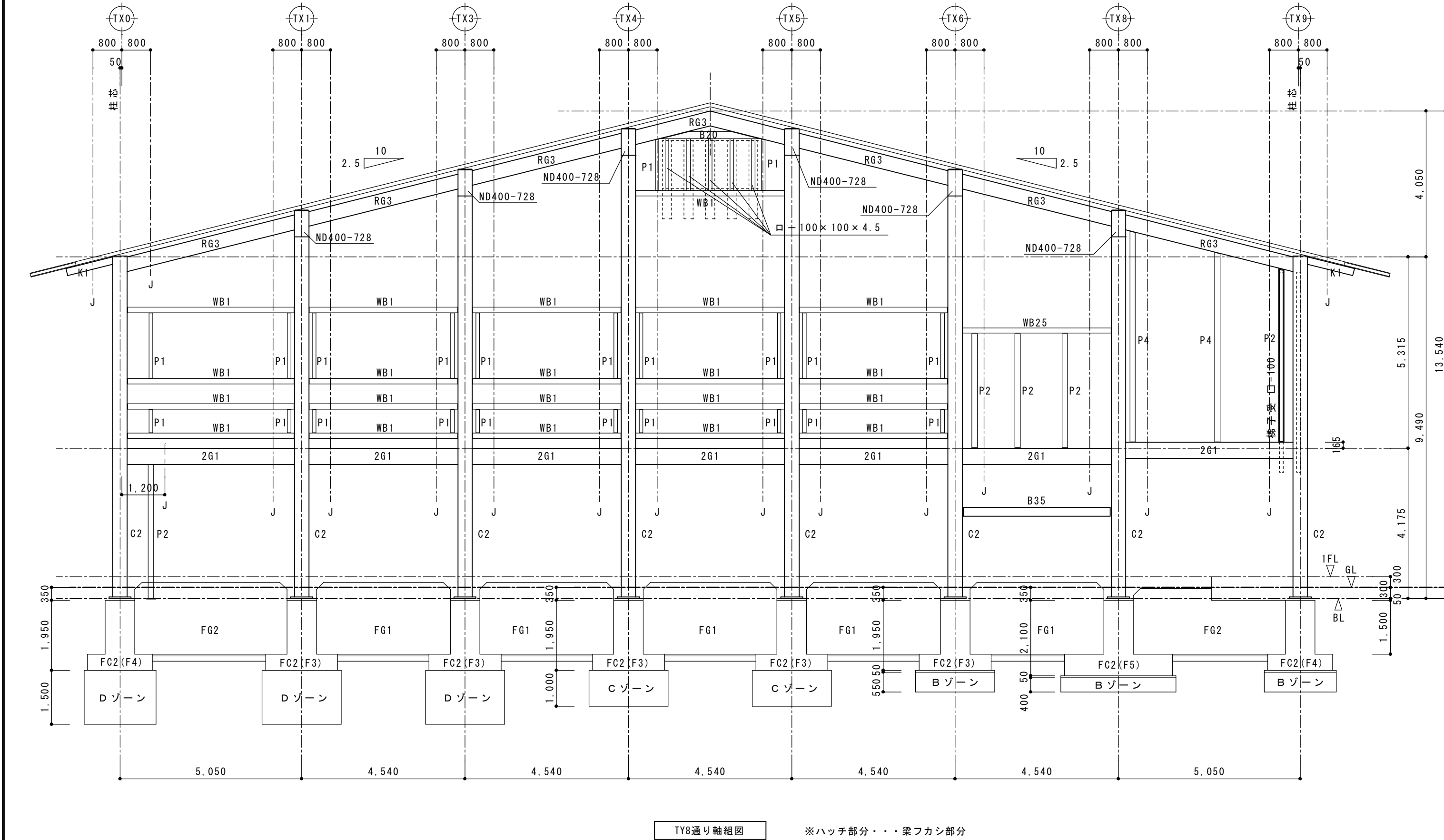


符 号	断 面 形 状	接 合		備 考
		F L G	W E B	
C1	□-500×500×22			B. PL-48×740□ (TMCP鋼) アンカーボルト 8-M42 (HAB) BCR295 ハイベースNE0 EB500-8-42 (アンカーロック)
C2	□-400×400×19			B. PL-40×610□ (SN490B) アンカーボルト 8-M36 (HAB) BCR295 ハイベースNE0 EB400-8-36 (アンカーロック)
P1	H-100×100×6×8		G. PL-9 HTB 2-M16	B. PL-16×150×200 アンカーボルト 2-M16 (SS400)L=480 D. N SS400
P2	H-150×150×7×10		対鉄骨G. PL-9 HTB 2-M20	B. PL-16×250×250 アンカーボルト 2-M20 (SS400)L=600 D. N SS400
P3	H-200×200×8×12		G. PL-12 HTB 2×(2-M20)	B. PL-19×250×300 アンカーボルト 2-M20 (SS400)L=600 D. N SS400
P4	H-250×125×6×9		G. PL-9 HTB 2-M20	SS400
P5	H-300×150×6.5×9		G. PL-9 HTB 3-M20	SS400
RG1	H-800×300×14×26	10-M22 HTB PL-530×300×19 2PL-530×110×19	10-M22 HTB PL-620×170×12	SN400B
RG3	H-450×200×9×14	6-M20 HTB PL-410×200×12 2PL-410×80×12	5-M20 HTB PL-320×170×9	SN400B
RG11	H-500×200×10×16	6-M20 HTB PL-410×200×12 2PL-410×80×12	5-M20 HTB PL-320×170×9	SN400B
RG2 RG12	H-588×300×12×20	8-M22 HTB PL-440×300×12 2PL-440×110×16	7-M22 HTB PL-440×170×9	SN400B
2G1	H-450×200×9×14	6-M20 HTB PL-410×200×12 2PL-410×80×12	5-M20 HTB PL-320×170×9	SN400B
2G2 2G11	H-440×300×11×18	8-M22 HTB PL-440×300×12 2PL-440×110×12	5-M22 HTB PL-320×170×9	SN400B ギャラリーRCスラブ廻りの 2G11 は 頭付スタッド 2-16φ @250 L=100 打設
2G12	H-588×300×12×20	10-M22 HTB PL-530×300×12 2PL-530×110×16	5×2-M22 HTB PL-440×290×9 ボルト@90	梁貫通 補強PL-9×400×400 (両面) ※S-05図による
K1	元端 H-200×200×8×12 先端 H-100×100×6×8	4-M16 HTB PL-290×200×9 2PL-290×80×9	4-M16 HTB PL-170×140×6	SN400B
K2	H-450×200×9×14			SN400B
K3	H-450×200×9×14			SN400B
K4	元端 H-244×175×7×11 先端 H-200×175 テーバー断面	4-M20 HTB PL-290×175×9 2PL-290×70×9	2-M20 HTB PL-170×140×9	SN400B
K5	H-350×175×7×11	4-M20 HTB PL-290×175×9 2PL-290×70×9	3-M20 HTB PL-260×170×6	SN400B 屋外鉄骨階段(溶融亜鉛メッキ工法)

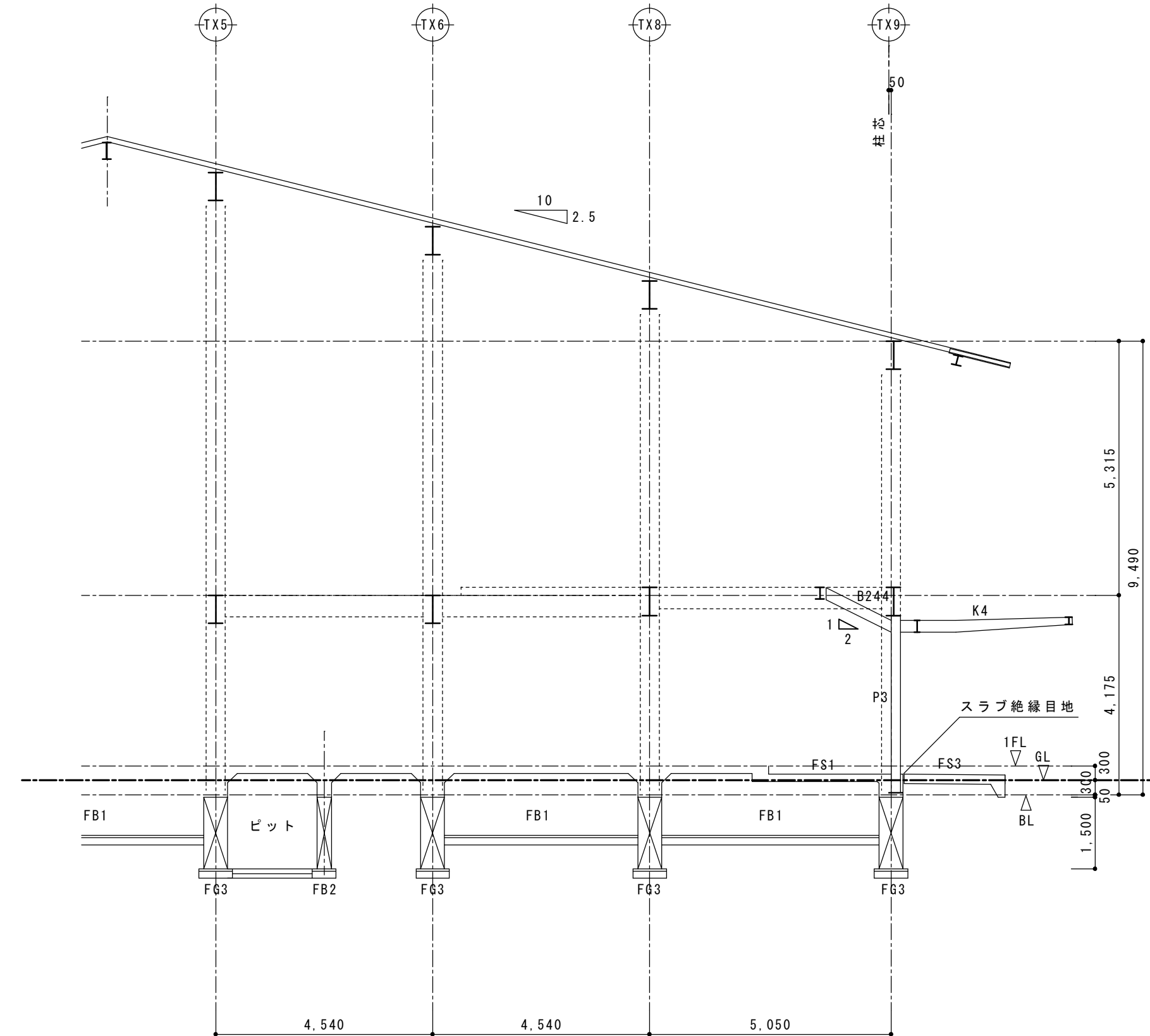
部 位	材 種
C柱	BCR295
C柱 柱脚	ハイベース仕様
通しDF,BPL	SN490C
G梁、K1～K5	SN400B
B梁、鋼板、P柱	SS400
アンカーボルト	SS400 (M20, M16)
HTB	F10T または S10T
□-100×100	STKR400

符 号	断 面 形 状	接 合		備 考
		F L G	W E B	
B20	H-200×100×5.5×8		2-M16 HTB G.PL-6	SS400
B25	H-250×125×6×9		RG梁への接合 2-M20 HTB G.PL-9 2×2-M20 HTB G.PL-9 ボルト90@	SS400
B30	H-300×150×6.5×9	(B30)	2×2-M20 HTB G.PL-9 ボルト120@ ※ 2階の一部のB30端部は2面せん断とする 2×2-M20 HTB G.PL-9 2SP.PL-9	SS400 合成スラブ範囲は頭付スタッド 1-19φ @250 L=100 S2スラブ範囲は頭付スタッド 1-16φ @200 L=100
B35	H-350×175×7×11	(B35)	4-M20 HTB G.PL-9	SS400 RCスラブ範囲は頭付スタッド 1-16φ @200 L=100
B40	H-400×200×8×13		2×3-M20 HTB G.PL-12 ボルト90@	SS400
B244	H-244×175×7×11		2×2-M20 HTB G.PL-9 ボルト90@	SS400 R階X0端およびX9端は剛接合とする
B50	H-500×200×10×16		5-M20 G.PL-12 2SP.PL-9 (2面せん断)	SS400
B2	H-200×200×8×12		2-M20 HTB G.PL-9	SS400
WB1	H-150×150×7×10 横使い		2-M20 HTB G.PL-9	SS400
WB2	H-100×100×6×8 横使い		2-M16 HTB G.PL-9	SS400
WB25	H-250×125×6×9 横使い		2-M20 HTB G.PL-9	SS400
WB30	H-300×150×6.5×9 横使い		3-M20 HTB G.PL-9	SS400
WB44	H-440×300×11×18 横使い		5-M20 HTB G.PL-12	SS400
T	[~150×75×6.5×10		2-M16 HTB G.PL-6	SS400
母屋	C-100×50×20×2.3@606 (@1.820毎ダブル)		2-M12 G.PL-6	SSC400
スノコ	C-100×50×20×3.2@606		2-M12 G.PL-6	SSC400
天井根太	C-100×50×20×2.3@900		2-M12 G.PL-4.5	SSC400 (格枝室天井裏)
中央吊材	2L-75×75×6	@1,500程度で綴る PL-9×65×65 1-M16HTB	2-M20 HTB. G.PL-9	SS400
小屋ブレース	V1:1-M16T.B V2:1-M24T.B	G.PL-6 HTB 1-M16 羽子板PL-6×52×170 G.PL-9 HTB 2-M20 羽子板PL-9×77×280		SNR400B JIS建築用 (フルブレース)
合成スラブ	QL 99-50-12	焼抜栓溶接 デッキ方向@500 幅方向@300 (頭付スタッドを打設しない全てのG梁B梁)		コンクリートt-100mm ワイヤメッシュ (上端全面) 6Φ100×100
RCスラブ	フラットデッキ (JF75-10 同等品)	大梁上, 小梁 (B25以上)上頭付スタッド打設 16φ L=100 @200 (フランジ幅300では@250ダブル)		コンクリート厚 t -150mm
階段	段板 PL-6 力桁 H-200×200×8×12 踊場デッキPL V50 t-1.6		2×2-M20 HTB G.PL-12	B.PL-19×250×300 A.B 2-M20 L=600 D.N.
外階段	側桁19×300 段板・踊場 Chek.PL-4.5 踊場根太 [-100×50×5×7.5 @450 G.PL-9 HTB.2-M16		2-M20 HTB G.PL-12	B.PL-19×150×350 A.B 2-M20 L=600 D.N. (垂鉛メッキ工法)

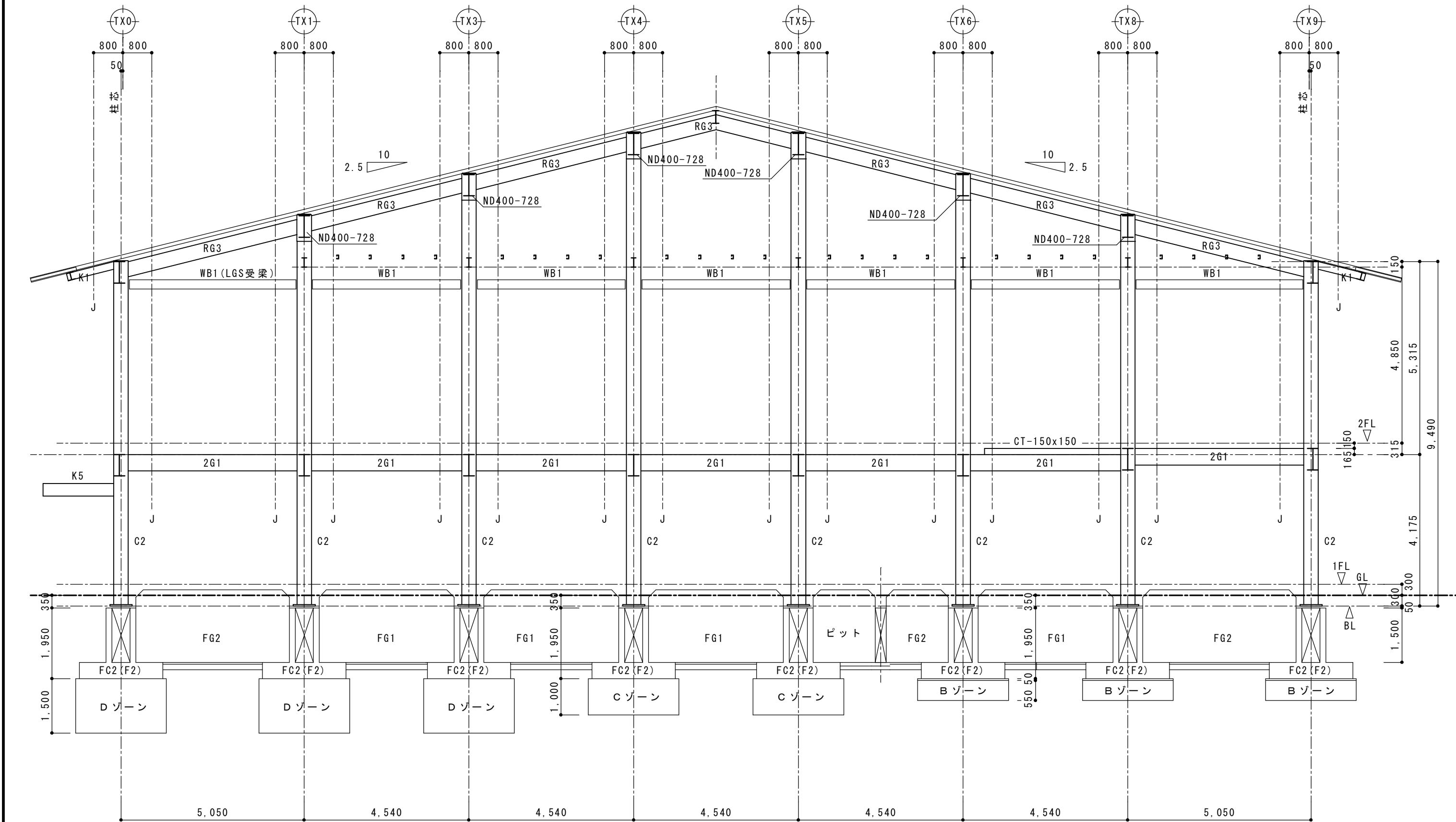
※ B梁端部接合ボルト
X方向 (材軸方向) のピッチは
@60 で共通とする



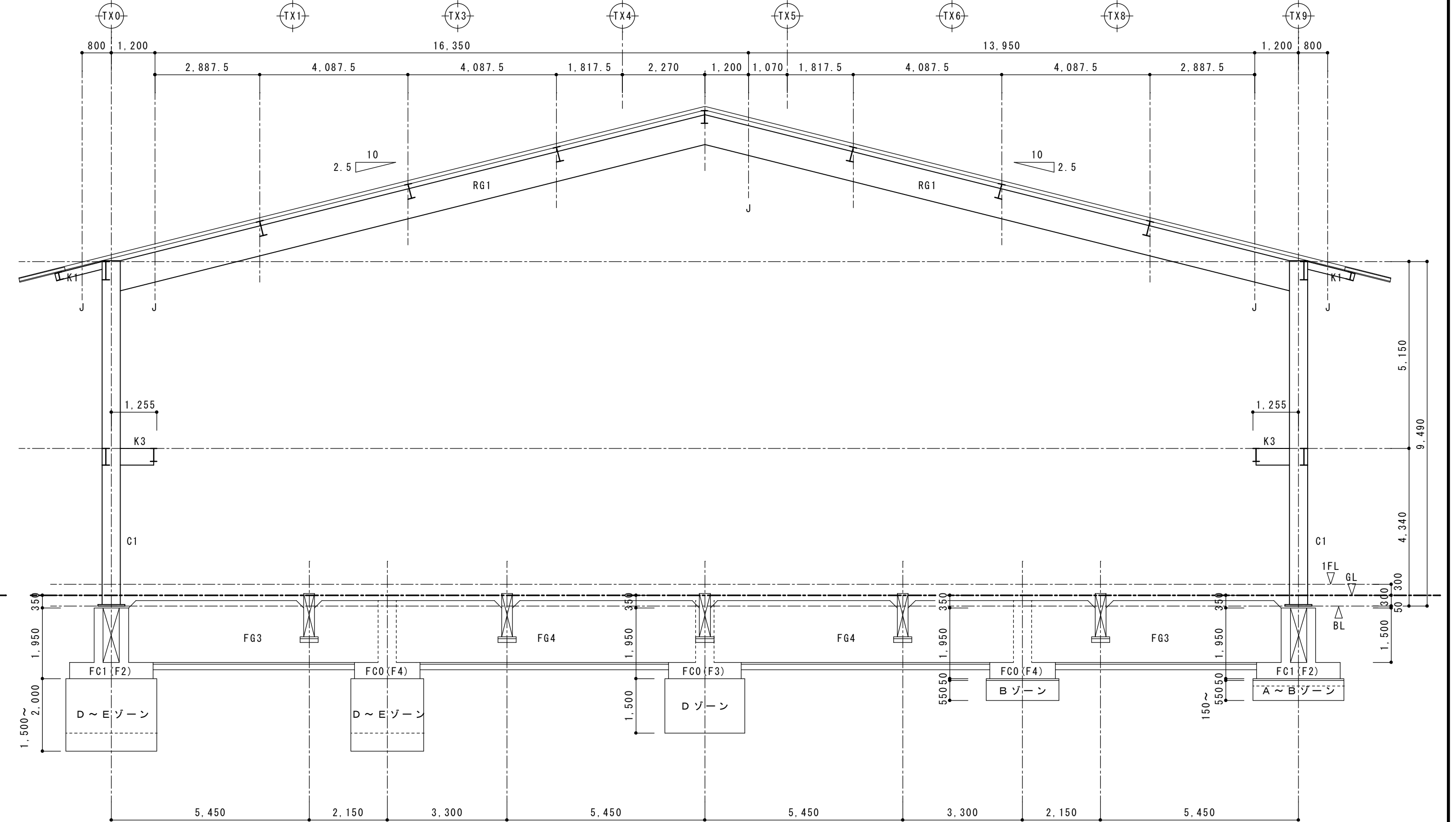
TY8通り軸組図 ※ハッチ部分・・・梁フカシ部分



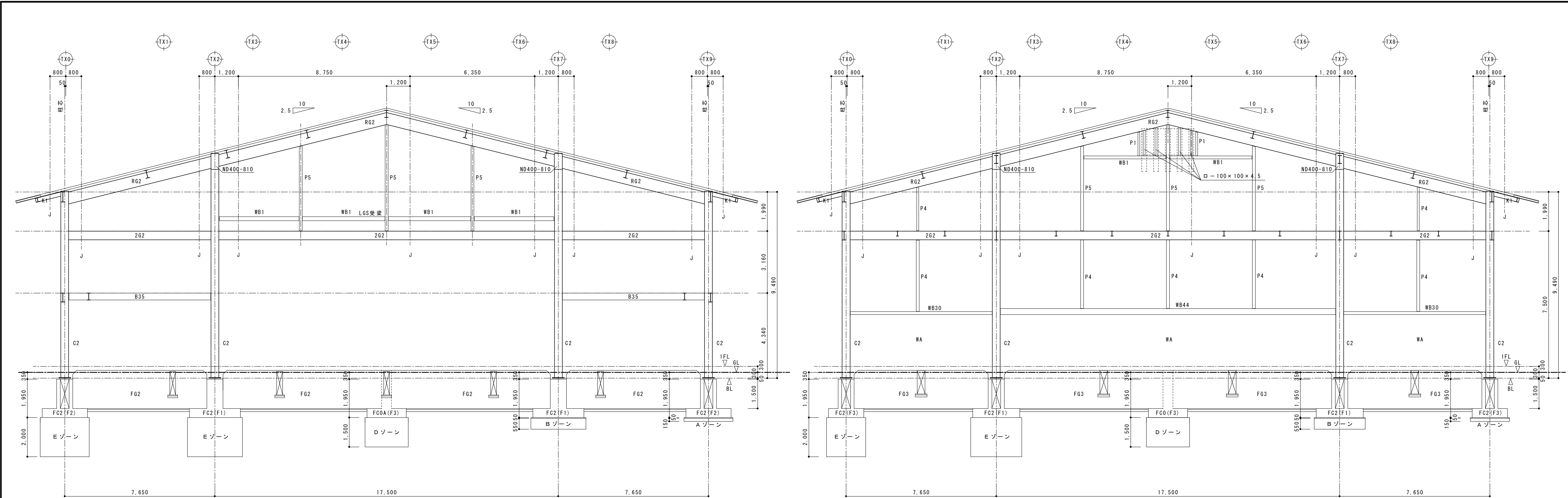
TY7' 通り軸組図



TY7通り軸組図

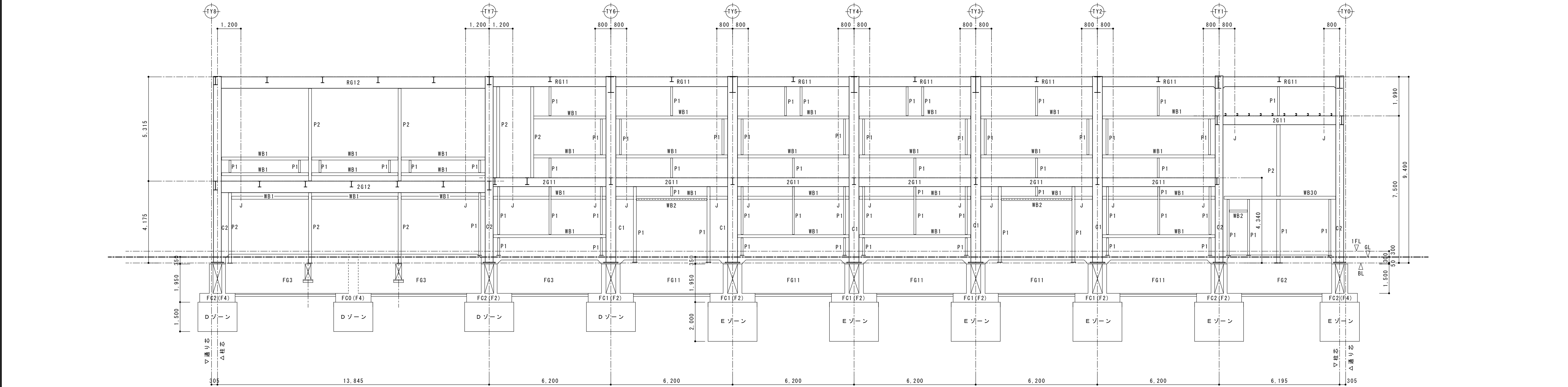


TY6~TY2通り軸組図



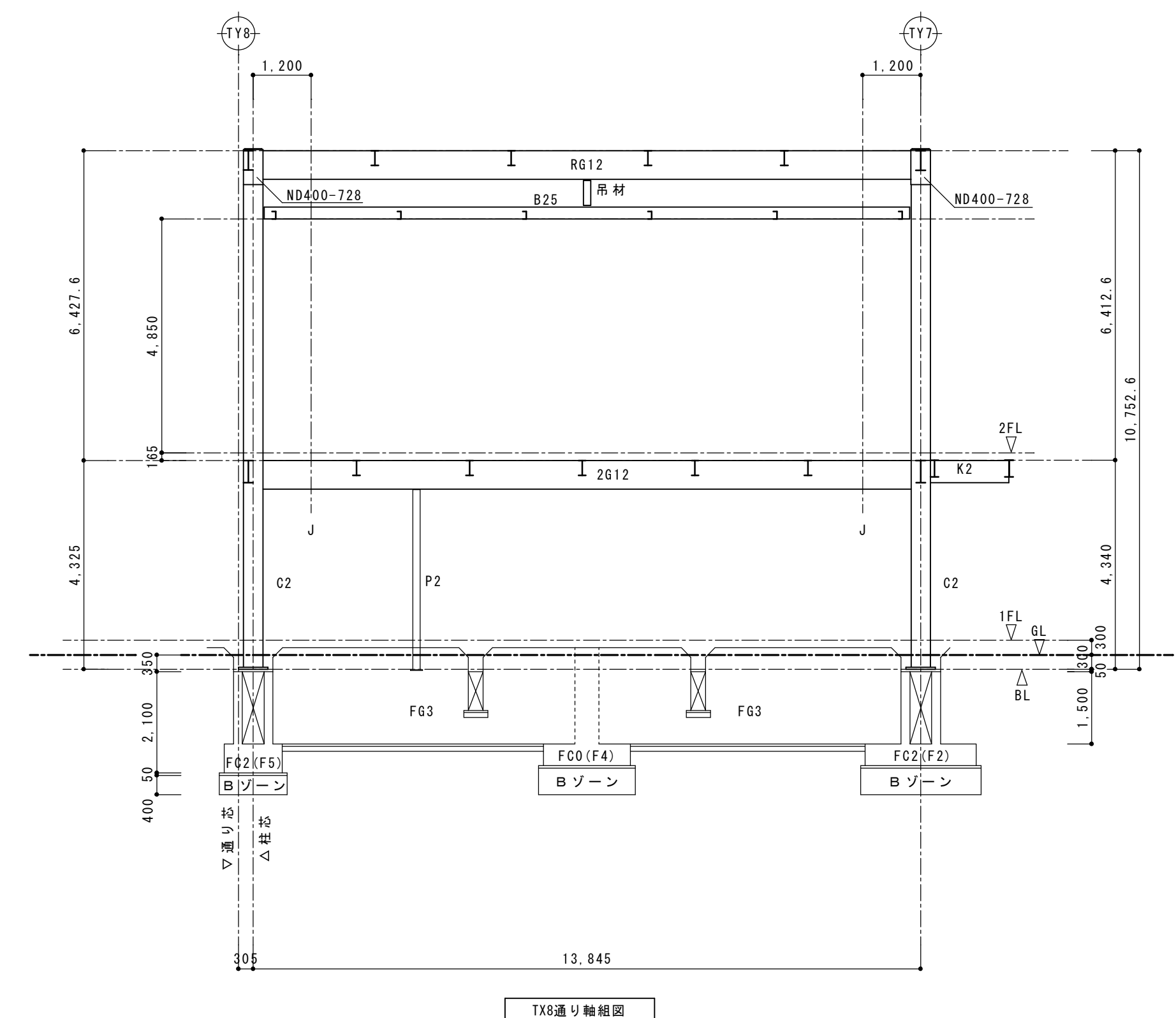
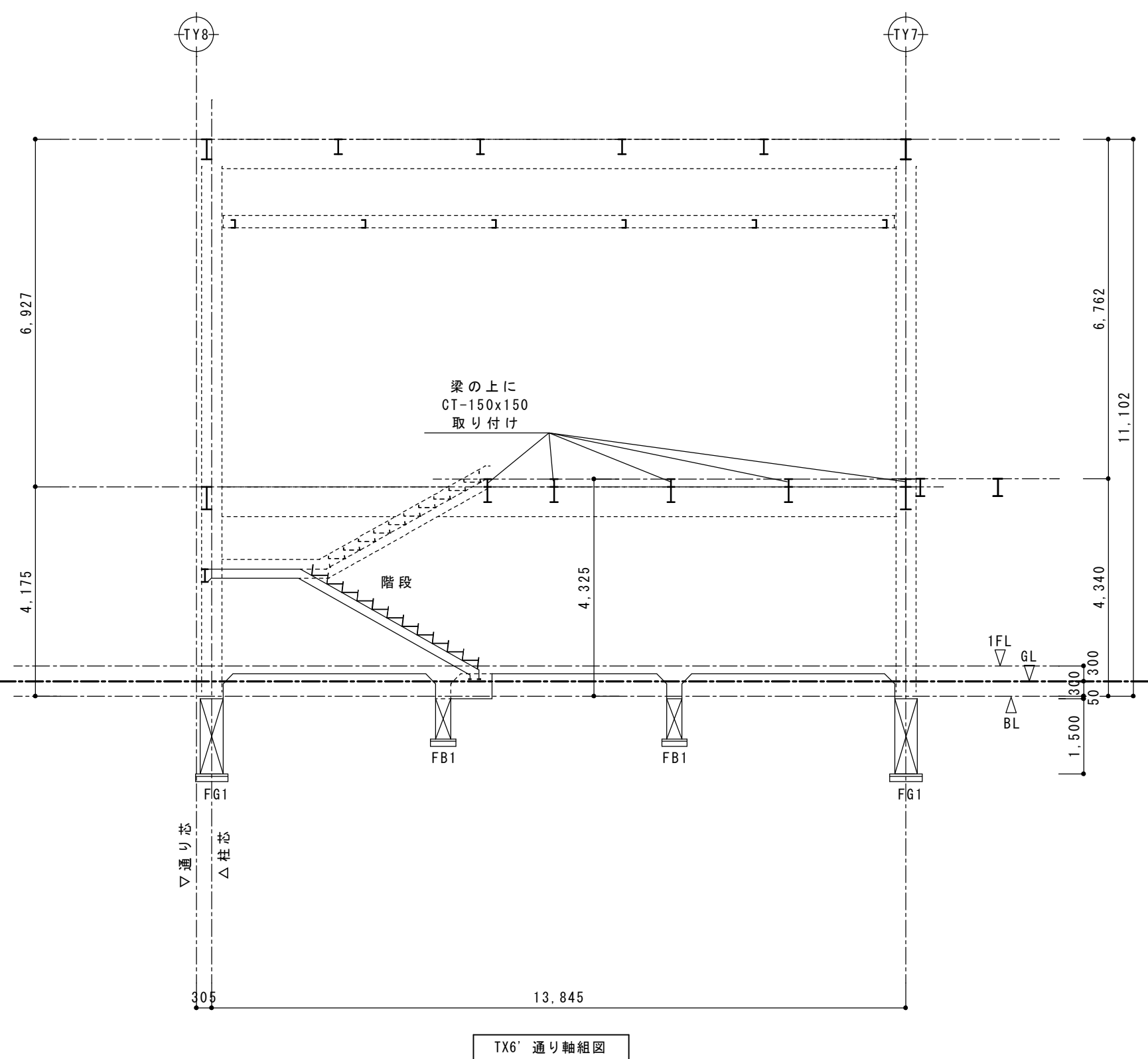
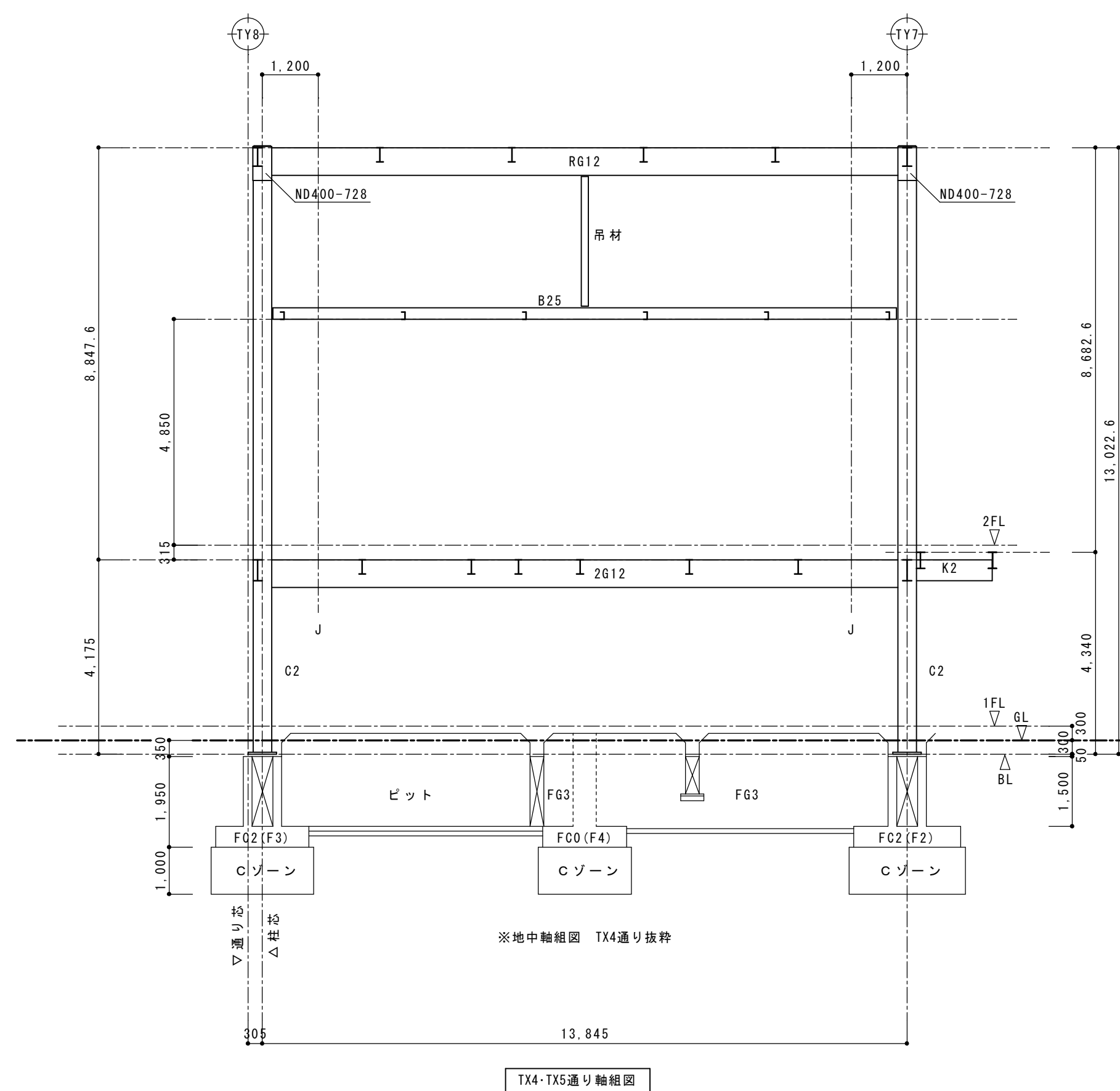
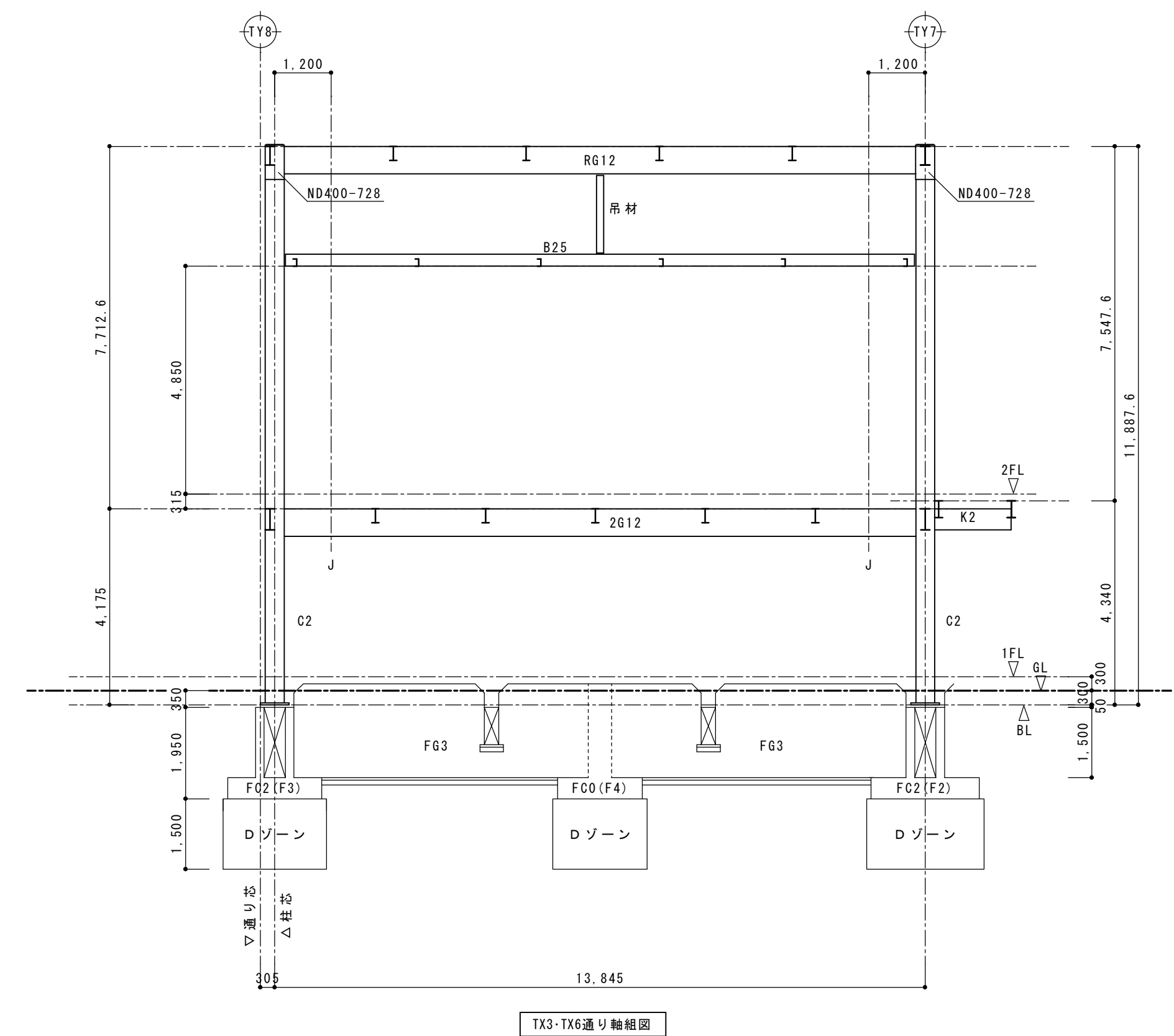
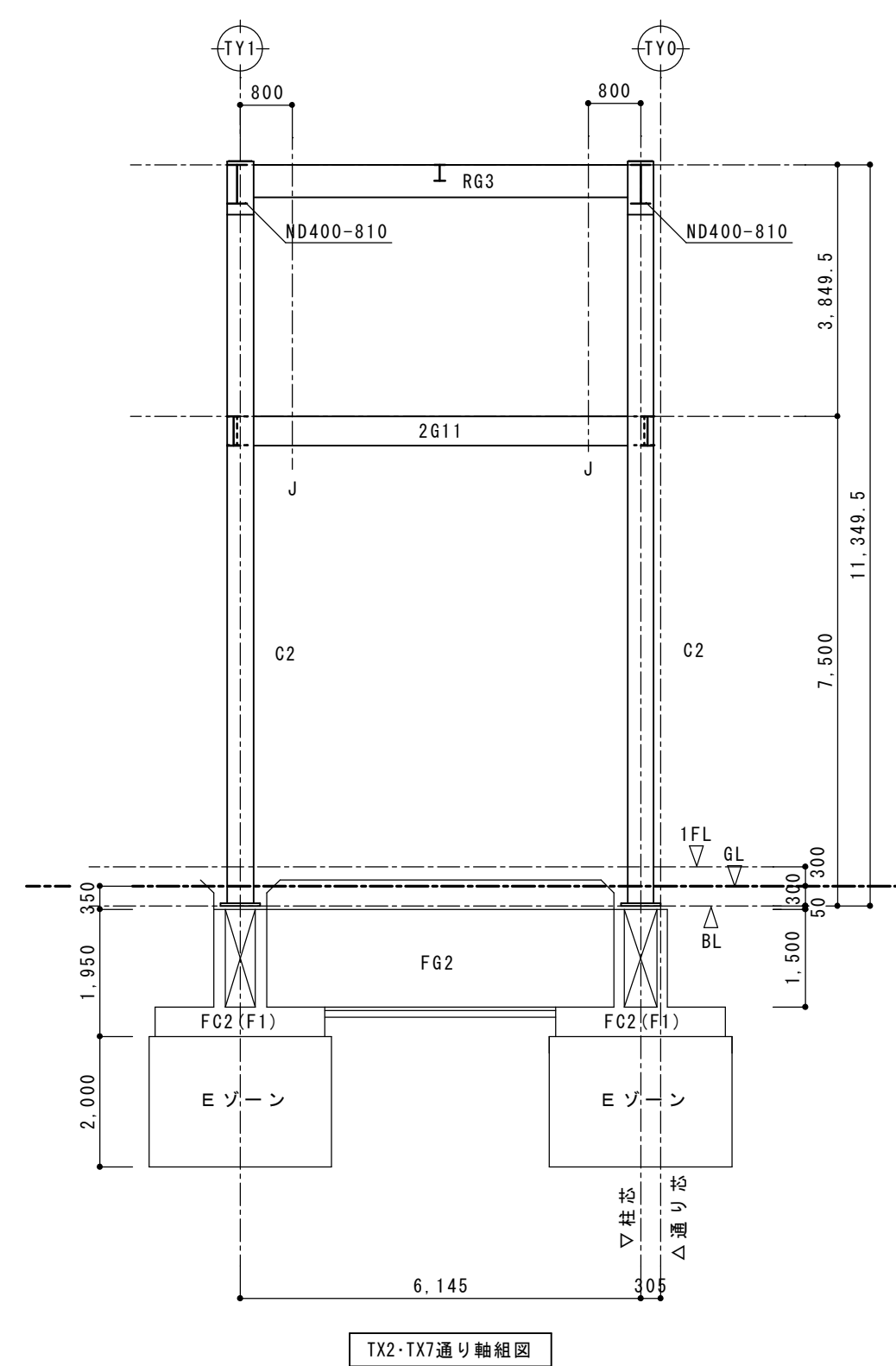
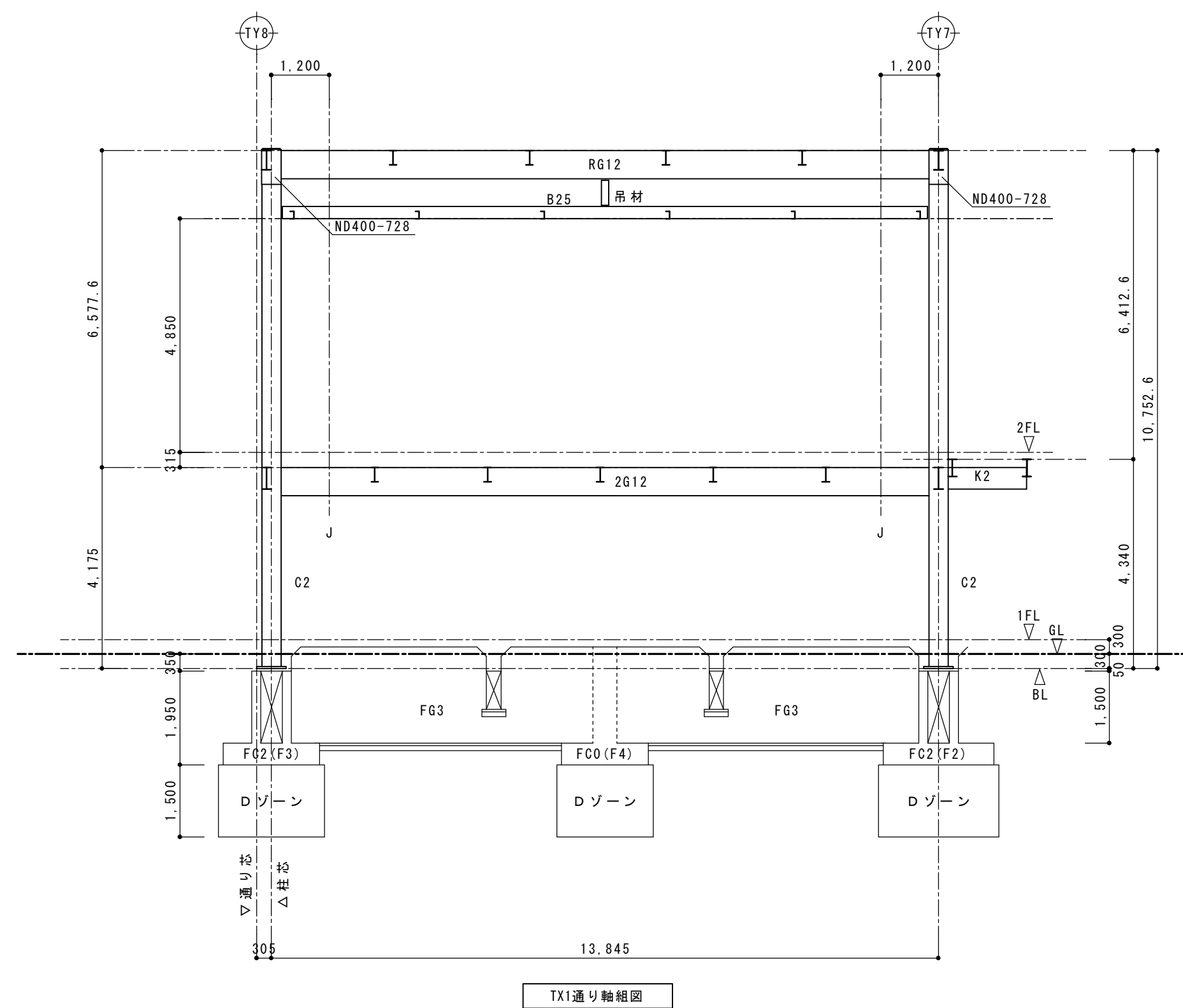
TY1通り軸組図

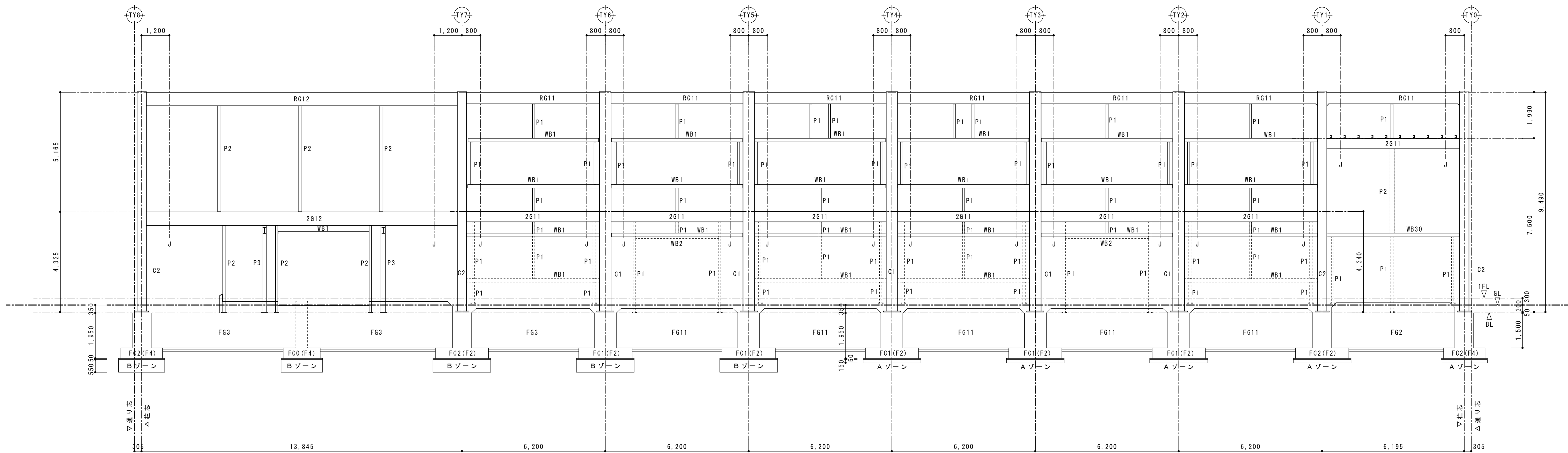
TYO通り軸組図



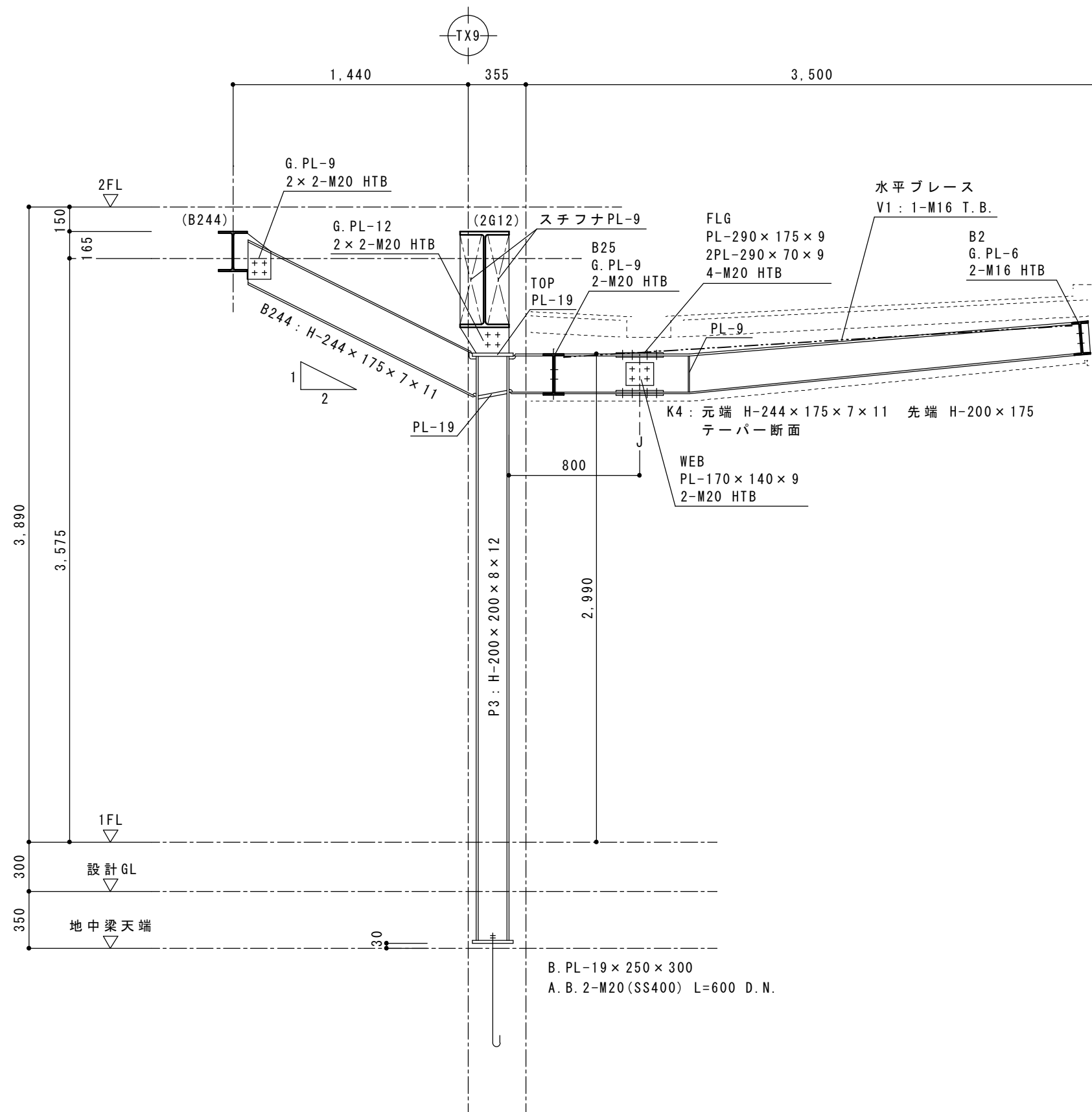
TXO通り軸組図

1級建築士大臣登録 第197755号
構造設計1級建築士 第6160号
上 原 明 彦



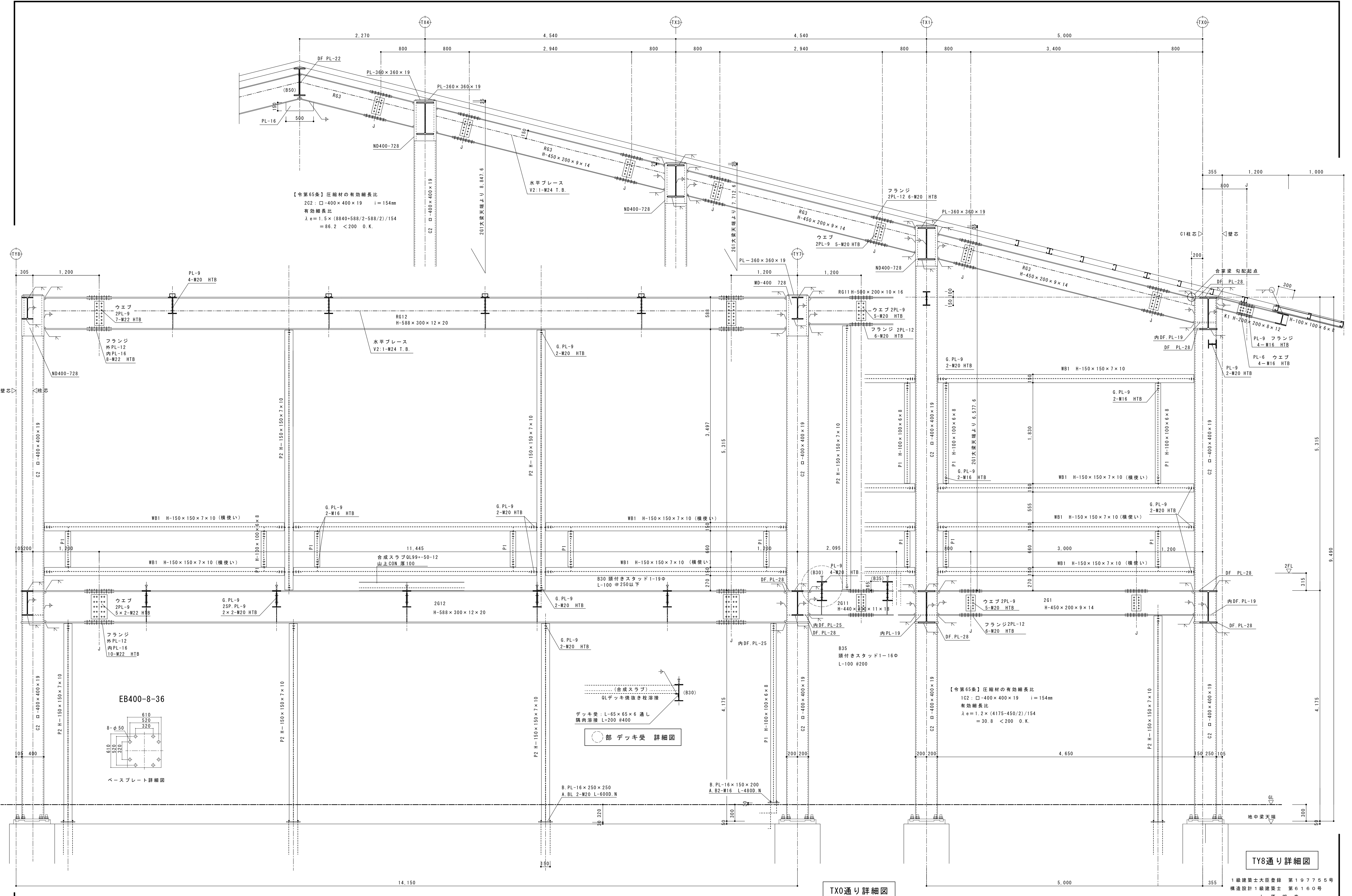


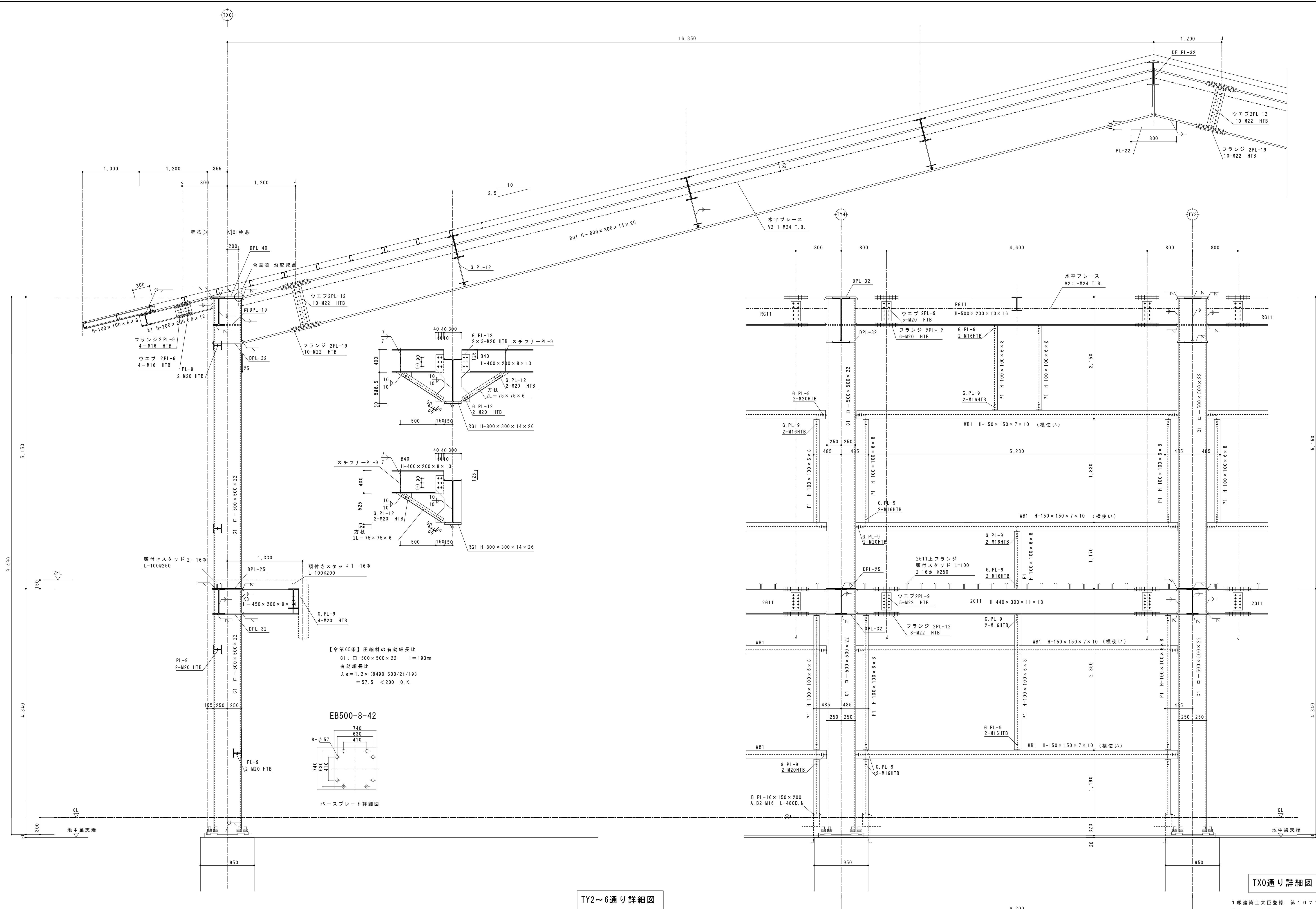
TX9通り軸組図



玄関底廻り (TY7' 通り) 詳細図 S:1/30

1級建築士大臣登録 第197755号
構造設計1級建築士 第6160号
上原 明彦



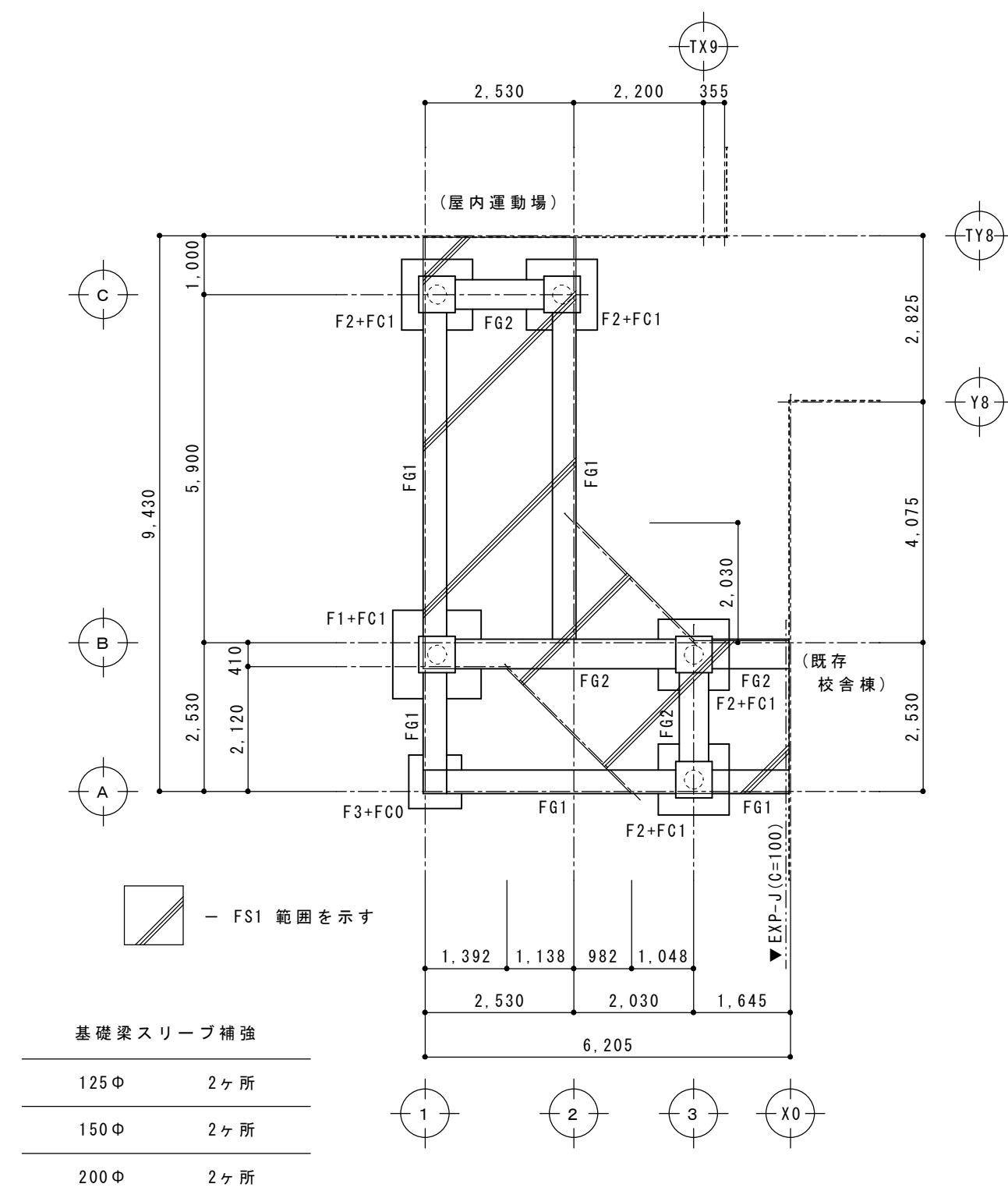


TY2~6通リ詳細図

TX0通リ詳細図

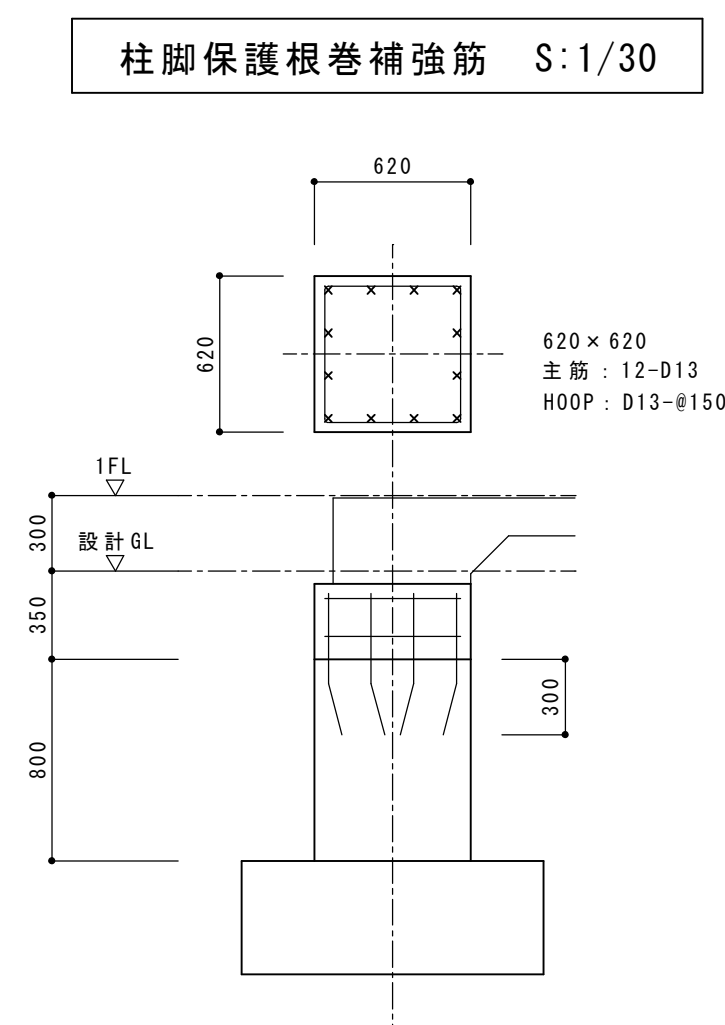
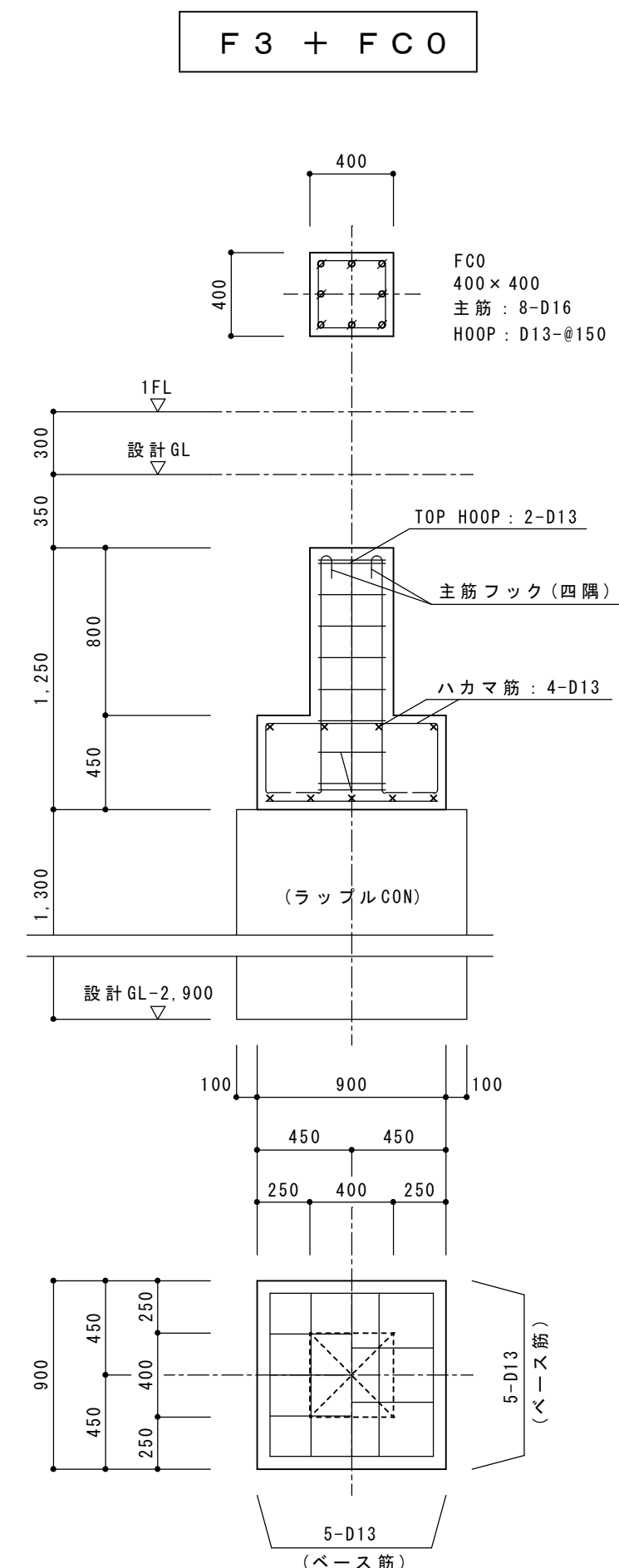
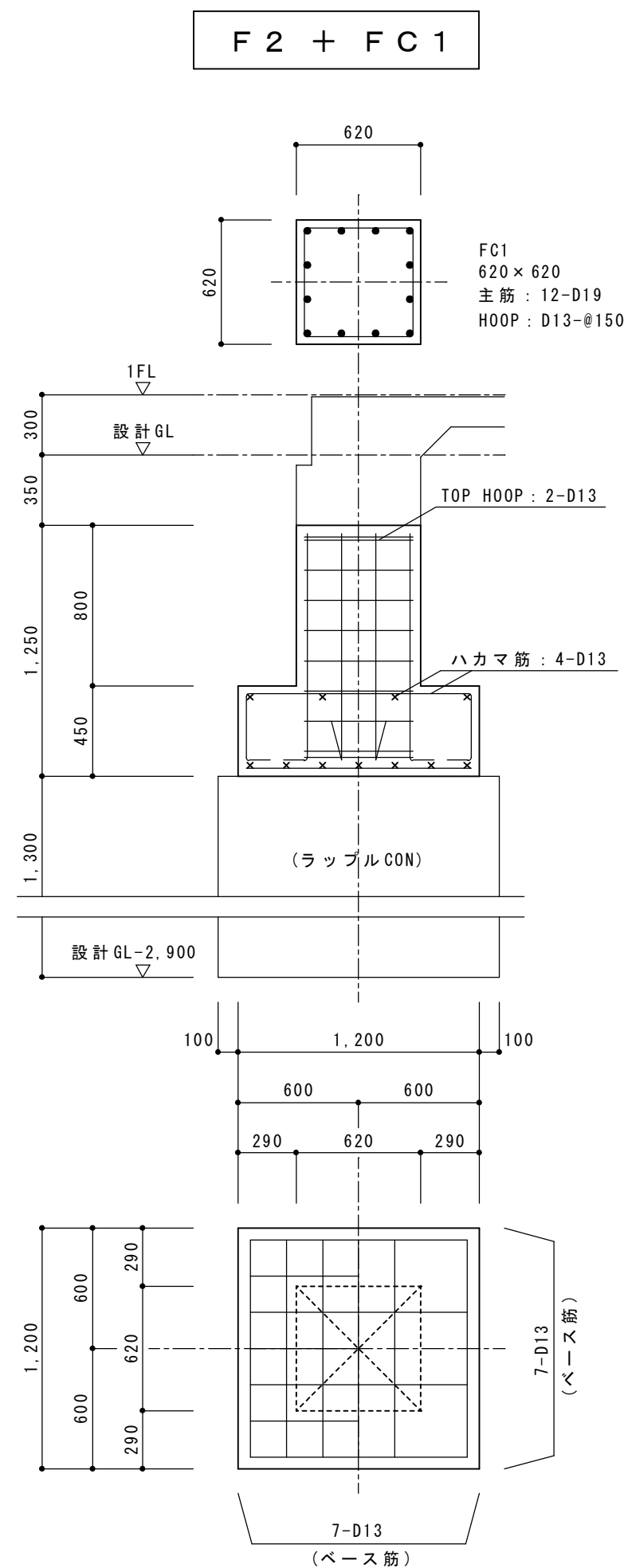
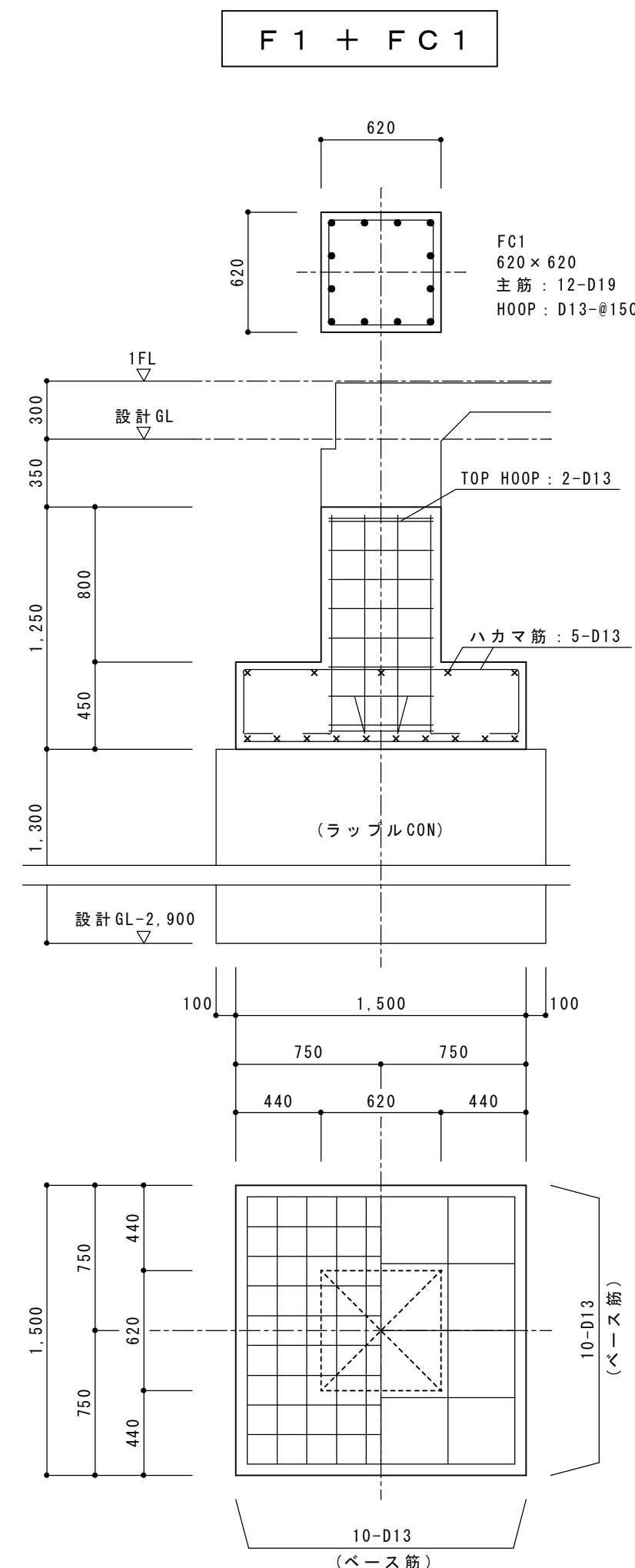
1級建築士大臣登録 第197755号
構造設計1級建築士 第6160号
上原 明彦

基礎詳細図 S:1/30



基礎伏図 S:1/100

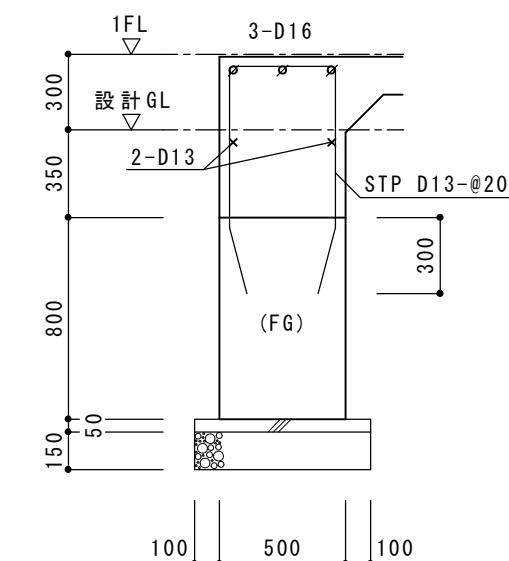
符号	スラブ厚	位置	主筋（短辺方向）	配力筋（長辺方向）	場所	備考
FS1	150	上端筋	D13-@200	同左	廊下	土間スラブ
		下端筋	D10-@200	同左		



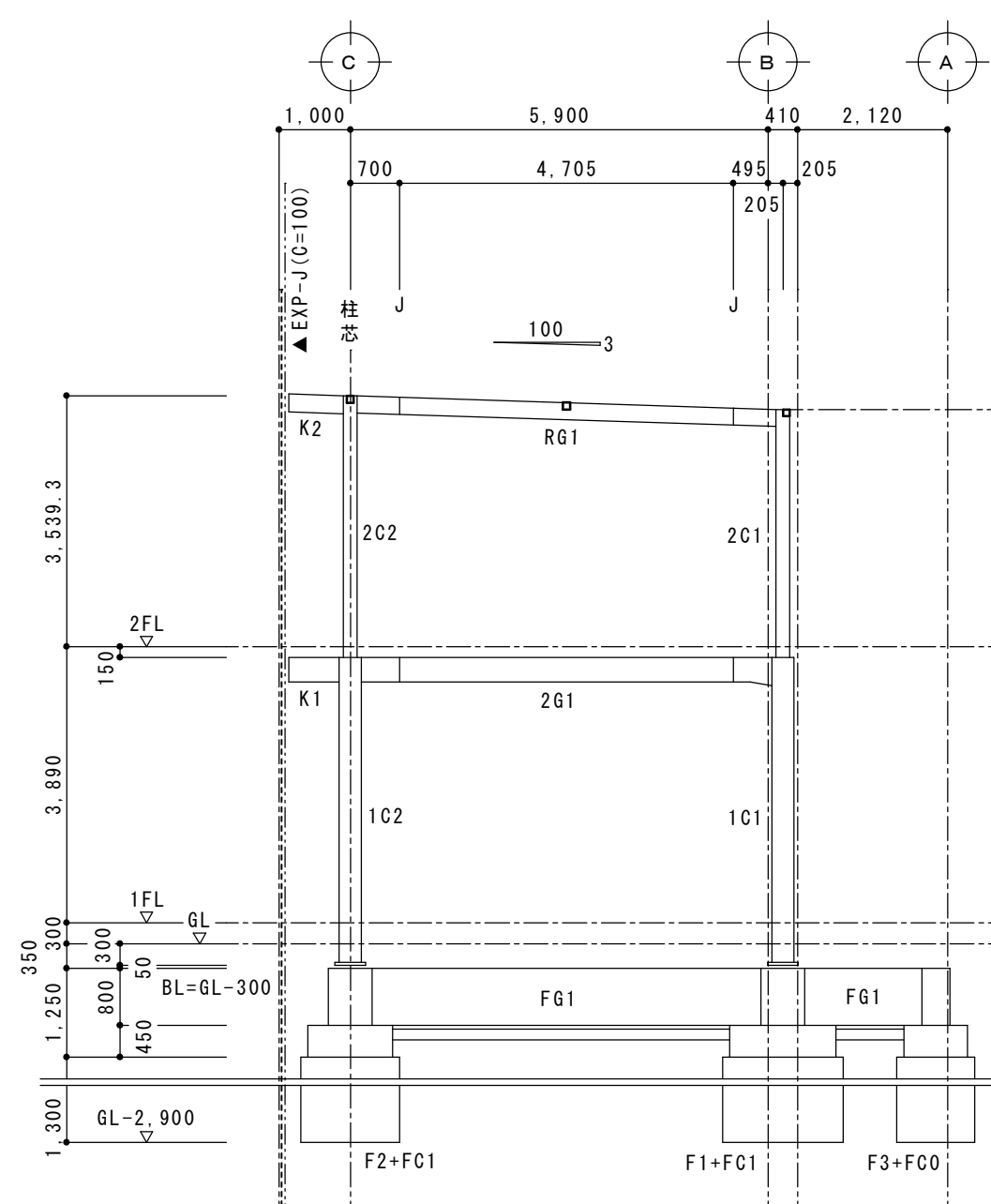
地中梁リスト S:1/30

符 号	FG1	FG2
位 置	全断面	全断面
断 面		
上 端 筋	4 - D19	4 - D19
下 端 筋	4 - D19	4 - D19
スターラップ	□ D13 - #200	□ D13 - #200
腹 筋	2 - D10	2 - D10
幅 止 メ	D10 - #1,000	D10 - #1,000

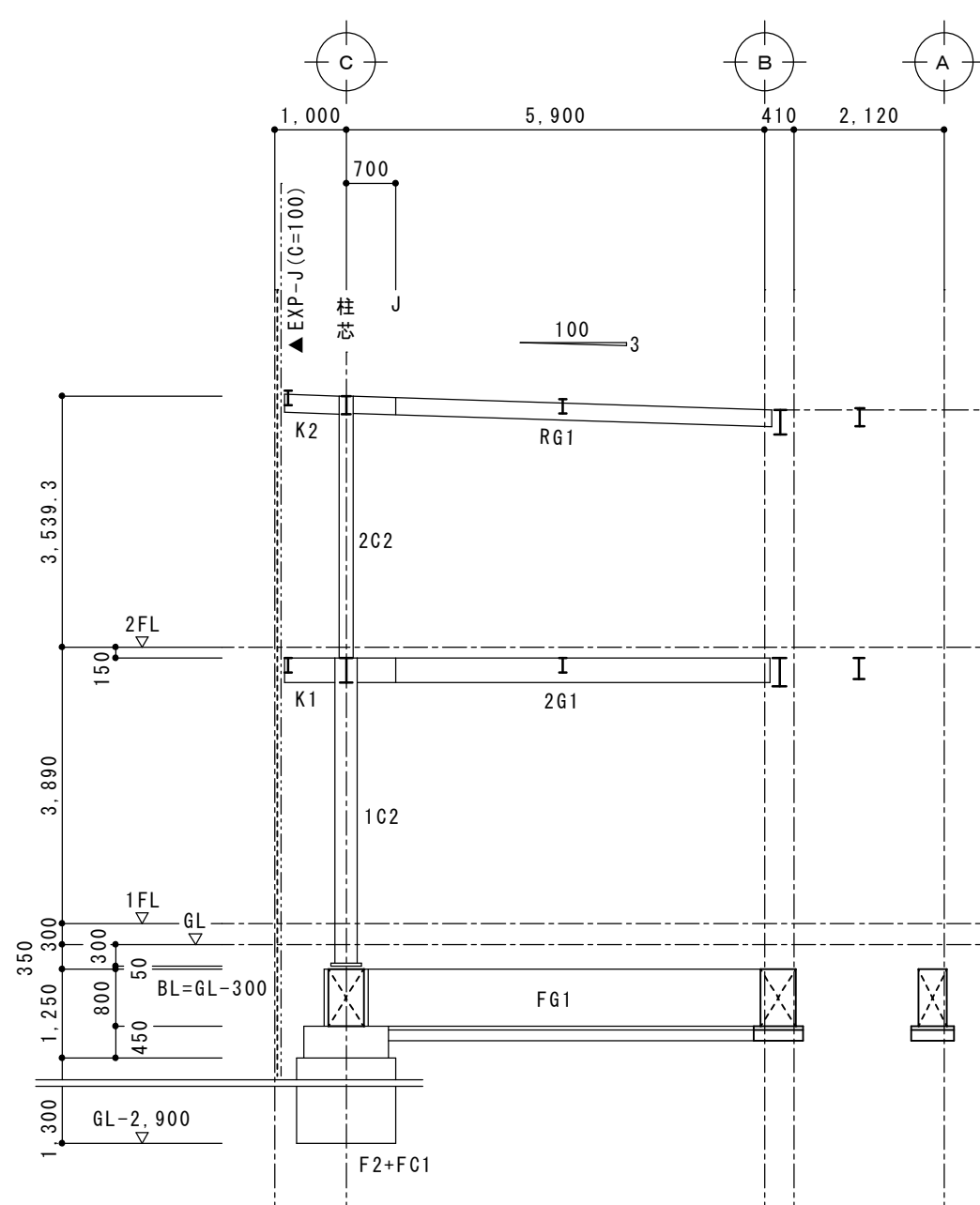
FGフカシ補強筋 S:1/30



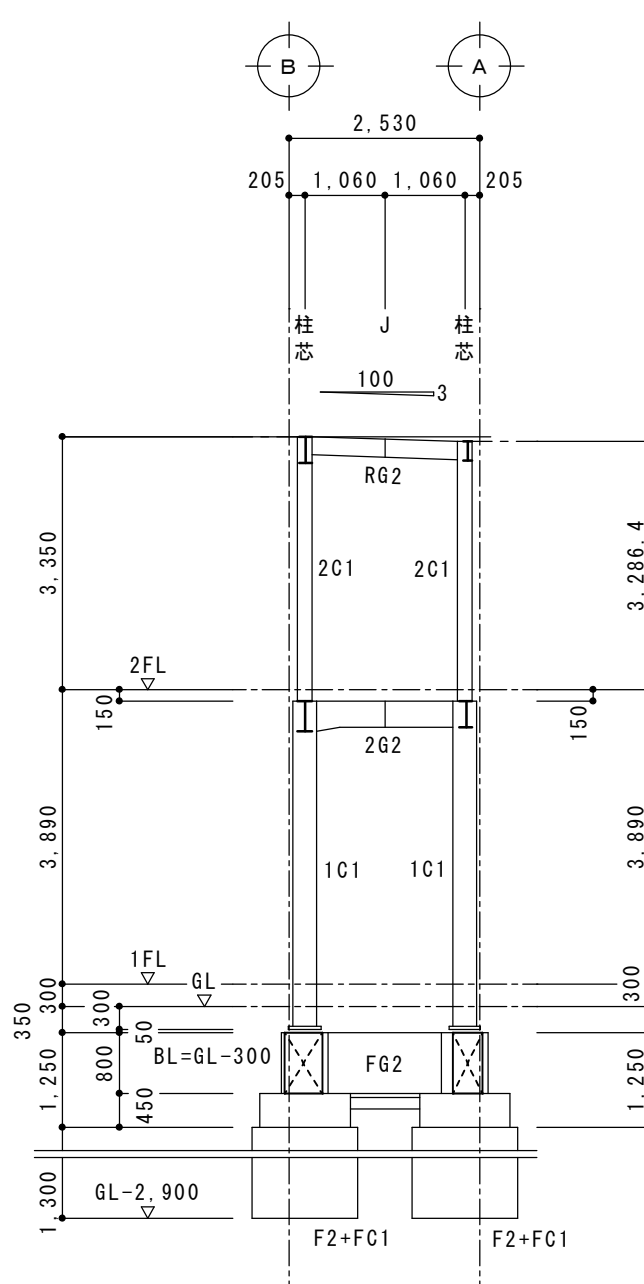
部 位	材 種
コンクリート	FC24
ラップルコンクリート	FC18
鉄筋 (D19以上)	SD345
鉄筋 (D16以下)	SD295A



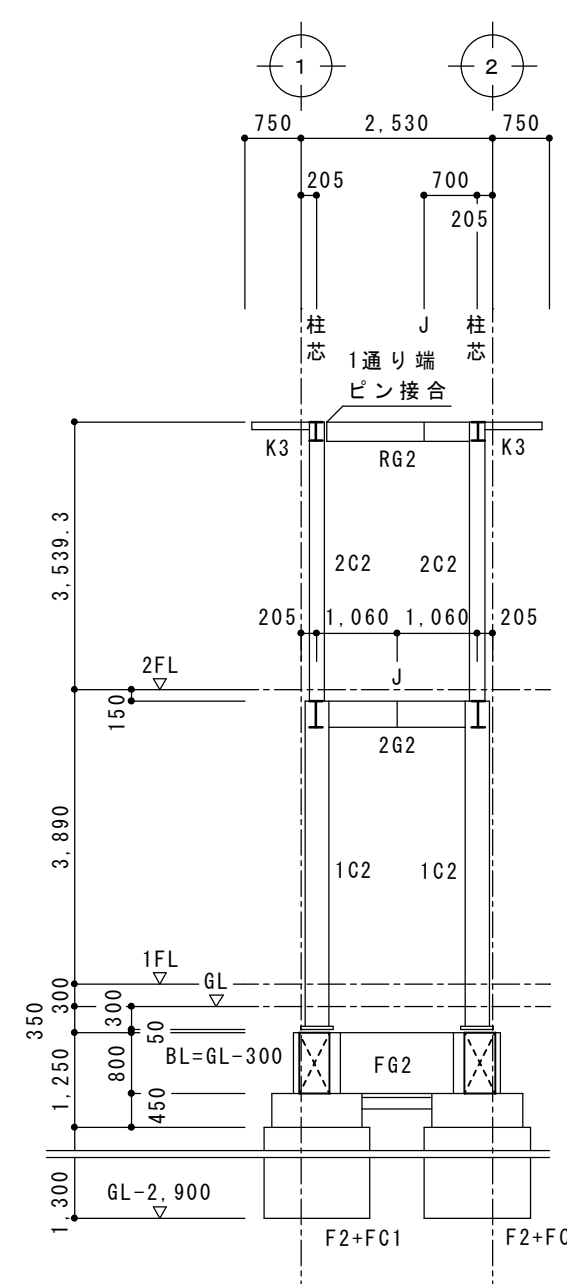
1 通り軸組図 S:1/100



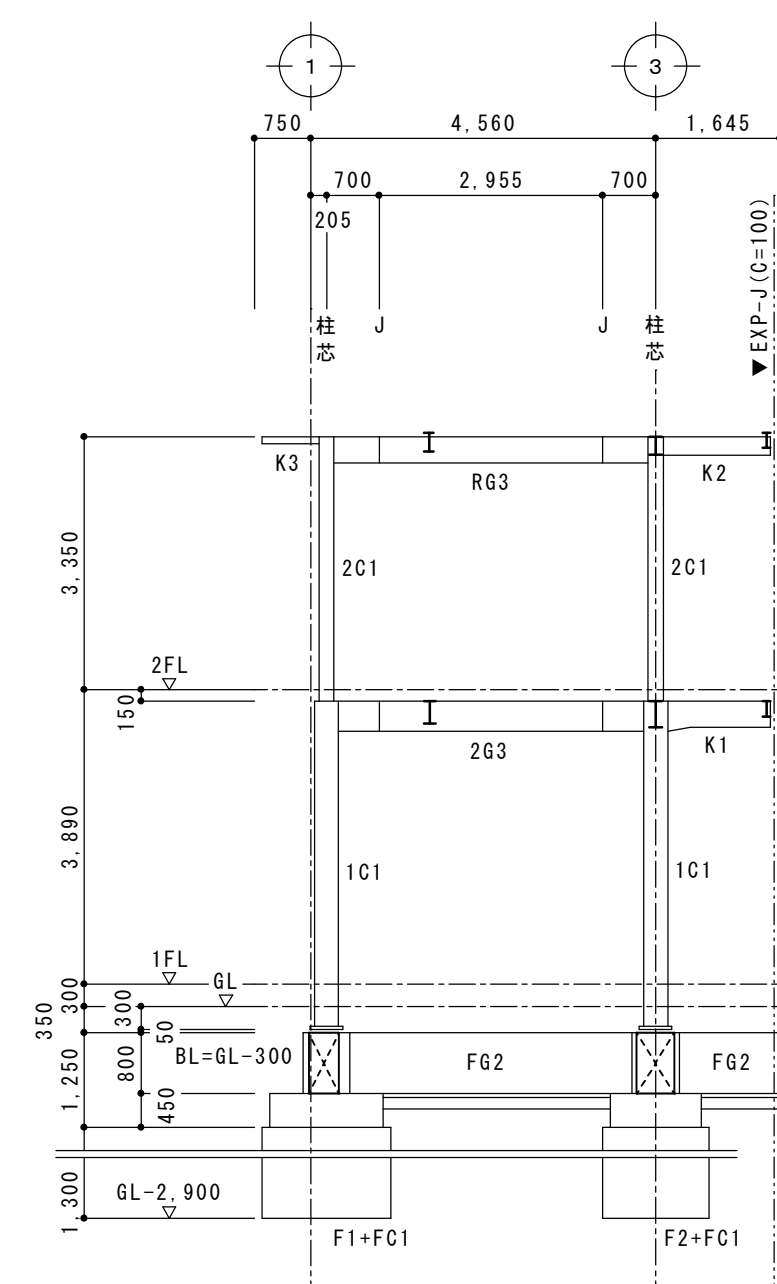
2 通り軸組図 S:1/100



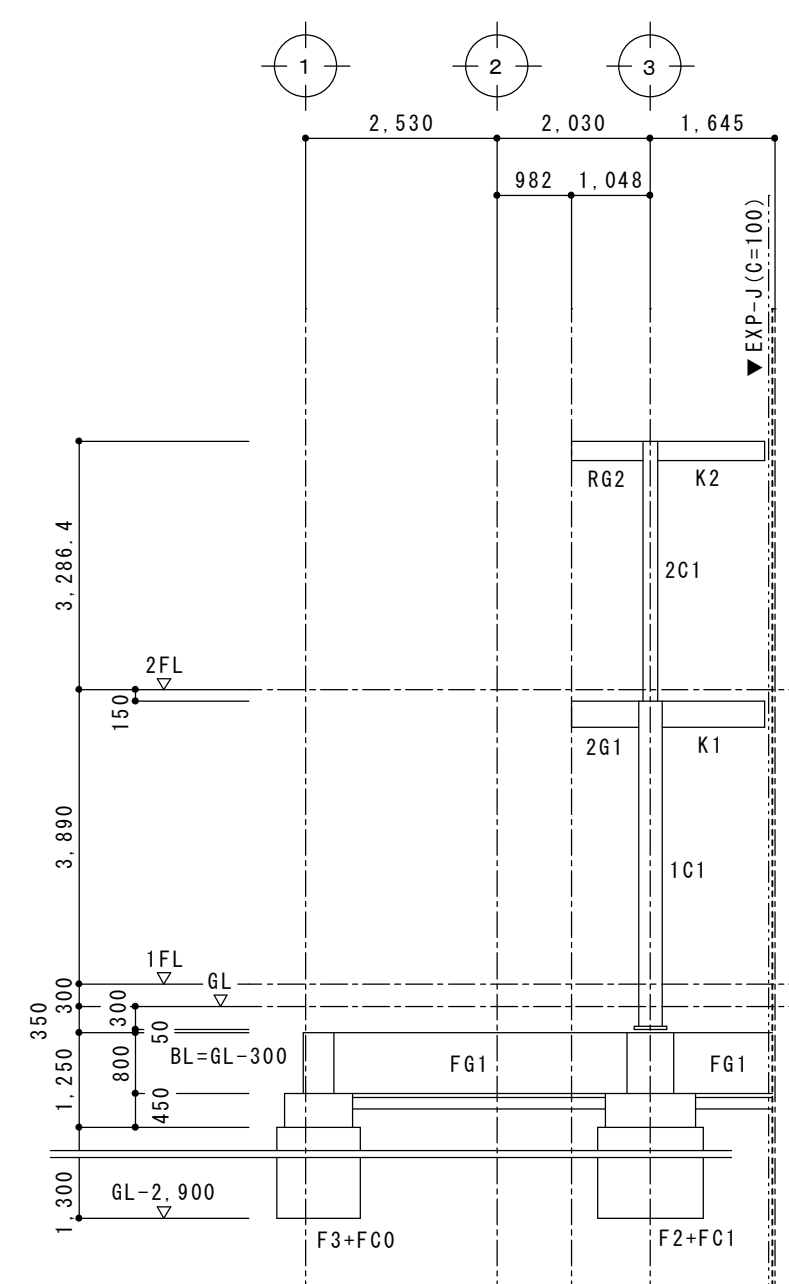
3 通り軸組図 S:1/100



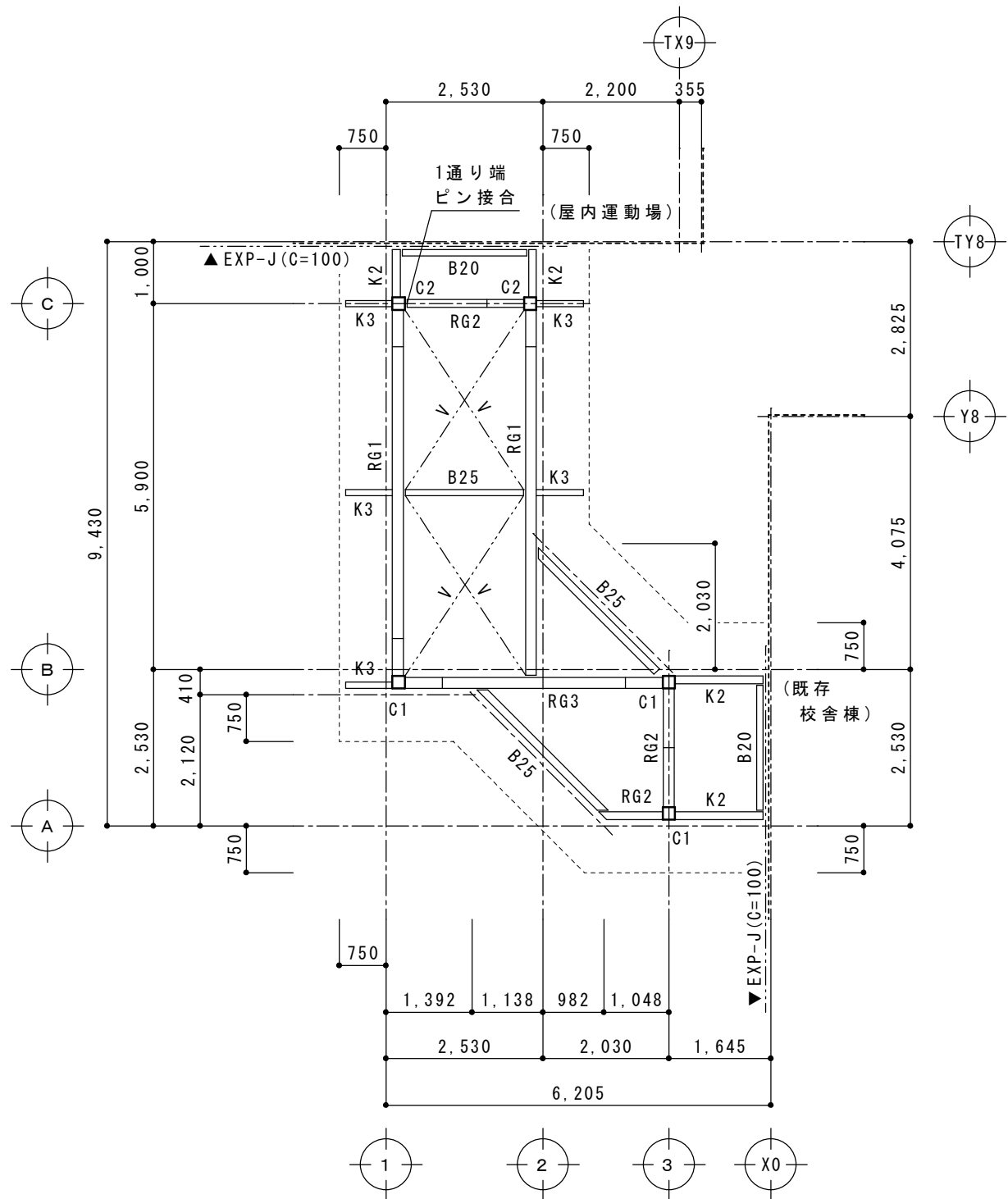
C 通り軸組図 S:1/100



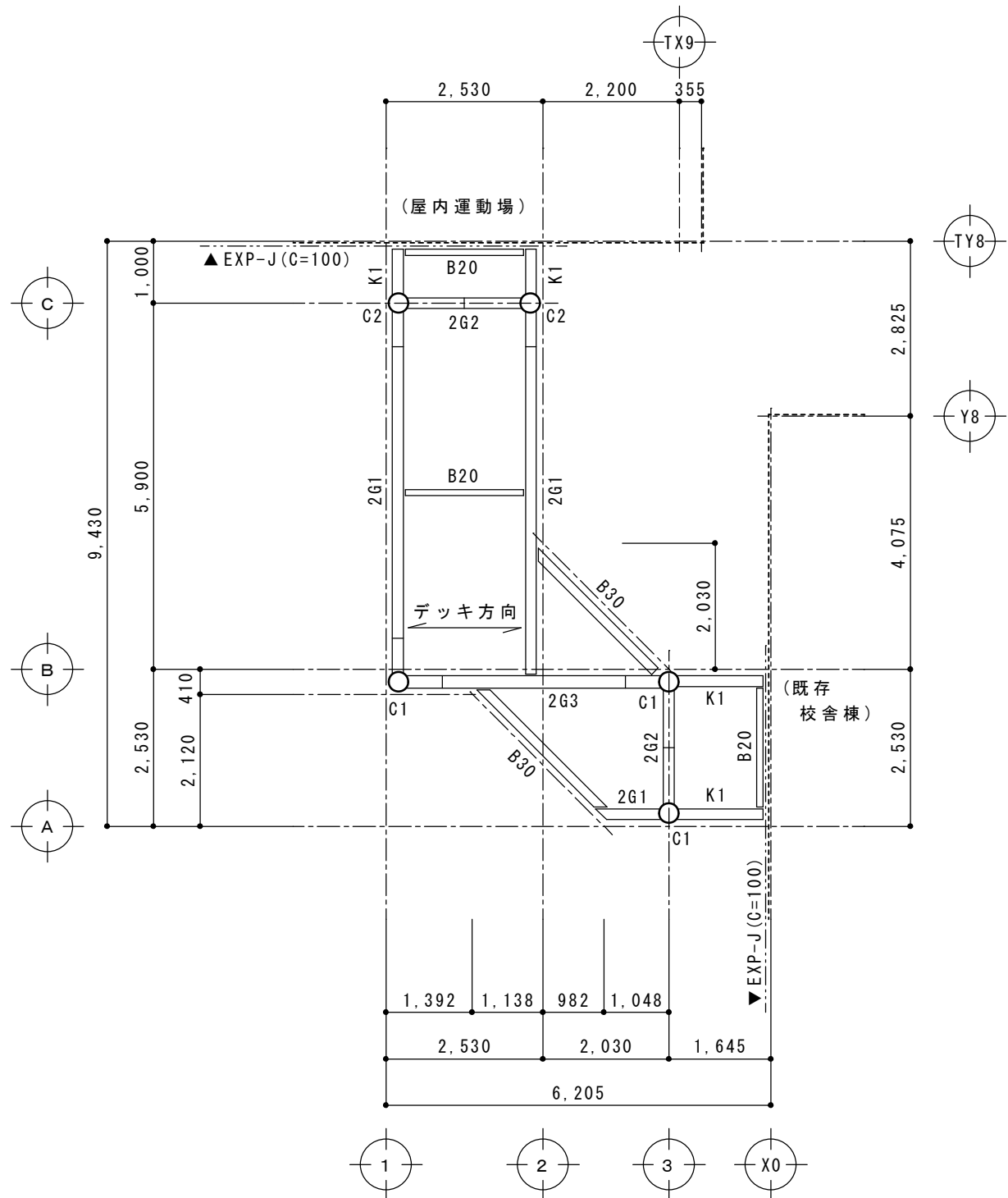
B 通り軸組図



A 通り軸組図 S:1/100



RF梁伏図 S:1/100



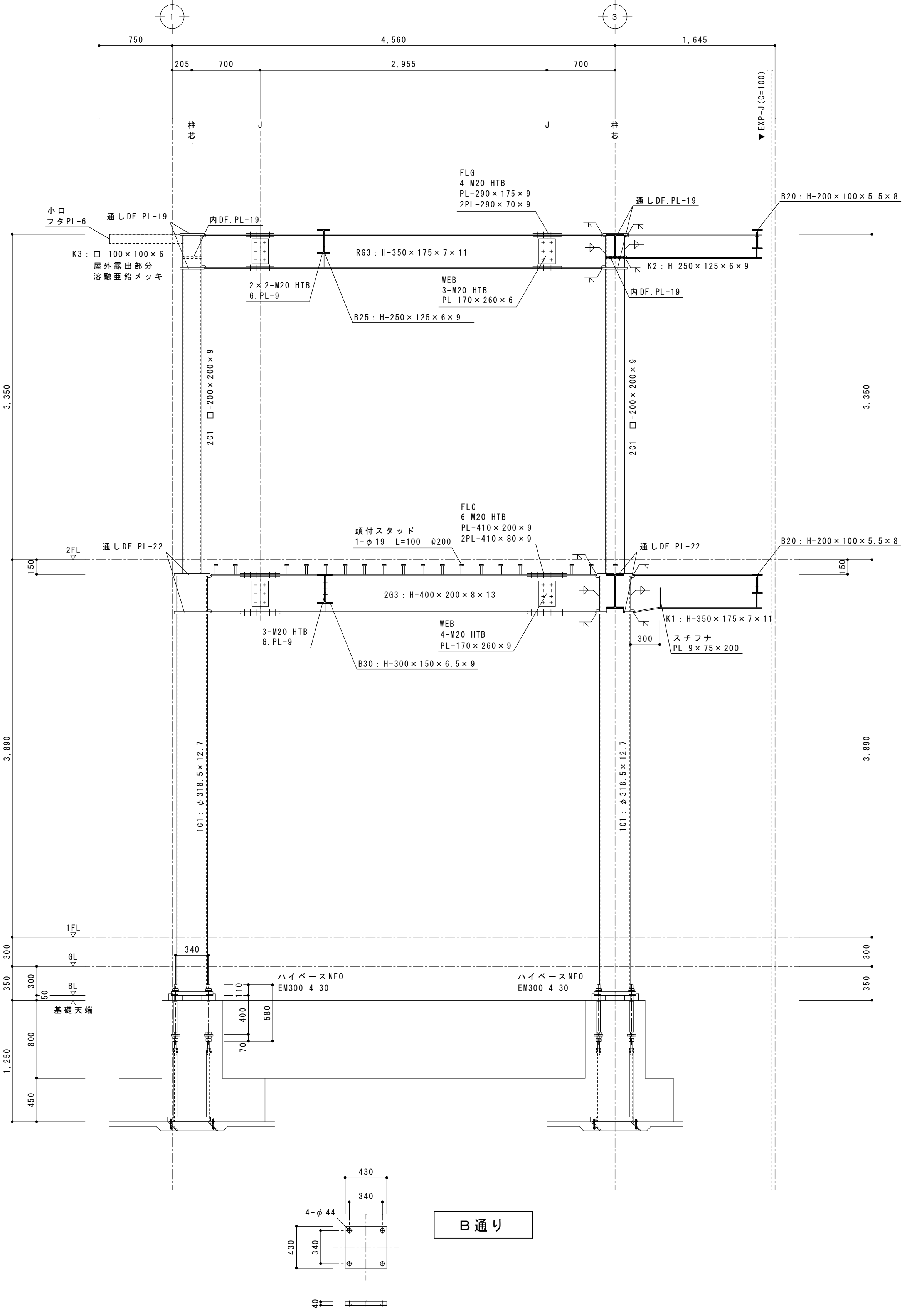
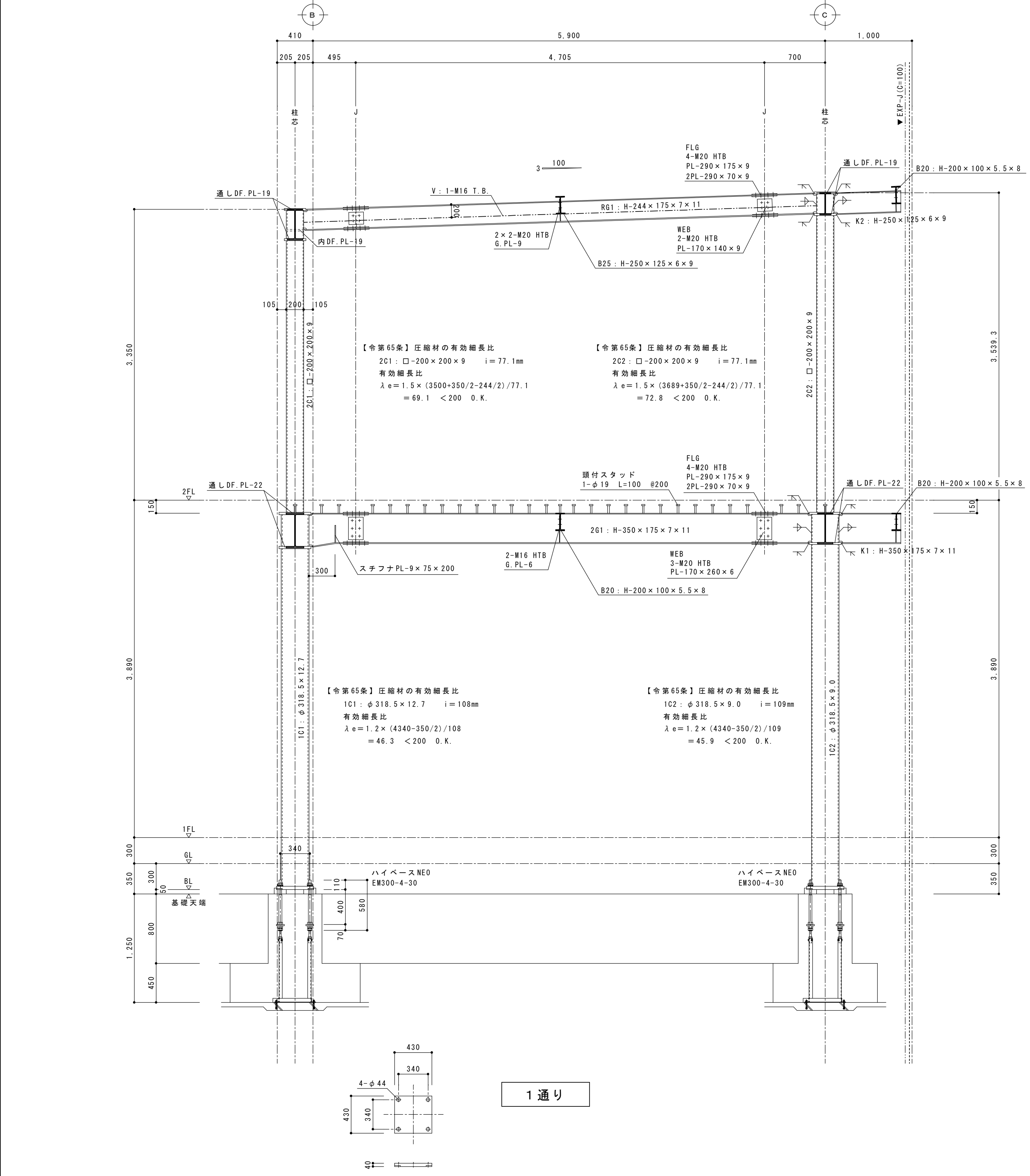
2F梁伏図 S:1/100

鉄骨部材リスト

※ H形鋼大梁継手は「鉄骨標準継手SCSS-H97」による

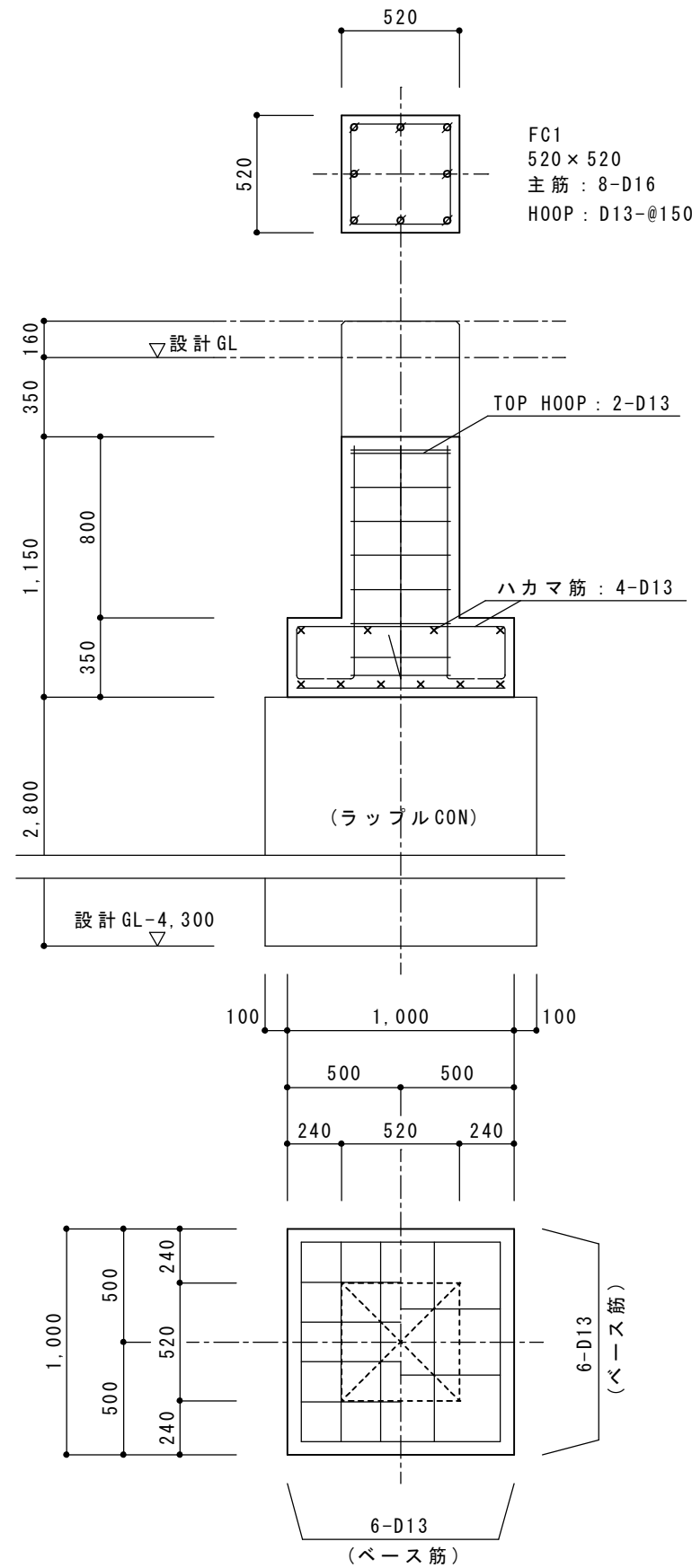
符 号	断 面 形 状	接 合		備 考
		F L G	W E B	
1C1	φ-318.5×12.7			B. PL-40×430×430 (TMCP鋼) A. B. 4-M30 (HAB) STKN490 ハイベースNEO EM300-4-30 (アンカーロック)
1C2	φ-318.5×9.0			B. PL-40×430×430 (TMCP鋼) A. B. 4-M30 (HAB) STKN490 ハイベースNEO EM300-4-30 (アンカーロック)
2C1	□-200×200×9			BCR295
2C2	□-200×200×9			BCR295
RG1	H-244×175×7×11	4-M20 HTB PL-290×175×9 2PL-290×70×9	2-M20 HTB PL-170×140×9	ピン接合 2×2-M20 HTB G. PL-9 SN400B
RG2	H-250×125×6×9	6-M16 HTB PL-410×125×12	4-M16 HTB PL-290×170×6	ピン接合 2×2-M20 HTB G. PL-9 SN400B
RG3	H-350×175×7×11	4-M20 HTB PL-290×175×9 2PL-290×70×9	3-M20 HTB PL-170×260×6	SN400B
2G1, 2G2	H-350×175×7×11	4-M20 HTB PL-290×175×9 2PL-290×70×9	3-M20 HTB PL-170×260×6	頭付スタッド 1-φ19 L=100 @200 SN400B 2G1 ピン接合 4-M20 HTB G. PL-12
2G3	H-400×200×8×13	6-M20 HTB PL-410×200×9 2PL-410×80×9	4-M20 HTB PL-170×260×9	頭付スタッド 1-φ19 L=100 @200 SN400B
K1	H-350×175×7×11			SN400B
K2	H-250×125×6×9			SN400B
K3	□-100×100×6			屋外露出部分 溶融垂鉛メッキ STKR400
B20	H-200×100×5.5×8		2-M16 HTB G. PL-6	SS400
B25	H-250×125×6×9		2×2-M20 HTB G. PL-9	SS400
B30	H-300×150×6.5×9		3-M20 HTB G. PL-9	頭付スタッド 1-φ19 L=100 @200 SS400
V	1-M16 T. B.		1-M16 HTB G. PL-6 羽子板PL-6×52×170	SNR400B JIS建築用 (フルブレース)
合成 スラブ	QL 99-50-12	焼抜き栓溶接 デッキ方向@500 幅方向 @300 (全てのK1梁・B20梁)		コンクリート t=100mm ワイヤメッシュ (上端全面) φ6×100×100

部 位	材 種
1C1, 1C2	STKN490
2C1, 2C2	BCR295
C柱 柱脚	ハイベース仕様
通しDF	SN490C
G梁, K1, K2	SN400B
K3	STKR400
B梁, 鋼板	SS400
HTB	F10T または S10T

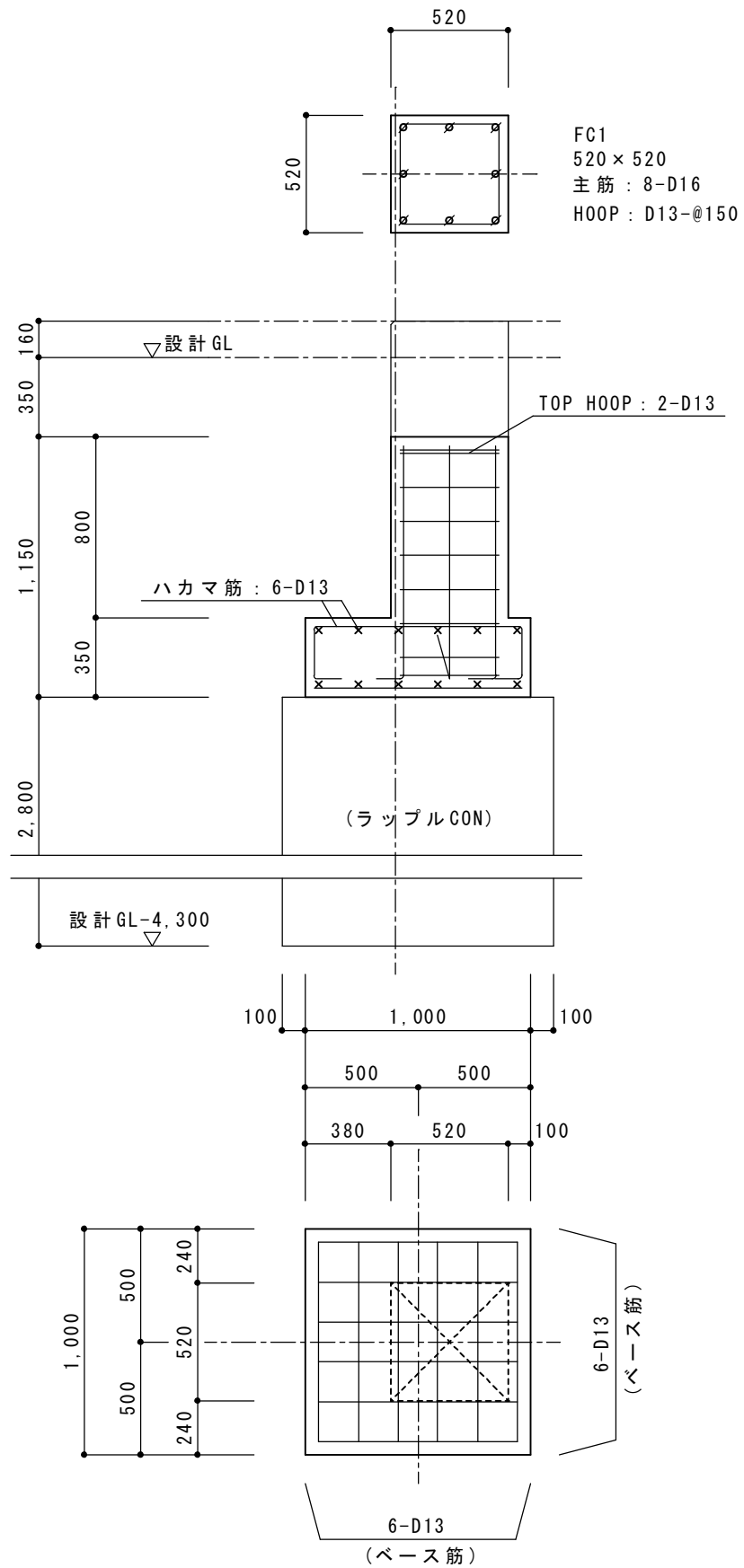


基礎詳細図 S:1/30

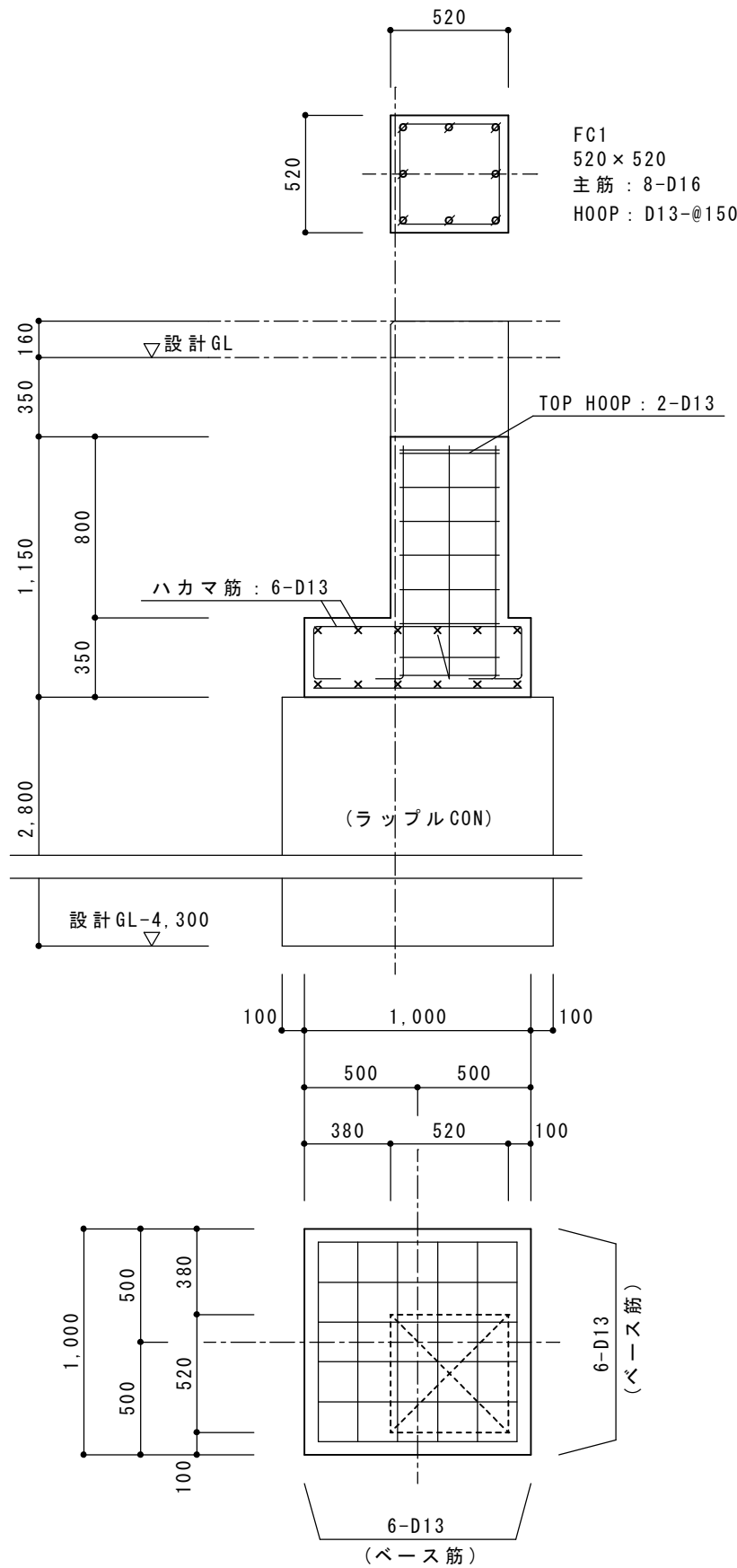
F 1 + F C 1



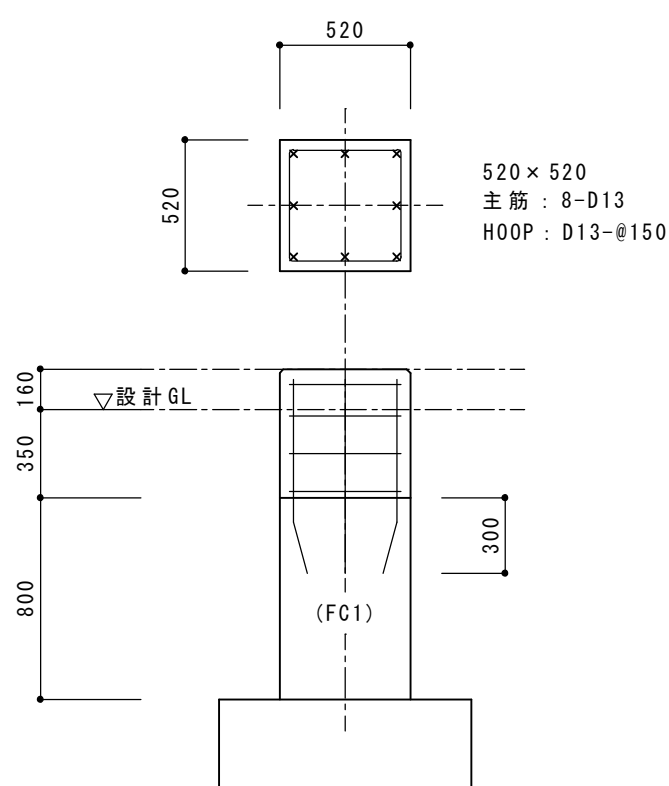
F 2 + F C 1



F 3 + F C 1



柱脚保護根巻補強筋 S:1/30



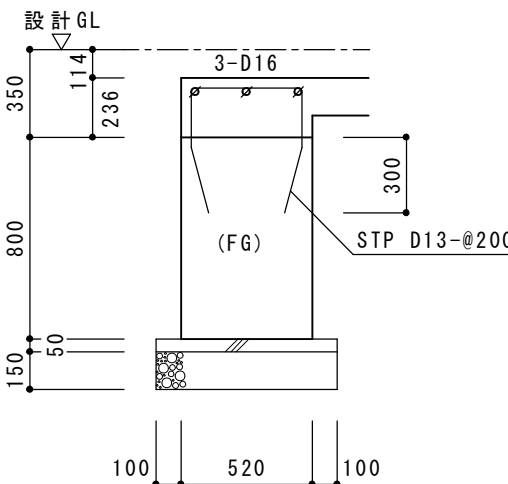
地中梁リスト S:1/30

符 号	FG1	FG2
位 置	全断面	全断面
断 面		
上 端 筋	4 - D19	4 - D19
下 端 筋	4 - D19	4 - D19
スタールアップ	□ D13 - #200	□ D13 - #200
腹 筋	2 - D10	2 - D10
幅 止 め	D10 - #1,000	D10 - #1,000

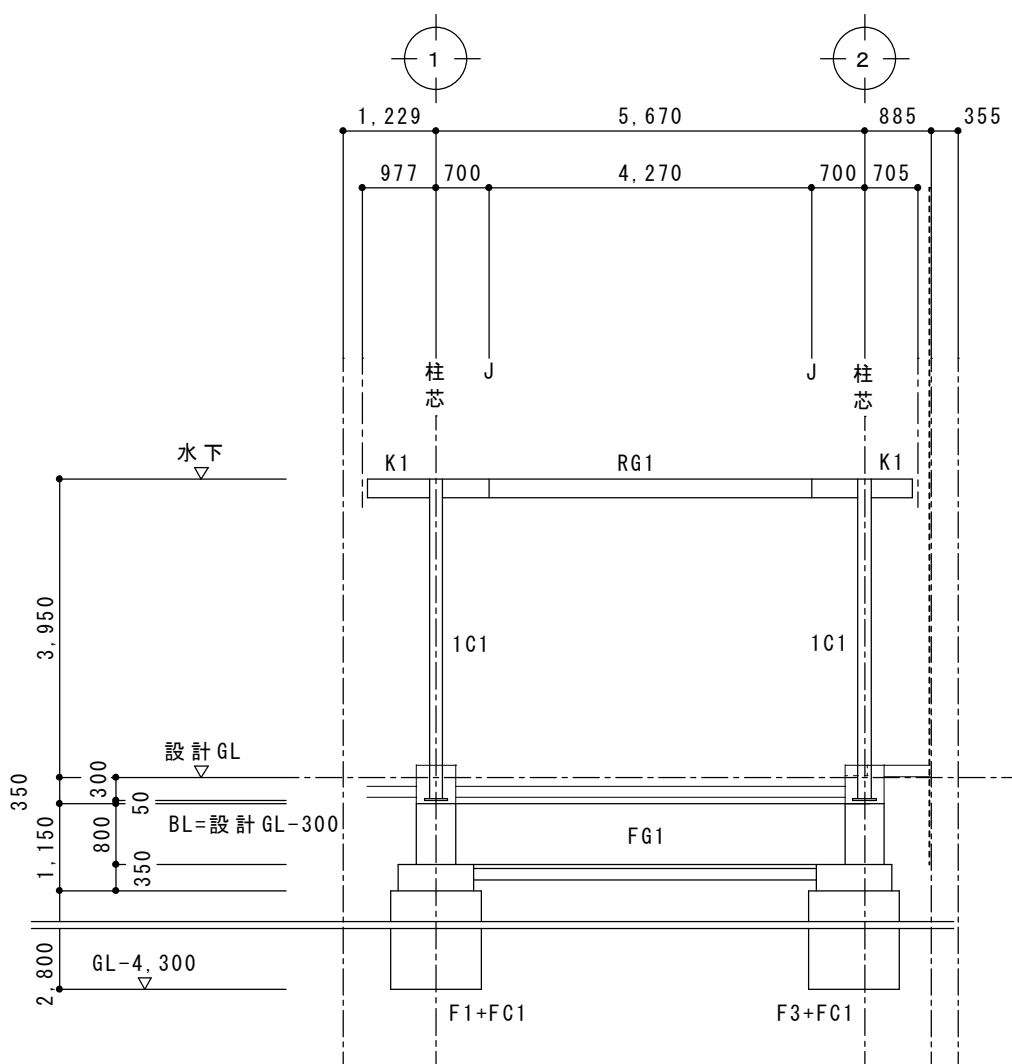
基礎伏図 S:1/100

符号	スラブ厚	位置	主筋 (短辺方向)	配力筋 (長辺方向)	場所	備考
FS1	150	上端筋	D13-#200	同左	廊下	土間スラブ
		下端筋	D10-#200	同左		

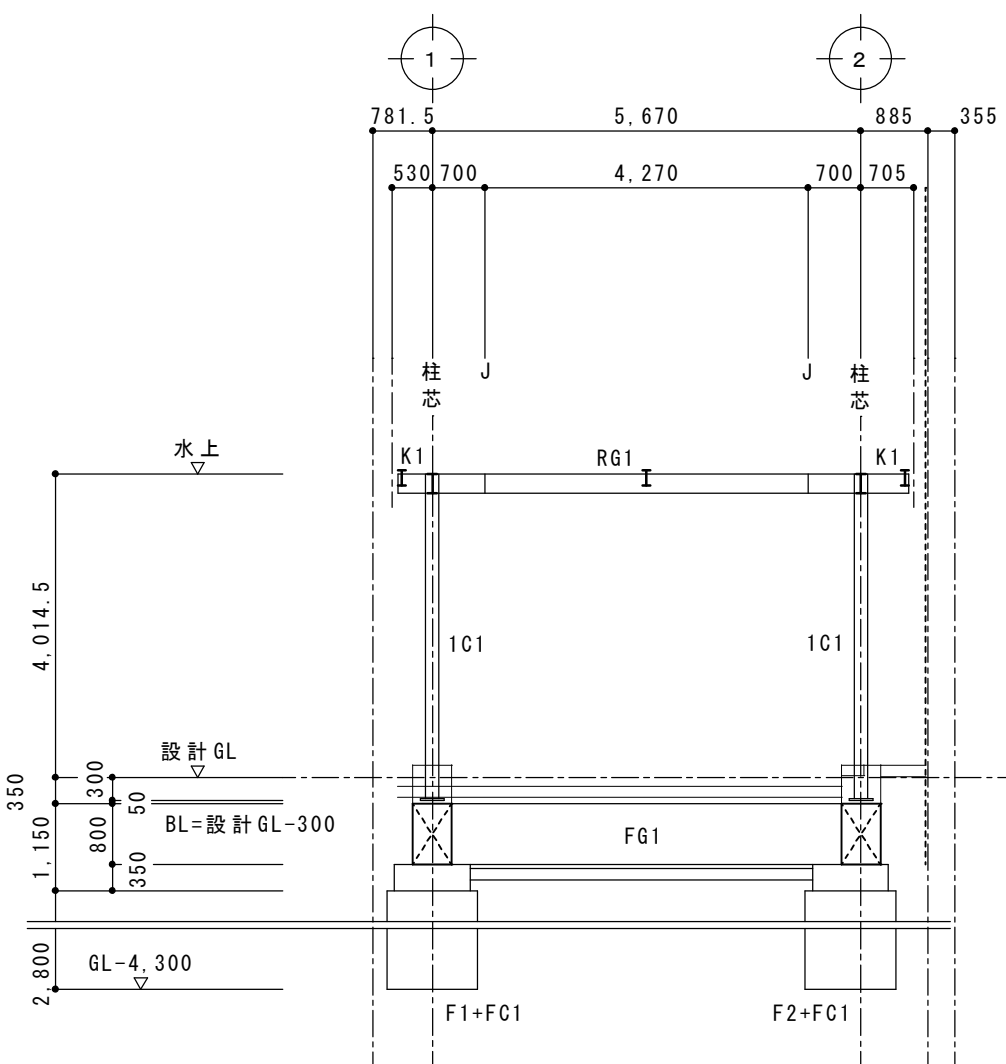
FGフカシ補強筋 S:1/30



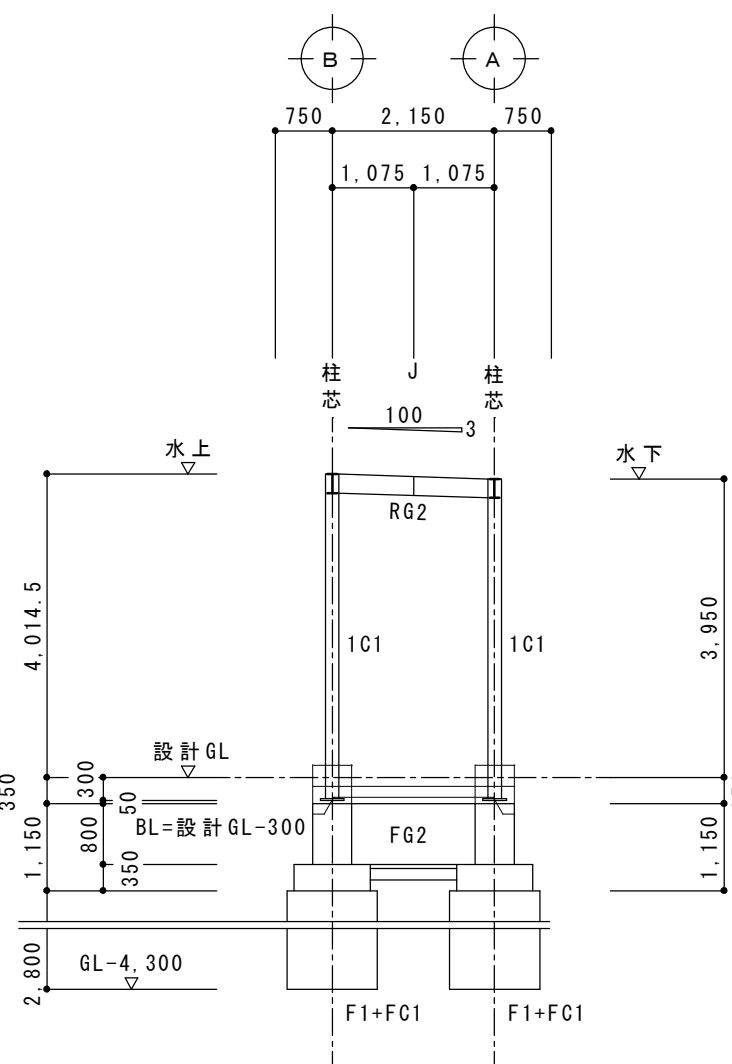
部 位	材 種
コンクリート	FC24
ラップルコンクリート	FC18
鉄筋 (D19以上)	SD345
鉄筋 (D16以下)	SD295A



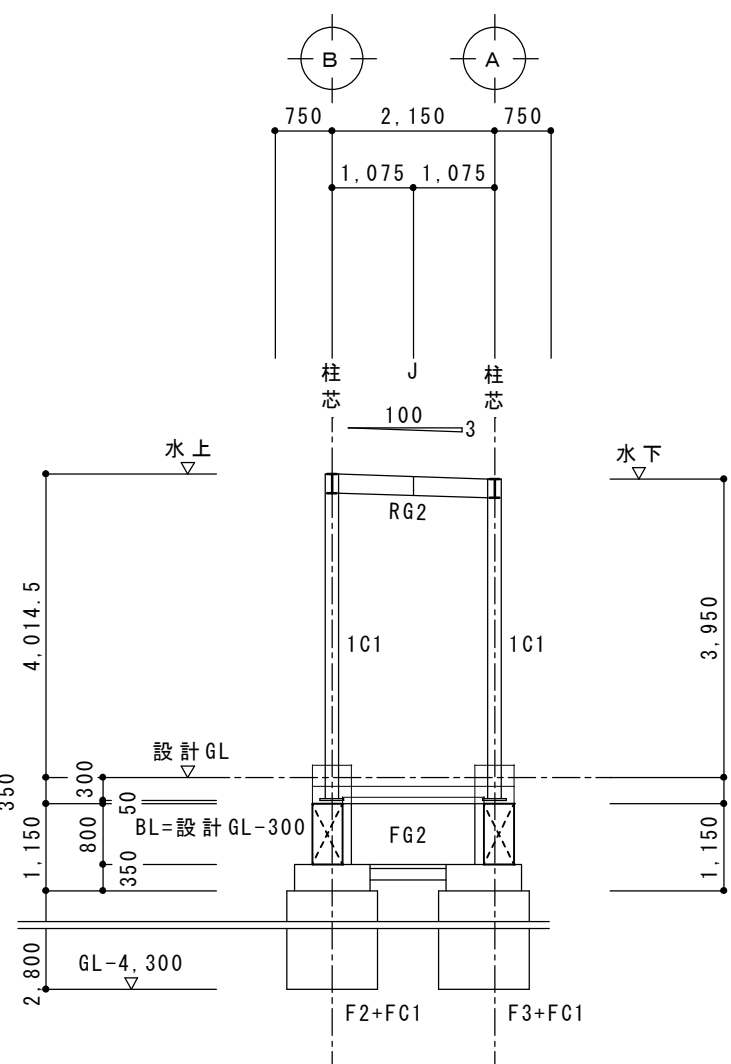
A通り軸組図 S:1/100



B通り軸組図 S:1/100



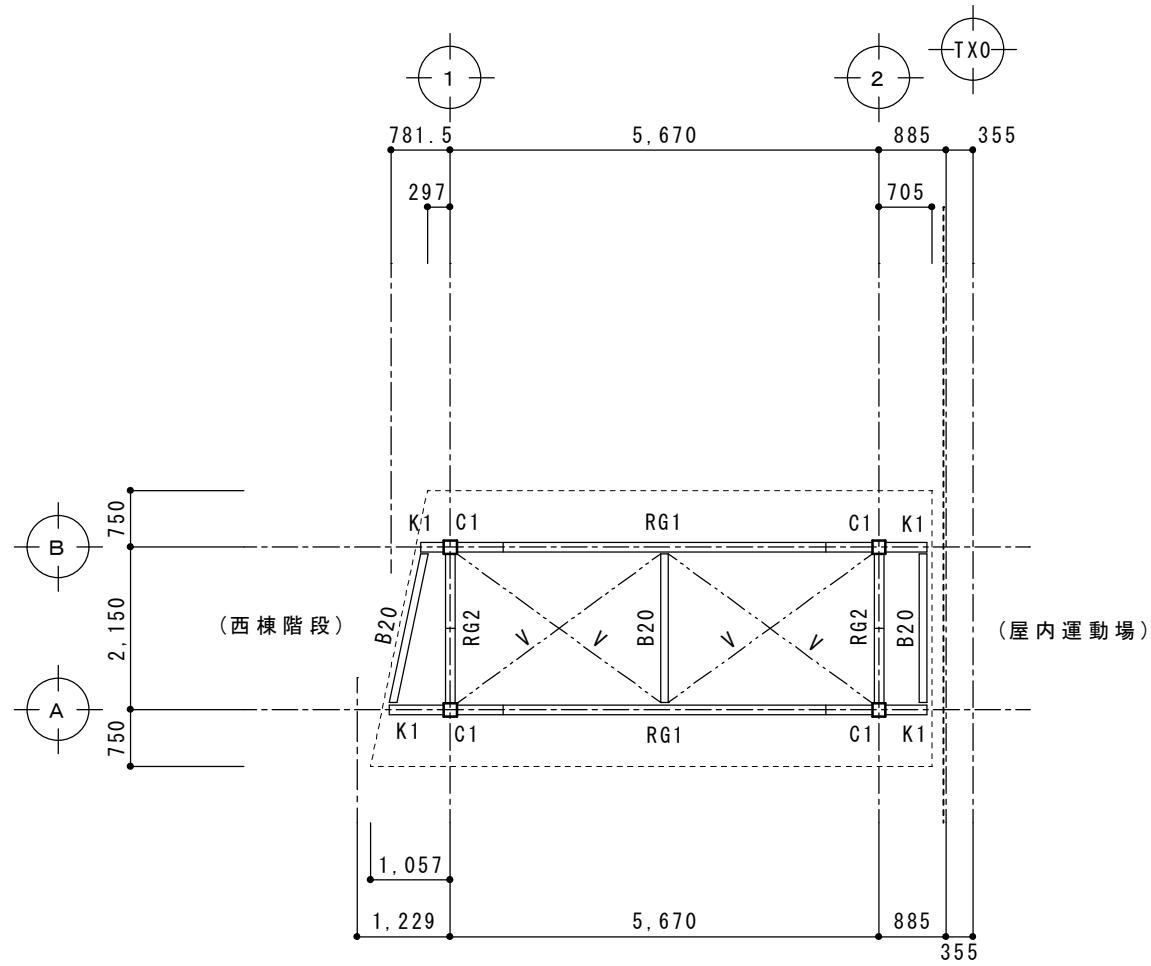
1通り軸組図 S:1/100



2通り軸組図 S:1/100

鉄骨部材リスト

※ H形鋼大梁継手は「鉄骨標準継手SCSS-H97」による

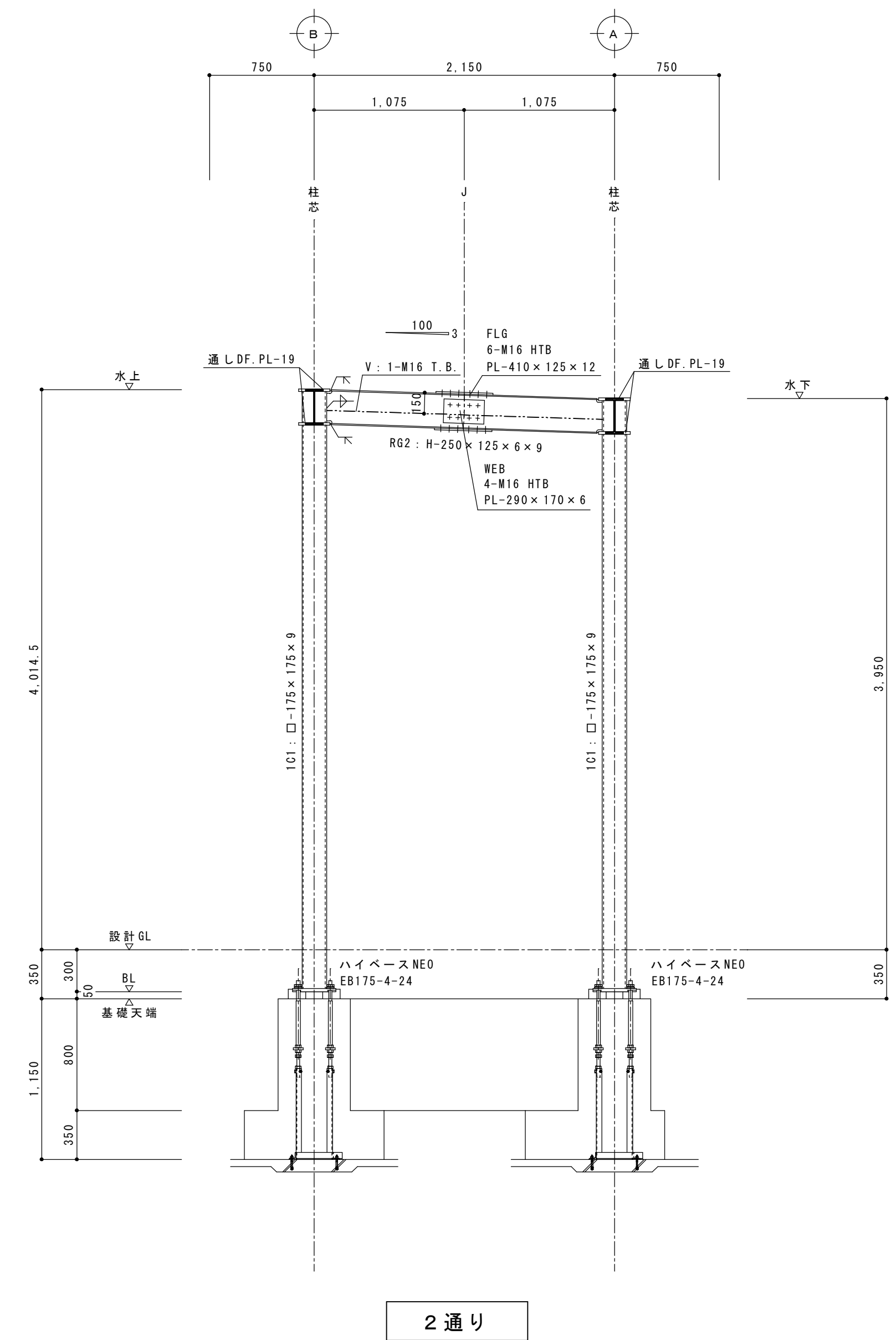


梁伏図 S:1/100

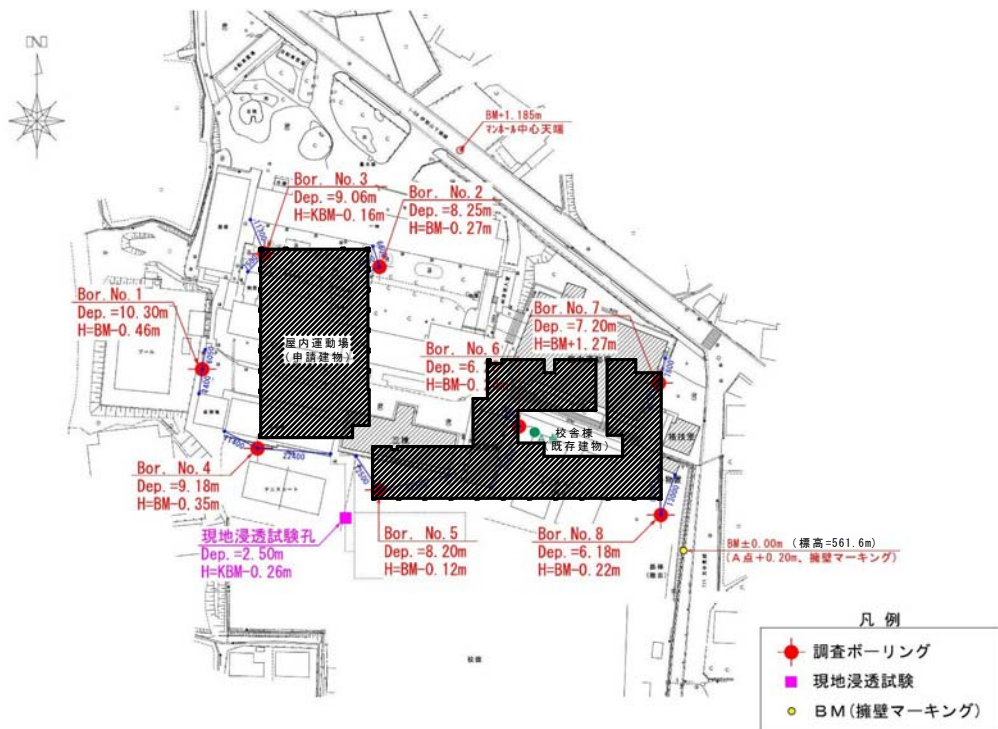
※ 鉄骨は全て 熔融亜鉛メッキ品とする

[illegible]

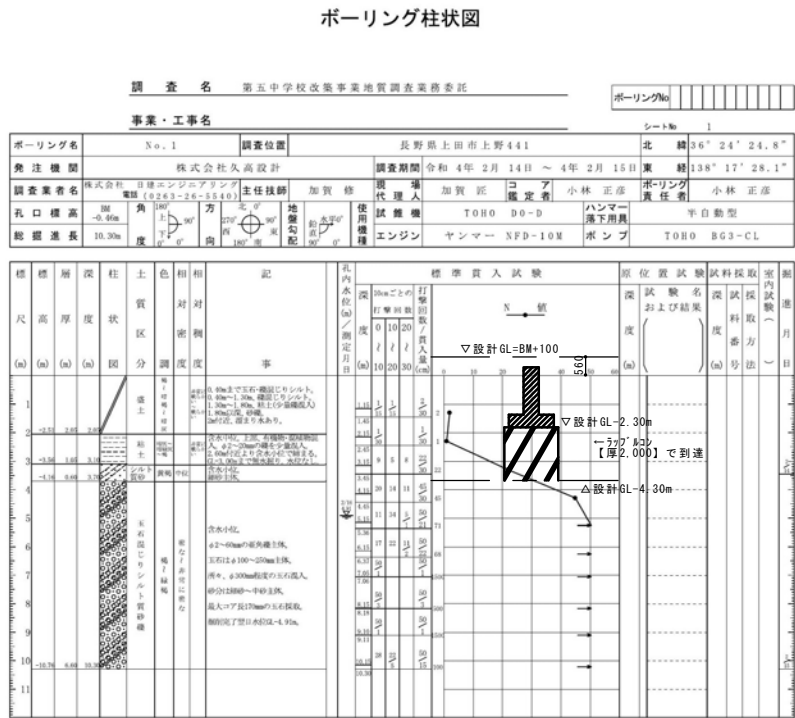
部 位	材 種
C柱	BCR295
C柱 柱脚	ハイベース仕様
通しDF	SN490C
G梁、K梁	SN400B
B梁、銅板	SS400
HTB	F8T



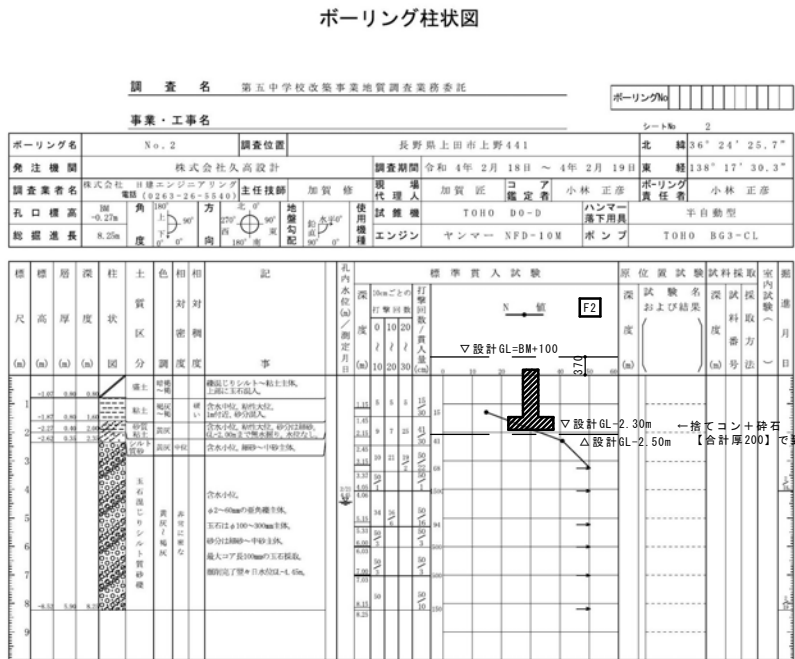
	上田市都市建設部建築課	事業年度	R6 / (R7) / R8	久高設計・河田一級建築士事務所 設計共同企業体	代表者	長野県知事 登録 第1社 N-78311号 名 稱 株式会社 久 高 設 計 住 所 長野県上田市住吉5番地2 代 表 者 品 和 久	設計者	1級建築士 国土交通大臣登録 第292990号 小 橋 田 洋	工 事 名	第五中学校改築事業 屋内運動場ほか建設 建築主体工事	図 名	渡り廊下B 構造詳細図	縮尺	A1 1/30 A3 1/60	No.	S-33



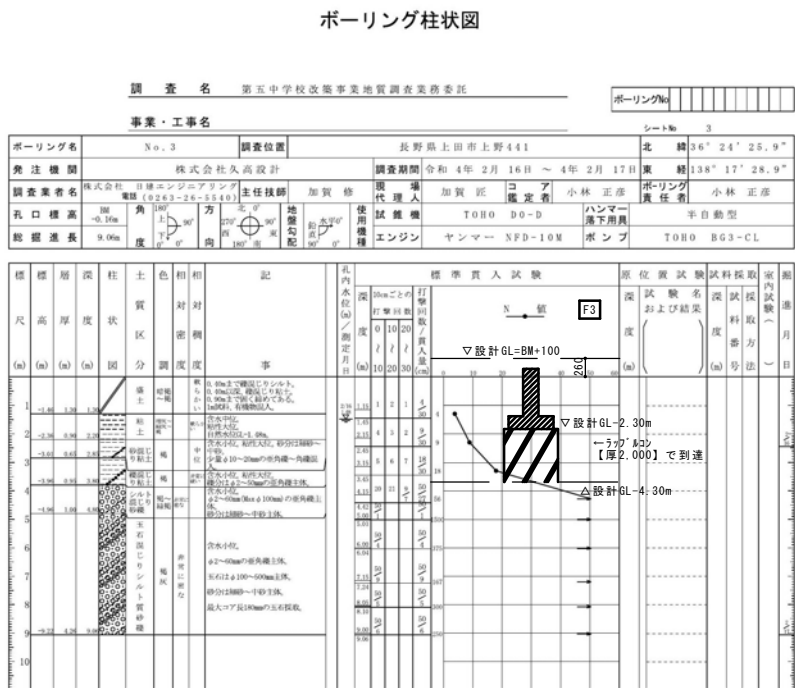
ボーリング調査位置図



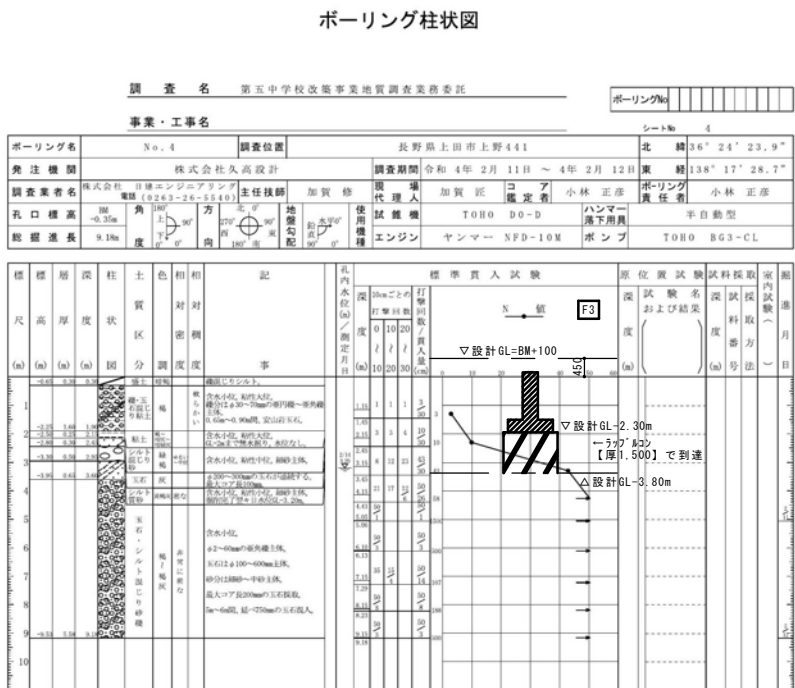
Bor. No. 1



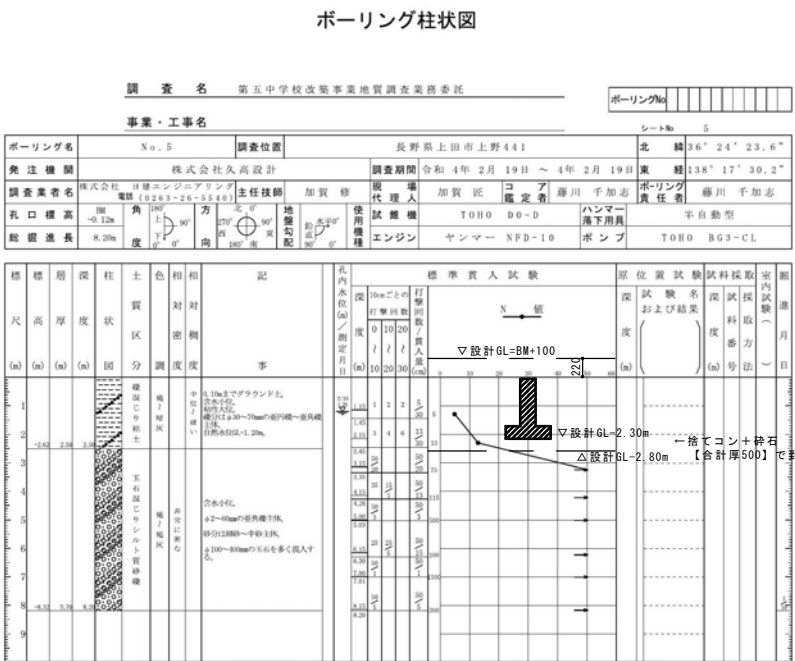
Bor. No. 2



Bor. No. 3



Bor. No. 4



Bor. No. 5